

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第28集

あさ ひ にし
朝 日 西 遺 跡

1992

財団法人 愛知県埋蔵文化財センター

序

朝日西遺跡の調査は、1981年から1985年の5年間にわたって名古屋環状2号線建設に伴う発掘調査として実施されました。朝日西遺跡は全国的にも有名な弥生時代の大環濠集落、朝日遺跡の西にあり、当初は弥生時代から古墳時代の遺跡と思われていましたが、調査目的の遺構面より上から幻の城下町清須が発見されたのであります。当時、戦国期の城下町清須はすでに失われてしまったと思われていましたので、まさにおもいがけぬ発見となり、これを契機に「清洲城下町遺跡」の調査が開始されたのであります。

幻の城下町、清須城下町は現在の西春日井郡清洲町のほぼ全域、及び新川町、春日町の一部をその範囲として東西約1.5km、南北約2.7kmの規模をもち、織田信長の居城地であったのみならず、豊臣、徳川政権下においても、織田信雄、豊臣秀次、福島正則、松平忠吉らの有力大名が配置された要地でありました。しかし、人口数万を擁した全国屈指の城下町も、「清須越」（慶長15年）によって城はもちろん家臣の屋敷から町屋、寺社などありとあらゆるものが名古屋に引越し、城下町としての栄華は終わってしまったのであります。調査開始から11年、ようやくにして一連の調査による成果を提示できたことに深い感慨を覚えます。

最後になりましたが、調査に対して御指導、御協力賜った関係諸機関、発掘調査に参加協力していただきました多くの方々に厚く御礼を申し上げるとともに、本書が埋蔵文化財の保護と研究の一助となれば幸いです。

平成4年3月

財団法人愛知県埋蔵文化財センター

理事長 高木 鐘 三

例 言

1. 本書は愛知県西春日井郡清洲町に所在する朝日西遺跡の発掘調査報告書である。
2. 調査は名古屋環状2号線（一般国道302号）建設に伴う事前調査として、建設省、日本道路公団から愛知県教育委員会を通じて委託をうけ、財団法人愛知県教育サービスセンター・財団法人愛知県埋蔵文化財センターが昭和56年度から昭和60年度にかけて行った。
3. 調査担当者は下記のとおりである。

昭和56年度 榊原芳久（現、半田高校）・片山正巳（現、高浜小学校）
服部良夫（現、尾西第二中学校）

昭和57年度 遠藤才文（本センター調査研究員）・片山正巳・服部良夫
長島 広（現、春日井南高校）

昭和58年度 遠藤才文・服部良夫・金原 宏（現、刈谷南中学校）
上部 肇（現、神島田小学校）・長島 広

昭和59年度 遠藤才文・金原 宏・佐藤公保（現、鳴海高校）
小澤一弘（本センター調査研究員）・丹羽 博（現、豊前市教育委員会）
服部哲也（現、名古屋市見晴台考古資料館）

昭和60年度 遠藤才文・佐藤公保・安藤義弘（現、大府高校）
4. 調査にあたっては次の各関係機関の御指導・御協力を得た。

愛知県教育委員会文化財課、建設省中部地方建設局愛知国道工事事務所、
日本道路公団名古屋建設局、清洲町教育委員会
5. 調査記録及び出土品の整理等については次の方々との協力を得た。

安藤豊子・河合明美・木全左奈恵・小島洋子・小檜山洋子・猿山清子・服部英子・本
所千恵子・水野里美・八木佳素実・吉田恒美 （敬称略）
6. 本書の執筆者は小澤一弘・遠藤才文・城ヶ谷和広（本センター主査）・鈴木正貴（調査研究員）・加藤安信（調査課長）が担当し、その文責については文末に記した。第Ⅳ章第1章については、（財）愛知県埋蔵文化財センター刊行の『年報』昭和60年度からの改作転載で、「出土した人骨および犬骨」は江原昭善・松本 真・木下 実各氏の執筆による。本書の編集については、加藤調査課長の指導の下、小澤一弘が担当した。
7. 遺構の旧番号と新番号の対照、遺物の登録番号については付表に掲載した。
8. 本書の作成にあたっては、以下の各氏の御指導、御協力を得た。

赤羽一郎・足立順司・伊藤嘉章・井上喜久男・梅本博志・江崎 武・大橋康二・古泉
弘・斎藤孝正・佐藤公保・柴垣勇夫・下津間康夫・下村信博・住田誠行・千田嘉博・
土山公仁・寺島孝一・仲野泰裕・檜崎彰一・橋口定志・服部郁・福田健司・藤澤良祐
・光谷拓実・四柳嘉章 （五十音順、敬称略）
9. 調査記録の座標は、国土座標第Ⅶ座標系に準拠する。
10. 調査記録及び出土品は愛知県埋蔵文化財調査センターにて保管する。

目 次

第 I 章 遺跡調査の概要	1
第 1 節 遺跡の立地と清須城の沿革	1
第 2 節 調査に至る経緯と調査経過	2
第 3 節 調査概要	2
第 II 章 遺構	5
第 1 節 基本層序と遺構の概要	5
第 2 節 中世の遺構	8
第 3 節 城下町期の遺構	20
第 4 節 朝日村期の遺構	31
第 III 章 遺物	46
第 1 節 古代の土器・陶器	46
第 2 節 中世 I 期の土器・陶磁器	47
第 3 節 中世 II 期の土器・陶磁器	89
第 4 節 城下町期の土器・陶磁器	102
第 5 節 朝日村期の土器・陶磁器	154
第 6 節 木製品	178
第 7 節 石製品	204
第 8 節 金属製品	211
第 IV 章 分析・考察	214
第 1 節 人・獣骨類の出土した大溝	214
第 2 節 朝日西遺跡関連出土木製品材質同定	223
第 3 節 清須城下町から出土した漆器	233
第 V 章 まとめ	244
付表	249
遺構一覧表	250
遺物観察表	276

圖 版 目 次

圖版 1	59 A・B区全景	圖版36	出土遺物・陶磁器(3)
圖版 2	59 C区全景	圖版37	出土遺物・陶磁器(4)
圖版 3	59 D区全景	圖版38	出土遺物・陶磁器(5)
圖版 4	59 E区全景	圖版39	出土遺物・陶磁器(6)
圖版 5	60 C区全景	圖版40	出土遺物・陶磁器(7)
圖版 6	60 B区全景	圖版41	出土遺物・陶磁器(8)
圖版 7	59 E区全景	圖版42	出土遺物・陶磁器(9)
圖版 8	59 F・G区全景	圖版43	出土遺物・陶磁器(10)
圖版 9	59 G区全景	圖版44	出土遺物・陶磁器(11)
圖版10	60 E・D区 外堀 (S D222)	圖版45	出土遺物・陶磁器(12)
圖版11	59 C区全景	圖版46	出土遺物・陶磁器(13)
圖版12	S D133土層	圖版47	出土遺物・陶磁器(14)
圖版13	S D200・S D215土層	圖版48	出土遺物・陶磁器(15)
圖版14	S D177全景(1)	圖版49	出土遺物・陶磁器(16)
圖版15	S D177全景(2)	圖版50	出土遺物・陶磁器(17)
圖版16	S D177獸骨出土狀況(1)	圖版51	出土遺物・陶磁器(18)
圖版17	S D177獸骨出土狀況(2)	圖版52	出土遺物・陶磁器(19)
圖版18	S D177獸骨出土狀況(3)	圖版53	出土遺物・陶磁器(20)
圖版19	S D177人骨出土狀況	圖版54	出土遺物・木製品(1)
圖版20	S D177土師質皿出土狀況	圖版55	出土遺物・木製品(2)
圖版21	S D177遺物出土狀況(1)	圖版56	出土遺物・木製品(3)
圖版22	S D177遺物出土狀況(2)	圖版57	出土遺物・木製品(4)
圖版23	遺物出土狀況(1)	圖版58	出土遺物・木製品(5)
圖版24	遺物出土狀況(2)	圖版59	出土遺物・木製品(6)
圖版25	遺物出土狀況(3)	圖版60	出土遺物・木製品(7)
圖版26	井戸(1)	圖版61	出土遺物・木製品(8)
圖版27	井戸(2)	圖版62	出土遺物・木製品(9)
圖版28	井戸(3)	圖版63	出土遺物・木製品(10)
圖版29	井戸(4)	圖版64	出土遺物・石製品
圖版30	井戸(5)		
圖版31	井戸(6)		
圖版32	井戸(7)		
圖版33	井戸(8)		
圖版34	出土遺物・陶磁器(1)		
圖版35	出土遺物・陶磁器(2)		

挿 図 目 次

- 第 1 図 遺跡の位置
- 第 2 図 調査地点の位置および地形模式図
- 第 3 図 遺構配置図
- 第 4 図 調査地点の自然立地
- 第 5 図 中世遺構配置図
- 第 6 図 建物跡模式図(1)
- 第 7 図 溝セクション図(1)
- 第 8 図 溝セクション図(2)
- 第 9 図 溝セクション図(3)
- 第10図 井戸実測図(1)
- 第11図 井戸実測図(2)
- 第12図 井戸実測図(3)
- 第13図 井戸実測図(4)
- 第14図 井戸実測図(5)
- 第15図 井戸実測図(6)
- 第16図 井戸実測図(7)
- 第17図 城下町期遺構配置図
- 第18図 朝日村期遺構配置図
- 第19図 建物跡模式図(2)
- 第20図 建物跡模式図(3)
- 第21図 溝セクション図(4)
- 第22図 溝セクション図(5)
- 第23図 井戸実測図(8)
- 第24図 井戸実測図(9)
- 第25図 井戸実測図(10)
- 第26図 井戸実測図(11)
- 第27図 井戸実測図(12)
- 第28図 井戸実測図(13)
- 第29図 井戸実測図(14)
- 第30図 井戸実測図(15)
- 第31図 発掘調査区年度別区割り
- 第32図 遺構図(1)
- 第33図 遺構図(2)
- 第34図 遺構図(3)
- 第35図 遺構図(4)

- 第36図 遺構図(5)
- 第37図 遺構図(6)
- 第38図 遺構図(7)
- 第39図 遺構図(8)
- 第40図 遺構図(9)
- 第41図 遺構図(10)
- 第42図 遺構図(11)
- 第43図 遺構図(12)
- 第44図 古代の遺物
- 第45図 中世山茶碗・土師器器種分類図
- 第46図 中世 I 期の遺物(1) S E 52
- 第47図 中世 I 期の遺物(2) S E 52、S D 55
- 第48図 中世 I 期の遺物(3) S K 271、その他
- 第48図 中世 I 期の遺物(4) 包含層
- 第50図 中世 I 期の遺物(5) S K 492、S K 491、S K 460
- 第51図 中世 I 期の遺物(6) 包含層
- 第52図 中世 I 期の遺物(7) S D 09(1)
- 第53図 中世 I 期の遺物(8) S D 09(2)
- 第54図 中世 I 期の遺物(9) S D 09(3)
- 第55図 中世 I 期の遺物(10) S D 09(4)
- 第56図 中世 I 期の遺物(11) S D 09(5)
- 第57図 中世 I 期の遺物(12) S D 09(6)
- 第58図 中世 I 期の遺物(13) S D 09(7)
- 第58図 中世 I 期の遺物(14) S D 09(8)、S K 168、S E 55
- 第60図 中世 I 期の遺物(15) S D 76(1)
- 第61図 中世 I 期の遺物(16) S D 76(2)
- 第62図 中世 I 期の遺物(17) S D 76(3)、S K 232
- 第63図 中世 I 期の遺物(18) S D 133(1)
- 第64図 中世 I 期の遺物(19) S D 133(2)
- 第65図 中世 I 期の遺物(20) S D 133(3)
- 第66図 中世 I 期の遺物(21) S D 133(4)
- 第67図 中世 I 期の遺物(22) S D 133(5)
- 第68図 中世 I 期の遺物(23) S D 133(6)
- 第69図 中世 I 期の遺物(24) S D 133(7)
- 第70図 中世 I 期の遺物(25) S D 133(8)
- 第71図 中世 I 期の遺物(26) S D 133(9)

第72図	中世 I 期の遺物(27)	S K 316、包含層
第73図	中世 I 期の遺物(28)	S D 55(1)
第74図	中世 I 期の遺物(29)	S D 55(2)
第75図	中世 I 期の遺物(30)	S K 400、S K 388、S K 455
第76図	中世 I 期の遺物(31)	S K 360、S K 335
第77図	中世 II 期の遺物(1)	S D 164(1)
第78図	中世 II 期の遺物(2)	S D 164(2)
第80図	中世 II 期の遺物(3)	S D 164(3)
第80図	中世 II 期の遺物(4)	S D 164(4)
第81図	中世 II 期の遺物(5)	S D 108(1)
第82図	中世 II 期の遺物(6)	S D 108(2)
第83図	中世 II 期の遺物(7)	S D 108(3)
第84図	中世 II 期の遺物(8)	S D 108(4)
第85図	中世 II 期の遺物(9)	S D 108(5)
第86図	中世 II 期の遺物(10)	S D 133、その他
第87図	中世 II 期の遺物(11)	その他
第88図	城下町期の遺物(1)	S K 137、S K 541
第89図	城下町期の遺物(2)	S D 42
第90図	城下町期の遺物(3)	S E 62、S E 83、S K 242
第91図	城下町期の遺物(4)	S K 96
第92図	城下町期の遺物(5)	S D 63
第93図	城下町期の遺物(6)	S K 282、S K 293
第94図	城下町期の遺物(7)	S D 27(1)
第95図	城下町期の遺物(8)	S D 27(2)
第96図	城下町期の遺物(9)	S D 27(3)
第97図	城下町期の遺物(10)	S D 27(4)
第98図	城下町期の遺物(11)	S D 27(5)
第99図	城下町期の遺物(12)	S D 27(6)
第100図	城下町期の遺物(13)	S D 27(7)
第101図	城下町期の遺物(14)	S K 46(1)
第102図	城下町期の遺物(15)	S K 46(2)
第103図	城下町期の遺物(16)	S D 200(1)
第104図	城下町期の遺物(17)	S D 200(2)
第105図	城下町期の遺物(18)	S D 200(3)
第106図	城下町期の遺物(19)	S D 200(4)
第107図	城下町期の遺物(20)	S D 177(1)

第108図	城下町期の遺物(21)	S D177(2)	
第109図	城下町期の遺物(22)	S D177(3)	
第110図	城下町期の遺物(23)	S D177(4)	
第111図	城下町期の遺物(24)	S D177(5)	
第112図	城下町期の遺物(25)	S D177(6)	
第113図	城下町期の遺物(26)	S D177(7)	
第114図	城下町期の遺物(27)	S D177(8)	
第115図	城下町期の遺物(28)	S D177(9)	
第116図	城下町期の遺物(29)	S D177(10)	
第117図	城下町期の遺物(30)	S D177(11)	
第118図	城下町期の遺物(31)	S D177(12)	
第119図	城下町期の遺物(32)	S D177(13)	
第120図	城下町期の遺物(33)	S D177(14)	
第121図	城下町期の遺物(34)	その他(1)	
第122図	城下町期の遺物(35)	その他(2)	
第123図	城下町期の遺物(36)	その他(3)	
第124図	城下町期の遺物(37)	その他(4)	
第125図	城下町期の遺物(38)	その他(5)	
第126図	城下町期の遺物(39)	輸入陶磁器	白磁(1)
第127図	城下町期の遺物(40)	輸入陶磁器	白磁(2)・青白磁・青磁(1)
第128図	城下町期の遺物(41)	輸入陶磁器	青磁(2)
第129図	城下町期の遺物(42)	輸入陶磁器	青磁(3)
第130図	城下町期の遺物(43)	輸入陶磁器	青磁(4)
第131図	城下町期の遺物(44)	輸入陶磁器	青磁(5)・朝鮮陶器
第132図	城下町期の遺物(45)	輸入陶磁器	青花(1)
第133図	城下町期の遺物(46)	輸入陶磁器	青花(2)
第134図	城下町期の遺物(47)	輸入陶磁器	青花(3)
第135図	朝日村期の遺物(1)	S K375	
第136図	朝日村期の遺物(2)	S D49(1)	
第137図	朝日村期の遺物(3)	S D49(2)	
第138図	朝日村期の遺物(4)	S D49(3)	
第139図	朝日村期の遺物(5)	S D49(4)	
第140図	朝日村期の遺物(6)	S D49(5)	
第141図	朝日村期の遺物(7)	S D11	
第142図	朝日村期の遺物(8)	S K305(1)	
第143図	朝日村期の遺物(9)	S K305(2)	

- 第144図 朝日村期の遺物(10) S K 305(3)
- 第145図 朝日村期の遺物(11) S K 305(4)
- 第146図 朝日村期の遺物(12) S K 305(5)
- 第147図 朝日村期の遺物(13) S K 305(6)
- 第148図 朝日村期の遺物(14) S K 139(1)
- 第149図 朝日村期の遺物(15) S K 139(2)
- 第150図 朝日村期の遺物(16) S K 139(3)
- 第151図 朝日村期の遺物(17) S K 139(4)
- 第152図 朝日村期の遺物(18) S K 139(5)
- 第153図 朝日村期の遺物(19) S K 139(6)
- 第154図 朝日村期の遺物(20) S K 139(7)
- 第155図 瓦質製品(1)
- 第156図 瓦質製品(2)
- 第157図 木製品(1) S D 177(1)
- 第158図 木製品(2) S D 177(2)
- 第159図 木製品(3) S D 177(3)
- 第160図 木製品(4) S D 177(4)
- 第161図 木製品(5) S D 177(5)
- 第162図 木製品(6) S D 177(6)
- 第163図 木製品(7) S D 177(7)
- 第164図 木製品(8) S D 177(8)
- 第165図 木製品(9) S D 177(9)
- 第166図 木製品(10) S D 200(1)
- 第167図 木製品(11) S D 200(2)
- 第168図 木製品(12) S D 200(3)
- 第169図 木製品(13) S D 200(4)
- 第170図 木製品(14) S E 83
- 第171図 木製品(15) その他(1)
- 第172図 木製品(16) その他(2)
- 第173図 石製品(1) 石鍋・温石
- 第174図 石製品(2) 硯・砥石(1)
- 第175図 石製品(3) 砥石(2)
- 第176図 石製品(4) 砥石(3)・叩き石・バンドコ・碁石・他
- 第177図 石製品(5) 石臼
- 第178図 石製品(6) 宝篋印塔・五輪塔・他
- 第179図 金属製品(1)

- 第180図 金属製品(2)
- 第181図 人・獣骨類種別構成
- 第182図 人・獣骨類出土分布図
- 第183図 人・獣骨類出土状態図(1)
- 第184図 人・獣骨類出土状態図(2)
- 第185図 頭骨各形質の分類規準
- 第186図 遺物出土状態
- 第187図 人骨
- 第188図 樹種同定遺物実測図(1)
- 第189図 樹種同定遺物実測図(2)
- 第190図 漆器変遷図
- 第191図 漆器紋様構成変遷図
- 第192図 漆器紋様分類図

第 I 章 遺跡調査の概要

第 1 節 遺跡の立地と清須城の沿革

朝日西遺跡は、濃尾平野を南下する五条川の中流域に形成された、標高 5 m 前後の自然堤防帯に立地し、行政的には、愛知県西春日井郡清洲町大字朝日に所在する。

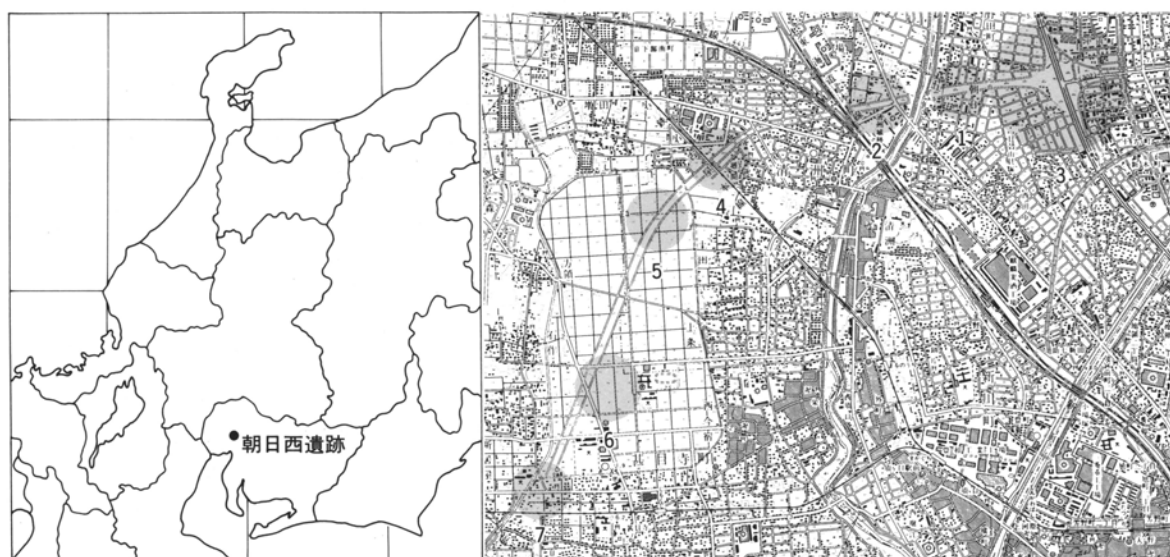
こんにち、清須城の天主台と本丸推定地とされる部分は清洲公園（清須城故地）となっているが、それは調査区から南西の方向約 500m の地点に位置している。この本丸推定地は東海道新幹線及び J R 東海道本線により、分断されている。なお清須城の北約 5 km には下津城（稲沢市）、北東 7 km には岩倉城（岩倉市）、北東約 10 km には小牧山城（小牧市）、南西約 6 km には那古野城（名古屋市中区）がある。

清須城は、織田信長の居城地として知られているが、城自体は、応永年間（1394～1428）に尾張守護職であった斯波氏により築かれたとされており、文明 10 年（1478）頃には尾張守護所が下津（稲沢市下津町）から清須に移され、この地方の中心的都市として機能していたようである。

また、信長以後の豊臣、徳川政権下でも、織田信雄、豊臣秀次、福島正則、松平忠吉らの有力大名が次々と配置され、慶長年間に行われた「清須越」直前には、人口数万を擁した全国屈指の城下町となっていた。

三重の堀に囲まれ、東西約 1.5 km、南北 2.7 km にわたって街づくりがおこなわれた清須城下町も、慶長 15 年（1610）から 3 ヶ年の歳月をかけた「清須越」によって名古屋の地に移り、城下町は解体された。その後は美濃路沿いの「清洲宿」と周囲に点在する農村へと変貌していった。

発掘調査以前に知られていた清須城下町に関する資料としては、『春日井郡清須村古城絵図』（名古屋蓬左文庫所蔵）と伝清須城出土鯨瓦、金箔軒丸瓦・軒平瓦、鳥衾飾瓦などの採集された各種の瓦があるのみであった。しかし、現在では発掘調査面積は 70000 m² に達し、研究も進められ、城の遺構および家臣団をはじめとした城下に集まった人々の生活や文化をある程度伺うことができるようになった。



第 1 図 遺跡の位置

- 1. 朝日西遺跡
- 2. 清洲城下町遺跡
- 3. 朝日遺跡
- 4. 廻間遺跡
- 5. 土田遺跡
- 6. 阿弥陀寺遺跡
- 7. 大洲遺跡

ている。

(小澤一弘)

第2節 調査に至る経緯と調査経過

本調査は名古屋市域の周辺部を環状に囲む道路、名古屋環状2号線（一般国道302号）の建設に伴う調査として、昭和56年度から財団法人愛知県教育サービスセンター埋蔵文化財調査部が実施し、昭和60年度以降は同調査部を発展的解消して設立された財団法人愛知県埋蔵文化財センターが担当した。

朝日西遺跡は弥生時代の環濠集落、朝日遺跡の西に位置し、当初は弥生時代から古墳時代にかけての遺跡として調査を開始した。このため、昭和56年度の調査では、朝日遺跡の包含層相当の土層まで掘削し、良好な形で遺構・遺物は検出できなかった。しかし、この時、調査目的の遺構面より上から清須城の時期および中世の拠点集落などの遺構面・遺物が発見され、昭和57年度以降はこの面を調査する形で調査を行った。遺跡の内容は「清須城下町」という都市遺跡を含むが、当初、遺跡の範囲と内容が不明瞭であったため、五条川以東を「朝日西遺跡」、以西を「清洲城下町遺跡」として調査を実施した。

なお本報告書作成にかかる整理作業については、平成2年及び3年度の2ケ年を充てた。

(小澤一弘)

第3節 調査概要

次章以下において、調査成果を詳述するが、本節でその概要をあらかじめ簡潔に示す。

発掘調査面積は、昭和56年度1,010㎡、57年度800㎡、58年度2,000㎡、59年度6,407㎡、60年度3,702㎡で総計13,919㎡に及ぶ。調査区は、各年度毎に排土置き場、土地条件等を勘案して分割し、国土座標を基準にしたグリッドを設定して調査を進めた。調査当時に使用した調査区名、遺構登録番号は本書において使用せず、新遺構番号つけたが、その対照は遺構一覧表に示した。

調査の結果、11世紀から15世紀にかけての集落跡と、16世紀後半から17世紀初めの清須城下町の遺構群、そして江戸時代の村落跡が確認された。

昭和59年度の調査では中堀と外堀の間に位置し、寺社地が推定される地区の溝S D200から「文禄貳年（1593）」、「慶長三年（1598）」、「慶長四年（1599）」の紀年銘資料が多数の遺物とともに出土した。またS D177からは人・獣骨類が出土し、その中の左大腿骨には深い切込みがつけられていた。

昭和60年度の調査では外堀が検出され、この外堀をもって清須城下町の東限が確認されたのである。外堀からは「白さたう 壱斤」とかかれた曲物や「かちや町 六 十六間三尺三寸 是より北（カ）」と書かれた木札が出土している。

この他の遺構としては、屋敷地等を区画したと思われる幅2 mから5 m程度の溝や桶組みの井戸、廃棄土坑等がある。

出土品は陶磁器を中心に、木製品、石製品、金属製品と多種多様なものが大量に出土した。その数量は27ℓ入りコンテナーにして1,300箱を数える。

(小澤一弘)

第1表 清須城及びその城下町遺跡に関する略年表

西 暦	年 号	城 主	尾 張 ・ 清 須 城 下 町	全 国
(14C)			「神鳳抄」に「清須御厨」の記載（「清須」の初見）	
1400	応永 7		斯波義重尾張守護となり、織田常松を守護代とする	
1416	〃 23		この頃、斯波義重により清須築城か	
1452	享徳 1		連歌師正徹、清須の景観を歌に詠む	
1467	応仁 1		斯波義敏尾張守護となる	応仁の乱はじまる
1475	文明 7		東軍斯波義敏の軍尾張へ下向	
1478	〃 10		守護斯波義廉、尾張にくだる	
			尾張守護所下津より清須に移る（文明8年とする説もあり）	
			清須城の尾張守護代織田敏定を岩倉の織田敏広、美濃の斎藤妙椿が包圍攻撃	
1479	〃 11		清須、岩倉の両織田氏和睦、尾張の分割支配はじまる	
1482	〃 14		清須城内で日蓮宗法論おこなわれる	
1485	〃 17		万里集九 織田敏定邸で犬追物を見る	
1522	大永 2		駿河の今川氏親那古野城を築き、氏豊を置く	
1532	天文 1		織田信秀、清須・小田井の織田氏とあらそう	
1534	〃 3		織田信長生まれる	
1537	〃 6		豊臣秀吉生まれる	
1542	〃 11		徳川家康生まれる	
1543	〃 12			種子島に鉄砲が伝わる キリスト教伝来
1549	〃 18			
1551	〃 20		織田信秀没	
1555	弘治 1	織田信長	織田守護代家滅亡、信長清須城に入る	
1557	〃 3		織田信長、弟信行を清須城内で殺す	
1558	永禄 1		信長、岩倉織田氏への攻略はじめる	
			信長、東美濃攻略のため小牧山に築城	
1559	〃 2		信長、岩倉の織田信賢を下し、尾張の実質支配を完成	
1560	〃 3		桶狭間の戦、今川義元敗死	
1561	〃 4		信長、尾張守護斯波義銀を追放	
1562	〃 5		信長、家康と同盟	
1563	〃 6		信長、小牧山へ居城を移す（小牧越）	
1567	〃 10		信長、岐阜へ居城を移す	美濃加納に楽市楽座令
1568	〃 11	信長、將軍足利義昭を奉じ入京		
1573	天正 1		室町幕府滅亡	
1574	〃 2		織田信忠、尾張の支配権を与えられる	
1575	〃 3	(信忠)	信忠、岐阜城主となる	長篠の戦 信長安土築城
1576	〃 4		信忠、尾張国中の道路幅を定め整備	
1582	〃 10	(信雄)	清須会議の結果、織田信雄が尾張、伊勢、伊賀領主となる	本能寺の変で信長、信忠没
1584	〃 12		小牧、長久手の戦	
1585	〃 13		天正大地震、岡崎城等崩壊（天正13年11月29日）	秀吉、関白となる

西 曆	年 号	城 主	尾 張 ・ 清 須 城 下 町	全 国	
1586	〃 14	織田信雄	木曾川大洪水 この頃、信雄居城を清須に移す 「天正十四」銘丸瓦		
1590	天正18	豊臣秀次	信雄が追放され、豊臣秀次が尾張領主となる	秀吉天下統一	
1591	〃 19		秀次、尾張の検地を実施		
1593	文禄 2		秀吉、尾張の再検地を実施 清須町人の家数調査実施（家数2,729軒） 清須町周辺及び津島、熱田までの道路ぞいの荒地を新田開発 「文禄貳年」銘碗		
1594	〃 3		清須来住の農民を帰郷させる		
1595	〃 4	福島正則	秀吉、秀次を追放し、福島正則を清須へ転封 「慶長四年」銘卒塔姿		
1600	慶長 5	松平忠吉	家康、関ヶ原の合戦後、四男松平忠吉を清須へ転封	関ヶ原の戦	
1601	〃 6			東海道に伝馬制を制定 徳川幕府成立	
1603	〃 8				
1607	〃 12	徳川義直	松平忠吉死去に伴い徳川義直（家康九男）が甲府より転封 朝鮮通信使が清須を通過、その繁栄を記録する 伊奈忠次尾張の検地を実施、尾張国洪水 徳川義直尾張に入る。家康名古屋築城を決定 名古屋築城（清須越はじまる） 堀川の開削工事はじまる。庄内川洪水 清須から藩士、町人、寺社などの移住はじまる		
1608	〃 13				
1609	〃 14				
1610	〃 15				
1613	〃 18		清須越ほぼ終了する		
1614	〃 19		五条川洪水		
1615	元和 1			大坂夏の陣(豊臣氏滅亡)	
1616	2		徳川義直駿府より入国 清須に伝馬所置かれる 久証寺甚目寺村よりうつされる		
1624	寛永 1			島原の乱	
1637	〃 14				
1646	正保 3		清須新田村の最終的な検地おこなわれる		
1662	寛文 2		尾張に大地震		
1668	〃 8		桑名町の清須宿、火災のため神明町に移転		
1669	〃 9		五条川落合付近瀬替え		
1707	宝永 4		天野信景「総社参詣記」に清須城をしのぶ		
1752	宝暦 2		清須宿の町幅を広げ裏道をつくる		
1757	〃 7		五条川大洪水、清須地内堤防三ヶ所決潰		
1794	寛政 6		五条川瀬替普請		
1867	慶応 3				大政奉還
1886	明治19		武豊線、東海道線（熱田―一宮）開通、清洲駅設置		
1891	〃 24		濃尾大震災により建物の大半が倒壊		
1922	大正11		清洲公園開設		

（『清須―織豊期の城と都市―資料編』より転載）

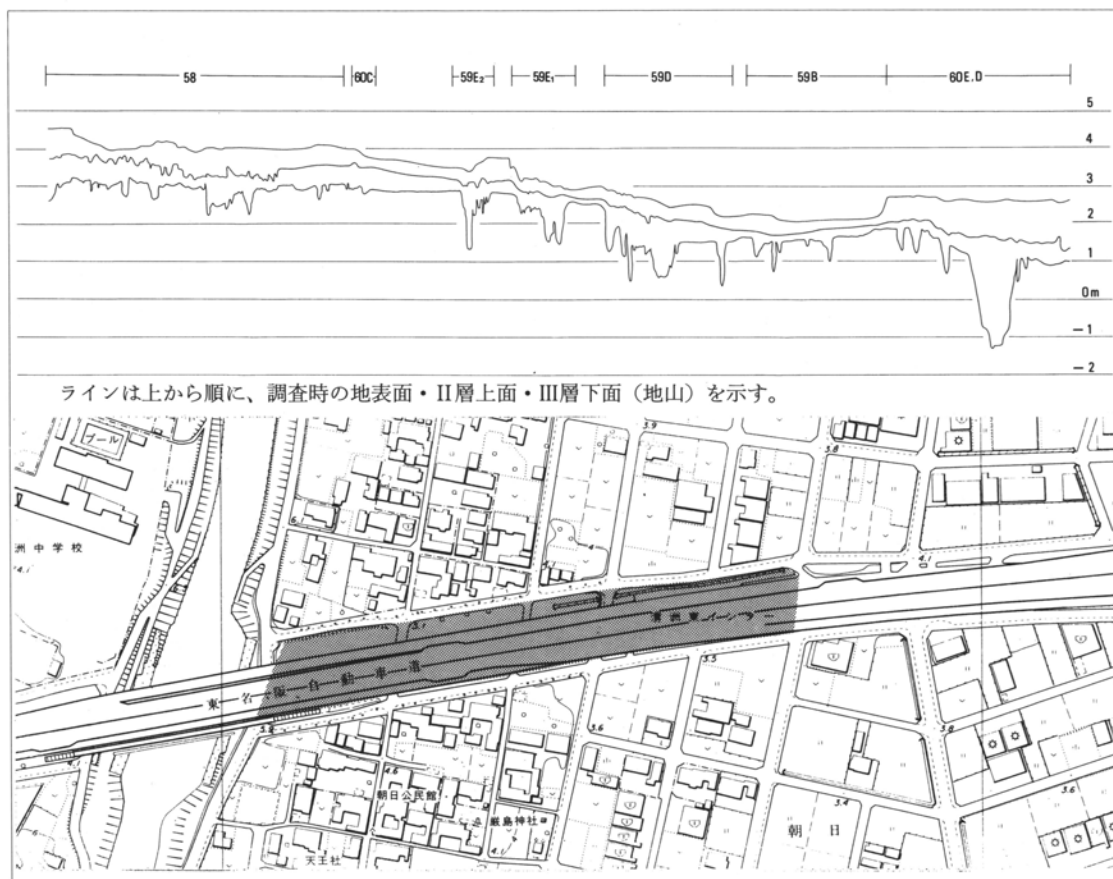
第II章 遺構

第1節 基本層序と遺構の概要

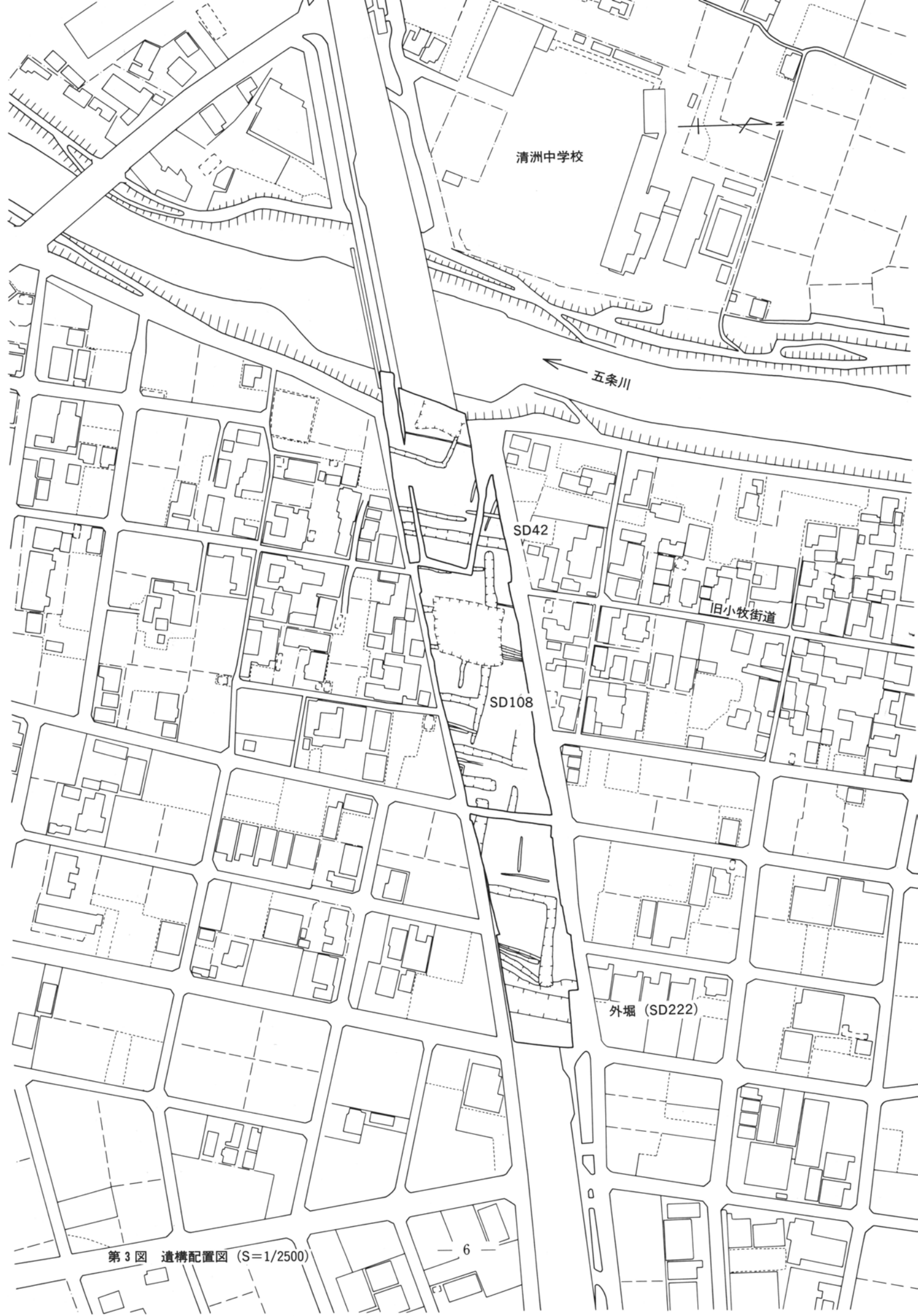
1. 遺跡の立地 朝日西遺跡は、濃尾平野の南東部に位置し、現地形では五条川左岸に展開する自然堤防上に所在する遺跡である。この地点は、最盛時の清須城下町の範囲内であると共に、朝日遺跡に西隣している。調査区は南北に伸びる自然堤防を東西に横断する形で設定され、西は微高地・東は後背湿地といった微地形的な変化に富んでいる。従って、調査地点により土層が異なる場合がある。

2. 層序 本遺跡の基本層序は、西半部の自然堤防上においては、I層：表土、II層：褐色土、III層：暗褐色土、IV層：茶褐色土、V層：黄茶褐色土、VI層：灰色砂質土、VII層：黒灰色粘土、VIII層：青灰色シルトの順である。また、東半部の層序は、後背湿地に向かうに随いIV層以下の土層を欠く形で変化し、最東部はI層、II層、III層、VII層、VIII層と堆積する。VIII層は朝日遺跡の基盤層と同一で、朝日遺跡よりも約1.2m低い。V層では遺構は確認できなかったものの、この層からは古墳時代の遺物が若干出土している。IV層は古墳時代以降に2mほど堆積した層位で、IV層上面で古代末以降の遺構が掘削されている。II層は16～17世紀の遺物が出土する包含層である。

3. 遺構の概要 遺構は1中世、2城下町期（16～17世紀初）、3朝日村期（近世）に大別され、各時期ごとに記述を進める。各時期とも遺構には溝、建物、井戸、土坑などがある。深度の深い溝・井戸の下場の標高は地点により異なる。下図（第2図）を参照されたい。（鈴木正貴・遠藤才文）



第2図 調査地点の位置および地形模式図 (S=1/5000)



清洲中学校

五条川

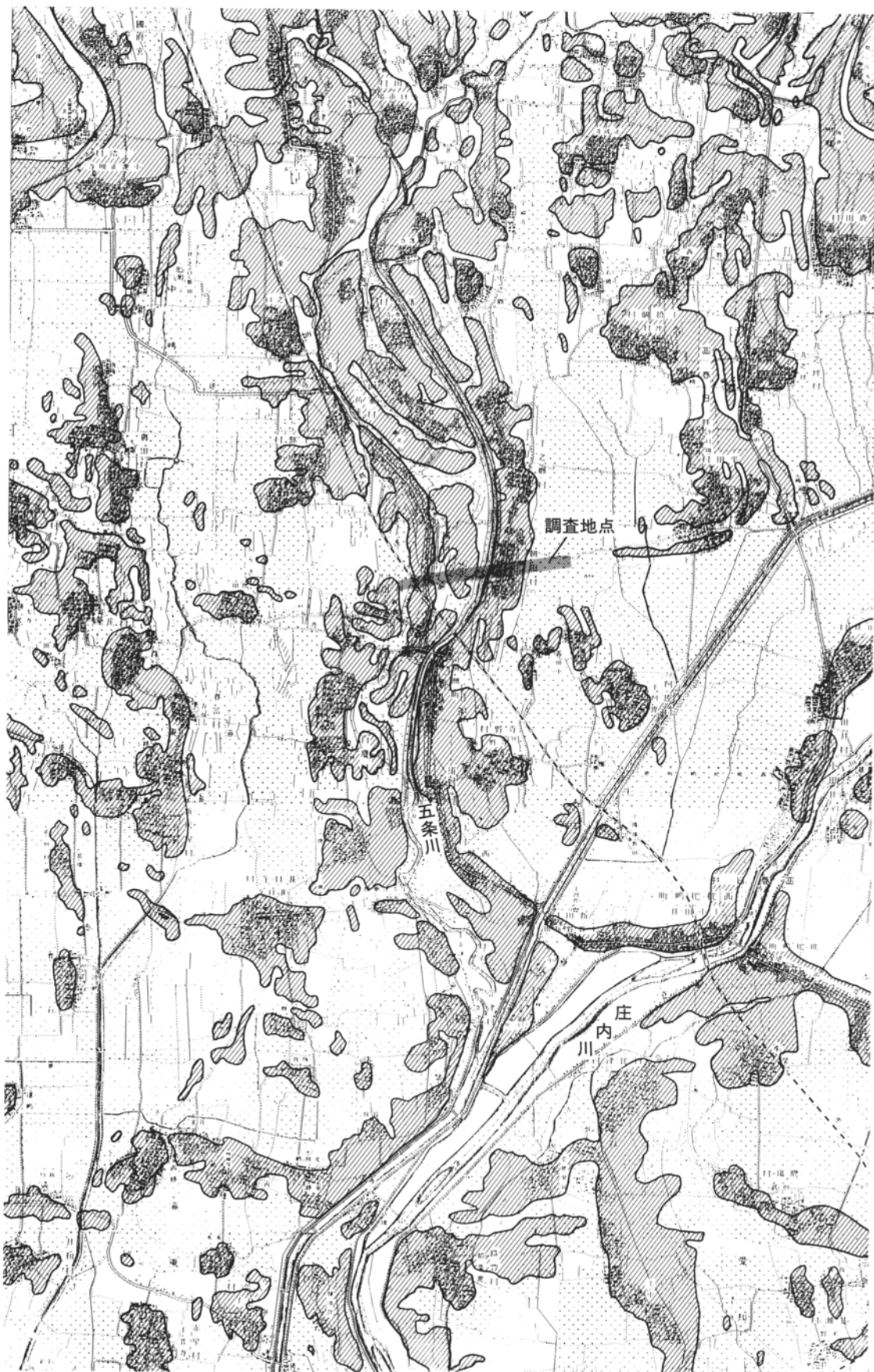
SD42

旧小牧街道

SD108

外堀 (SD222)

第3図 遺構配置図 (S=1/2500)



第4図 調査地点の自然立地 (S=1/50000) アミは自然堤防を示す
 (明治26年作成地形図と現況地質図をもとに作成)

第2節 中世の遺構

中世の遺構には、掘立柱建物跡や溝、畝、井戸、土坑などがある。遺構の分布を見ると、西側の自然堤防上は区画溝や土坑・ピットなどが密集するのに対し、東側の自然堤防が下がった地点では溝・土坑・ピットなどはあまり存在せず、井戸が多く点在している。このことから、西側の自然堤防上に主要な屋敷が展開し、東では零細な屋敷もしくは水汲み場などがあったことが想定できる。地形が遺構の分布状況を左右していることがうかがえよう。主要な遺構の方位はN-18°-E前後を示しており、五条川の西に所在する清洲城下町遺跡の東側自然堤防に存在する中世遺構と連続するであろう。

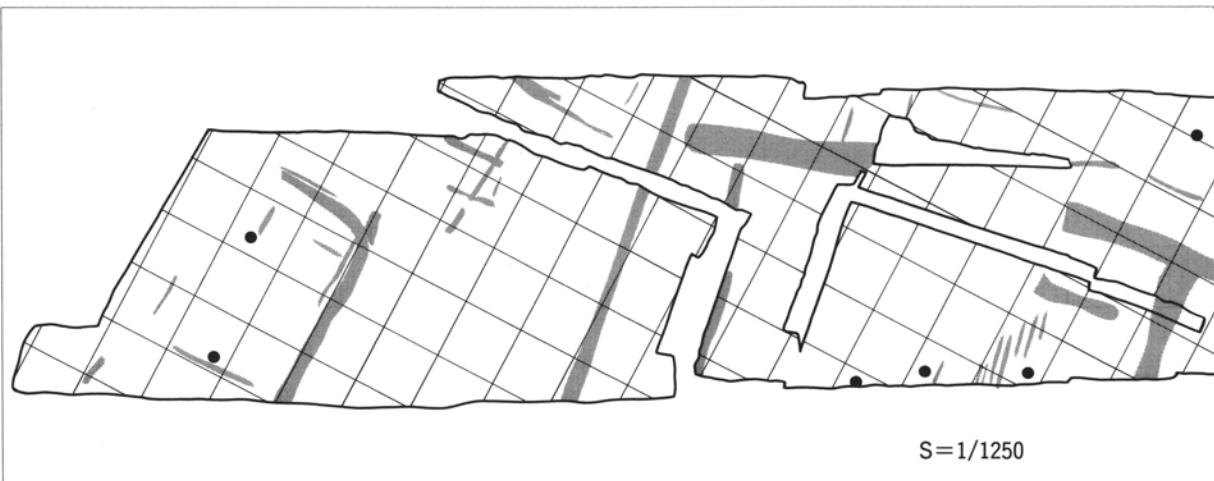
中世は古瀬戸（施釉陶器）を含まない時期（中世Ⅰ期）と古瀬戸を含む時期（中世Ⅱ期）に区別できるが、中世Ⅰ期はさらに4期にそれぞれ細分できる。ここで、各小期ごとに遺構の展開状況を述べて、中世の「朝日西」集落の変遷を概観したい。

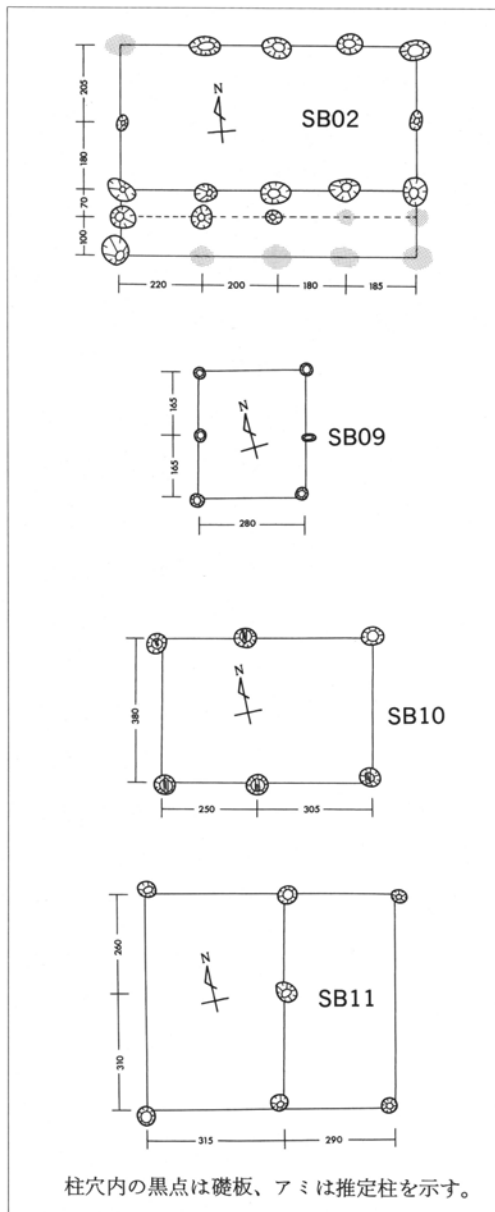
中世Ⅰ-1期（11世紀中葉～11世紀後葉）・中世Ⅰ-2期（12世紀前葉～12世紀中葉）は他の時期に比べて遺構は稀薄である。区画溝は存在せず、自然堤防のやや下がった地点でS E52といった井戸・土坑などが点在する。

中世Ⅰ-3期（12世紀後葉～13世紀前葉）・中世Ⅰ-4期（13世紀中葉～13世紀後葉）になると、屋敷を囲繞する区画溝が登場する。調査区の最西端に所在するL字に屈曲する溝（S D09）で囲まれた屋敷、T字に交わる溝（S D108・S D133）で囲まれた屋敷などが確認できる。溝の規模は幅2～3m、深さ0.5mである。Ⅰ-4期になると、地盤が低い東部で井戸が点在するようになる。

中世Ⅱ期（14世紀～15世紀）では、中世Ⅰ-4期と同じく屋敷を溝で囲む遺構配置をなすが、溝の規模が大きくなり、幅4～5mのものが出現する。溝で囲まれた屋敷の中には1個ずつ井戸が配置される。自然堤防の縁に南北に走る溝（S D164）もこの時期に掘削されたものと思われ、溝で囲まれた屋敷が展開する領域とそうでない領域とを分離する施設が具現化している。

なお、詳細な時期が確定できない遺構として、掘立柱建物や畝がある。掘立柱建物は4棟確認できたが、この他にもピットが無数に所在することから、今回提示したもの以外にも掘立柱建物は存在していたことが考えられる。特に、溝で囲まれた屋敷が展開する領域には、ピットが多数存在しており、遺構配置などを考える上でこの点を考慮しなければならないだろう。





第6図 建物跡模式図(1) (単位は cm)

1. 掘立柱建物

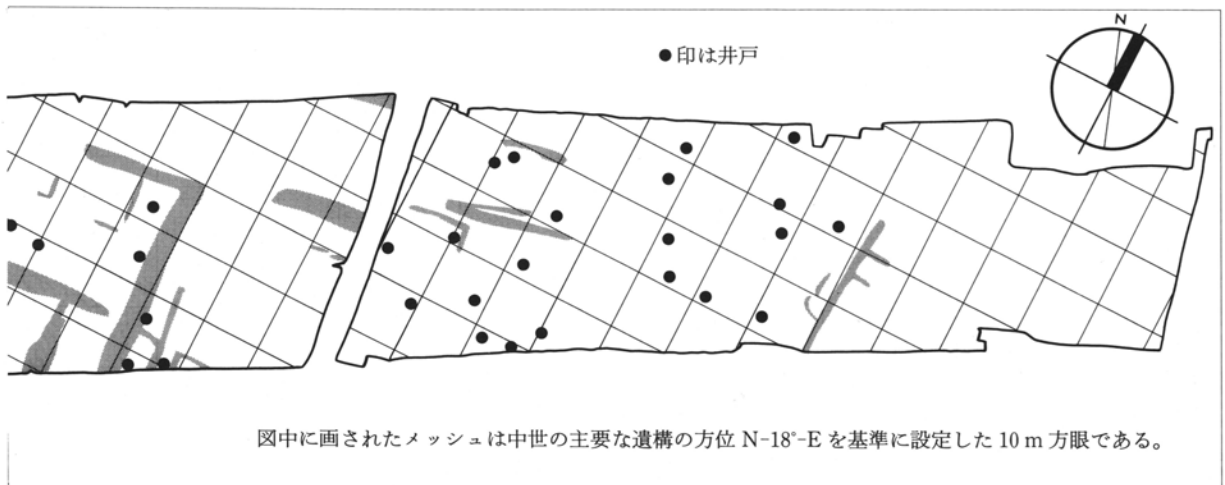
掘立柱建物は、西側の自然堤防上 (58区) で1棟、西側の自然堤の縁辺付近 (59C区) で1棟、東側の自然堤が下がった地点 (59A B区) で2棟検出されている。なお、西側の自然堤防上には無数のピットが展開しており、今回報告したものの以外の建物の存在も予想される。

SB02 (第6図) SD09に囲まれた2間×4間の東西棟掘立柱建物である。柱間寸法は1.8mまたは2.0mを測る。南面に2列の柱穴が並び、1.7mの庇を持つか、幅1.0mの縁があった可能性がある。柱穴の規模は2種類あり、深さ0.2mと0.5mを測る。建物方位はE-5°-Sで、主要遺構の方位N-18°-Eとは異なる。

SB09 (第6図) 自然堤縁辺部に所在する1間 (2.8m) × 2間 (3.3m) の小規模な南北棟掘立柱建物で、梁行の柱間寸法は1.65mを測る。建物方位はSD164・SD166に対応する。

SB10 (第6図) 59A区で検出された1間 (3.8m) × 2間 (5.55m 西から2.5m、3.05m) の小規模な東西棟掘立柱建物である。北東隅を除く柱掘形には木製の礎板が残存していた。

SB11 (第6図) 59B区で検出された2間 (5.7m 北から3.1m、2.6m) × 2間 (6.05m 西から3.15m、2.9m) の東西棟掘立柱建物で、東西1間分づつに仕切られる。SB10の南東に所在し、方位が共通している。

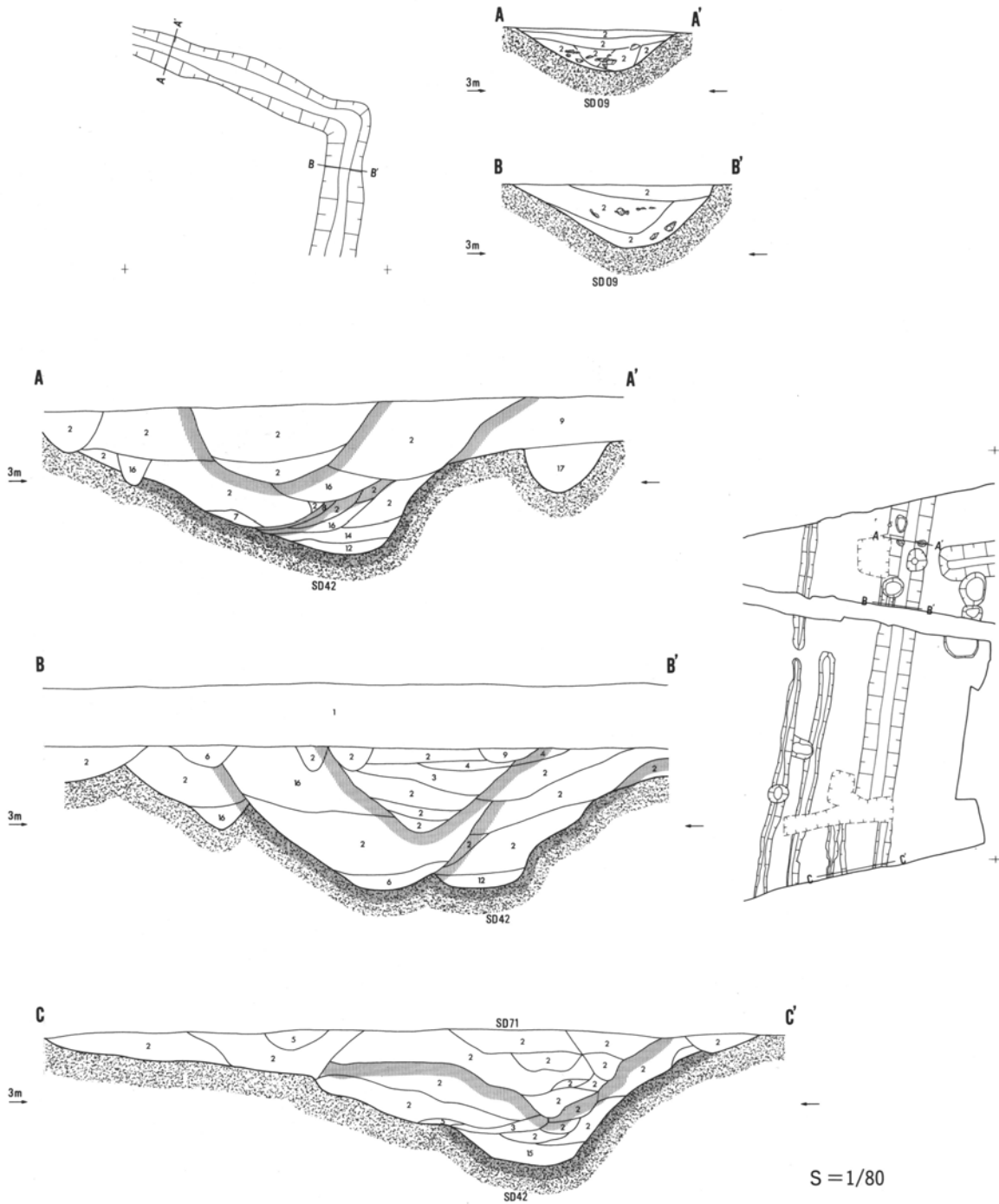


第5図 中世遺構配置図

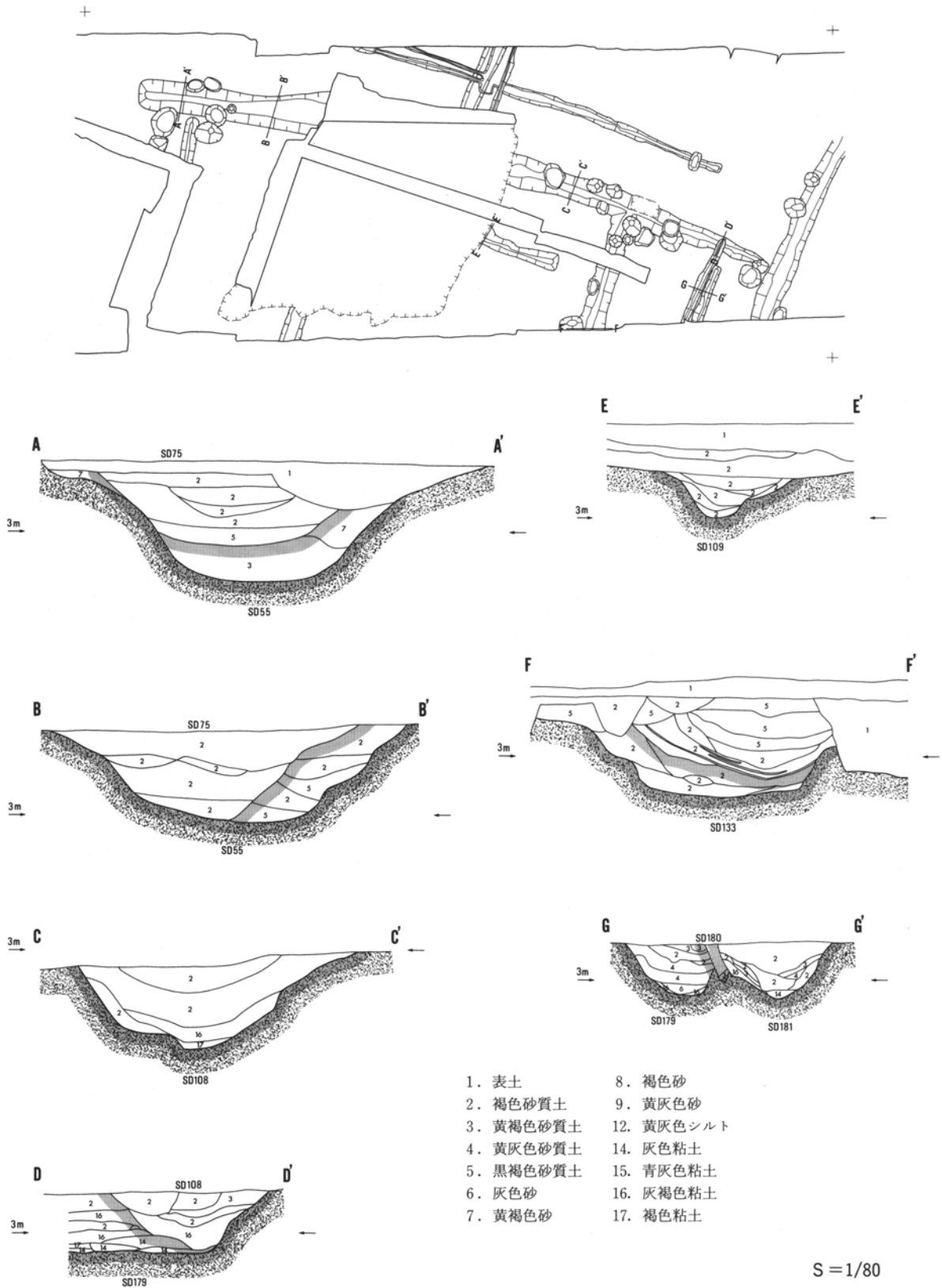
2. 溝

溝は遺構の主体を成すもので、その規模は多種多様である。すべて素掘りで護岸施設を伴うものは存在せず、方位はN-18°-Eに強く規制されている。西側の自然堤防上に多く分布し、東側の低地部分では規模が小さいものが数条存在する。溝の機能は用水・排水・区画などが想定されるが、水流については詳らかにできないものが多い。ここでは主要なものについて記述する。

SD09 (第7図) 西側の自然堤防上(58区)に所在する。直角より大きめの角度を持って折れ曲が



第7図 溝セクション図(1)



S=1/80

第8図 溝セクション図(2)

る溝で、規模は幅1.3m~3.8m、深さ0.4m~0.8mを測る。南北の方位はN-23°-Eで、南北溝と東西溝では埋土が異なっている。中層は炭化物を含む土層で遺物が多量に出土している。屋敷を区画する溝と思われる。I-3期。

SD42 (第7図) 西側自然堤の中央部、現小牧街道の東に走る南北溝で、59F区・59G区で検出さ

れた。57区・58区ではプランが確認できなかったが、断面観察から第7図のように復元した。掘り返しが少なくとも3回は行われ、最上層は城下町期に掘削されている。

SD55 (第8図) 自然堤の中央部を東西に走る溝で、あるいはSD108と同一の可能性がある。規模は幅4.0m~6.0m、深さ1.4m~1.8mを測り、SD75に掘り返されている。下層からI-1期(11世紀中葉~11世紀後葉)の遺物が出土したもの、他の遺構との関連から見て時期的な問題が残る。現小牧街道を横断していることから、SD55の地割りを否定して小牧街道が設定されたことになる。

SD109 (第8図) 59E区で検出された東西溝で、SD108と併走するが13m程で止まる。

SD108 (第8図) 59E区に所在する東西溝で、SD55と同一の可能性があり、掘り返しが認められる。SD179・SE55を切っており、SD164の手前で止まっている。II期に属する。

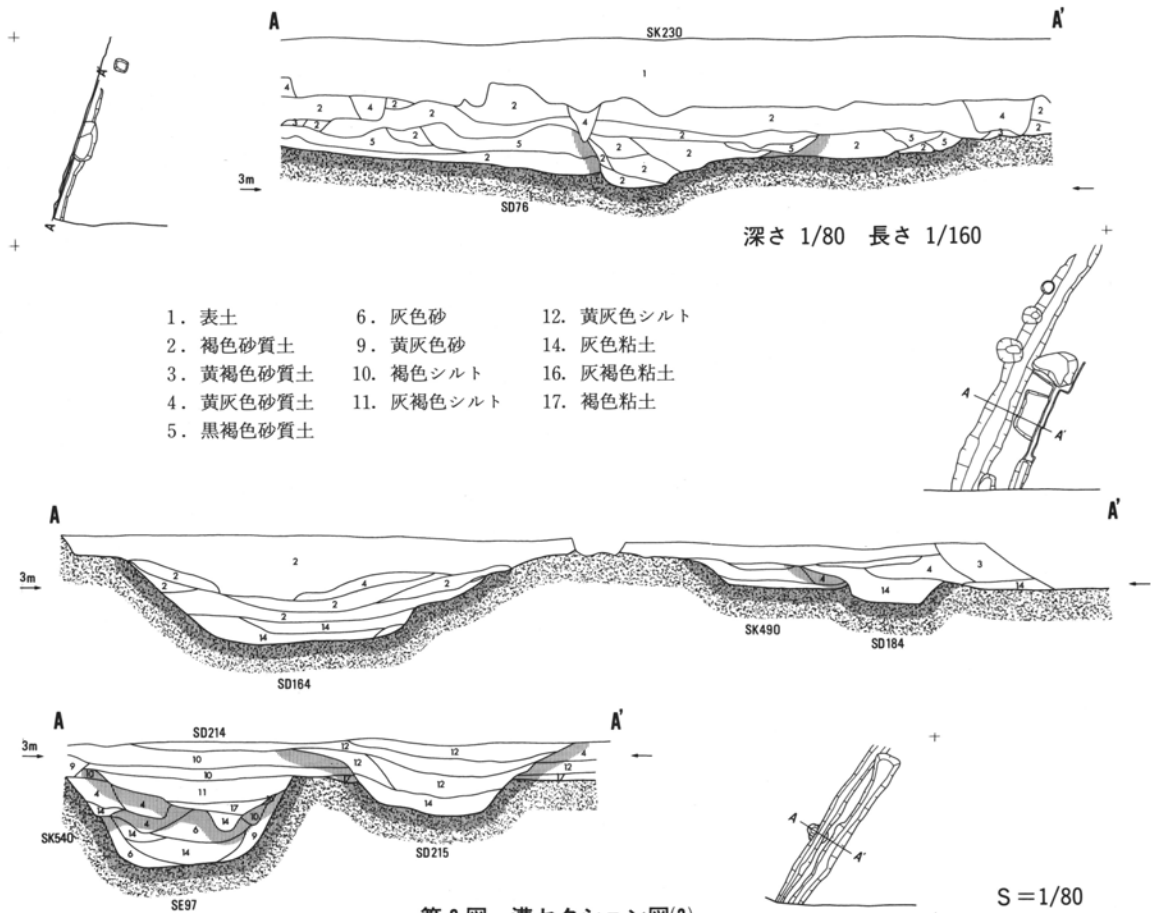
SD133 (第8図) 59E区で検出された南北溝で、SD108と連結している。幅3.5m~4.5mを測り、SE48・SE49・SE50に切られる。SD108と共に屋敷を区画する溝であろう。I-3期。

SD179 (第8図) SD108と直交するが、SD108・SD181に切られる。

SD76 (第9図) 60C区で検出された現小牧街道と併走する南北溝で、SK230に切られる。北端部の形状が不明であるが、幅1.0m~1.6mを測り、I-3期の遺物が出土した。

SD164 (第9図) 59CD区で検出された南北溝で、北部西肩は検出できなかった。幅3.2m~4.4mを測り、断面形は逆台形を呈す。西側自然堤に展開する屋敷群の外側を区画する溝であろう。II期。

SD184 (第9図) SD164と併走する溝で、屋敷群の外側を区画するものでであろう。



3. 畝

溝のうち、規模が幅0.2m～0.6m、深さ0.1m～0.5mの溝が数条平行して走るものがある。これらは畑であるか否かは問題があるが、畝状遺構として報告する。

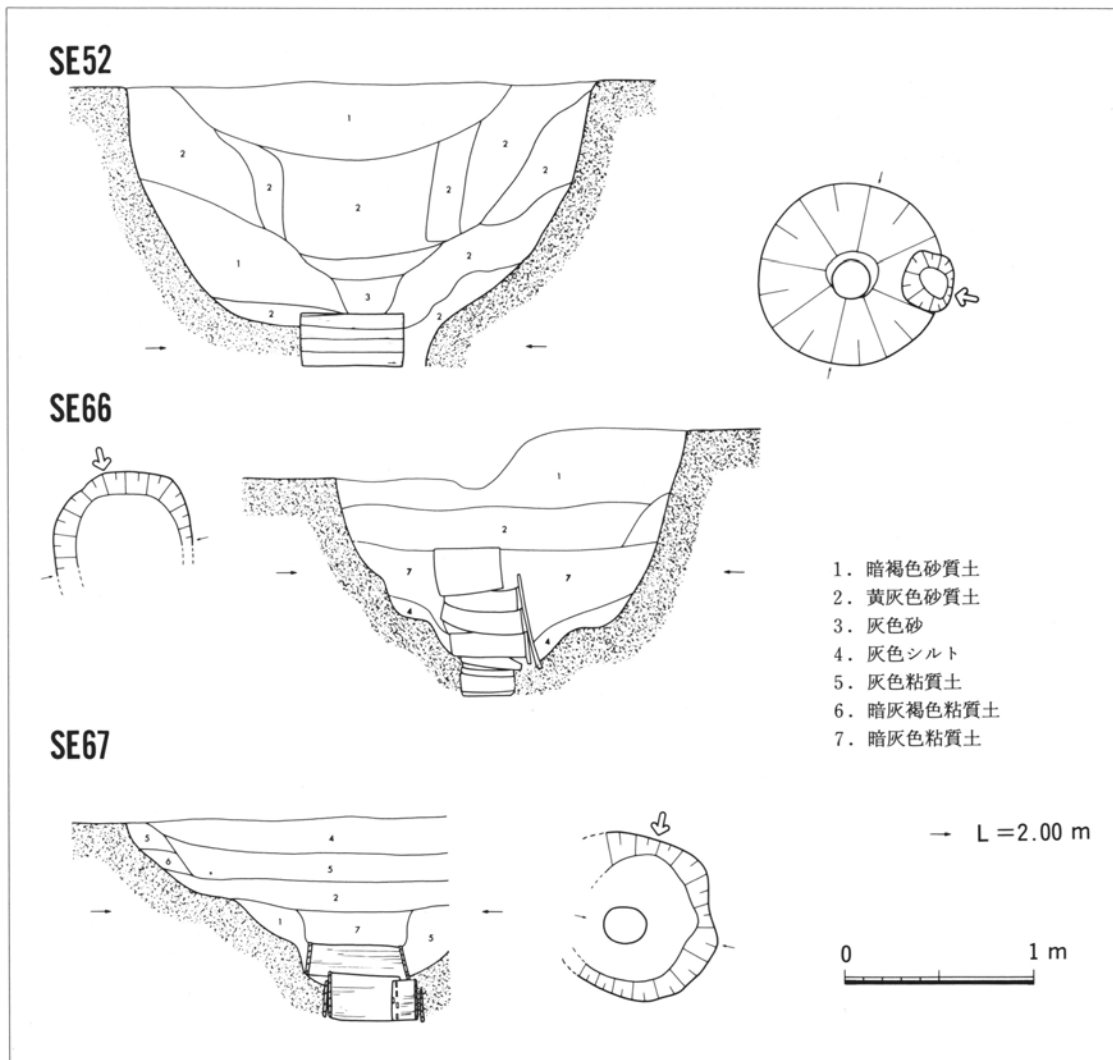
畝は、調査区西端部の畝群A（SD01～SD04）、SD09に囲まれた屋敷内の畝群B（SD13～SD16）、59E区の北の畝群C（SD101～SD105）、59E区の南の畝群D（SD123～SD127）、がある。畝群B・畝群Cは東西方向に走る畝、畝群A・畝群Dは南北方向に走る畝であり、畝群Cを除く畝は他の遺構とは重ならない。

4. 井戸

井戸は内部施設によって①方形の木組と曲物の組み合わせのもの、②曲物のみのもの、③竹材を用いたものに分類できる。井戸は廃棄の際に内部施設を抜き取った可能性があり、必ずしも残存した遺構による分類が正確とは限らないが、便宜的に整理すると以下ようになる。

①方形木組と曲物 SE66、SE55、SE90、SE91、SE95

②曲物のみ SE52、SE67、SE72、SE74、SE75、SE80、SE93、SE92、SE96

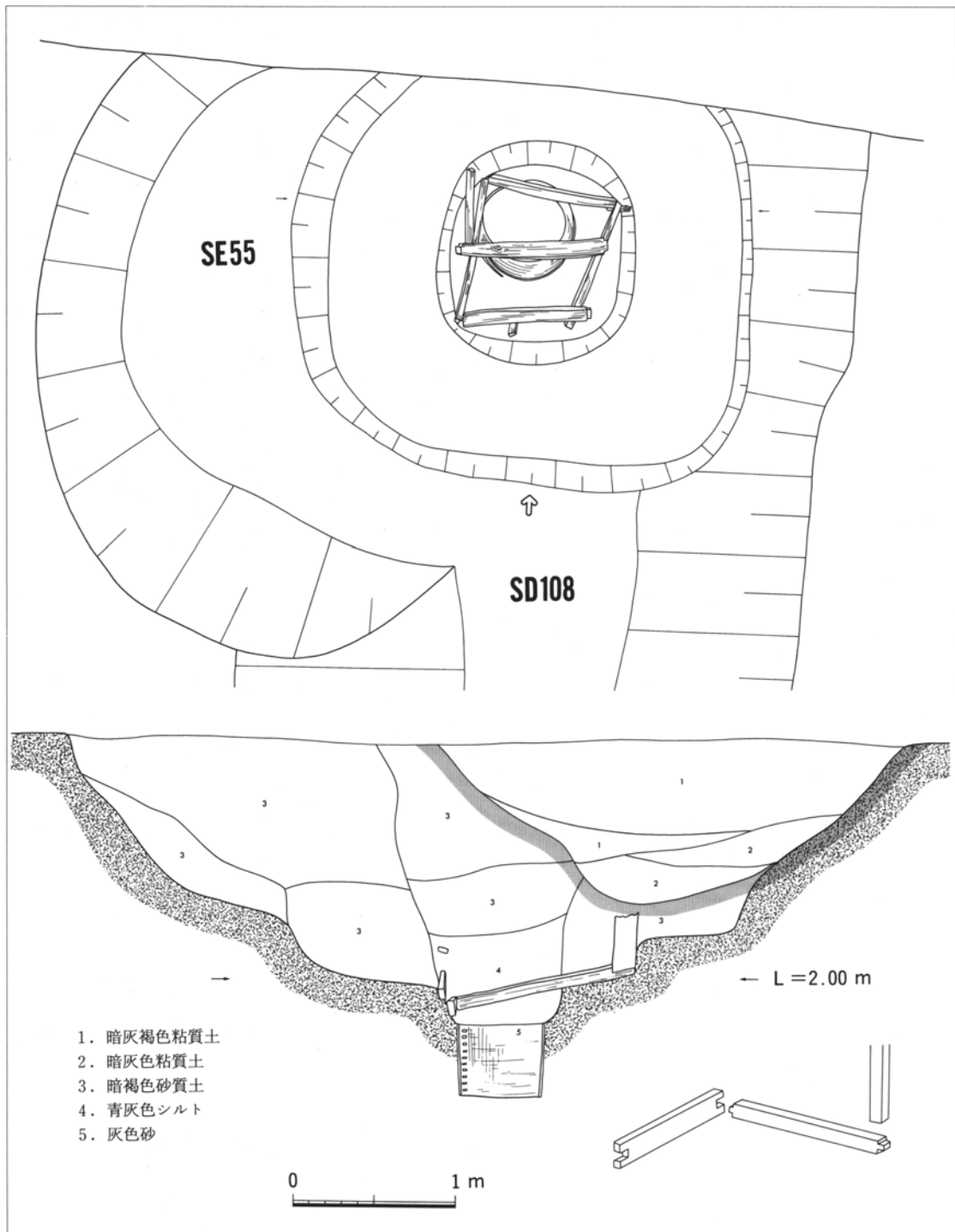


第10図 井戸実測図(1)

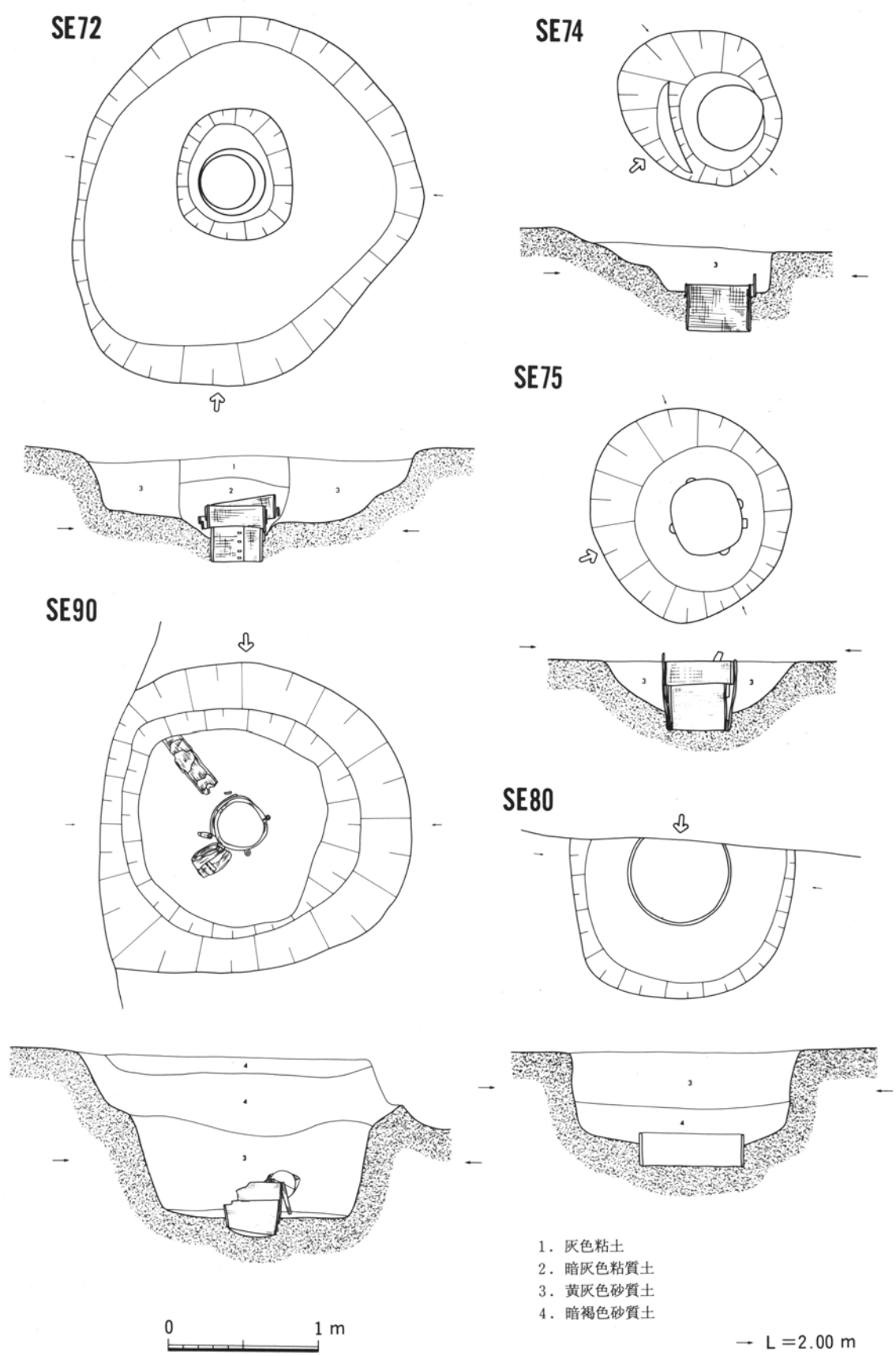
③竹材を用いたもの SE73、SE86

東側の低地部分で検出された井戸は曲物の内部施設をもつのみで、西側の自然堤防上に分布する井戸に比べると簡略化された構造をしている。

SE52 (第10図) 59E区の中央部、SD97とSD108との間の位置に当たる。掘形は径2.3mの円形で、深さは1.5mを測る。掘形上半は内部施設の抜き取りの際に掘り返され、拡張された可能性がある。



第11図 井戸実測図(2)



第 12 図 井戸実測図(3)

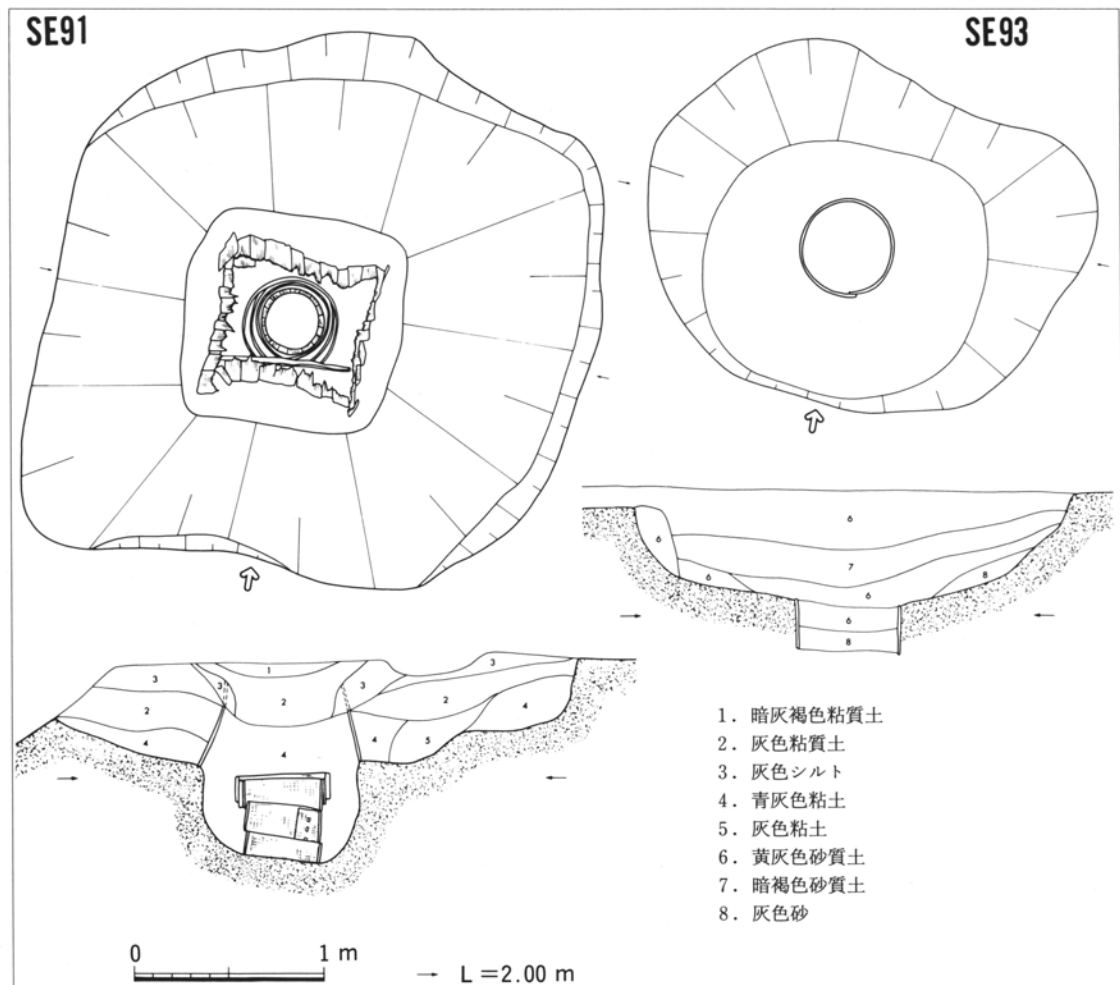
最下部には径0.55mの曲物が1段のみプランのほぼ中央に残存している。I-1期。

SE66 (第10図) 59D区の最南部に所在し、SD185を切る井戸である。掘形は半分のみ確認できたが、短径1.8mの楕円形で深さは1.4mを測る。中位から下層に曲物が5段内部構造物として設置されている。曲物の脇に縦板が残存しているが、方形の木組があったか否かは不明である。

SE67 (第10図) 60A区の中央部に存在し、掘形の西端部が検出できなかった。掘形は径2.3mの円形でほぼ中央に径0.5mの曲物が2段のみ存在する。

SE55 (第11図) 59E区の中央部に位置し、SD108の下層から検出された。一辺5.3m程の隅丸方形の掘形で、断面形を見ると2段掘りの形状になっている。深さは2.5m。掘形中央の最下部には径0.5mの曲物が1段のみ存在し、その上位には方形の木組がある。木組は角材を「組手接」で方形に組んだ横棧で、この他には隅柱が一本残存するのみで、縦板は遺存しない。埋土は井戸構築時の裏込め土と井戸廃絶時の客土と分離できる。I-3期に属する。

SE72 (第12図) 59A区の西部に所在し、SE73が隣接する。掘形は径2.3mの不定形で、深さ0.7mを測り、自然堤防上にある井戸に比べ浅い。掘形中央部には径0.4mの曲物が2段存在している。井戸の深さ及び出土状況から見て、曲物の上位に他の構造物が存在した可能性は低く、当初より曲物の

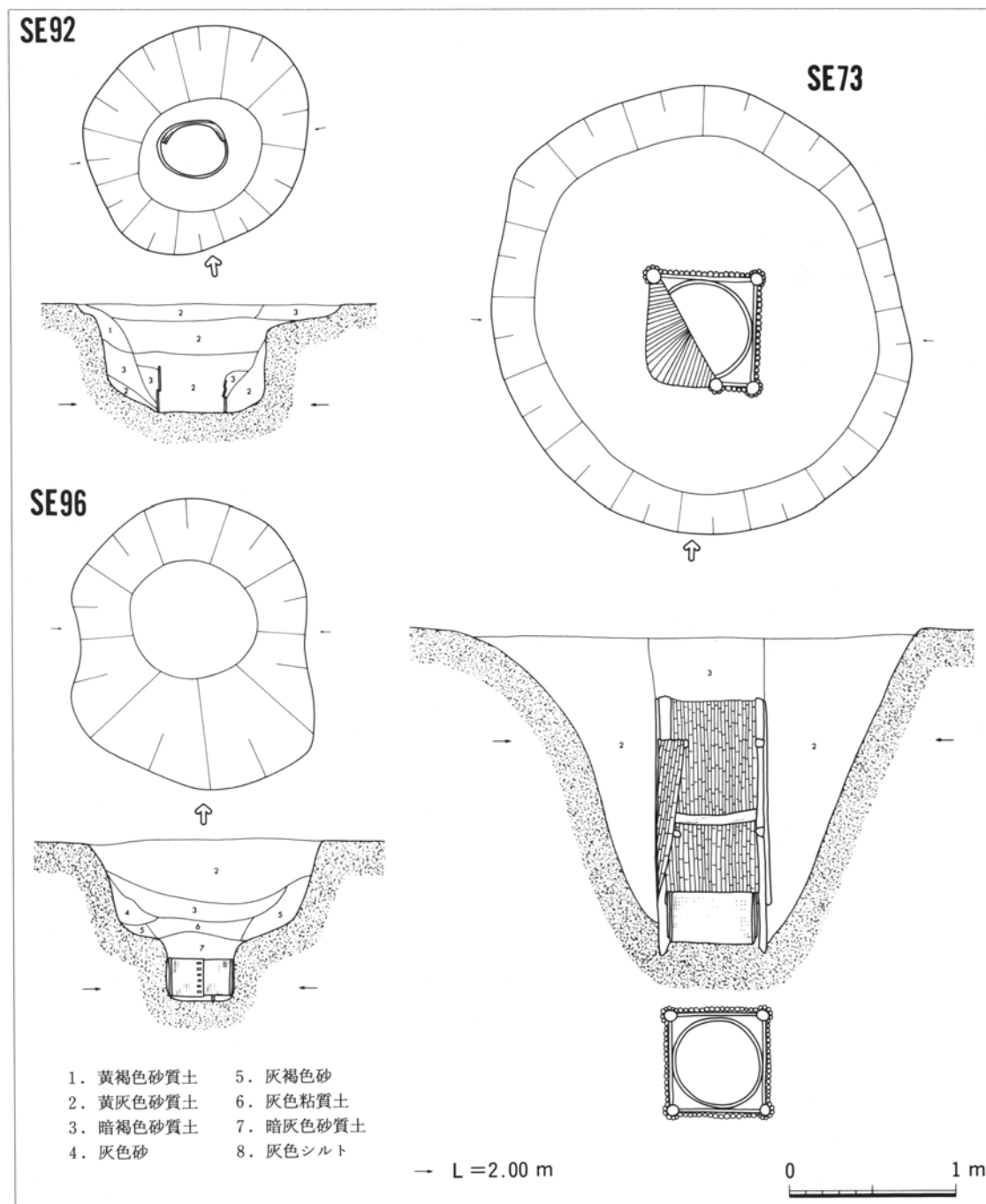


第13図 井戸実測図(4)

みを内部施設としていたものであろう。

SE74 (第12図) 59A区の中央部・SB10の東に位置し、SD200の下層から検出された。掘形は径1.0mの円形で、中央部よりやや東には径0.4mの曲物が1段存在する。深さは0.6mを測り、SE72と同様に浅い。

SE75 (第12図) 59A区の中央部・SE74の北部に所在し、SD200の下層から検出された。掘形は径1.4mの円形で、中央部には検出面から径0.5mの曲物が確認された。曲物は2段存在し、半裁竹材で固定されている。



第14図 井戸実測図(5)

SE90 (第12図) 59B区の北部に所在し、SD198・211に切られる。掘形は径2.1mの円形で、中央部には径0.4mの曲物が2段存在し、丸竹材で固定している。他に横たわった状態で曲物が1個出土した。

SE80 (第12図) 59B区の中央部に所在する井戸で、掘形は径2.1mの円形である。径0.7mの曲物が内部から出土した。SE90と同様、埋土は均質で井戸廃絶時に掘り返しが行われた可能性がある。

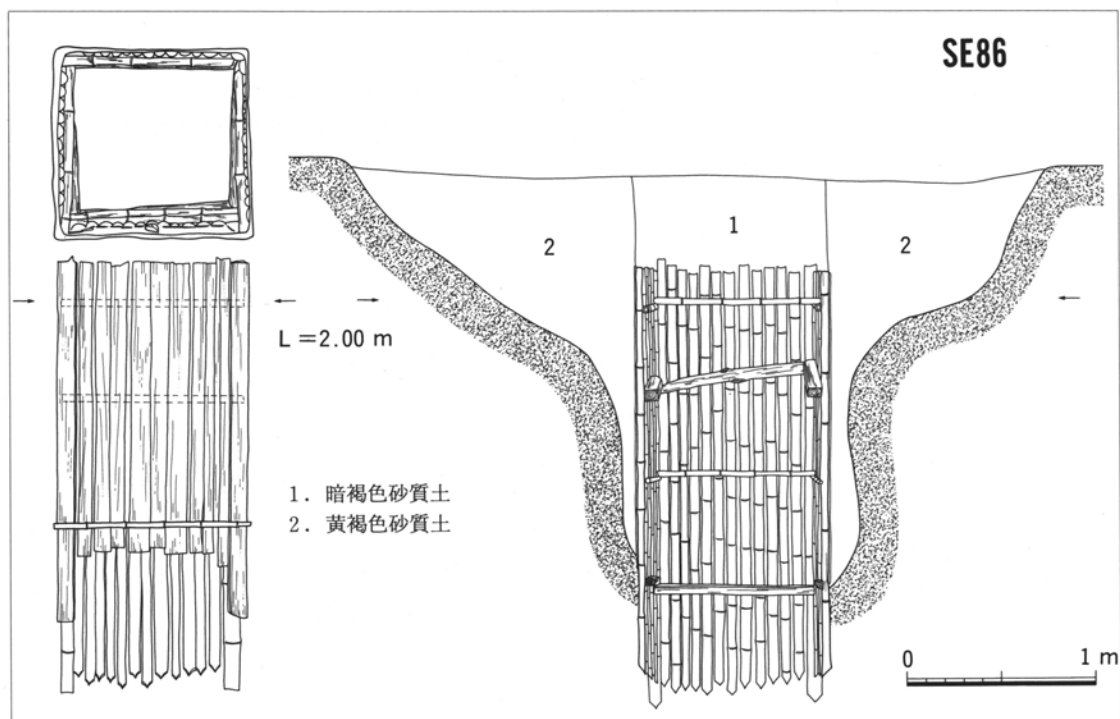
SE91 (第13図) 59B区の北部に所在し、SD200に切られる。一辺約3.0mの不定方形の掘形で、最下部には径0.4mの曲物が3段のみ存在する。最上段の曲物は更に外側に曲物を重ね、その上位にある方形の木組は縦板を配列している。横棧らしき材が1本残存するが、横棧としての木組は存在しない。内部構造物は抜き取られてはいないようである。I-4期である。

SE93 (第13図) 59B区の中央部に所在する井戸で、掘形は径2.4mの不定円形である。径0.5mの曲物が内部から出土し、埋土は均質な平行堆積で井戸廃絶時に掘り返しが行われた可能性がある。

SE92 (第14図) 59B区の中央部・SB11の西部に存在する。掘形は径1.4mの円形で、深さ0.6mを測り、最下部には径0.4mの曲物が2段残存する。断面観察によると上部の構造物が抜き取られた可能性がある。

SE96 (第14図) 60E区の北部に所在し、掘形は径1.4m×1.8mの楕円形で、深さ1.0mを測る井戸である。最下部には径0.4mの曲物が1段残存する。

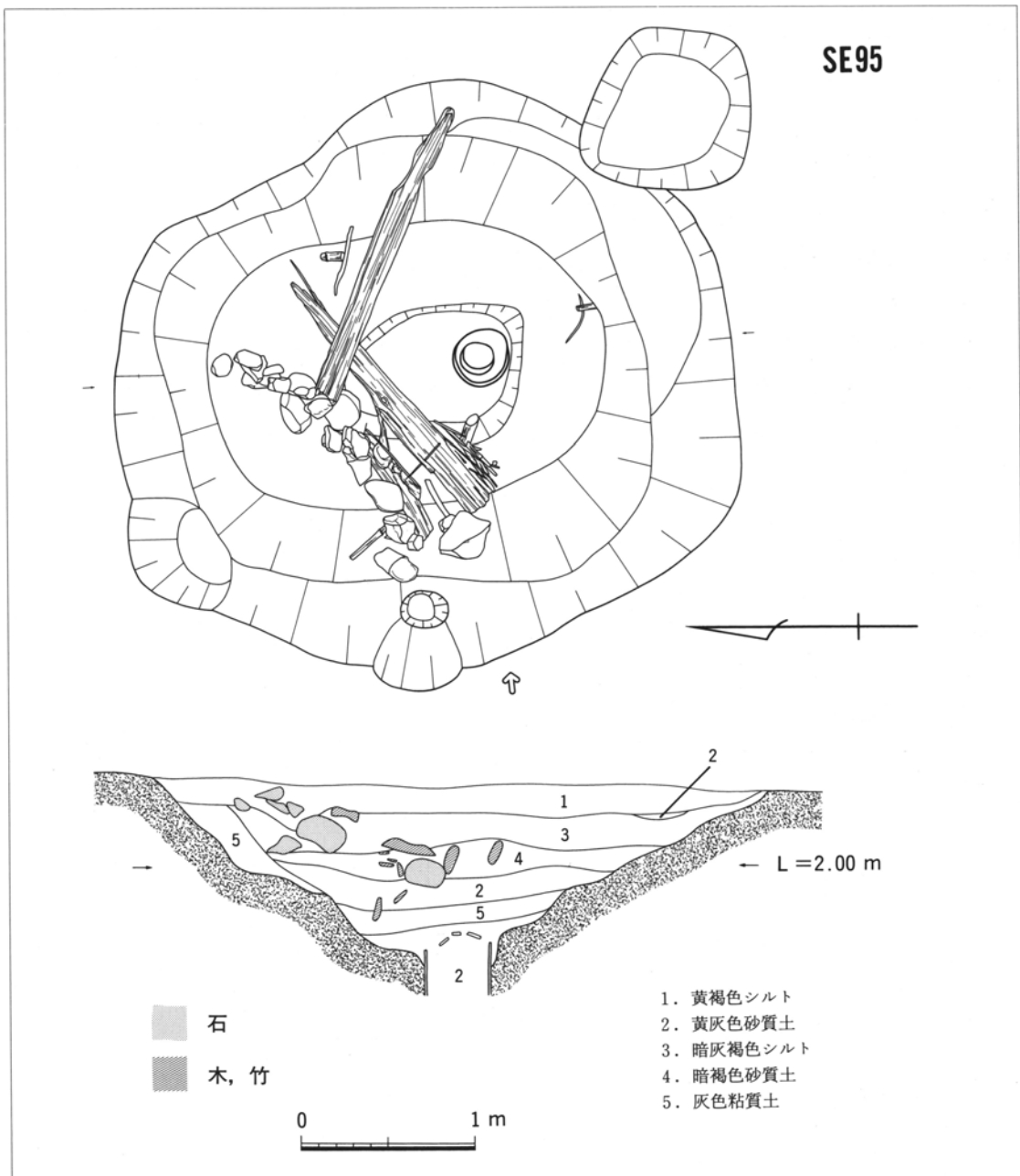
SE73 (第14図) 59A区の中央部・SE72の東部に所在する井戸である。掘形は径2.1mの円形で、内部施設は最下部に曲物を据え、その上位に方形の枠が存在した。方形枠の横棧は、四隅に太めの丸竹を柱として立て、この四隅竹柱のほぞ穴に細竹を差し込んで作られた。この外側には細丸竹を縦板がわりに立て並べ、土砂の崩落を防いでいる。なお、方形枠は一部土圧によって変形していた。



第15図 井戸実測図(6)

SE86 (第15図) 59A区の南部・SE83の北部に所在する。掘形は径3.5mの円形で、内部施設は一辺が1.0mの方形の枠のみが存在した。曲物は無い。四隅に太めの丸竹を柱として立て、横棧は細丸竹と角材を方形に組んでいる。横棧の外側には先端を鋭利に尖らせた半裁竹材の凹面を内側に向けて立て並べられ、その外側に縦板を配列させている。更に外側に縦板を固定するために細丸竹の横棧を設置している。

SE95 (第16図) 59B区の南部に存在する。掘形は径3.8mの不定円形で、最下部には径0.4mの曲物が1段残存する。埋土の上層には、多量の石材・木材が投棄されている。竹あるいは木による方形木組の存在が想定できる。
(鈴木正貴・遠藤才文)



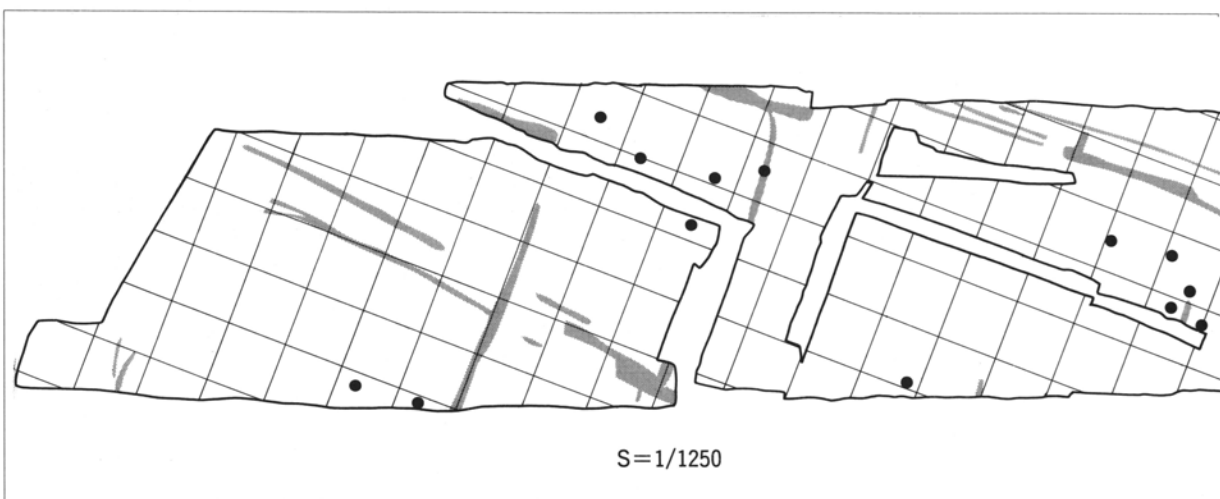
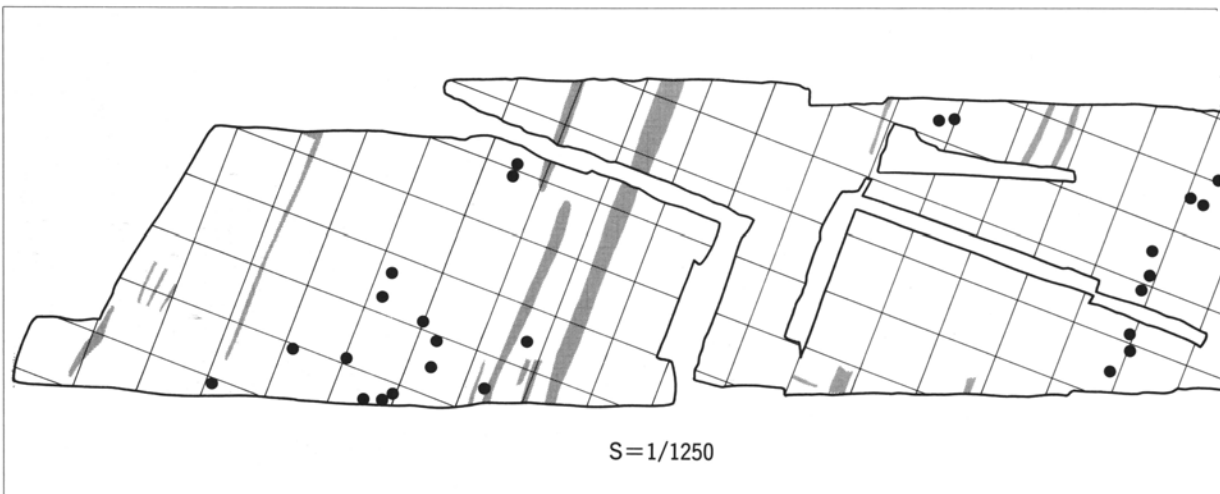
第16図 井戸実測図(7)

第3節 城下町期の遺構

城下町期の遺構には、掘立柱建物や溝、畝、井戸、土坑などがある。溝は、西側の自然堤防上では南北に走るものが主体となり、東地区ではL字に屈曲するものが多い。溝の規模は東側の方が幅4～5mと大きいものがある。井戸は、西側の自然堤防上では3～10m間隔で一列に配置される傾向がある。掘立柱建物は溝に面して建てられ、大規模なものはない。

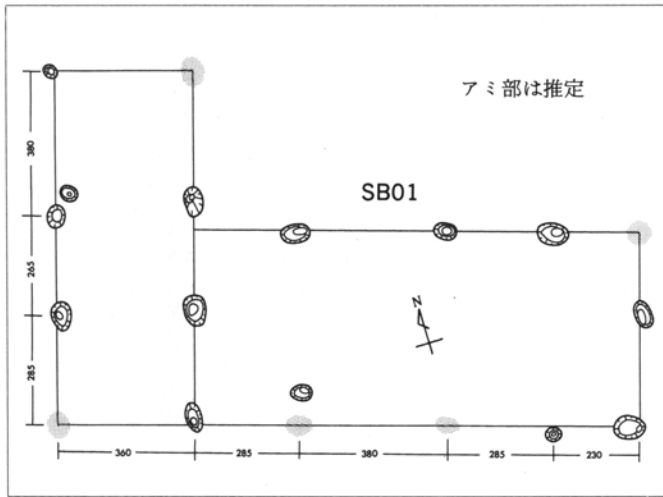
これらの様相から当時の景観を復元すると、次のようになる。西側の自然堤防上に南北道路の小牧街道が設定され、この両側に町屋が展開している。町屋の東には中規模の溝で区画された寺社地が広がっており、更に東には清須城下町の最外郭を囲む「外堀」が南北に走っている。清須城下町の範囲は西側の自然堤防を中心に展開し、東の後背湿地を限りとしている。主要な遺構の方位はN-10°～12°-E前後を示しており、この地区の基本軸となっている。

城下町期は前期と後期にこれまで区分されている。今回の調査区では城下町期後期に属する遺構群が検出され、前期のものは基本的に存在しない。しかし、遺物の様相を見るとこれまで前期に属していた大窯II・III期の遺物も含まれていることが判明している(第三章)。あるいは前期の終りの段階にも、今回の調査区付近に遺構があった可能性が指摘できよう。



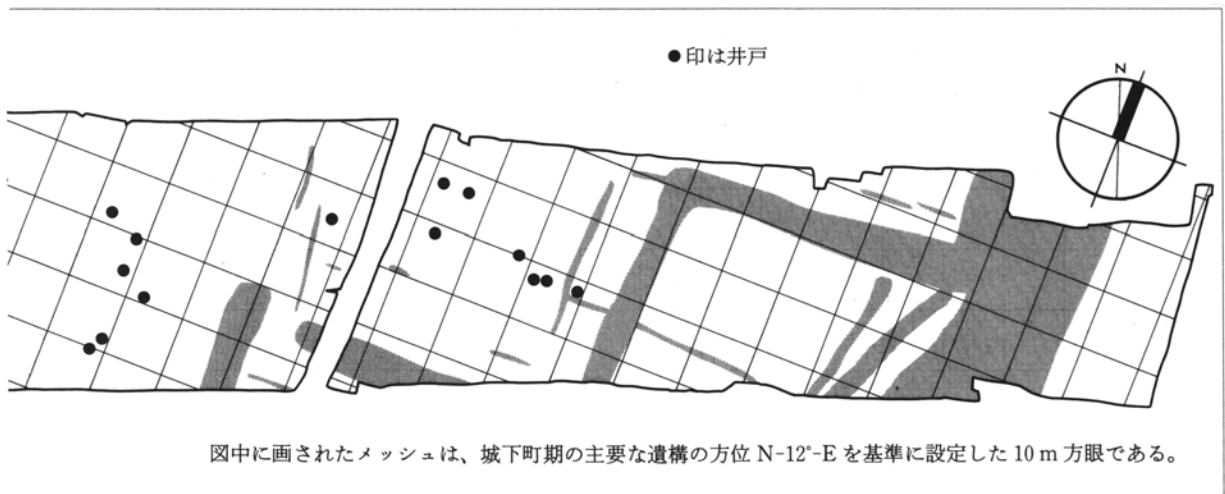
1. 掘立柱建物

掘立柱建物は、西側から中央にかけての自然堤防上で7棟検出されている。なお、自然堤防上には無数のピットが展開しており、今回報告したもの以外の建物の存在も予想される。



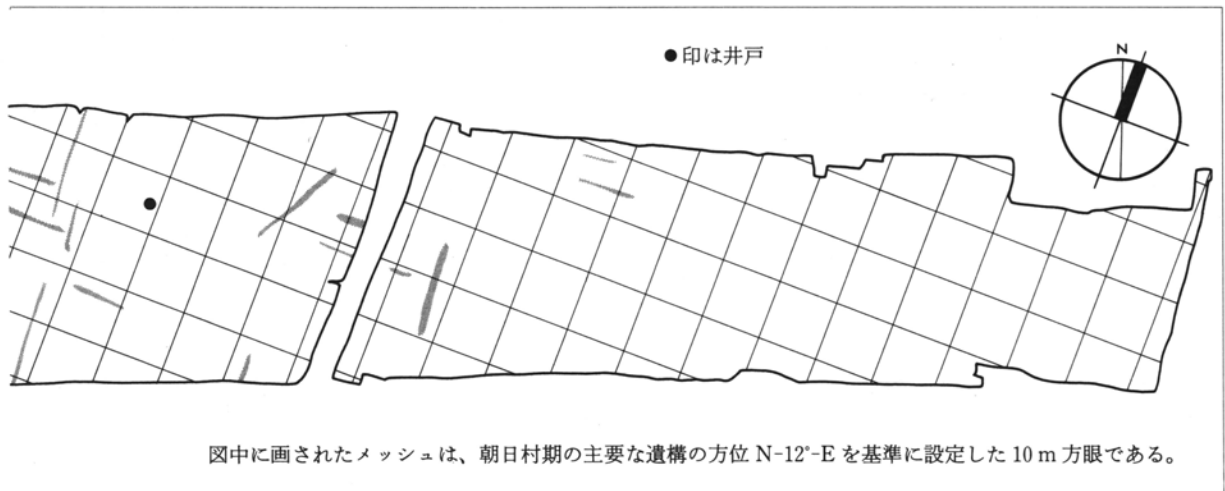
SB01 (第19図) 調査区西端部 (58区) で検出された柱穴内に根石を持つ掘立柱建物である。東西4間 (11.8m)、南北2間 (5.2m) を測る東西棟建物に、柱穴を共有する状態で東西1間 (3.6m)、南北3間 (9.3m) を測る南北棟建物が連続するものである。東西棟に対する横屋として南北棟が存在したものと推定される。柱穴は全部で14本検出され、礎石が残存するものは1個、根石が残

第19図 建物跡模式図(2) (単位は cm)



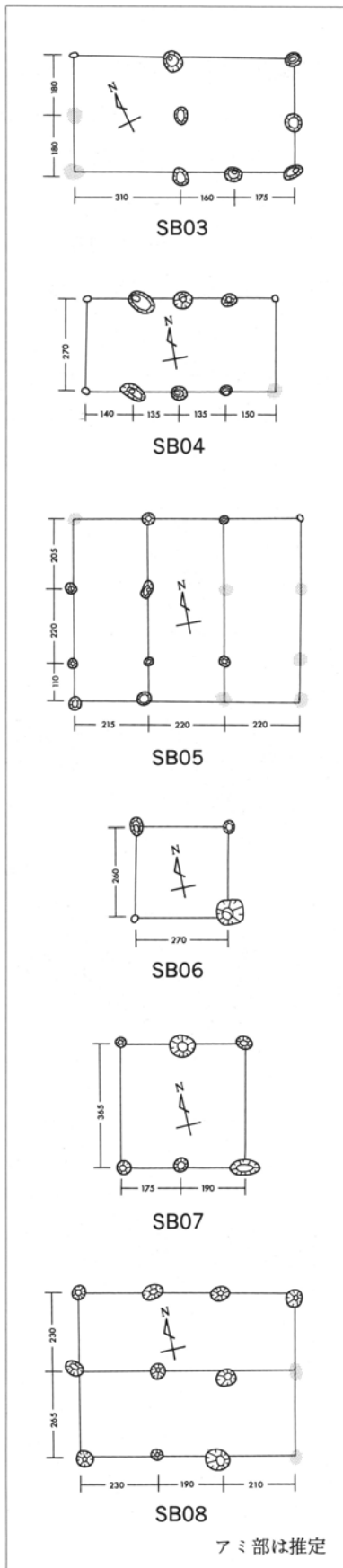
図中に画されたメッシュは、城下町期の主要な遺構の方位 N-12°-E を基準に設定した 10 m 方眼である。

第17図 城下町期遺構配置図



図中に画されたメッシュは、朝日村期の主要な遺構の方位 N-12°-E を基準に設定した 10 m 方眼である。

第18図 朝日村期遺構配置図



第20図 建物跡模式図(3) (単位は cm)

存するものは10本存在する。東西棟と南北棟の境界にSD06が走り、溝内から根石が検出されている。SD06埋没後SB01は築造されたと思われる。また、東端部はSD09に接する。

SB03 (第20図) 調査区西部(58区)で検出された柱穴内に根石を持つ掘立柱建物である。東西3間(6.5m)、南北2間(3.2m)を測る東西棟建物で、柱間は等間隔ではない。南西隅の柱穴は検出できなかった。柱穴の規模は径約0.5m、深さ0.1m~0.3mを計測し、根石が残存していたものは4本である。SB03の南側に近接してSE08とSE09が所在し、同時に存在した可能性がある。

SB04 (第20図) 調査区北端部(59E区)に所在する東西4間(5.6m)、南北2間(2.7m)を測る、柱穴内に根石を持つ東西棟建物である。南西隅の柱穴は検出できなかったが、南西隅を除く四隅の柱穴には根石が残存せず、柱穴の規模も他に比べ小さい。四隅の柱間は中央部の等間隔な柱間とは異なり、庇のようなものがあつた可能性も指摘できる。東端部はSD88に接する。

SB05 (第20図) 調査区南端部(59E区)で検出された東西棟掘立柱建物である。東西3間(6.55m)、南北2間(4.25m)を測り、南面に1間分(1.1m)の庇が取り付く。北東隅など6本の柱穴が検出されていないが、柱穴内には根石は持たない。柱間間隔は等間隔(2.2m)で規格性を持つ。南には井戸SE37が接する。西端部がSD118・SD116に面する。

SB06 (第20図) 調査区南部(59E区)に存在する東西3間(2.7m)、南北1間(2.6m)の小規模な掘立柱建物である。柱穴内には北東隅を除き根石が残存するが、柱穴規模はまちまちである。SB05の北東の位置に所在し、東にはSE45が存在する。

SB07 (第20図) 調査区中央部(59E区)に所在する東西2間(3.65m)、南北1間(3.65m)を測る東西棟建物である。柱穴内には根石は持たない。東西方向の柱間間隔は1.75mと1.9mで、SE43埋没後築造されている。

SB08 (第20図) 調査区北端部(59E区)で検出された東西3間(6.3m)、南北2間(4.95m)を測る東西棟掘立柱建物である。南東隅などの柱穴は検出できなかったが、柱穴には根石が残存しない。SB08周辺には夥しい数のピットが検出されており、建て替えが何度か行われたものと推定できる。東面はSD153・南面はSD87に面して所在する。

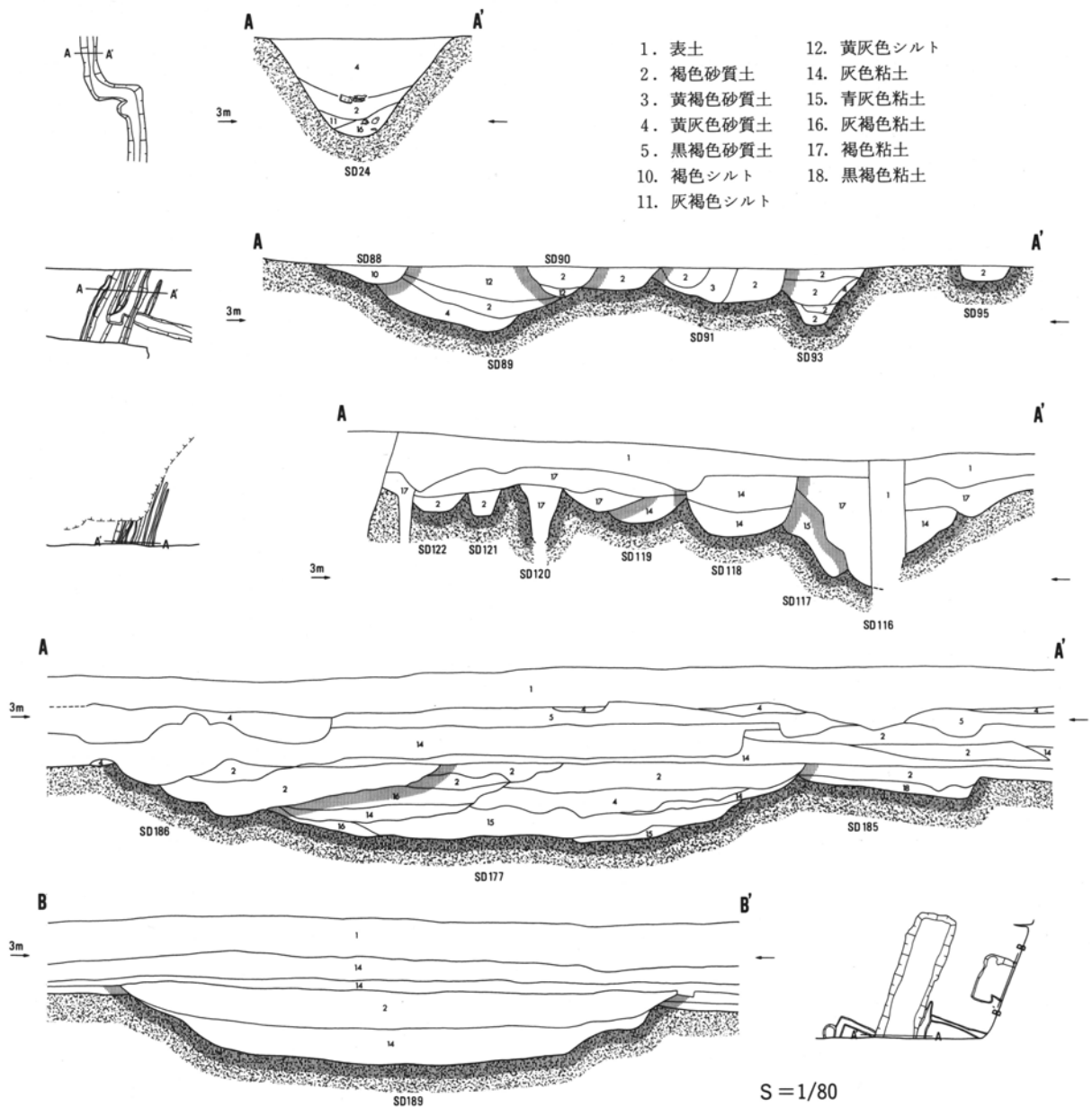
2. 溝

溝はすべて素掘りで護岸施設を伴うものは存在せず、その規模は多種多様である。方位はN-10~12°-Eとこれに直交する方位に限られる。西側では南北に走るものが多く、溝に面して建物や井戸が配列する。東側では幅4~5mでL字に屈曲するものがある。溝は、主に屋敷を区画する機能があったと思われるが、用排水などにも利用されたであろう。ここでは主要なものについて記述する。

SD24 (第21図) 調査区中央部を南北に走る。溝幅1.6m~2.0m、深さ0.5m~0.9mを測る。SD26は、SD24南端部から継続して走り、SD27は平行して走る。南端部は屈曲してSD27に接続し、この付近に多数の土坑が集中して掘削されている。遺物は屈曲点の上層から多数出土した。

SD88 (第21図) 調査区北端部 (59E区) を南北に走る幅0.8m、深さ0.2mの溝。SD89を切る。

SD89 (第21図) 調査区北端部 (59E区) を南北に走る幅3.0m、深さ0.8mを測る溝。SD88・S



第21図 溝セクション図(4)

D90に切られる。SD93と対応して道路の側溝となるか？方位はN-12°-Eである。

SD90 (第21図) 59E区を走る幅0.8m、深さ0.2mの溝。SD88と対応して道路の側溝となるか。

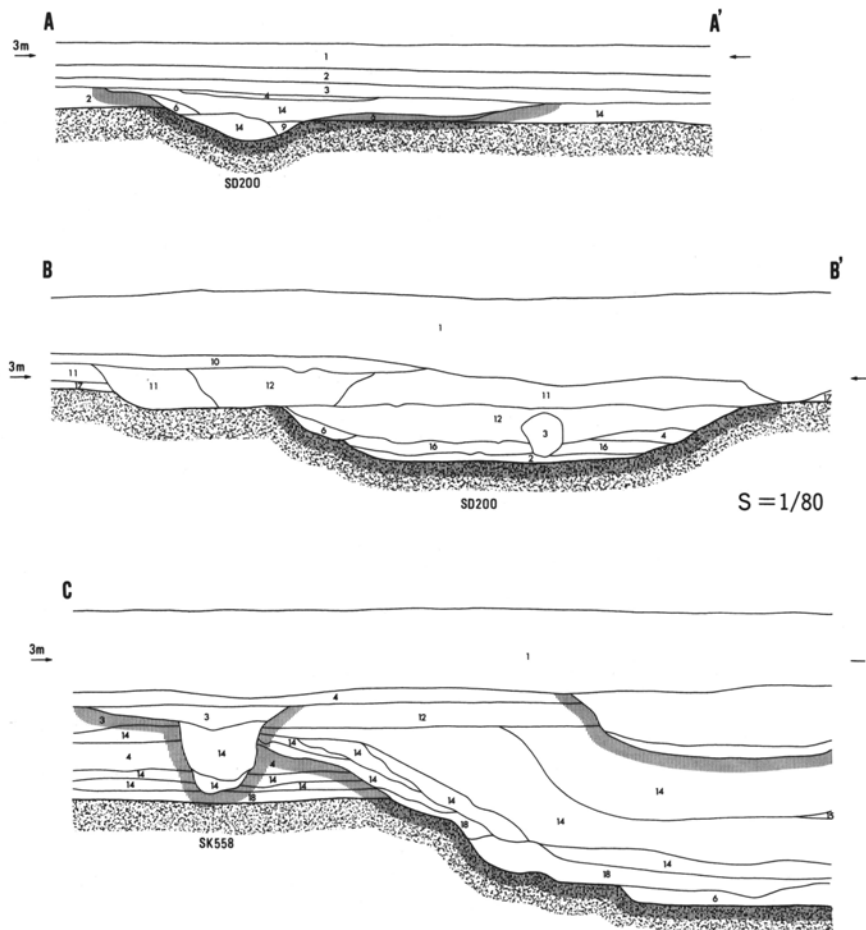
SD91 (第21図) 59E区を南北に走る溝で、SD93や多数の土坑と重複し、全形は不明である。

SD93 (第21図) 調査区北端部(59E区)を南北に走る幅0.5m~1.1m、深さ0.6mを測る溝。SD91に切られる。SD89と対応して道路の側溝となると思われる。

SD116・SD118 (第21図) 59E区を走る溝。幅1.8m・1.3m、深さ1.1m・0.7mで、SD117を切る。

SD121・SD122 (第21図) 調査区南端部(59E区)を南北に走る溝で、共に幅0.4m、深さ0.3mを測る。SD116~SD122は、北端部に所在するSD88~SD93と対応し道路の側溝となる。

SD177 (第21図) 調査区東部(59CD区)を南北に走る溝で、幅7.0m、深さ0.8m、長さ17mを測るが、なお、調査区外へと南走する。溝の北端は収束し、東北斜面に遺物が群塊状態で出土した。陶



1. 表土
2. 褐色砂質土
3. 黄褐色砂質土
4. 黄灰色砂質土
6. 灰色砂
9. 黄灰色砂
10. 褐色シルト
11. 灰褐色シルト
12. 黄灰色シルト
14. 灰色粘土
15. 青灰色粘土
16. 灰褐色粘土
17. 褐色粘土
18. 黒褐色粘土

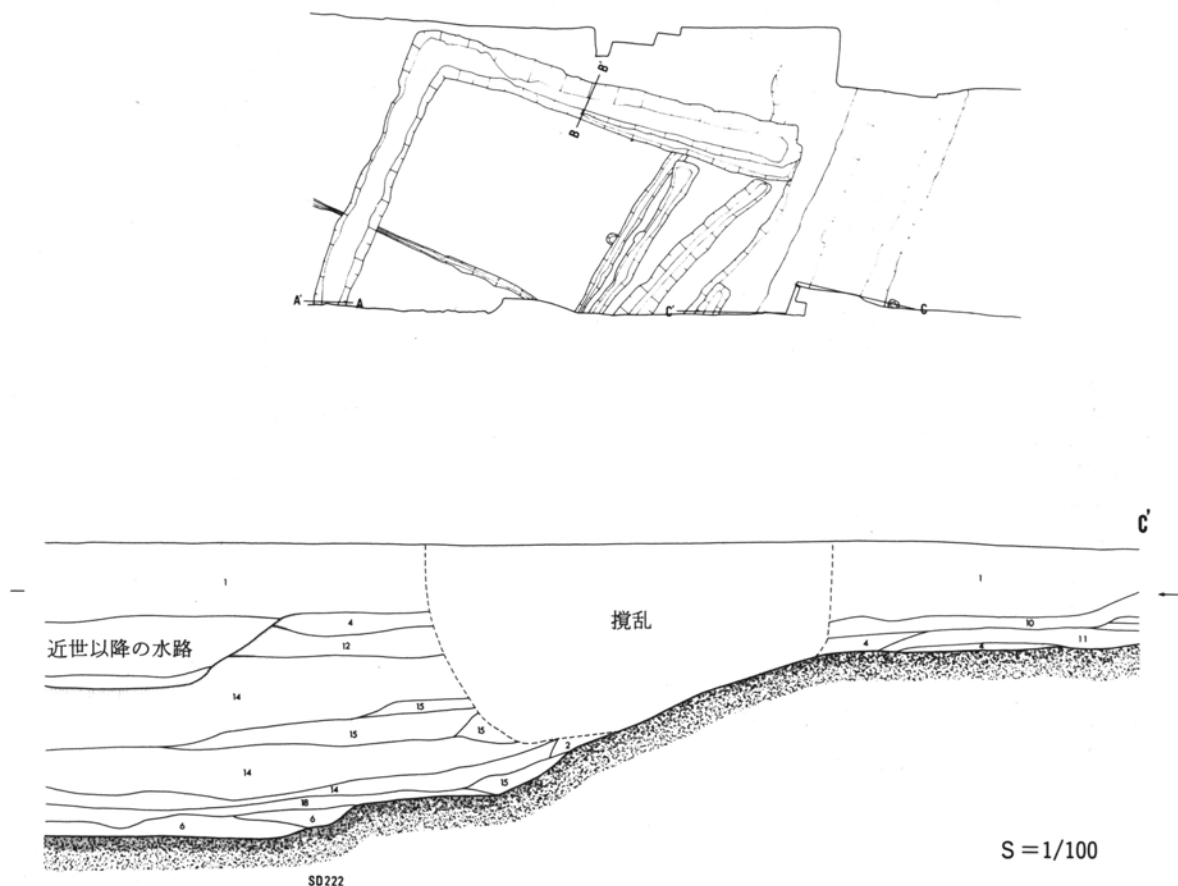
磁器類の他に、人骨・犬骨がまったく解剖学的配列を示さない混然とした状況で出土した。

SD189 (第21図) 59CD区を東西に走る溝で、幅6.5m、深さ0.8m、長さ32mを測るが、なお、調査区外へと東走する。SD177と対応して屋敷を区画するが、溝の西端は収束して土橋を造る。

SD200 (第22図) 調査区東部 (59AB区) に所在するL字に屈曲する溝。南北の方位は $N-15^{\circ}-E$ 、東西の方位は $E-6^{\circ}-S$ で、規模は現状で幅4.5m~5.5m、深さ0.3m~0.5mであるが、近現代の耕作・攪乱によって削平されており、本来は想定復元幅6m~7m、深さ1.0m~1.2mであっただろう。

SD222 (第22図) 調査区東端部 (60DE区) を南北に走る大溝で、幅15m、深さ2.5mを測る。西肩には幅3m~11mのテラスが存在し、SD200とは接続しない。東肩斜面には土坑が点在し、SD222の東には平行して配列する土坑群がある。この溝より東には城下町期の遺構はなく、溝の規模が大きいことからSD222は清須城外堀と考えらえる。

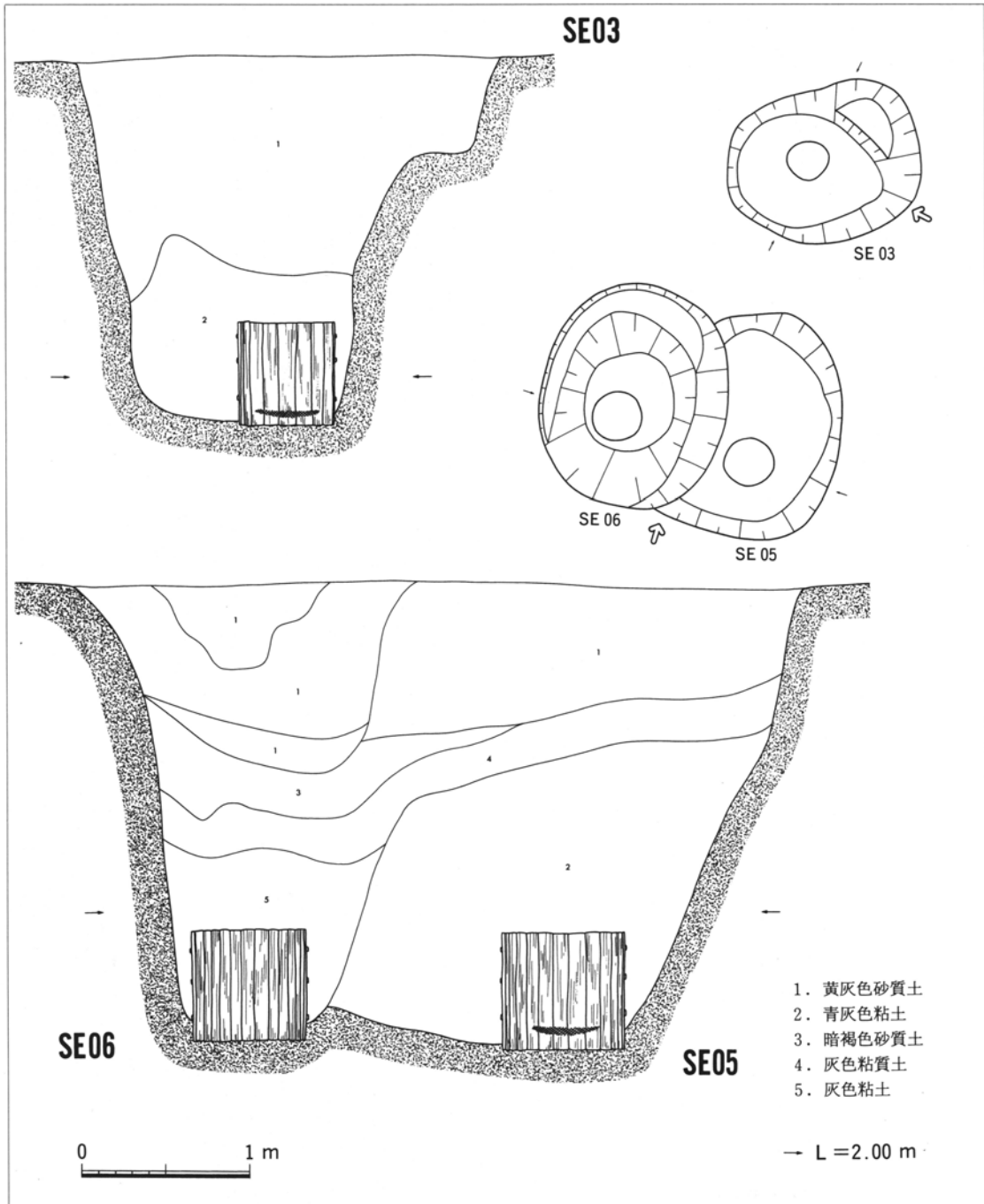
SD221・SD219 SD222の西に位置し、自然堤防と後背湿地の境に沿って設置されている。



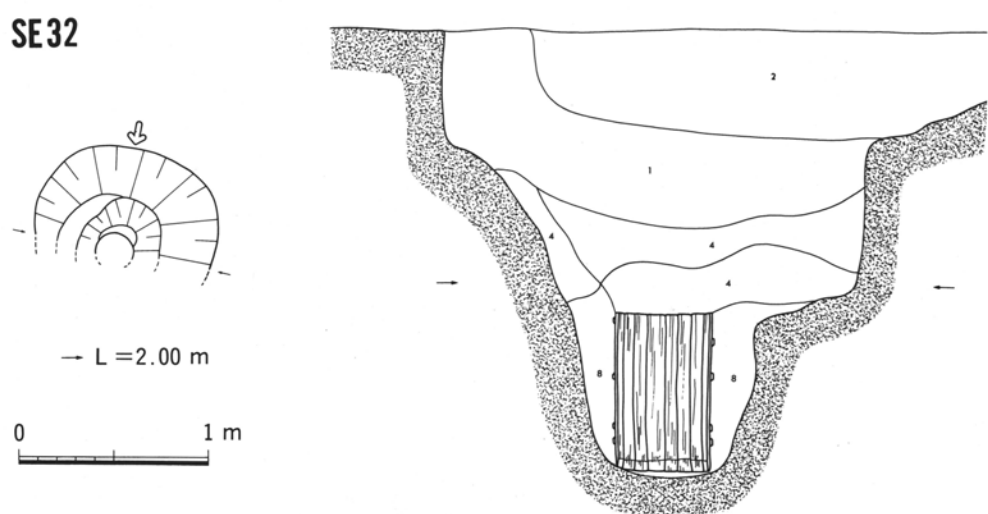
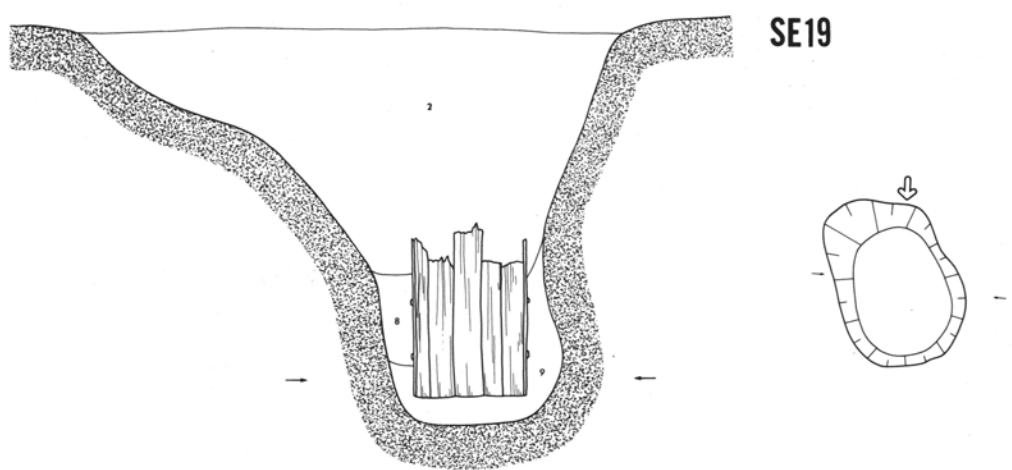
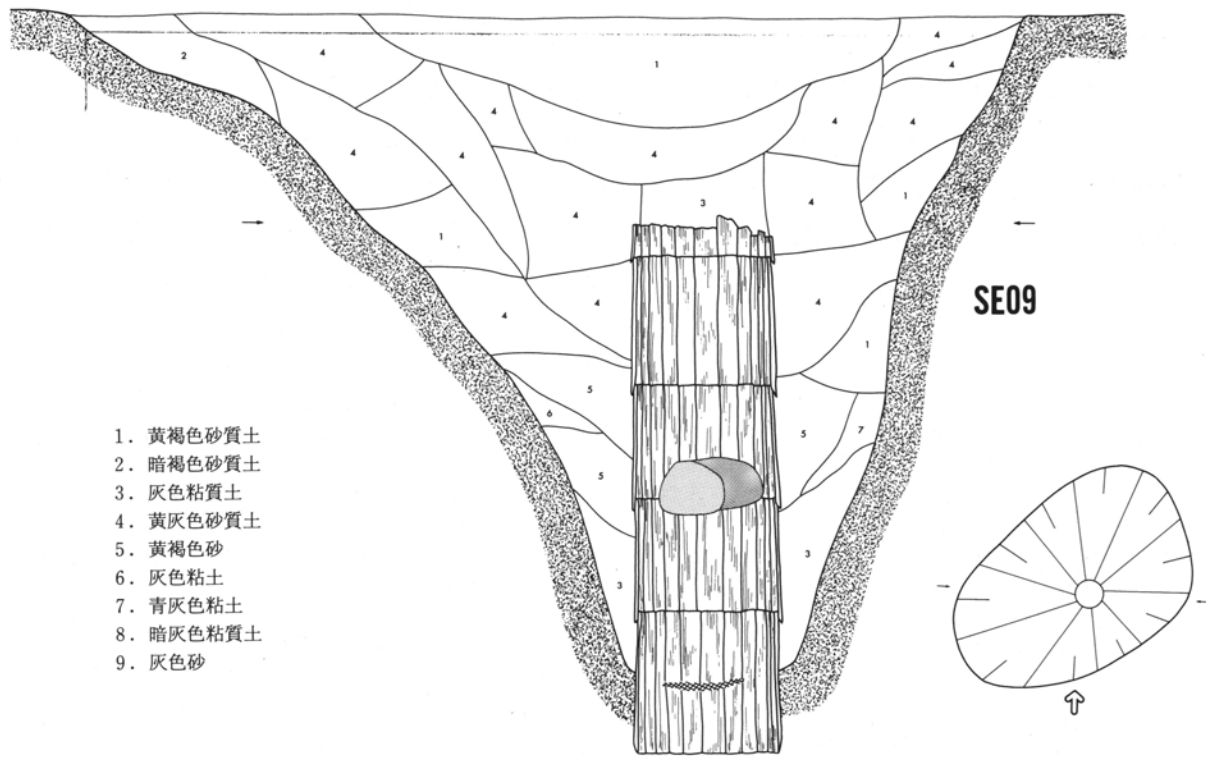
第22図 溝セクション図(5)

3. 井戸

井戸は内部施設によって分類が可能であるが、廃棄の際に内部構造物を抜き取った場合があり、本来設置された内部施設の分類はできない。従って、内部施設と遺存状況から分類を試みると、I類：結桶のみを1段あるいは数段設置して井戸側にするもの、II類：結桶を数段設置してその上位に方形の木組みを設けるもの、III類：結桶の側板が抜き取られ、竹製のタガが遺存しているもの（あるいは何も遺存しないもの）、IV類：方形の木組みのみを施設として持つものの4類に分けられる。



第23図 井戸実測図(8)



第 24 图 井戸実測図(9)

SE03 (第23図) 58区に所在するI類の井戸。径2.5mの円形の掘形の一部に階段状のテラスが存在する。結桶は1段設置され、最下部に砂の吹き出しを防ぐための笊を配置している。深さは2.2m。

SE05 (第23図) 58区に存在しSE06に切られるI類の井戸。結桶は1段で最下部に笊を置く。

SE06 (第23図) 58区に位置するI類の井戸。結桶は1段でSE05を掘り返している。

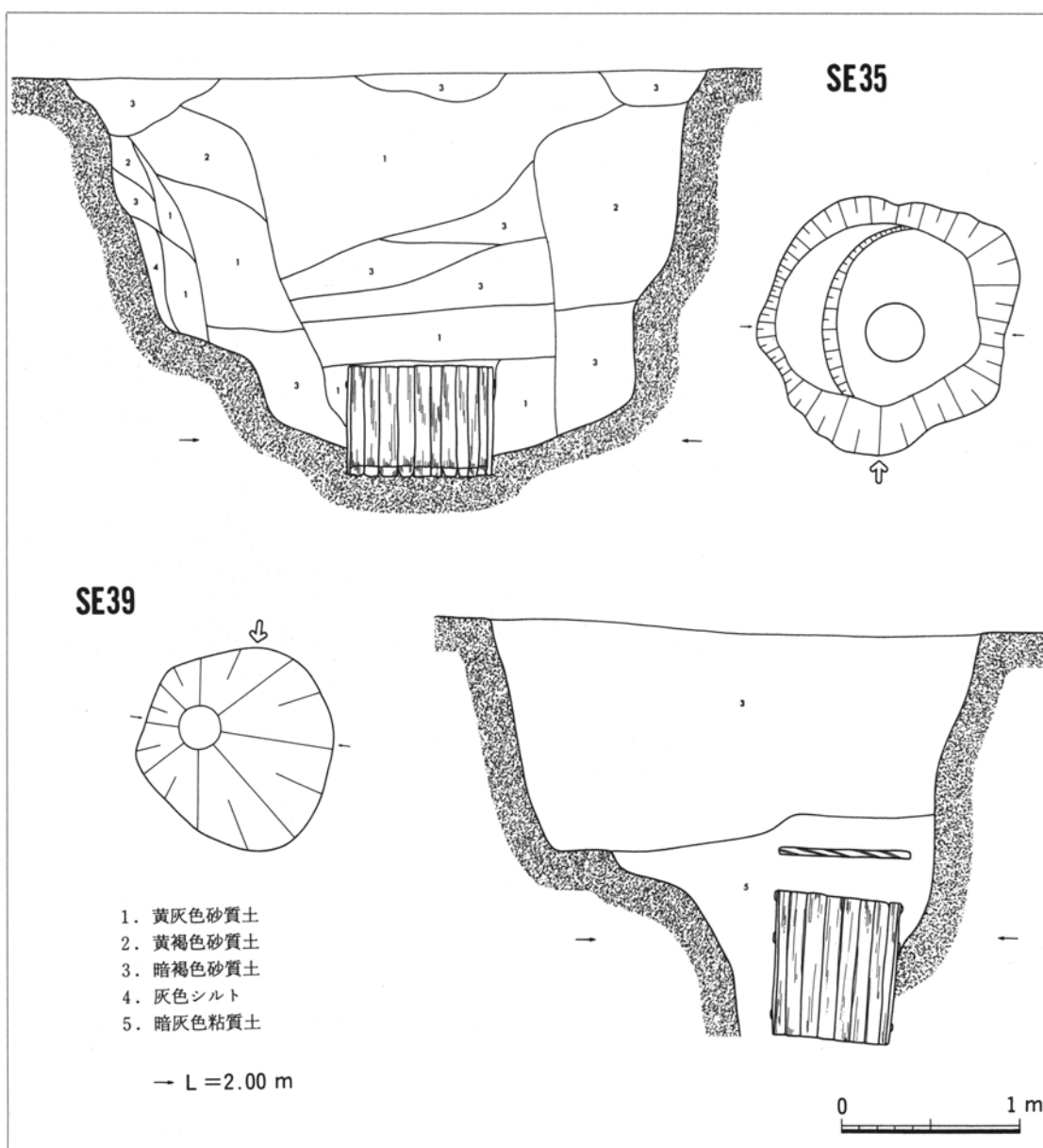
SE09 (第24図) 57区に所在するI類の井戸で深さは3.9m。径4.5m~7.0mの楕円形の掘形に結桶を5段設置している。最下部に砂の吹き出しを防ぐための笊を配置し、中に石材が投棄されている。

SE19 (第24図) SB01の南に存在する井戸で掘形は不定形である。結桶が1段残るI類の井戸。

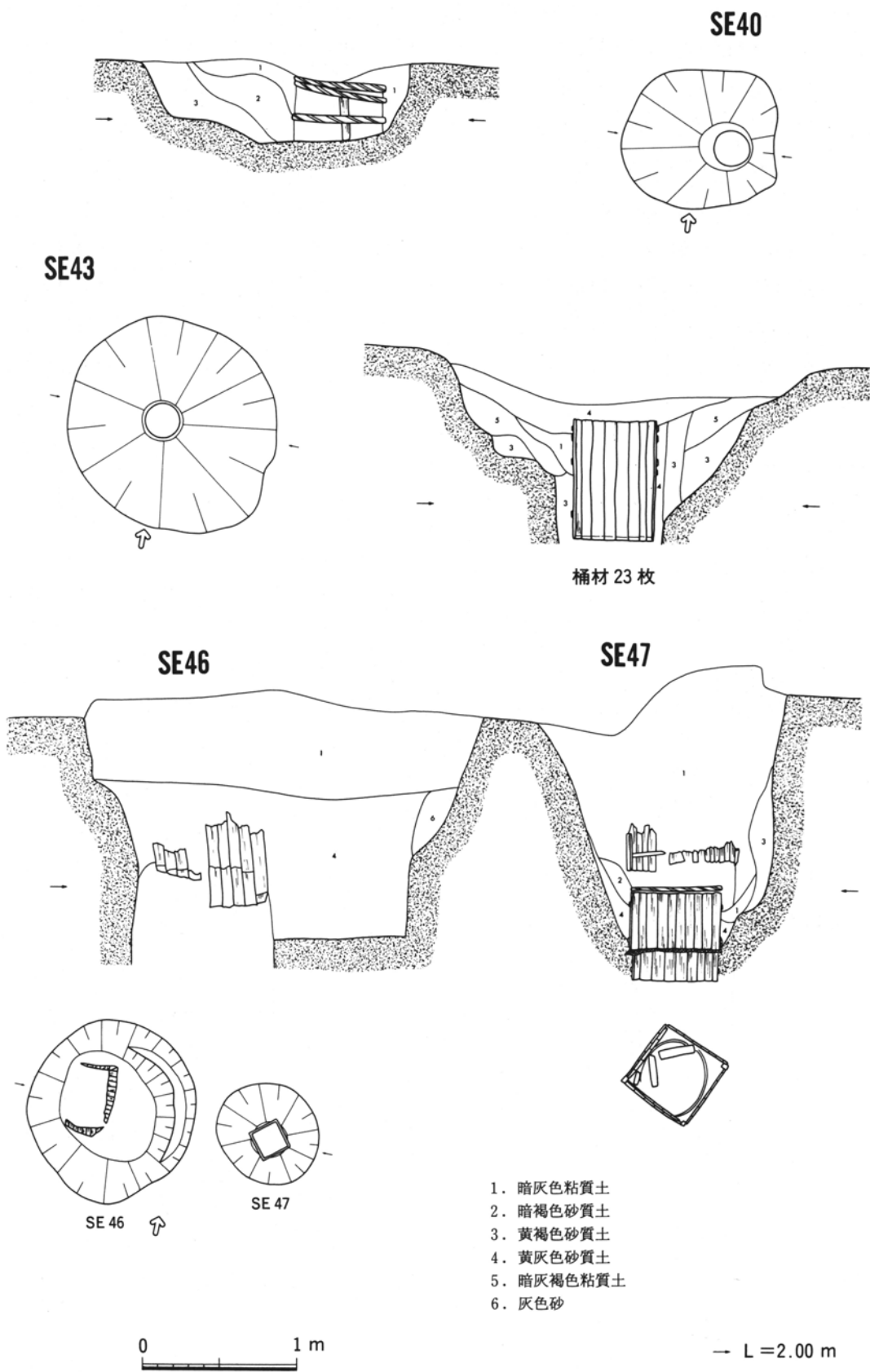
SE32 (第24図) 59G区で検出された結桶が1段残るI類の井戸。掘形に階段状のテラスがある。

SE35 (第25図) 59E区に所在するI類の井戸で、上層は掘り返されている。結桶が1段残る。

SE39 (第25図) SB05の東、SB06の南に位置する結桶が1段残るI類の井戸。掘形に階段状テ



第25図 井戸実測図(10)



第 26 図 井戸実測図(11)

ラスがあり、これは井戸廃絶時の掘り返しによるものと思われる。結桶の上位にタガが残存する。

SE40 (第26図) 調査区中央にあるⅢ類の井戸。深さは0.4mと浅くタガと1枚の桶材が残存する。

SE43 (第26図) 調査区中央・SE40の南で検出されたⅠ類の井戸。

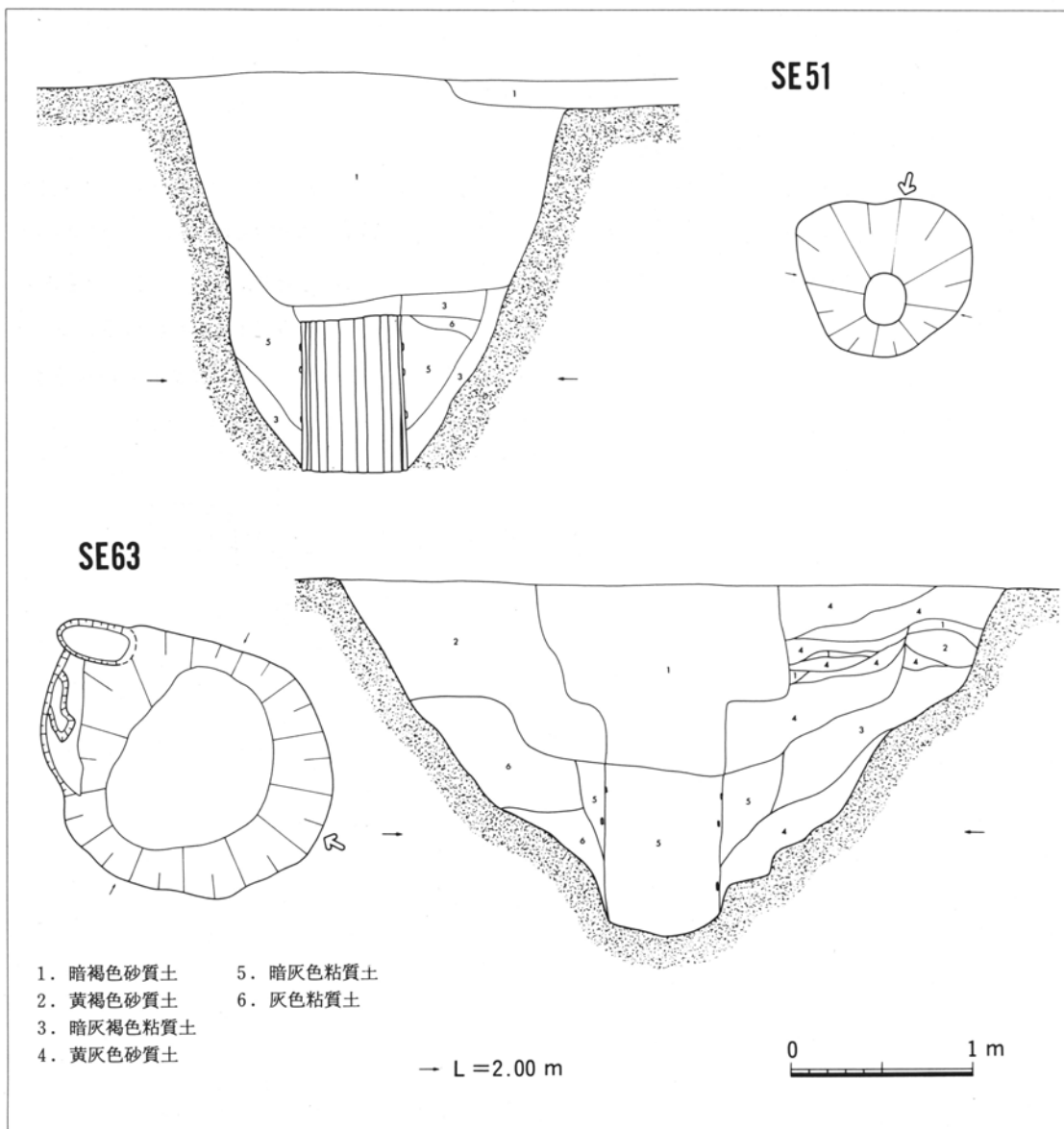
SE46 (第26図) SE40の北にあるⅣ類の井戸で縦板が数枚遺存する。最下部に構造物はない。

SE47 (第26図) SE46に隣接して存在するⅡ類の井戸で、最下部に結桶が2段重ねられ、その上位に方形に立て並べられた薄板が遺存する。重なった2段の結桶の間の箆をはめ込んでいる。

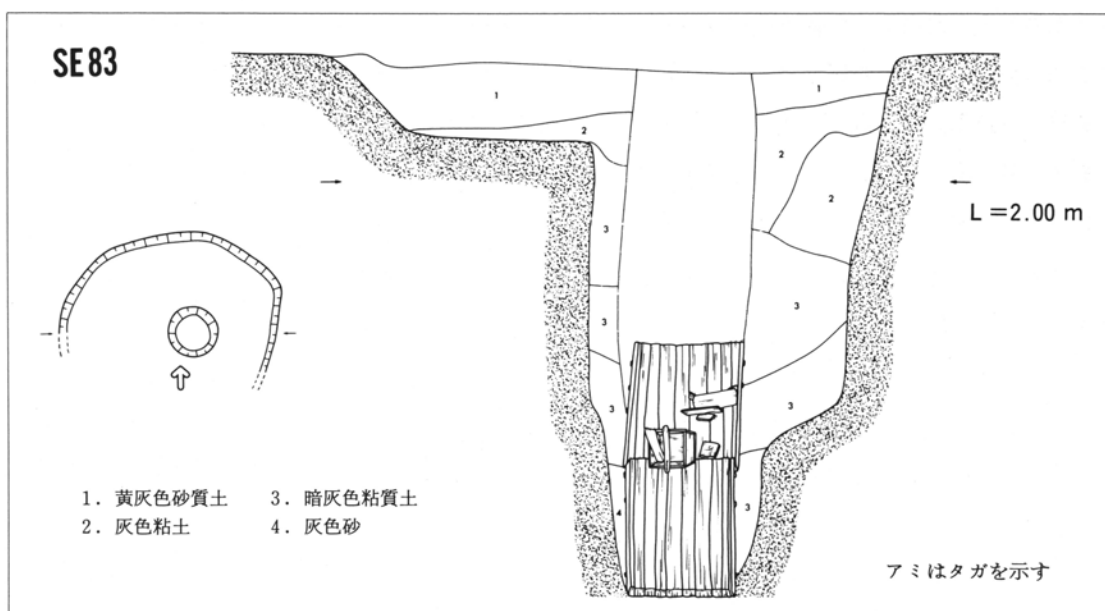
SE51 (第27図) SE46の北にあるⅠ類の井戸。掘形は不定形である。結桶は1段残る。

SE63 (第27図) 59E区に所在するⅢ類の井戸。タガが遺存し、埋土が井筒状に分離している。

SE83 (第28図) SD200の西に存在するⅠ類の井戸。結桶は2段残存し、さらにその上部にタガが7本遺存する。内部から釣瓶が出土した。
(鈴木正貴・遠藤才文)



第 27 図 井戸実測図(12)

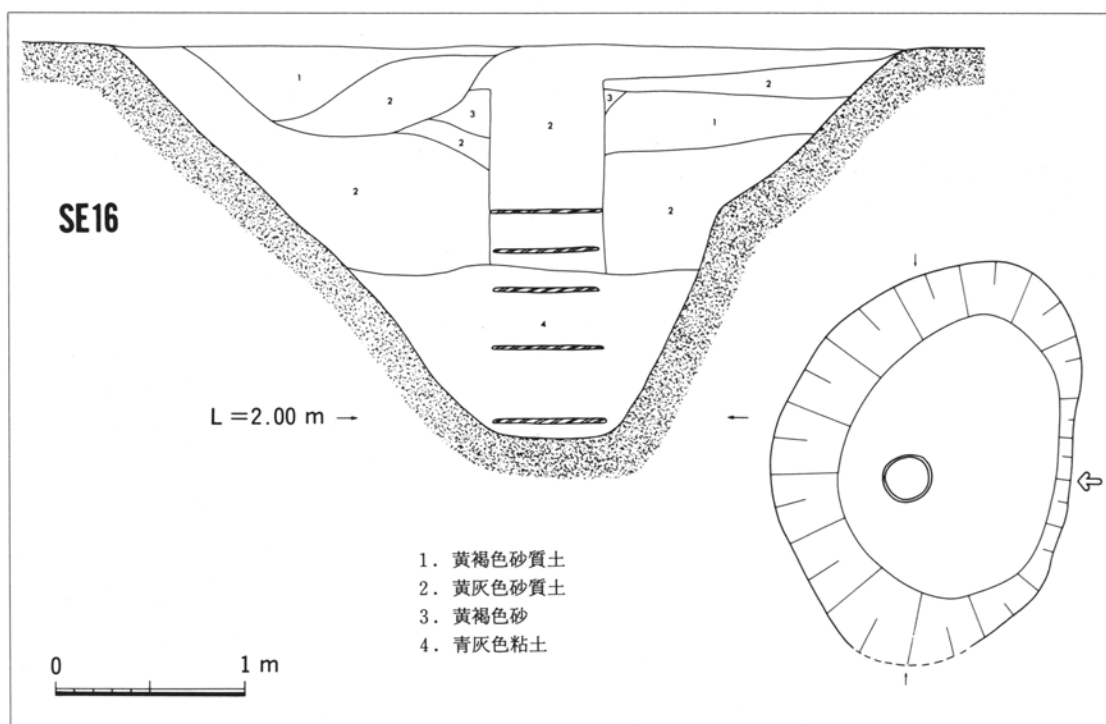


第28図 井戸実測図(13)

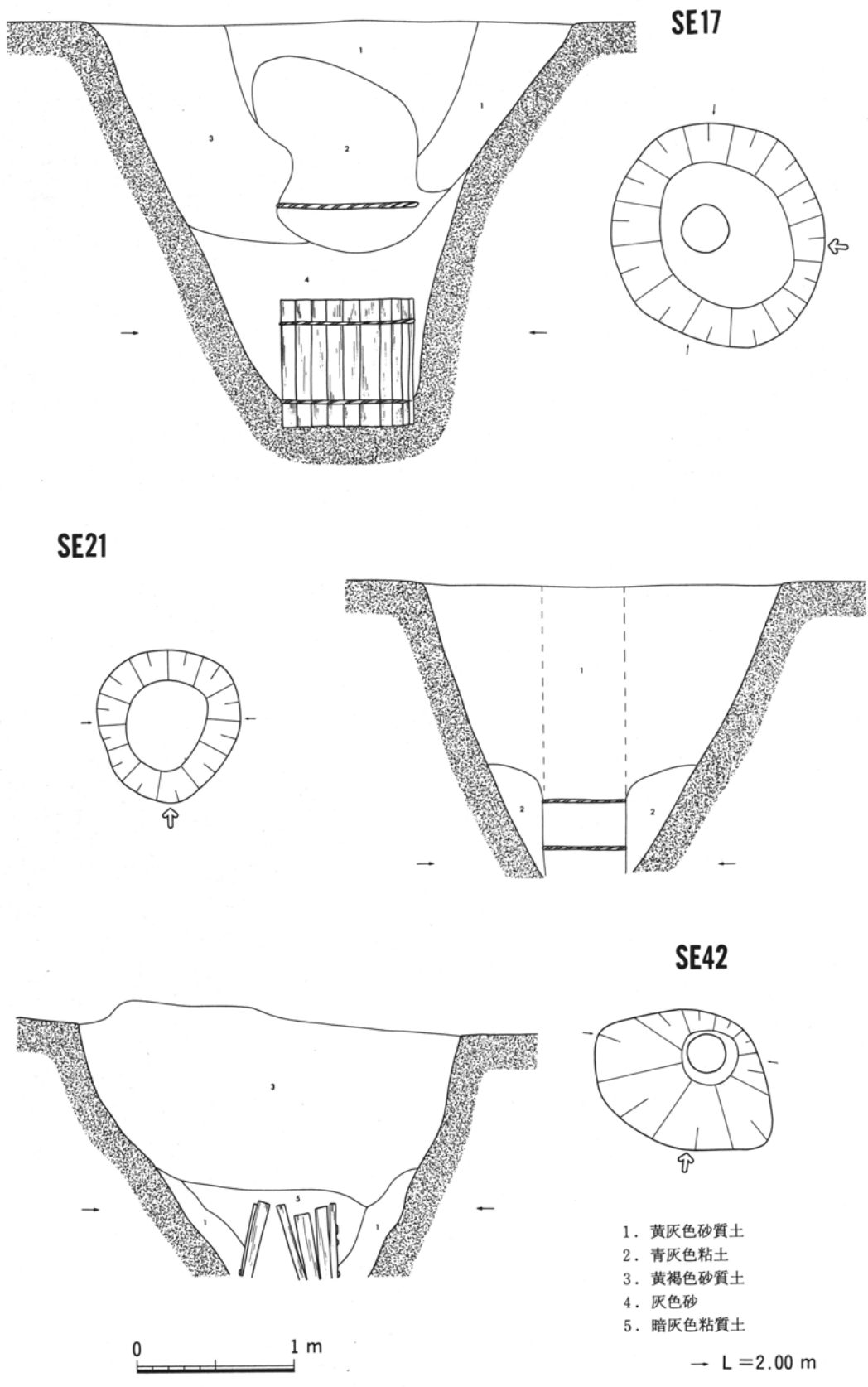
第4節 朝日村期の遺構（第29・30図）

朝日村期の遺構は、自然堤防に展開する小規模な溝、井戸、土坑がある。溝の方位はN-15~19°-Eで、2条の溝が平行して走り道路側溝となるもの(SD10・SD11等)もある。遺構構成をみると、溝で画された一辺40m程度の方形屋敷が小牧街道に沿って展開し、明治17年作成の地籍図と合致する部分もある。屋敷内の建物は不明であるが、結桶のみを1段以上設置した井戸(SE17・SE42等)が配置される。中には、結桶が抜き取られてタガが残るもの(SE16・SE21等)もある。 (鈴木正貴・遠藤才文)

※本章にかかる遺構の整理・図版の作成は遠藤才文が行い、これもとに原稿執筆を鈴木正貴が分担した。



第29図 井戸実測図(14)

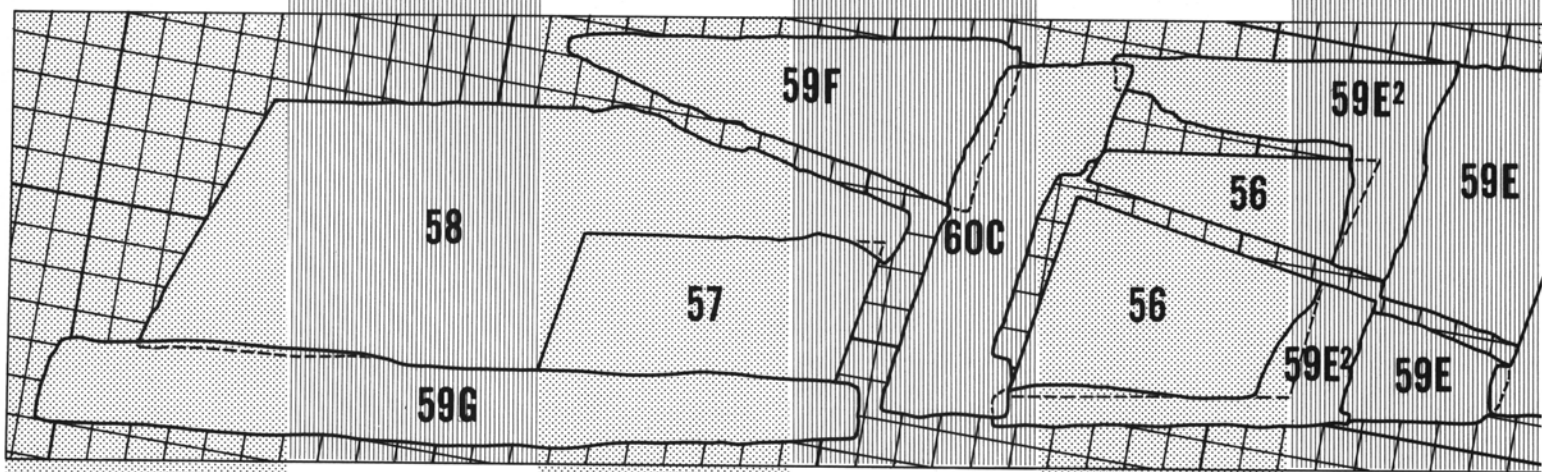


第 30 图 井戸実測図(15)

第 32 図

第 34 図

第 36 図



第 33 図

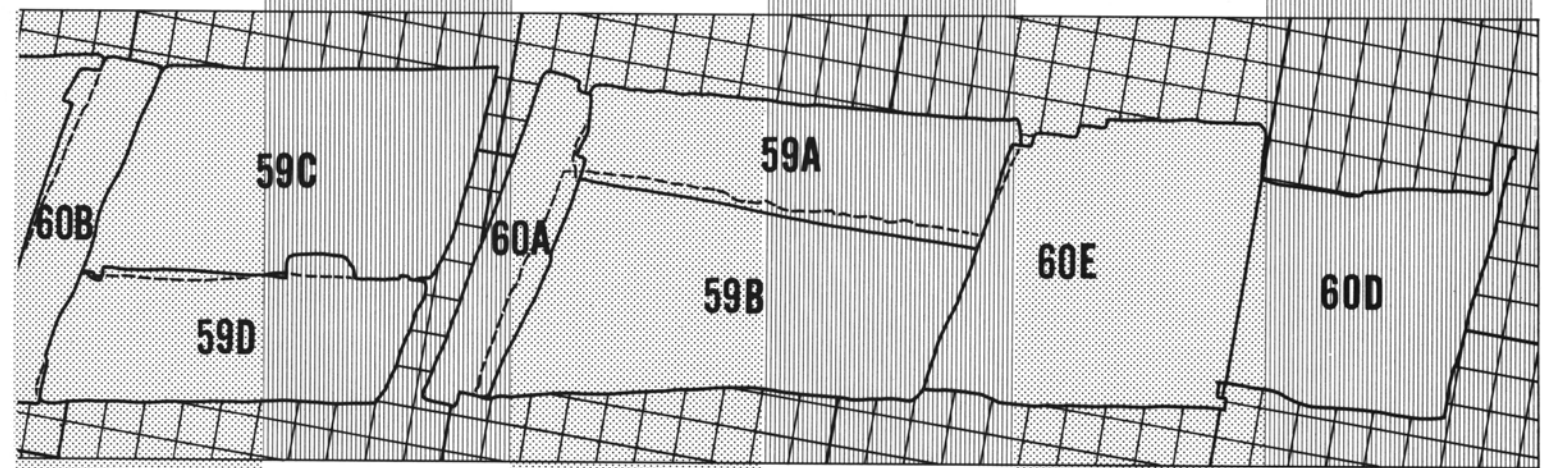
第 35 図

第 37 図

第 38 図

第 40 図

第 42 図



第 39 図

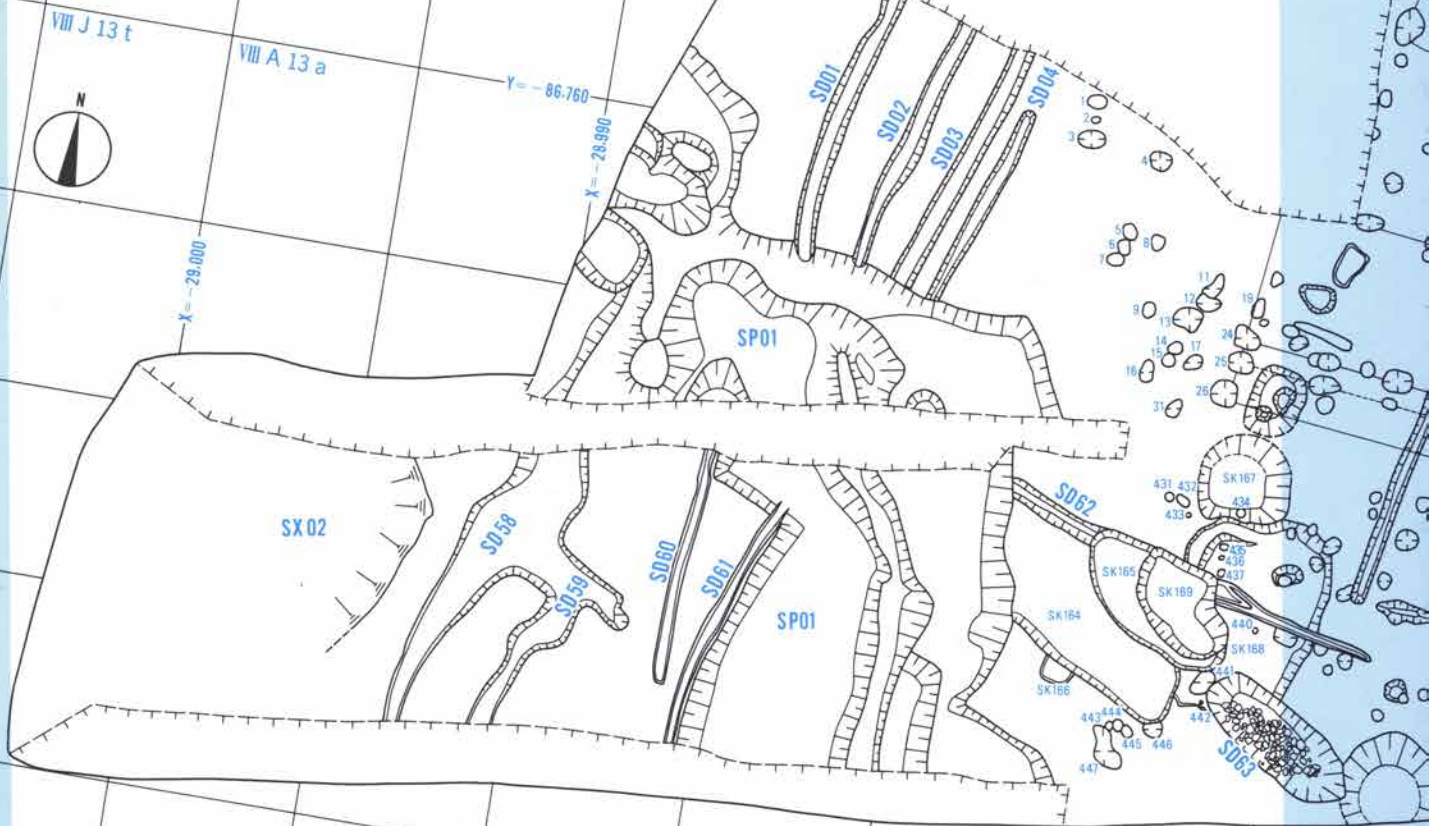
第 41 図

第 43 図

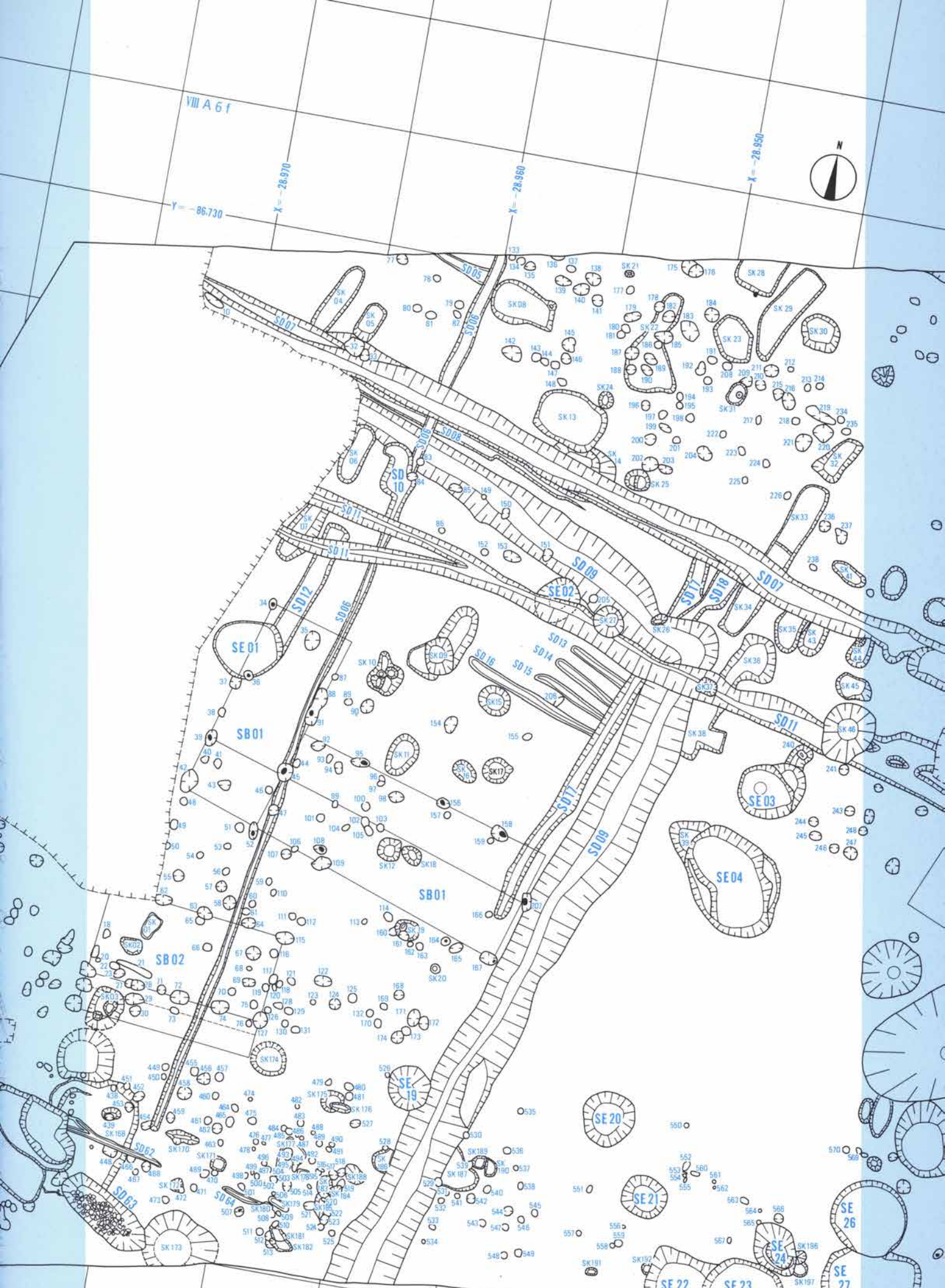
第 31 図 発掘調査区年度別区割り (S=1/1000)

凡例

- ・縮尺は1/200である。
- ・方眼は5 m グリッドである。
- ・ケバ付破線は攪乱を示す。
- ・破線で示した遺構は下層で検出された。
- ・石は黒く塗りつぶした。
- ・遺構番号はそれぞれ
SB 建物、SD 溝、SE 井戸、
SK 土坑、SP 池、SX その他
を示し、番号のみは Pit を示している。



第 32 図 遺構図(1)



VIII A 61

Y = 86.730

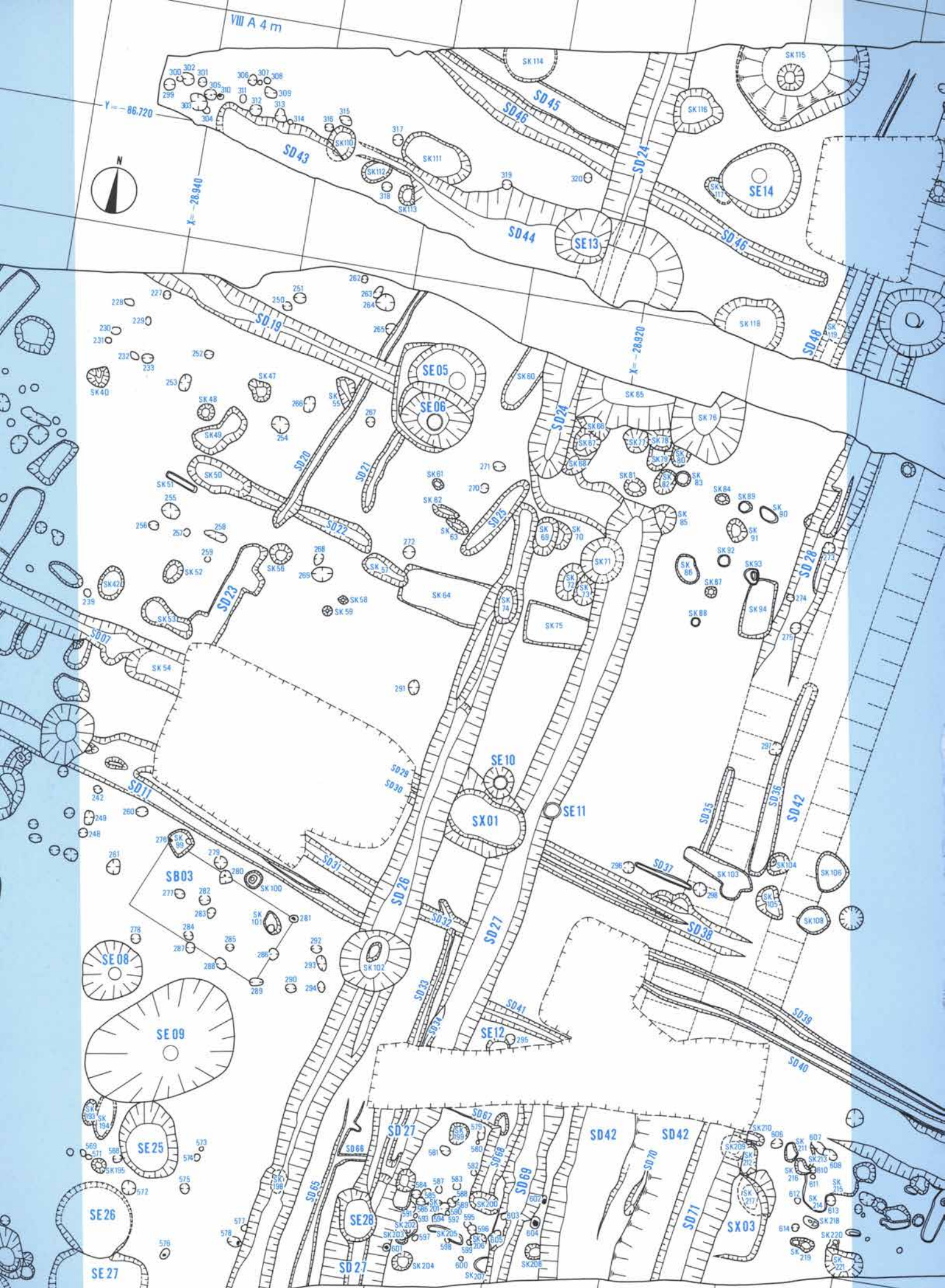
X = -28.970

X = -28.960

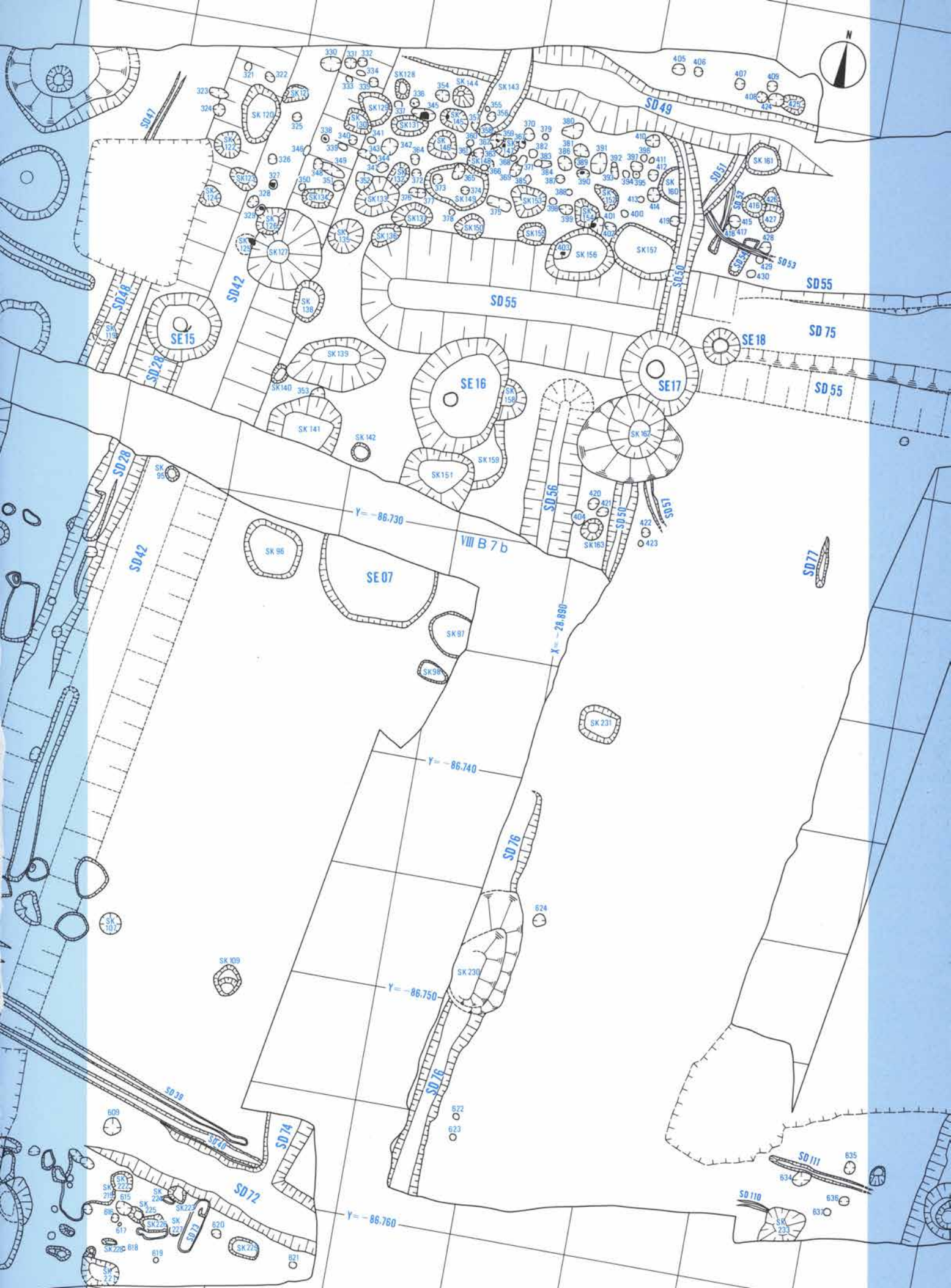
X = -28.950



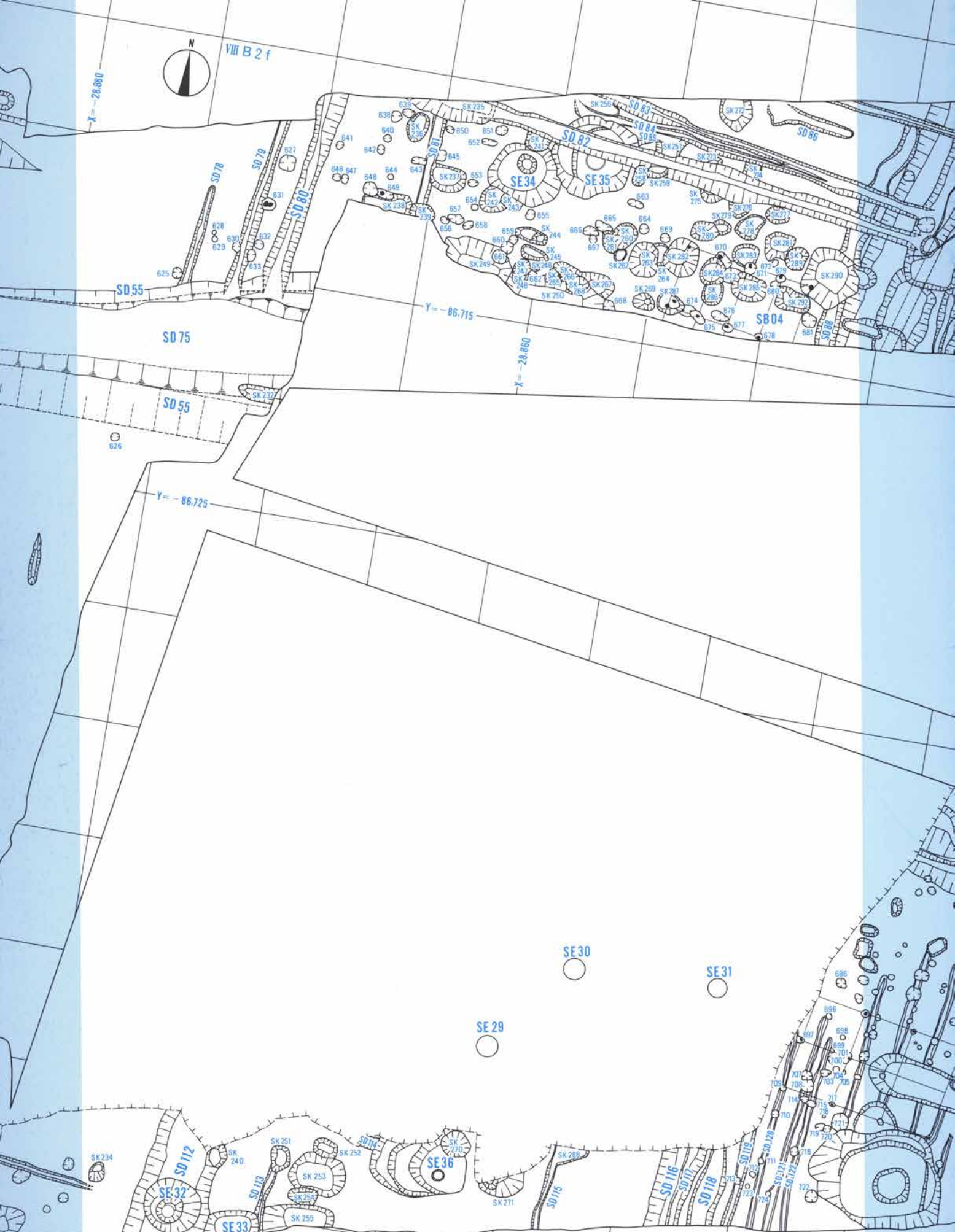
第 33 図 遺構図(2)



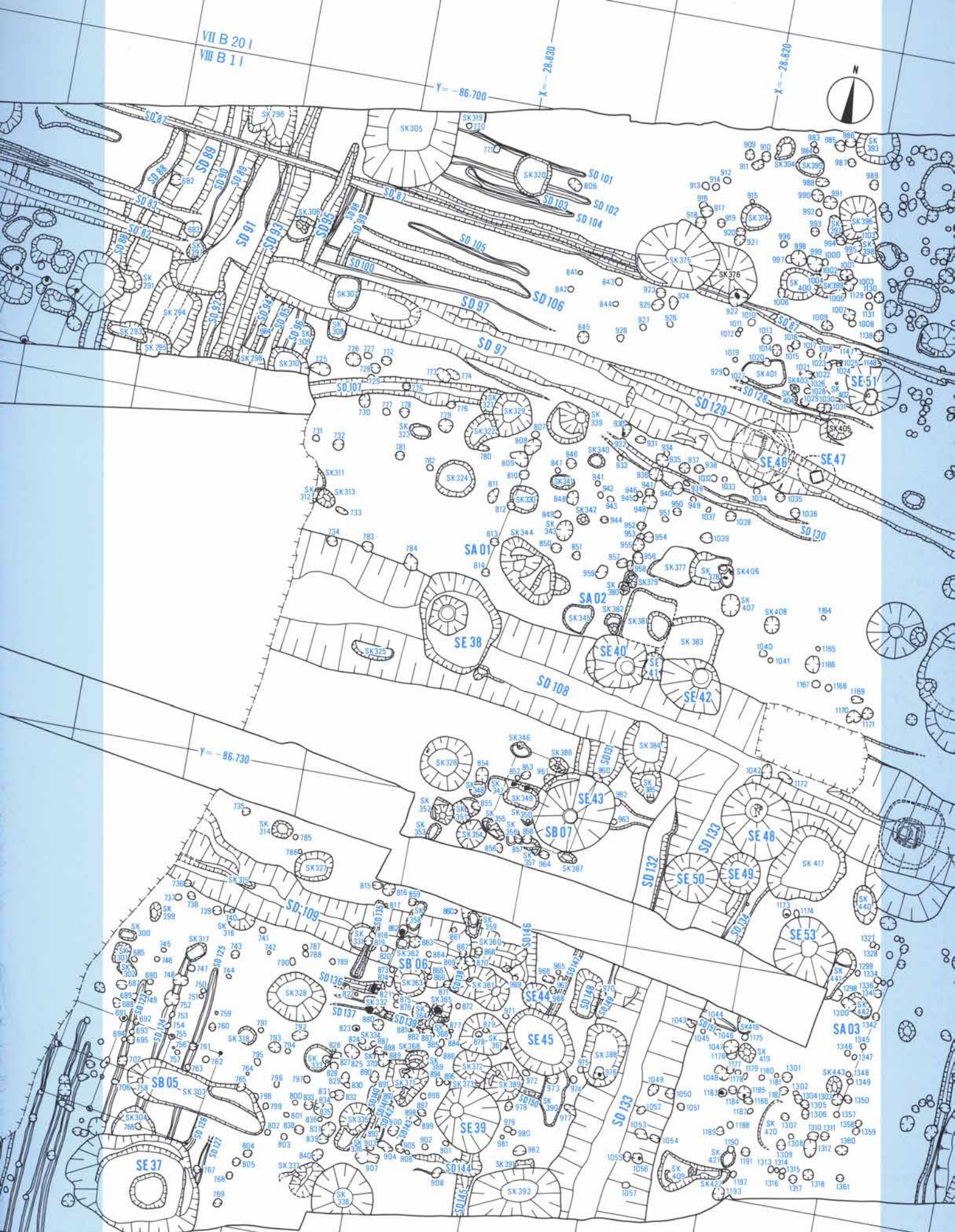
第 34 図 遺構図(3)



第 35 図 遺構図(4)



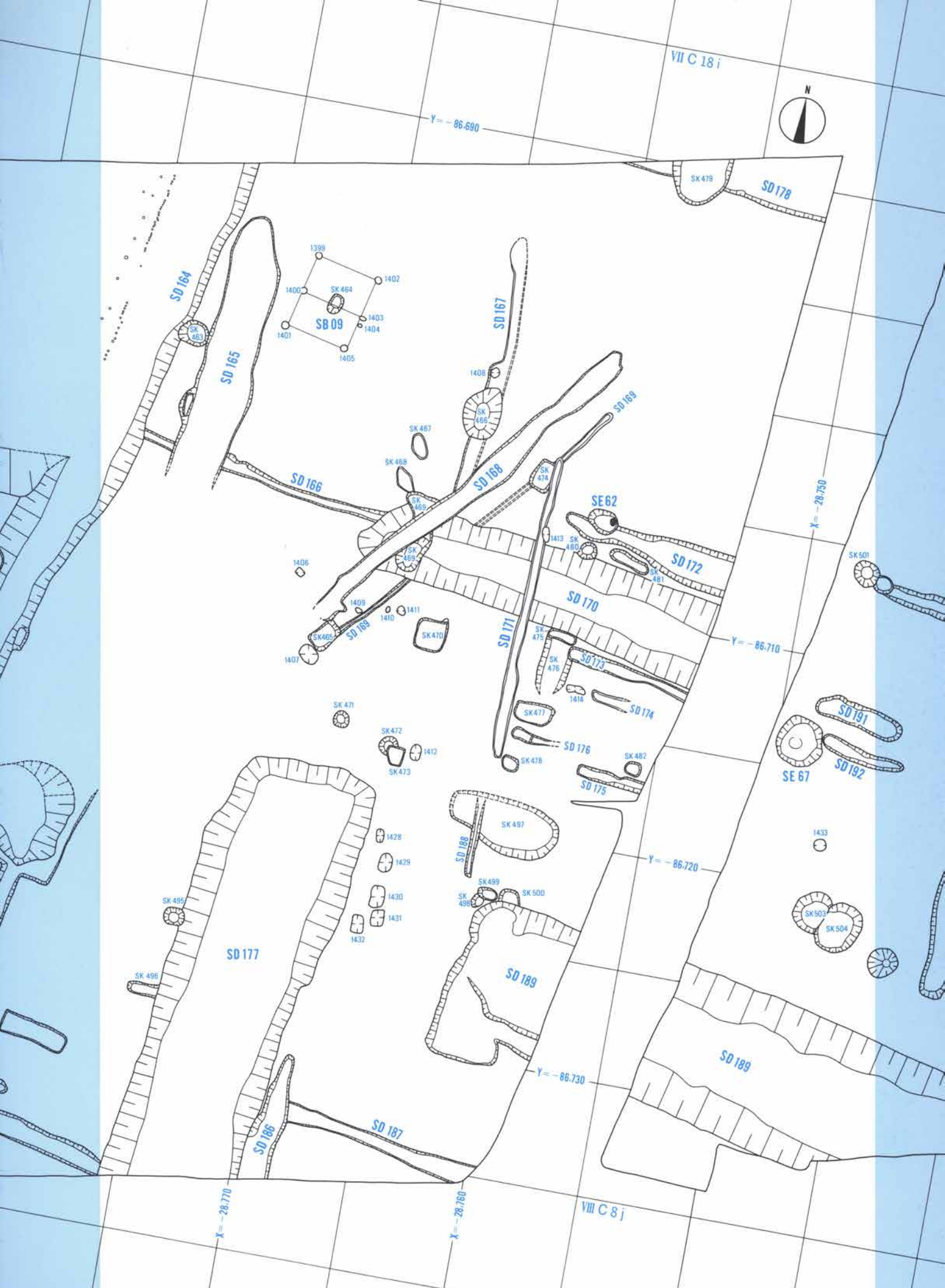
第 36 図 遺構図(5)



第 37 図 遺構図(6)



第 38 図 遺構図(7)



第 39 図 遺構図(8)



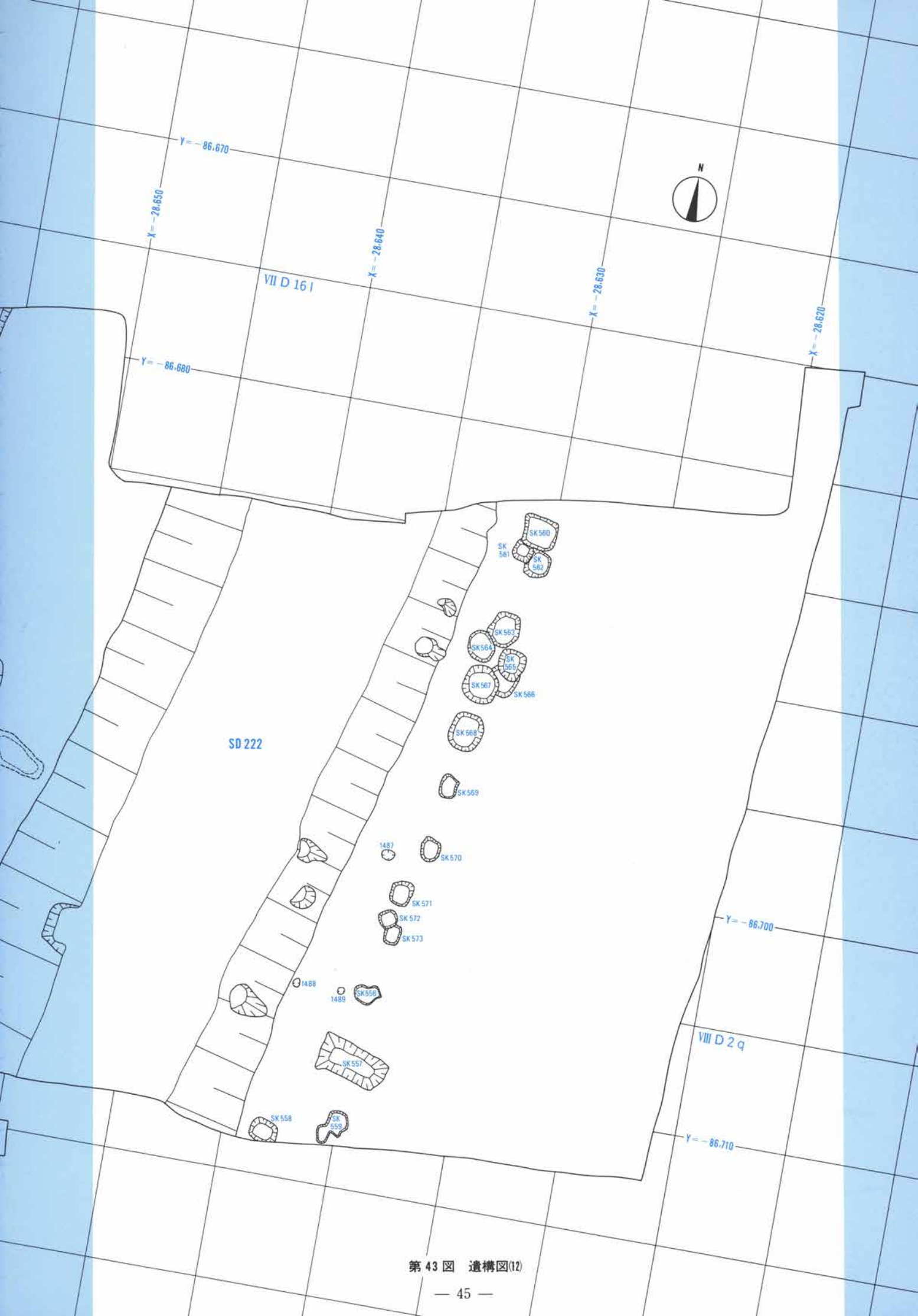
第 40 図 遺構図(9)



第41図 遺構図(10)



第 42 図 遺構図(11)



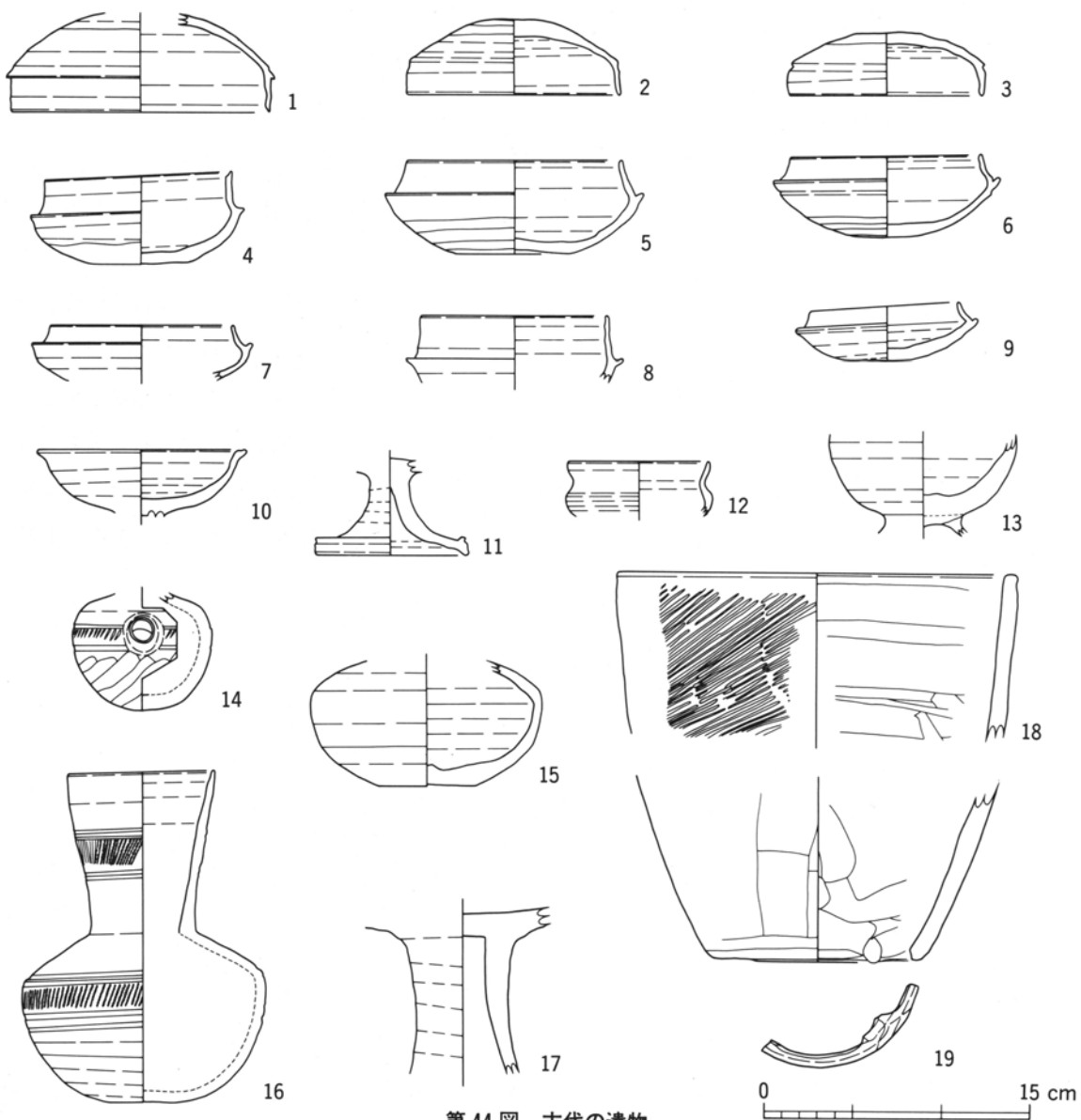
第 43 図 遺構図(12)

第三章 遺物

第1節 古代の土器・陶器

古代の時代の遺構は確認されていないが、遺物は中世の遺構及び包含層中で散見される。主となる時期は古墳時代の後期で、6世紀初めから7世紀初めにかけての遺物である。ほとんどは須恵器で、土師器はごくわずかな量である。須恵器で多いのは蓋杯である。4のように口縁端部に面をもち、深めの立ち上がりを持つものは5世紀末に遡るものと思われる。9は口径、器高も減少し、7世紀以降の器形である。15は壺の体部であるが口頸部が欠損した後、その部分を研磨して面を作り出している。底部はへら削りで調整している。16はほぼ完形で出土したものである。口頸部、体部の肩の部分に列点文を施す。18と19は須恵器甌であるが、胎土や調整技法が類似するので同一個体である可能性がある。

(城ヶ谷和広)



第44図 古代の遺物

第2節 中世Ⅰ期の土器・陶磁器

1. 概要

中世Ⅰ期は第Ⅱ章で述べた大きな時期区分により、およそ中世の前半期、11世紀から13世紀を中心とする時代である¹⁾。朝日西遺跡における中世Ⅰ期の遺構は、溝を中心にしてかなり数が多い。また、そこから出土する土器・陶磁器の量も莫大なものである。なかには遺物用コンテナ約120箱、1万点以上もの遺物が出土した遺構もある。それ以外にも、遺構からまとまって出土する土器群が幾つもあり、中世集落を考えるのに良好な資料を提供したといえる。この節では出土する土器・陶磁器類の概要を述べ、次に時期ごとに遺構出土の遺物について見ていくことにする。

1) 種類

出土した該期の土器・陶磁器の種類には、山茶碗(類)、土師器、施釉陶器、焼き締め陶器、輸入陶磁器、瓦器、灰釉陶器、緑釉陶器、須恵器、土製品、陶製品、瓦、加工円盤等がある。

以下、種類ごとにその概要を記し、器種の多い山茶碗(類)、土師器については器種分類を行い、分類図をつけた。

a) 山茶碗(類)

山茶碗(類)は瓷器系陶器第Ⅱ類に分類される無釉の陶器である。出土した器種には碗、皿、小碗、鉢などがある。量的には碗・皿が大多数を占め、遺物全体の割合で見ても圧倒的に多く、90%以上となる。

山茶碗は大きく分けると、東海地方北部系と呼ばれるものと東海地方南部系と呼ばれるものの2つに大別される。前者は胎土に砂粒をほとんど含まない均質な胎土を持つもので、器壁が比較的薄いのが特徴である。主な生産地として美濃、瀬戸北部などが挙げられる。後者は胎土に砂粒を多く含んだ粗い胎土を持つもので、長石分の吹き出しなどもよく見られる。主な生産地としては東海地方南部の瀬戸南部、猿投、常滑、渥美などが挙げられる。法量は基本的に1器種1法量が原則で、時期的に若干の変化がある。碗・皿は遺構によって、完形のものも幾つもまとまって出土することもある。生産地や時期により、形態、法量にバラエティーがある。

分類については基本的に『土田遺跡Ⅱ』²⁾に於て、形態や胎土を中心にして行った分類(土田Ⅱ分類とする。)を踏襲するが、細部で若干修正したところがある(第45図)。

碗

碗A 砂粒を多く含む胎土を持つもので、浅いもの(径高指数40未満のもの)。

A 1 体部が内湾しながら立ち上がるもの(≒土田Ⅱ分類 碗A 1、A 2)。

A 2 体部が直線的に立ち上がるもの(≒土田Ⅱ分類 碗A 3)。

A 3 輪花を持つもの。

碗B 砂粒を多く含む胎土を持つもので、深いもの(径高指数40以上のもの)。

B 1 体部が内湾しながら立ち上がるもの(≒土田Ⅱ分類 碗B 1)。

B 2 体部が直線的に立ち上がるもの(≒土田Ⅱ分類 碗B 2)。

B 3 高台のないもの(≒土田Ⅱ分類 碗B 3)。

碗C 均質な胎土を持つもので、浅いもの(径高指数40未満のもの)。

C 1 体部が内湾しながら立ち上がるもの（≒土田II分類 椀C）。

C 2 体部が直線的に立ち上がるもの（≒土田II分類 椀C）。

椀D 均質な胎土を持つもので、深いもの（径高指数40以上のもの）。

D 1 体部が内湾しながら立ち上がるもの（≒土田II分類 椀D）。

D 2 体部が直線的に立ち上がるもの（≒土田II分類 椀D）。

皿

皿A 砂粒を多く含む胎土を持つもので、高台を持つもの、いわゆる小椀（≒土田II分類 皿A）。

皿B 砂粒を多く含む胎土を持つもので、高台を持たないもの。

B 1 底部が肥厚し、突出するもの（≒土田II分類 皿B 1）。

B 2 底部が平坦で、体部の深いもの（≒土田II分類 皿B 2）。

B 3 底部が平坦で、体部の浅いもの（≒土田II分類 皿B 3）。

皿C 均質な胎土を持つもので、高台を持つもの、いわゆる小椀。

皿D 均質な胎土を持つもので、高台を持たないもの。

D 1 底部が肥厚し、突出するもの（≒土田II分類 皿C）。

D 2 底部が平坦で、体部の深いもの（≒土田II分類 皿C）。

D 3 底部が平坦で、体部の浅いもの（≒土田II分類 皿C）。

鉢は高台を持つもので、量としては余り多くない。内面はかなり摩滅しているものが多い。いろいろな産地のものがみられる。

b) 土師器

土師器には椀、皿、鍋、釜がある。

椀は尾張ではほとんど出土しないが、今回の調査区で極わずかにみられた。胎土は比較的緻密でロクロ成形であった。

皿は出土状況がやや特殊である。全体的に出土する量は特に多くないが、溝などから完形のものも集中して出土する例が幾つも見られる。胎土を見てみると、大きく分けて白色で精良なものや赤褐色で砂粒やシャモットなどを含むものの2つがある。量としては赤褐色のものが圧倒的に多い。成形技法には手づくね成形のものやロクロ成形のもの2種類がある。皿には形態や法量にバラエティーが多い。

皿を技法、形態を基本に分類すると以下のようになる（第45図）。

皿A ロクロ成形の皿。

A 1 体部が直線的なもの。

A 2 体部に段を持つもの。

A 3 底部が突出するもの（いわゆる柱状高台のもの）。

A 4 脚を持つもの。

皿B ロクロ成形の深皿で口径が12cm以上と大きく、体部が内湾する。

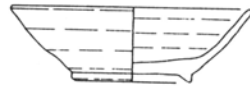
皿C ロクロを使用しないでづくね成形のもの。

C 1 体部が外反するもの。

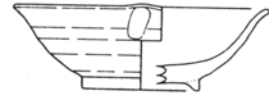
山茶碗



碗 A₁



碗 A₂



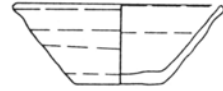
碗 A₃



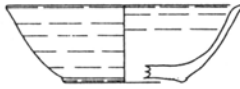
碗 B₁



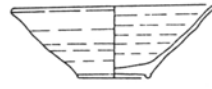
碗 B₂



碗 B₃



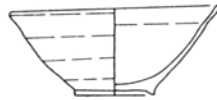
碗 C₁



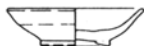
碗 C₂



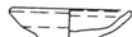
碗 D₁



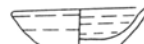
碗 D₂



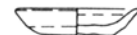
皿 A



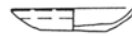
皿 B₁



皿 B₂



皿 B₃

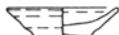


皿 D₂

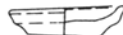


皿 D₃

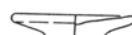
土師器



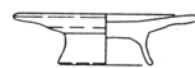
皿 A₁



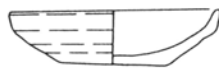
皿 A₂



皿 A₃



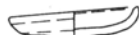
皿 A₄



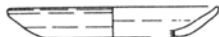
皿 B



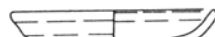
皿 C₂



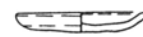
皿 C₃



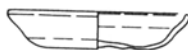
皿 C₂



皿 C₃



皿 D



皿 E₁



皿 E₂



皿 F

第 45 图 中世山茶碗・土師器器種分類図 (1 : 5)

C 2 体部が直線的なもの。

C 3 体部が内湾するもの。

皿D ロクロを使用しないでづくね成形のもの、体部が扁平なもの。

皿E ロクロを使用しないでづくね成形のもの、体部が深いもの。

E 1 底部が平らなもの。

E 2 底部が盛り上がるもの（いわゆる、へそ皿）。

皿F ロクロを使用しないでづくね成形のもので、口縁端部を大きく内側に折り返すもの。

なお、それぞれについて白色の胎土を持つもの（a類）、褐色～浅黄橙色の胎土を持つもの（b類）に分けられるが、特に区別を要する場合、表示することとし、通常は省略する。

鍋は鍋A、鍋Bと鍋Cに分けられる。

鍋Aは「伊勢型鍋」と呼ばれる器形で、口縁端部を内側に折り返すものである。器壁が薄く、外面にハケメ調整を施す。

鍋Bは「清郷型甕（鍋）」と呼ばれる器形である。口縁部が肥厚し、体部が厚く、やや深い器形である。甕と鍋の中間的なものであるが、今回の分類では鍋としておきたい。

鍋Cは口縁部が受け口状に大きく開く器形で、三足がつくものと思われる。出土するのは極少量である。

釜は口縁端部より少し下に鐙をもつ「羽釜」と呼ばれる器形である。薄い体部に、比較的精良な胎土をもつ。量は少ない。

c) 施釉陶器

瓷器系陶器第1類に分類される陶器である。該期のものは瀬戸で生産されたいわゆる「古瀬戸」と呼ばれる灰釉や鉄釉を施した陶器である。なかには釉の痕跡がみられない無釉陶器もあるが、胎土などは一緒なので、基本的にはここに含めて考えることにする。器種としては碗、皿、鉢、壺などがある。量としては少ない。器種分類は数も少ないこともあるので通有の分類名を付す³⁾

碗・皿には灰釉天目茶碗、鉄釉天目茶碗、灰釉平碗、灰釉皿、灰釉卸皿などがある。

そのほか、鉢には平鉢、片口鉢などがある。壺には灰釉四耳壺、無釉壺、無釉壺蓋などがある。

d) 焼き締め陶器

焼き締め陶器は瓷器系陶器第3類に属する中世陶器で、いわゆる「常滑」・「渥美」と呼ばれるものである。中心となる器種には壺、甕、釜がある。なお、鉢については胎土が同じなので山茶碗のところに含めた。出土する量は壺・甕類が比較的多い。

釜は口縁部下につばを持つ羽釜で、体部が厚い。色調は赤褐色を呈するものが多い。釜が見られるのはほぼ12世紀代に限られる。

壺、甕は量としてはかなりのものになる。法量には若干のバラエティーがある。各時期とも出土比率は一定となる傾向にある。

e) 輸入陶磁器

輸入陶磁器は全てが中国陶磁と考えられ、種類としては白磁と青磁それに若干の青白磁がある。器種は青磁、白磁ともに碗が圧倒的に多いが、そのほかに皿、四耳壺、鉢、合子、水注なども見られる。

白磁は口縁部が玉縁状になる椀が多い。そのほか白磁四耳壺も少し見られる。色調にはバラエティがある。

青磁は龍泉窯系の青磁椀がほとんどである。そのほか青磁皿、鉢が極少量見られるのみである。

青白磁は限られた遺構から出土するが、合子の他に壺等もみられる。

f) その他の遺物

そのほかの遺物として下記のものがある。

灰釉陶器は初期の遺構の段階で見られるものであるが、量としてはかなり多いものである。器種は椀が多く、皿や壺もある。産地は猿投のものと美濃のものがある。

緑釉陶器は極少量であるが、椀や皿などが出土している。産地としては猿投のものや篠岡のものなどがある。

須恵器は灰釉陶器に伴う時期の須恵器甕がある。須恵器はほぼ11世紀代で姿を消すようである。

瓦器はほとんど見られないが、搬入品と思われる羽釜がある。

土製品には土錘がある。陶製品には陶丸、陶錘等がある。瓦は布目を持つものである。加工円盤は山茶椀等の底部を2次的に加工したものである。

2) 時期区分

時期区分は遺構のあり方に、遺物の組合せを加えて小期を設定した。遺物の組合せは最も出土量の多い灰釉陶器・山茶椀を中心にして、土師器皿、鍋の変化を加味して設定したものである。

中世I期は基本的には4小期に分けられる。

I-1期は、供膳具の陶器が灰釉陶器のみで構成される時期である。土師器供膳具はロクロ成形の皿A類のみである。煮炊き具は土師器甕A・Bで構成される。

I-2期は供膳具が灰釉陶器から山茶椀に移行し、灰釉陶器は見られなくなってしまいう時期である。山茶椀では椀Aが中心である。椀B・Cも見られるが、数は少ない。皿は高台が付くいわゆる小椀とよばれる皿Aのみで構成される。土師器はI-1期とほぼ同じで、皿A、甕A・Bのみである。

I-3期は山茶椀類椀には大きな変化は見られないが、皿では高台が無い皿Bが中心となる時期である、なかでも底部の突出した皿B1、深目のタイプの皿B2が多くみられる。土師器では、ロクロ成形の皿では皿Aに混じって、皿Bもわずかにみられる。また、この時期の特徴として、てづくね成形の皿C・E類が出現することである。煮炊き具では甕Bが減少し、甕Aが中心となる。これに加えて焼き締め陶器釜が出現し、量的にも多くみられるようになる。

I-4期は山茶椀類椀では口径が減少し、径高指数の大きな椀B類が中心となる時期である。全体的に小振りで深いものとなる。皿は皿B類が中心であるが、器高が減少し、浅めの皿B3が増加する。また、均質な胎土を持つもの数も増える。土師器ではロクロ成形のものがほとんど見られなくなり、皿Cが中心で、新しく皿E2（いわゆるへそ皿）も見られるようになる。

なお、実年代については直接比定できる資料がないので、ほぼ隣接して存在する西春日井郡清洲町所在の土田遺跡での成果⁴⁾と山茶椀の生産地での編年観等を用いておよその年代を推定した。

I-1期は、灰釉陶器の年代観等からみて11世紀代の時期が考えられる。I-2期は、山茶椀類皿に高台が付くことなどから土田I期に相当し、12世紀前葉から12世紀中葉が考えられる。I-3期は

山茶碗類碗・皿の形態などからみて土田Ⅱ期に相当し、12世紀後葉から13世紀前葉が考えられる。Ⅰ－4期は土田Ⅲ期に相当し13世紀中葉から13世紀後葉にかけての時期が考えられる。

2. 出土状況

以下、各小期ごとに代表的な遺構を抽出し、その遺物の出土状況等について述べるが、それ以外のものは巻末の遺物観察表に示した。

1) Ⅰ－1期(11世紀代)

Ⅰ－1期の遺構・遺物は余り多くなく、地区的にも59Eの調査区を中心としている。また、包含層では、58の調査区の灰色粘質土層から一括性の高い灰釉陶器を多数含む土器群が検出された。代表的な遺構としてSE52、SD55、SK271などがある。

SE52(第46～47図－1～56) SE52はⅠ－1期のなかで最もまとまって遺物が出土した遺構である。遺物は破片数で177点が出土している。出土した器種には灰釉陶器碗、深碗、皿、段皿、壺、須恵器甕、土師器甕・鍋、土錘、瓦などがある。最も多かったのは灰釉陶器碗で80点が出土している。

灰釉陶器碗(1～28、31、40、44、47)は漬けがけを基本とする施釉方法で、形態的には猿投窯編年のO-53号窯期～H-72号窯期を中心とする時期のものである。32は体部内外面に光沢のある深緑色の灰釉を刷毛で塗っている。皿は34～39のように口縁部まで直線的に伸びるタイプのものが多くみられる。33は高台の高い大きめの段皿である。これら灰釉陶器の碗・皿の生産地としては猿投窯と美濃窯のものがあるが、両生産地の量的な比率はほぼ同じくらいである。48は肩に取っ手が付くもので、淡緑色の灰釉が肩の部分に厚く掛かる。

須恵器は甕(49～50)のみである。

土師器は甕・鍋などの煮炊き形態は見られるが、供膳形態は全くない。53は「伊勢型」鍋とよばれるものであるが口縁部が直立気味で体部も球形に近いことから、最も古いタイプであると思われる。外面にはススが付着する。

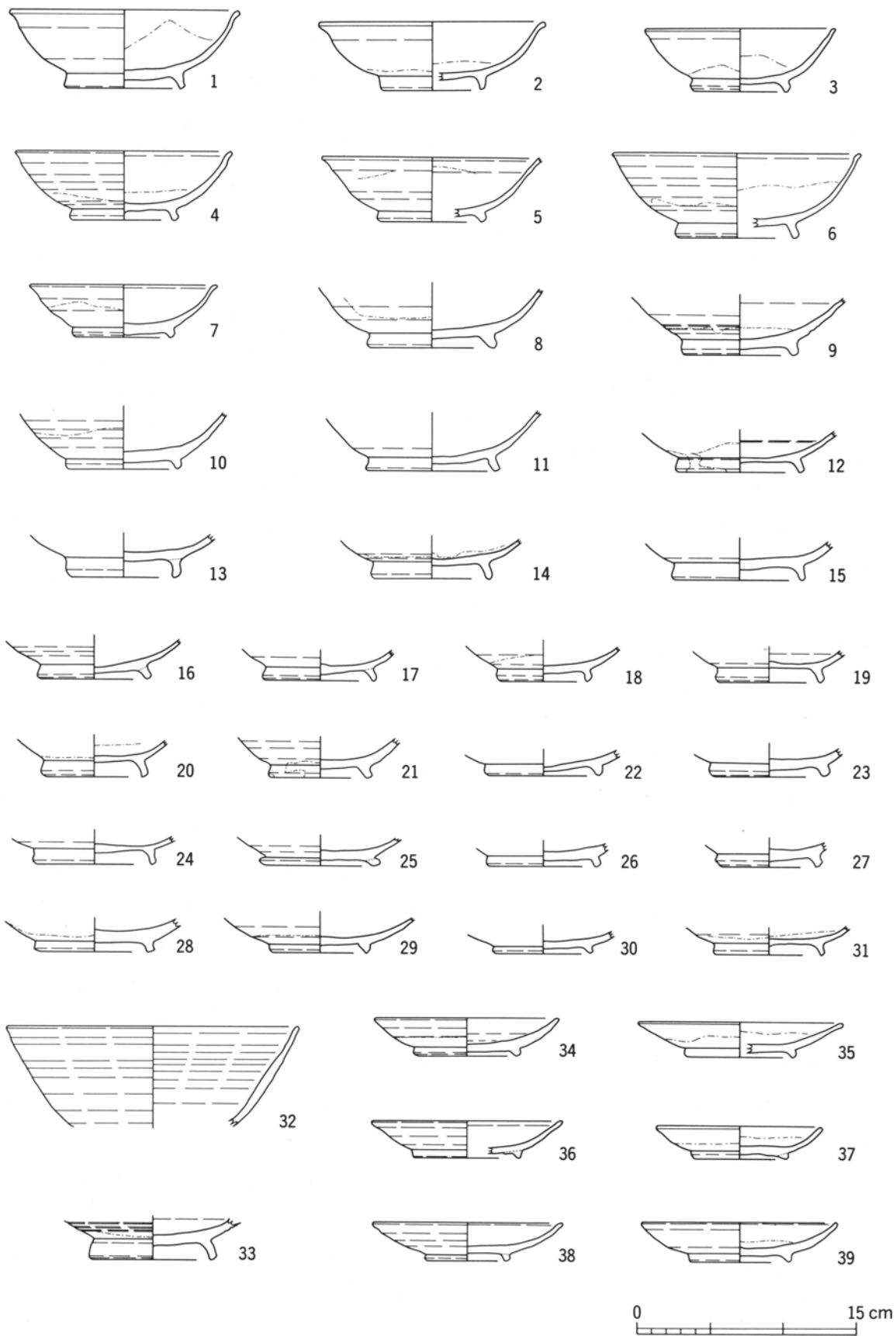
そのほか、55、56は瓦である。瓦はわずかにSE52にのみ見られるもので、その性格は不明である。内外面とも布目が残るが、55は外面を叩いて整形し、その後ナデもしくはヘラ削りで調整している。

SD55(第47図－57～63) SD55からは灰釉陶器碗、皿、壺、土師器甕、土錘が出土している。灰釉陶器は漬けがけで施釉されている。63はかなり大きな土錘である。焼成は土師質で、赤褐色を呈する。

SK271(第48図－64～76)からは灰釉陶器碗・皿に混じって、土師器皿・鍋Bが出土している。灰釉陶器は基本的に漬けがけである。土師器は柱状高台を持つ皿A3や脚を持つ皿A4がみられる。69と71は褐色の胎土であるが、70は白色の緻密な胎土を持つものである。鍋は鍋Aも少し見られるが、鍋Bが大量に出土した。口縁部の形態は75のように斜めに直線的に立ち上がるものと、73や74のように屈曲するものがある。鍋Bは口縁部内側や口縁部下の体外面にススが付着するものが多い。

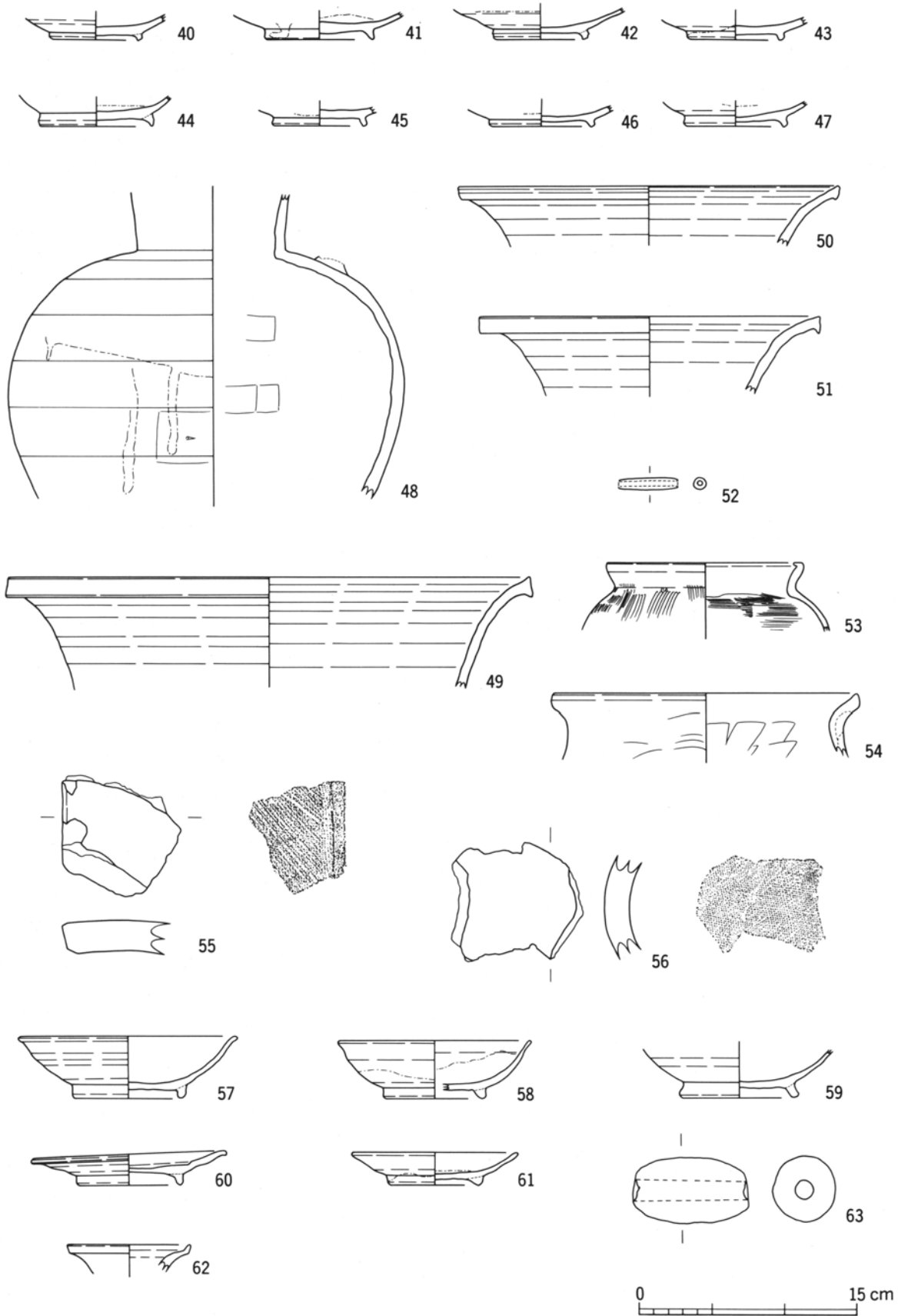
包含層出土(第48～49図－77～135) 包含層出土の遺物は、主として58及び59E区からまとまって出土している。器種としては緑釉陶器碗、灰釉陶器、皿、段皿、耳皿、長頸瓶、短頸壺、土師器鍋A・Bなどがみられる。

77～80は緑釉陶器である。いずれも細片であるが、80は暗灰色の胎土を持つ篠岡産のものであると思われる。



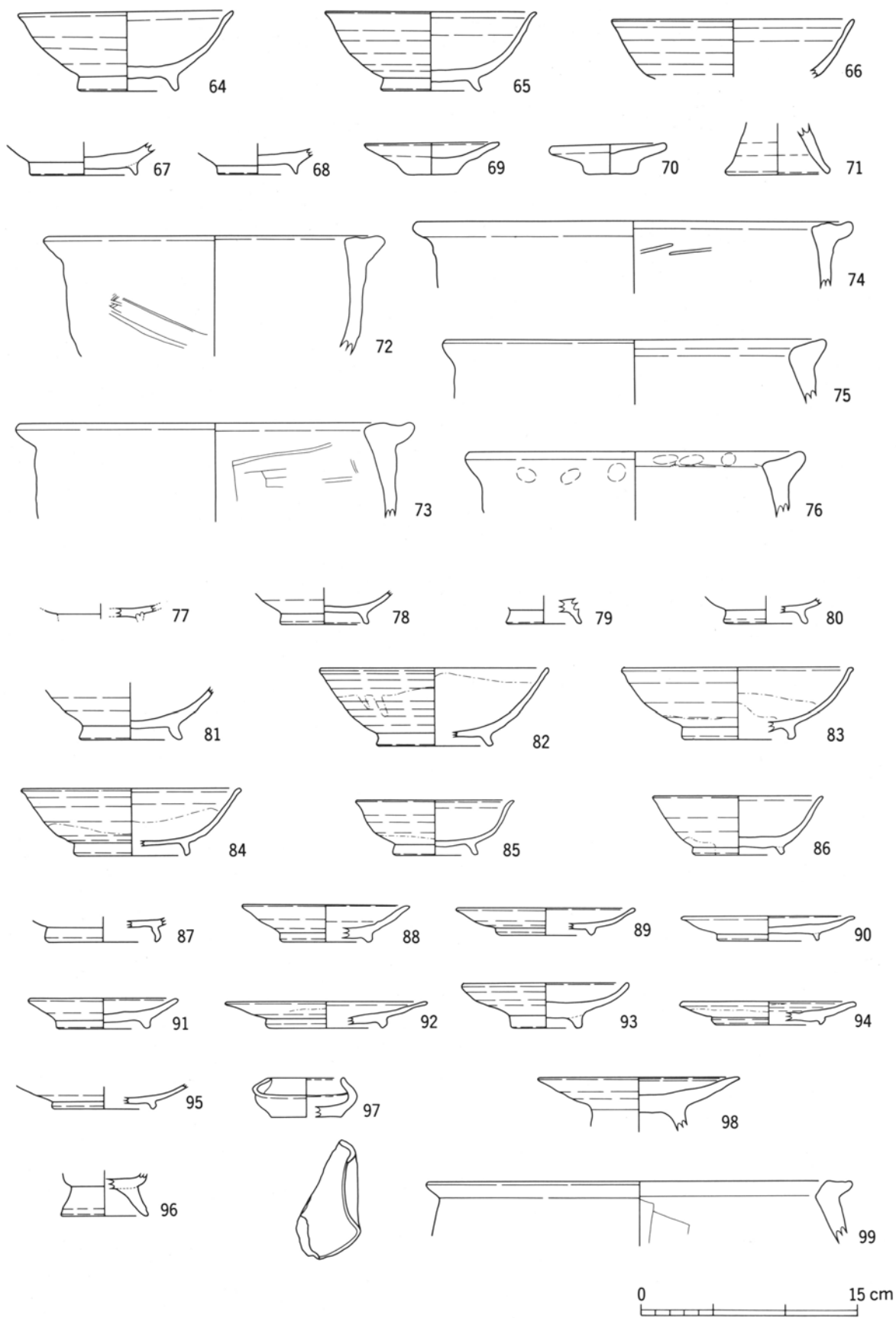
第 46 図 中世 I 期の遺物(1)

SE52



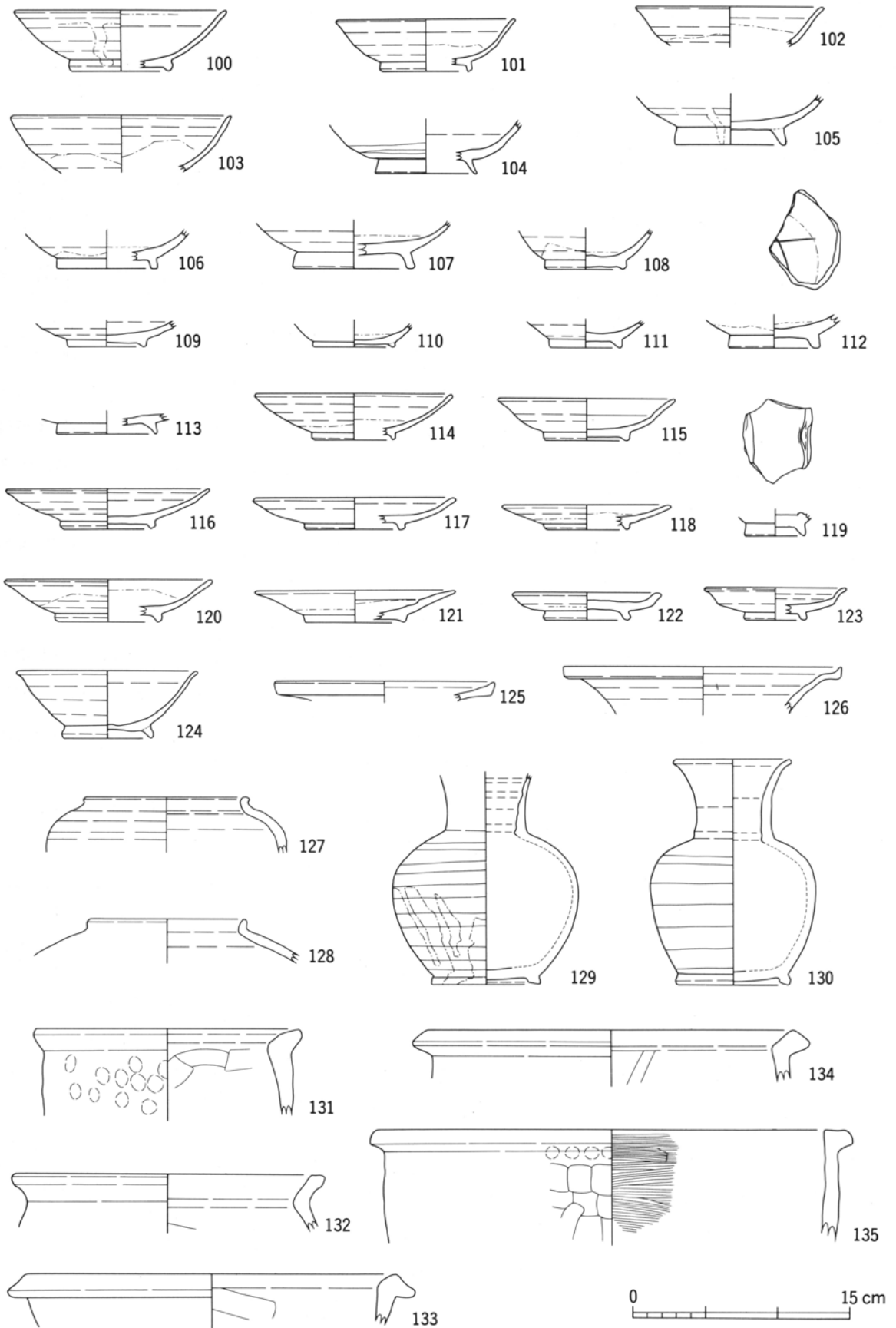
第47図 中世I期の遺物(2)

SE52、SD55



第48図 中世I期の遺物(3)

SK271、その他



第 49 図 中世 I 期の遺物(4)

灰釉陶器は多数出土したが、83のような刷毛塗りの灰釉陶器類も見られる。生産地としては美濃産のものが多いと思われる。長頸瓶（130）は口縁部が余り大きく開かないタイプのものである。

124は土師器碗である。この地域ではほとんど見られないものである。ロクロを用いて成形し、底部に回転糸切り痕跡を残す。高台はシャープである。胎土は乳白色で比較的緻密である。在地のものなのか搬入品と考えた方がよいのか、類例が少なく判断ができない。土師器鍋は鍋Bが中心である。法量、形態にもバラエティーがある。

2) I-2期（12世紀前葉～中葉）

この時期の遺構・遺物も余り多くない。遺物が多数出土したのは59D区と59C区の一部である。代表的な遺構としてはSK460、SK491、SK492がある。

SK492（第50図-136～150）からは完形の遺物を含む比較的まとまった土器群が出土している。器種としては山茶碗類碗A1・A4・B1・皿A、土師器皿A1・A4・鍋Aなどがある。

山茶碗類碗は体部に丸みを持つものが多く、産地としては猿投、常滑等が中心である。138は体部外面に「+」の墨書が書かれている。皿Aは体部の比較的深いもので、産地としては猿投、瀬戸が考えられる。

土師器は皿がすべてロクロ成形のものである。147は大きな脚を持つものである。口縁部は不明であるが、体部に丸みを持つ。鍋はすべて鍋Aで、口縁部が比較的直立し、少し内側へ折り返すものである。体部外面は荒いハケメで調整され、ススが付いているものが多い。

SK491（第50図-151～154）からは、完形の山茶碗類皿Aが2点、無釉陶器壺1点、蓋1点が出土した。出土状況が特殊であることから、何等かの形で祭祀等に用いられた可能性がある。151、152は胎土から猿投産である可能性が高い。154は灰白色の精良な胎土を持つものである。153は154に伴う蓋であると思われる。胎土は154によく似ている。

SK460（第50図-155～168）からは山茶碗類碗・小碗が多く出土した。器種は碗A1、皿Aのみで、産地も常滑が中心である。そのほか土師器鍋、白磁碗、把手、灰釉陶器瓶などがある。163は白磁碗である。口縁部等は不明であるが、内面には陰刻花文を施すものがある。167は水注の把手であると思われる。

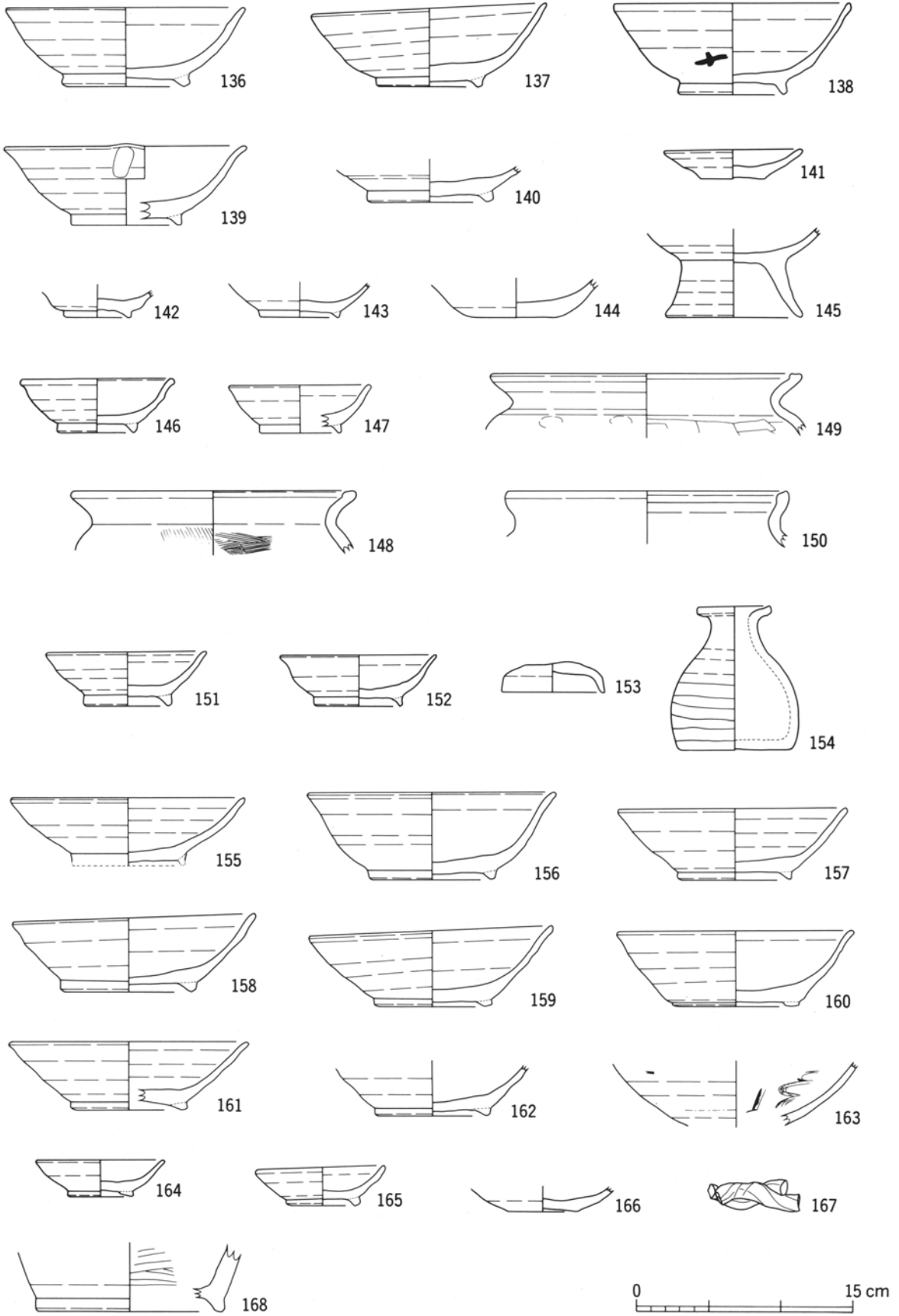
包含層出土（第51図-169～184）包含層からは山茶碗類碗、皿、土師器皿、鍋、甕、土錘などが出土している。

169～177はSD127から比較的まとまって出土している。SD127は基本的には中世II期の遺構であるが、掘削時は中世I期に遡る可能性も考えられる。出土遺物のうち、山茶碗類皿は高台のつくものである。土師器はすべてロクロ成形の皿A類である。

3) I-3期（12世紀後葉～13世紀前葉）

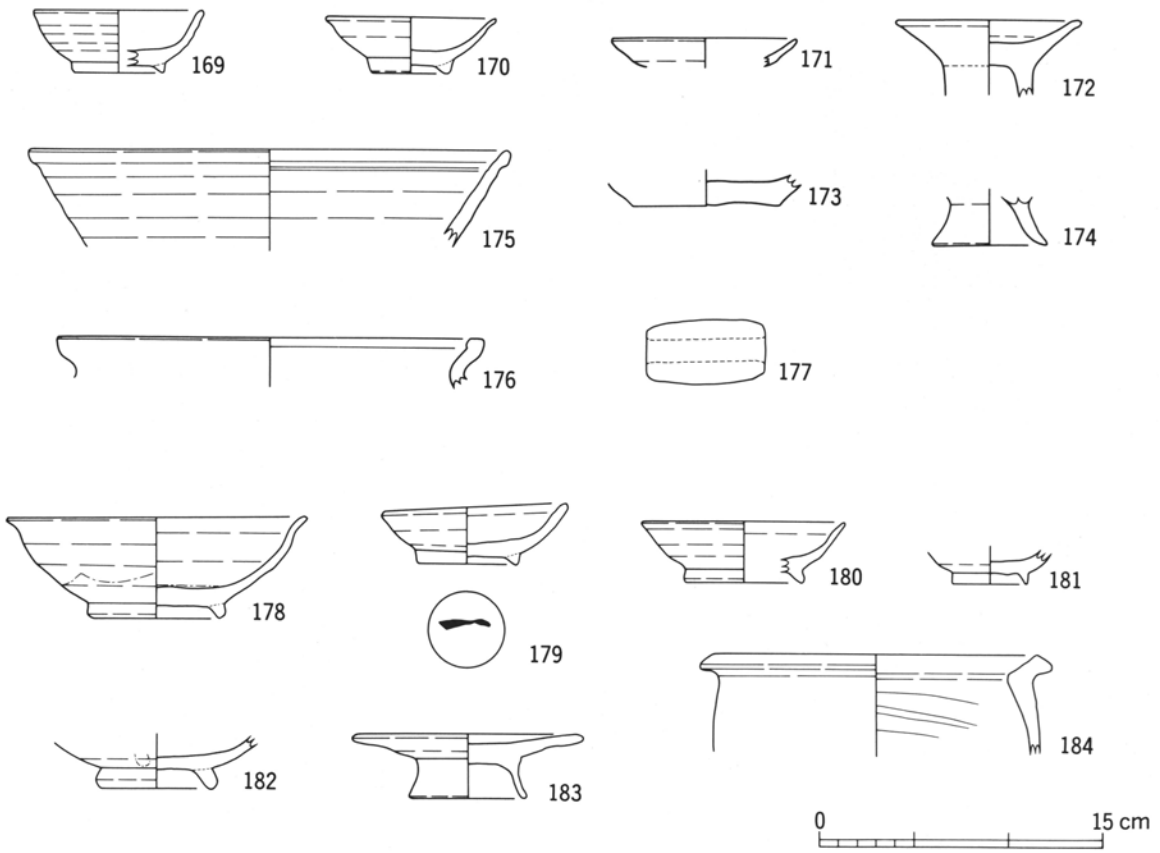
I-3期の遺構・遺物は最も多く、一つの遺構でも出土する遺物の量が莫大なものがある。特にこの時期の遺構は溝が多いが、これらは比較的短期間で終わっている。代表的な遺構として、SD09、SD76、SD133、SE55、SK168、SK230、SK316などがある。

SD09（第52～59図-185～489）SD09は隣接する58区と59G区の調査区でそれぞれ別々に検出されて扱われてきたが、遺構の検討により同じであることが判明した。土器様相もよく似ており、



第 50 図 中世 I 期の遺物(5)

SK492、SK491、SK460



第 51 図 中世 I 期の遺物(6)

包含層

一つの遺構として取り扱うが、図としては58区(185~441)のものと59G区(442~489)のものを別々に掲載した。出土した遺物の点数は総破片数で6679点に上るが、その内約5000点が山茶碗である。出土遺物の器種としては、山茶碗類碗A1・A2・C1・D1、皿A・B1・B2・B3・D1・D2・D3、鉢、土師器碗、皿A1・A2・A3・A4・B・C2・C3、鍋A・B、施釉陶器灰釉四耳壺、焼き締め陶器壺、三筋壺、甕、羽釜、白磁碗、水注、青磁碗、皿、陶錘、加工円盤等がある。

山茶碗類碗は碗A1・A2・C1・D1が見られるが、主体となるのは碗A1である。碗A1は口径が約15cmで比較的口径の大きいものが多い。生産地としては各地のものがみられるが、常滑、猿投が中心である。これに瀬戸、渥美などの生産地が加わる。美濃、瀬戸産の均質なものは数は少ないが、一定量見られる。皿は各種見られるが、高台をもつ皿A1はわずかである。底部が突出する皿B1も数は少なく、やや深めの皿B2が主体となる。生産地は碗と同様、常滑、猿投産のものが大半をしめる。美濃産のものも一定量見られる。368も美濃産のものであるが、片口が付いている。鉢は口縁端部を丸く仕上げたものが中心で、産地は常滑産と思われるものがほとんどである。

土師器は白色の胎土をもつ碗(396)が数点見られる。皿には各種の皿があるが、基本的にはロクロ成形の皿Aと手づくね成形で白色の胎土を持つ皿C3aが主体である。皿Aは赤褐色の胎土のものが多い。皿Bは他の遺構ではほとんど見られないが、SD09では比較的多く見られる。胎土には褐色のものと白色のものが見られる。皿C3bは382~385のように体部に段が付く。皿C3aは体部が薄いもので、法量には大小がある。398~400、483、484は高い脚の付く大きな器形で、余り類例がなく、もっと古い時期のものである可能性もある。鍋は鍋A、Bがあるが、鍋Aは口縁部が少し外側に開くものである。鍋Bは法量が中・小の3種類に分かれる。口縁部の形態もバラエティーがある。

409、410、412は灰釉が施されており、四耳壺と思われる。

焼き締め陶器には壺・甕・羽釜が見られる。406は肩の部分に沈線が見られ、三筋壺になる可能性がある。甕は口径の大きなものと小さなものがある。羽釜は口縁部の先端が細くなるものである。

輸入陶磁器には白磁碗、青磁碗、皿等がみられるが、遺構全体の出土量からすれば少ない量である。白磁水注片も見られたが、細片で図示できなかった。

そのほか、陶錘、加工円盤があるが、加工円盤は山茶碗の底部片が多い。

SD76(第60~62図-521~604) SD76から出土した遺物には、土師器皿があまり見られないのが特徴的である。出土した遺物の総点数は1126点であるが、土師器皿は74点のみで、10%にも満たない数であった。出土した器種には山茶碗類碗A1・A2・C1・D1、皿B2・B3・D2・D3、鉢、土師器皿A2、鍋A、施釉陶器片口鉢、壺、焼き締め陶器壺、甕、釜、白磁碗、青磁碗などがある。

山茶碗の出土量は多く、完形のものもかなり見られた。碗は体部に丸みを持つ碗A1が中心である。産地としては常滑産と思われるものが多い。美濃に加えて瀬戸の均質な胎土を持つものもいくつか見られた。皿は皿B2が最も多く、それに加えて、皿B3・D2などがある。産地としては常滑、猿投のものが多い。

土師器は非常に少ない。図示できた皿はわずかに3点のみである。いずれもロクロ成形の皿A2である。胎土は赤褐色を呈する。鍋には鍋Aが見られる。

施釉陶器には鉢、壺などがみられる。599は片口鉢である。白色で緻密な胎土を用いている。体部全

面に淡緑色の光沢のある灰釉がかけられている。注口の部分にはへら等による装飾がみられる。この様な器形の鉢は、窯跡では瀬戸市孫右エ門窯などでみられる。600の壺は白色で緻密な胎土を持ち、肩には光沢のある灰釉がかけられている。

焼き締め陶器では、甕の他にやや大型の羽釜が見られる。

輸入陶磁器には玉縁状口縁の椀がみられる。青磁では椀のみがみられる。597は少し小振りのもので、釉は透明に近い光沢のある色調である。

S D 133 (第63~71図-642~1031) S D 133は最も多量に遺物が出土した遺構である。遺物用コンテナにして約120箱、総点数で約11、811点が出土した。他の遺構では山茶椀が最も多いのが普通であるが、S D 133では土師器の皿が最も多く、半数以上の約6,000点に及ぶ。出土した器種としては山茶椀類椀A 1・A 2・B 1・C 1・C 2・D 1、皿A、B 2・B 3・D 2・D 3、鉢、土師器皿A・B・C 2・C 3・D・F、鍋A・B、釜、施釉陶器鉢、四耳壺、壺、焼き締め陶器壺、三筋壺、小壺、水注、甕、釜、白磁椀、皿、四耳壺、青磁椀、皿、青白磁椀、瓶、合子、瓦器羽釜、灰釉陶器、緑釉陶器、陶錘、陶丸などがある。

山茶椀類は約4,000点が出土している。そのうち椀は約3000点をしめる。椀では椀A 1・A 2が主体となる。産地は常滑のものが多く、猿投、瀬戸がこれに続く。698も常滑の製品であると思われるが、体部外面に4ヶ所「卍」の墨書がある。皿は皿Aが少し出土しているが、ほとんどは皿B 3である。皿は完形のものがかかなり多い。産地は椀と同じ常滑の製品が中心である。椀・皿とも均質な胎土を持つものは少ない。その比率は椀では1:8、皿では1:12となる。鉢は、片口の付くものと付かないものがある。産地は常滑、瀬戸のものがある。

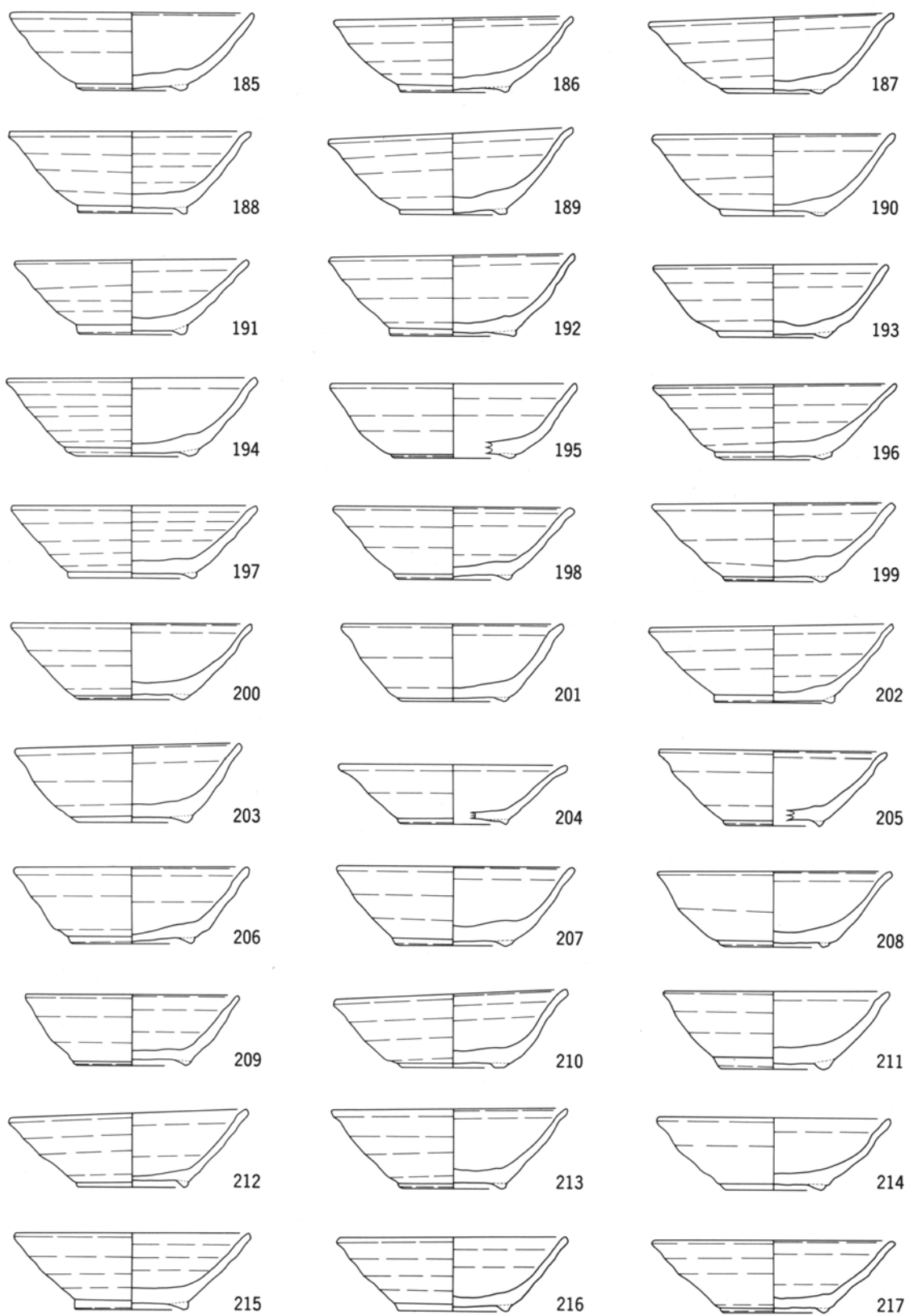
土師器はS D 133出土遺物の半数以上を占めるが、基本的には皿C 2である。皿C 2は口径が約8.2cmの小型のものと12.0cmの大型ものがある。数では少し小型のものの方が多い。胎土はほとんどが浅黄橙色~赤褐色のもので、白色のものは土師器皿のなかで2%以下である。965は白色の胎土を持つものであるが、口径は15cmと最も大きなものである。ロクロ成形の皿A、Bは数が少なく、土師器皿のなかで占める割合は両方合わせても0.5%ほどである。鍋は鍋Aが多い。1024のように口頸部がかかなり屈曲し、口縁端部が少し偏平になっている。

施釉陶器には灰釉四耳壺などがあるが、量的にはごくわずかである。

焼き締め陶器には三筋壺などの壺類と甕、羽釜などがある。1008は常滑の壺であるが、口頸部基部に段を持つものである。1020の三筋壺は黒灰色の胎土を持つものである。1014と1015の甕は、胎土などから同一個体になる可能性がある。羽釜は赤褐色の色調を呈している。

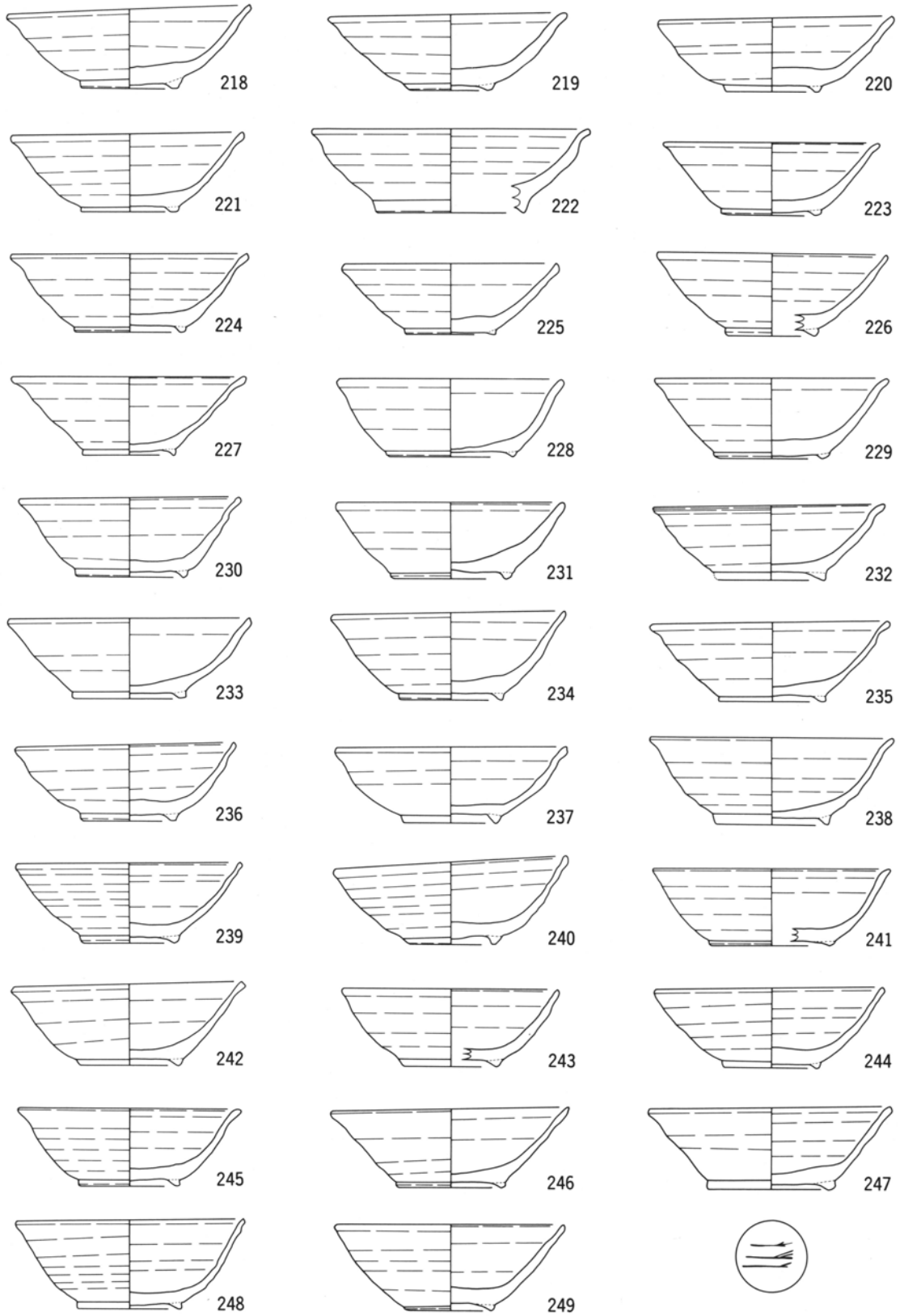
輸入陶磁器には白磁、青磁、青白磁がある。合計で約160点が出土している。多いのは青磁椀で、内面に片切り彫りの文様を持つものなどがみられる。釉調や色調にはバラエティーがあるが、産地は龍泉窯のものが多くと思われる。皿は995のような平底で櫛描き文を持つものが多い。白磁では玉縁口縁椀などがみられる。973は白磁四耳壺である。釉調はやや灰色を帯びた厚めの釉である。青白磁は調査区全体でもほとんど見られないものであるが、S D 133のみ、20点以上出土している。多いのは合子である。974のようなやや大きな楕円形のものや975から978のような円形のものがある。

そのほか、灰釉陶器が椀・皿を合わせて600点以上出土している。これらは前代の流れ込みとも考え



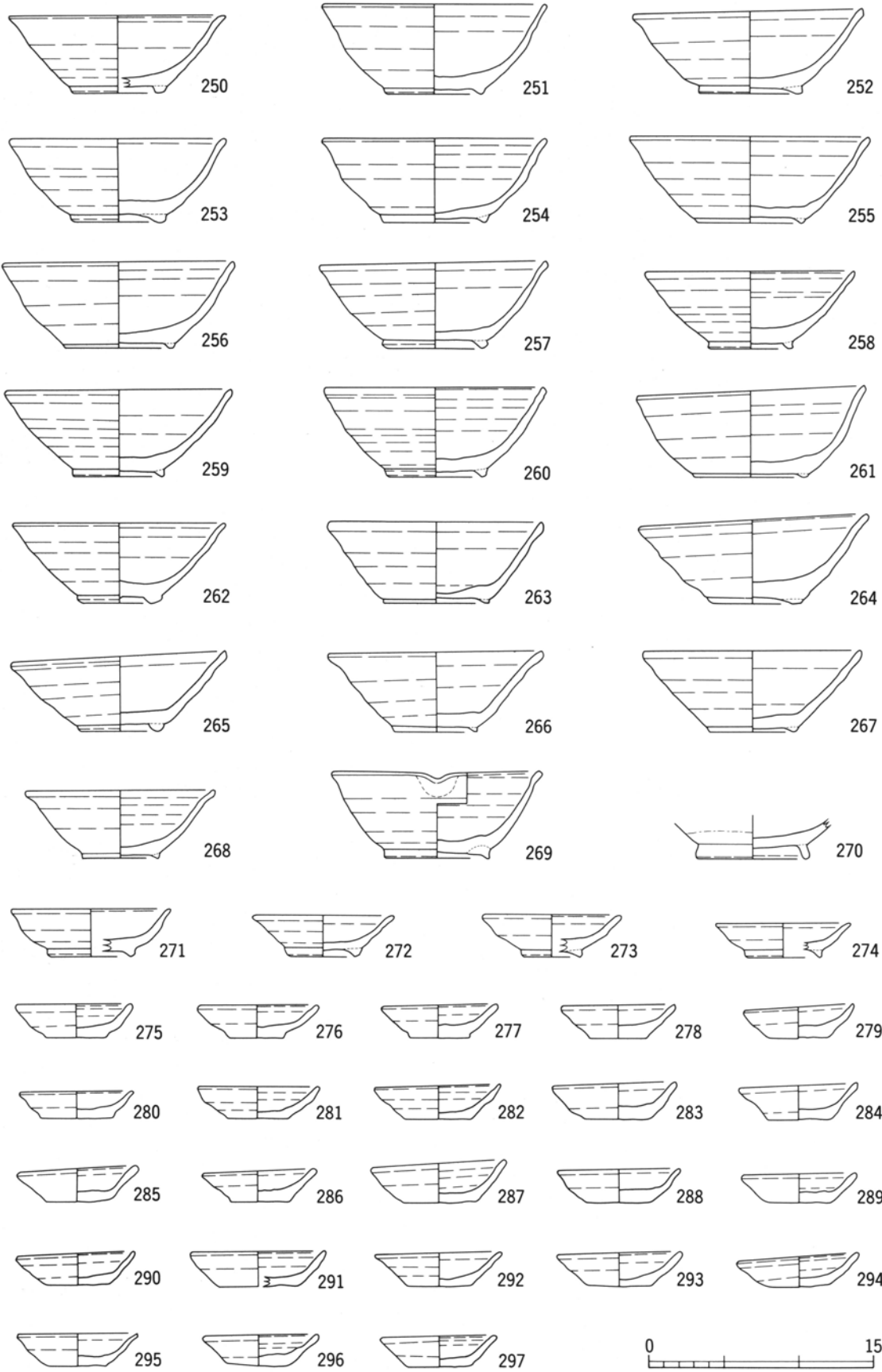
第 52 図 中世 I 期の遺物(7)

SD09 (1)



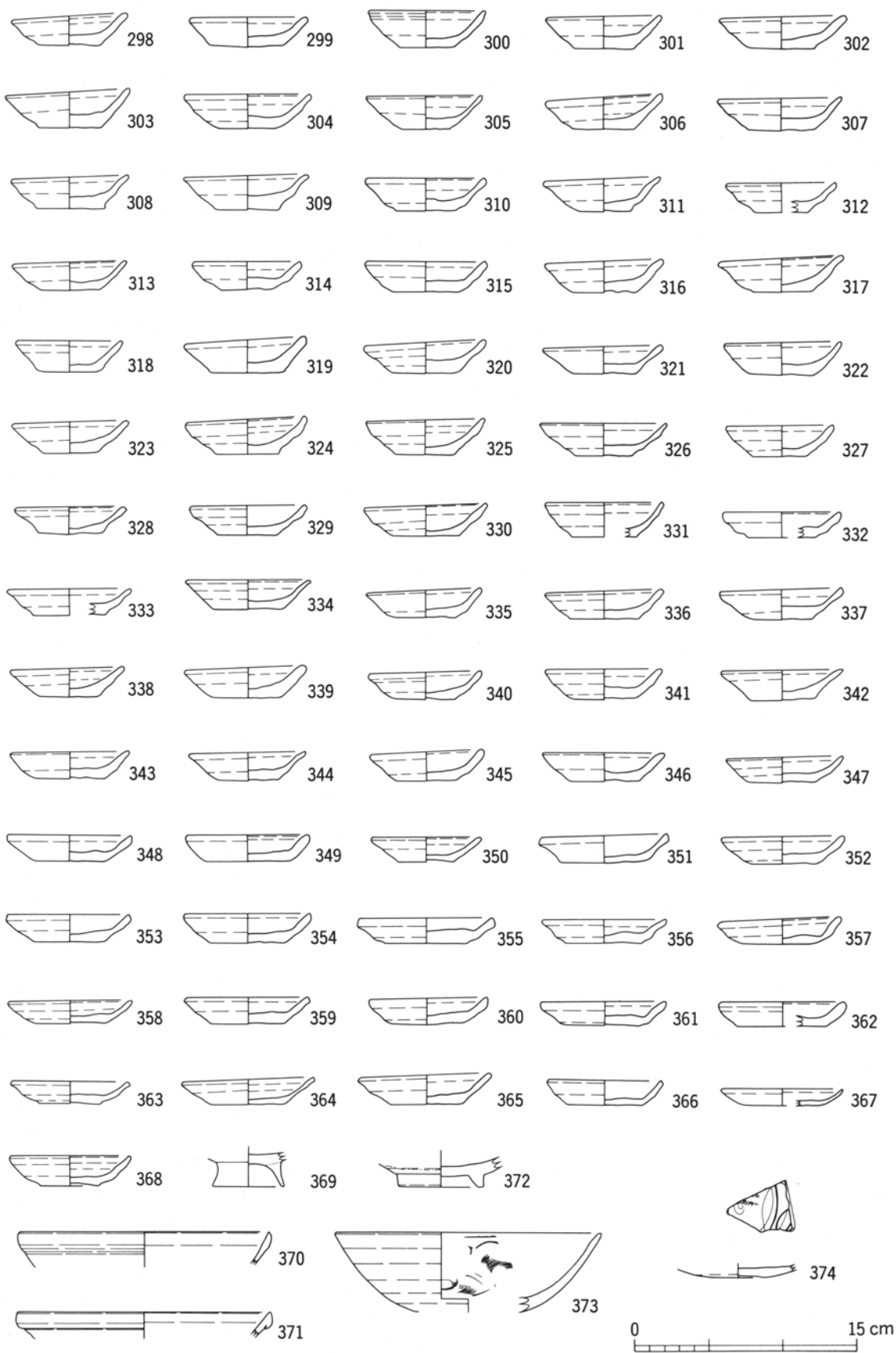
第 53 図 中世 I 期の遺物(8)

SD09 (2)



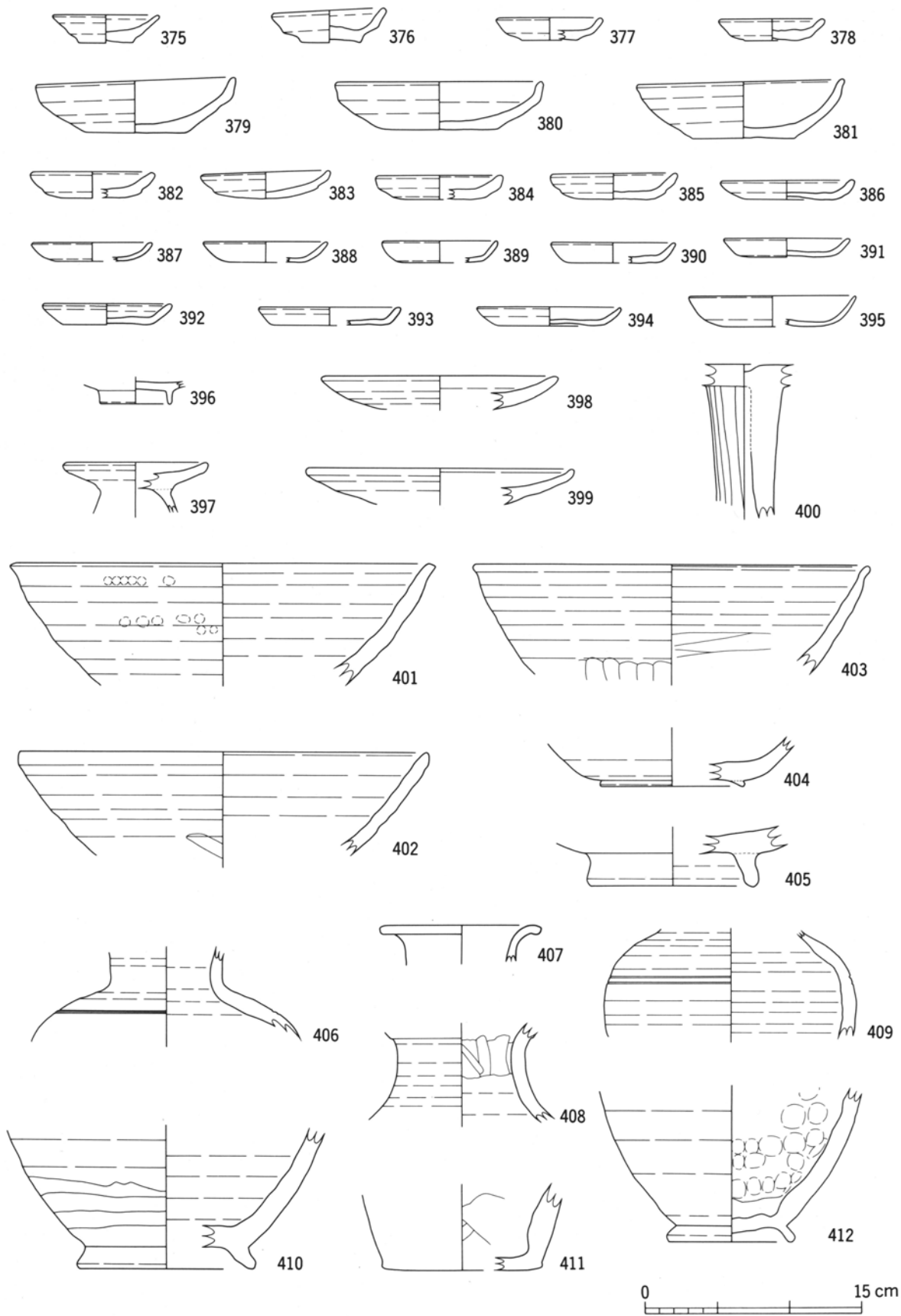
第 54 図 中世 I 期の遺物(9)

SD09 (3)



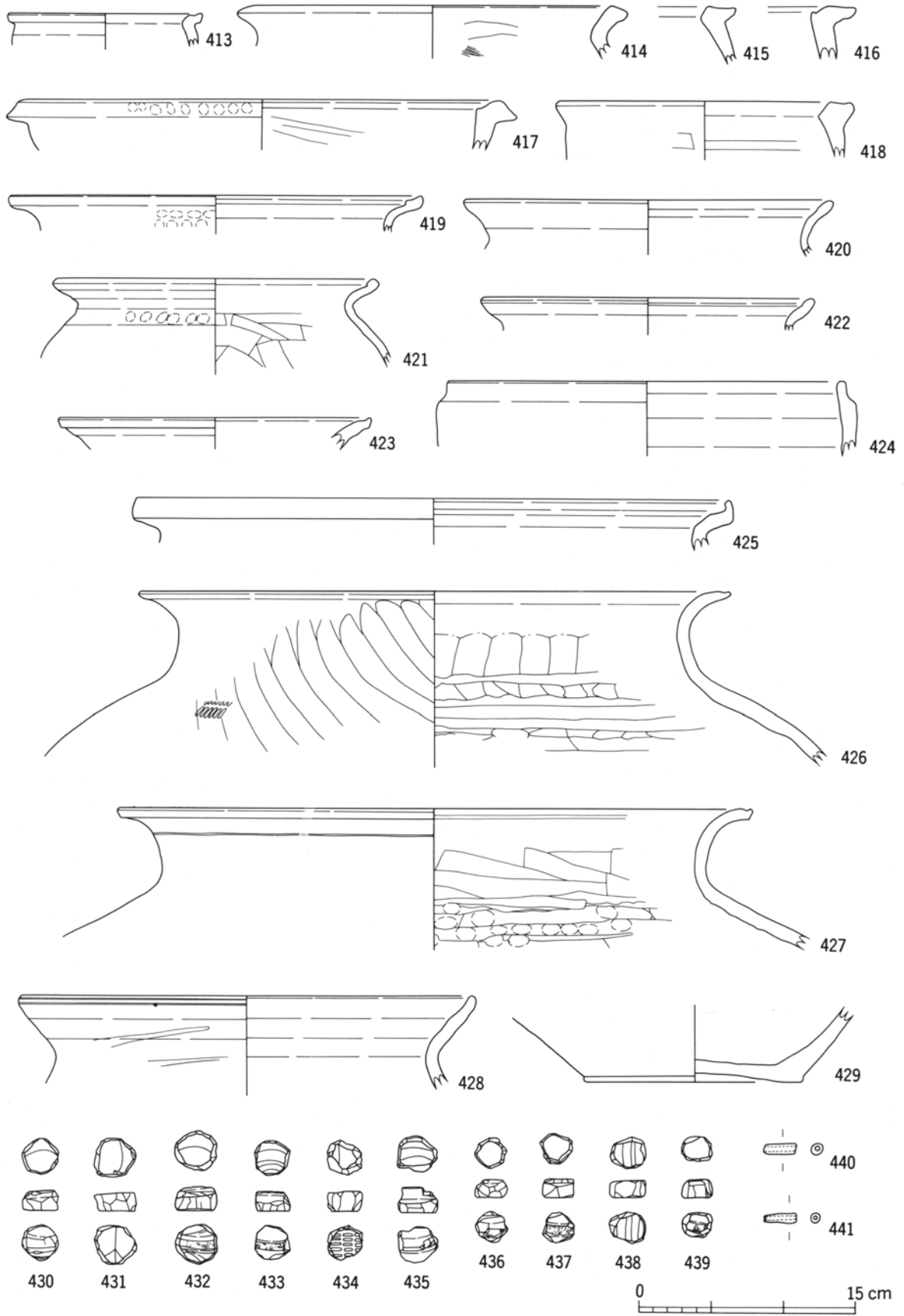
第 55 図 中世 I 期の遺物(10)

SD09 (4)



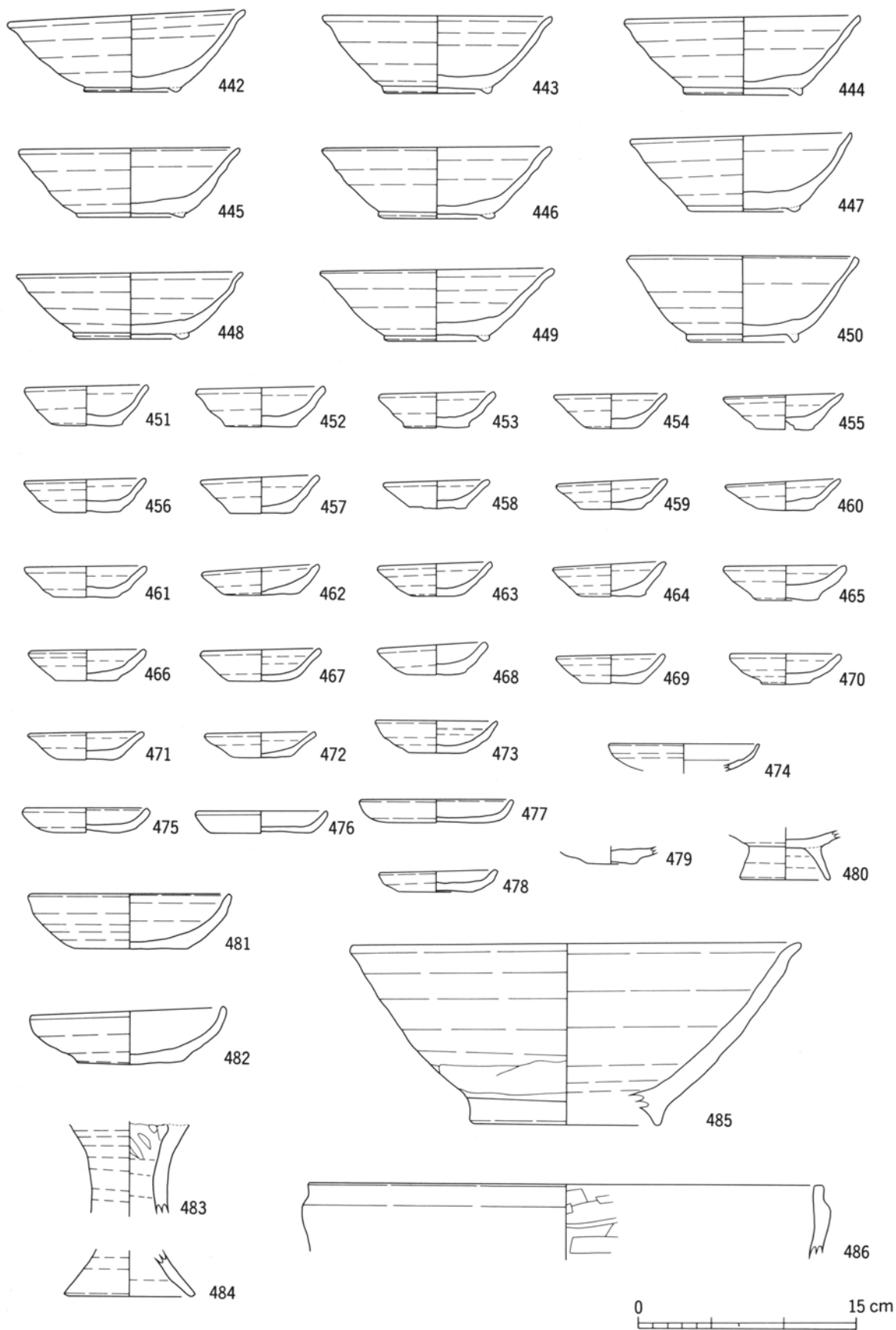
第 56 図 中世 I 期の遺物(11)

SD09 (5)



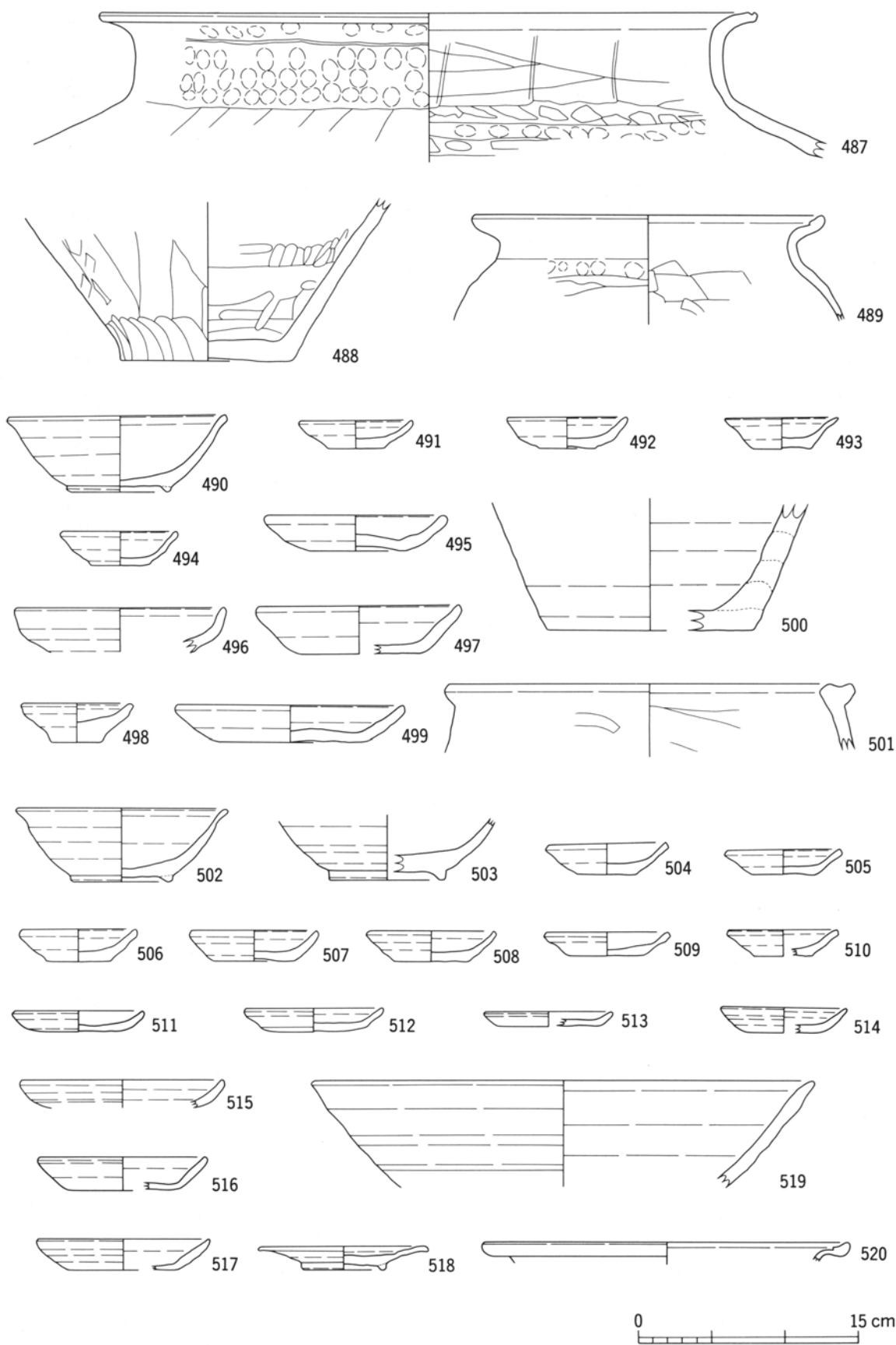
第 57 図 中世 I 期の遺物(12)

SD09 (6)



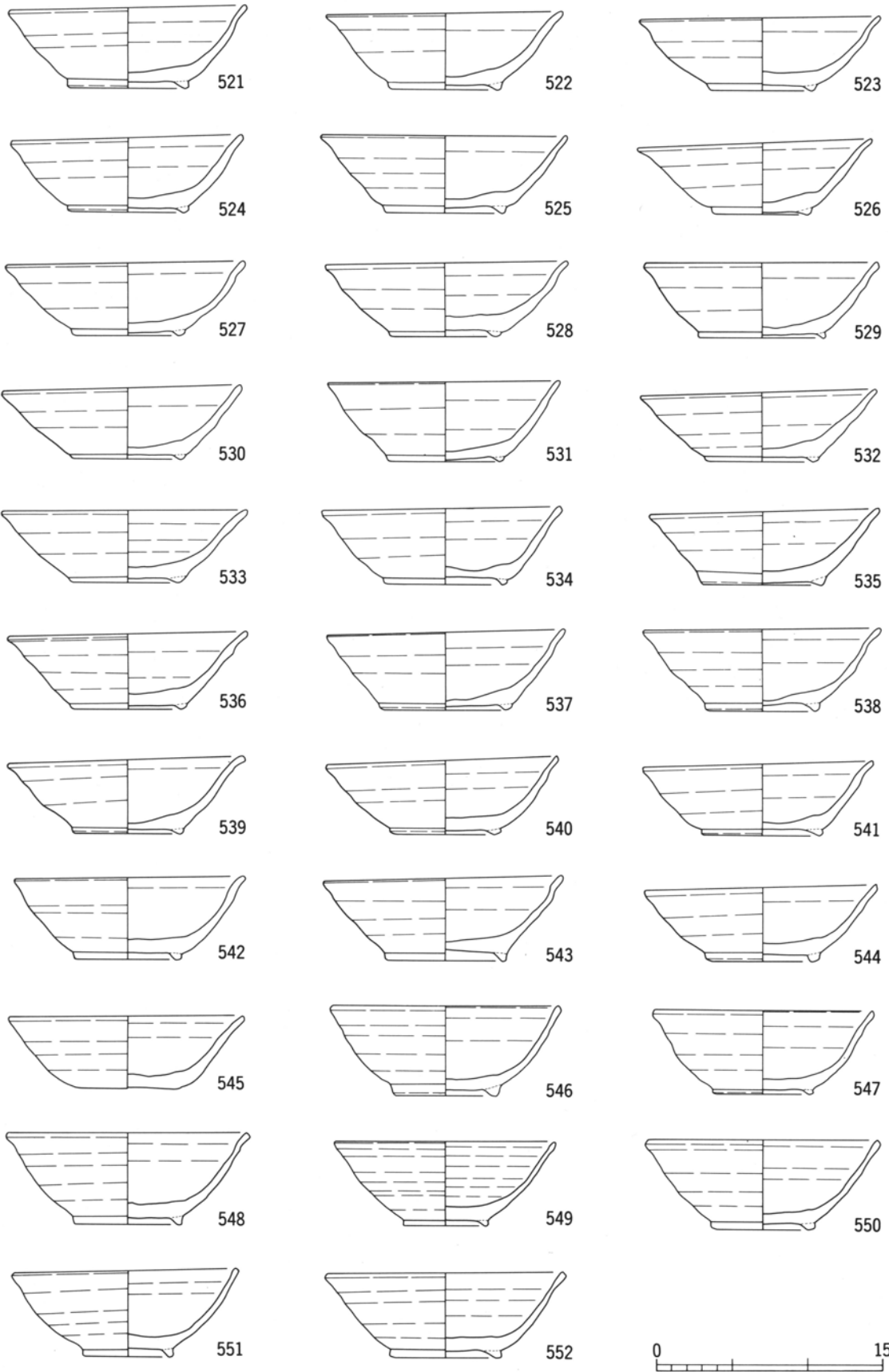
第 58 図 中世 I 期の遺物(13)

SD09 (7)



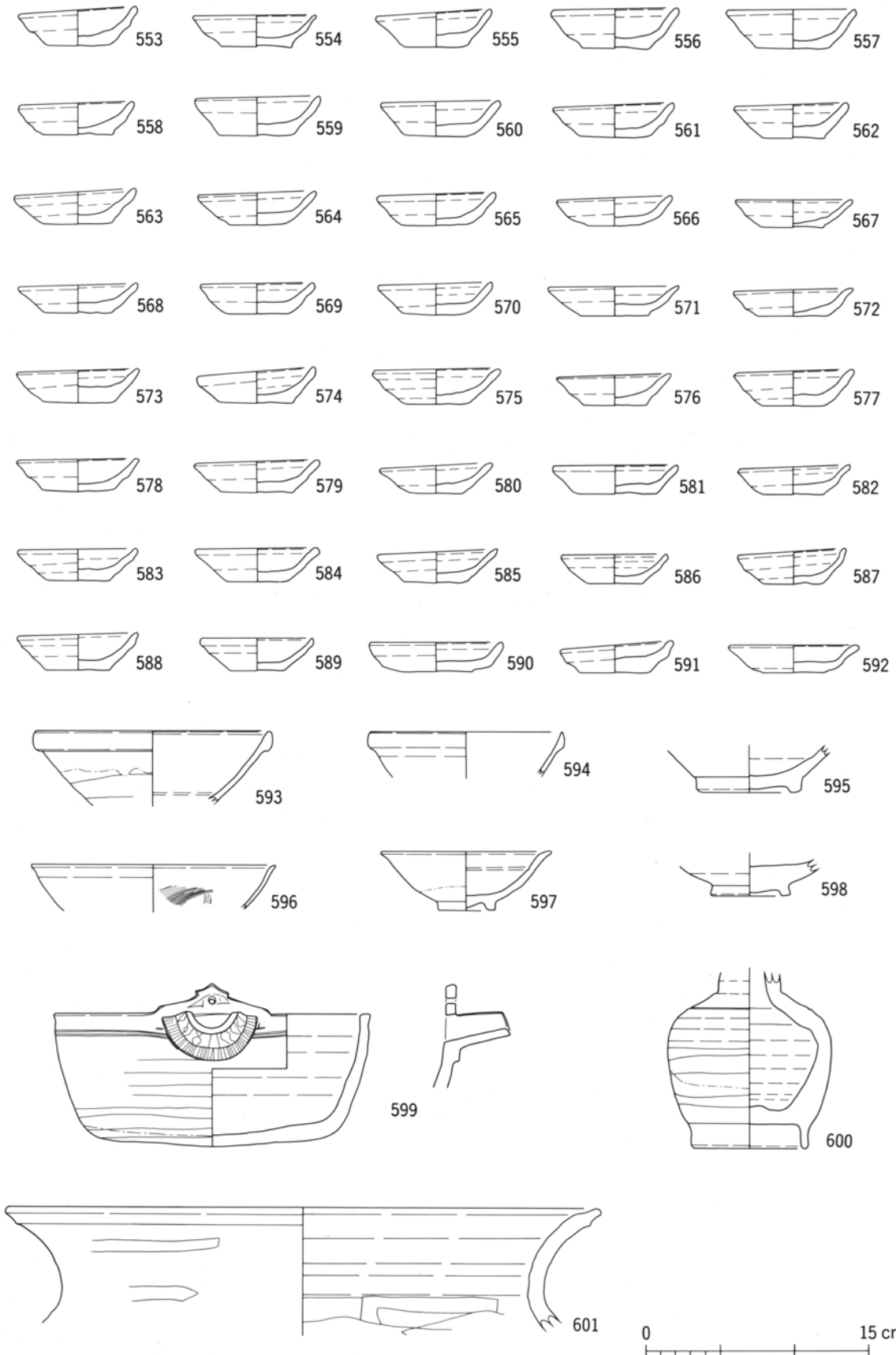
第 59 図 中世 I 期の遺物(14)

SD09 (8)、SK168、SE55



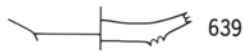
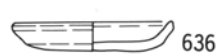
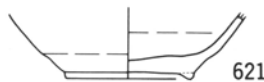
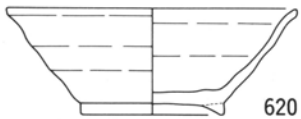
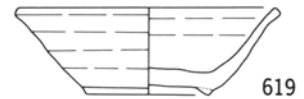
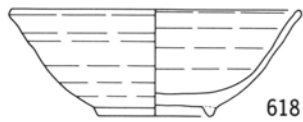
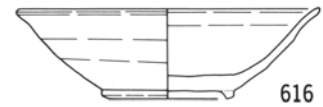
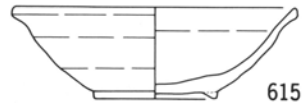
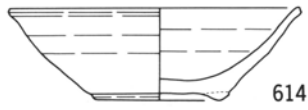
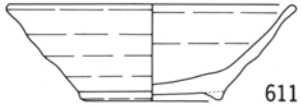
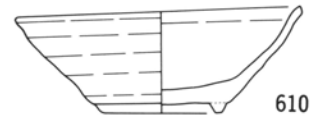
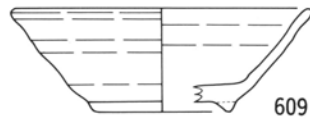
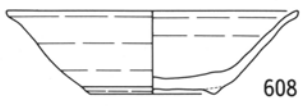
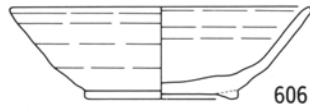
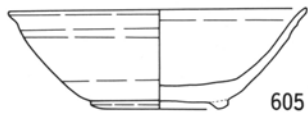
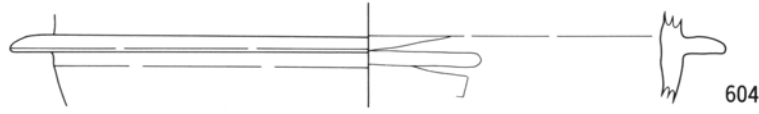
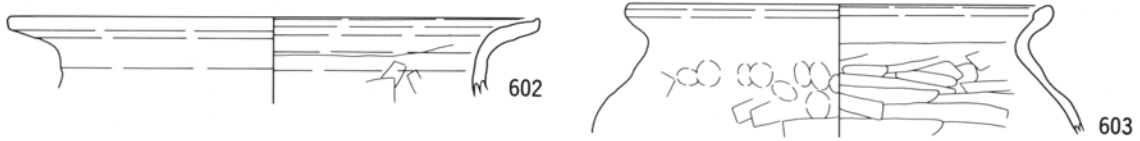
第 60 図 中世 I 期の遺物(15)

SD76 (1)



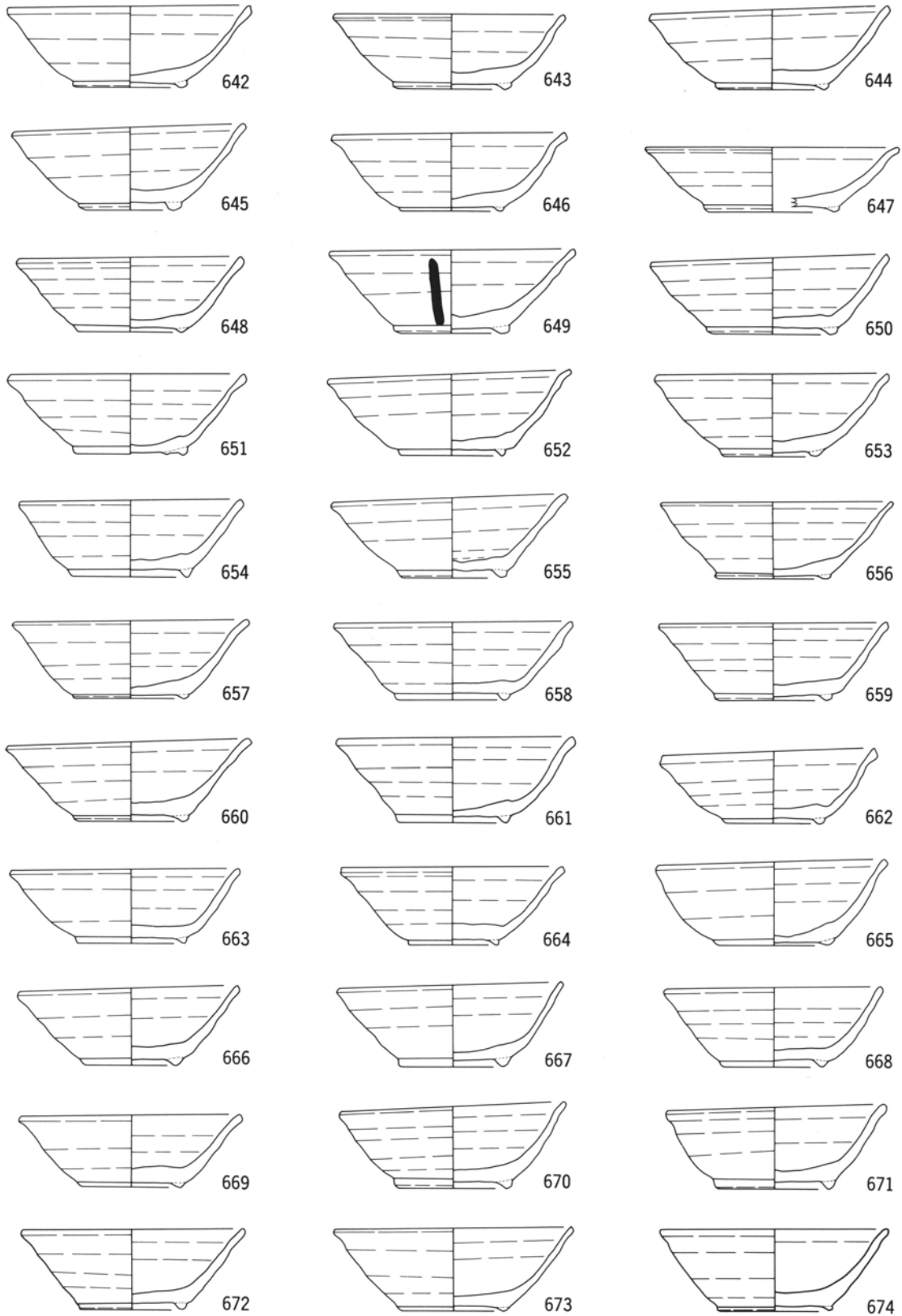
第 61 図 中世 I 期の遺物(16)

SD76 (2)



第 62 図 中世 I 期の遺物(17)

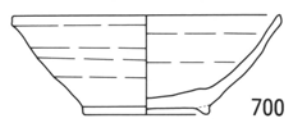
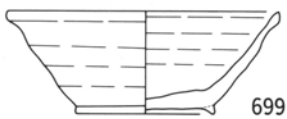
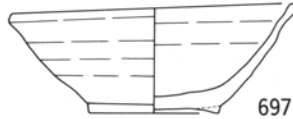
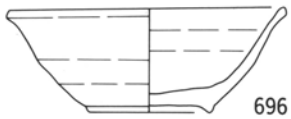
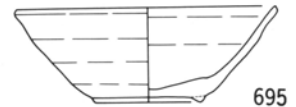
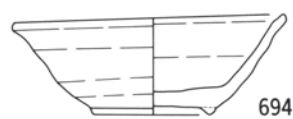
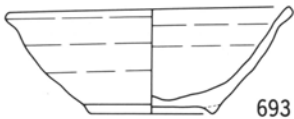
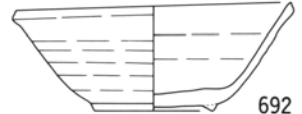
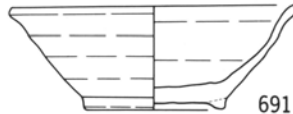
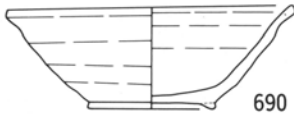
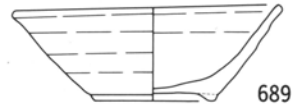
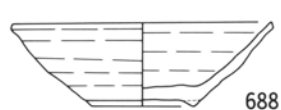
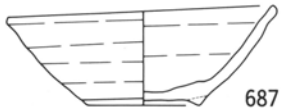
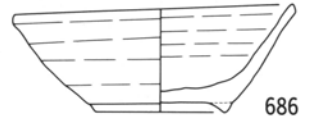
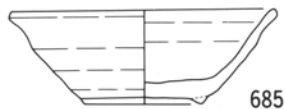
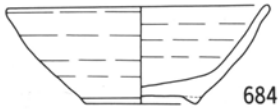
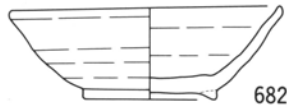
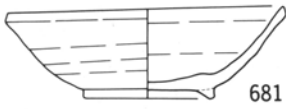
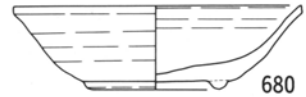
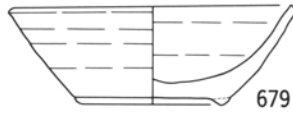
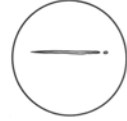
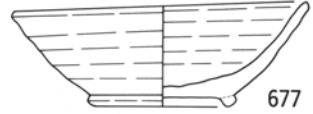
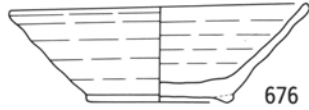
SD76 (3)、SK232



0 15 cm

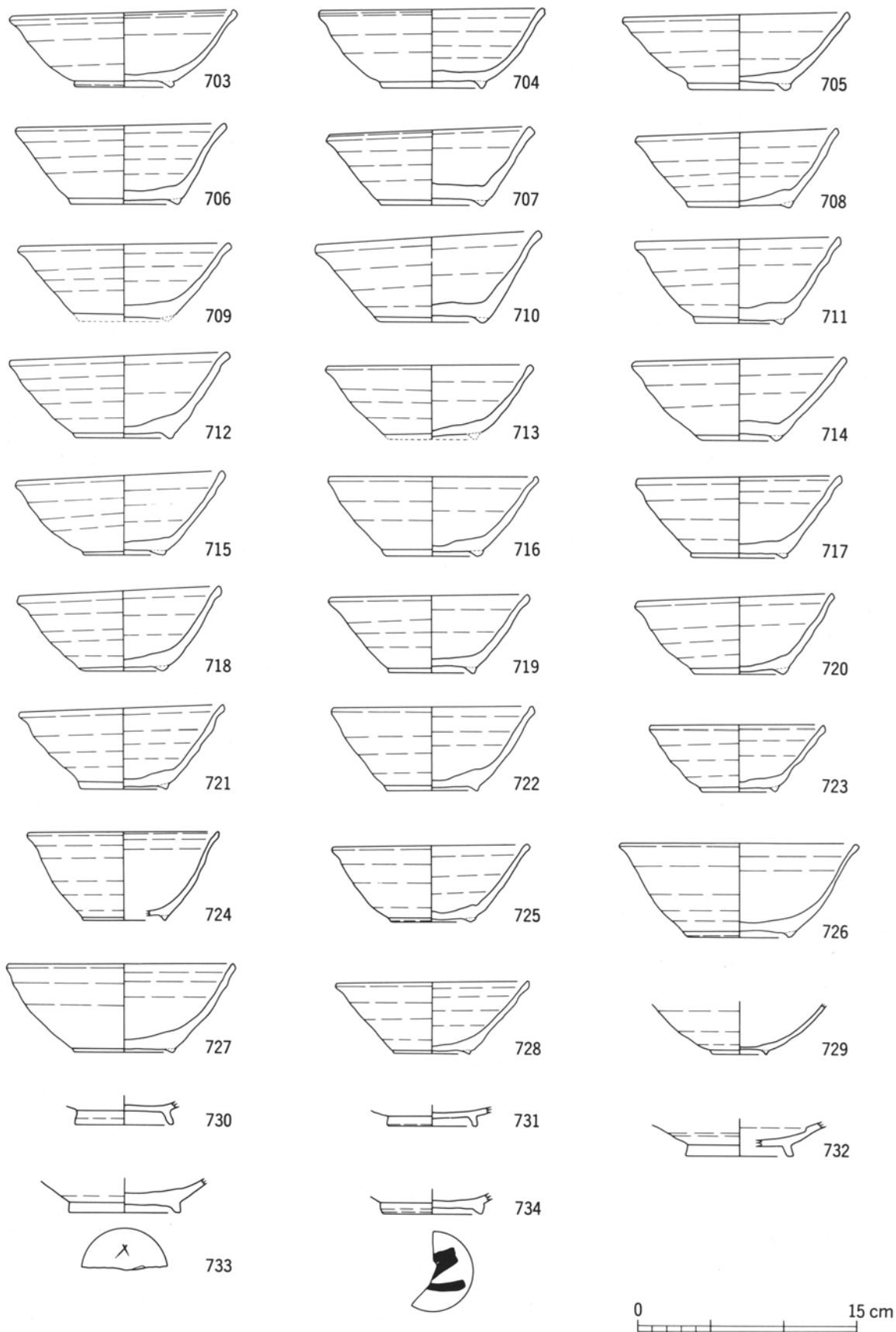
SD133 (1)

第 63 図 中世 I 期の遺物(18)



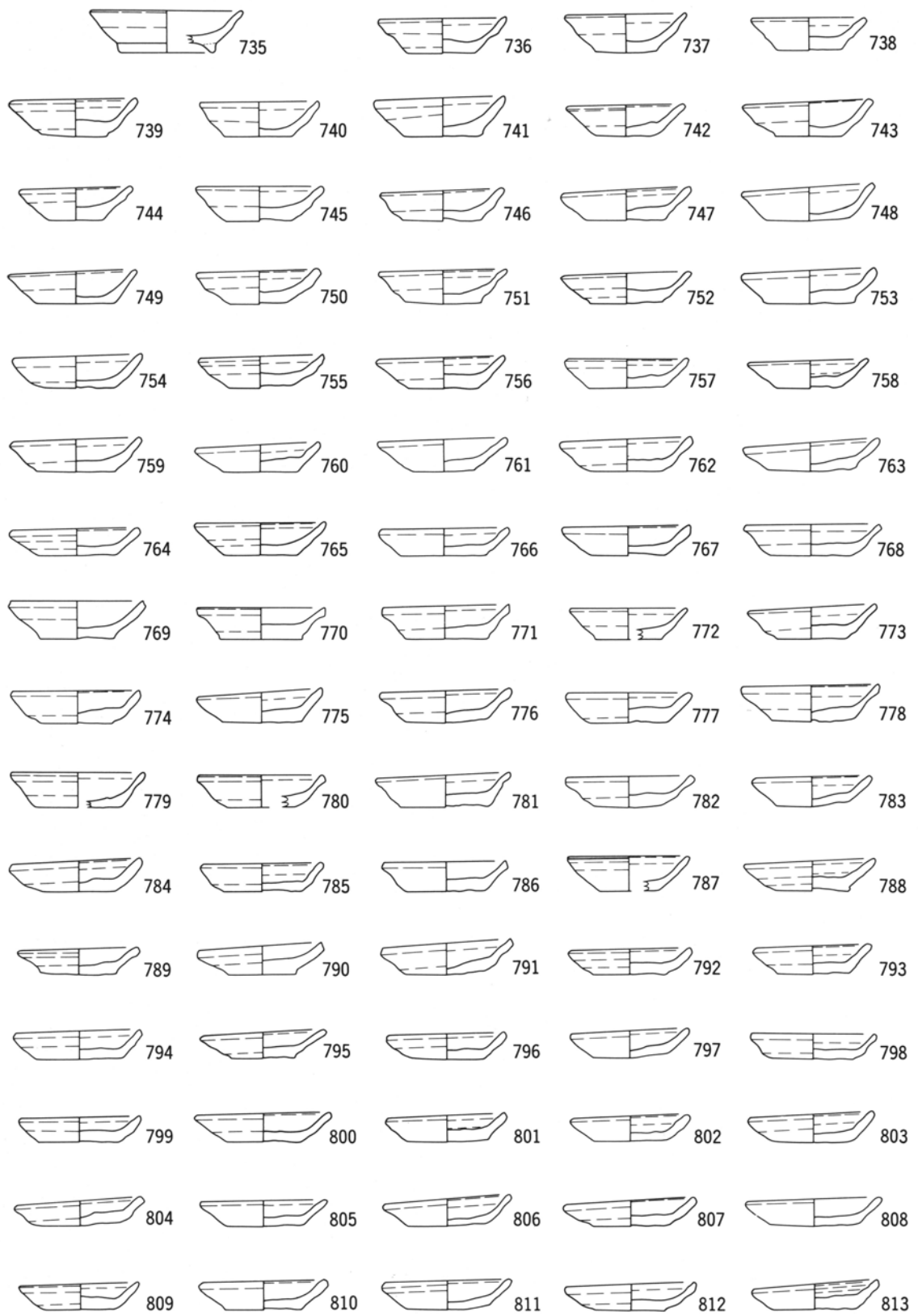
SD133 (2)

第 64 図 中世 I 期の遺物(19)



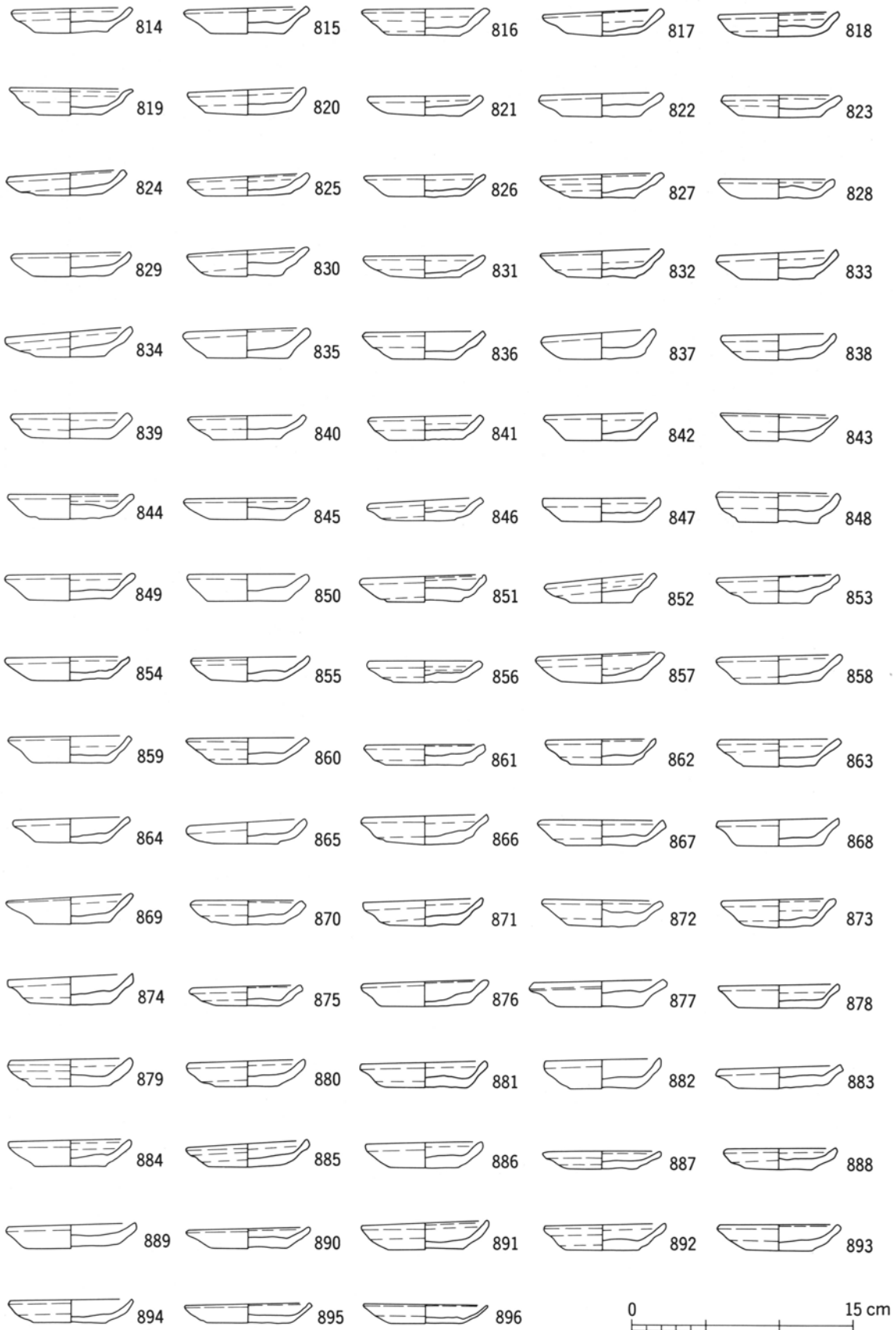
第 65 図 中世 I 期の遺物(20)

SD133 (3)



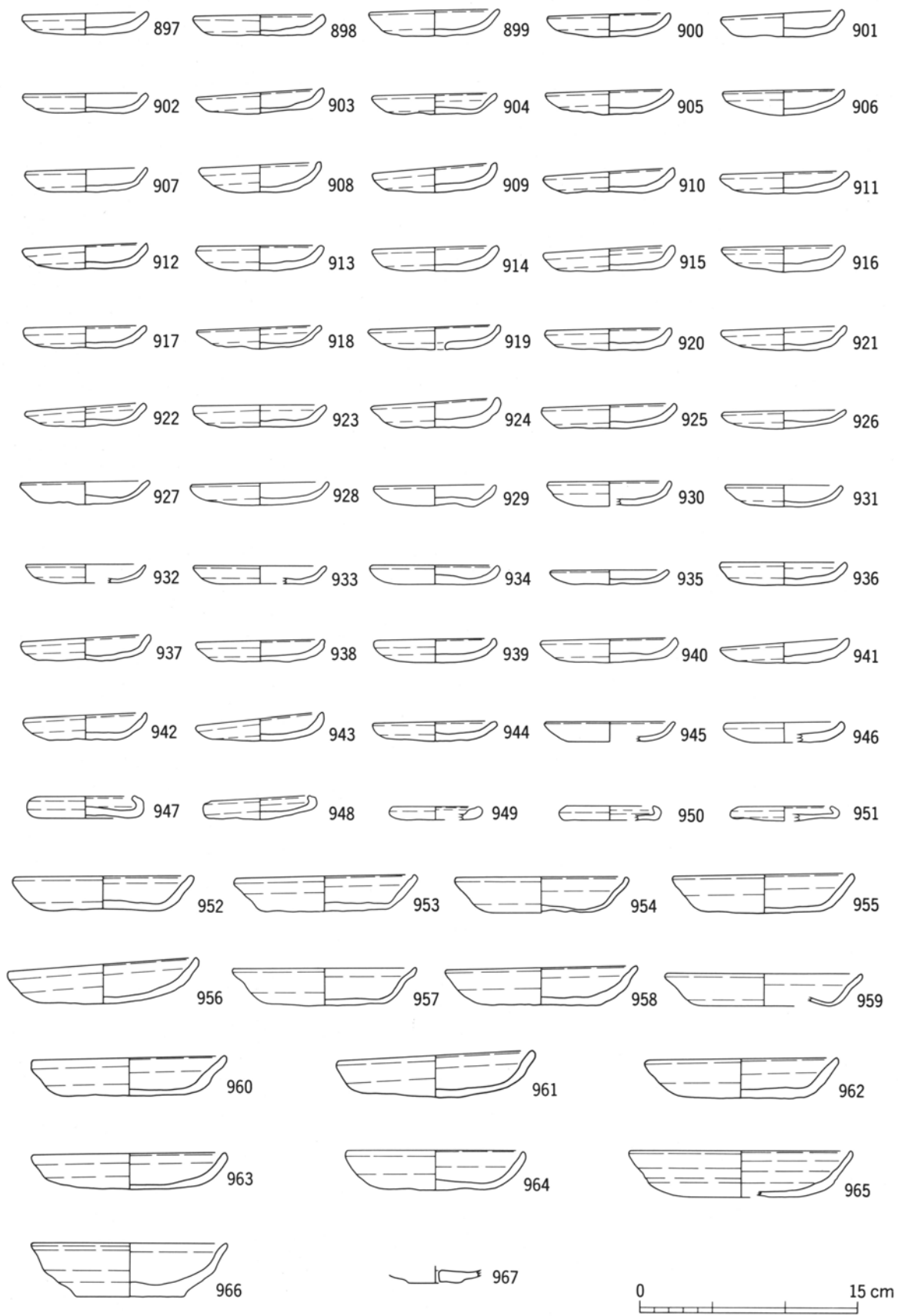
第 66 図 中世 I 期の遺物(21)

SD133 (4)



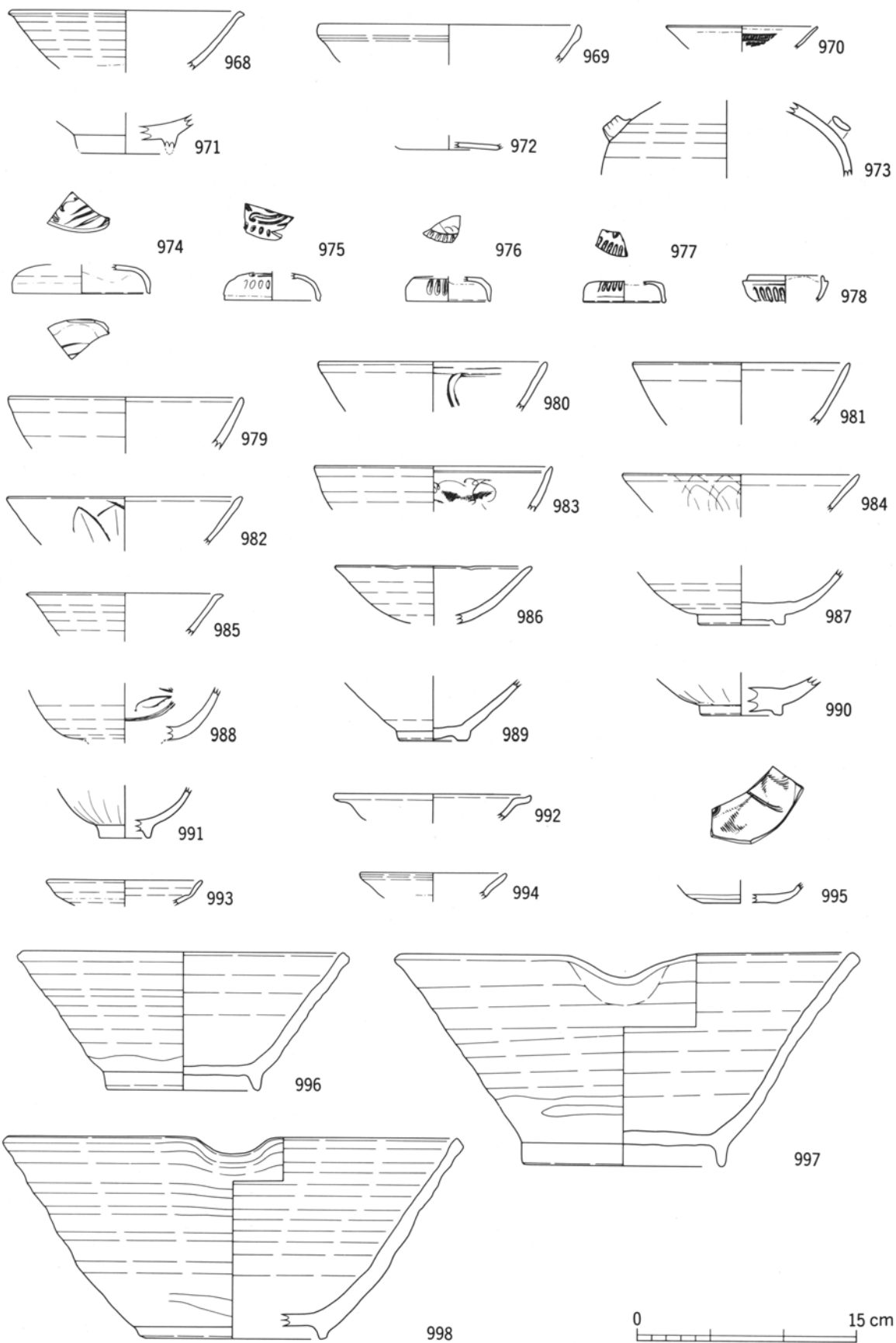
第 67 図 中世 I 期の遺物(22)

SD133 (5)



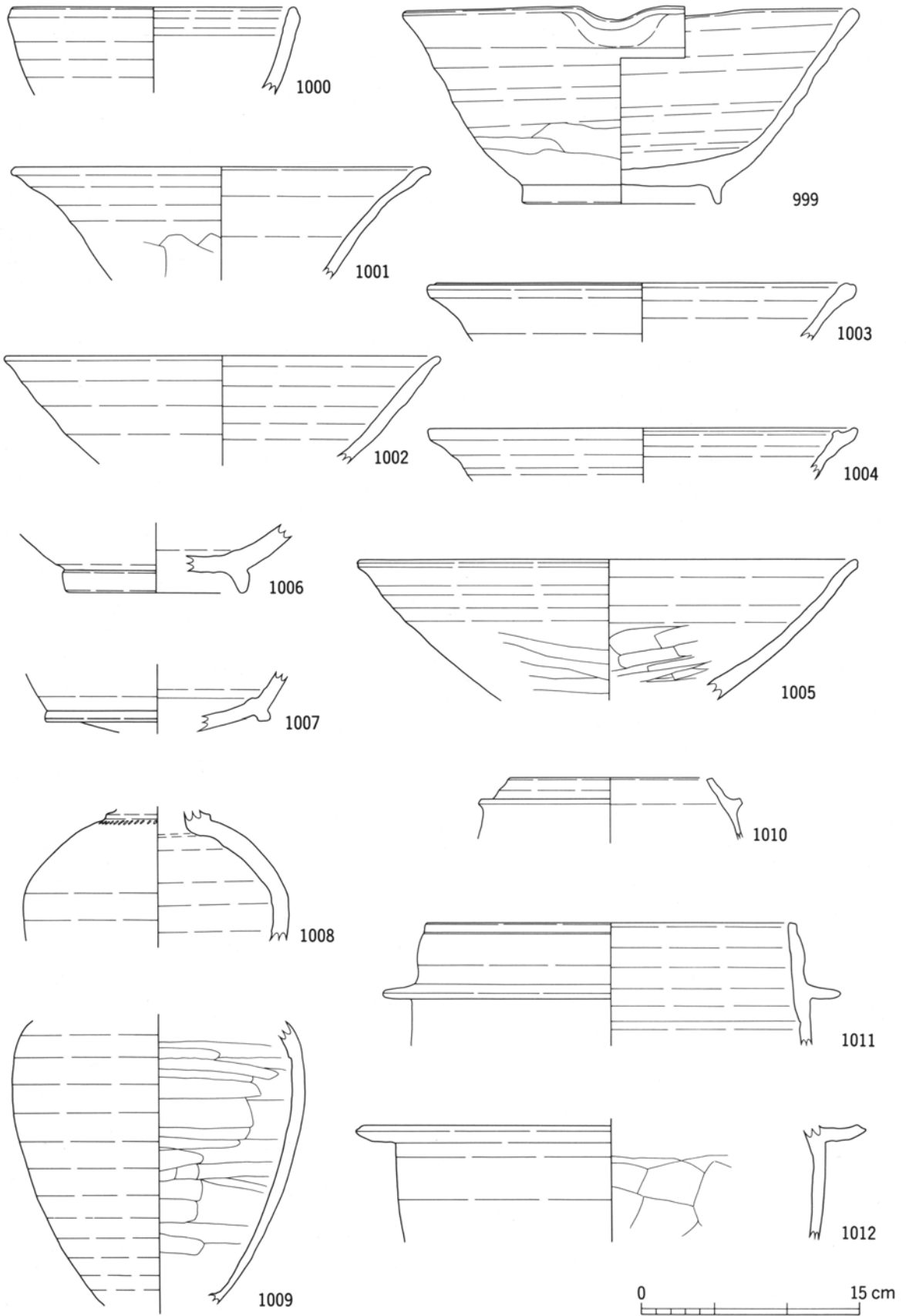
第 68 図 中世 I 期の遺物(23)

SD133 (6)



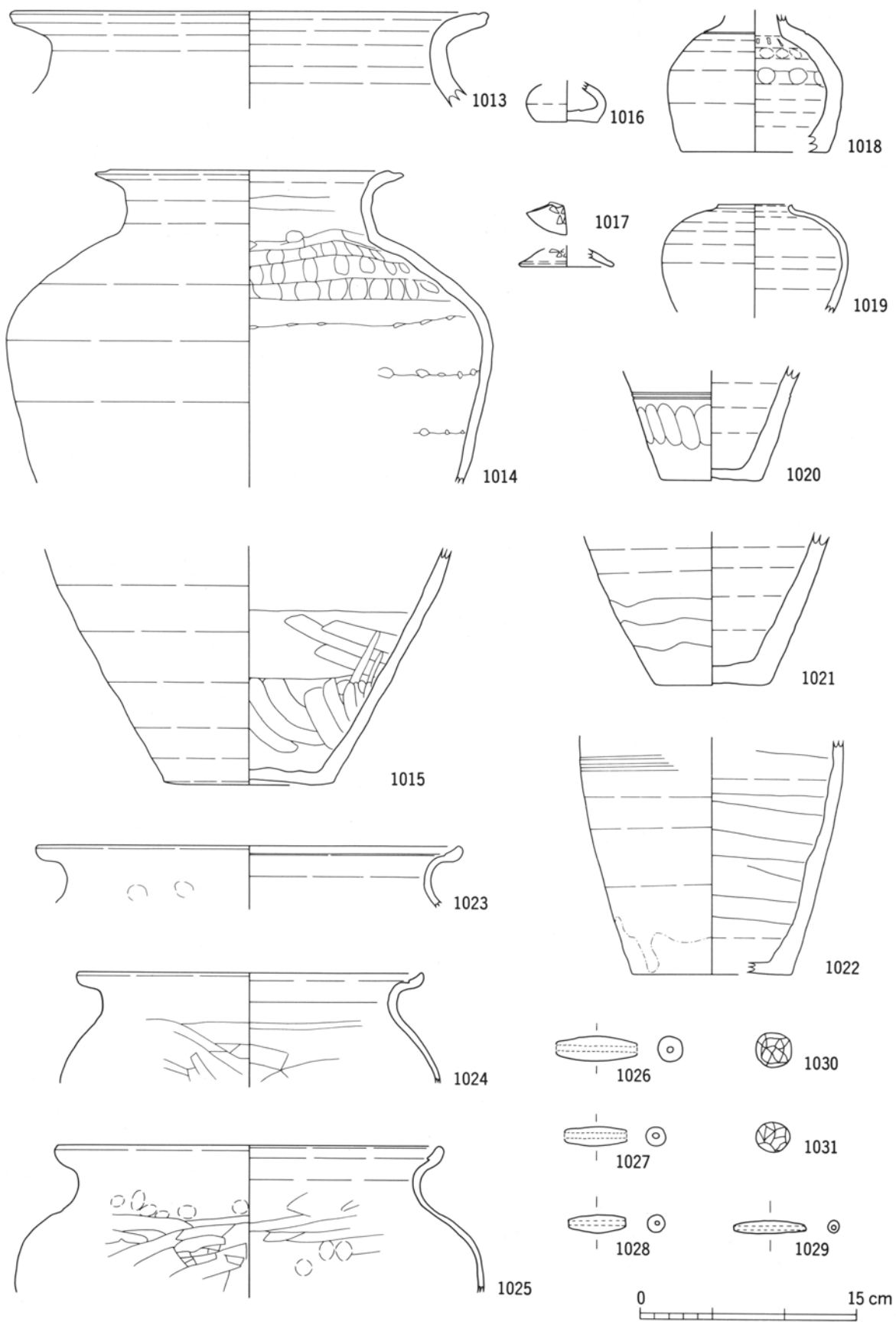
第 69 図 中世 I 期の遺物(24)

SD133(7)



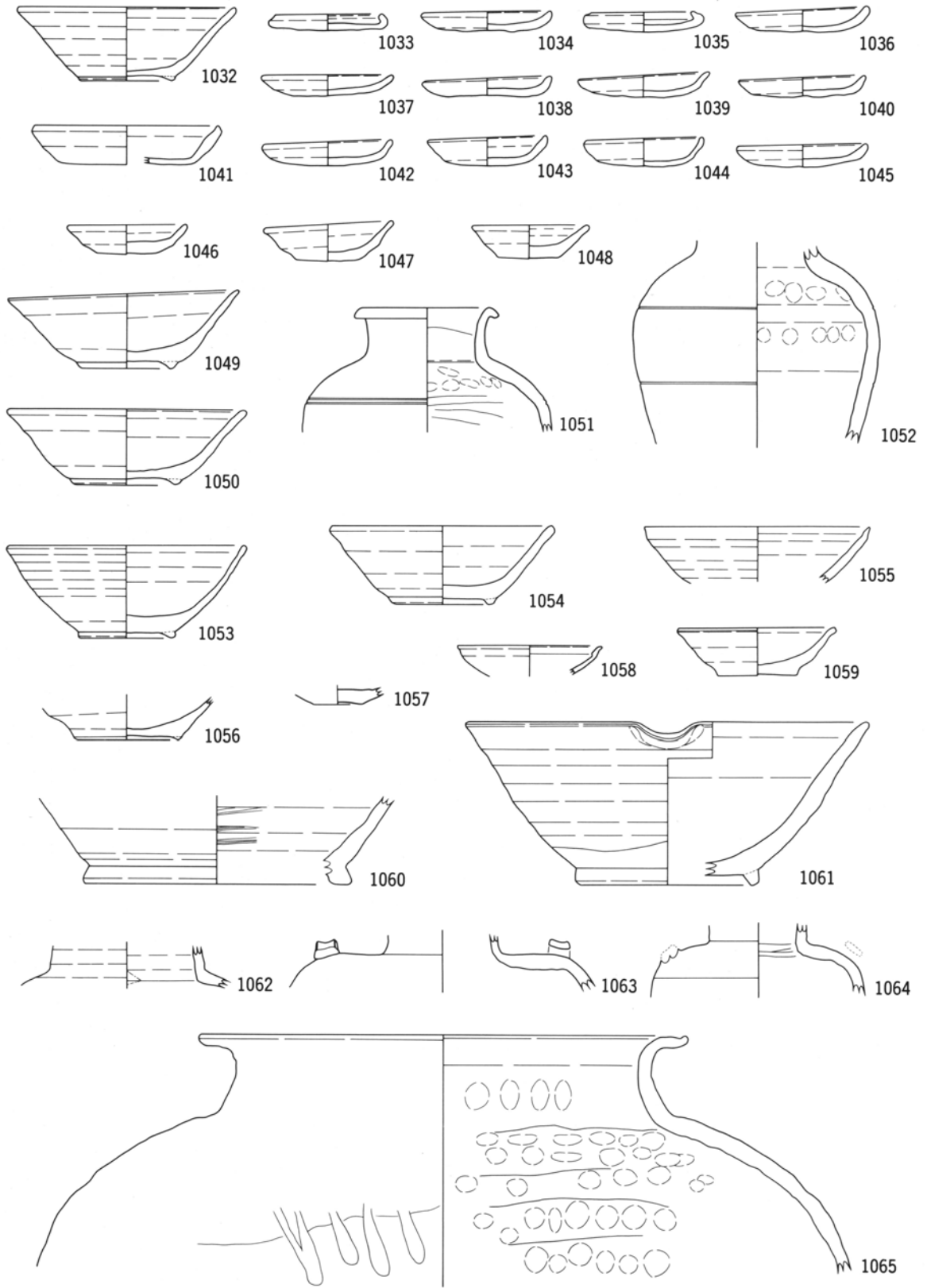
SD 133 (8)

第 70 図 中世 I 期の遺物(25)



第71図 中世I期の遺物(26)

SD133(9)



0 15 cm

第 72 図 中世 I 期の遺物(27)

SK316、包含層

られる。1010は瓦器と思われる。器面の摩滅が激しいので調整技法等は不明である。

包含層出土（第72図-1046～1065） 59E区の包含層中で褐色粘土層が見られたが、ここから山茶碗に混じって、常滑三筋壺などが出土している（1051、1052）。

4) I-4期（13世紀中葉～後葉）

I-4期の遺構・遺物はあまり多くない。検出された遺構は溝、土坑、井戸などである。代表的な遺構としては、S D55、S K335、S K360、S K388、S K400（下層）、S K455、S E91などがある。

S D55（第73・74図-1066～1158） S D55からは土師器が大量に出土している。全てで9,000点弱の遺物が出土しているが、そのうち土師器の占める割合は70%以上である。出土した器種としては、山茶碗類碗A1・B2・B3・C1・C2・D1・D2、皿B2・B3・D2・D3、入子、土師器皿A・C2・C3・D・E1・E2・F、鍋A・B、釜、施釉陶器灰釉碗、皿、鉢、壺、焼き締め陶器壺、甕、白磁碗、皿、青磁碗、皿、陶丸、陶錘などがある。

山茶碗類碗では、砂粒を多く含む胎土のもので高台を欠く碗B3がかなり見られる。産地はほとんど瀬戸であると思われる。この時期になると均質な胎土を持つものが増加し、その比率は碗では6：5、皿では3：2と逆転する。胎土が均質なものでは、碗C1・C2などが中心である。皿では、皿D3が中心となる。1108はミニチュアの皿である。大きさからみると実用とは思えない。1109は口縁部がひだ状になる入子で、底部に丸い粘土粒が3ヶ所付けられており脚を表しているのかもしれない。

土師器皿は合計約6500点とかなりの数に上る。ロクロ成形のものもあるが非常に数が少なく、流れ込みの可能性が高い。最も多いのが皿C2である。皿C2は底部がやや丸底気味で、体部に稜を持つものも多い。口径は約8cm前後のものが多い。白色の胎土を持つものもあまり見られなくなる。この時期に新しくみられる器種として皿E類がある。皿E1では、1142のように口縁部の横ナデが明瞭である。1111はいわゆる「へそ皿」であるが、量としてはごくわずかである。皿Fは器高が小さくなり扁平化する。体部に丸みを持つもの（1114～1118）も増えてくる。鍋は鍋A・Bが見られる。釜は胎土が比較的均質なものである。

施釉陶器は碗・皿・鉢・壺と器種にバラエティーが増えてくる。1146は光沢のあるガラス質の灰釉を施した天目型の碗である。底部は回転糸切りのままである。1147は卸皿である。体部には淡緑色の灰釉をかけるが、底部は露胎である。

焼き締め陶器には壺・甕がある。1151は体部がそろばん玉形になるものである。釜はほとんど見られなくなる。

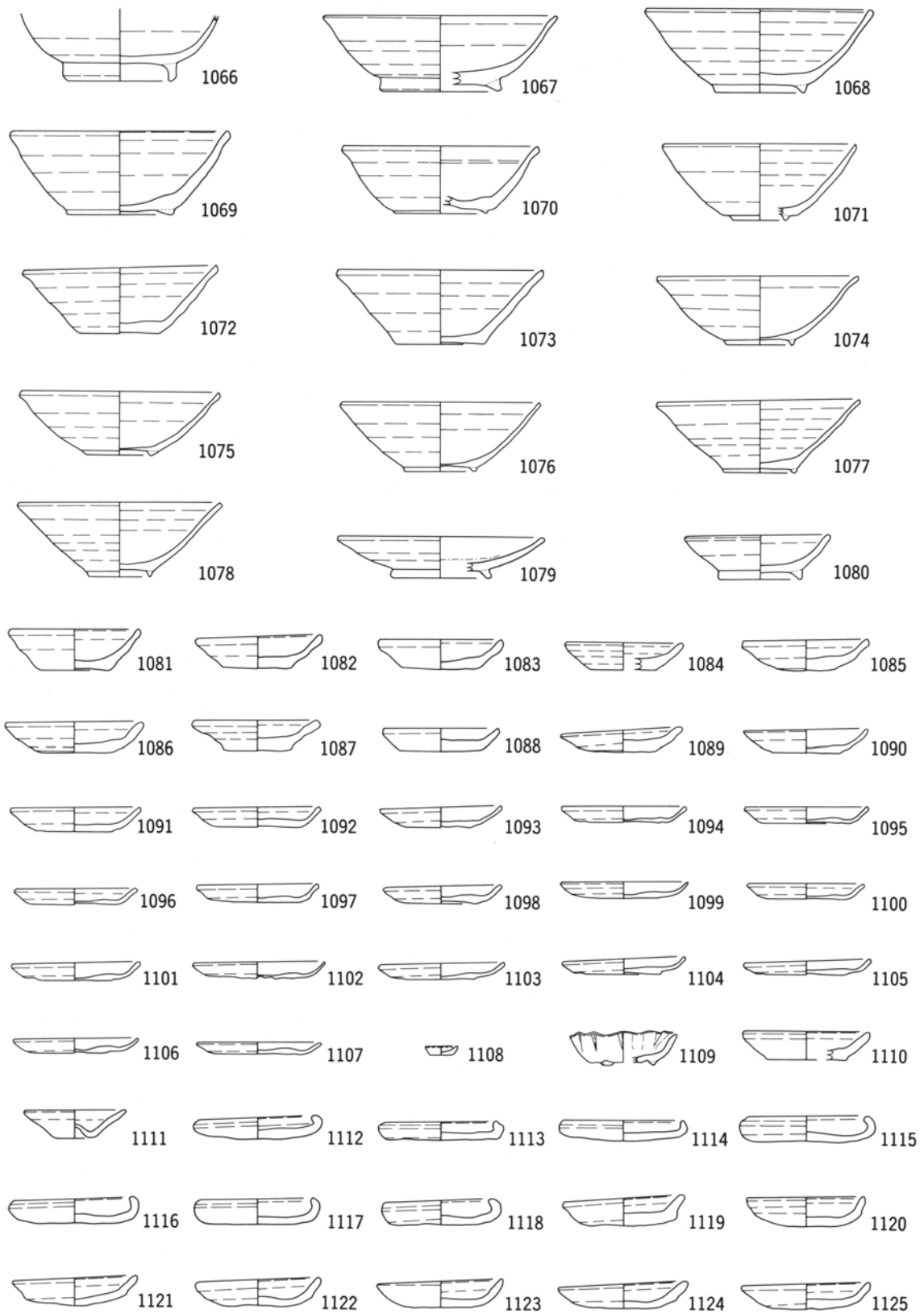
輸入陶磁器では白磁碗や青磁碗が幾つかみられるのみである。

そのほか陶丸、陶錘などがある。

S K388（第75図-1172～1187） S K388からは山茶碗類碗A2が多く見られた。土師器では皿C2・C3が中心である。1187は土師器釜のミニチュアと思われるが3つの足が付く。

S K455（第75図-1202～1208） S K455からは山茶碗類碗・皿類が幾つも出土しているが、1204には「上」の墨書がある。

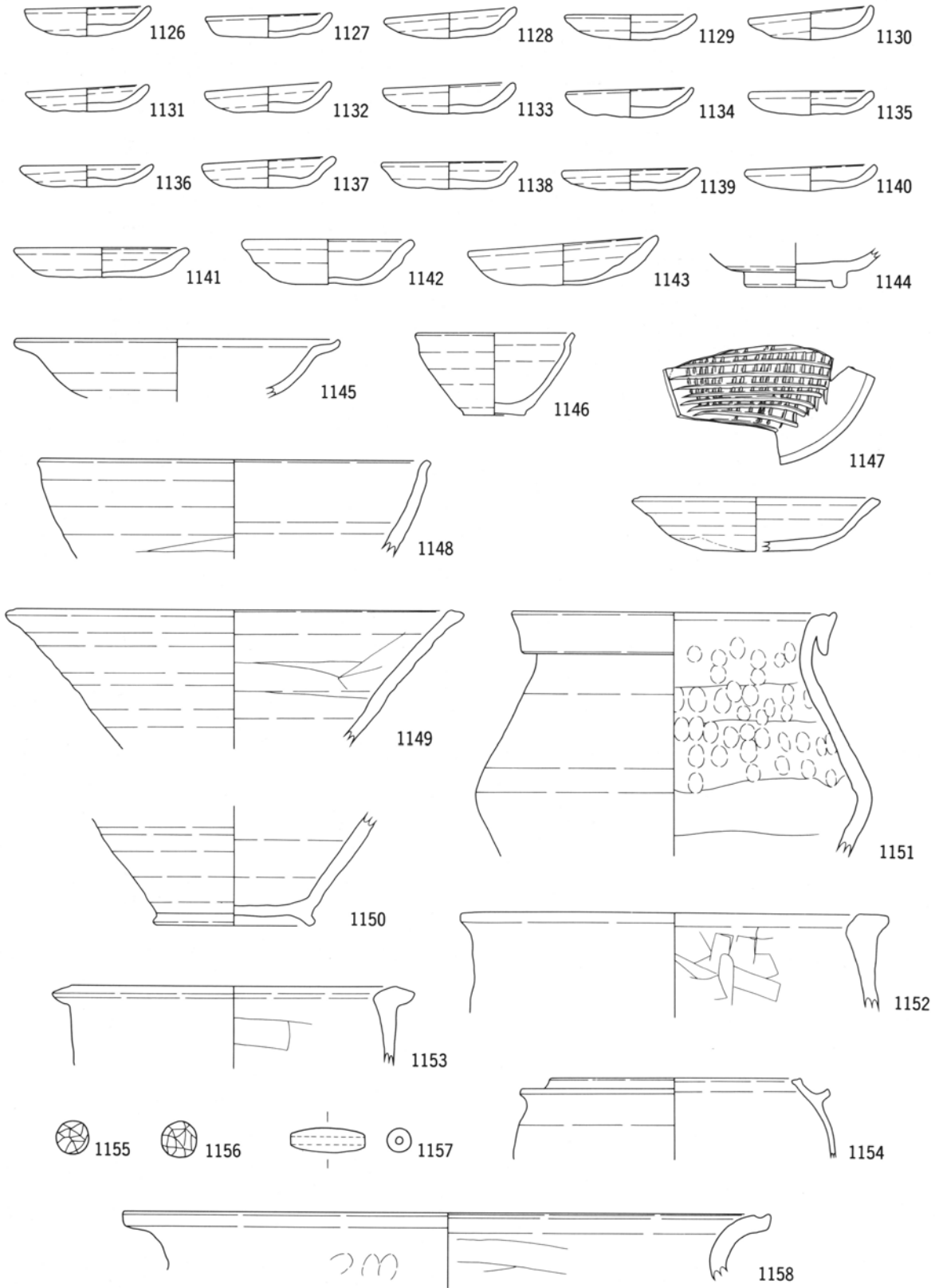
S K360（第76図-1209～1241） S K360では山茶碗類碗A1・A2・B2・B3・C1、皿B2・B3・D3、鍋A、施釉陶器鉢、焼き締め陶器甕、青磁碗、白磁皿、陶丸等がみられる。



0 15 cm

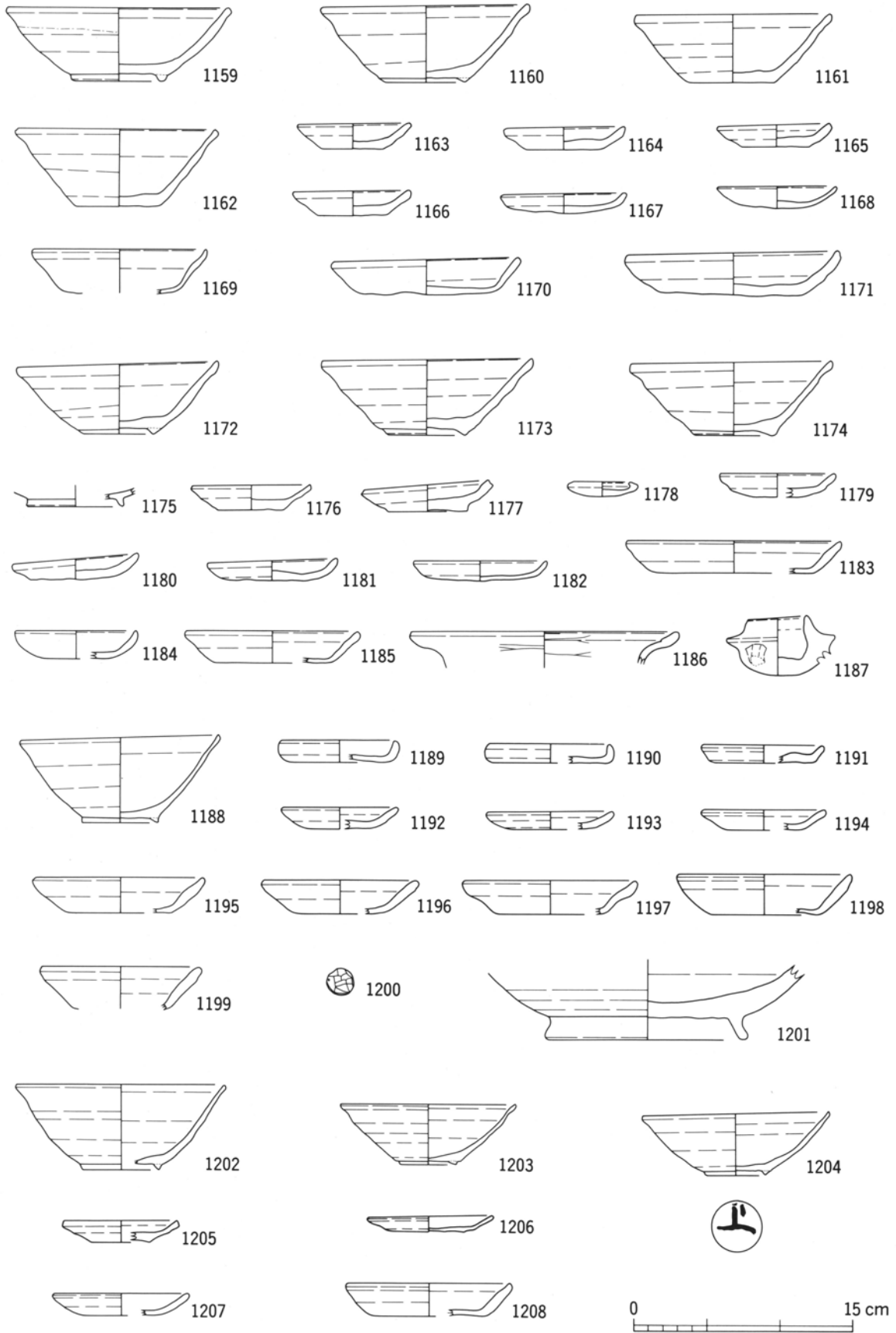
第 73 図 中世 I 期の遺物(28)

SD55 (1)



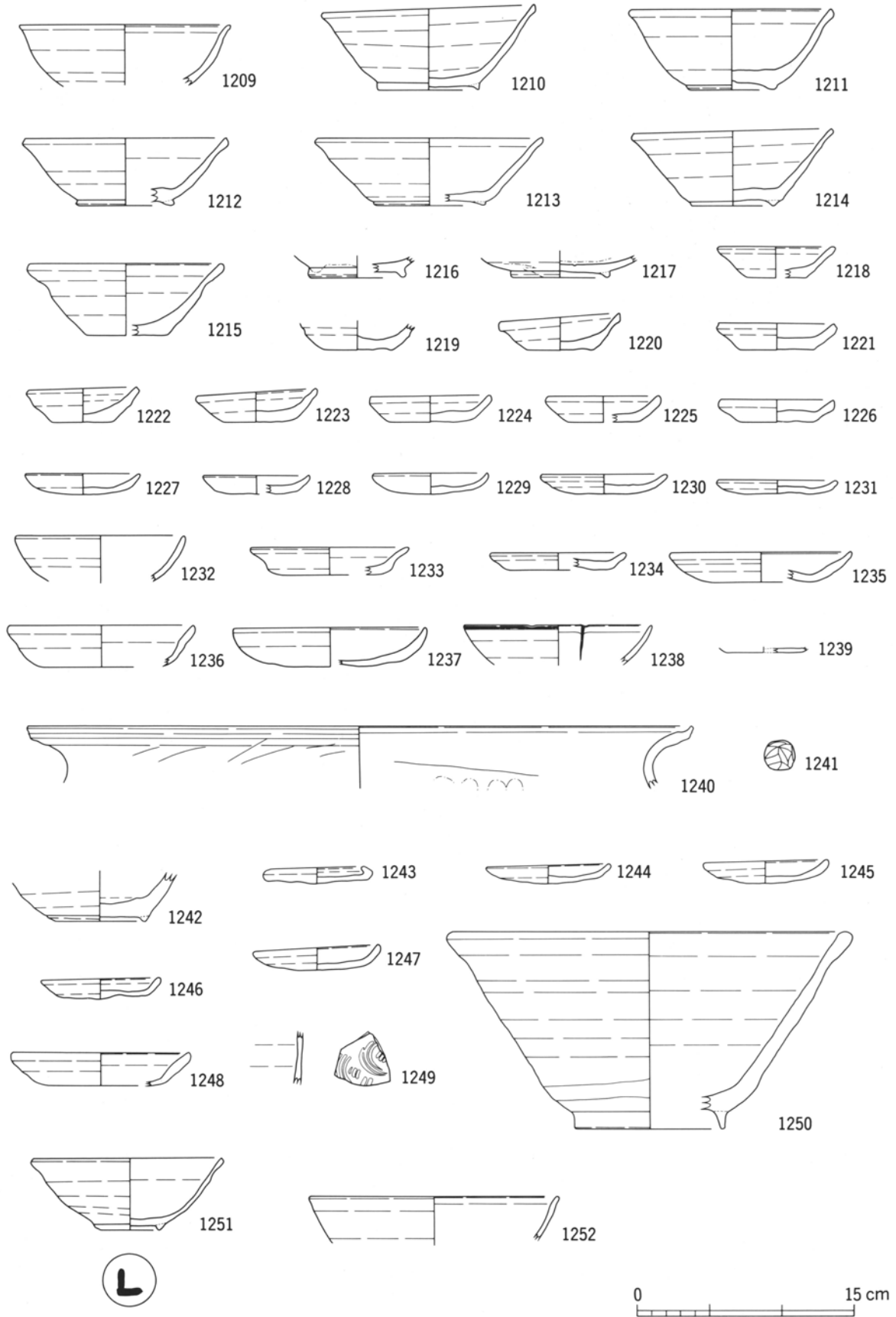
第 74 図 中世 I 期の遺物(29)

SD55 (2)



第 75 図 中世 I 期の遺物(30)

SK400、SK388、SK455、SE91



第 76 図 中世 I 期の遺物(31)

SK360、SK335

山茶椀類は、椀では常滑産のものが比較的多くみられる。時期幅が少しある。

土師器は皿が各種見られるが、1230,1231,1234のような偏平な皿D 3が目だつ。1237は体部が丸みを持って立ち上がるものである。このような形態のものはほとんどが白色の胎土を持つ。

1238は青磁椀である。濃緑色の色調で口縁端部に輪花がある。

S K 335 (第76図-1242~1250) S K 335からは山茶椀類椀B 2、土師器皿D 2、D 3、F等が出土しているが、1249のように青白磁の印花文を持つ壺も出土している。 (城ヶ谷和広)

註

- 1) 古代と中世の境界をいつからとするかについては諸説がある。本報告では遺構の連続性を重視する立場から、古代末も含めて中世と呼ぶこととした。
- 2) 城ヶ谷和広1991「土田遺跡における中世土器の様相」『土田遺跡II』愛知県埋蔵文化財センター
- 3) 藤澤良祐1984「古瀬戸概説」『美濃陶磁歴史館報III』
- 4) 註2に同じ

第3節 中世Ⅱ期の土器・陶磁器

1. 概要

中世Ⅱ期は、遺構の状況からおおよそ中世の後半期に相当し、実年代では14、15世紀を中心とする時代が考えられる。該期の遺構には屋敷地を囲む大溝・井戸・土坑等がある。

これらの遺構から出土した土器・陶磁器の種類は中世Ⅰ期とほぼ同じで、山茶碗（類）、土師器、施釉陶器、焼き締め陶器、輸入陶磁器、土製品、陶製品、瓦、加工円盤等がある。

山茶碗（類）は中世Ⅰ期と比較するといわゆる北部系のものが相対的に増加する。器種としては碗・皿・鉢があるが、量的には碗・皿が大多数を占める。

土師器には皿、鍋、釜がある。皿は一般的に出土する状況が特異で、溝などから集中して出土する例があり、法量や形態にもバラエティーがある。基本的には手づくねの成形で、法量はおおよそ大・中・小に分かれる。胎土は白色で比較的精良なものと赤色で砂粒を多く含むものがある。鍋は伊勢型鍋（中世Ⅰ期分類の鍋A）で、細片が多い。この時期からみられる形態として内耳鍋と呼ばれる内面に耳を持ったものがある。釜は鐙を持った羽釜と呼ばれる器形のもので中心であるが、口縁部が受け口状に大きく開き、三足がつくものも若干みられる。

施釉陶器は一般的には“古瀬戸”と呼ばれる瀬戸で生産された灰釉や鉄釉を施した陶器である。中世Ⅰ期にはあまり見られないが、この時期になると量的にもかなり増加する。器種としては、鉄釉を施したもので天目茶碗、丸碗、輪花皿、鉢、瓶子、桶、燭台などがあり、灰釉を施したものとしては平碗、丸皿、卸し皿、ひだ皿等の皿類、鉢類、四耳壺、瓶子、水注、香炉、水滴などがあり、かなり豊富である。

焼き締め陶器はほとんどが常滑産であると思われる。量的にはⅠ期とあまり変わらない。器種は甕、三筋壺、壺、釜などがある。

輸入陶磁器は全てが中国陶磁で青磁と白磁がほとんどである。なかには若干、青白磁、染付が混じるほか、中国産と考えられる鉄釉天目茶碗も見られる。

そのほか、陶製品として陶丸、陶鉢、加工円盤等がある。

2. 出土状況

次に代表的な遺構を抽出し、その遺物の出土状況等について述べるが、それ以外のものは巻末の遺物観察表に記した。

S D164（第77～80図－1～59）

S D164は調査区を東西に走る幅4～5mの大溝である。遺物の量はかなり多く、点数で12,000点以上を数える。

出土する土器・陶磁器には山茶碗類碗・皿・鉢、土師器皿・鍋、施釉陶器灰釉平碗・灰釉皿・灰釉卸し皿・灰釉四耳壺・灰釉浅鉢・灰釉平鉢、焼き締め陶器壺・甕、青磁碗・白磁碗・陶丸などがある。

山茶碗類はこの溝から出土した遺物の総量の50%以上を占める。器種構成を見てみると、皿は碗に比べて数がきわめて少ない。鉢は全体の約1%の120点ほど出土している。なかには片口を持つものもある。

土師器皿は破片数は4,000点弱を数えた。そのほとんどがてづくね成形のもので、ロクロ成形と思われるものはごくわずかである。煮炊き具では伊勢型鍋と羽釜が主体である。

施釉陶器は器種が豊富である。主体となるのは鉄釉天目茶碗、灰釉平碗、灰釉卸し皿、灰釉鉢などの供膳具であるが、なかには灰釉梅瓶、根来型瓶子、仏花瓶、鉄釉燭台といった特殊な器形も見られる。

焼き締め陶器は甕が最も多い。それ以外には三筋壺や鉢、小壺、羽釜などがあるが、量としてはごくわずかなものである。

輸入陶磁器は青磁では蓮弁文碗が多い。白磁では玉縁口縁碗、口禿碗などがある。量としては1%未満できわめて少ないが、なかには中国製と思われる天目茶碗もある。

その他のものとしては陶丸が5点、加工円盤が80点ほど出土している。

S D108 (第81～85図-60～111)

S D108からは破片数の総点数で約25,000点強を数える大量の遺物が出土している。しかし、その60%は土師器皿がしめる。出土する器種としては山茶碗類碗・皿・鉢、土師器皿・鍋・釜、施釉陶器鉄釉天目茶碗・鉄釉丸皿・播座茶入れ・壺・灰釉平碗・卸皿・鉢・香炉・水注・瓶子など、焼き締め陶器壺・甕・鉢・釜、青磁・白磁、瓦器などがある。そのほか弥生土器・須恵器・灰釉陶器なども若干混じっている。

山茶碗は全体で約6,000点が出土しているが、均質な胎土のものと荒い胎土を持つものはおおよそ2:5の割合である。67の底部には「○」の墨書がみられる。

土師器はほとんどが皿で、手づくね成形のものである。鍋は伊勢型鍋(鍋A)が最もよくみられる形態である。そのほかに内耳鍋も出土しているが、点数は1点のみである。釜は器壁の比較的薄いものである。三足のつく釜もみられる。

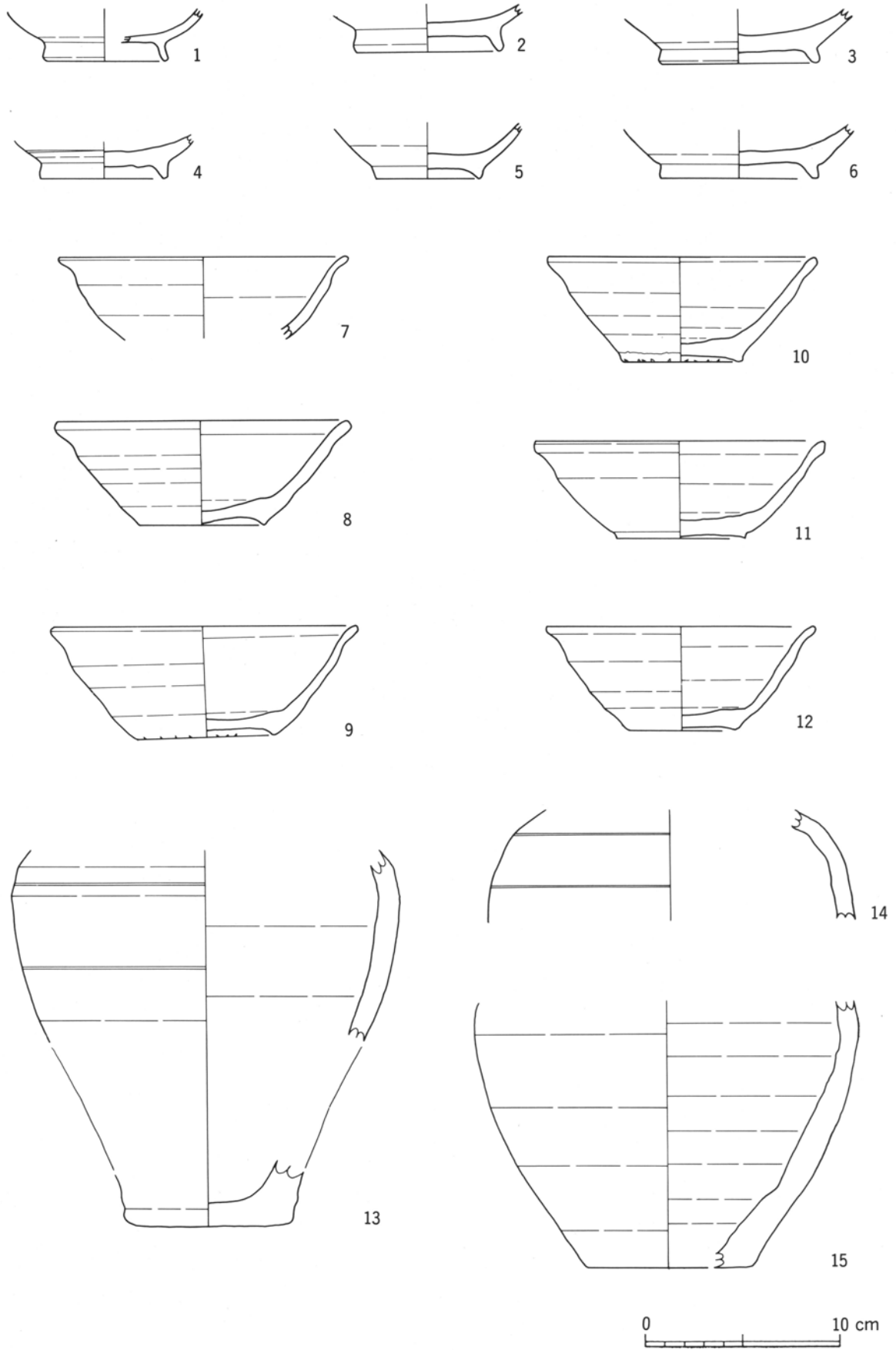
施釉陶器は器種がきわめて豊富にみられる。鉄釉を施したものとしては天目茶碗・丸皿・緑釉皿・摺鉢・播座茶入れ・壺などがある。灰釉を施したものとしては平碗・丸皿・おろし皿・緑釉皿・輪花皿・折縁深皿・柄月片口・香炉・水注・梅瓶・瓶子・壺などがある。84・85は水注の注口部であると思われる。89は鉄釉播座茶入れである。色調は褐色である。102の柄付片口は光沢のある灰釉がかけられている。

焼き締め陶器はすべて常滑産である。器種の中では甕が圧倒的に多い。口縁部の形態は「N」字状に折り返すもので、83はかなり縁帯に近い形となっている。

輸入陶磁器で、最も量的に多いのは青磁蓮弁文碗である。白磁では玉縁口縁を持つ碗や口禿の碗などがある。

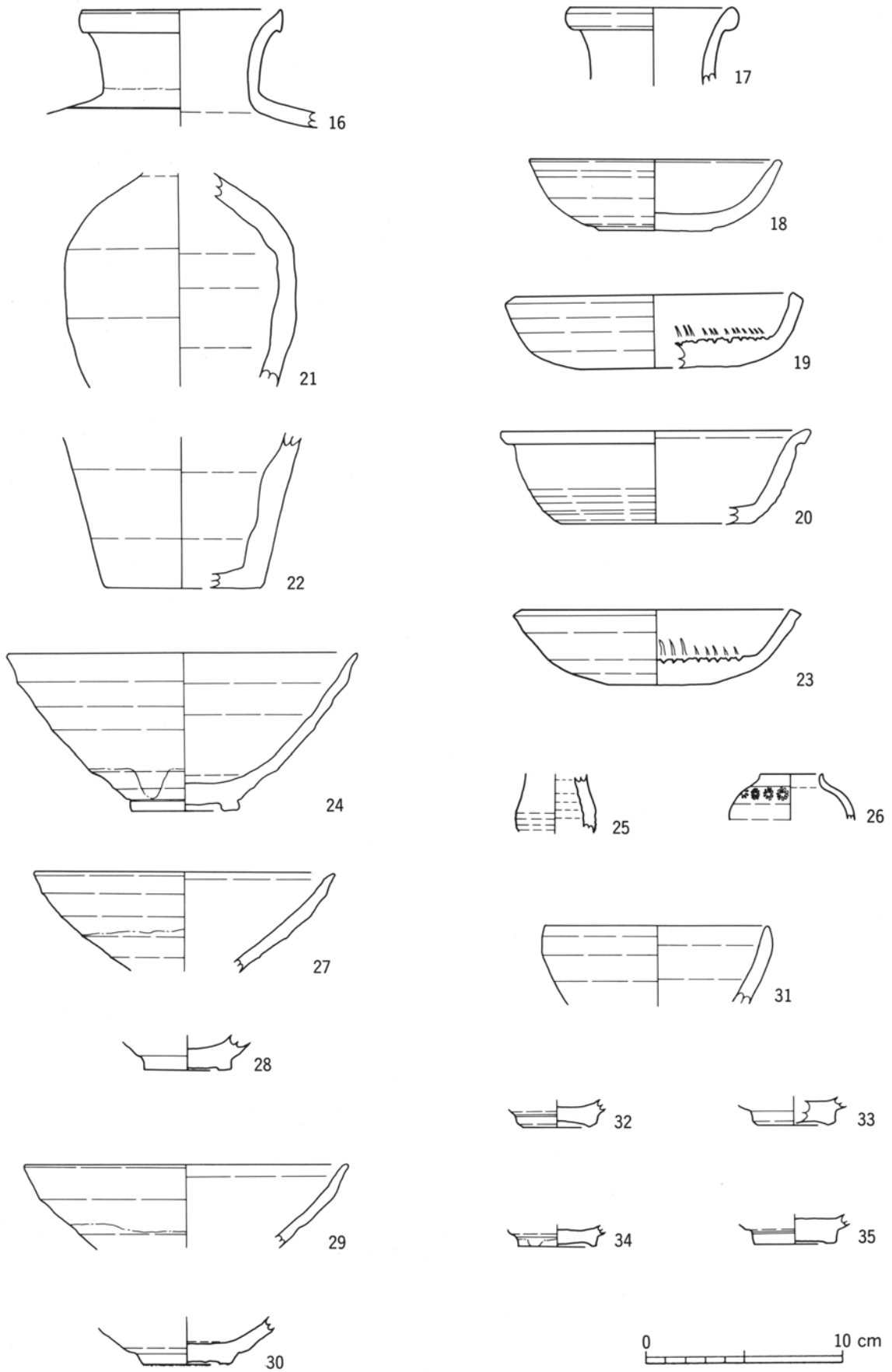
その他の遺構・包含層出土遺物(第86・87図-112～138)

上記の遺構出土遺物以外にもたくさんの遺物が出土している。注目すべきものを挙げておくと、135は灰釉平碗の底部に墨書を施す。この墨書は花押であると思われる。陶磁器の底部に花押を書く例はほとんどなく珍しい類例であると思われる。138は鉄釉を施した四耳壺で肩の部分には「×」のヘラ記号がある。(小澤一弘、城ヶ谷和広)



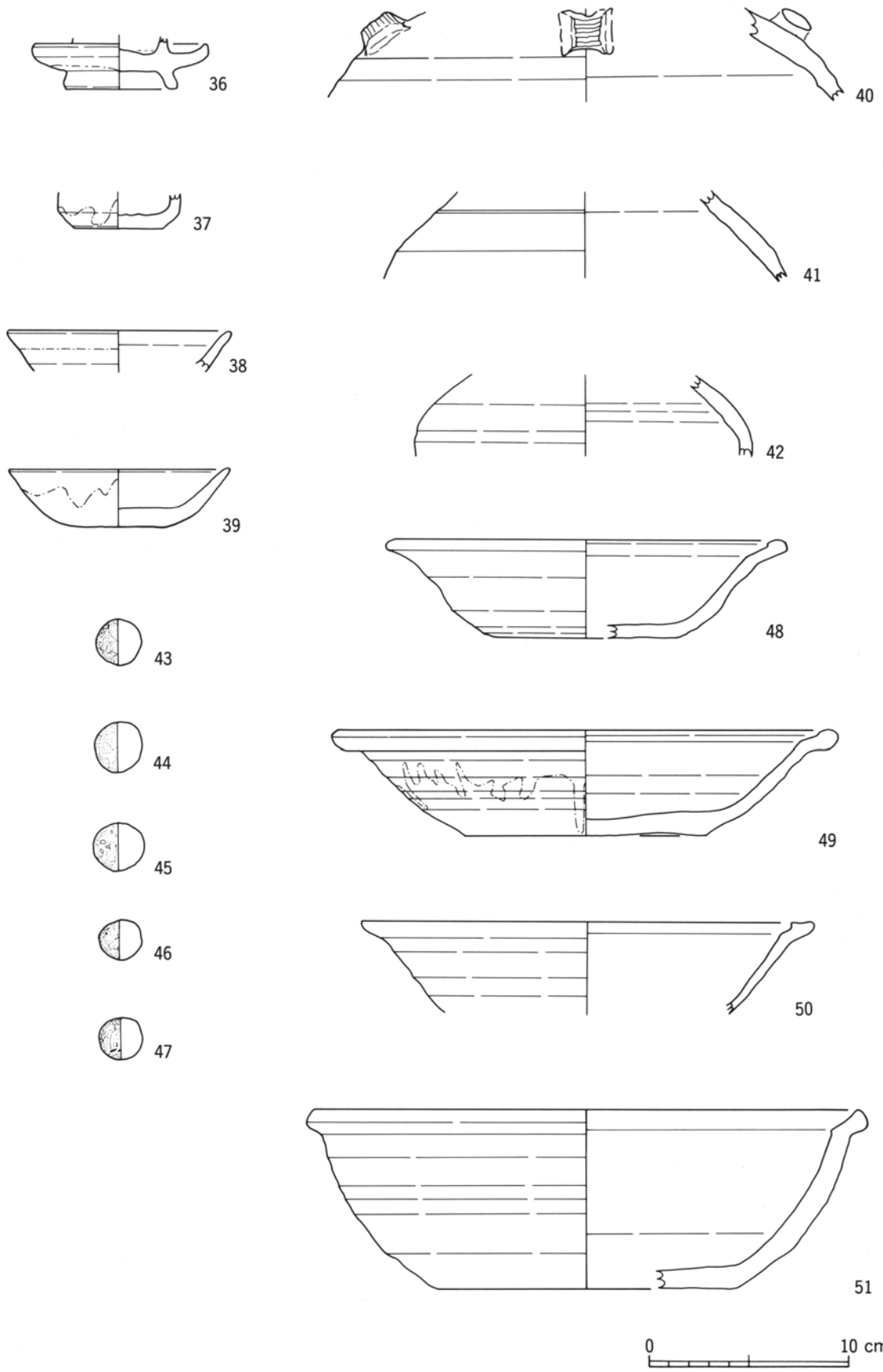
第 77 図 中世 II 期の遺物(1)

SD 164 (1)



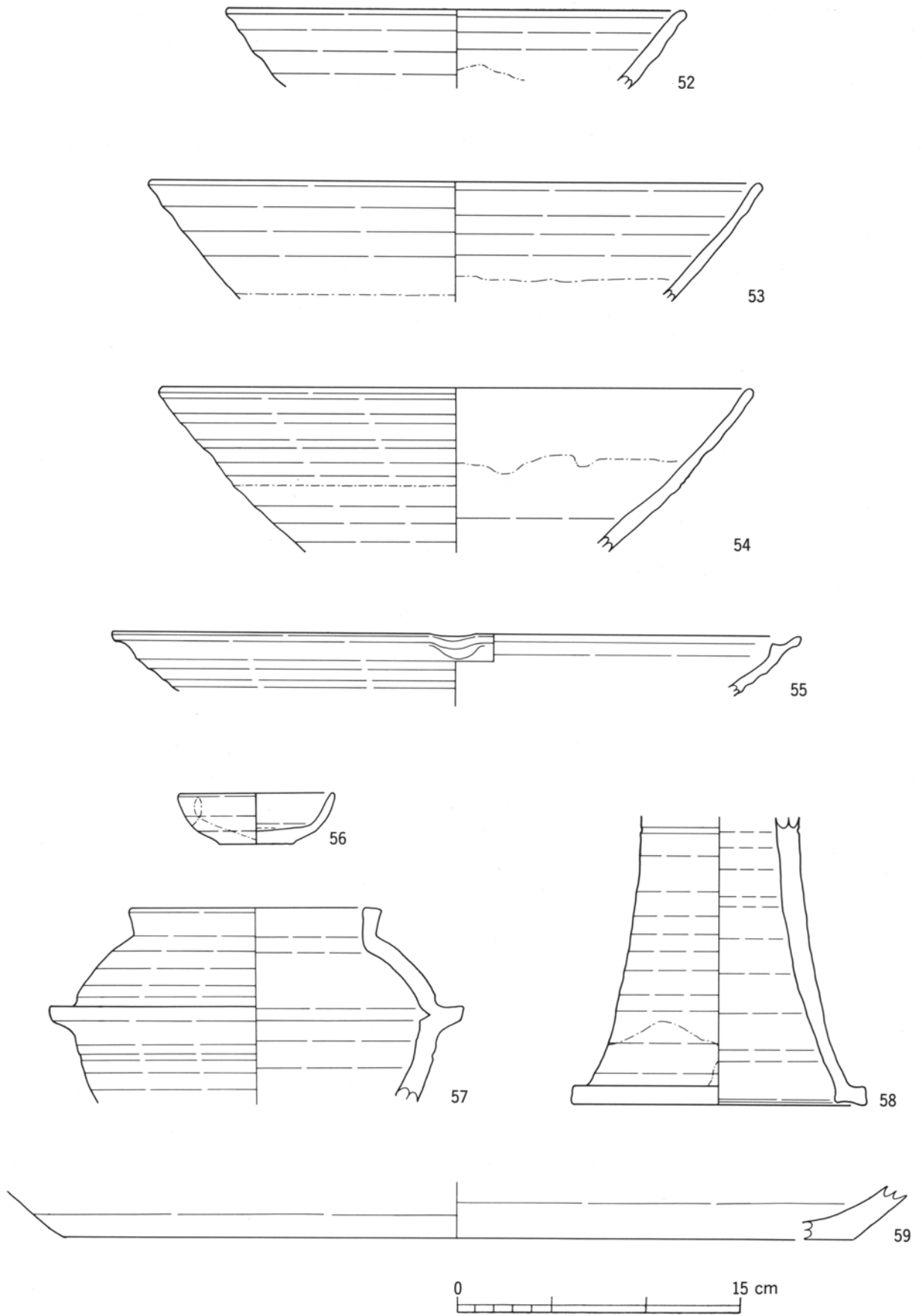
第 78 図 中世 II 期の遺物(2)

SD 164 (2)



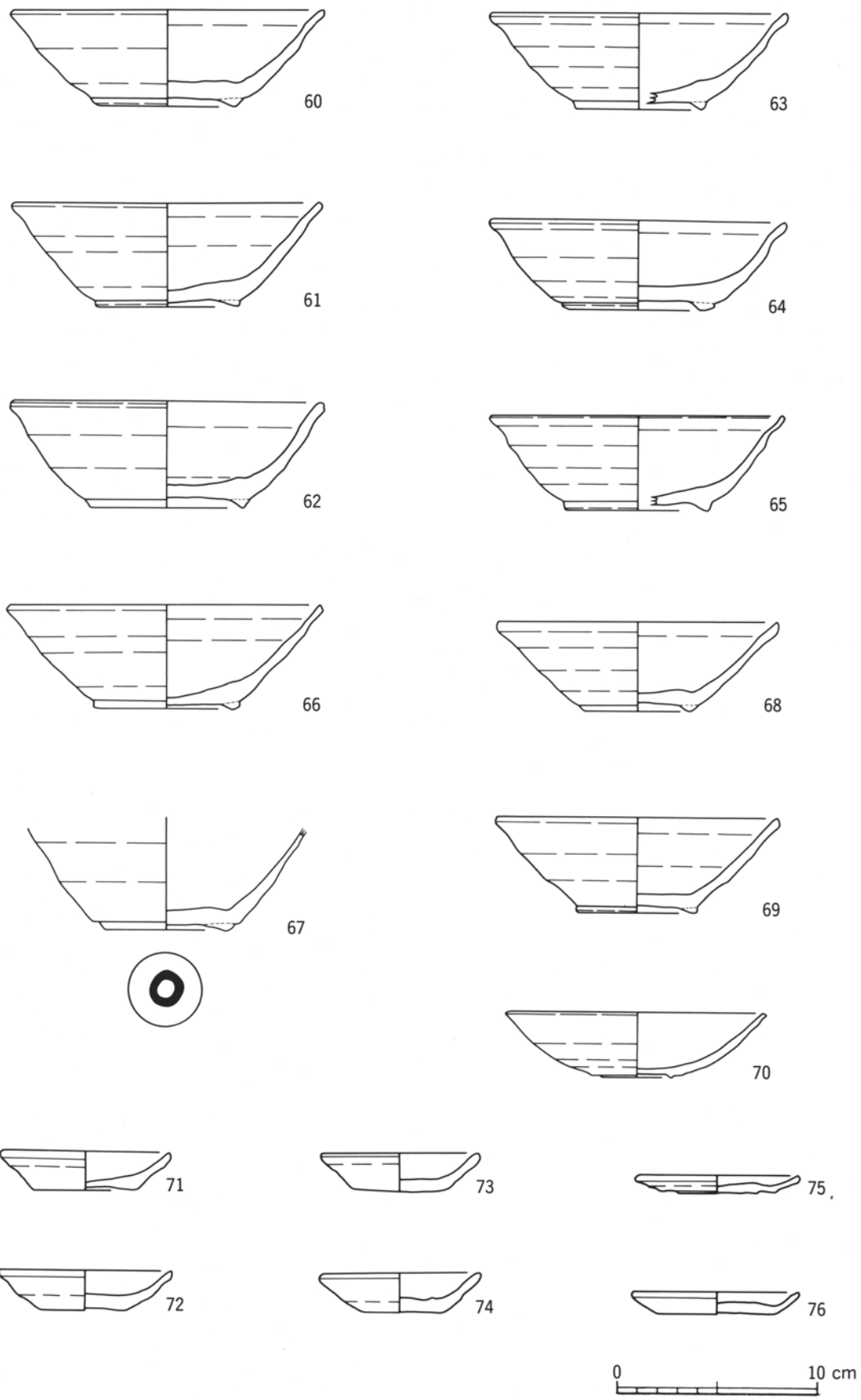
第 79 図 中世 II 期の遺物(3)

SD 164 (3)



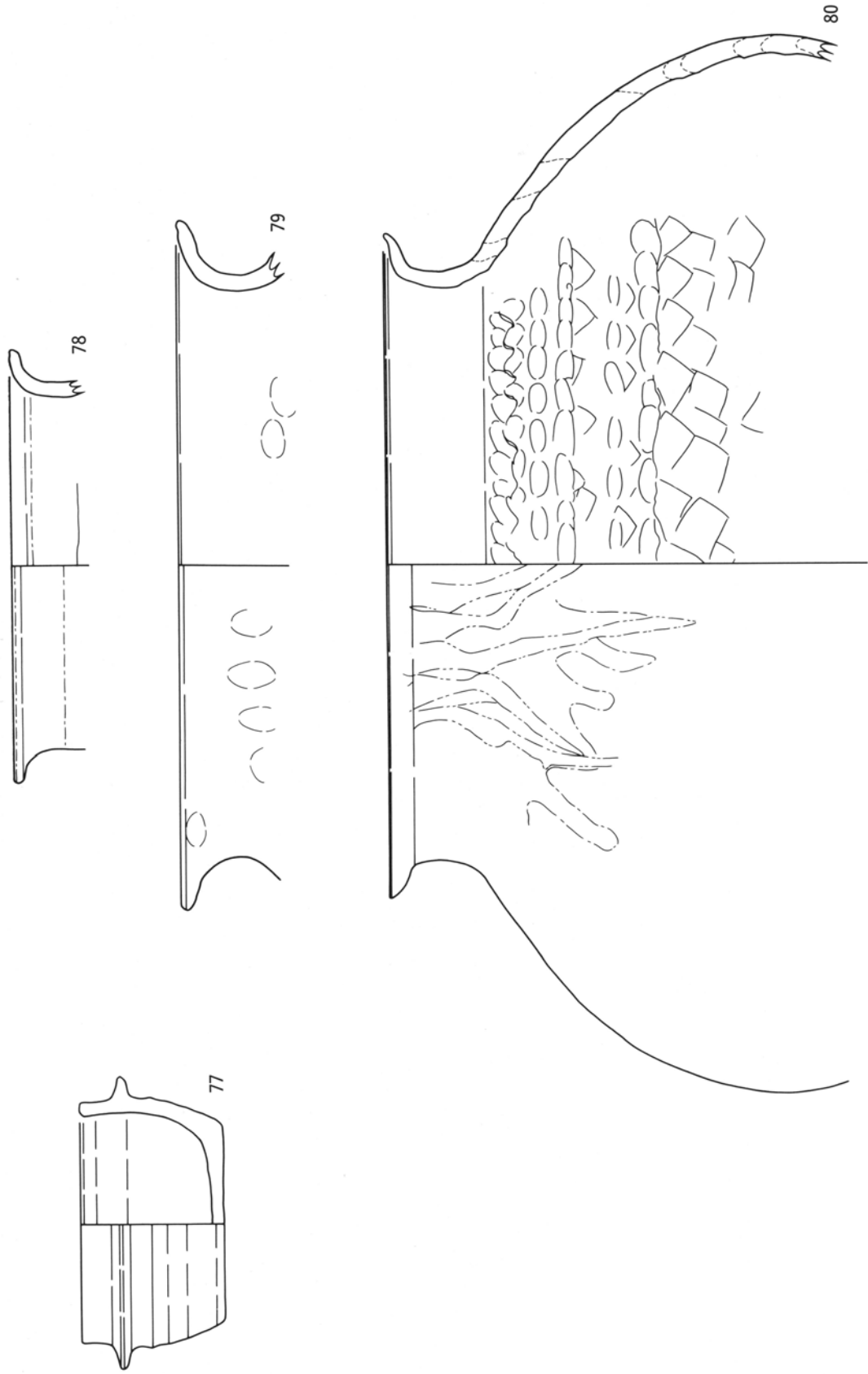
第80図 中世II期の遺物(4)

SD 164 (4)



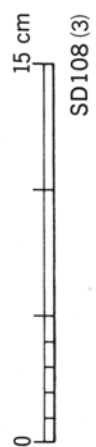
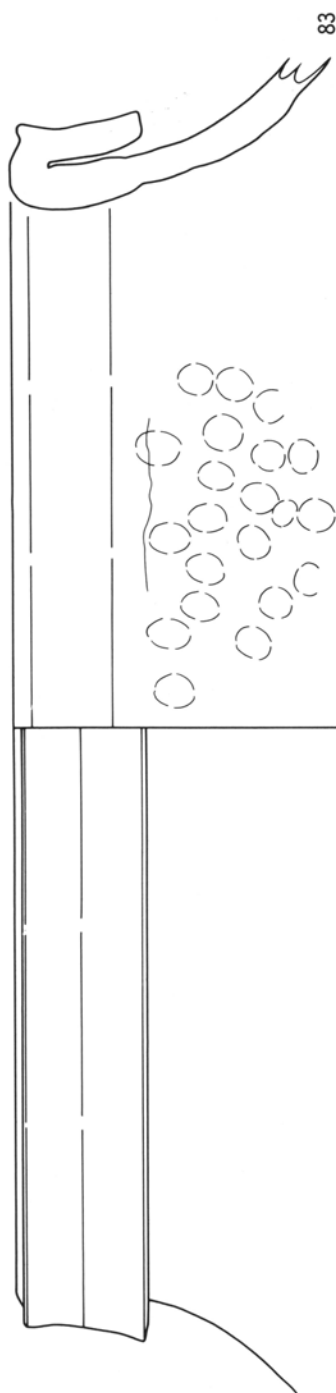
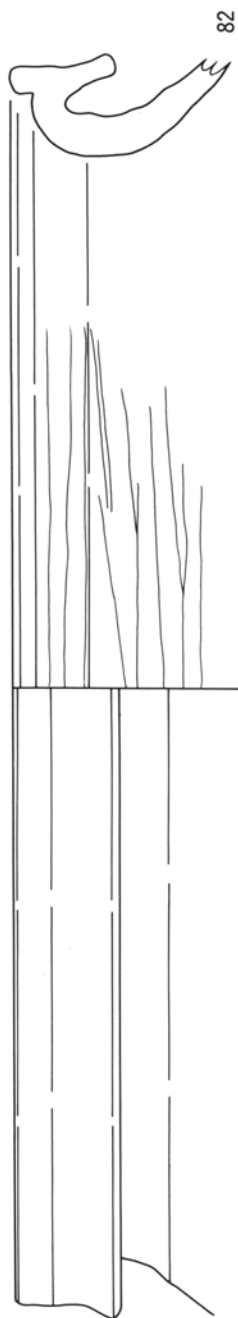
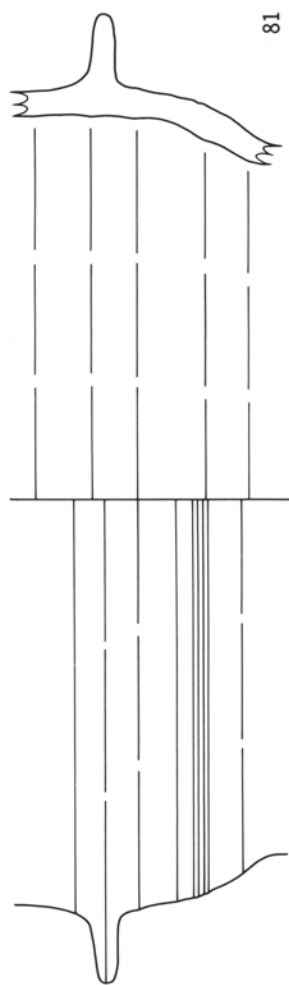
第 81 図 中世 II 期の遺物(5)

SD 108 (1)

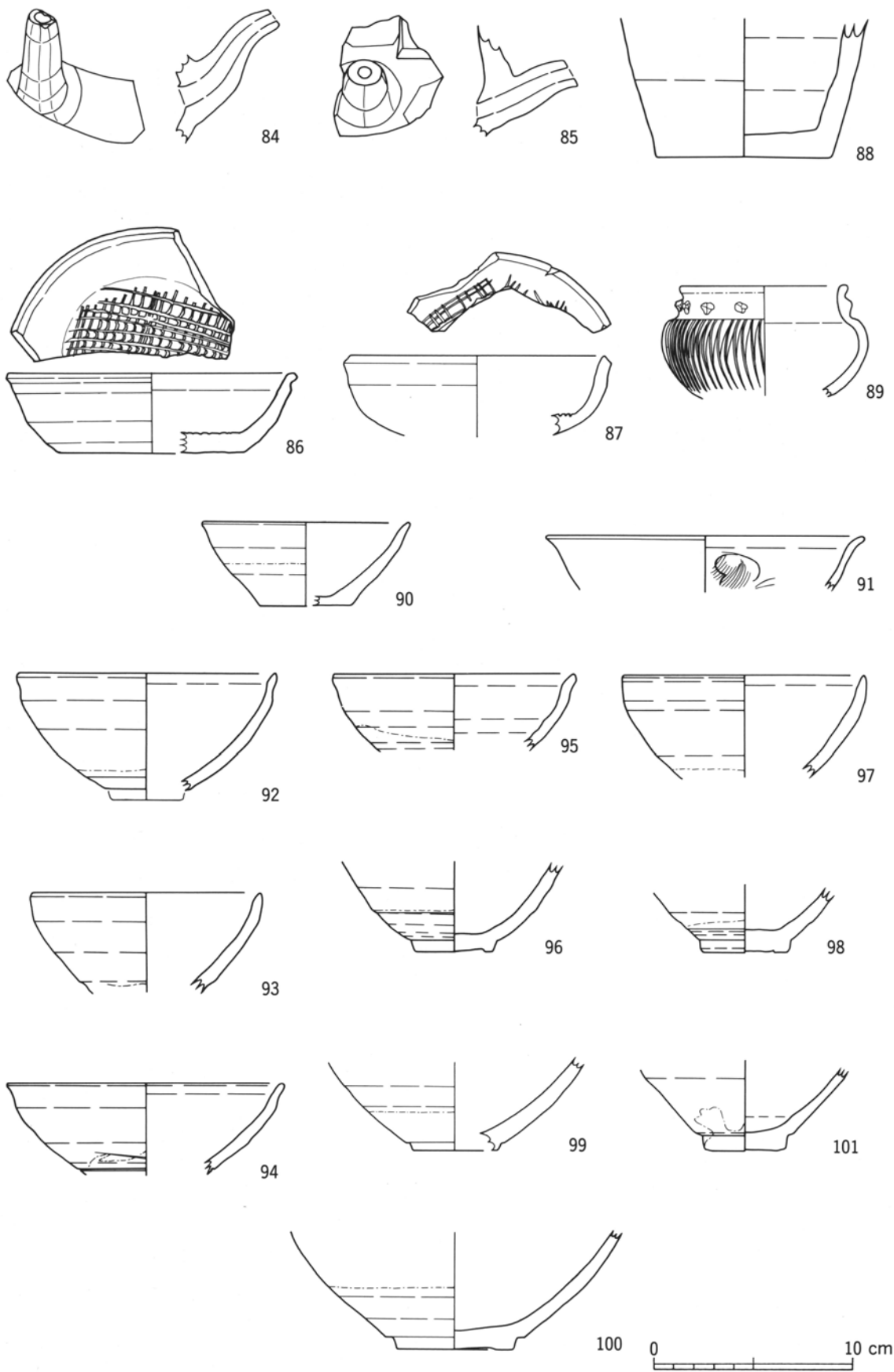


SD108(2)

第 82 図 中世 II 期の遺物(6)

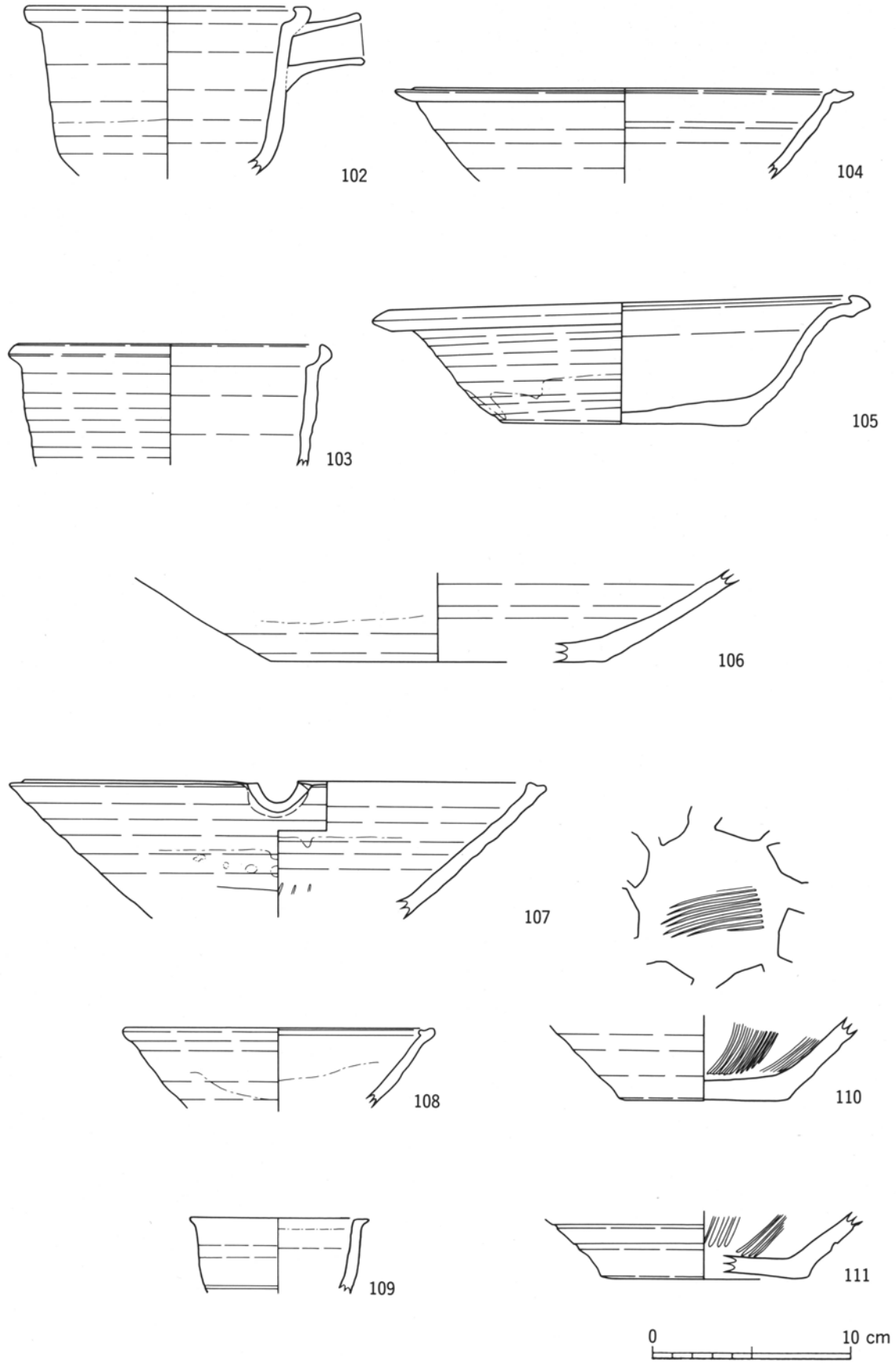


第 83 図 中世 II 期の遺物(7)



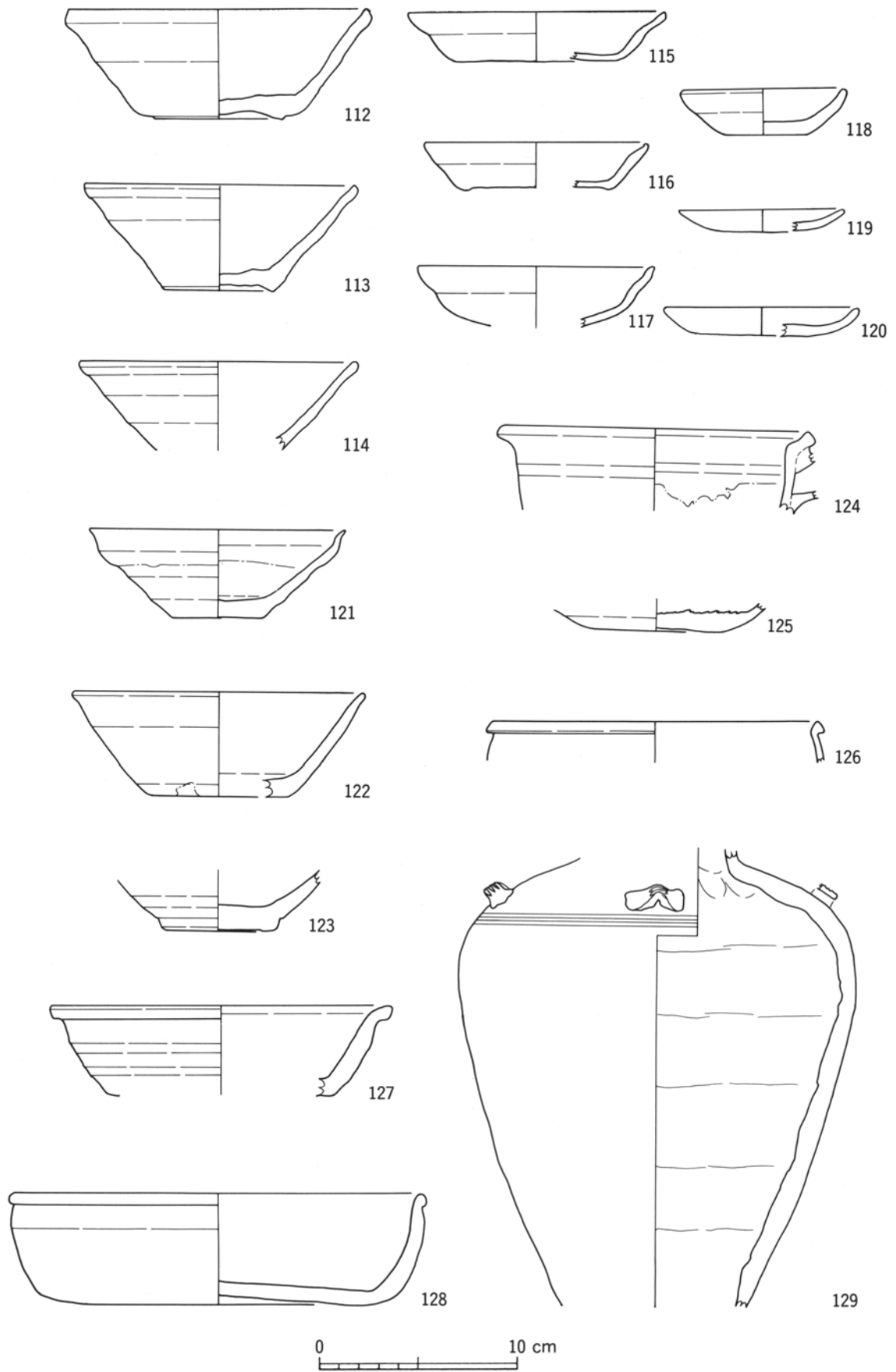
第 84 図 中世 II 期の遺物(8)

SD108(4)



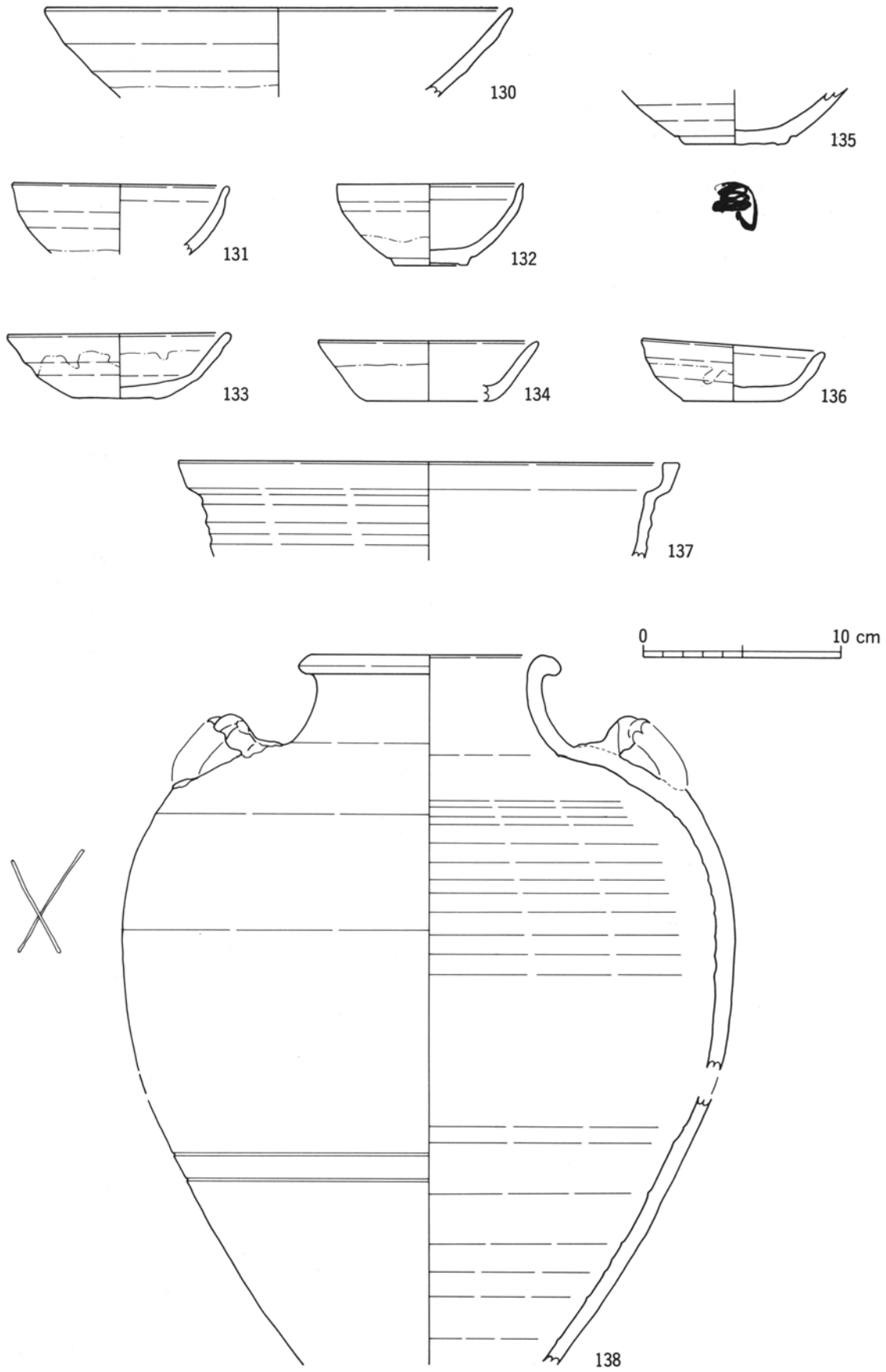
第 85 図 中世 II 期の遺物(9)

SD108(5)



SD 133、その他

第 86 図 中世 II 期の遺物(10)



第 87 図 中世 II 期の遺物(1)

その他

第4節 城下町期の土器・陶磁器

1. 概要

出土遺物の大部分を占める陶磁器は瀬戸美濃窯製品が多く、遺構に対応する形で、織田信雄が清須を普請した天正14年(1586)を境に大きく前後2小期に分けることができる。朝日西遺跡が後期の遺物を主体としているのに対し、清洲城下町遺跡(名古屋環状2号線関連)では前期の遺物が主体である。

1) 前期の遺物

前期の遺物では、椀類のうち天目茶椀が多数を占めるが、大半は、化粧掛けを施したものである。丸椀、平椀は量的に多くない。皿類では、緑釉、全面施釉のほか、内禿のものがあるが、量的には灰釉を全面に施し「端反り」の形態となるものが多い。いずれも灰釉または鉄釉を施すもので、長石釉の製品は全くみられない。瀬戸美濃窯の編年では古瀬戸の後期から大窯Ⅲ期頃までに比定することができる。

土師器には皿類、鍋、釜がある。皿類にはロクロ成形と非ロクロ成形のものがあるが、ロクロ成形では、口径により18cmから8cm前後のものまでみられる、非ロクロ成形では手づくねの径6cm前後のものが主体で、口縁外側に横ナデを施している。煮沸具では、内耳鍋、鍋、羽釜、釜の他に、金属器を模したと考えられる「茶釜型」の羽釜がある。

中国陶磁器では「明」の青磁、白磁、染付の椀、皿があり、染付では万暦様式の椀や饅頭心の椀等がある。

2) 後期の遺物

朝日西遺跡の主体を占める後期の遺物は、椀類では前期同様天目茶椀が多いが、その大半は化粧掛けを施さないものである。皿類は、鉄釉、灰釉、そして長石釉の丸皿、菊皿が多い。また黄瀬戸の製品の向付が僅かであるが出土している。瀬戸美濃窯の編年では大窯Ⅲから登窯Ⅰ期頃までに比定することができる。

土師器には前期と同様に、皿類、鍋、釜がある。皿類にはロクロ成形と非ロクロ成形のものがある。非ロクロ成形の手づくねによるものでは、口縁部の横ナデが省略され、中央部をくぼませた円盤形状をとる。煮沸具も前期同様で、「双耳鍋」がある。

中国陶磁器には前期同様に「明」の青磁、白磁、染付があり、細い線で輪郭を描き、その中を染め込みした万暦様式の染付が多いが、赤絵の製品はない。この他、輸入陶器として、朝鮮陶器の椀、皿、徳利が僅かであるが出土している。また、地元瀬戸美濃窯以外の信楽、京都、備前、唐津の各窯の製品の搬入も認められる。

なお朝日西遺跡からも清洲城下町遺跡と同様に瓦が出土しているが、細片を含めて数点であったため『清洲城下町遺跡Ⅱ』の報告書にまとめて所収した。なお遺物の年代観等については、井上喜久男・藤澤良祐の両氏の御教示を得た。

2. 主要遺構出土一括資料

S K 137 (第88図1~14) 天目茶椀、灰釉皿、重圏皿、土師質の皿が出土した。灰釉皿は丸皿と内禿皿(7・8)の2種類があり、大窯Ⅱa、Ⅱb期に属する。天目茶椀、重圏皿もⅡa期に位置付けられる。土師質の皿は体部が直線的に伸びるロクロ成形のものである。16世紀中頃の

遺物群である。

- S K 541** (第88図15~28) 灰釉小丸椀、鉄釉皿、鉄釉双耳壺、土師質の皿などがある。鉄釉双耳壺(17)は二次的に火を受けた痕跡があり、時期は不明である。土師質の皿は口縁部がやや丸くなるロクロ成形のものと、体部をつまみあげず外面に指圧痕を残す手づくねのものがある。13世紀後半の常滑窯産の甕も出土した。
- S D 42** (第89図29~41) 鉄釉皿、播鉢、土師質の椀、内耳鍋、茶釜型羽釜が出土した。鉄釉皿にはひだ皿が2点(30・31)あり、大窯II b期に属する。播鉢は大窯III期以降である。土師質の椀(34~37)はロクロ成形で、16世紀代にはあまり見られない器形である。
- S E 62** (第90図42~51) 天目茶椀、鉄釉皿、小椀、茶入、釜などがある。天目茶椀は化粧掛けが施され、大窯I b~II a期に位置付けられる。他の器種は大窯III期である。
- S E 83** (第90図52~56) 15世紀後半の大皿の他に、長石釉小杯、水滴、播鉢が出土した。時期的には大窯III期から大窯V期に位置付けられよう。
- S K 242** (第90図57~64) 天目茶椀、灰釉内禿折縁皿、鉄釉折縁皿、鉄釉丸皿がセットになって出土し、大窯II a~III期に位置付けられる。59は鉄釉灰散らしの丸皿である。
- S K 96** (第91図65~82) 天目茶椀、土師質皿、播鉢の他に、灰釉向付、長石釉向付などがあり、16世紀後半から17世紀初頭の遺物群である。鉄釉平椀、灰釉丸皿は大窯I期である。
- S D 63** (第92図83~96) 鉄絵椀、丸椀、角向付、小杯など長石釉を使用した製品が多い。この他に天目茶椀、播鉢などがあり大窯V期に位置付けられる。土師質の皿は底部に糸切痕を残す。また、楽焼の椀の口縁部(96)があり、透明釉が塗られている。
- S K 282** (第93図97~103) 鉄釉丸椀(99)、鉄釉沓茶碗(100)、鉄絵向付(101)、折縁稜花皿(103)など大窯V期に属するものがある。
- S K 293** (第93図104~111) 登窯II期に位置付けられる天目茶椀(104)と大窯V期に属する長石釉皿で占められる遺物群である。長石釉皿には、折縁皿、菊花皿、折縁稜花皿があり、長石釉鉄絵鉢(111)も見られる。
- S D 27** (第94~100図112~214) 天目茶椀、灰釉皿、志野皿、重圈皿、大皿、徳利、播鉢、土師質の皿、鍋などが多数出土した。天目茶椀は輪高台で化粧掛けが施されないものがあり、口縁部がくの字に折れ曲るものと口縁部が直立し端部が外反するものがある。灰釉皿は丸皿、内禿皿、折縁皿、折縁菊皿、稜皿があり、長石釉皿には端反皿、丸皿、菊皿がある。重圈皿は口縁部が直線的に伸びるかやや外反し、口縁端部はやや厚手に作られ、大窯IV期に位置付けられるものもある。大皿は鉄釉を施したものと無釉で焼き締められたものの2者があり、口縁端部は丸められる。大窯III期に属する。徳利は鉄釉を施したものと無釉で焼き締められたもの(181)があり、後者は耳付きのかぶら徳利になるか絵播鉢は口縁部が緑帯を成すもの(190・192・193)と内側に折り返されるもの(191・194)があり、大窯II~V期に位置付けられる。瀬戸美濃窯産の陶器はこの他に鉄釉片口鉢、鉄釉甕、黄瀬戸向付などの器種が認められる。

土師質の鍋は直口両耳鍋と内耳鍋がある。直口両耳鍋は鐙を持たず、耳は圭頭状の粘土板に孔を穿ったものである。底部はやや平底になる。土師質の皿は口縁部が直線的にのびるロ

クロ成形のものと、体部をつまみあげず平らな円形の粘土板状になる手づくねのものがある。

S K 46 (第101～102図215～242) 天目茶碗、灰釉皿、鉄釉皿、長石釉皿、長石釉向付、大皿、徳利、播鉢などが多数出土した。天目茶碗は大窯Ⅱ a 期、大窯Ⅴ期、登窯Ⅱ期に属するものがある。大皿は鉄釉または鉄錆釉が施され大窯Ⅲ～Ⅴ期に位置付けられる。長石釉向付 (228・229) には鉄絵が見られる。徳利は鉄釉が施された千段巻徳利 (236・237) がある。播鉢は口縁部が緑帯を成すもの (241) と内側に折り返されるものがあり、大窯Ⅴ期に属する。

S K 46からは瀬戸美濃窯産の陶器の他に、備前窯産の甕と播鉢がある。播鉢は播目を交差させており、16世紀後半に位置付けられる。

S D 200 (第103～106図243～307) 「文禄貳年 (1593)」の紀年銘資料 (255)、「慶長四年 (1599)」の卒塔婆を持つ一括資料で、瀬戸美濃窯産の陶器、楽焼の小片、瓦器、土師質の皿などが総数 3734点出土した。この他に木製品、五輪塔などもある。上層粘質土からは中世土器などの古い様相の遺物群が出土しており、この上層部分は溝磨絶時に一気に埋め立てられたものであろう。

瀬戸美濃窯産の陶器には天目茶碗、灰釉皿、鉄釉皿、長石釉皿、長石釉向付、徳利、播鉢などが多数存在する。天目茶碗は大窯Ⅱ～Ⅴ期に位置付けられるものが大半であるが、直立する口縁部が高く、高台底部に糸切り痕が残存する登窯Ⅰ期に属するもの (257・259) もある。また天目茶碗の腰部に「内六親」と記された大窯Ⅱ期のもの (256) がある。碗類には他に、底部に墨書が存在する鉄釉筒型碗 (255) がある。高台内部に「楽師」、腰部 (露体部) に「文禄貳年 二日 願主喜玉 敬」とそれぞれ記されている。土器に供養の文言を書いて寺に奉納したものだろうか。「楽師」については、幸若舞などの能楽関係のものが推定できる。

灰釉皿は丸皿が主体を成しており、鉄釉皿は緑釉皿 (264)、稜皿 (265)、ひだ皿 (272) などバラエティーに富んでいる。長石釉皿は端反皿、丸皿、菊皿が存在し、七五?の桐の文様を描いた鉄絵皿 (275) が見られる。また、鉄絵が見られる長石釉向付 (293) や長石釉銅羅鉢 (294) も存在する。徳利は鉄釉が施された千段巻徳利 (283・284) があり、大窯Ⅲ期に相当する。播鉢は口縁部が緑帯を成すもの (299～301) が多く、内側に折り返されるもの (302) があり、大窯Ⅴ期に位置付けられる。

碗、皿、鉢類は大窯Ⅲ～Ⅴ期に属するものが多いものの、灰釉香炉 (286) は大窯Ⅰ期、鉄釉広口甕 (296) ・鉄釉羽釜 (297) は窖窯後期 4 段階に位置付けられ、かなり古い時期の一群も存在する。また、加工円盤もある。

S D 177 (第107～120図308～503) この遺構からは人骨・獣骨などが出土し、位牌などの仏教的な遺物もみられる一群である。瀬戸美濃窯産の陶器、中国製磁器片、土師質の皿、鍋などが1655点出土した。1655点の内訳は、土師質皿945点、土師質釜421点、土師質鍋252点、陶磁器の皿93点、碗92点、播鉢88点、大皿18点、向付18点、中国からの輸入陶磁器28点が主だったところである。なかでも全体の80パーセントを占める土師質の製品の多さには驚く。陶磁器類は大窯Ⅴ期から登窯Ⅰに比定できるもので16世紀後半から17世紀初頭の時期になる。

瀬戸美濃窯産の陶器には天目茶碗、灰釉皿、鉄釉皿、長石釉皿、長石釉向付、重圈皿、大皿、徳利、播鉢などがある。丸碗は灰釉のものと同長石釉丸碗の2者があり、天目茶碗と共に大窯Ⅴ期に属する。長石釉碗には平面形が正円形にならない沓茶碗(323)が見られる。灰釉皿には丸皿、内禿折縁皿、折縁皿、折縁菊皿があり、鉄釉皿には稜皿、丸皿が存在して底部は碁笥底となる。長石釉皿には端反皿、丸皿がありピンを3か所用いたものが多い。重圈皿は口縁部が直線的に伸びるかやや外反するもので、これらは大窯Ⅴ期に属する。鉄釉筒型の鉢・徳利も大窯Ⅲ～Ⅴ期に属するものと考えられる。大皿は鉄釉と黄瀬戸の2種類があり、口縁部が折縁になるものと口縁部がやや内湾するもの(376)とに分けられる。

中国製磁器には碗と皿の破片が存在し、全て青花である。皿の口縁部は端反りになるものとやや内湾するものの2種が見られる。

土師質の製品には土犬、土鈴、皿、鍋などがある。土犬(389～392)は完形品は存在せず、頭部・脚部が欠損している。土鈴(393)は、下端部が平坦面となる形状で、通常の球形となる土鈴とは異なる。鍋は内耳鍋と茶釜型羽釜と直口両耳鍋がある。内耳鍋は法量によって口径が16cmのもの、口径が20cm～22cmのもの、口径が24cm～25cmのもの3種類に区分できる。口径が16cmのもの(394)は底部と体部の境界部に稜が見られる。口径が20cm～22cmのもの(395、396、398、400)と口径が24cm～25cmのもの(397、399)は器壁が比較的厚く、半球形となる。内面に横方向の刷毛目、外面に指の圧痕が残存している。茶釜型羽釜(401～403)は半球状の粘土を張り付けて耳を作っている。これに対し、直口両耳鍋(404～413)の耳は圭頭状の粘土板に孔を穿ったものである。数量的には煮炊具の中では直口両耳鍋が最も多い。

土師質の皿は多量に出土しており、その種類も豊富である。手づくねの皿は両端部を内側に曲げる耳皿(414～418)、焼成後に中央部に孔を開けた底部穿孔皿(419～423)、平らな円形の粘土板状になる皿(424～461)の3者が認められる。粘土板状の皿は内外面に指などの圧痕が残存しているもの(424～446)、内面に横方向のナデを施すもの(447～461)に分けられる。ロクロ成形の皿は、口縁部が直線的にのびるものとやや内湾するものの2種が見られる。法量によっても口径が9cm前後のもの(462～467)、口径が11cm前後のもの(468～499)、口径が13cm前後のもの(500～503)に分類できる。

その他(国内産) (第121～125図504～566) その他の遺構内・遺構外出土資料で特色のある遺物群をここで紹介する。国内産の陶器類には瀬戸美濃窯産、常滑窯産、楽焼、備前窯産、丹波窯産、唐津窯産のものがある。

瀬戸美濃窯産のものとして、台付碗(507)、輪花皿(520)、片口小鉢(514、515)沓茶碗(537、538)、小型の水注(545～548)、蓋(549)、水滴、仏花瓶(526)、燭台(528)、黄瀬戸鉢(530)などがある。水滴には鉄釉を施した鳥型のもの(550)、魚型のもの(551・553)、猿型のもの(554)がある。灰釉を掛けた大黒様の製品(552)があり、水滴の可能性も考えられる。

楽焼の筒茶碗は2点あり、534は黒色の釉を掛け(黒楽)、535は赤楽である。

備前窯産のものとして、小壺、播鉢、無頸壺などがある。小壺(560～562)は体部のみ存

在し、底径が5 cm前後を計る。播鉢（563、564）は口縁端部が直立し、播目は斜め方向に走るものである。小壺、播鉢ともに16世紀後半に位置付けられる。

丹波窯産のものには鳶口小壺（566）があり、肩部に「×」の刻印が見られる。

その他（輸入陶磁器）（第126～134図567～710）その他の遺構内・遺構外出土資料で海外からの輸入陶磁器群をここで紹介する。輸入陶磁器には、中国産の白磁、青白磁、青磁、青花、朝鮮陶器がある。なお、これらの遺物は完形で出土することは稀で、破面に漆が付着している場合があり、漆継ぎが行われていたものも確認できる。

白磁は椀、皿が出土し、12世紀後半から16世紀までの比較的年代幅を持つものである。椀は玉緑椀と口禿椀が主体となり、皿は端反皿が多く見られる。567・568・577・578は玉緑口縁の椀で、12世紀後半から13世紀に属すると考えられる。口禿椀（571～576）は口縁端部が外反するものが多く、13世紀～14世紀に考えられる。薄手で口縁部が外反する端反皿は、小野分類の白磁皿C類に属するもので、15世紀後半から16世紀代に比定できよう。この他に無高台の皿なども存在する。

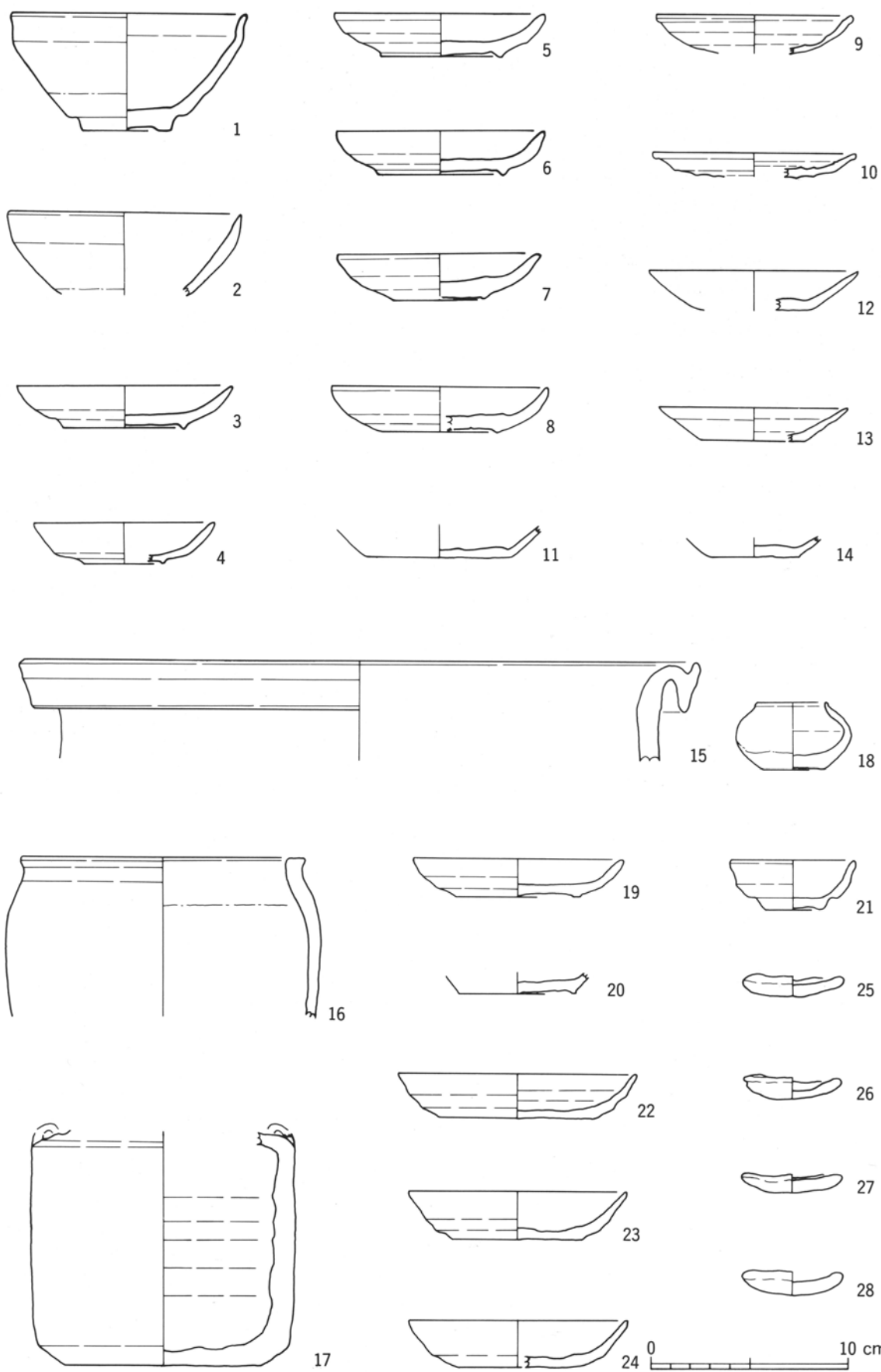
青白磁には劃花紋椀、劃花紋皿、合子の身と蓋、梅瓶の体部？などがある。599、600は合子の身、602～604は合子の蓋である。607は劃花雲気文梅瓶の体部と思われる小片である。13世紀を中心とした年代が想定される。

青磁は劃花紋椀、劃花紋皿、蓮弁文椀などが出土した。劃花紋椀は13世紀に属すると思われるが、638のような12世紀に属すると思われる椀も存在する。蓮弁文椀は浮彫状の蓮弁文と剣先状の蓮弁文が認められる。浮彫状の蓮弁文を施した椀（619～628）は口縁端部が反るものと直線的に伸びるものがあり、これも13世紀代を中心とした年代が考えられよう。剣先状の蓮弁文の椀（632、633、647）は口縁部が内湾し、15世紀後半から16世紀代に比定できる。その他に稜花皿、香炉、鉢なども出土している。

青花は椀、皿、鉢などの器種が認められる。椀は口縁部が外反するいわゆる端反椀（697など）、口縁端部が直線的に伸びる椀（693など）、小振りで見込みが丸く盛り上がる「饅頭心」の椀（696など）に分類できる。青花皿は高台を持ち口縁部が外反する端反皿（676など）、高台を持ち口縁部が内湾する皿（677など）、碁笥底で口縁部が内湾する皿（665～670）に区分できる。青花鉢は口縁部が内湾するタイプと縁折れのタイプがある。また、中国製の黄釉盤（659）、緑釉盤（660）なども出土した。

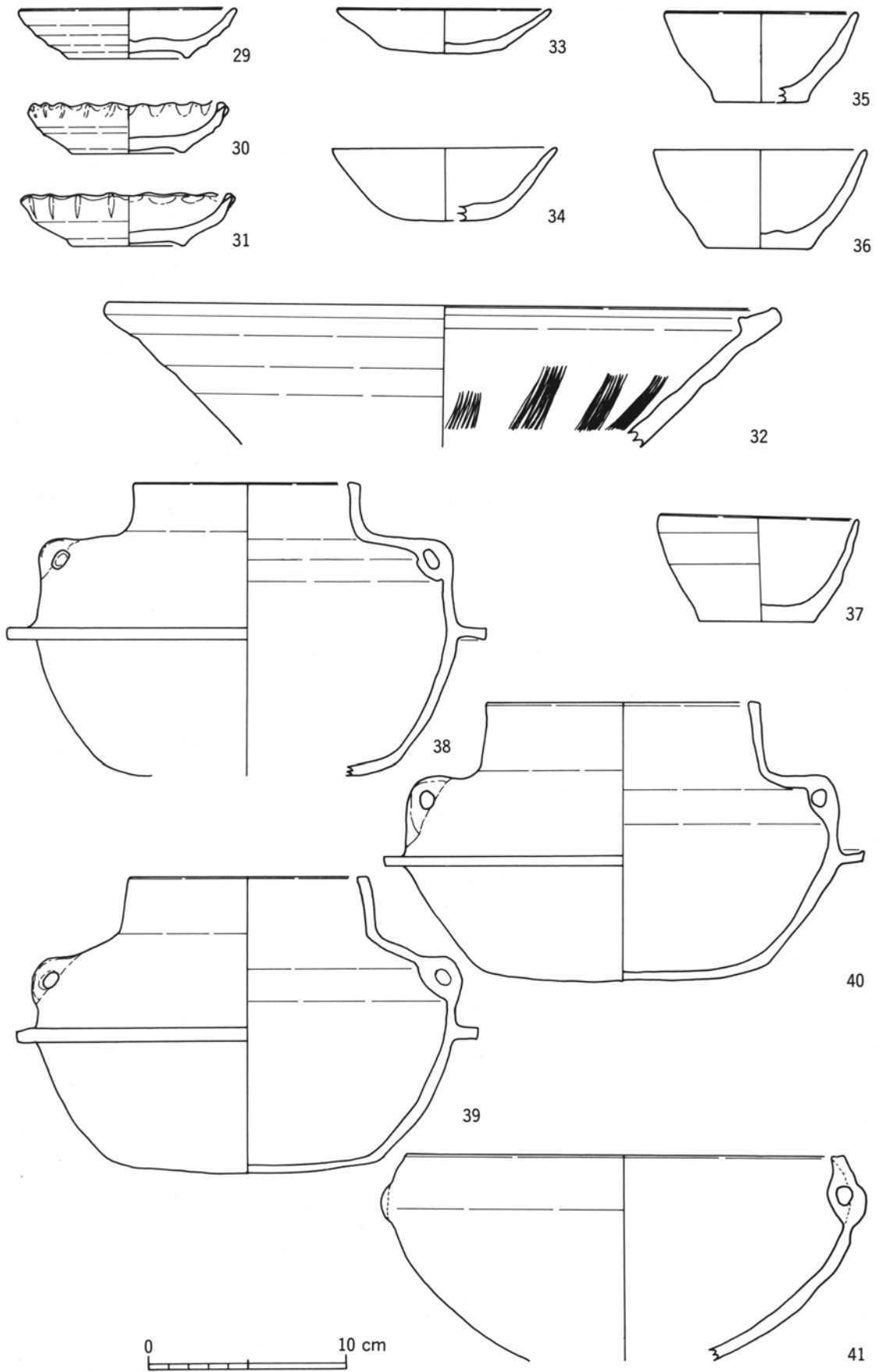
朝鮮陶器は椀と徳利が存在する。椀（661、662）は逆ハの字状に開き、表面にはやや透明な釉が掛かる。徳利（663、664）は非常に薄手で船徳利形を呈し、無釉である。内面に叩きが認められる。

（小澤一弘・鈴木正貴）



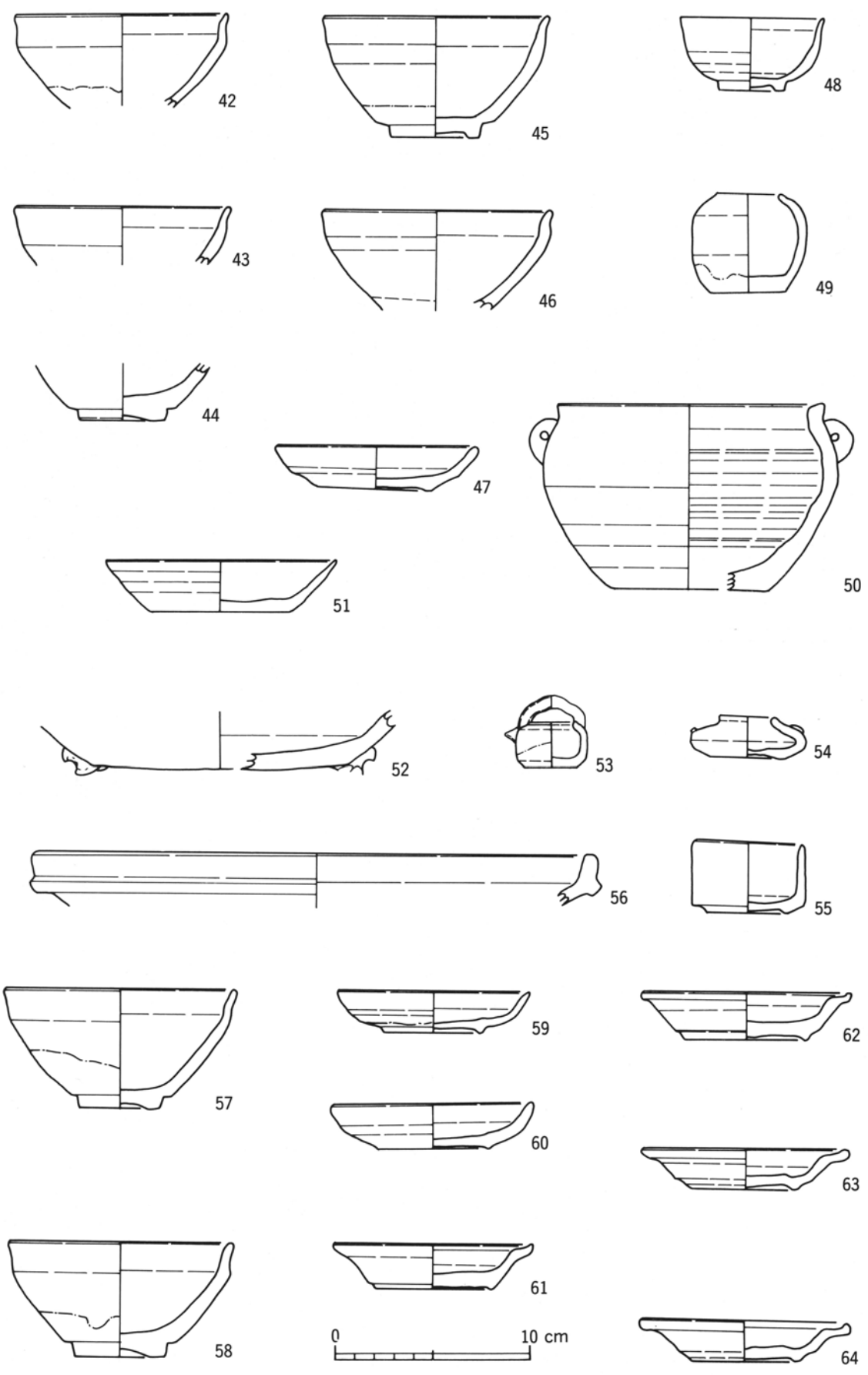
第 88 図 城下町期の遺物(1)

SK 137・SK 541



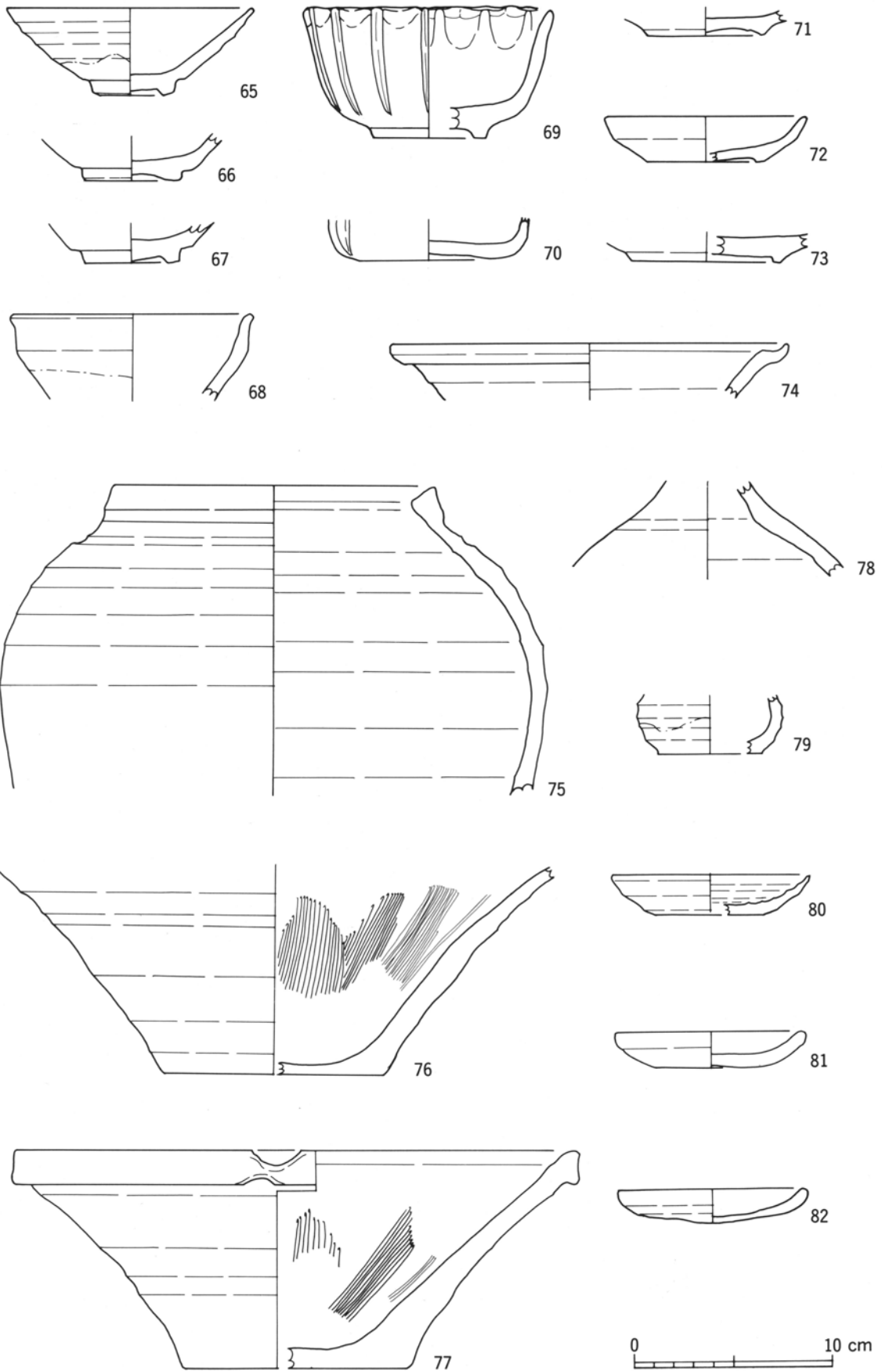
第 89 図 城下町期の遺物(2)

SD 42



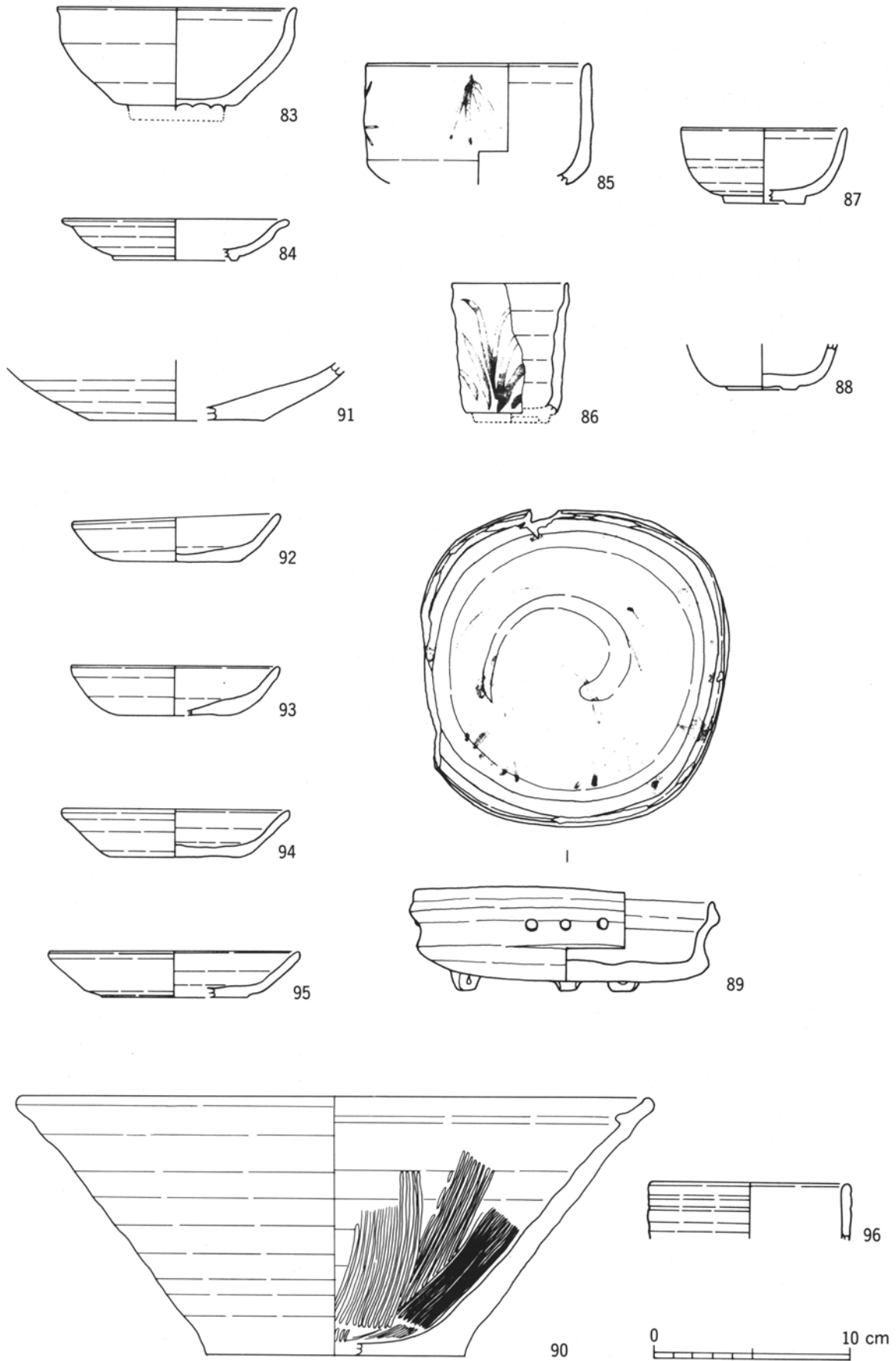
第 90 図 城下町期の遺物(3)

SE 62・SE 83・SK 242



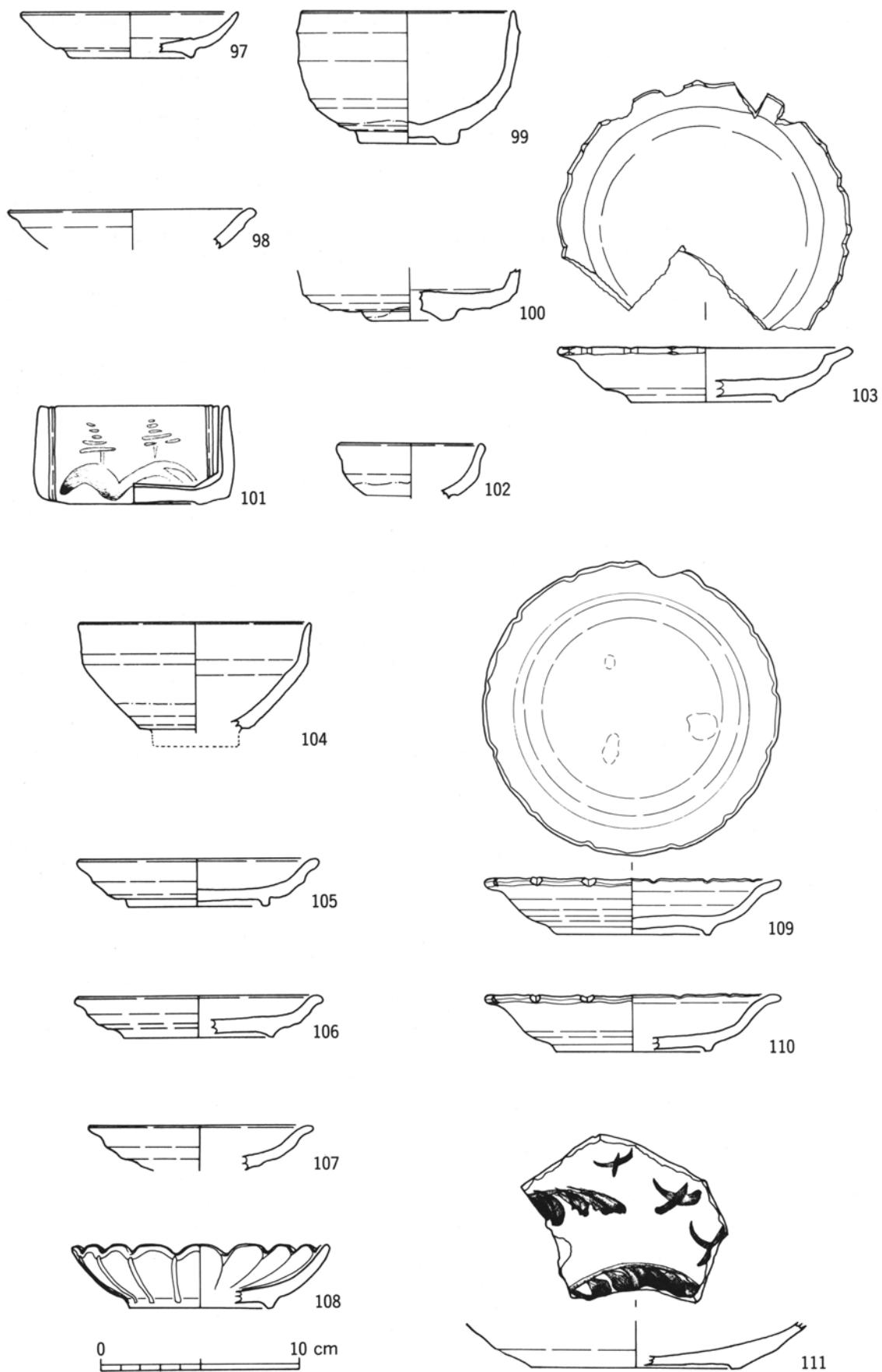
第 91 図 城下町期の遺物(4)

SK 96



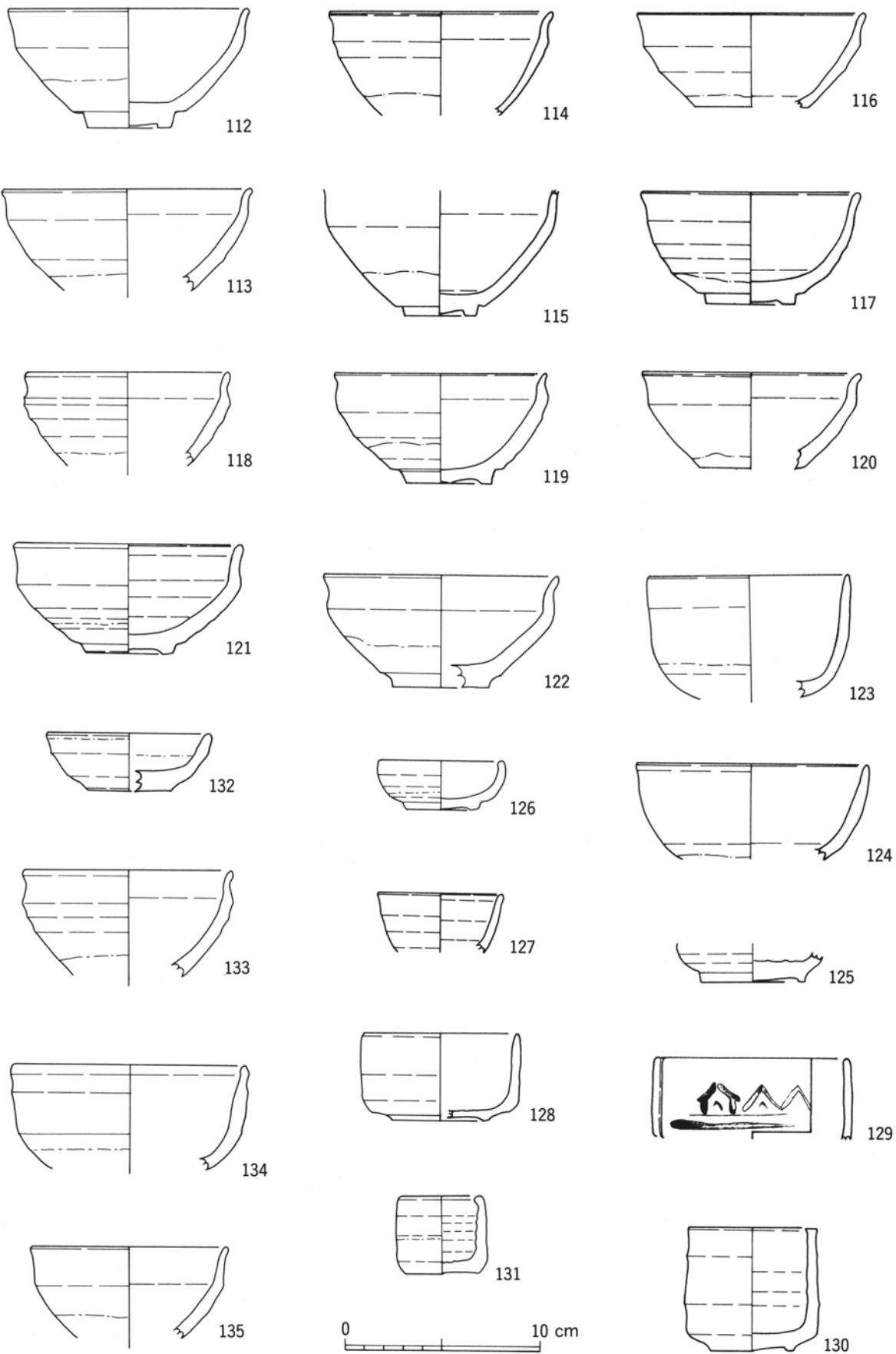
第92図 城下町期の遺物(5)

SD 63



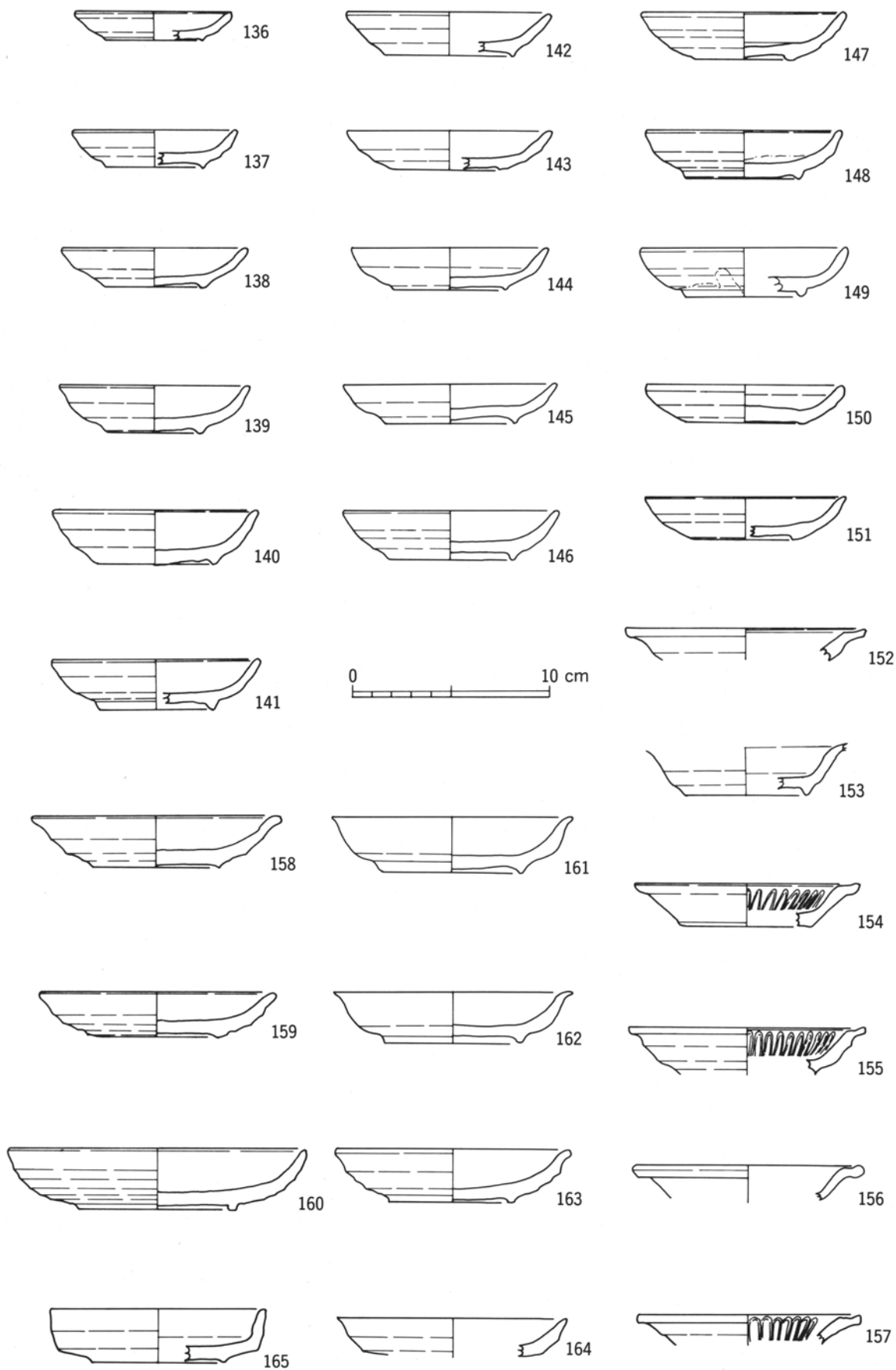
第 93 図 城下町期の遺物(6)

SK 282
SK 293



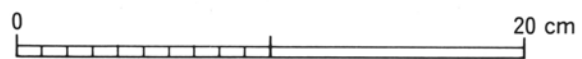
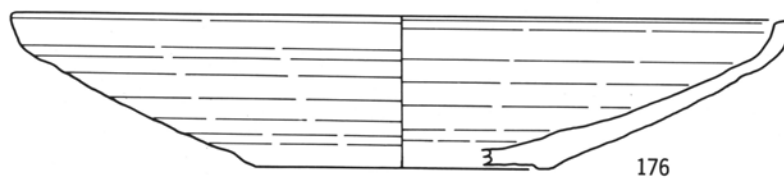
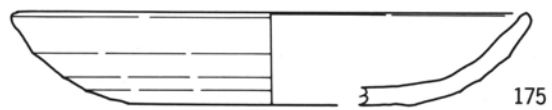
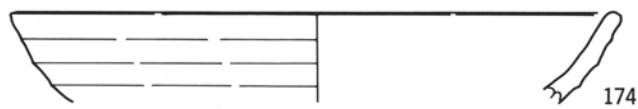
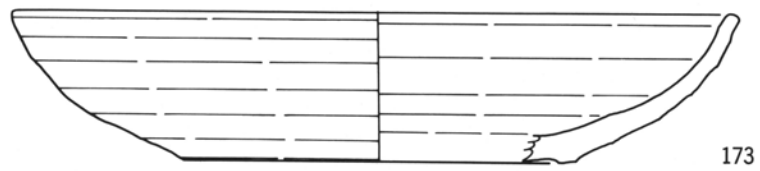
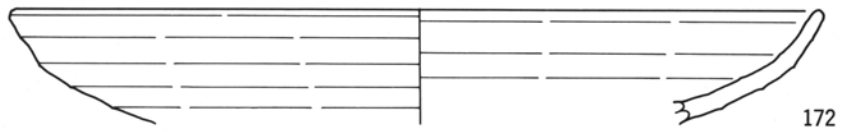
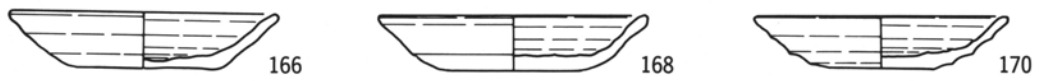
第 94 図 城下町期の遺物(7)

SD 27 (1)



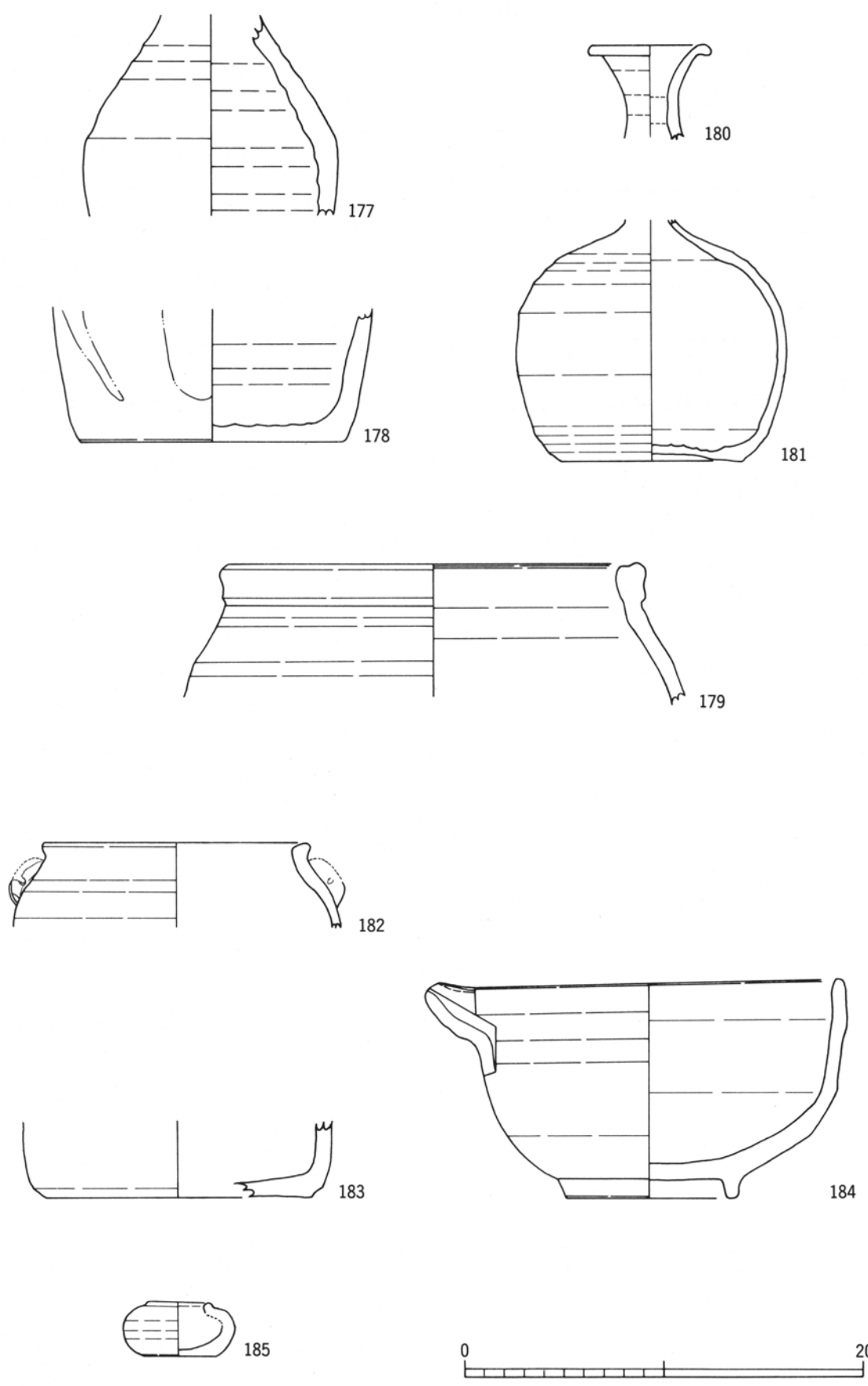
SD 27 (2)

第 95 図 城下町期の遺物(8)



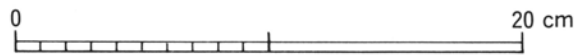
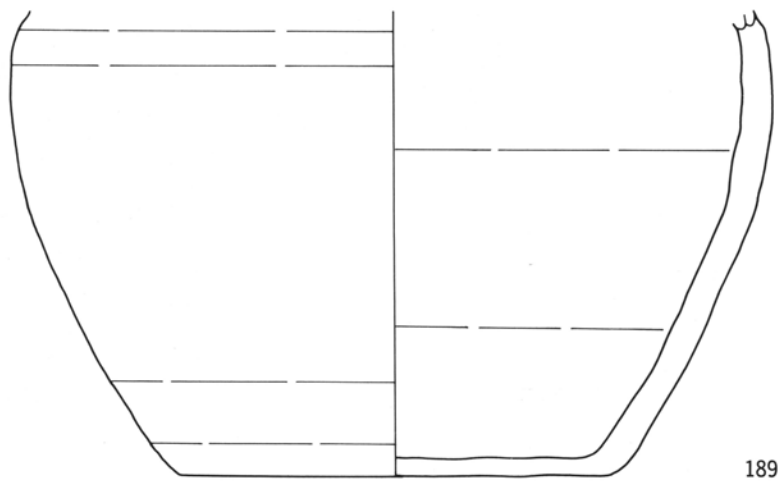
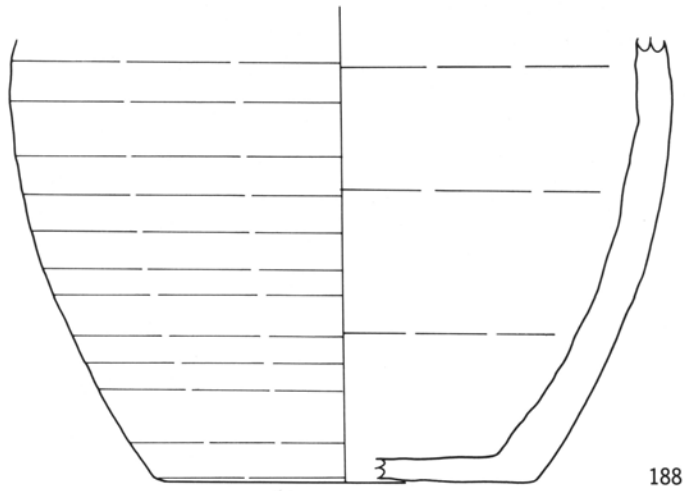
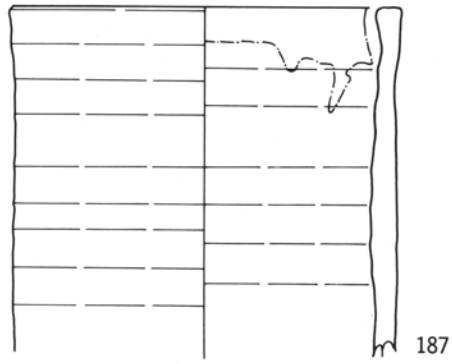
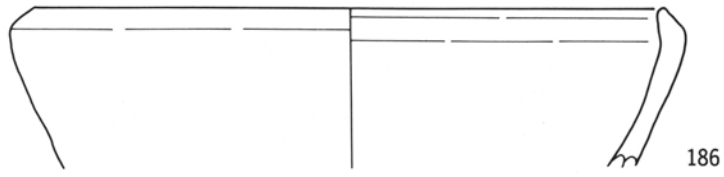
第 96 図 城下町期の遺物(9)

SD 27 (3)



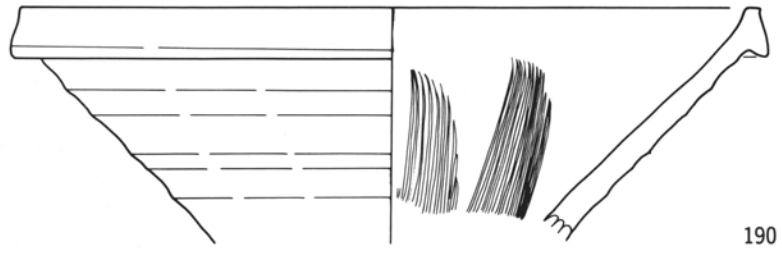
第 97 図 城下町期の遺物(10)

SD 27 (4)

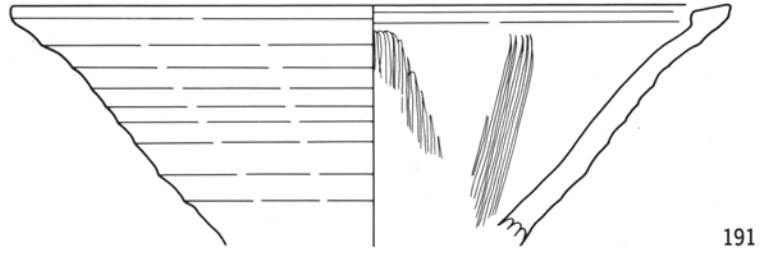


第 98 図 城下町期の遺物(11)

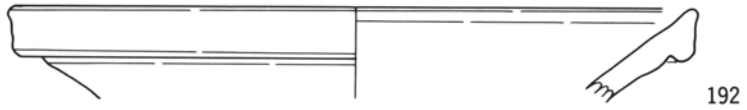
SD 27 (5)



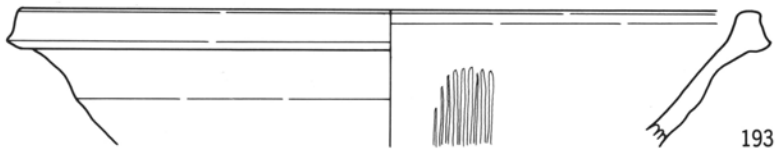
190



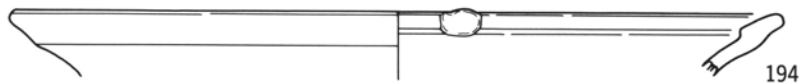
191



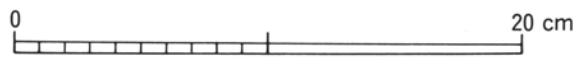
192



193

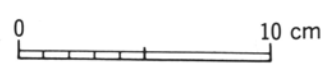
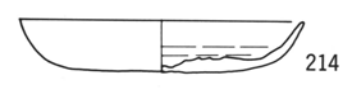
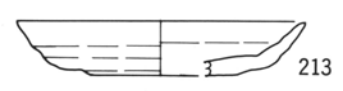
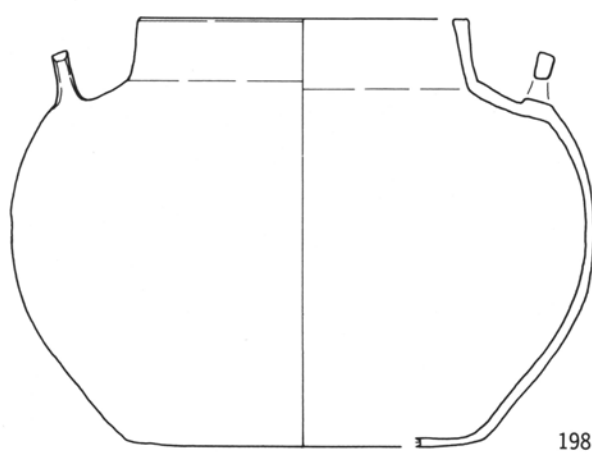
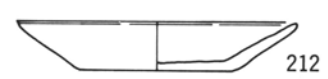
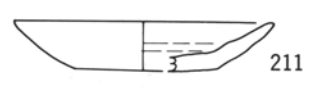
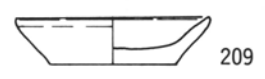
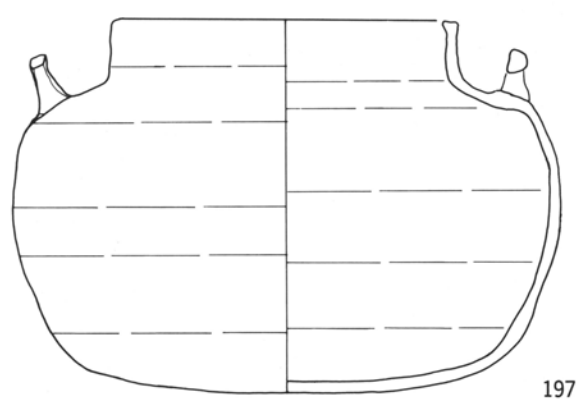
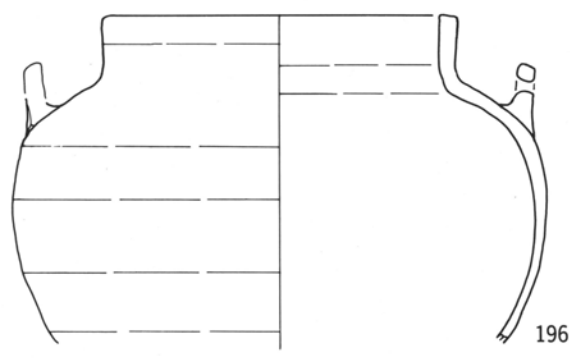
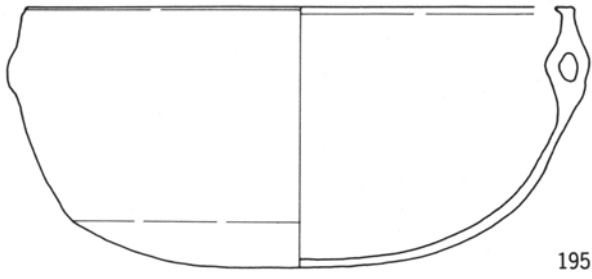


194



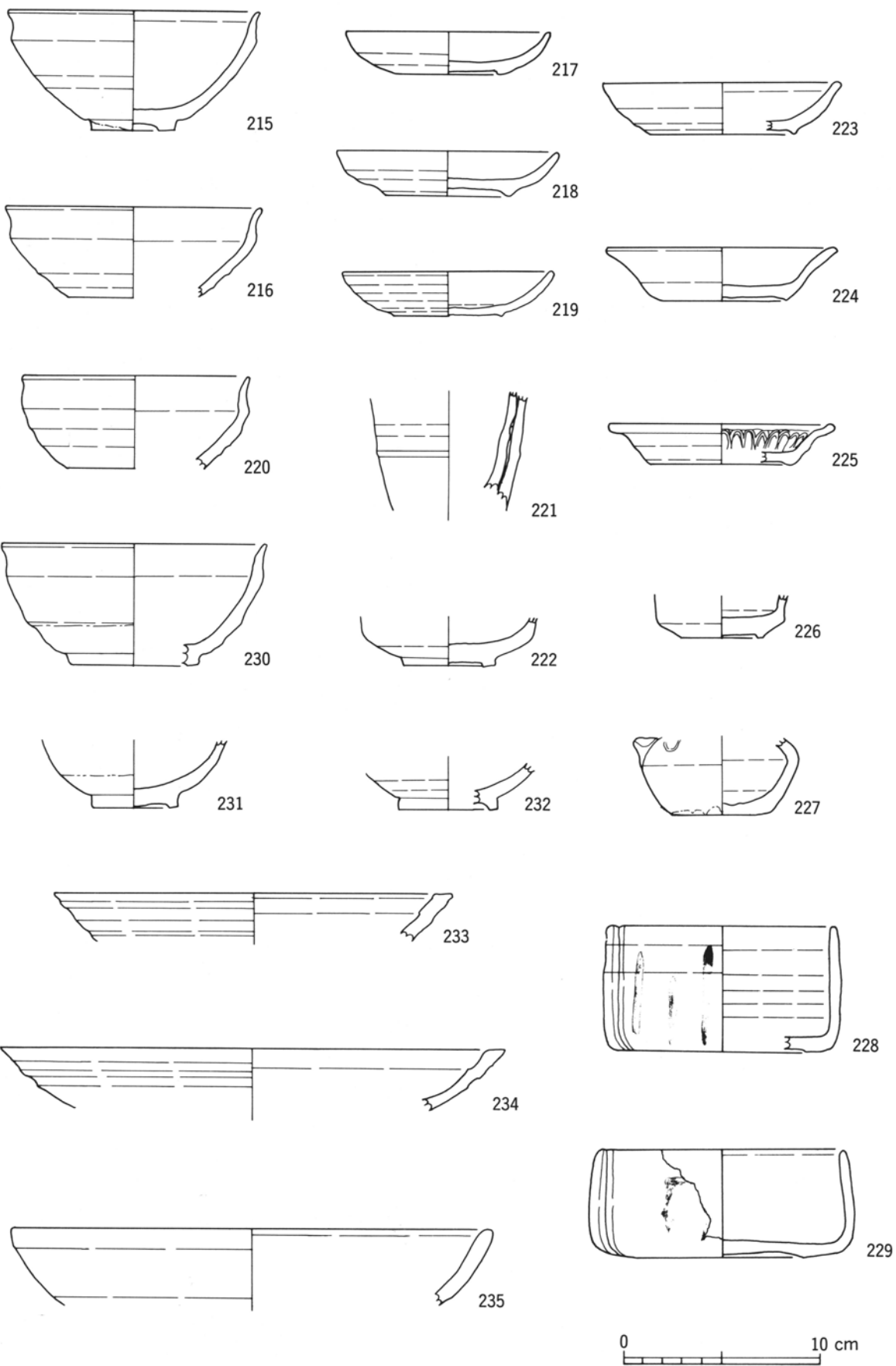
第 99 図 城下町期の遺物(12)

SD 27 (6)



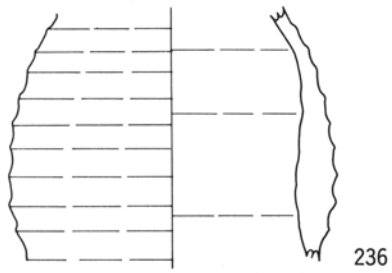
第 100 図 城下町期の遺物(13)

SD 27 (7)

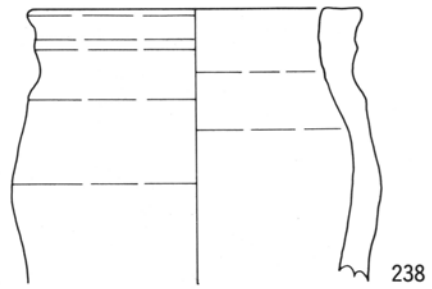


第 101 図 城下町期の遺物(14)

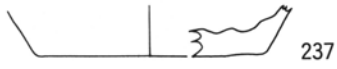
SK 46 (1)



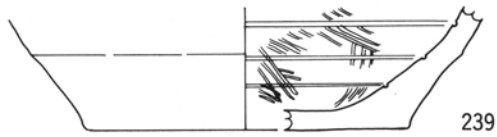
236



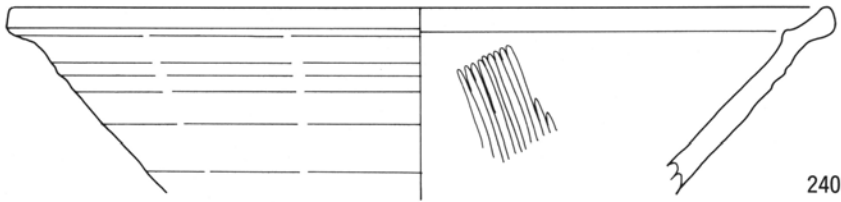
238



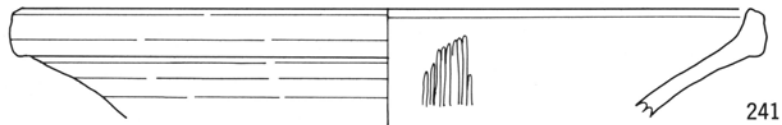
237



239



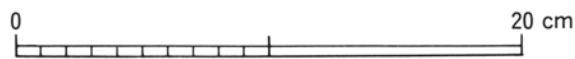
240



241

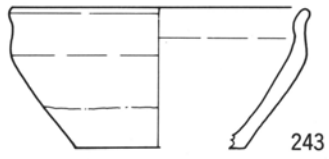


242

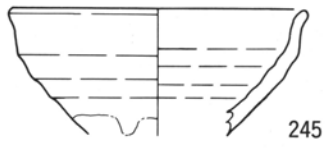


第 102 図 城下町期の遺物(15)

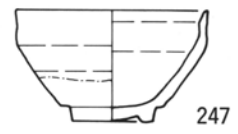
SK 46 (2)



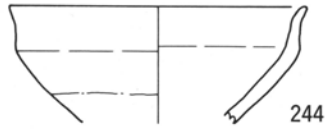
243



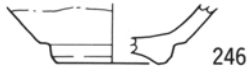
245



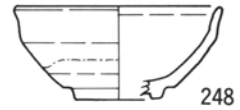
247



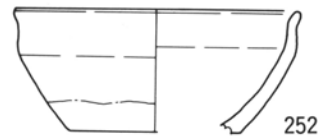
244



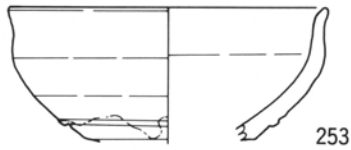
246



248



252



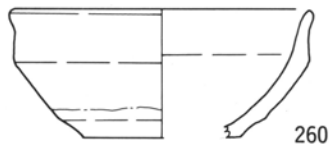
253



249



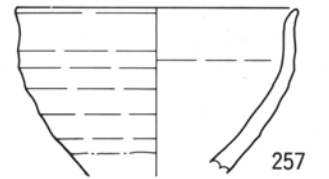
250



260



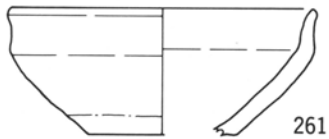
251



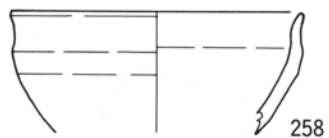
257



254



261



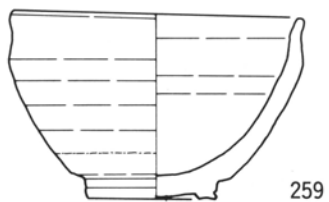
258



256



255

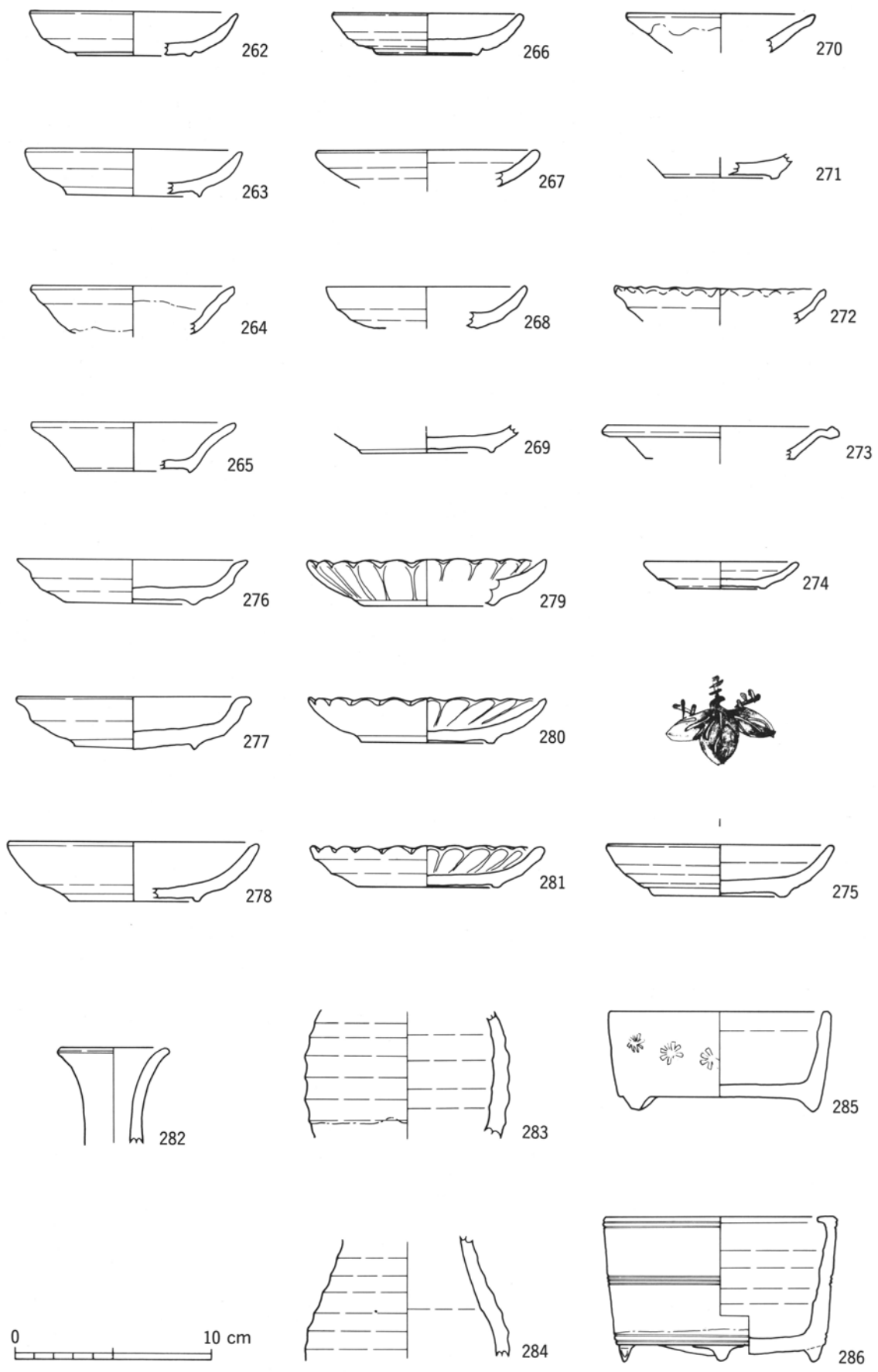


259



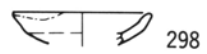
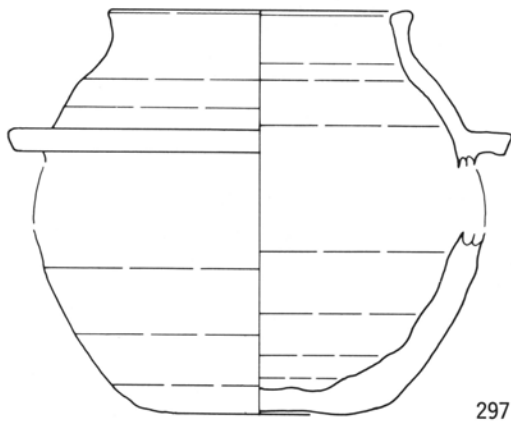
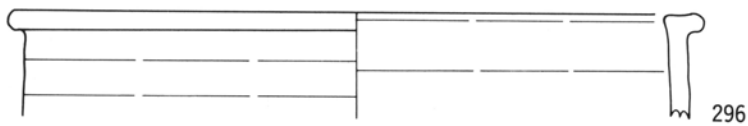
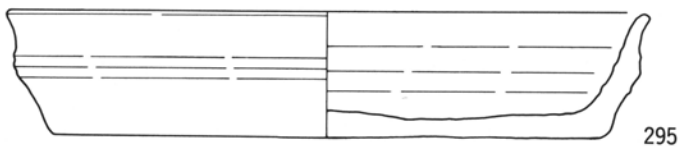
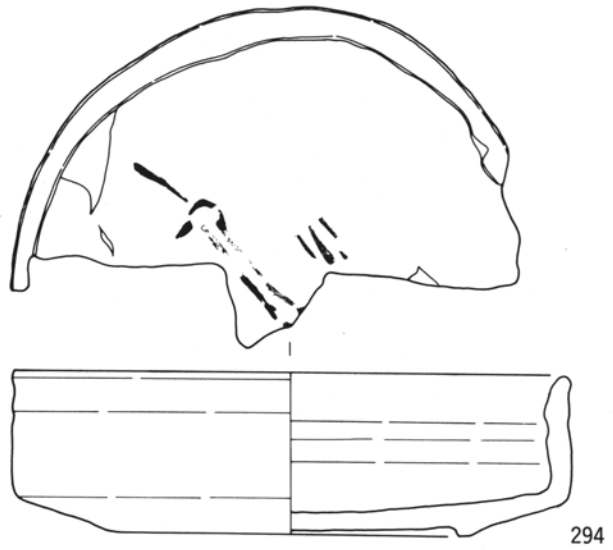
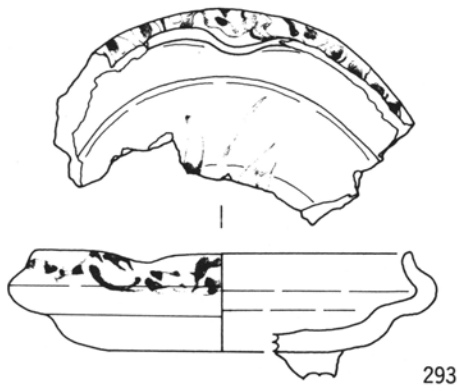
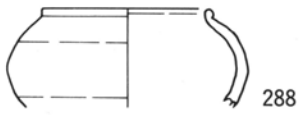
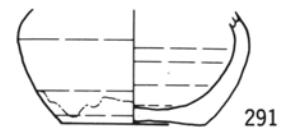
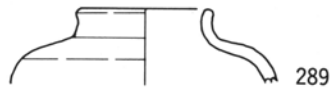
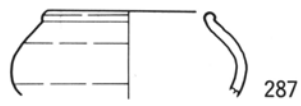
第 103 図 城下町期の遺物(16)

SD 200 (1)



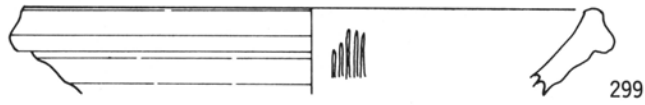
第 104 図 城下町期の遺物(17)

SD 200 (2)

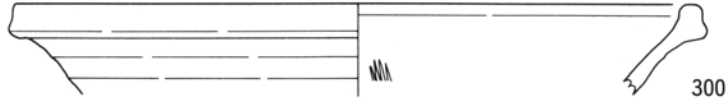


第 105 図 城下町期の遺物(18)

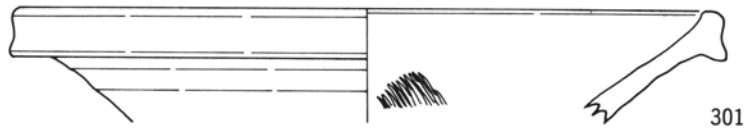
SD 200 (3)



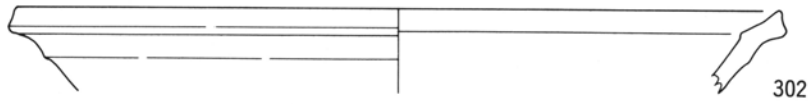
299



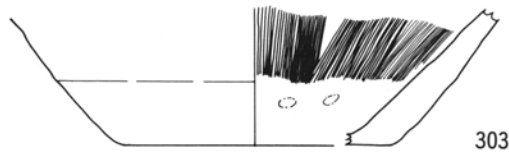
300



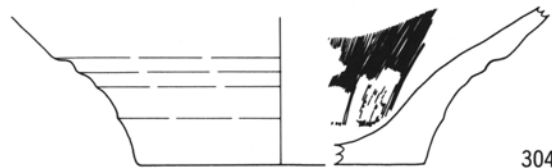
301



302



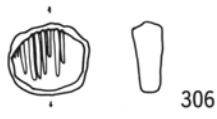
303



304



305



306

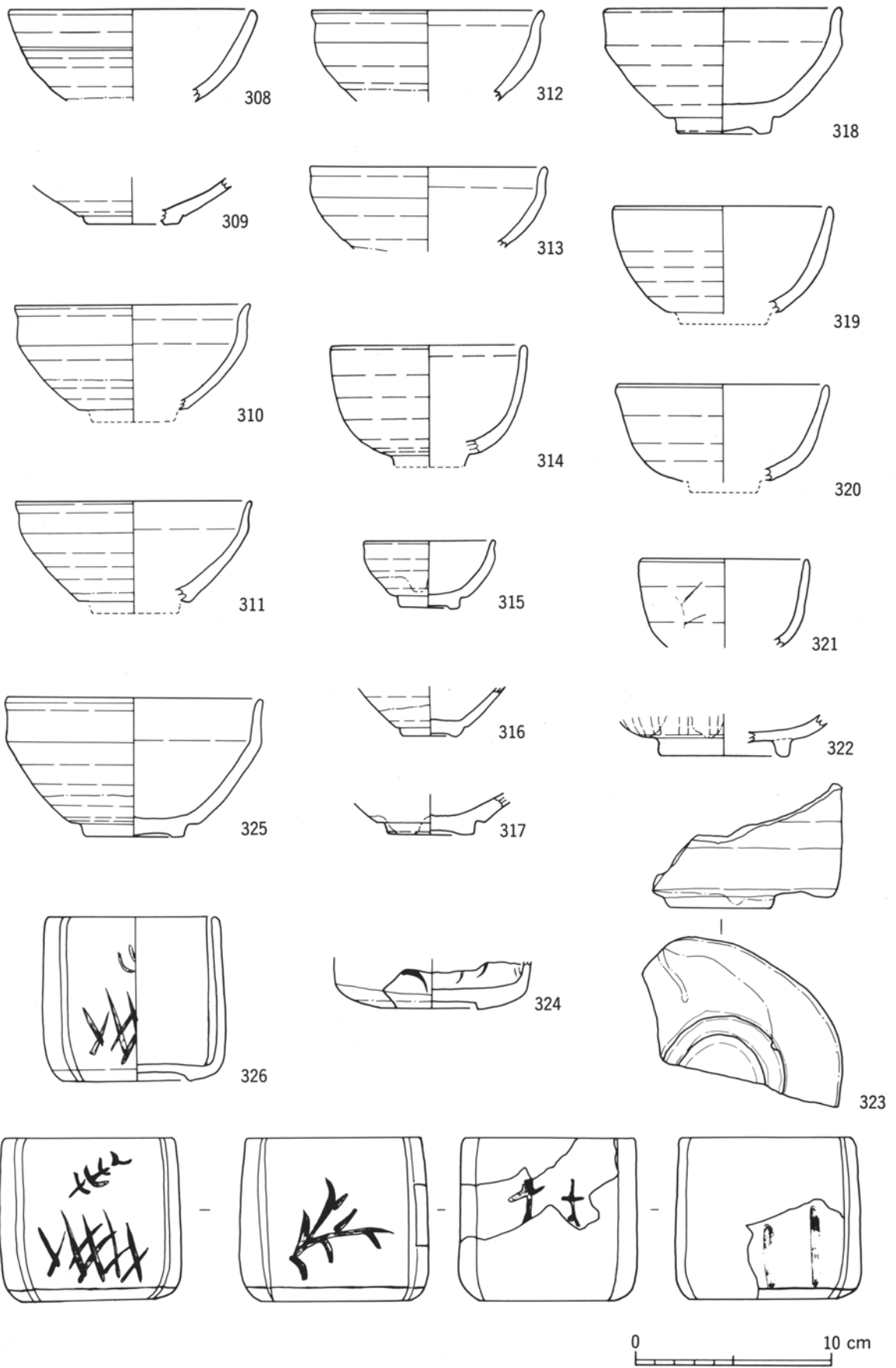


307



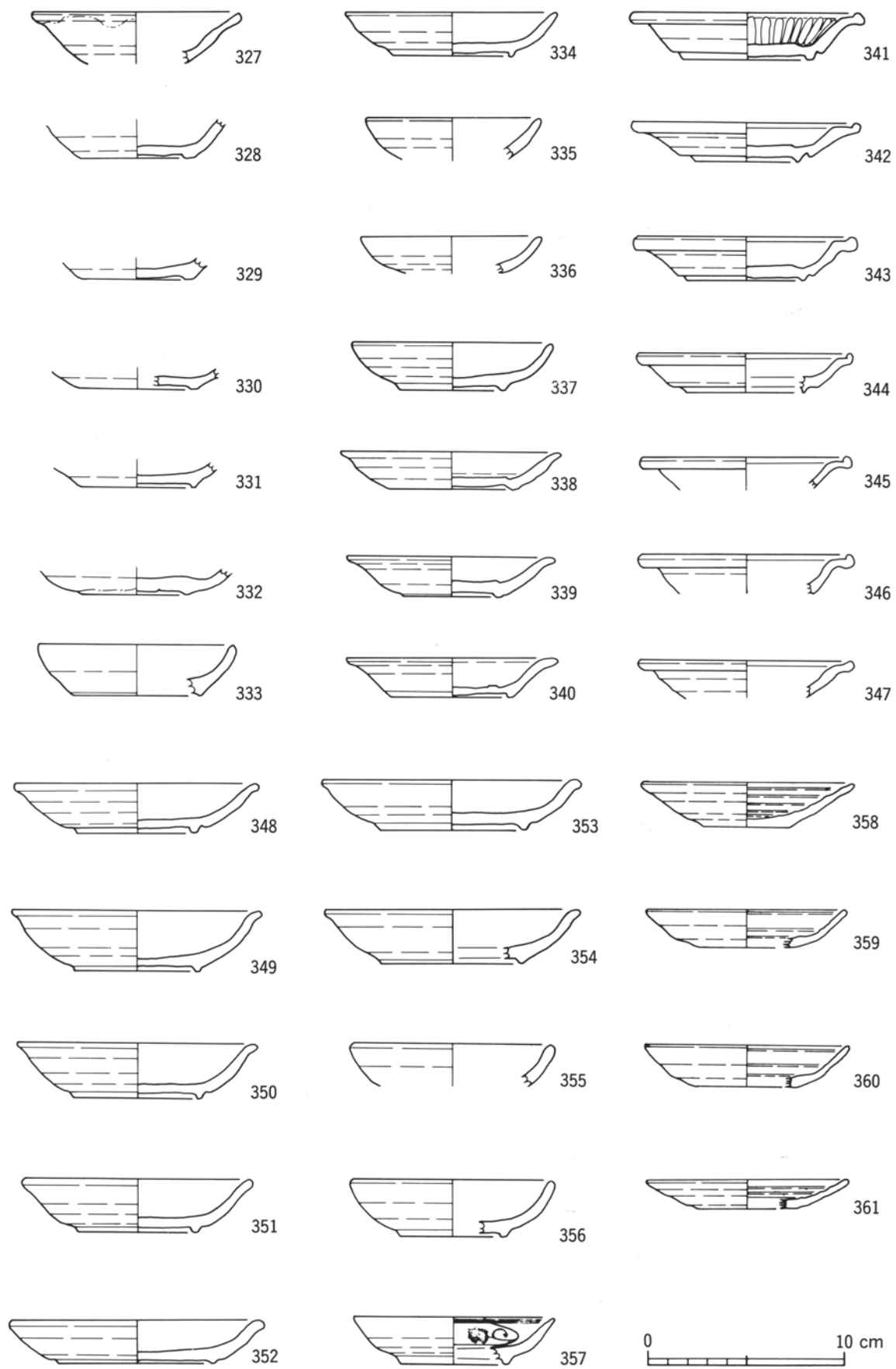
第 106 図 城下町期の遺物(19)

SD 200 (4)



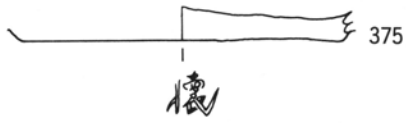
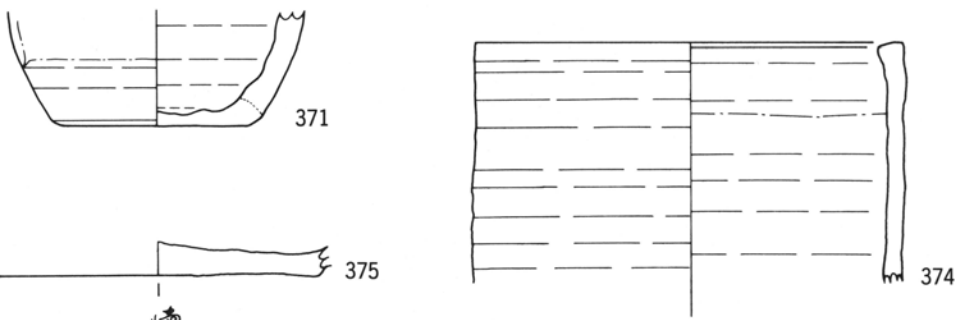
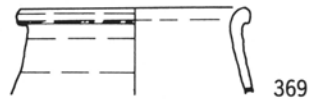
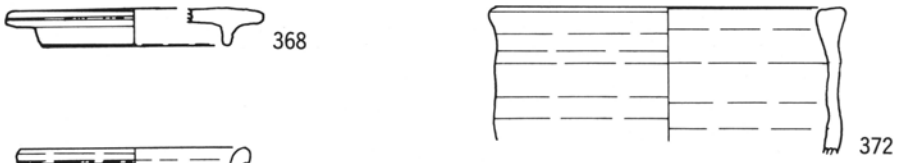
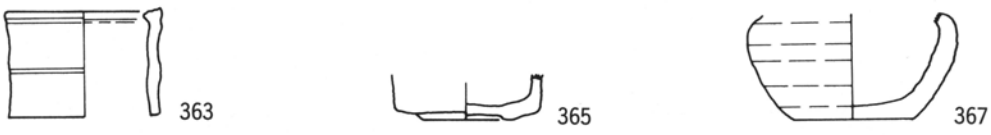
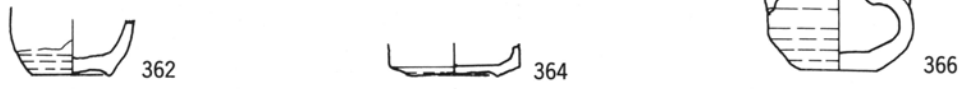
第107図 城下町期の遺物(20)

SD 177 (1)

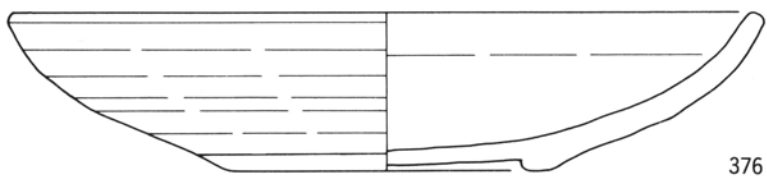


第 108 図 城下町期の遺物(21)

SD 177 (2)

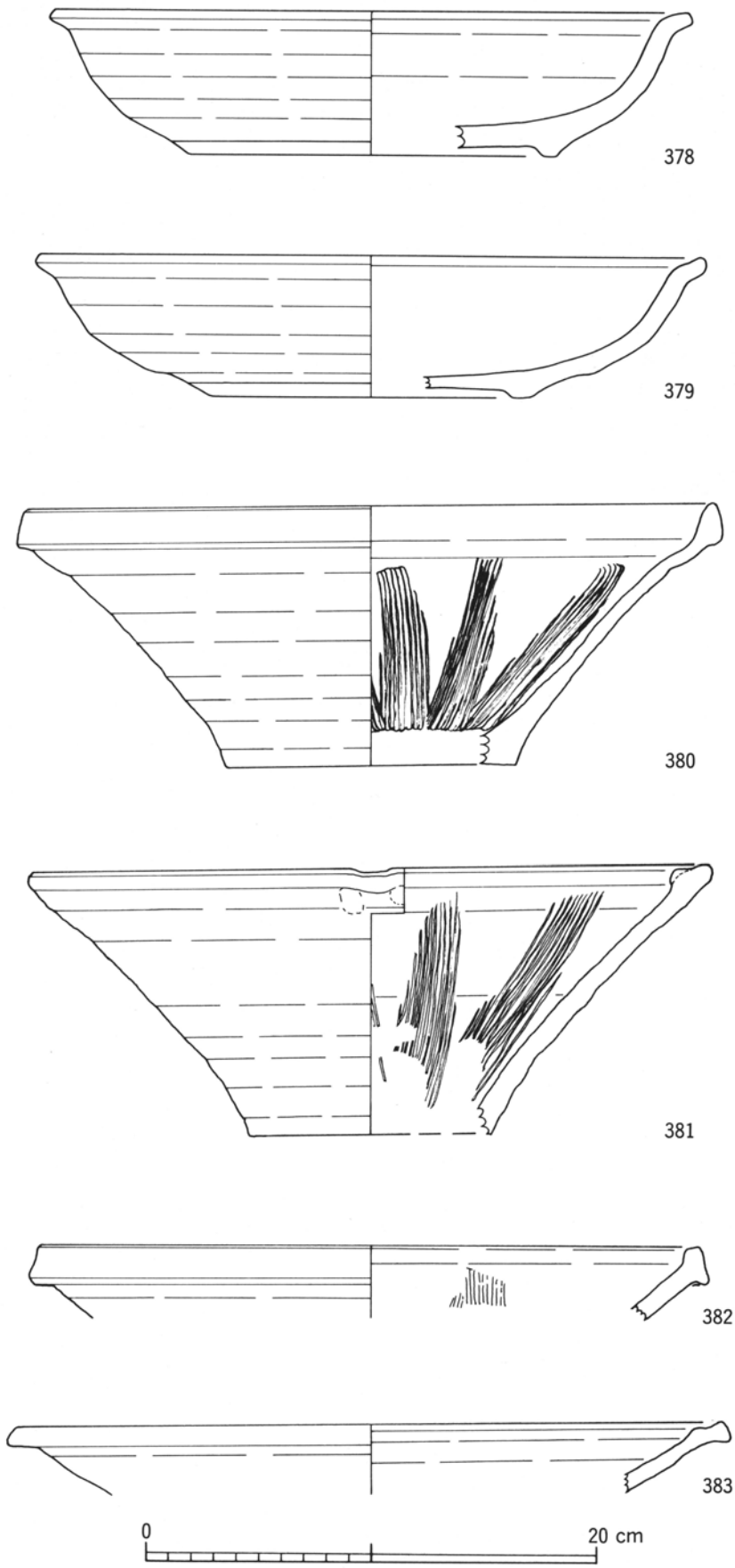


懷



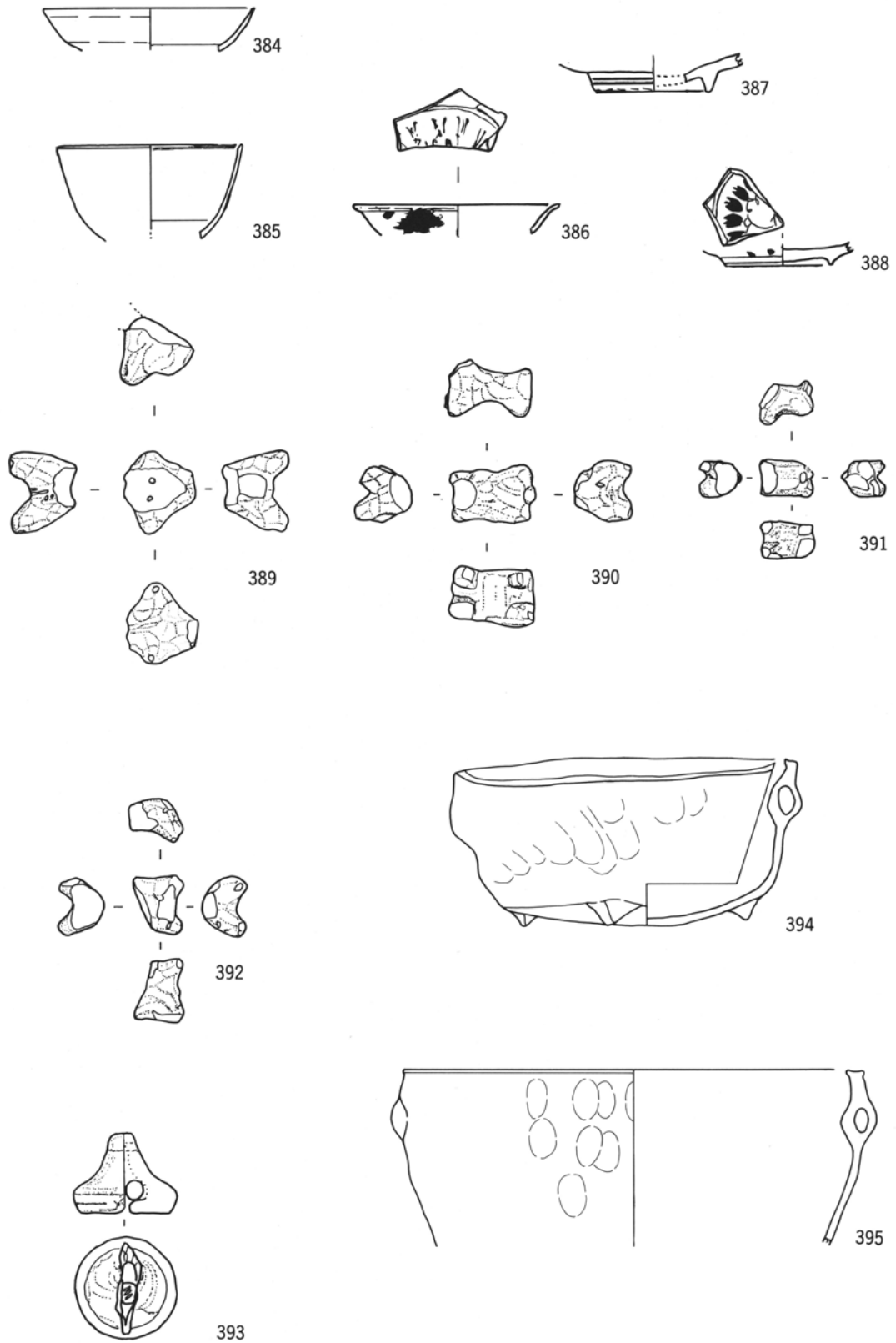
第 109 図 城下町期の遺物(22)

SD 177 (3)



第 110 図 城下町期の遺物(23)

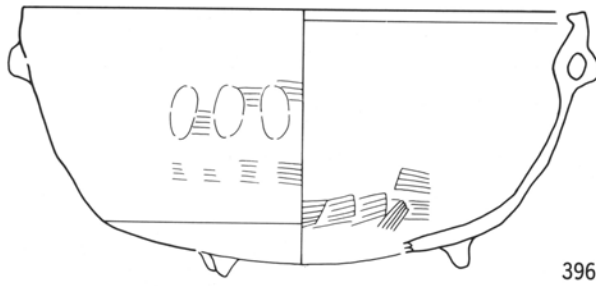
SD 177 (4)



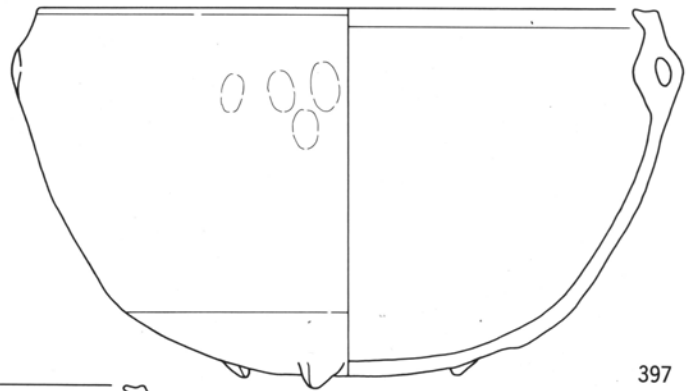
0 10 cm

第111図 城下町期の遺物(24)

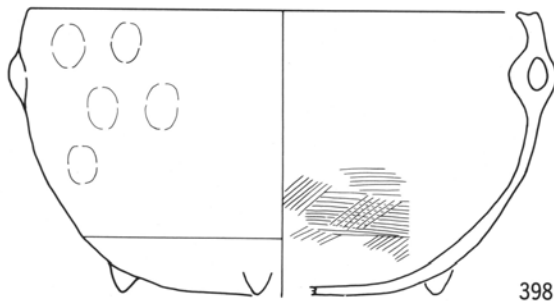
SD 177 (5)



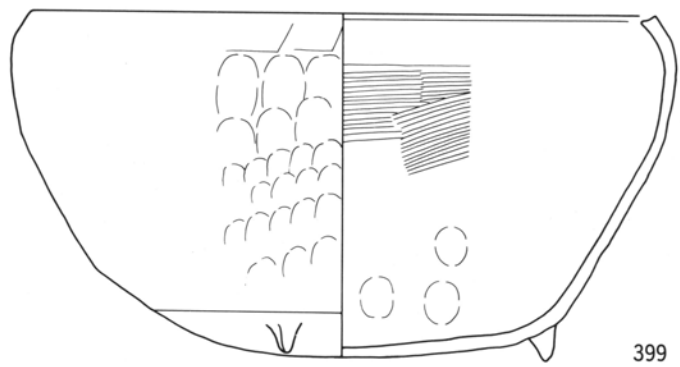
396



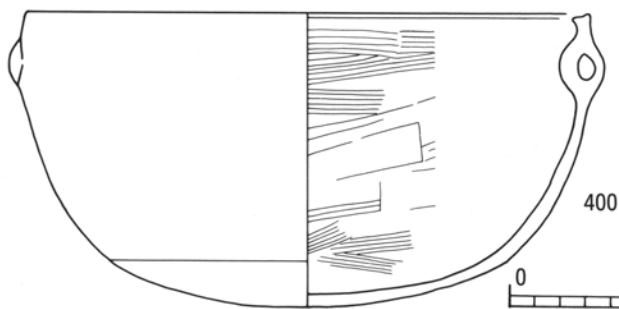
397



398



399

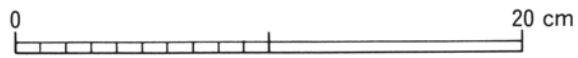
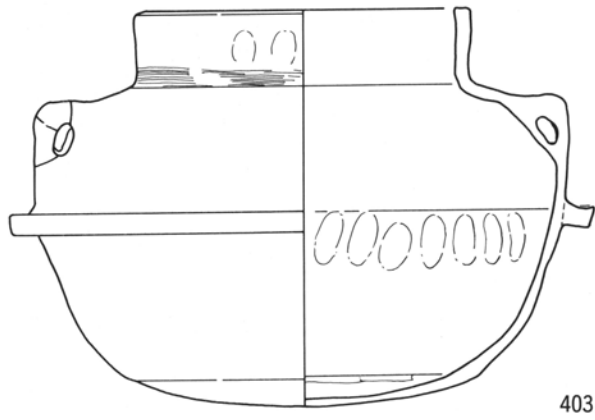
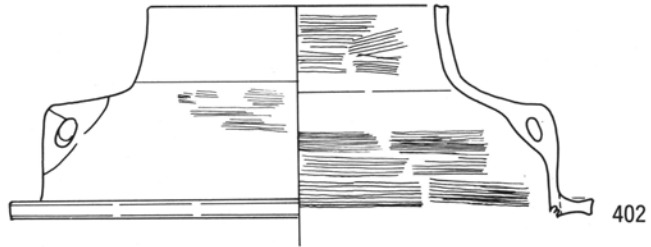
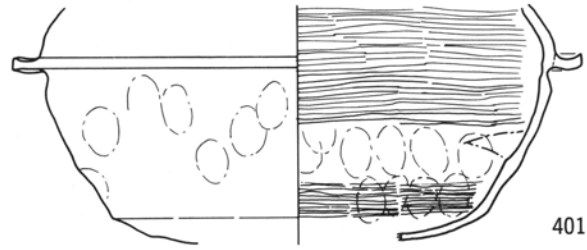


400



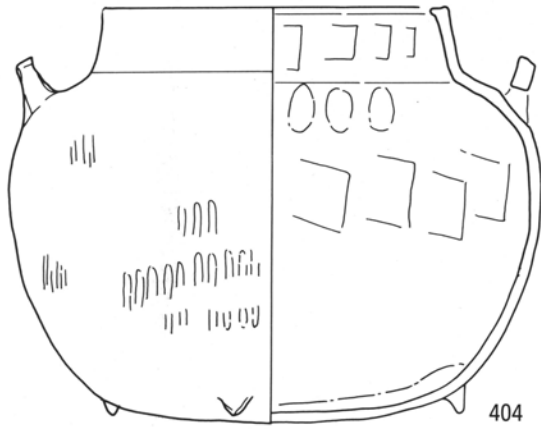
第 112 図 城下町期の遺物(25)

SD 177 (6)

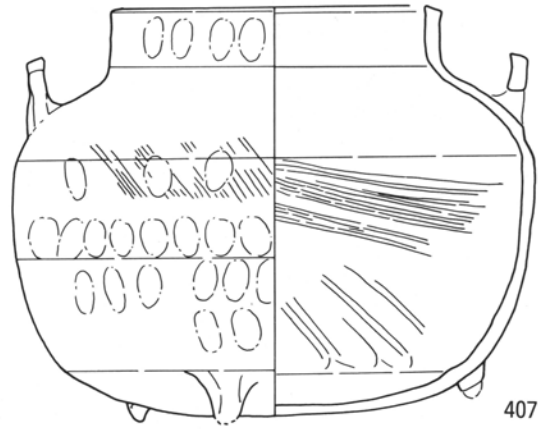


SD 177 (7)

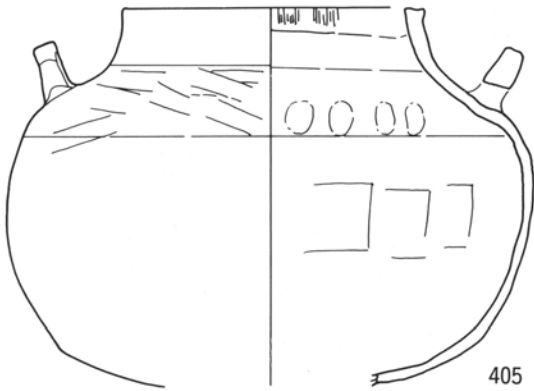
第 113 図 城下町期の遺物(26)



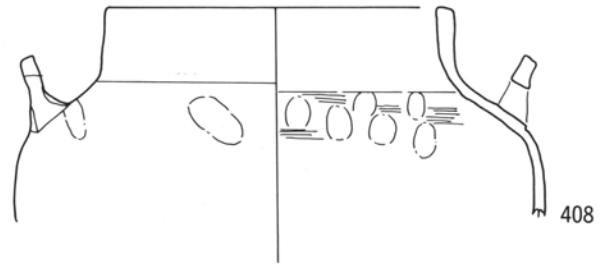
404



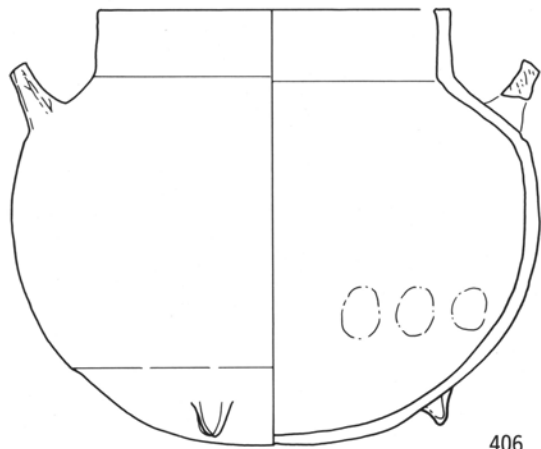
407



405



408

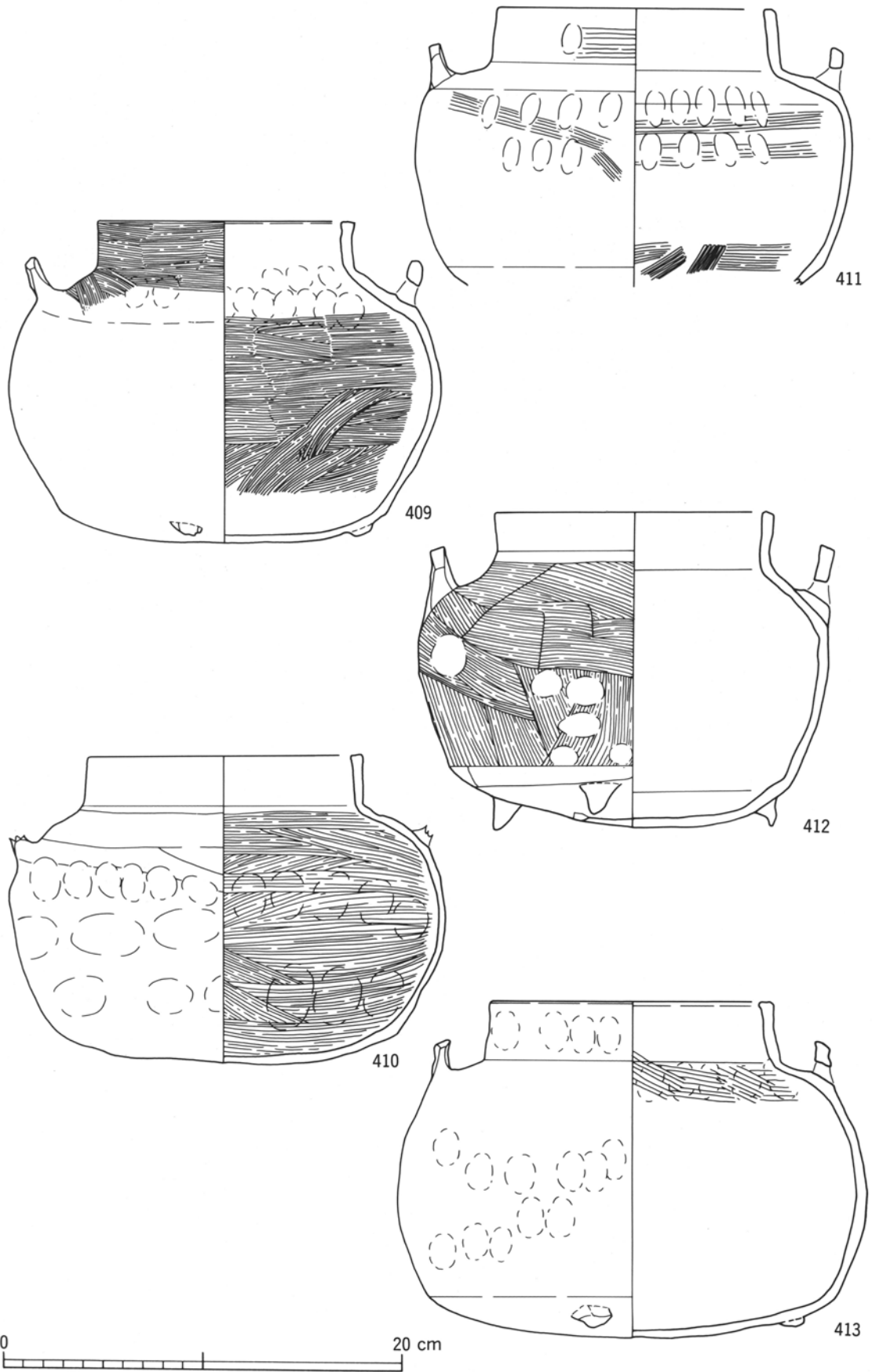


406



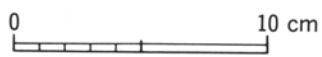
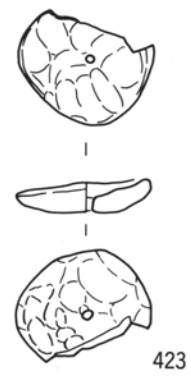
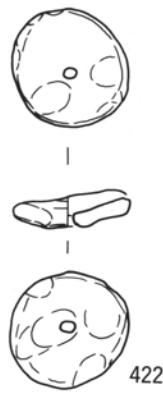
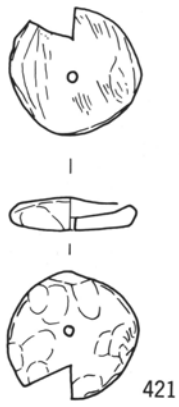
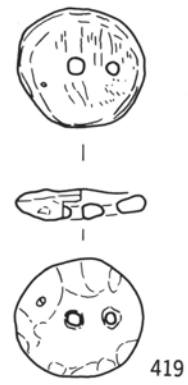
第 114 図 城下町期の遺物(27)

SD 177 (8)



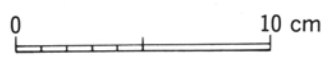
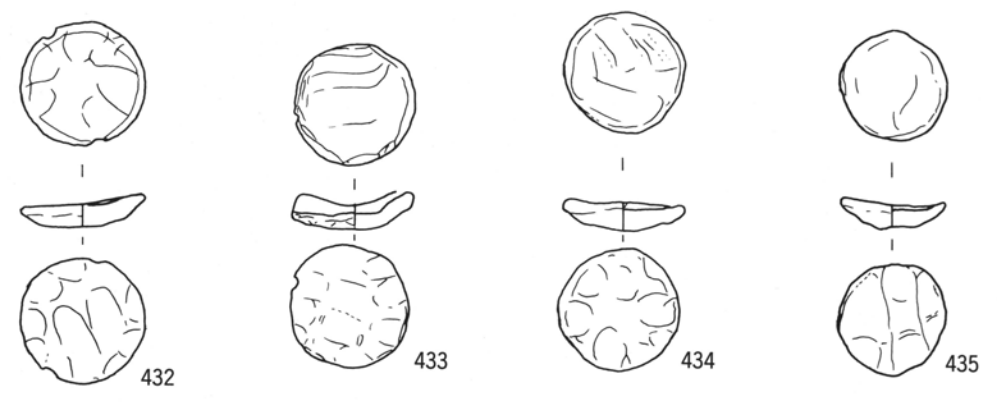
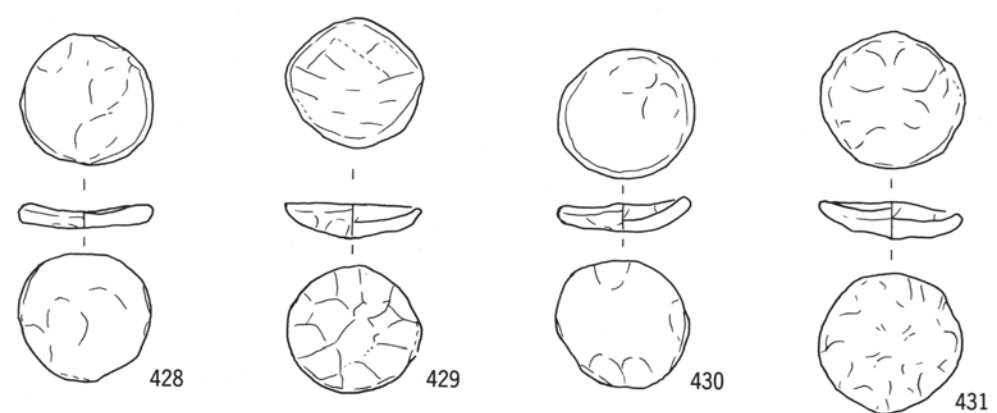
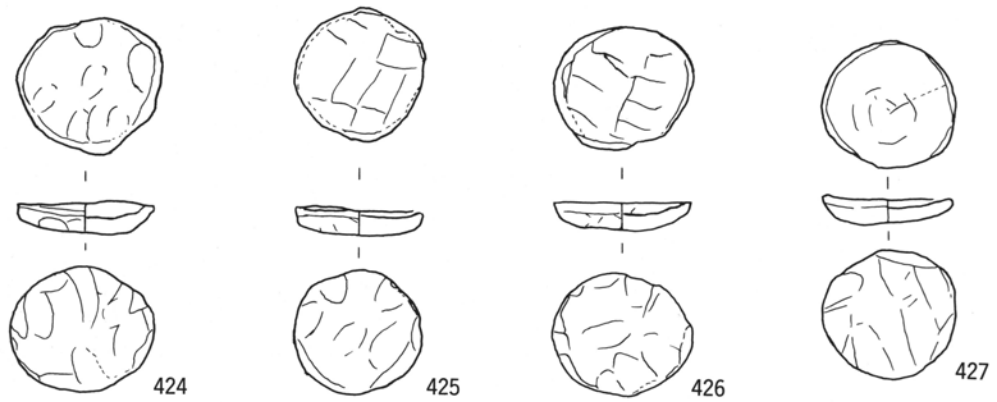
第 115 図 城下町期の遺物(28)

SD 177 (9)



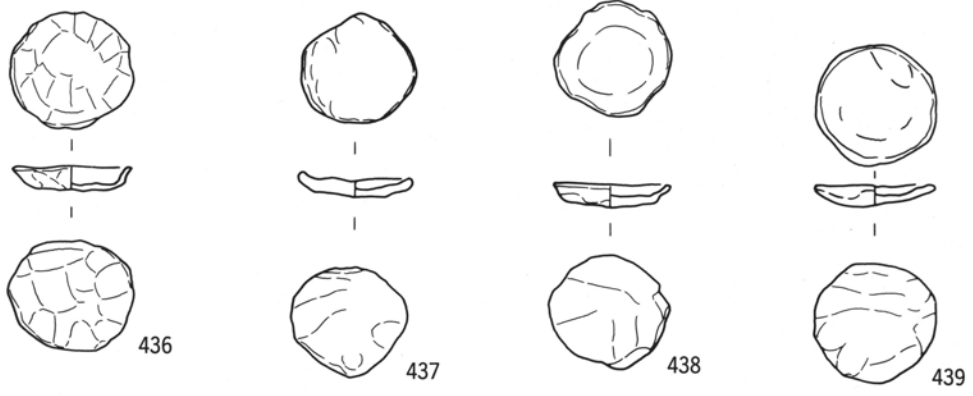
第 116 図 城下町期の遺物(29)

SD 177 (10)



SD 177(11)

第117図 城下町期の遺物(30)

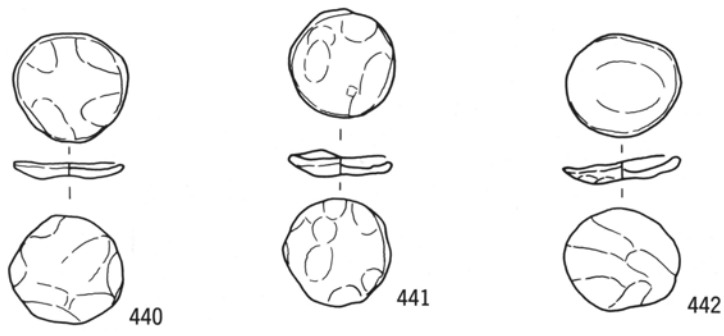


436

437

438

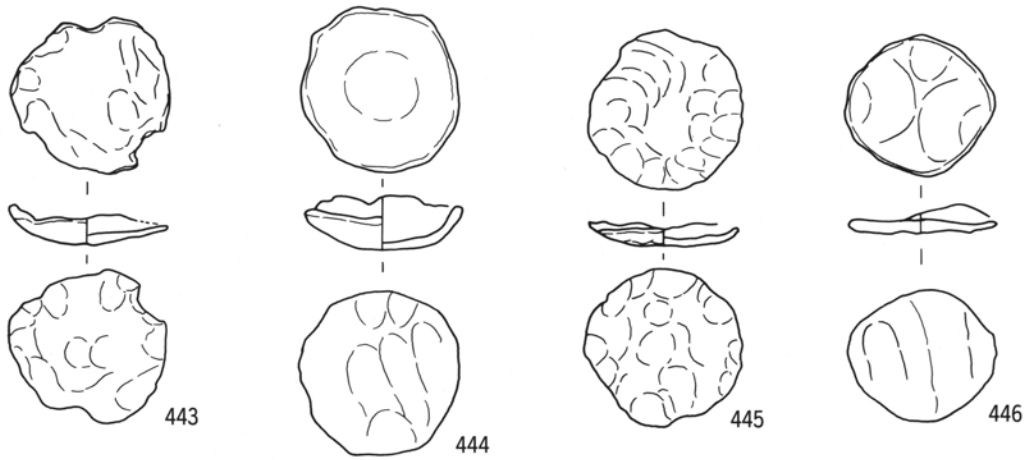
439



440

441

442



443

444

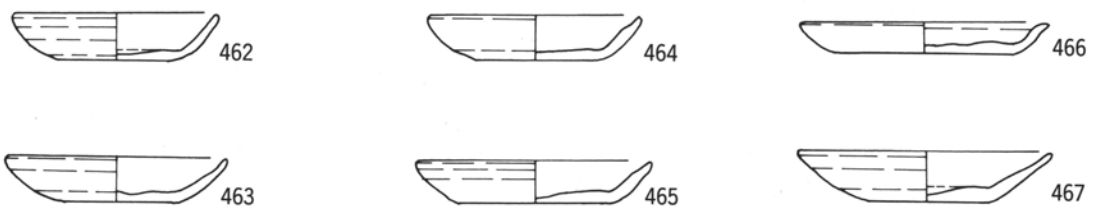
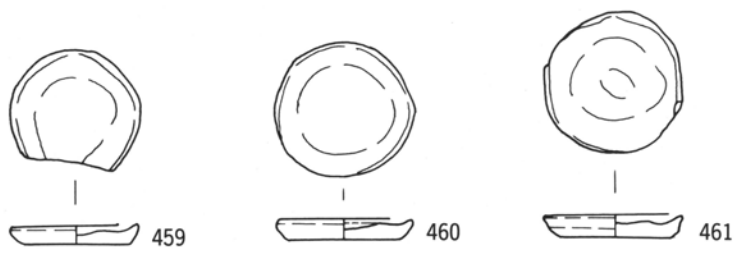
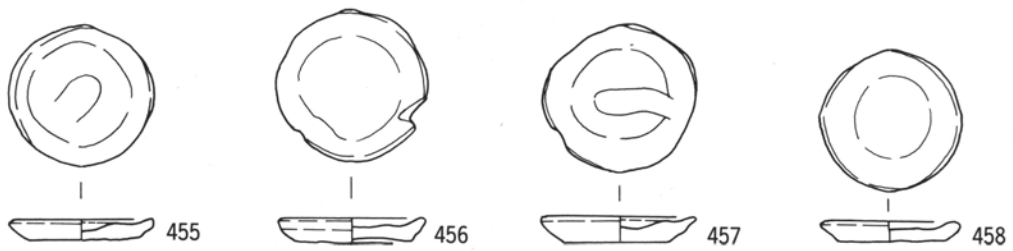
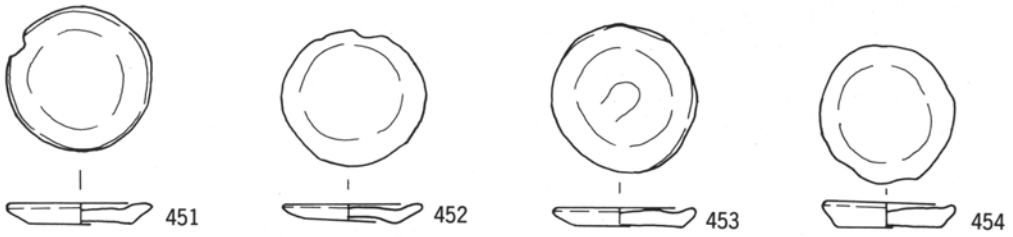
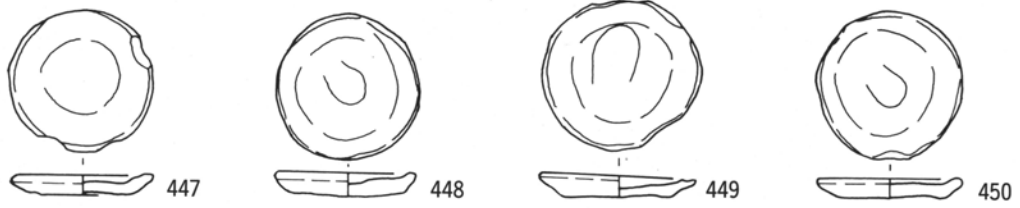
445

446



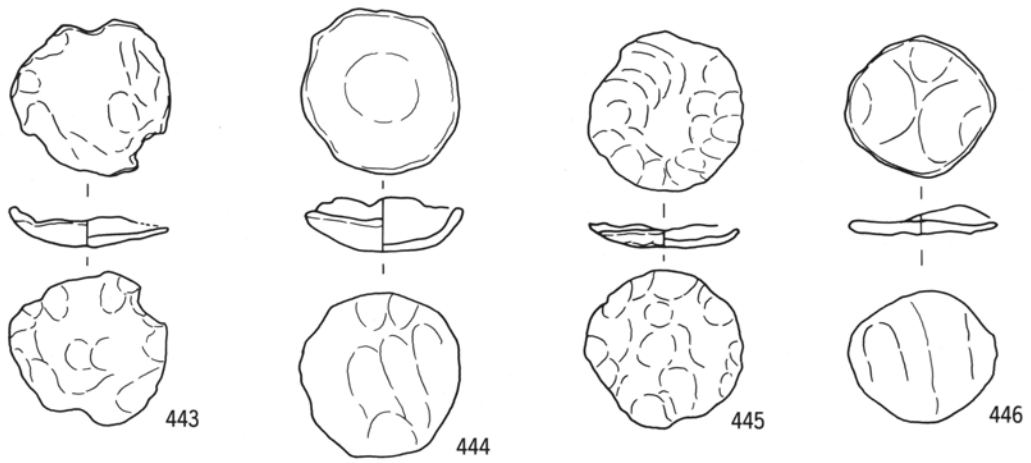
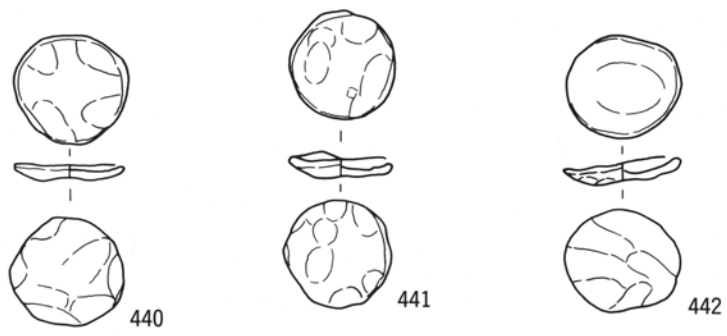
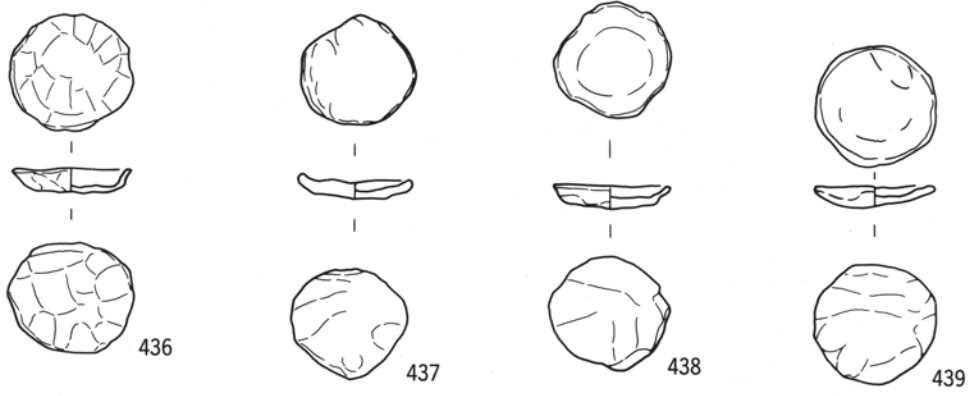
第 118 図 城下町期の遺物(31)

SD 177(12)



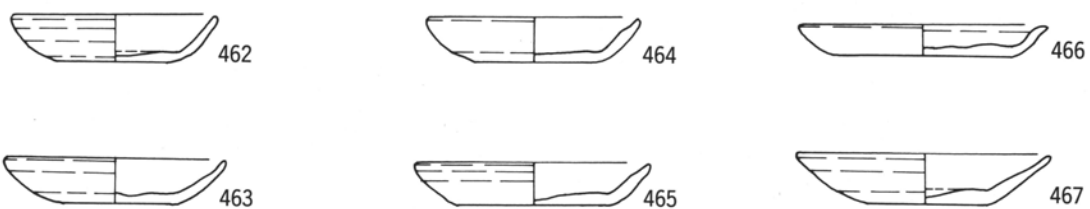
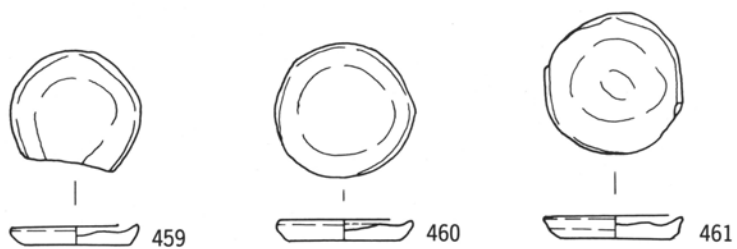
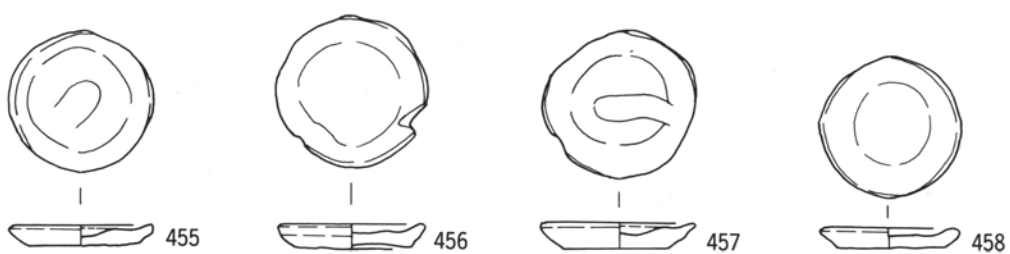
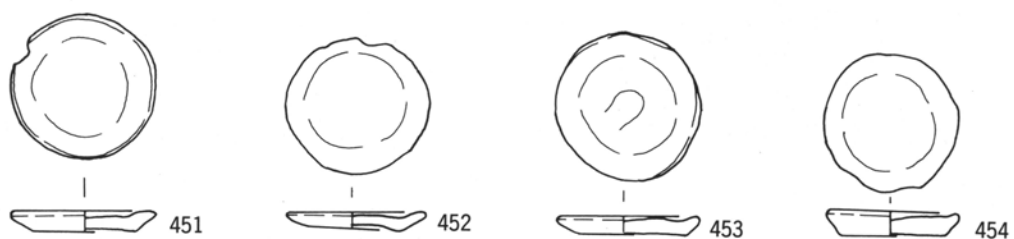
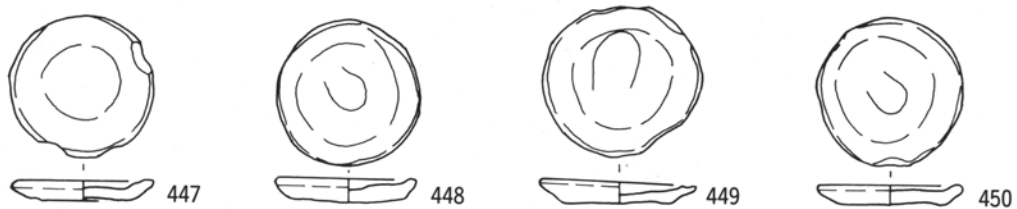
第119図 城下町期の遺物(32)

SD 177(13)



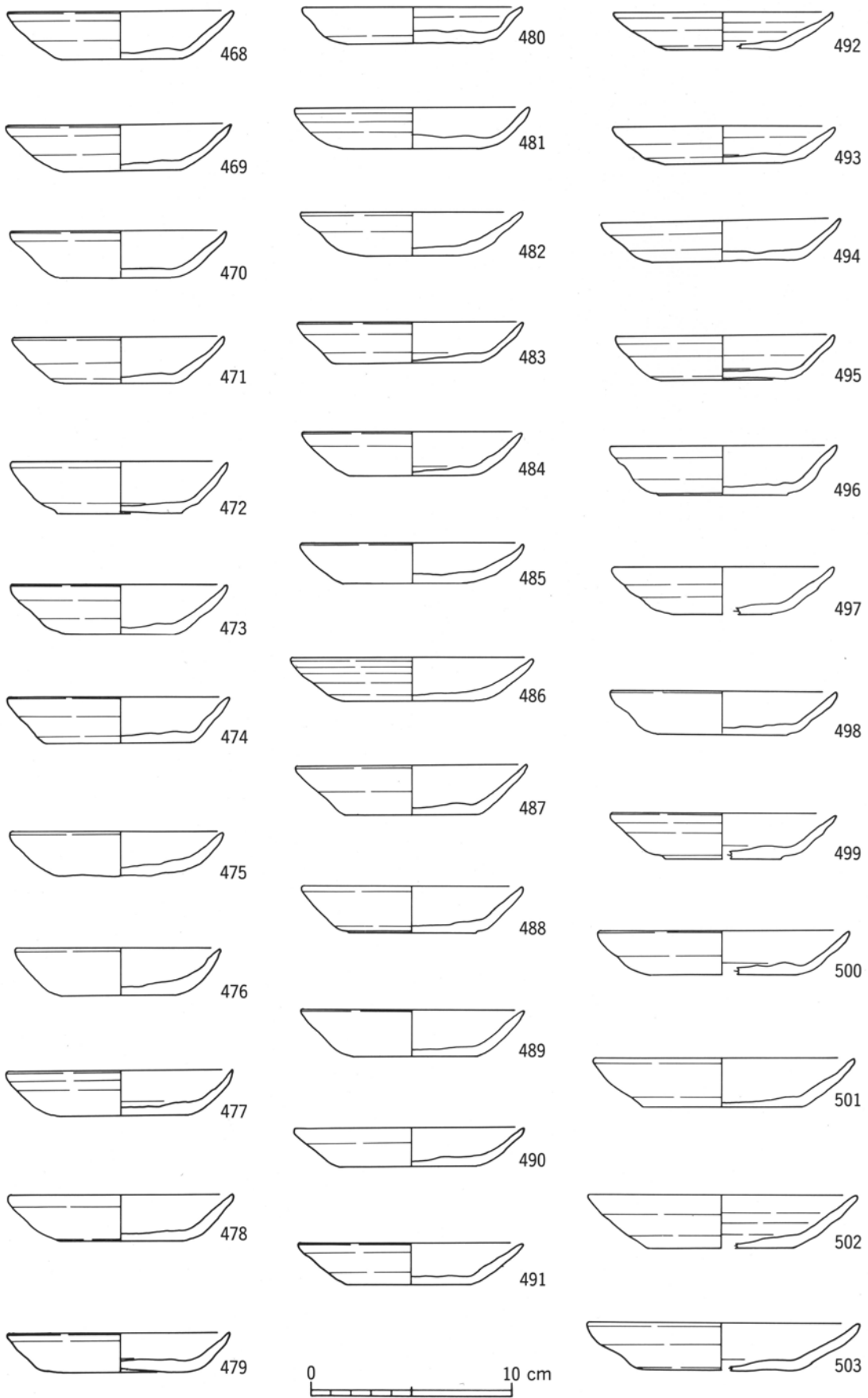
第118図 城下町期の遺物(31)

SD 177(12)



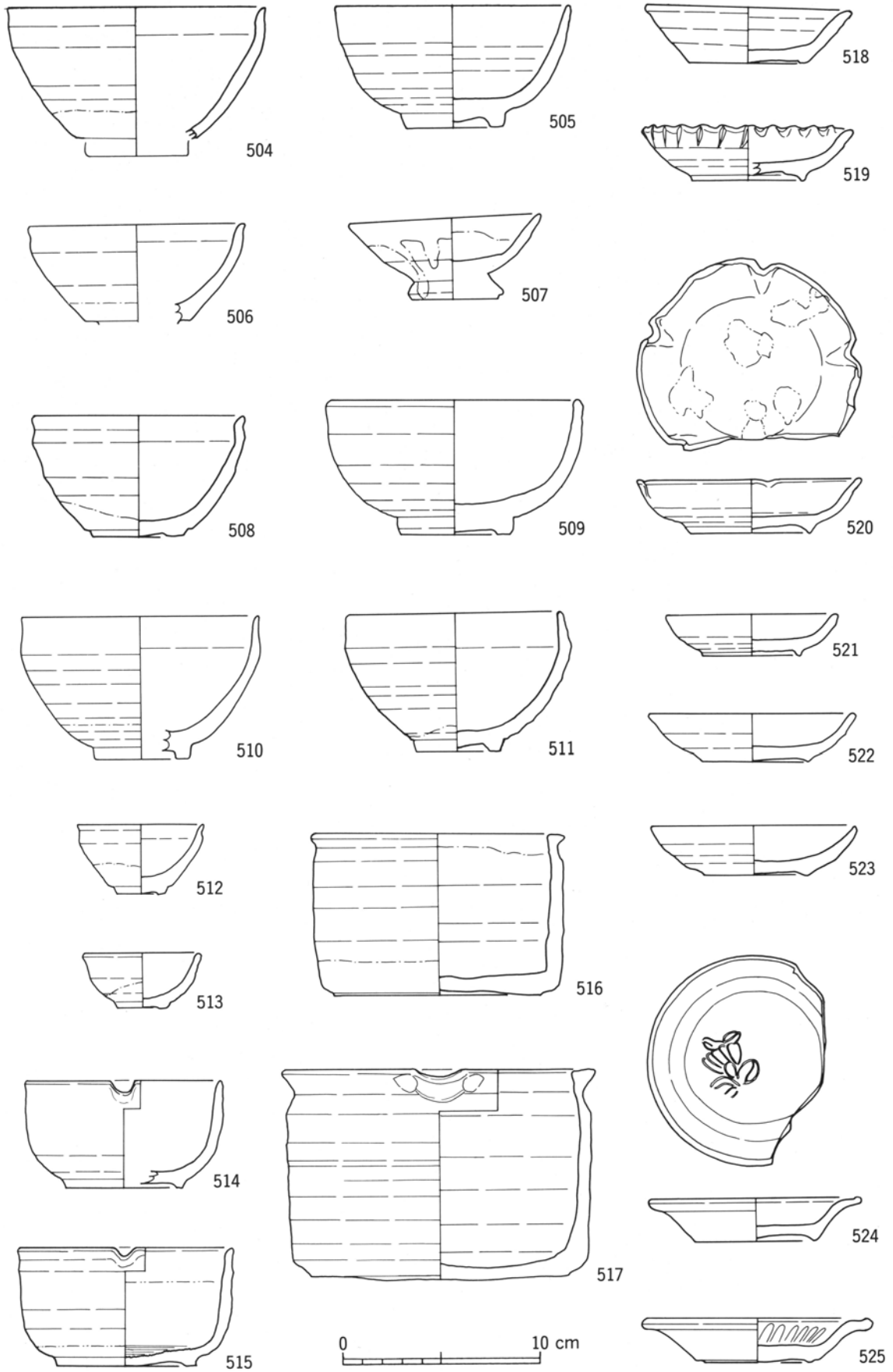
第119図 城下町期の遺物(32)

SD 177(13)



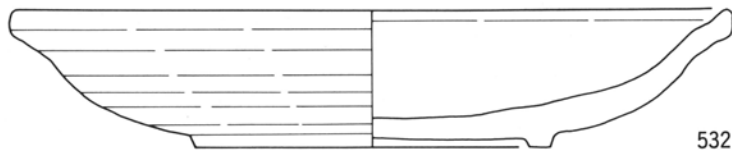
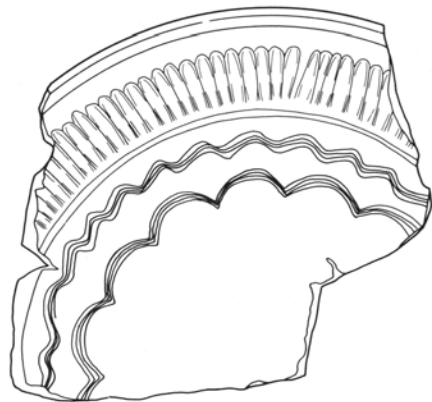
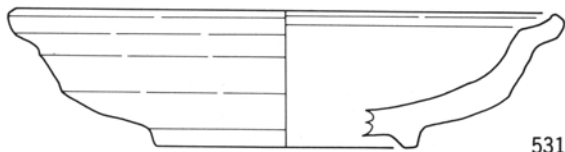
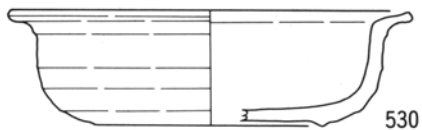
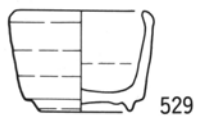
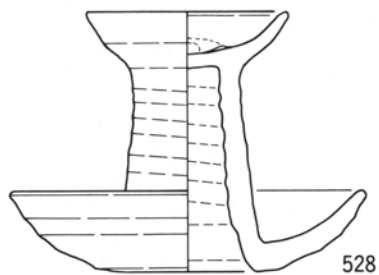
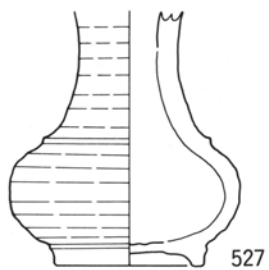
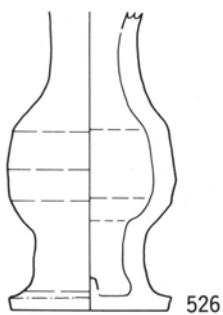
第 120 図 城下町期の遺物(33)

SD 177(14)



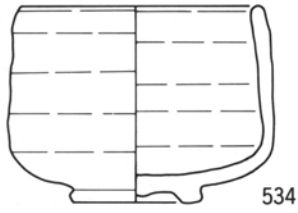
第 121 図 城下町期の遺物(34)

その他(1)

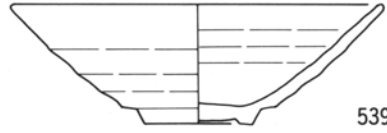


第 122 図 城下町期の遺物(35)

その他(2)



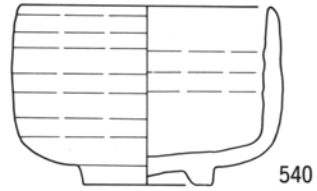
534



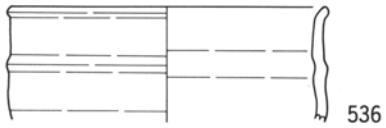
539



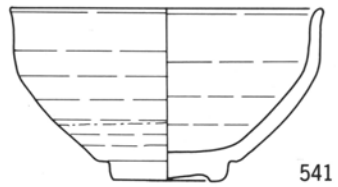
535



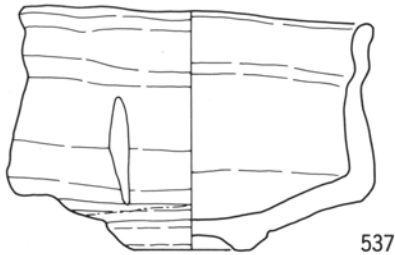
540



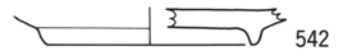
536



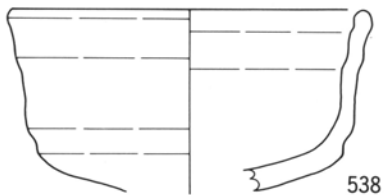
541



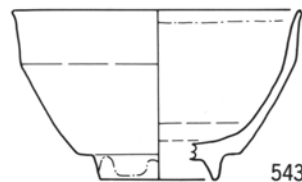
537



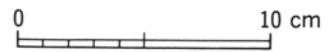
542



538

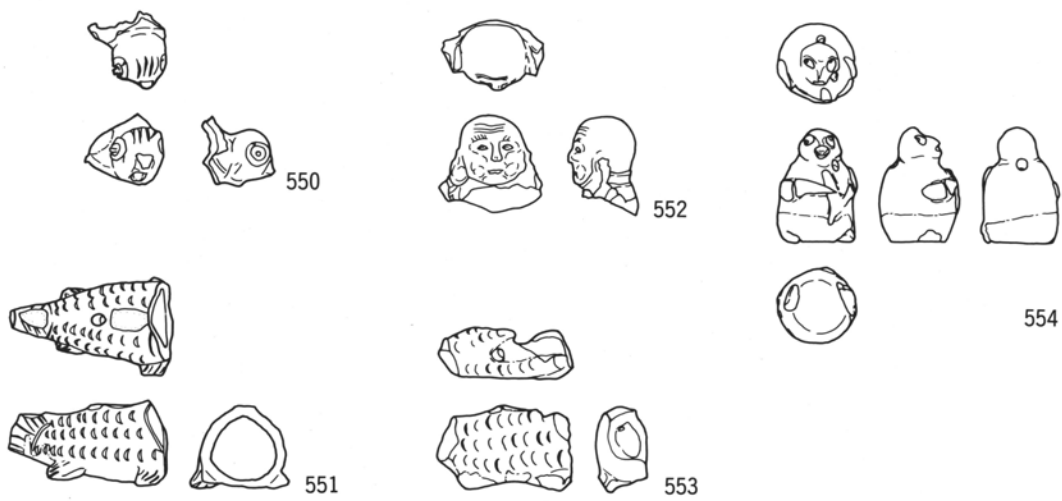
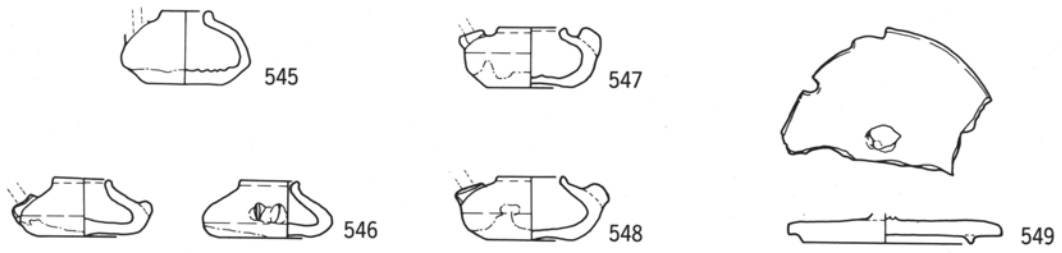
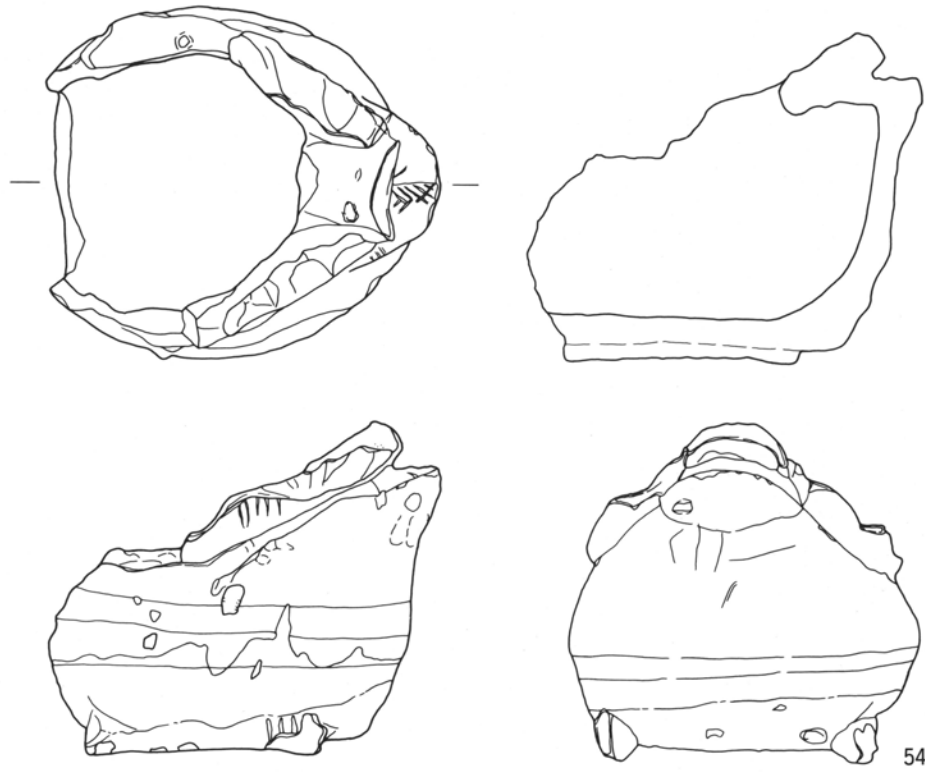


543



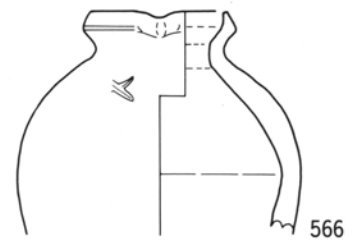
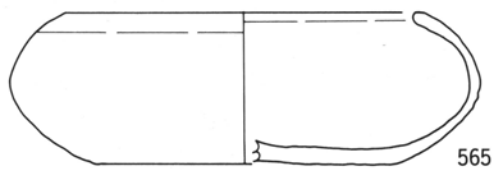
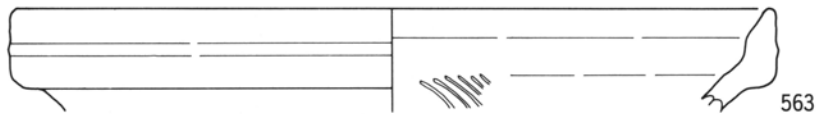
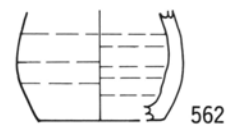
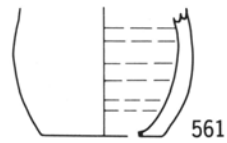
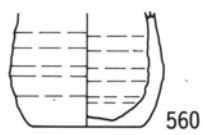
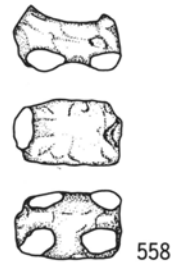
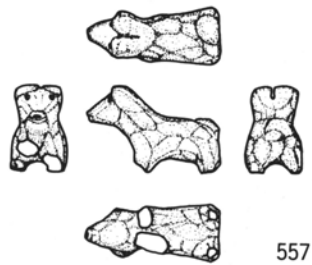
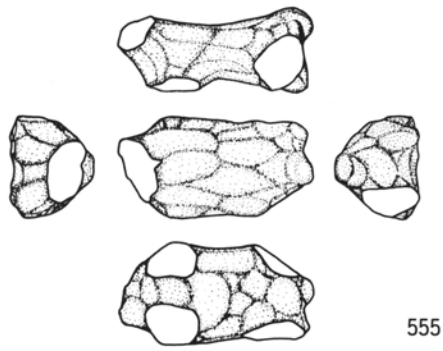
第 123 図 城下町期の遺物(36)

その他(3)



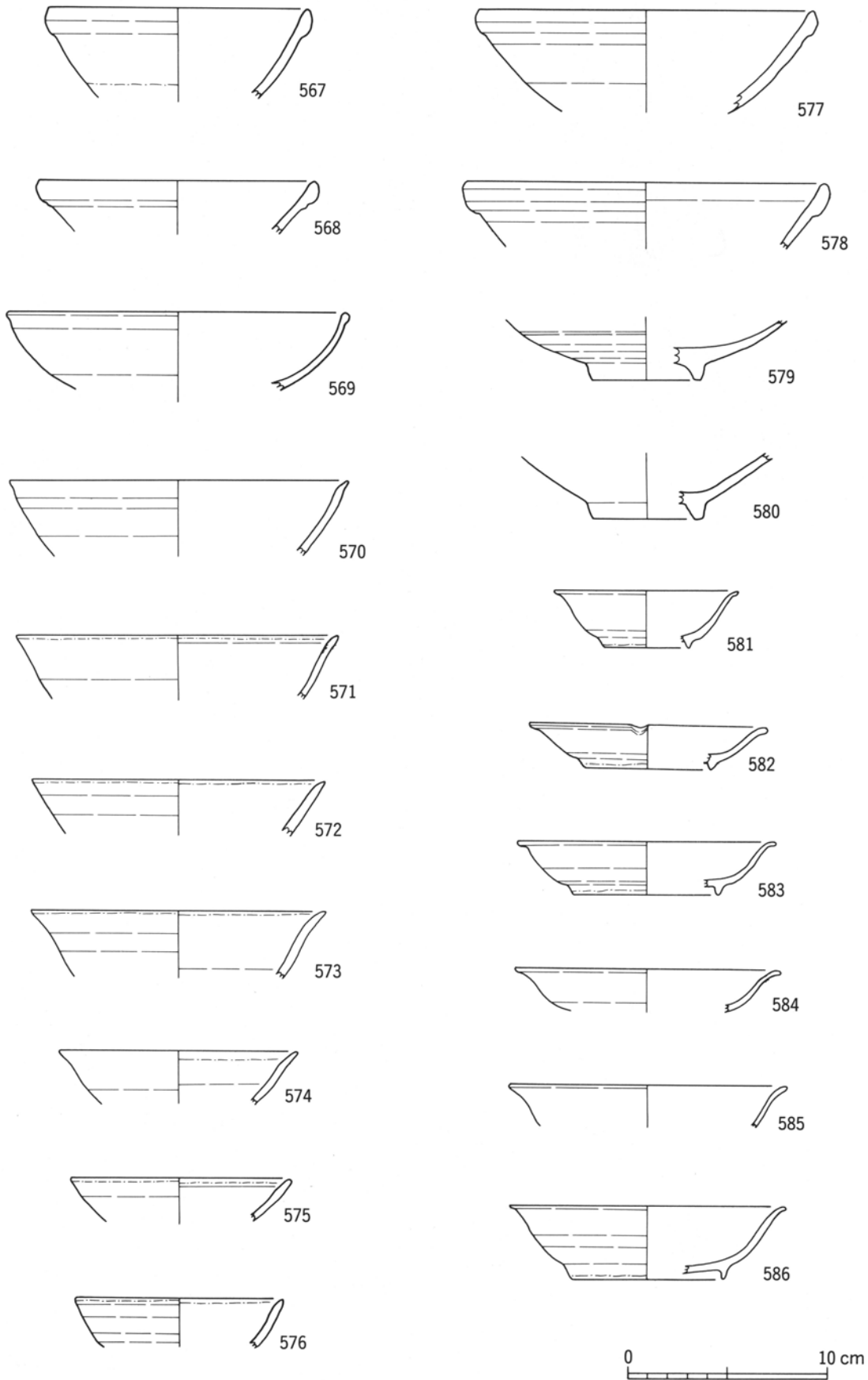
第 124 図 城下町期の遺物(37)

その他(4)



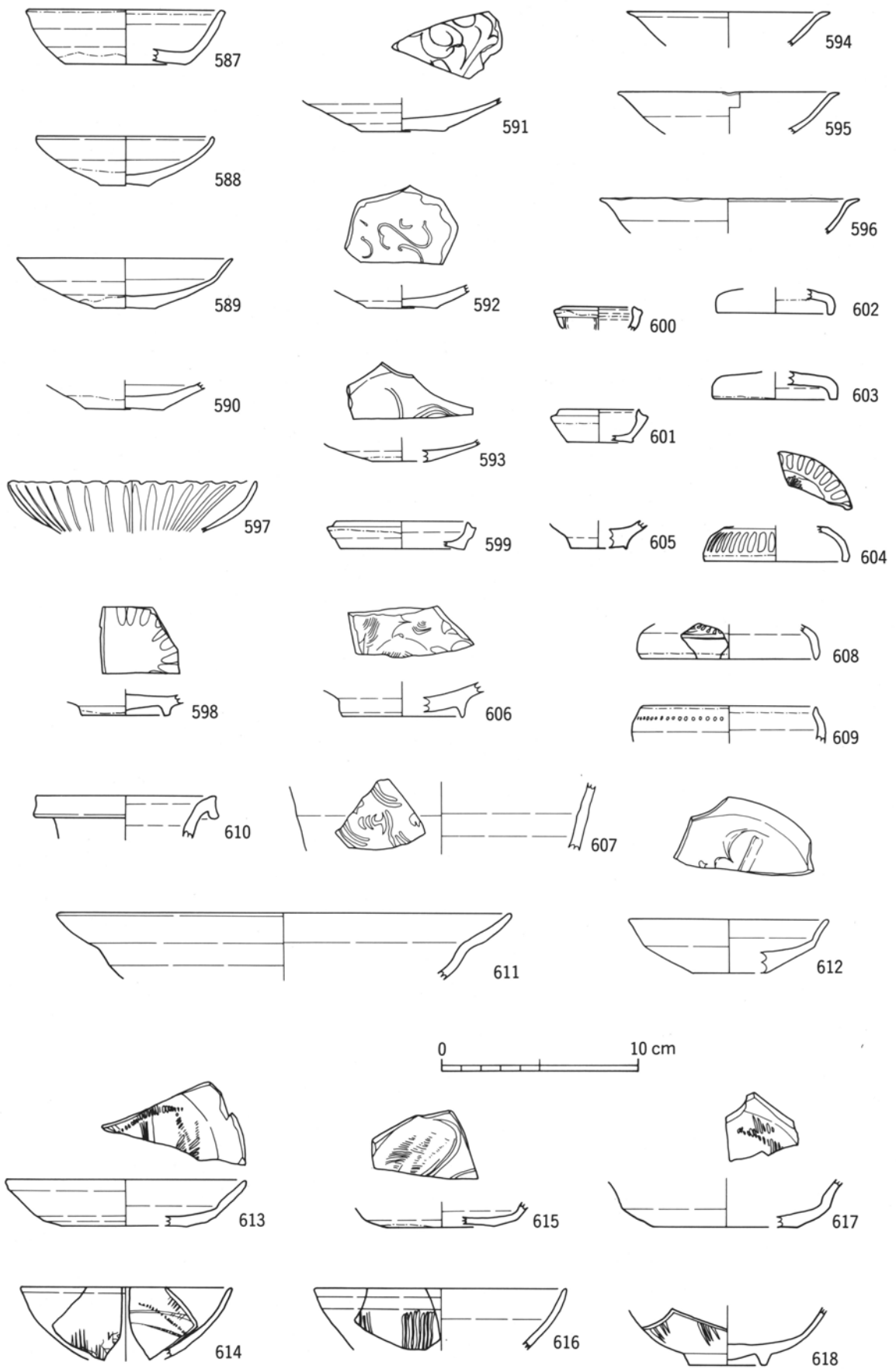
第 125 図 城下町期の遺物(38)

その他(5)

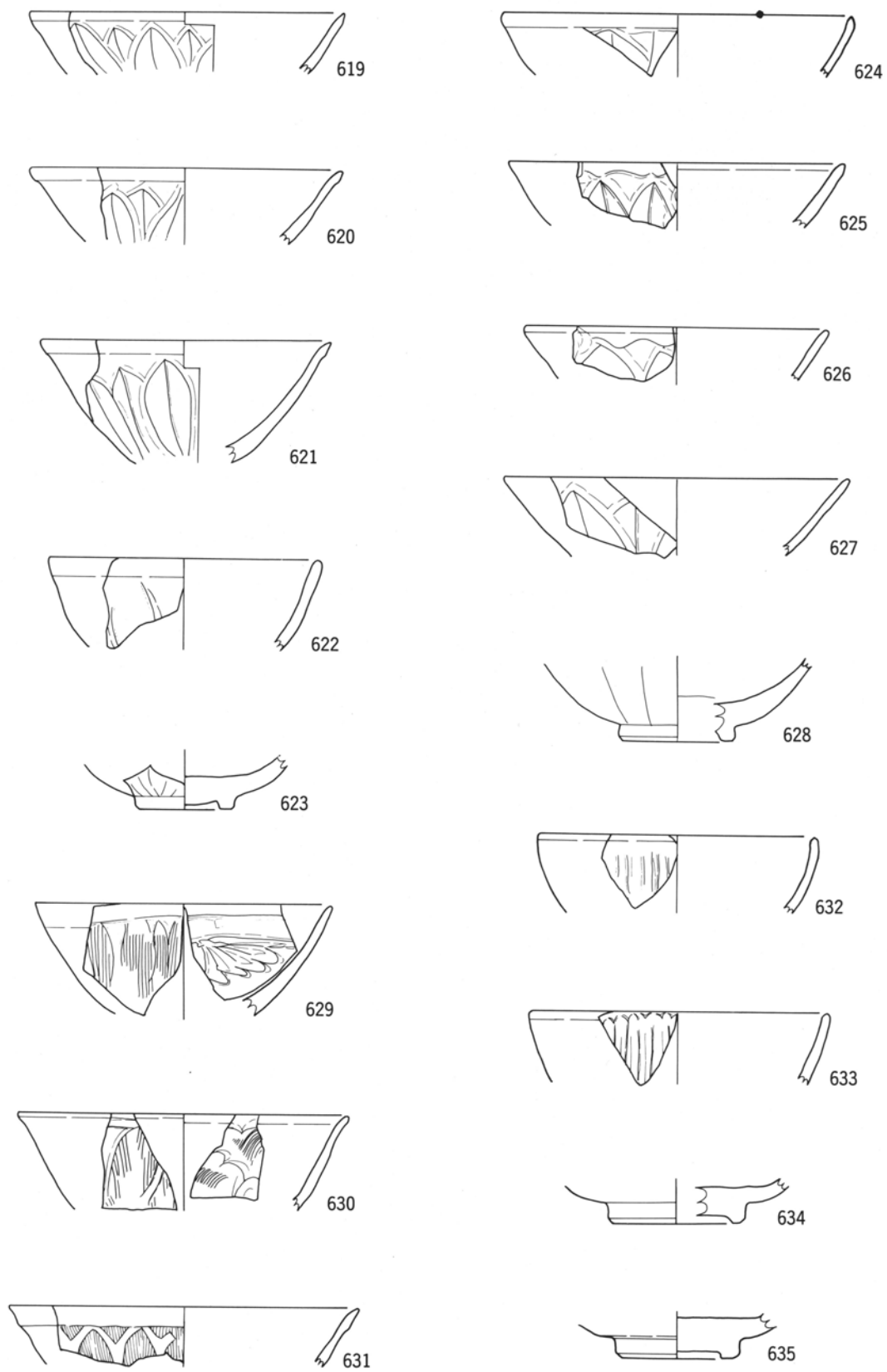


第 126 図 城下町期の遺物(39)

輸入陶磁器 白磁(1)



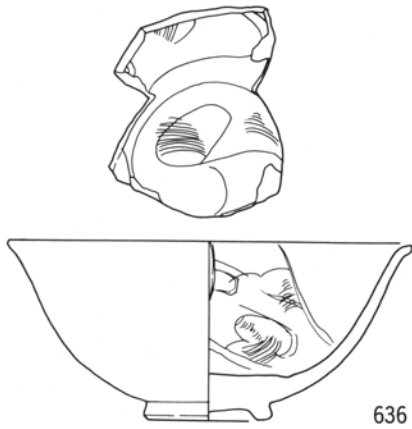
第 127 図 城下町期の遺物(40) 輸入陶磁器 白磁(2)・青白磁・青磁(1)



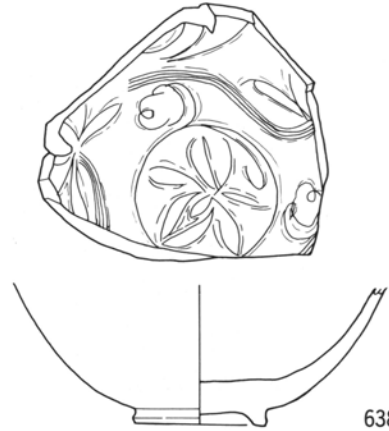
0 10 cm

第 128 図 城下町期の遺物(41)

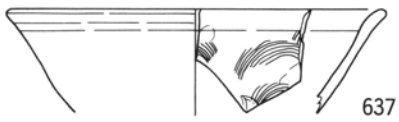
輸入陶磁器 青磁(2)



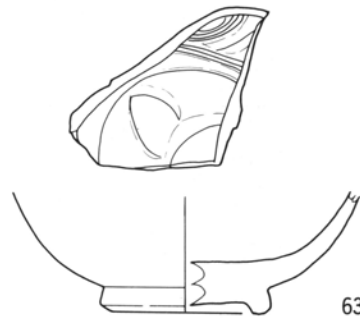
636



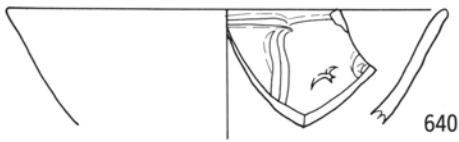
638



637



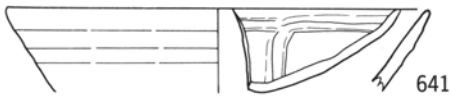
639



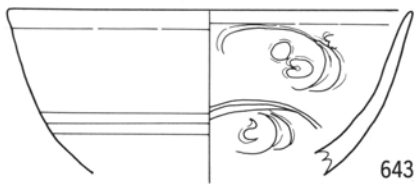
640



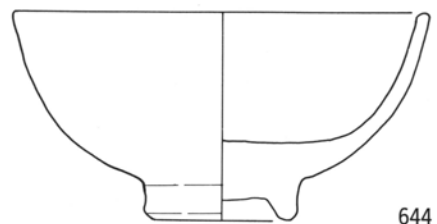
642



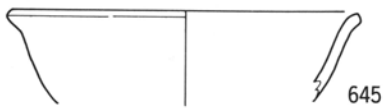
641



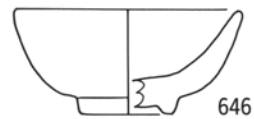
643



644



645

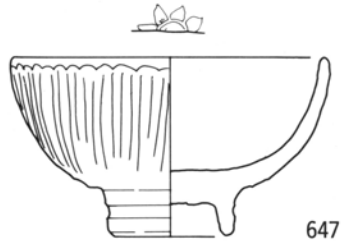


646

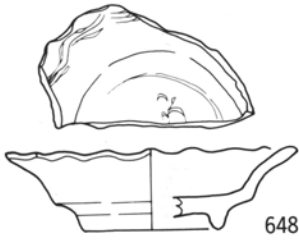


第129図 城下町期の遺物(42)

輸入陶磁器 青磁(3)



647



648



650



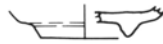
651



652



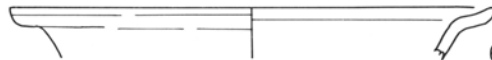
649



653



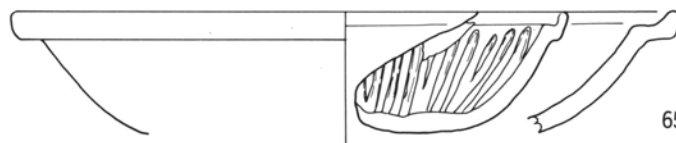
654



655



656

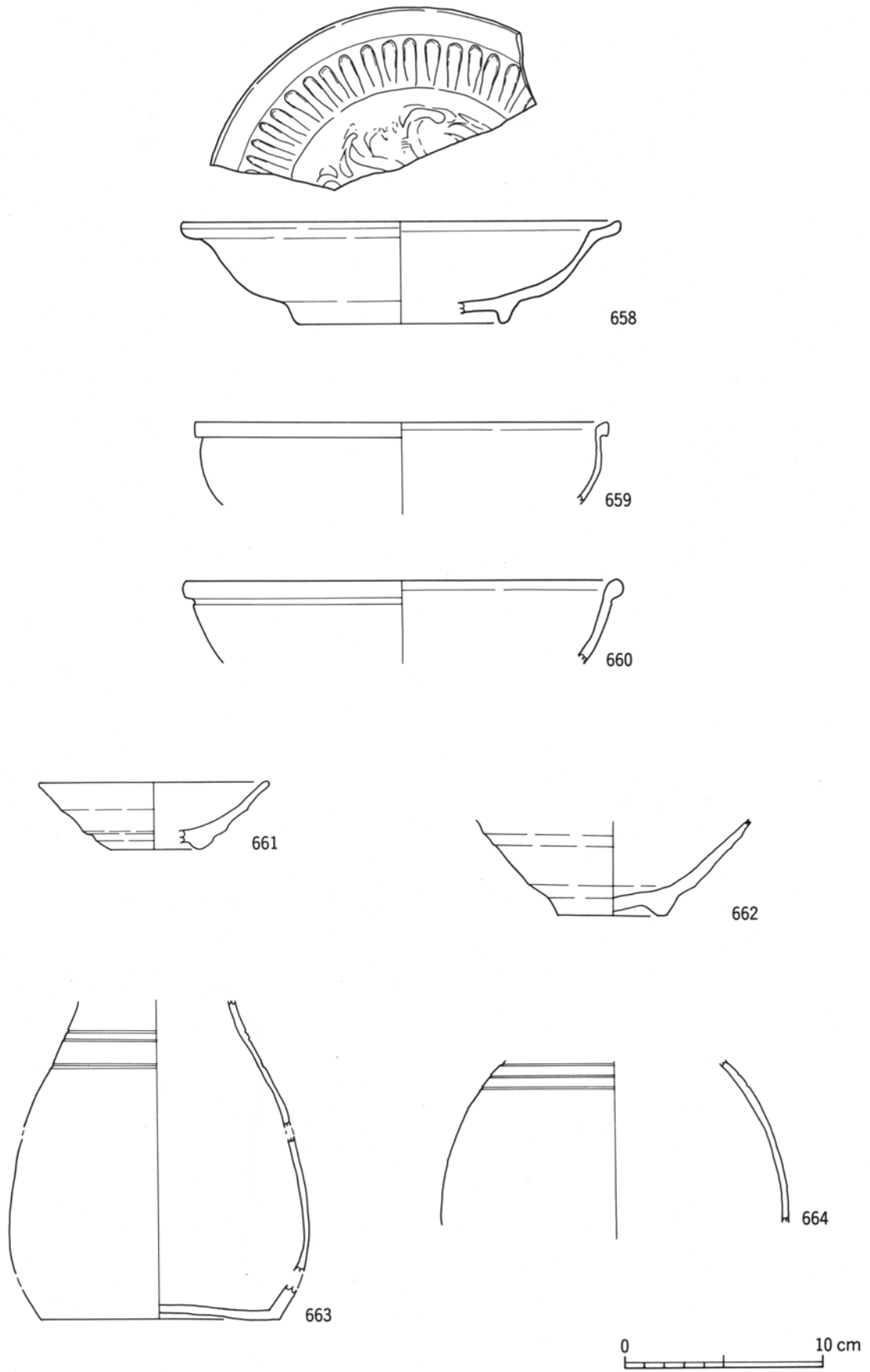


657



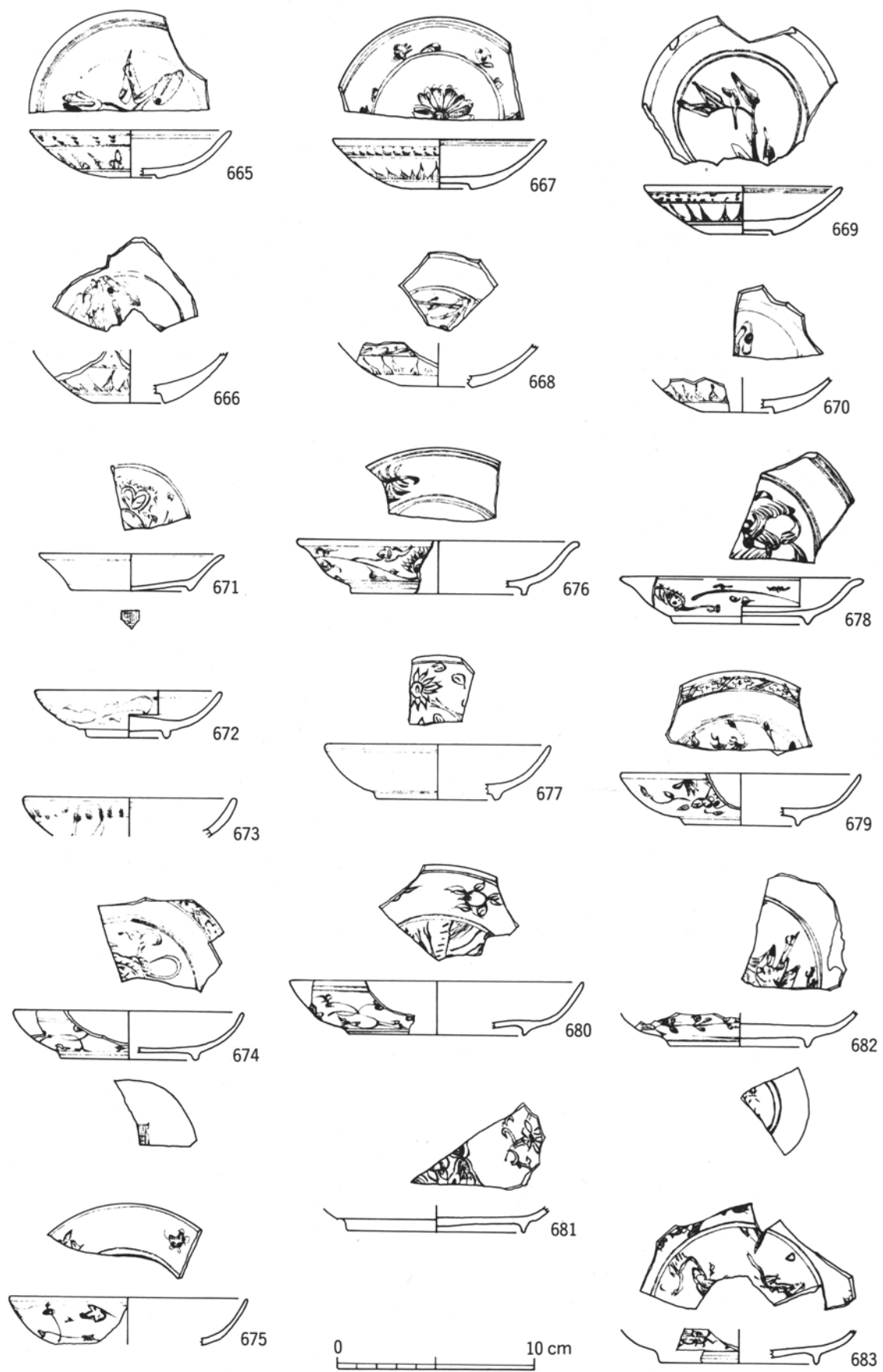
第 130 図 城下町期の遺物(43)

輸入陶磁器 青磁(4)



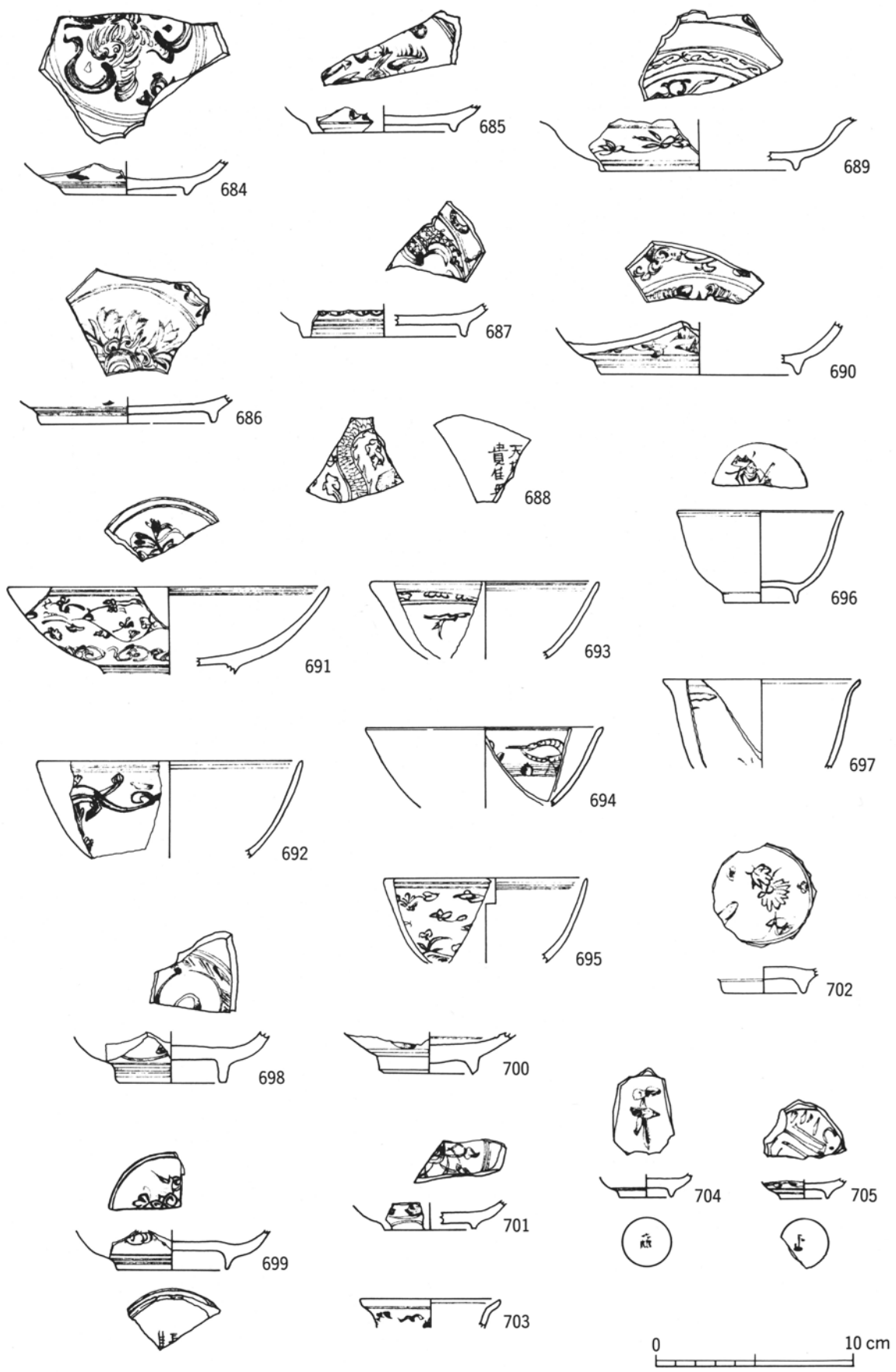
第131図 城下町期の遺物(4)

輸入陶磁器 青磁(5)・朝鮮陶器



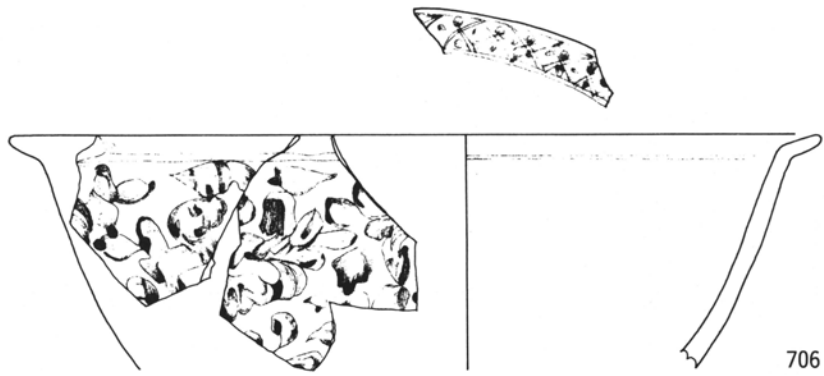
第132図 城下町期の遺物(45)

輸入陶磁器 青花(1)



第 133 図 城下町期の遺物(46)

輸入陶磁器 青花(2)



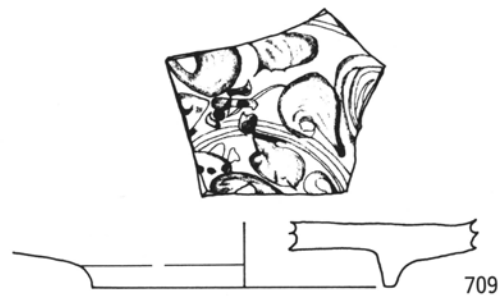
706



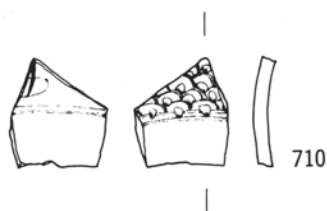
707



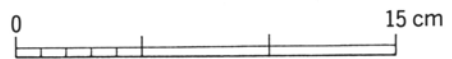
708



709



710



第 134 図 城下町期の遺物(47)

輸入陶磁器 青花(3)

第5節 朝日村期の土器・陶磁器

朝日村期の出土遺物の大部分は陶磁器類であるが、大半は瀬戸美濃窯産の陶磁器であり、肥前窯産の磁器と常滑窯産の陶器、土師質の皿、鍋が一定量出土している。中国・朝鮮などから招来した輸入陶磁器はほとんど出土しなかった。陶磁器類は椀、皿、鉢などの日常雑器が中心で、名古屋城三の丸遺跡の様相とは若干異なる一括資料である。土師質の皿は城下町期に比べると少量で、鍋は焙烙鍋が主体となる。時期的には、清須城下町が名古屋に移転した直後から遺物は出土しており、17世紀から19世紀までの年代幅の広い様相を呈している。

なお、朝日村期の遺構は中世・城下町期の遺構や包含層を破壊して掘削され、埋められている。従って、このことによって混入した城下町期以前の遺物は除外して記述を進めたい。

S K 375 (第135図711～734) 瀬戸美濃窯産および常滑窯産の陶器、肥前窯産の磁器が出土した。瀬戸美濃窯産の陶器には、腰鍔茶椀、天目茶椀、灰釉丸椀、灰釉皿、御深井皿、笠原鉢、播鉢などがある。腰鍔茶椀(713)と灰釉丸椀(714)は18世紀末に属する。常滑窯産の遺物には火鉢(726、727)がある。肥前の磁器椀は19世紀に属するものがある。17世紀から19世紀までと年代幅の広い遺物群である。

S D 49 (第136～140図735～824) 瀬戸美濃窯産の陶器、肥前窯産の磁器、土師質の鍋、皿が出土した。

瀬戸美濃窯産の陶器は椀、皿、鉢、播鉢の他、香炉、煙硝播などの器種も存在する。椀は灰釉丸椀(753、754)、腰鍔茶椀(757、758)、鎧茶椀(770)、御室茶椀(756)、尾呂茶椀(766～768)と呼ばれるものがあり、18世紀に位置付けられる。18世紀代の灰釉小椀もある。皿は灰釉皿(773～777)、灯明皿(786～791)、摺絵皿(778～783)があり、椀と同様の年代が付与できる。鉢は黄瀬戸鉢、大平鉢、笠原鉢、片口鉢が存在し、椀・皿に比べると若干古い年代が与えられよう。

肥前窯産の磁器には椀(817～822)、皿(824)、仏飯具(823)が認められ、18世紀前後に位置付けられる。磁器は出土量はそれ程多くないようである。

土師質の鍋は焙烙鍋(808、809)が主体となる。口縁部がやや外に開き、口縁端部が若干凹むものである。土師質の皿(810～816)はロクロ成形のもので体部が直線的に開くものである。

S D 11 (第141図825～840) 瀬戸美濃窯産の尾呂茶椀(825)、御室茶椀(826)、灰釉小杯(828、829)、灰釉丸皿(832)、菊皿(831)、水注(836)、香炉(837)、笠原鉢(838)、播鉢(839)と肥前産のくらわんか手の皿(835)、焙烙鍋(840)、土錘(841)が見られる。菊皿・水注・香炉・笠原鉢は17世紀後半、尾呂茶椀・御室茶椀は18世紀前半、くらわんか手の皿は18世紀後半に位置付けられる。

S K 305 (第142～147図841～916) 瀬戸美濃窯産、常滑窯産、肥前産の製品と土師質の製品が出土した。

陶器の器種としては椀、皿、鉢、播鉢、香炉、甕、壺、徳利、蓋、土瓶など多種多様なものが存在する。椀には、天目茶碗、灰釉丸椀(京焼風も含む)、尾呂茶椀、御室茶椀、柳茶椀、

筒型椀が見られる。呉須で梅文を描いた丸椀（869）や柳茶椀は19世紀に属する。皿には志野丸皿、灰釉丸皿、輪髡皿、鉢には餌鉢、捏鉢、火鉢などがある。徳利は2方向または4方向に凹みを有する鉄釉を掛けた製品である。また、上半に灰釉・下半に鉄釉を掛け分けた腰鍔の爛徳利（896）もある。

磁器には呉須絵を施した染付椀と染付皿がある。染付皿は輪髡の丸皿（905）である。

常滑窯産の製品には甕と火鉢と思われる足付の鉢（912）がある。甕の口縁部は波状口縁になるもの（911）と、ならないものがある。

土師質の製品には鍋、皿、人形が見られ、鍋は焙烙鍋と口縁部の吊手が上に盛り上がる三足？の鍋（915）がある。人形には猫（907）と人物（908）をモチーフにしたものがある。

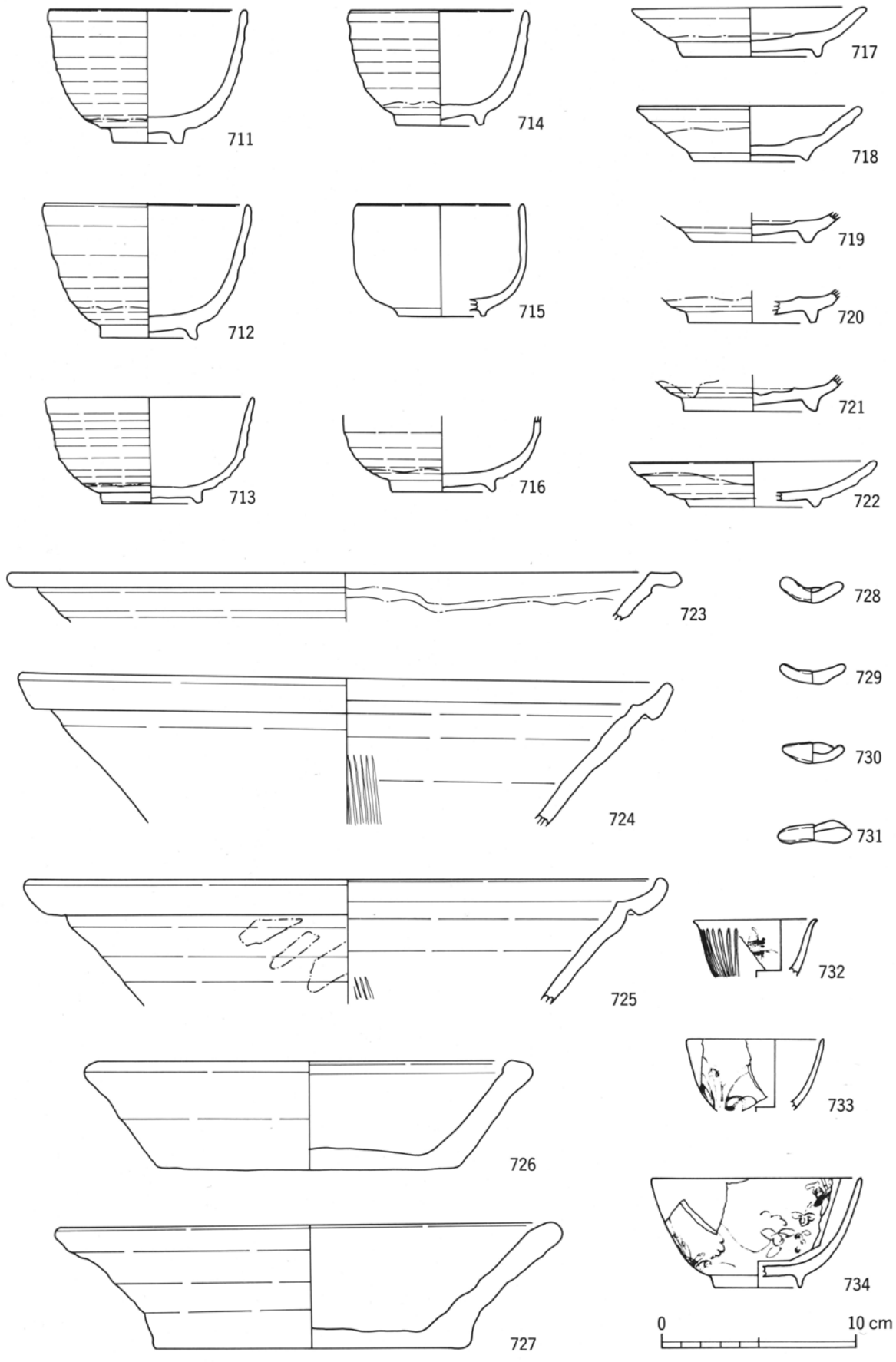
S K 139 （第148～154図917～984）陶磁器類は瀬戸美濃窯産の陶器、磁器、肥前産の磁器が出土しており、器種は椀、皿、鉢、甕、壺、徳利、蓋、土瓶など多種多様である。

椀は広東茶椀、丸椀、筒型椀、端反小椀などがある。広東茶椀（925～932）は呉須を施した瀬戸美濃窯産の染付で見込みに五弁花がある。19世紀第1から第3四半期までに属するものである。丸椀は呉須絵の丸椀と上絵付の丸椀があり、瀬戸美濃窯の製品である。肥前磁器を丸椀には、文様を釘彫りの後に呉須を施したものがあり、破面にガラス継ぎの痕跡が残存している。端反小椀・小椀は肥前磁器で、幕末の時期である。

皿は瀬戸美濃の呉須絵丸皿と鉄絵輪髡皿がある。呉須絵丸皿はくらわんか写しのもので、18世紀末から19世紀第1四半期に位置付けられる。磁器の紅皿は19世紀と考えられる。

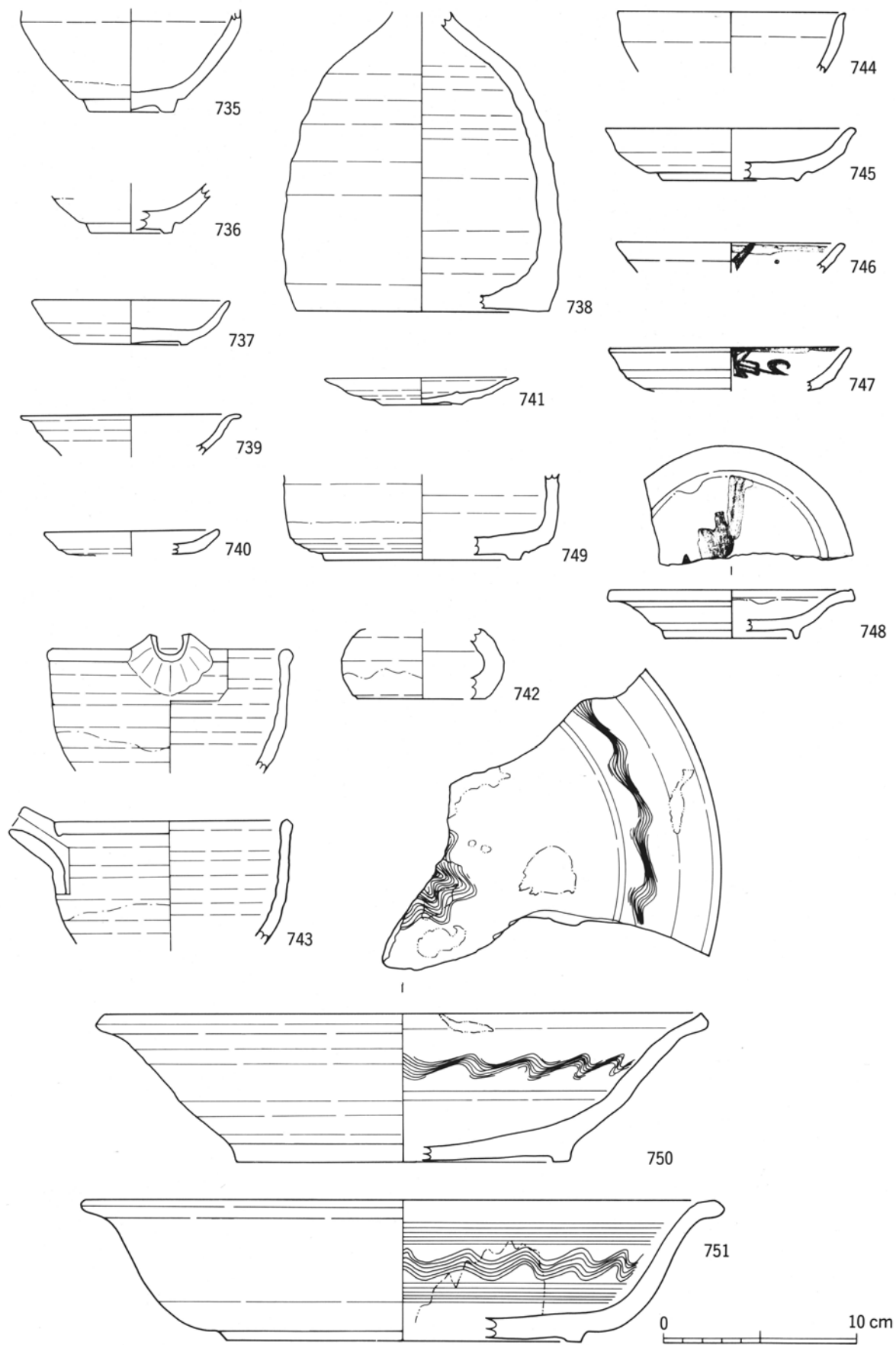
折縁鉢、片口捏鉢、徳利、瓶掛けなどは19世紀に所属する。959は半胴甕と考えられる鉄釉の甕で底部に「十一月十日 た□」と墨書で記されている。把手付餌入れ（960）の底部にも墨書が確認できる。甕類は幕末の時期と思われる。また蚊いぶしや七輪も存在する。

（鈴木正貴・小澤一弘）



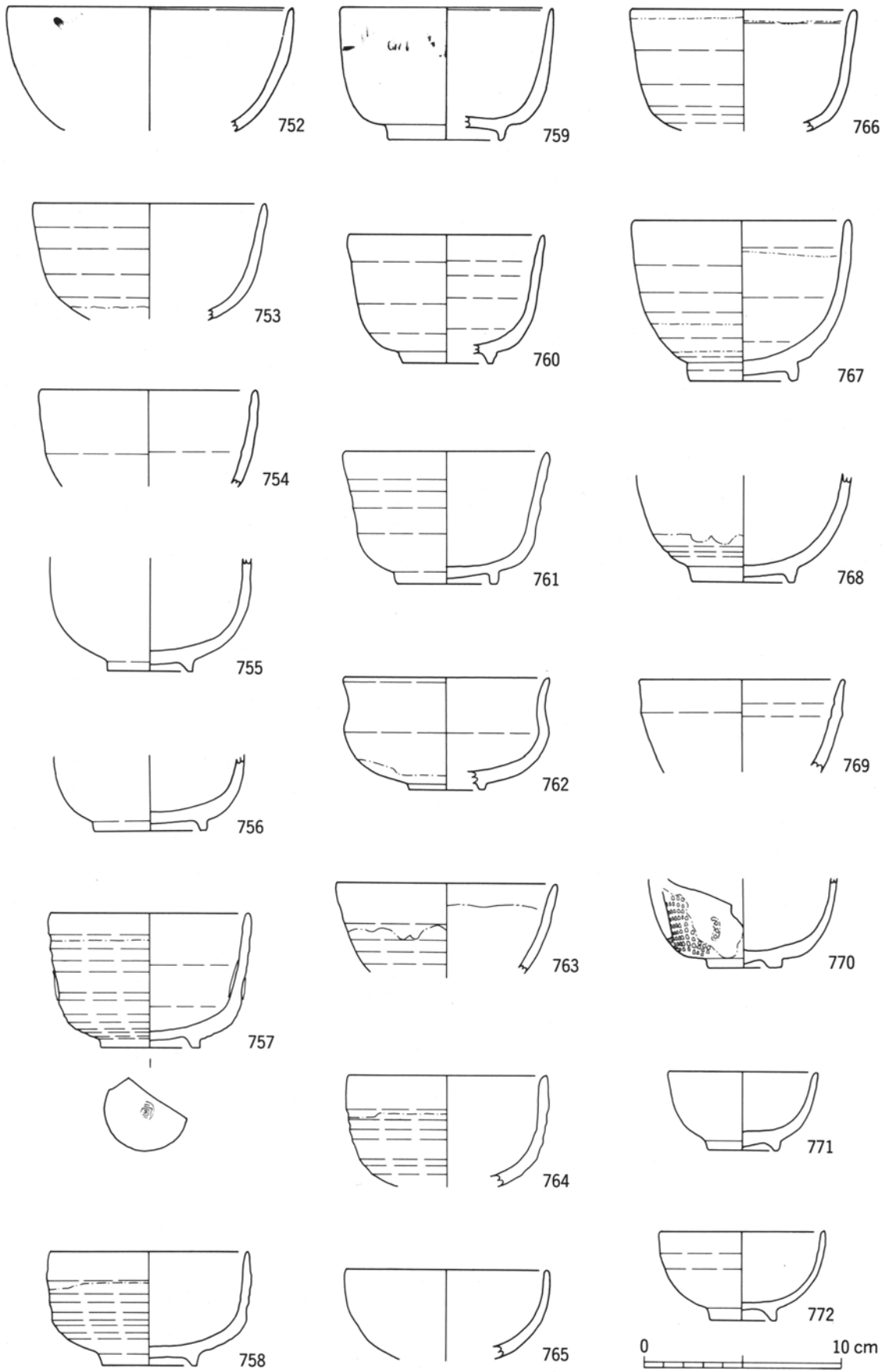
第 135 図 朝日村期の遺物(1)

SK 375



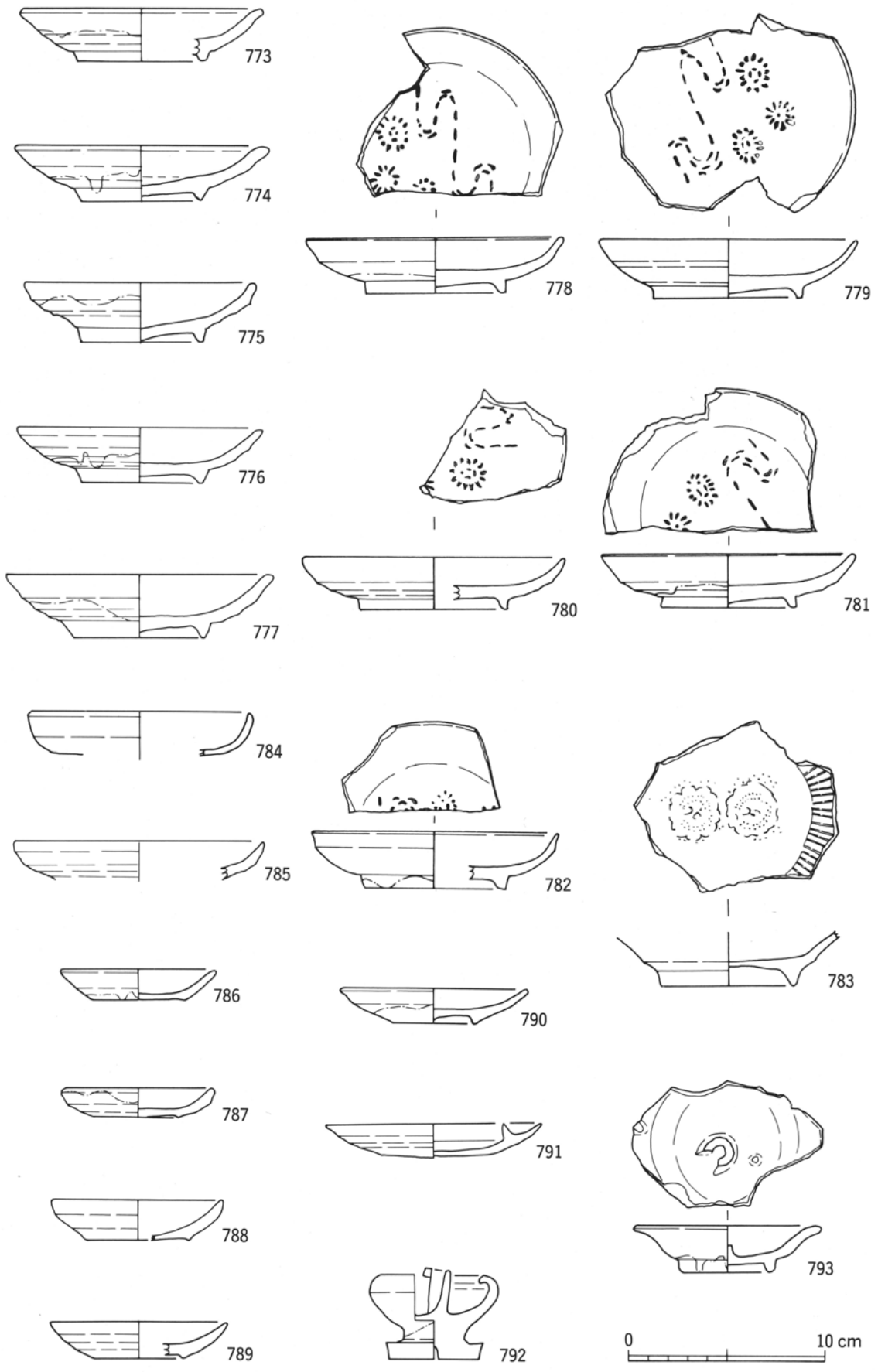
第 136 図 朝日村期の遺物(2)

SD 49 (1)



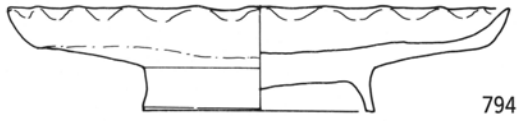
第 137 図 朝日村期の遺物(3)

SD49 (2)

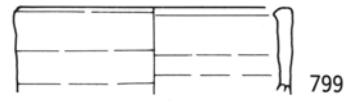


第 138 図 朝日村期の遺物(4)

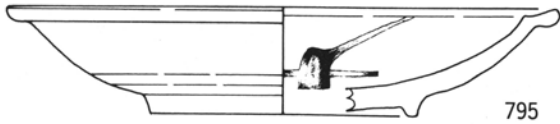
SD49 (3)



794



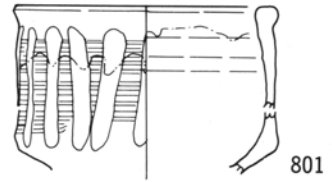
799



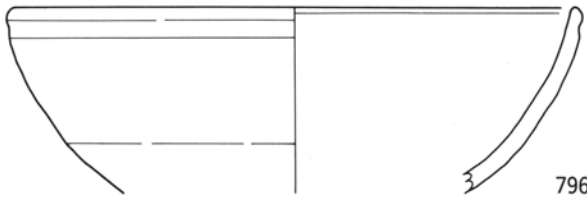
795



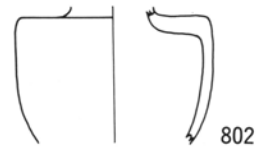
800



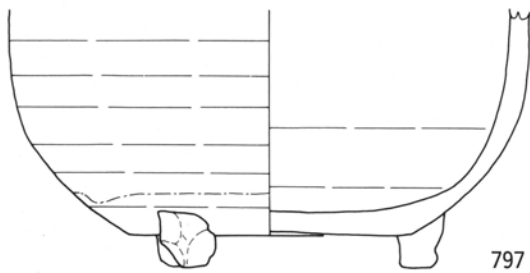
801



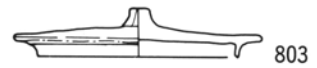
796



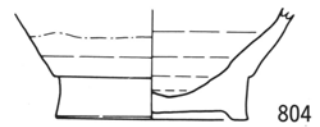
802



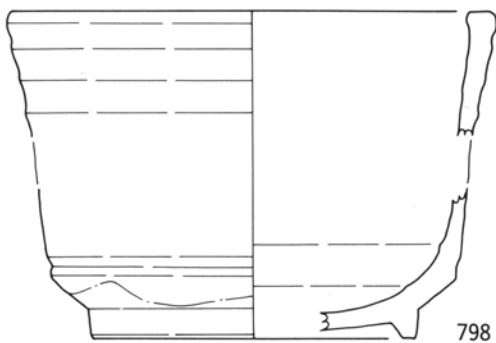
797



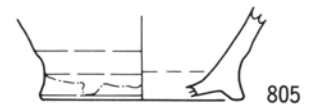
803



804



798

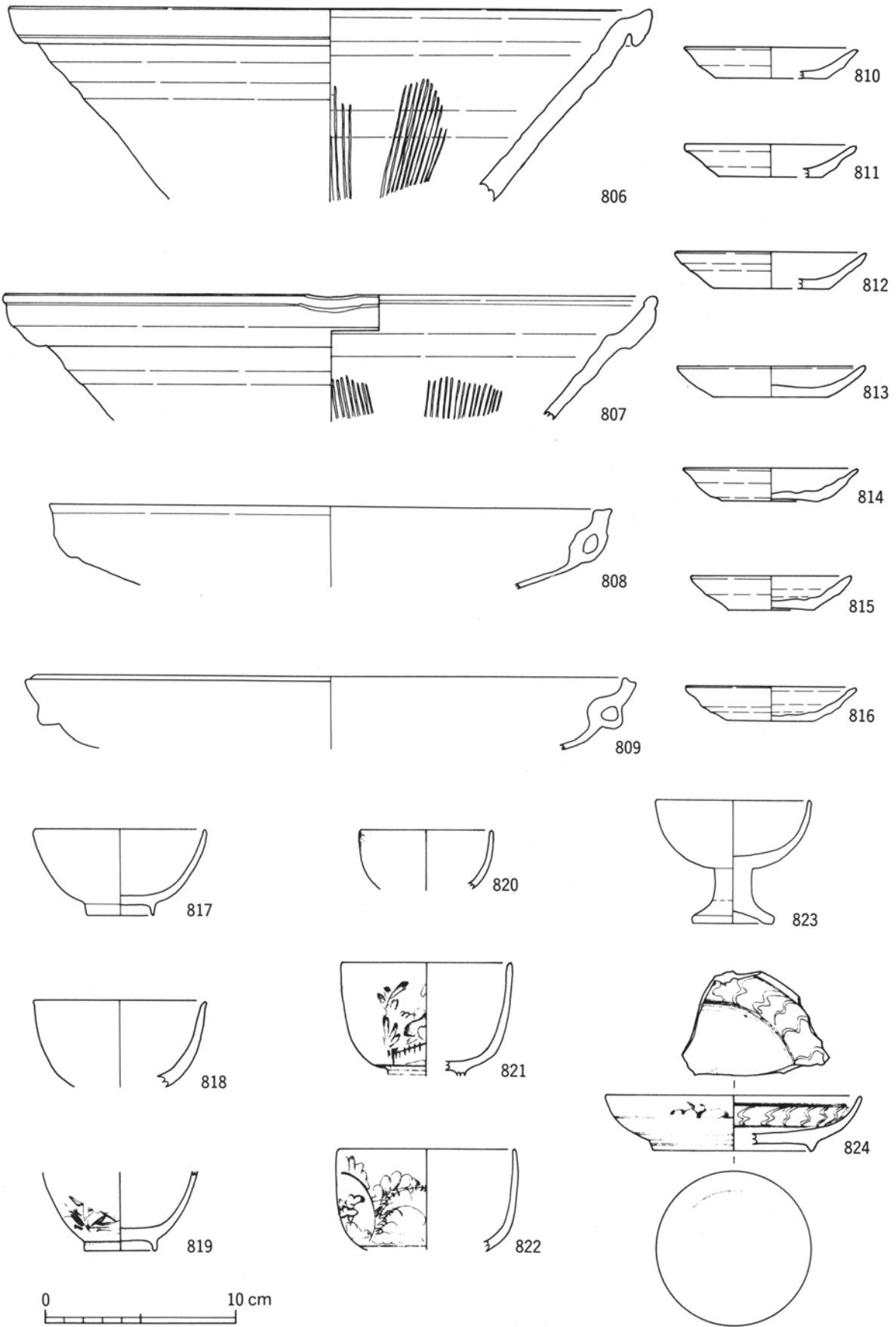


805



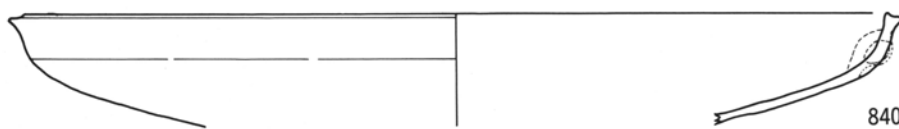
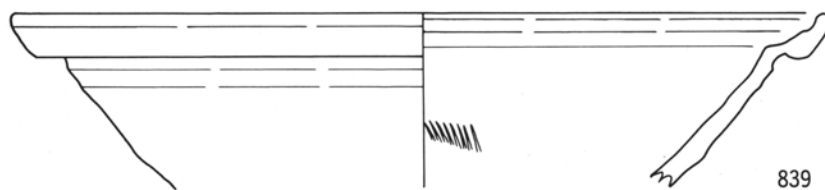
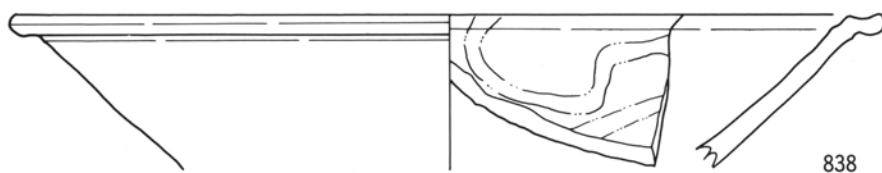
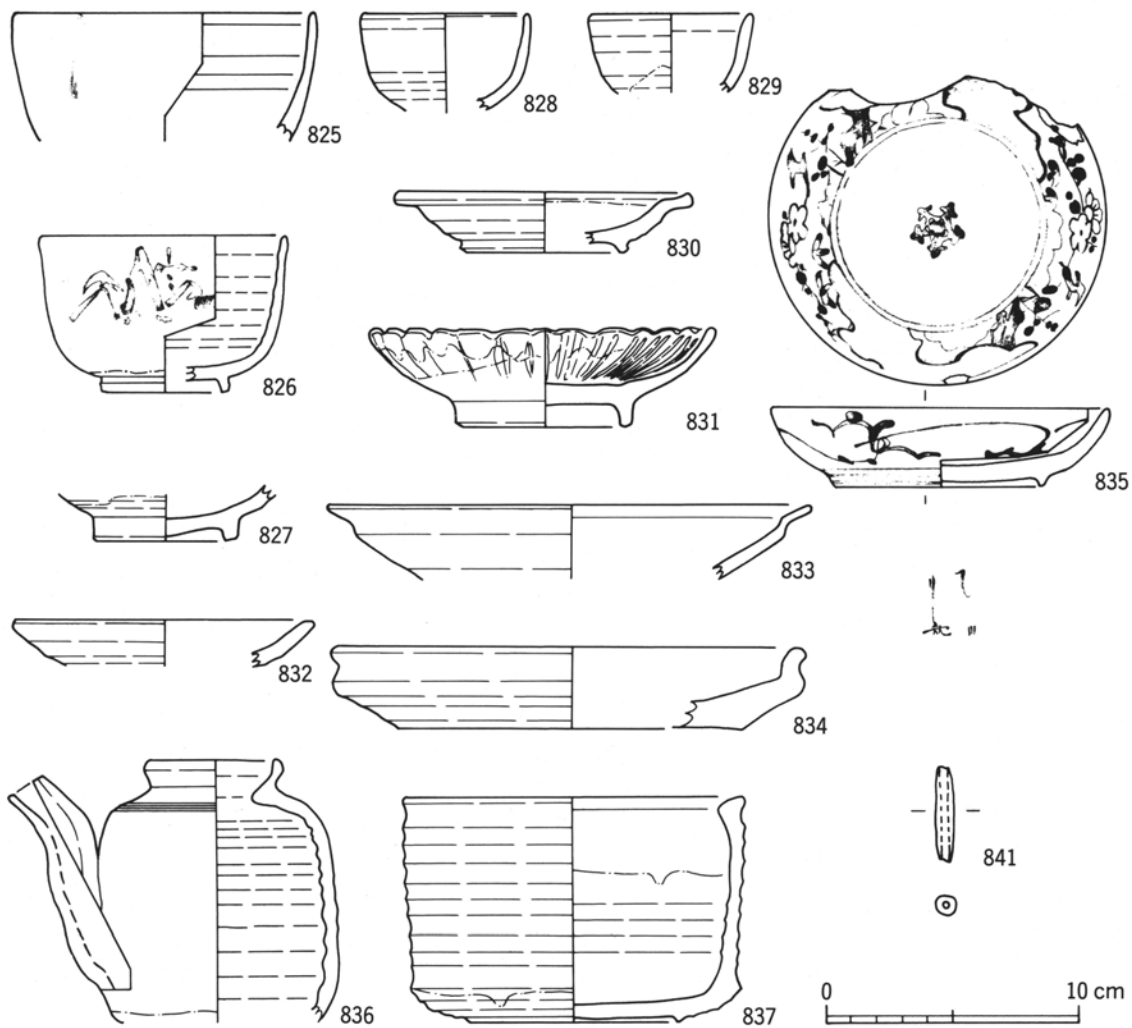
SD 49 (4)

第 139 図 朝日村期の遺物(5)



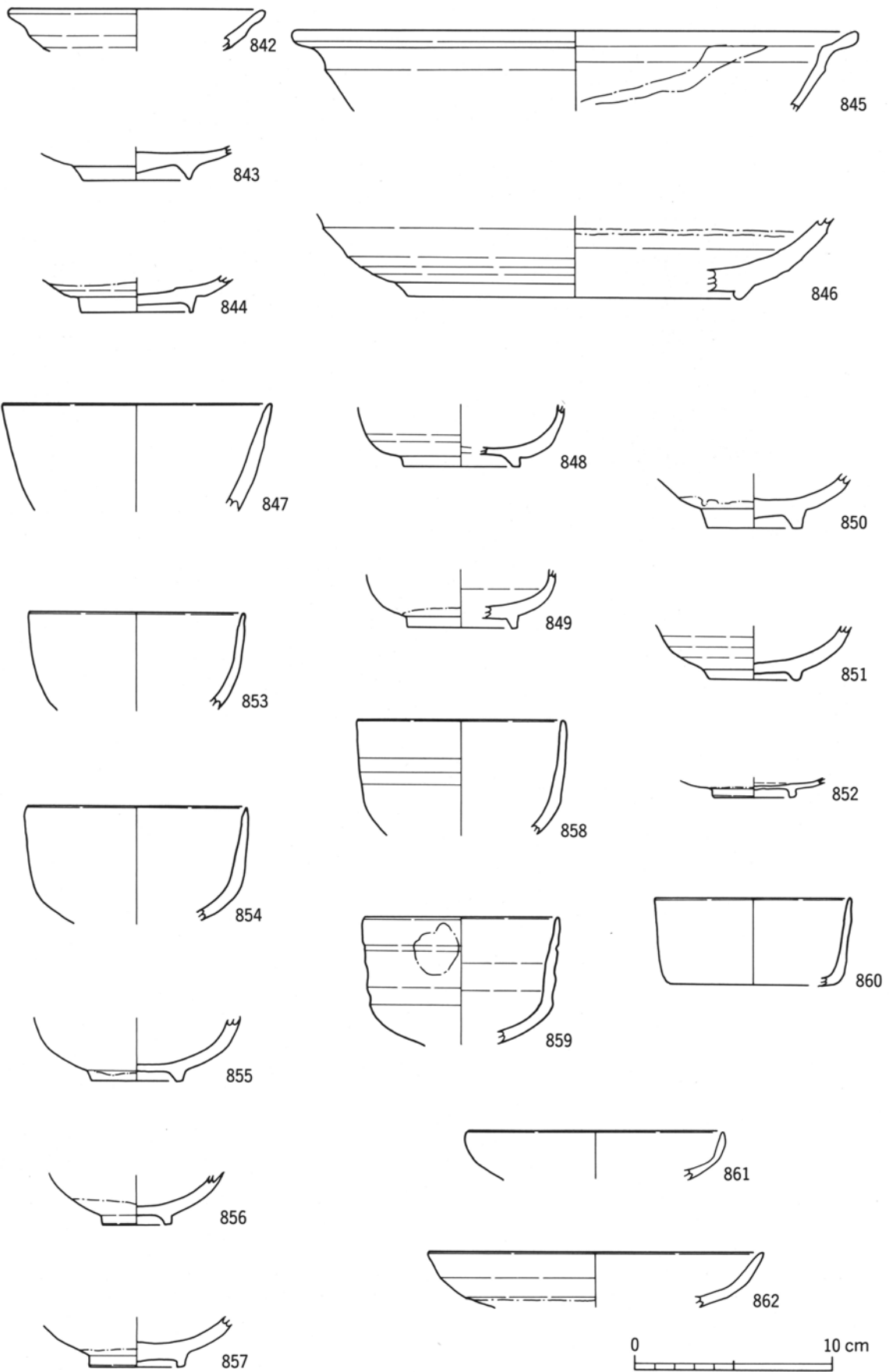
第 140 図 朝日村期の遺物(6)

SD 49 (5)



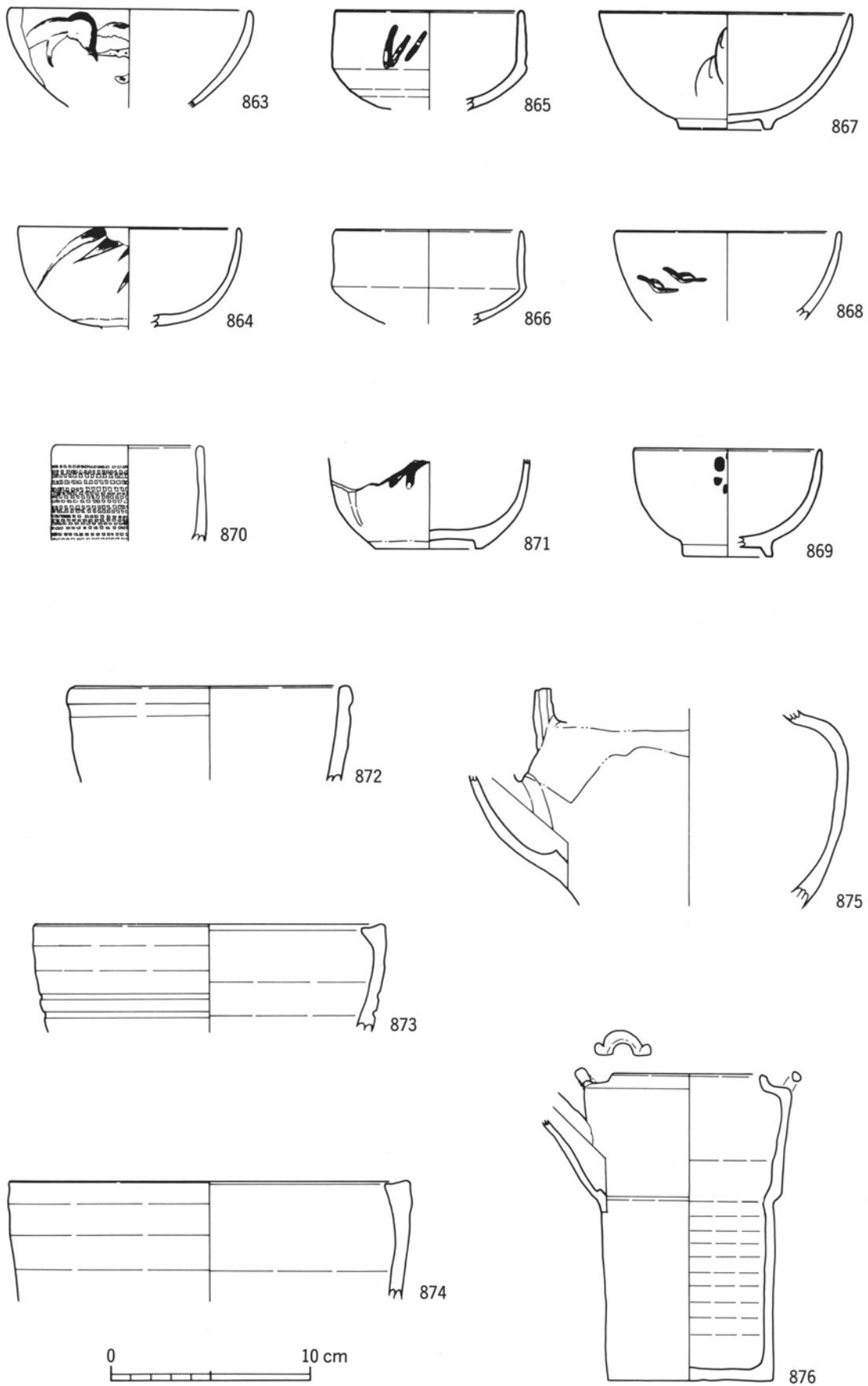
第 141 図 朝日村期の遺物(7)

SD 11



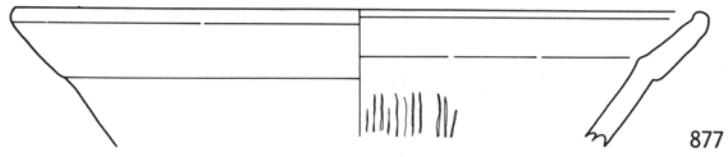
第 142 図 朝日村期の遺物(8)

SK 305 (1)

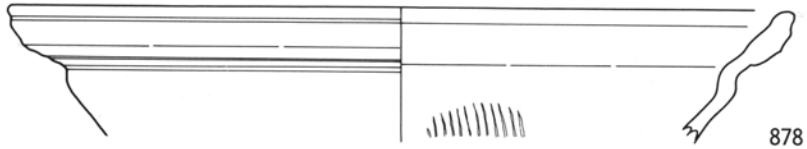


第 143 図 朝日村期の遺物(9)

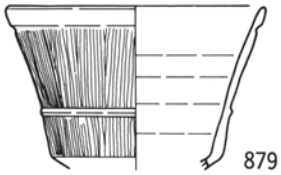
SK 305 (2)



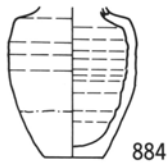
877



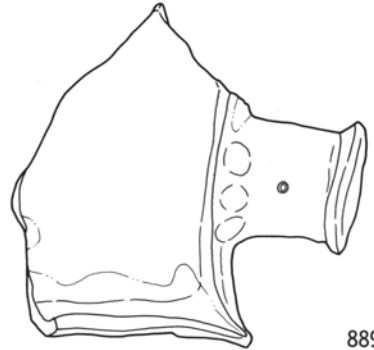
878



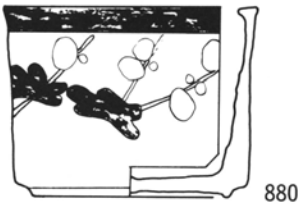
879



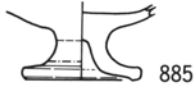
884



889



880



885



886



881



887



882



890



892



891



883

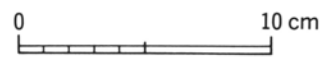
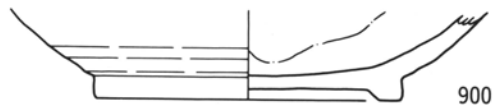
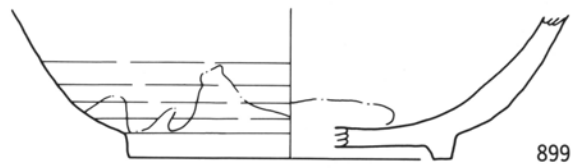
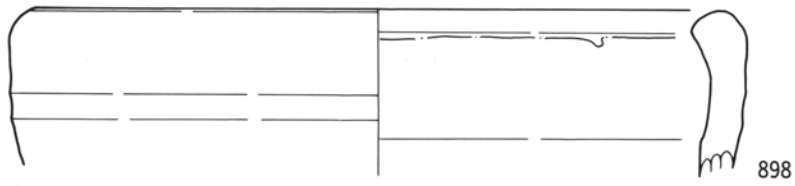
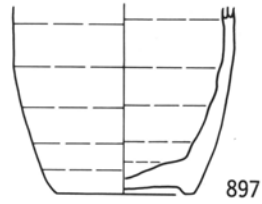
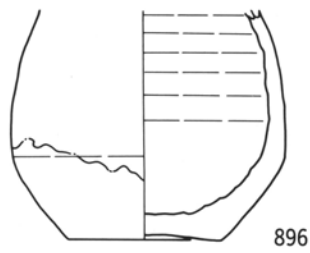
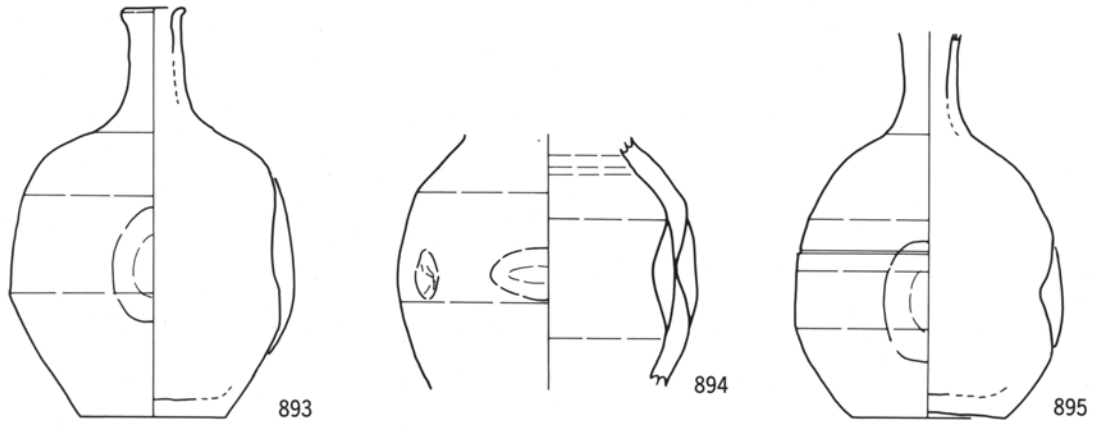


888



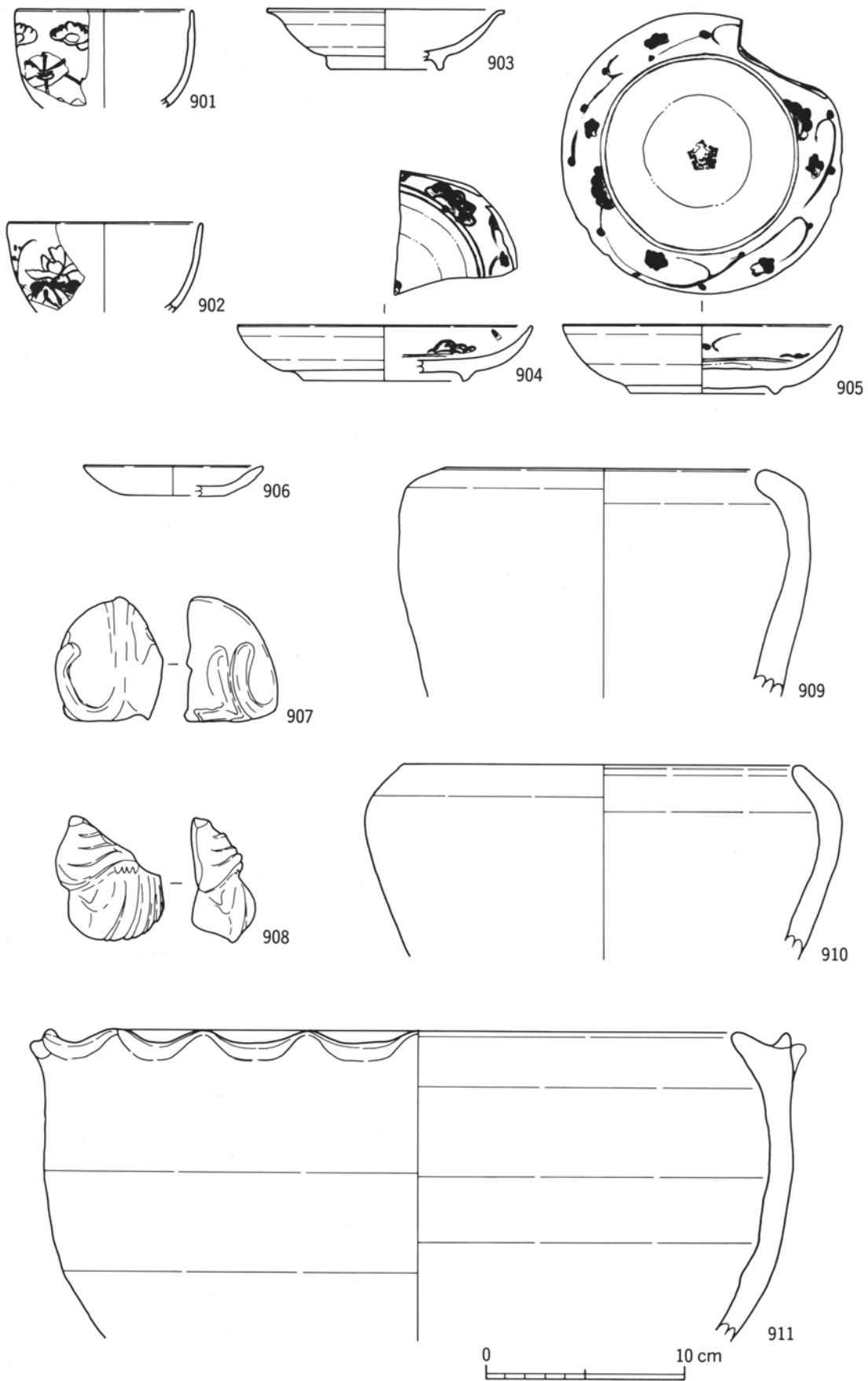
SK 305 (3)

第 144 図 朝日村期の遺物(10)



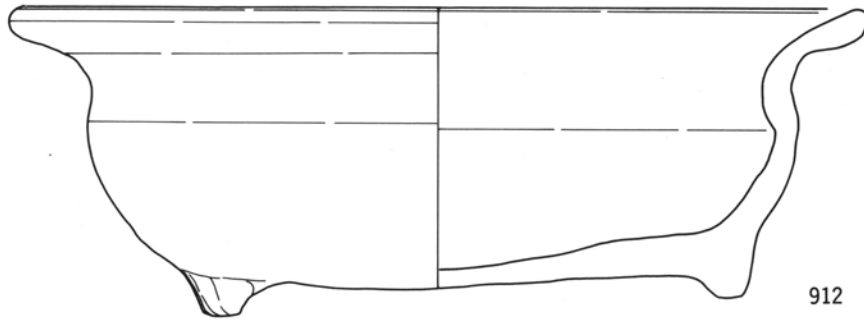
第145図 朝日村期の遺物(11)

SK 305(4)

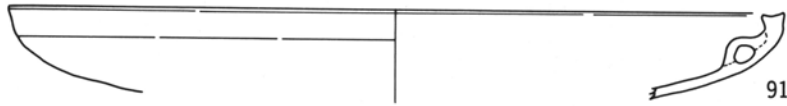


第 146 図 朝日村期の遺物(12)

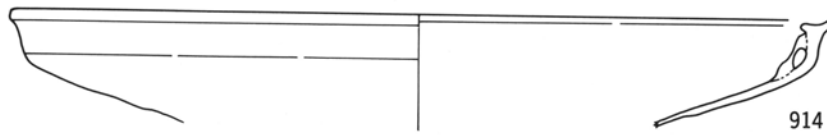
SK 305 (5)



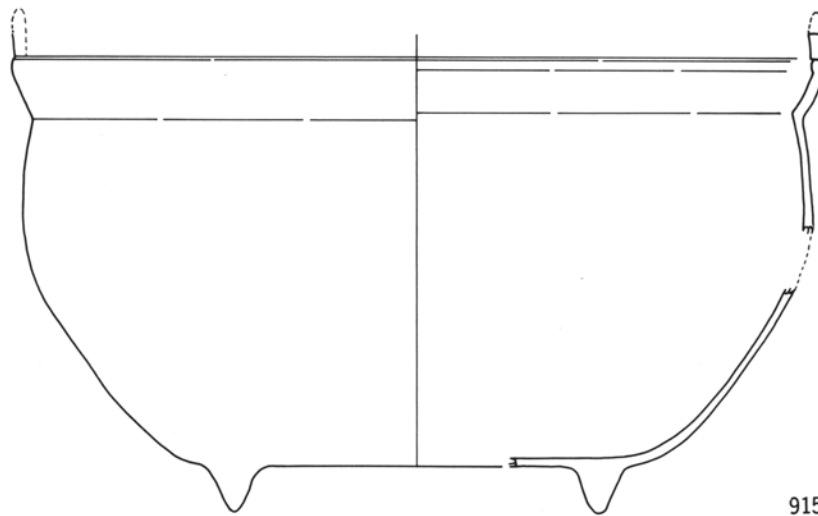
912



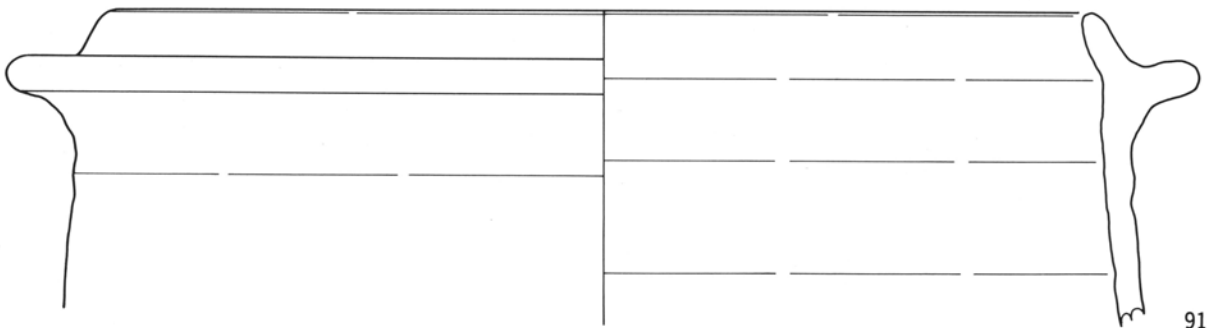
913



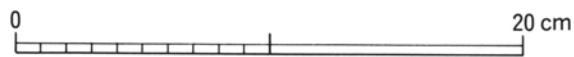
914



915

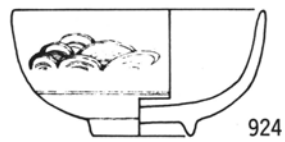
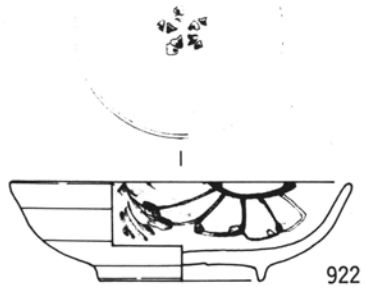
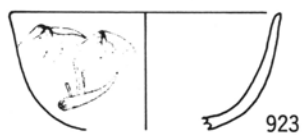
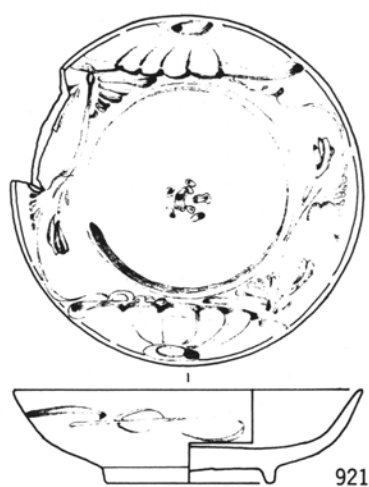
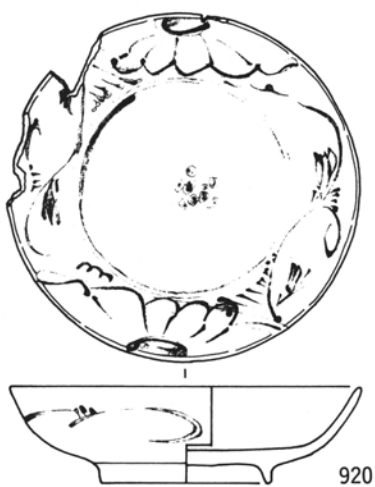
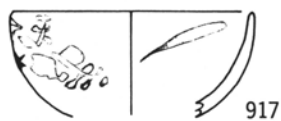


916



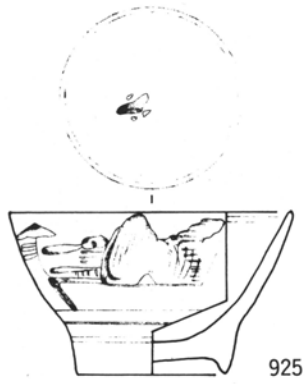
第 147 図 朝日村期の遺物(13)

SK 305 (6)

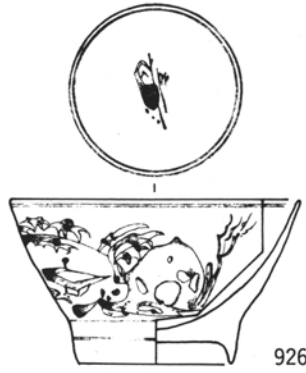


第148図 朝日村期の遺物(14)

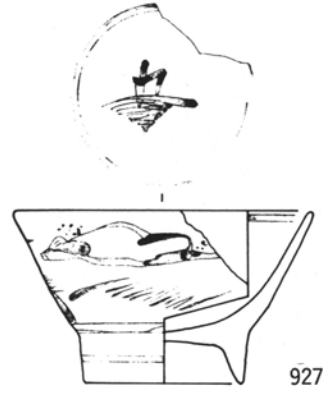
SK 139(1)



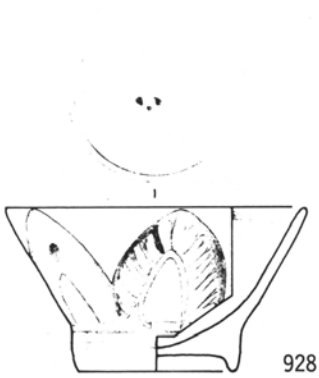
925



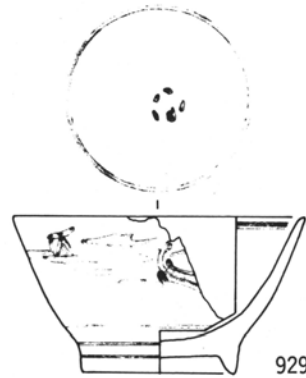
926



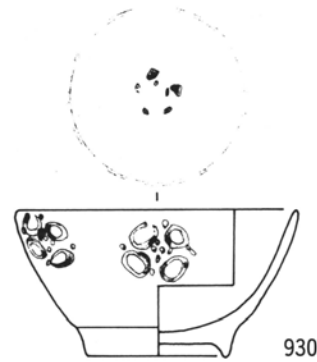
927



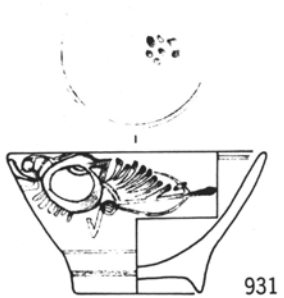
928



929



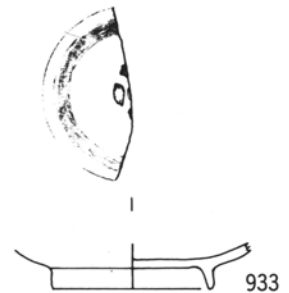
930



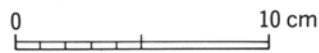
931



932

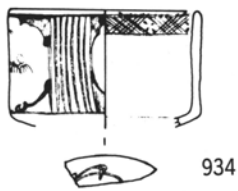


933

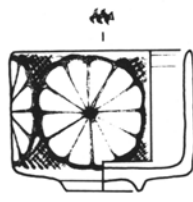


第 149 図 朝日村期の遺物(15)

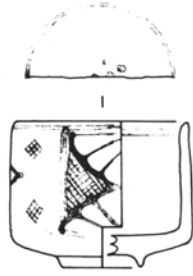
SK 139 (2)



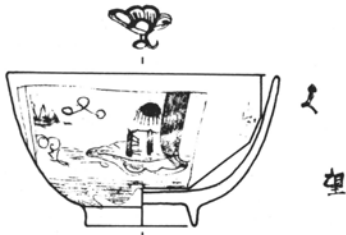
934



935



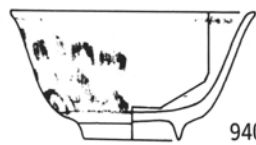
936



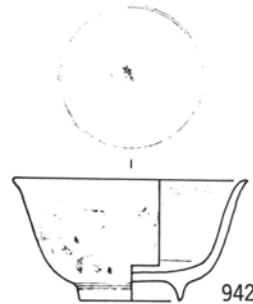
937



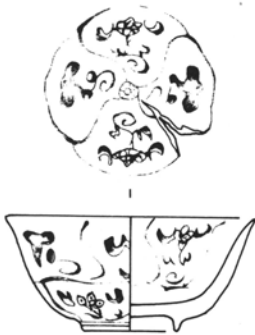
938



940



942



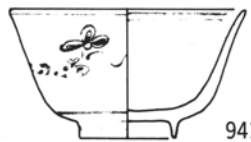
939



943



945



941

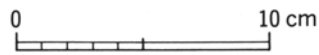
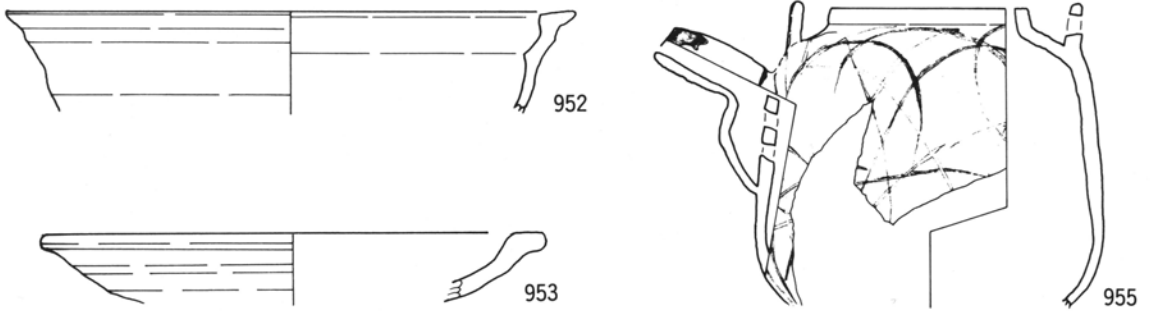
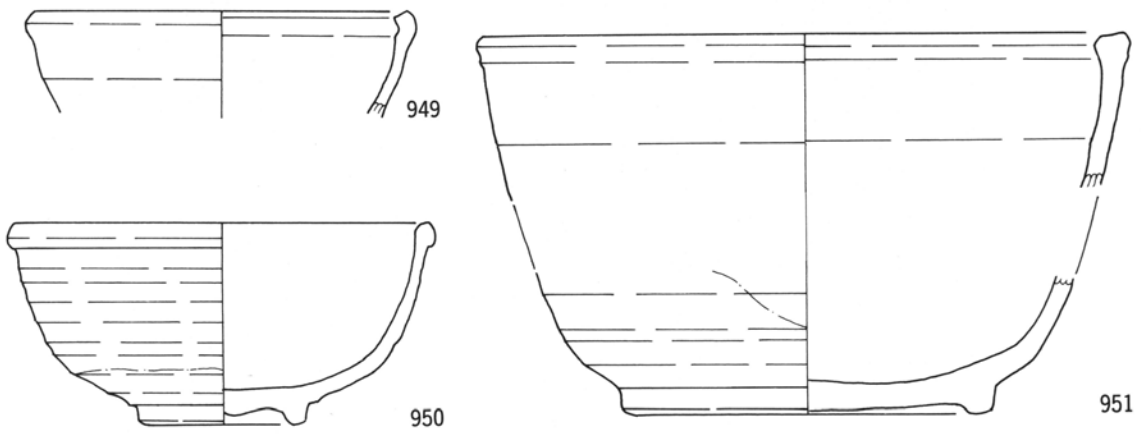
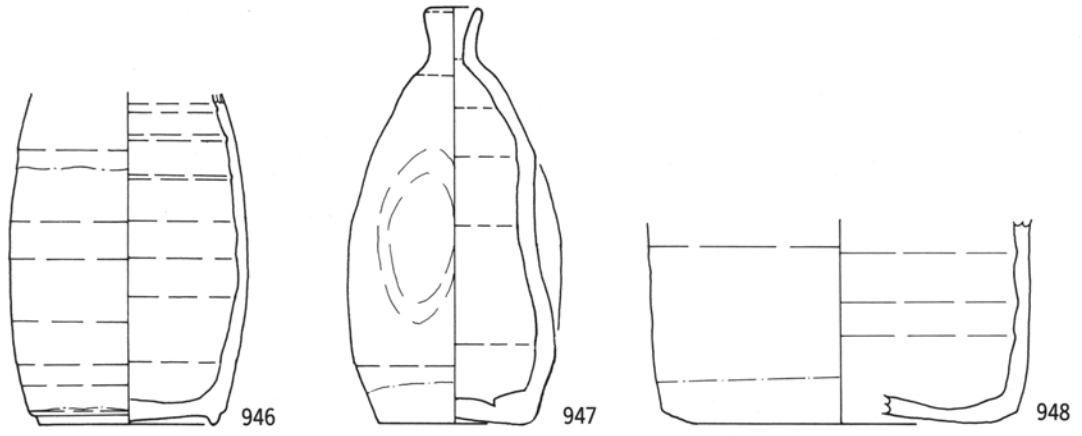


944



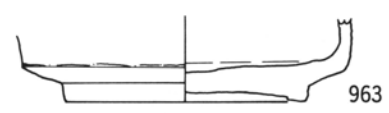
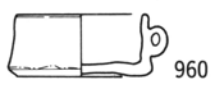
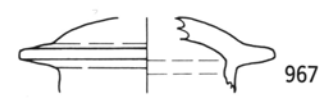
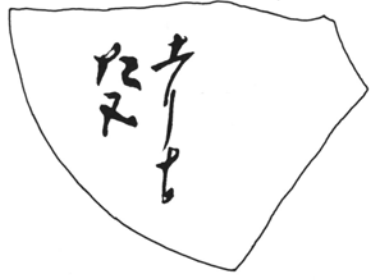
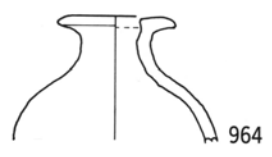
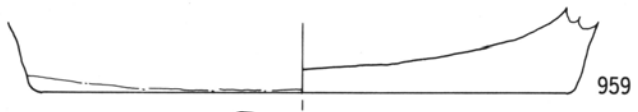
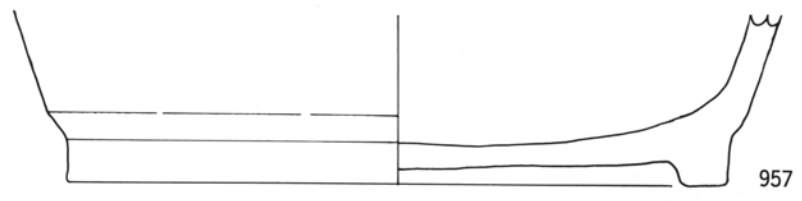
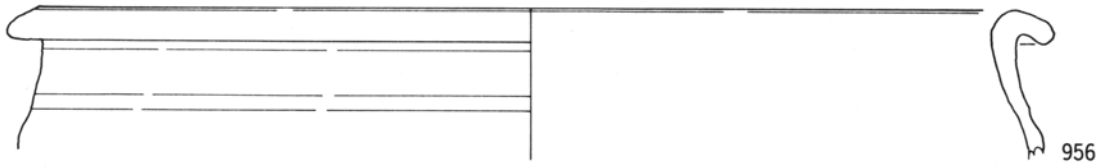
第 150 図 朝日村期の遺物(16)

SK 139 (3)



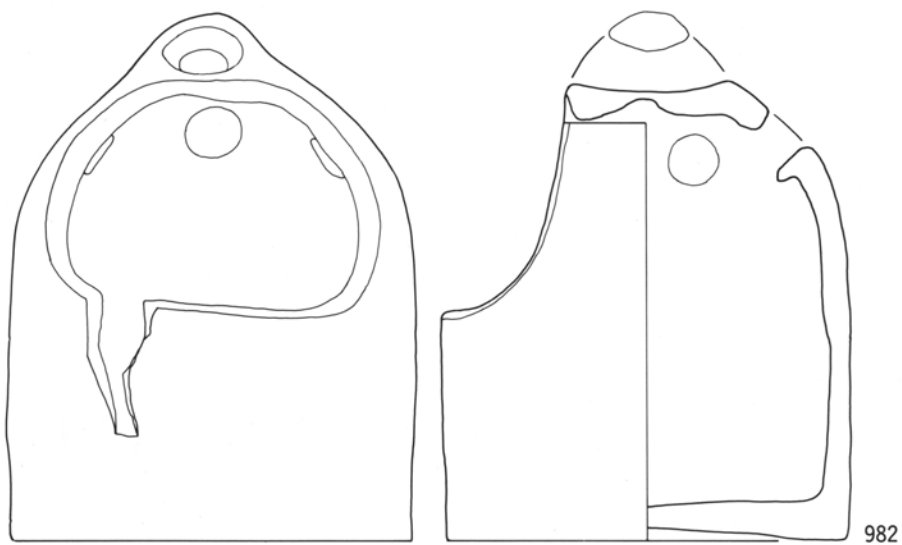
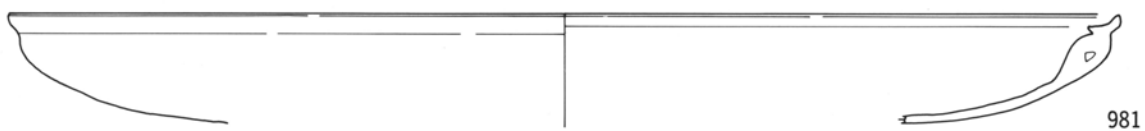
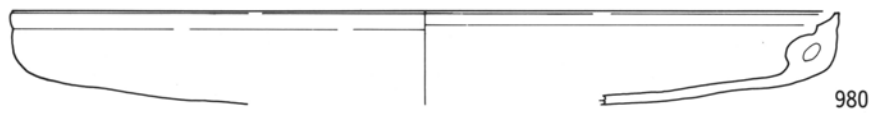
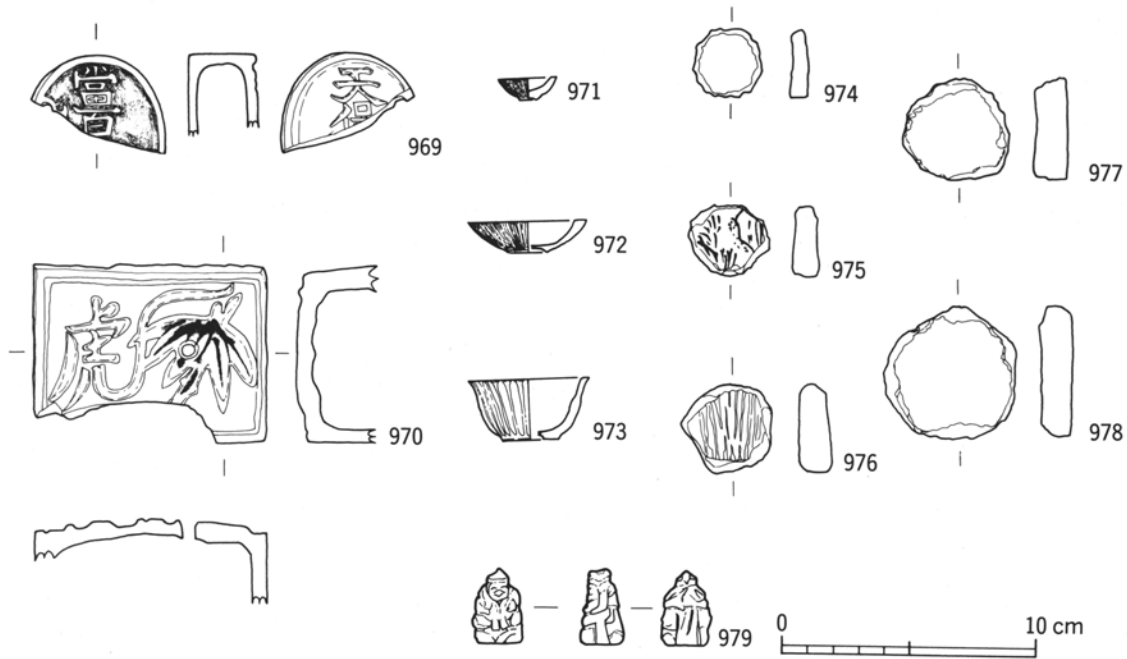
第 151 図 朝日村期の遺物(17)

SK 139 (4)



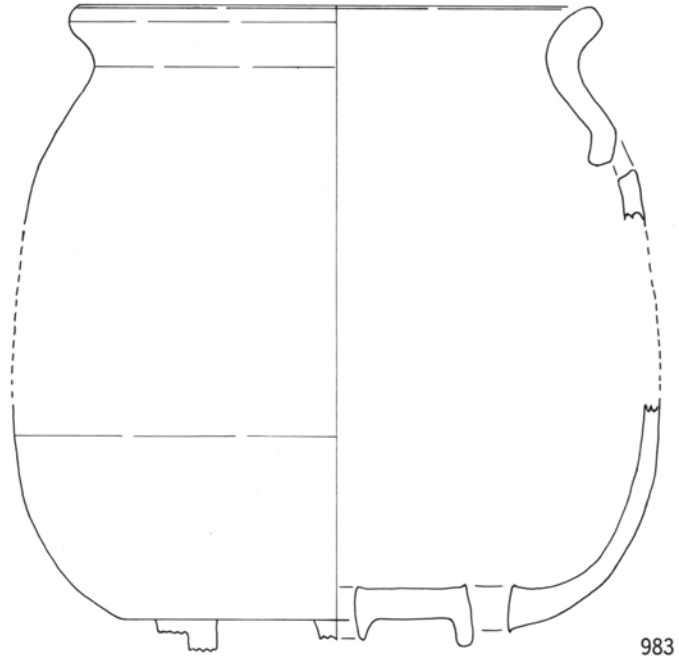
第152図 朝日村期の遺物(18)

SK 139 (5)

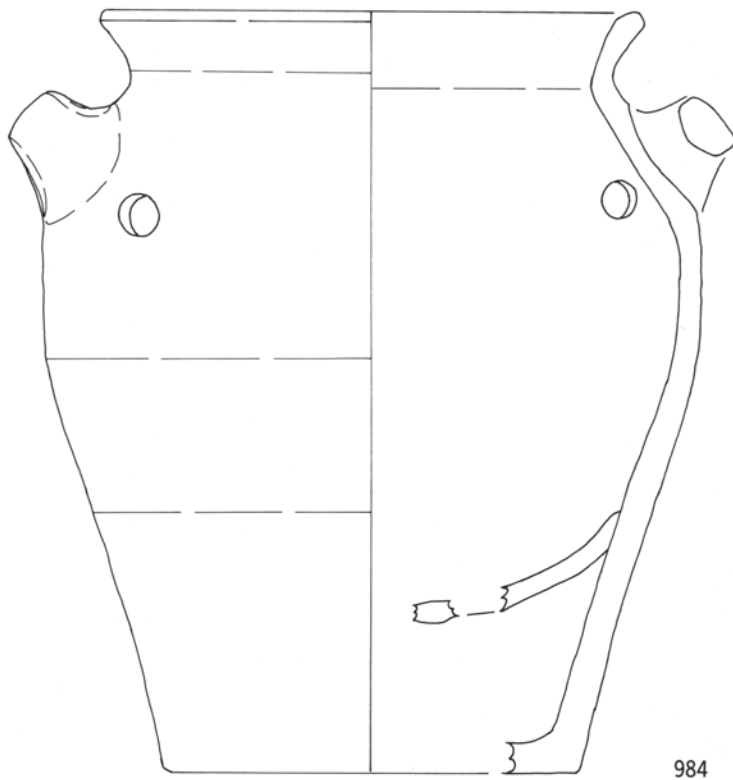


第 153 図 朝日村期の遺物(19)

SK 139 (6)



983

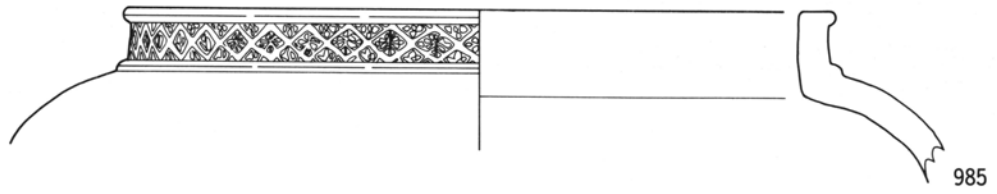


984



第 154 図 朝日村期の遺物(20)

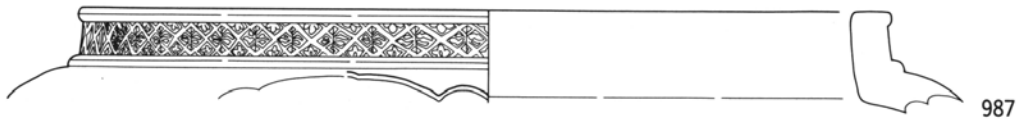
SK 139 (7)



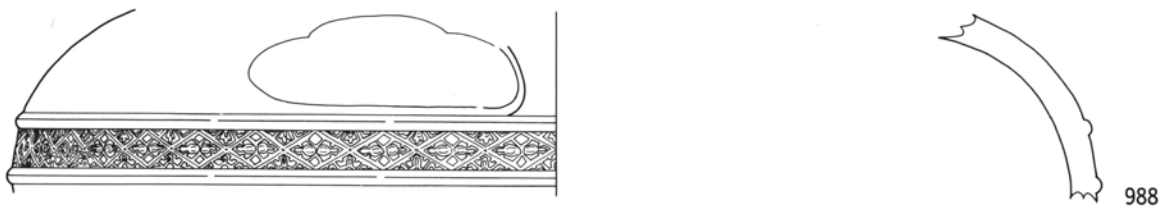
985



986



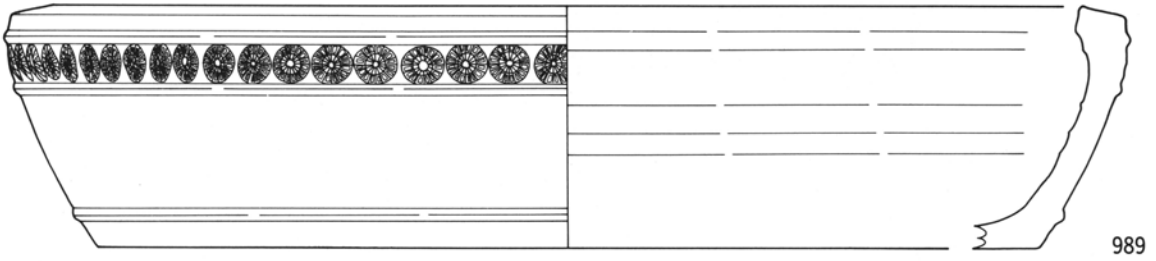
987



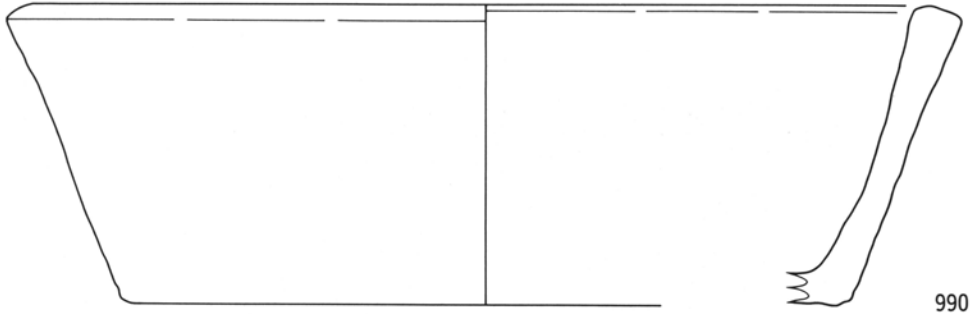
988



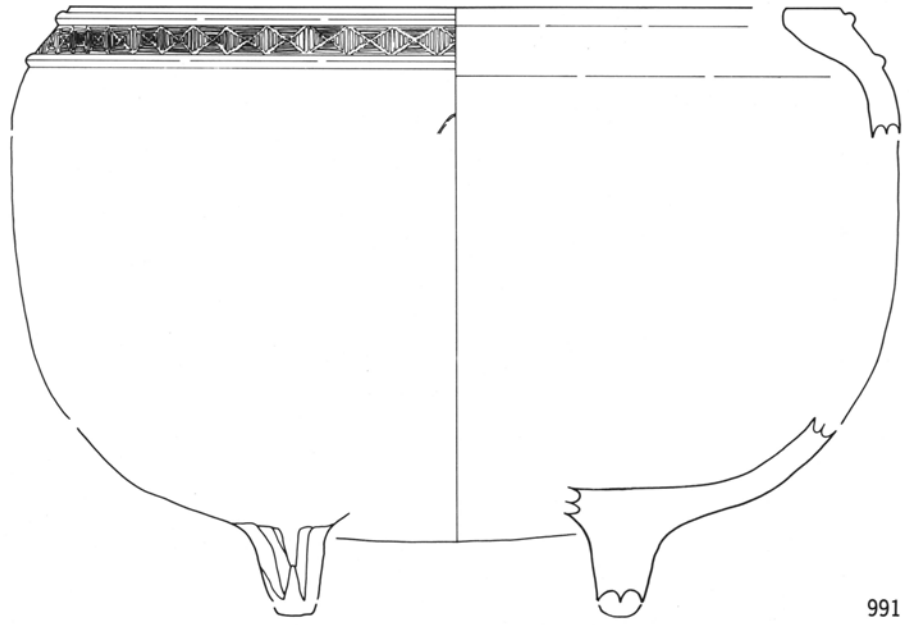
第 155 図 瓦質製品(1)



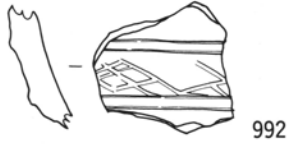
989



990



991



992



993



第 156 図 瓦質製品(2)

第6節 木製品

木製品はS D177などの深く掘り込まれた遺構から出土した。漆器・曲物桶・結桶・折敷・下駄などがある。本節では、遺構毎にその資料を紹介し、記述に当たっては器種に分けて行うことにする。

S D177 (第157～165図1～146)

S D177から出土した木製品には、漆器・曲物桶・結桶・折敷・下駄・木筒・建築部材などがある。生活用具類を主体とした遺物群と、位牌・柿経などの供養関連の遺物群との2者が混在する一括資料である。

漆器 漆器類はその器形から高台が高い椀A類(1～6)、高台が低い椀B類(7～13)、皿類(14)、香合類(15・16)の4種類に大別できる。

椀A類 椀A類は高台裏の削りの深いもの(1・4)、口径がやや小さいもの(5・6)がある。

1・3は外面に赤色漆で紋様が施された痕跡が残存しているが、その紋様の内容は不明である。2は鶴紋・亀紋・蓬萊紋?を組み合わせた紋様が施されている。5は外面には鶴の紋様が2ヶ所に残存しており、3ヶ所に描かれたものと想定できる。2・4の高台裏には赤色漆で「一」字が記されている。

椀B類 椀B類は、内外面共に黒色漆が塗布された椀(7・8)、外面に黒色漆・内面に赤色漆が塗布された椀(9・10・12)、内外面共に赤色漆が塗布された椀(11・13)に分けられる。7は内外面に扇紋?、内面には雲紋のような紋様が描かれている。8は内外面に「丸に一」紋、10は外面に俵紋、12は外面に鶴紋・亀紋・蓬萊紋?を組み合わせた紋様がそれぞれ施されている。10の俵紋は3個程度描かれていると推定できる。11・13は底部外面は黒色漆が塗布されており、11は「下」、13は「平」の字が記されている。13の「平」の字の下には2個の点も記されている。

皿類 14は内外面共に赤色漆が塗布された皿類で、口縁部が欠損している。

香合類 15・16は共に筒型の容器で、15は口縁部に段差が存在する身、16は彫漆屈輪文香合蓋で赤色漆が塗布されている。

曲物桶 曲物桶は法量から、口径約20cmのもの(21・22)、口径約12cmのもの(17～20・23～26)、口径約6cmのもの(28～33)の3種類に分類できる。また、柄が取り付けられた柄杓(17・19・27)と柄が存在しない一般の曲物桶(18・20～23・28)の2者にも区分できる。ただし、一般の曲物桶の中には、側板の上端部及び下端部が欠損してその痕跡が確認できない場合も含まれていることに注意しなければならない。なお、側板・底板共に柁目板を使用して製作されている。

17は上半部が欠損した曲物桶の側板である。側板は二重巻で桜皮による縫い合わせは広い間隔で行われている。側板の一部に柄杓の柄が差し込まれた孔が穿たれており、桜皮を孔の周囲にハの字状に縫い合わせて側板を補強している。おそらく側板上半部には柄杓の柄が挿入された方形の孔があったと思われる。側板と底板の接合は3ヶ所で、桜皮で縫い合わせて行っている。18は口径13.4cm、器高約7.8cmの曲物桶で側板は一重巻である。側板の綴じ合わせは約5mmという狭い間隔で縫い合わせており、側板と底板の接合は竹釘によって7ヶ所で行われている。側板の内面

に板を曲げるための縦方向の傷が無数に施されている。19は柄の上部が欠損した柄杓である。側板は二重巻で、綴じ合わせは広い間隔で行われている。綴じ合わせ部のすぐ横に柄杓の柄が挿入された方形の孔が存在し、綴じ合わせ部の反対側の下方にも円形の孔が開けられ、ハの字状に桜皮を縫って補強している。20は口径13.6cm、器高6.5cmを測る曲物桶で側板は二重巻である。側板の綴じ合わせは8mm以上の間隔で桜皮を縫い合わせており、側板の先端（綴じ合わせ部）は幅を狭く加工している。側板と底板の接合は4ヶ所で、桜皮を用いて行われている。21は口径24.0cm、器高7.0cmの曲物桶で、側板は一重巻である。側板の綴じ合わせは5mm以下という狭い間隔で桜皮を縫い合わせており、側板と底板の接合は竹釘によって5ヶ所で行われている。底板には十字状の配置で4ヶ所に孔が穿たれており、34のような板材を十字に組み合わせた板が下部に取り付けられ曲物桶を吊り運んだものと想定できる。22は下半部を欠損した曲物桶の側板である。側板は現存で3枚の薄板を用いており、最も外側の側板は上端部のみ側を回しているものである。また、中央の薄板は長さが短く一周しないものであるが、側板全体を補強するために挿入された板と思われる。側板の綴じ合わせは8mm以上の広い間隔で桜皮を縫い合わせており、綴じ合わせ部以外にも上端部を4ヶ所で補強するために桜皮を縫い合わせている部分がみられる。23は口径13.0cm、器高7.5cmの曲物桶で側板は一重巻である。底板の周囲は段差を持ち、段差の部分に側板が接続している。側板と底板の接合は竹釘で6ヶ所行われている。28は口径7.6cm、器高4.4cmを測る曲物桶で、側板は一重巻である。側板の桜皮による綴じ合わせの間隔は広く、側板と底板の接合は竹釘によって2ヶ所で行われている。

24～26、29～33は曲物桶の底板である。24～26は直径11cm～12cmで、25は釘のための穴が12個、26は桜皮が2ヶ所で縫い込まれ、それぞれ側板を固定したものであろう。27は桜皮や釘穴の存在が確認できないことから側板の中に底板をはめ込むだけで作られたものであろう。29～33は直径5cm～6cmの円形の板材で、31～33は表面の塗布物や接続のための加工が認められないものである。30は片面に黒色漆が部分的に残存しており、曲物桶の外面に漆塗が施されていたものと推定できる。29は片面に「コ」の字状に傷が存在している薄い板材である。

27は柄杓の柄であり、断面形が方形の角材で先端は細く尖らされている。先端から約12cmの部分に孔が穿たれており、柄が曲物桶から落ちないように釘をはめ込んで支えたものと思われる。孔のやや上部には側板の圧痕が残存している。

結桶 35・36は結桶の側板、37～39は結桶の底板の一部、40・41はタガを締めるための楔である。35・36は外面にタガの圧痕が2条、内面下端部に底板の圧痕が1条残存している。高さは35が24.2cm、36が22.1cmとやや規模の大きいもので、板目板材を用いている。37～39は底板の一部を構成する板である。結桶の底板は複数の板材を継ぎ合わせて作製され、タガで側板を締めることによってより強固に密閉性を増す構造となっている。38は接合面に竹釘による「合釘接」の穴が各面に2ヶ所づつ存在している。一方、37・39は接合面に竹釘による「合釘接」の穴が存在しない。39は板の中央部に並んで孔が4個穿たれている。40・41は長方形の角材の片面を削って先端を鋭利に尖らせており、おそらく井戸桶のタガを締めるための楔であると思われる。41にはタガの圧痕が残存している。

折敷 42～61は折敷の一部である。このうち59を除く全てが底板の部分である。用いられた板材はすべて柂目板で、製材は木材に刃物を当てて打ち割る「割裂法」で行われている。表面は滑らかに加工されていることから、台鉋が使用された可能性がある。折敷類は底板の形状と規模によって類型化が可能である。

折敷底板A類 折敷底板A類は、底板の形態が正方形の薄板の角が落とされた不定八角形の折敷である。59は折敷のほぼ完形で、板の厚さが2mm前後、一辺約23.5cmである。角の辺には孔が2個ずつ穿たれており、側板を固定するためのものと思われる。固定するための桜皮などは残存していない。側板は一重巻で高さは低く、屈曲部の内面に折り曲げ易くするための傷が存在している。61は板の厚さが7mm前後、一辺約28.5cmの折敷の底板で、大半は欠損している。角の部分に1ヶ所、一辺には2ヶ所桜皮が縫われており、これによって側板を固定していたのであろう。

折敷底板B類 底板の形態が正方形の折敷のうち、板厚が3mm以上・一辺が20cm以上のものを折敷底板B類と分類する。51は片面に刃物による微細な傷が無数に存在しており、まな板として用いられた可能性も考えられる。孔や釘の存在は認められない。54は表面に黒色の付着物が残存しており、黒色漆が塗布されていたと想定される。片面には微細な傷があり、その反対の面には側板の圧痕と墨書の線が一条記されている。縁辺部に孔が1個存在している。56は大部分が欠損して、全体のおよそ4分の1が残存しているにすぎない。一辺のほぼ中央に位置すると思われる場所に2個の孔が存在し、別の一辺には側板が存在した圧痕がある。52・53は一辺が23cmの板で全形は不明である。側板が接続した痕跡が認められないことから、折敷ではない可能性も考えられる。いずれも角は丸く加工されている。60は一辺が32cmのやや厚手の底板で端部に桜皮が縫われている。

折敷底板C類 底板の形態が正方形の折敷のうち、非常に薄い板で作られて両端部に2個ずつ孔が穿たれている折敷の底板を折敷底板C類と分類する(42～50)。ほとんどの場合は遺存状態が不良であり、数枚の板片に破損している。規模は一辺が約15cm～16cmの範囲に収まり、規格性が認められる。側板の規模と形態は不明であるが、孔が対面に2ヶ所存在することから、方形に曲げた曲物の側板が用いられた可能性が高い。45・46は両端部に存在すべき2個ずつの孔が全く遺存しないが、板の厚さと一辺の長さから同類の製品の一部と判断できる。なお、55は折敷底板C類と同様の規模を持つが、厚さがやや厚い製品で、一辺の中央にある孔が1個のみ存在する点も異なる。

折敷底板D類 底板の一辺が10cm以下のものを一括して折敷底板D類と呼ぶ。57は一辺が約10.0cmの底板で半分欠損しており、一辺に1個孔が穿たれている。58は一辺が約6.5cmのもので、折敷底板C類と同様に一辺に2個孔が穿たれている。

折敷全体を通観すると、折敷底板C類が全体の半数以上を占めており、他の遺構には余り見られない傾向である。

箱物 62は箱物の部材である。横の長さは23.2cm、高さは8.0cmを測る柂目板材で、両端部にはほぼ加工を施し、「三枚組接」で箱を組み立てていたと推定される。接合部には木釘が2個ずつ施され、板の中央部には孔が穿たれている。中央の孔の周囲には金具が付着していた痕跡があ

る。表面・上面・側面には赤色漆、裏面には黒色漆がそれぞれ塗布されており、接合面に相当する部分には塗布物は存在しない。引出し状の箱物の前面に当たる部材と推定できる。63は箱膳の脚部の一部である。中央部に大きな孔が存在し、上端部に切込みがある。

下駄 下駄は複数の材を用いて台部と歯部を別々に作る差歯下駄（76）と、一木から台部と歯部を繰り出した連歯下駄（77～81）の2種類に大別できる。

差歯下駄 76は歯が台部を貫通している「露卯下駄」であり、ほぞ孔は2個存在する。歯部は現存しない。右足用である。

連歯下駄 連歯下駄は完全な形のもの存在しない。77は左半部が残存する下駄で平面形は楕円形を呈している。歯部は高く残っており、ほとんどすり減っていない。78は前半部が残存する下駄で平面形は隅丸方形である。歯の全面は若干すり減っており、足の圧痕も残っている。79は後半部が残存する下駄で平面形は隅丸方形である。歯部を繰り出したノコギリの痕跡が明瞭に残っている。80は前半部が残存する左足用の下駄である。81は長さ14.7cmの小型の下駄で、歯部の摩滅は見られず使用された痕跡が確認できない。

糸枘 82は長方形の板目板で、中央部に半径2cmの孔が穿たれており、また両端部には突起とそれに伴う小孔が存在している。糸枘（繰枘）の軸棒が中央部の孔に差し込まれたものであろう。

燈明皿受け 83は燈明皿受けの部材で、皿受け部を弧状に削り出し、上端部は若干焦げている。下半部に別材がはめ込まれたほぞ加工を確認できる。

櫛 84は上部が丸く滑らかに加工された櫛で、歯は推定で24本存在した。

栓 86は土圧で偏平に変形しているが断面形は円形で頭部が幅広くなっている。87は断面形が方形、先端がやや細くなった栓で、頭部が荒く削り取られ丸められている。

独楽 88～90は先端を尖らせた独楽で、表面には細かい削りが見られる。88・89は頂部に穴が開けられているのに対し、90の頂部は平坦である。

箸 箸は600点以上出土しているが、破損しているものが多く、完形と見られるものは18点しか存在しない。長さは最大32.8cmから最小18.1cmまで分布しており、25cm台のものが最も多い。太さは0.6cmを中心に分布し、丁寧に加工されたものはなく断面形は多角形を呈する。

杓子・匙類 95・96は皿部が凹んだ杓子である。皿部の平面形はほぼ円形で、部分的に削りの加工痕を確認できる。95は柄部の一部が折損しているが、96は完形で長さは34.3cmを測る。97は皿部がほぼ円形の平坦な形状を呈しており、柄部の断面形は隅丸方形である。98は皿部の先端を丸く削った方形を呈し、柄部も板状になっているものである。97・98は皿部と柄部の縦断面形が直線状になっていることから、筥としての使用法が考えられる。99は皿部が半円形を呈した「切匙」と呼ばれるもので、柄部の先端をやや尖らせている。板の厚さは薄く、柁目板を用いている。

搦粉木 101は長さ38.1cmの棒材で、頂部が摩滅している。柄部の先端は1ヶ所斜めに削られている。

建築部材 角材・板材のうち、組合せの加工が施された建築部材・建具類が数点出土している。73は角材の中央に長方形の孔が穿たれており、建築部材と思われる。74・75は厚さ0.6cmの板目板で、「割裂法」による製板が行われただけの板である。壁板・屋根板の可能性もある。72は

長さ43cm以上の角材で、釘孔と思われる孔が片面に4ヶ所、別の面に2ヶ所認められる。また、70は端部に削り込みによる凹みがあり、これより中央部には小孔が列を成して10数個穿たれている断面形が長方形の角材である。小孔は貫通していないものも見られ、細長いひご状の材が差し込まれたものと想定できる。69・71は建具類の部材であると思われる。

編物 115は竹の薄板を網代編で編んだ製品で、周縁部を弧状に形作っている。

木簡 木簡⁽¹⁾には位牌・板塔婆・柿経などの信仰に伴うものと折敷の底板などに記された消息・札類などに想定されるものの2者がある。

位牌 葬送儀式における死者の依代、あるいは追善の祈念の対象として作製されたものを位牌と称する。上端部を圭頭状に加工し、下端部を串状にする。墓地に安置した野位牌と考えられる。124・126は同一人物の位牌と考えられる。「物故」(118・119)、「飯寂」(121・123)、「飯真」(124・128)は位牌の文頭に用いられる文言である。「久々」(120・123~126)は呪符木簡で通有に使用される「急々如律令」の「急々」と同じものと思われる。

- 117 「三界満霊有縁無縁」
- 118 「物故妙連禅尼」
- 119 「物故者八郎殿十月十五日」
- 120 「今次久々霊位」
- 121 「□寂玄□公霊位」
- 122 「物故□〔宗か〕見禅定門」
「梅月浄白」
- 123 「飯寂斤公久々霊位
慶公」
- 124 「飯真□□久々霊位
うそ」
- 125 「源八郎久々八月念三日
おなへ」
- 126 「お次久々霊位
うそ」
- 127 「□見禅定門□」
- 128 「飯真仙天宗白禅定門霊位」
「□〔寂か〕六月」

板塔婆 板塔婆は死者の墓標あるいは供養塔として作製されたもので、通常頭部を五輪形に加工する。129・130は頭部が欠損したもので形状は不明である。

- 129 無大悲観世音
- 130 罪為お多美□也七月十四日」

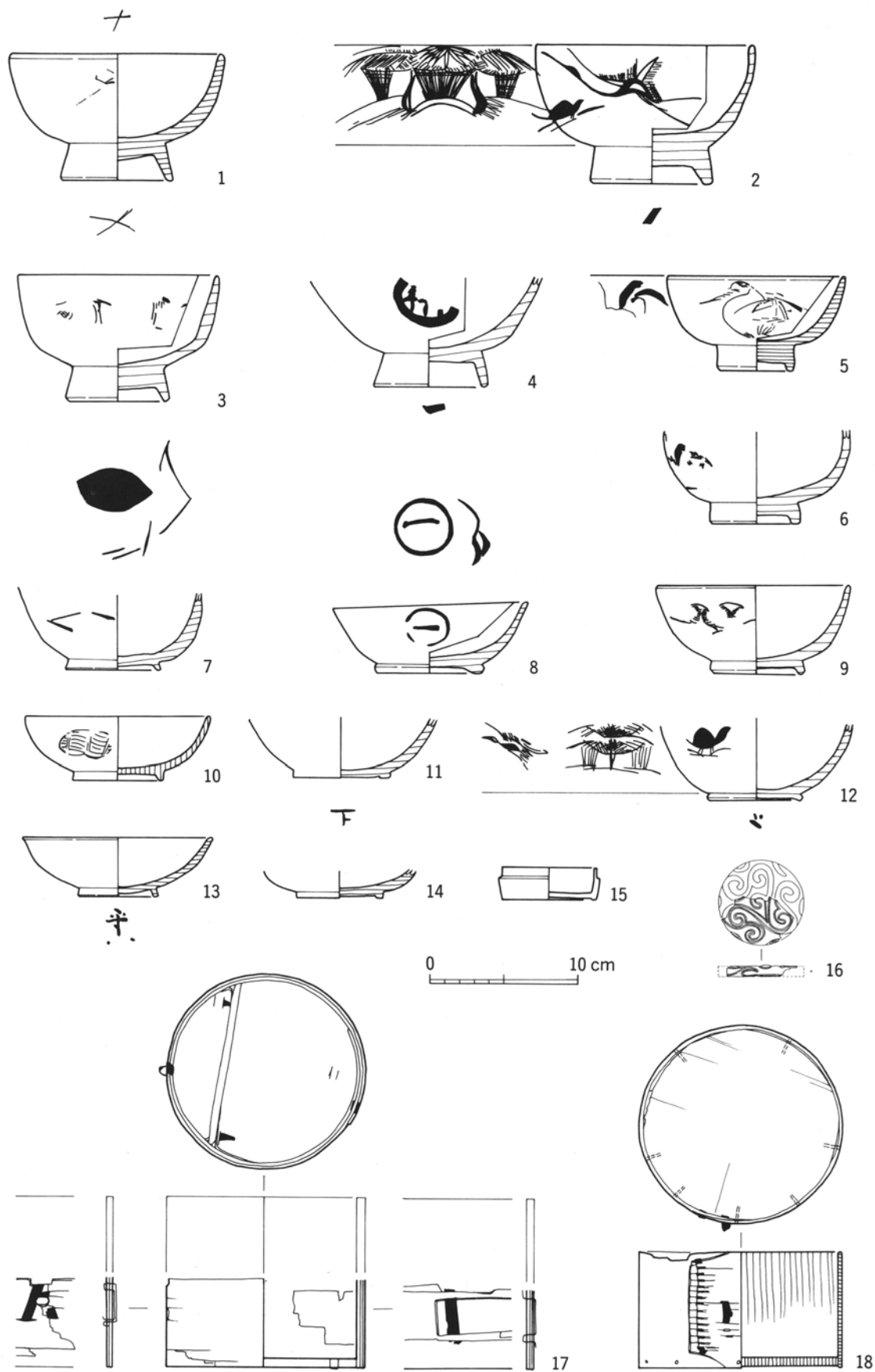
柿経・笹塔婆 薄板(経木)に経文を記したものを柿経と呼ぶが、六字名号などを記した笹塔婆などと区別が難しいものも存在する。140は「かめ代四月二日」と人名・日付が記されていること

から笹塔婆と推定できる。134の「十一月」も日付の記載と思われ、笹塔婆と推定できよう。135・138・139は「南無阿弥陀仏」という六字名号を記載した笹塔婆の可能性がある。

- 131 「常長田与丘公於仏満
- 132 「浄終
- 133 「□□□□
- 134 十一月
- 135 阿弥
- 136 □□□□
- 137 為□
- 138 無阿弥陀仏
- 139 南無阿弥
- 140 かめ代四月二日
- 141 須弥山幢上
- 142 ・□□□□
- ・□□□□

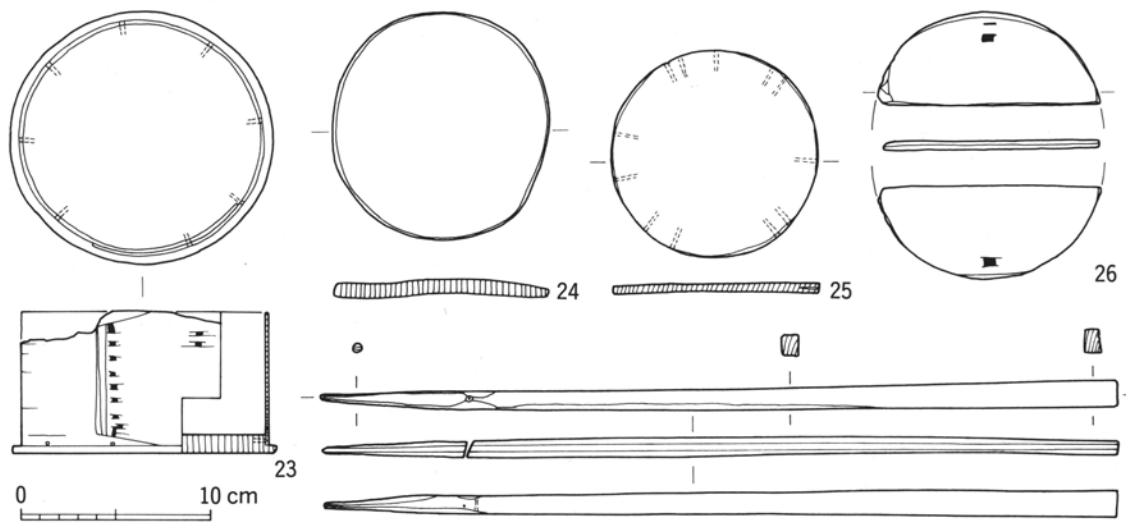
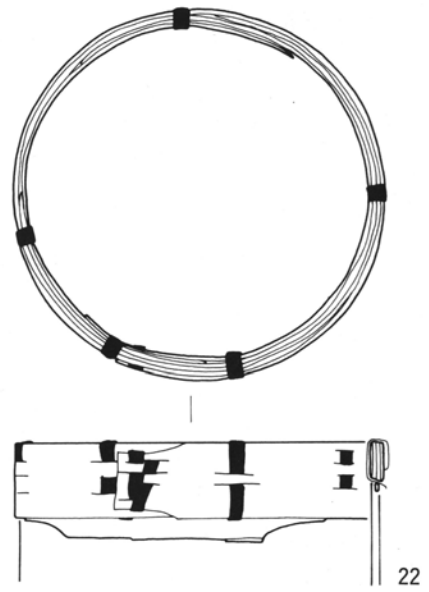
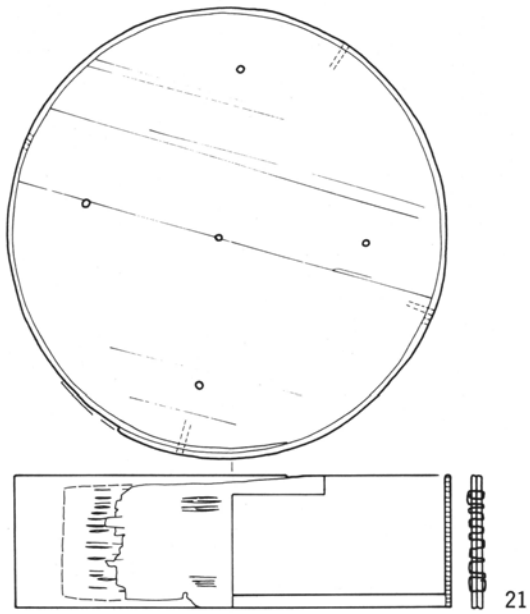
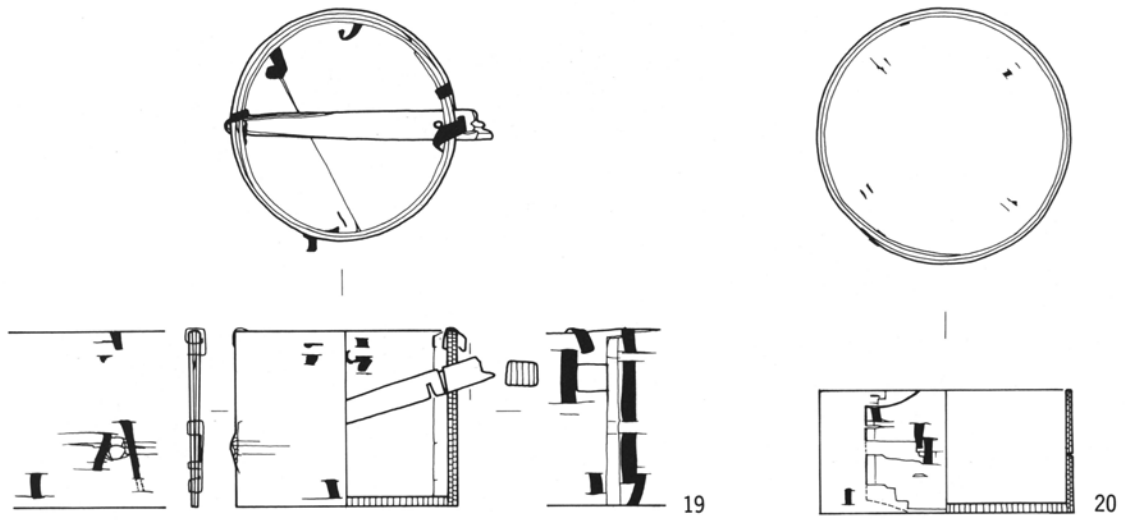
板材 木目に直交する方向に文字が記され、横長の板に記した習書・消息・札類などと想定されるものがある。143は長方形の板材に墨痕が見られ、刃物の微細な傷も存在する。札類の可能性を指摘できよう。145・146は部分的にしか判読できず、用途は不明である。

- 143 □
- 144 ・あり
- ・□
- 145 「十八
- 三
- 文
- 146 □ん お て
- 四□□□□也
-
- も憑□覧ハ
- 若衆□かとも
-
- けん□ □□□
- せん□ ても
- □ □し
- 御座候



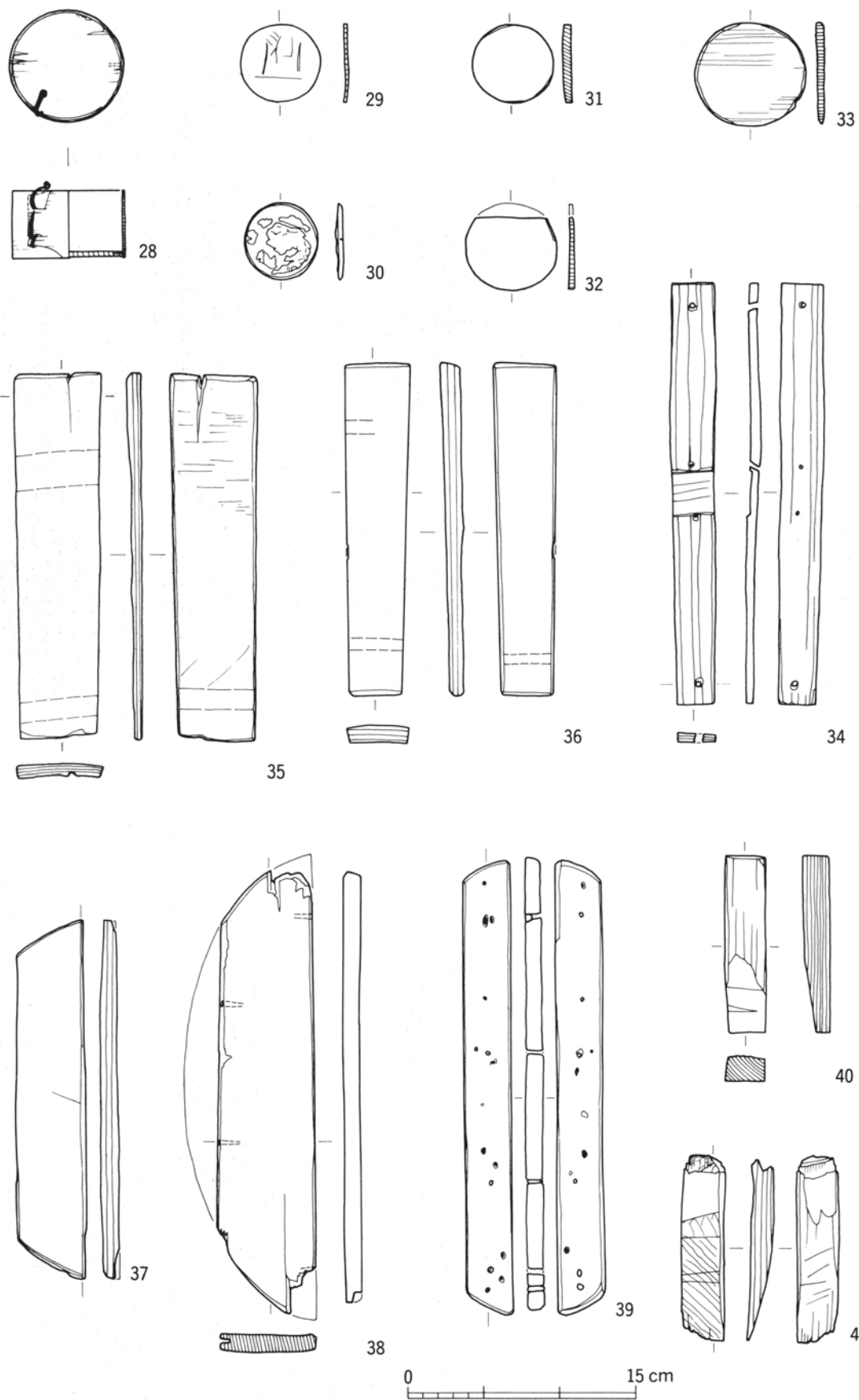
第157図 木製品(1)

SD 177 (1)



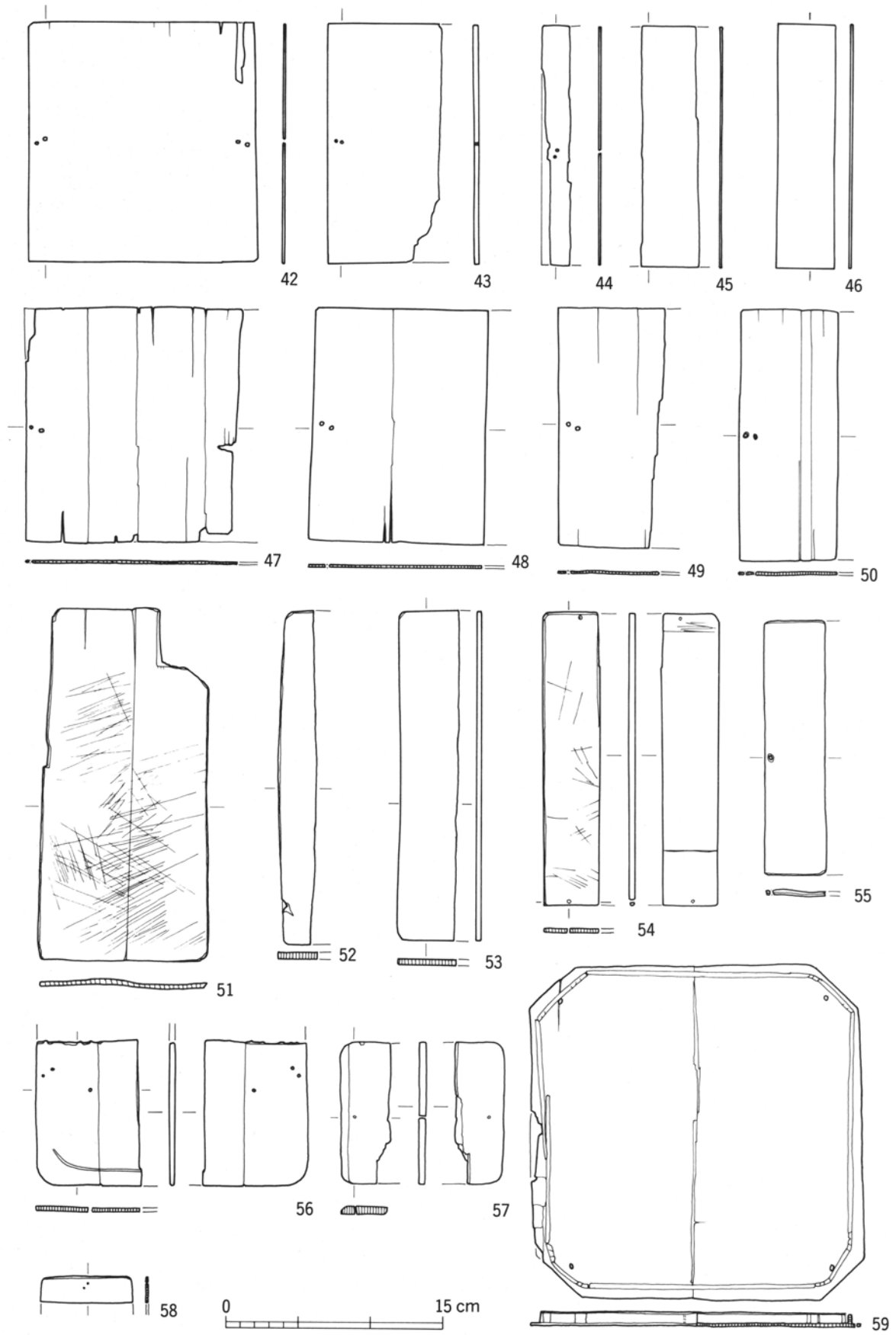
第 158 図 木製品(2)

SD 177 (2)



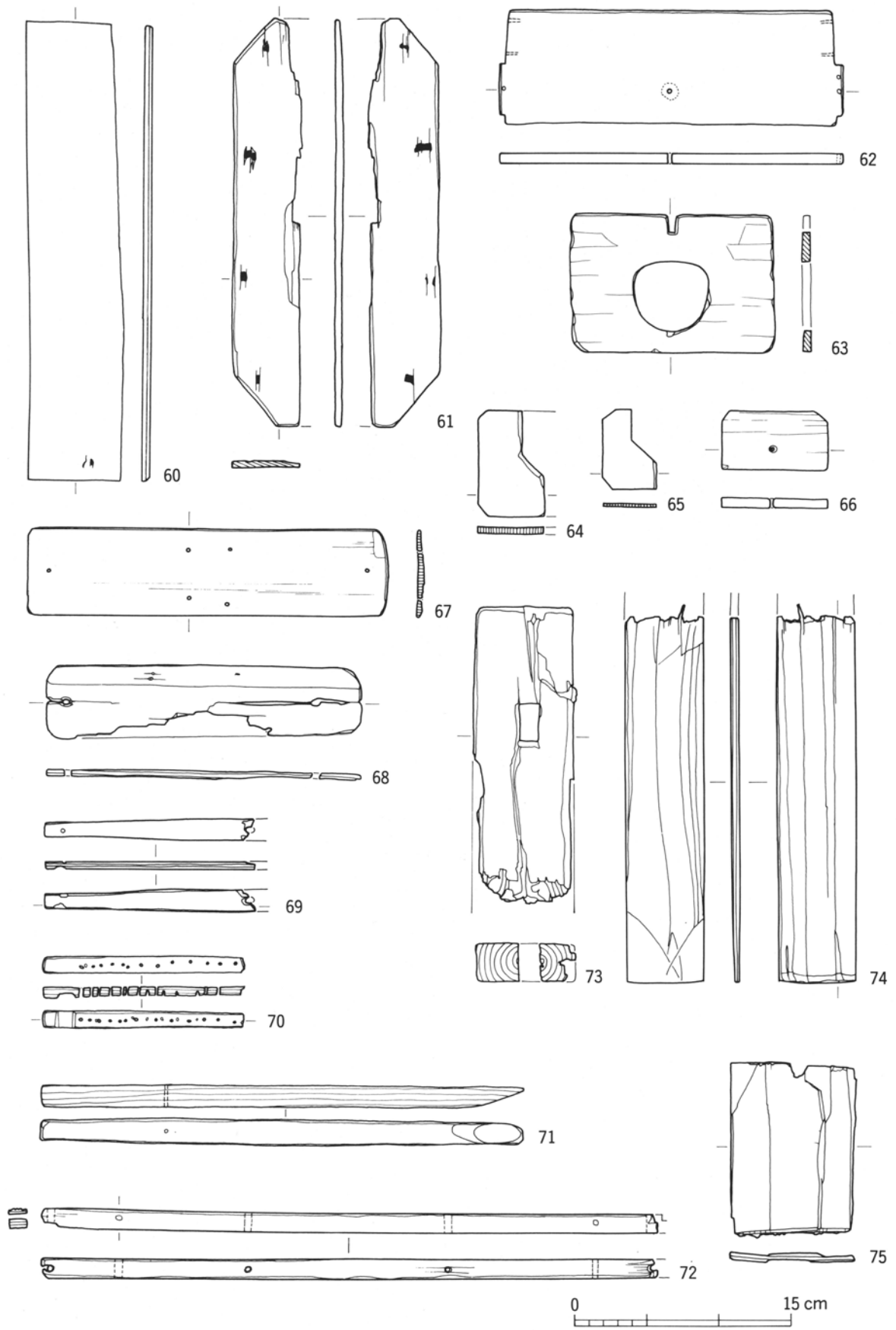
第158図 木製品(3)

SD 177 (3)



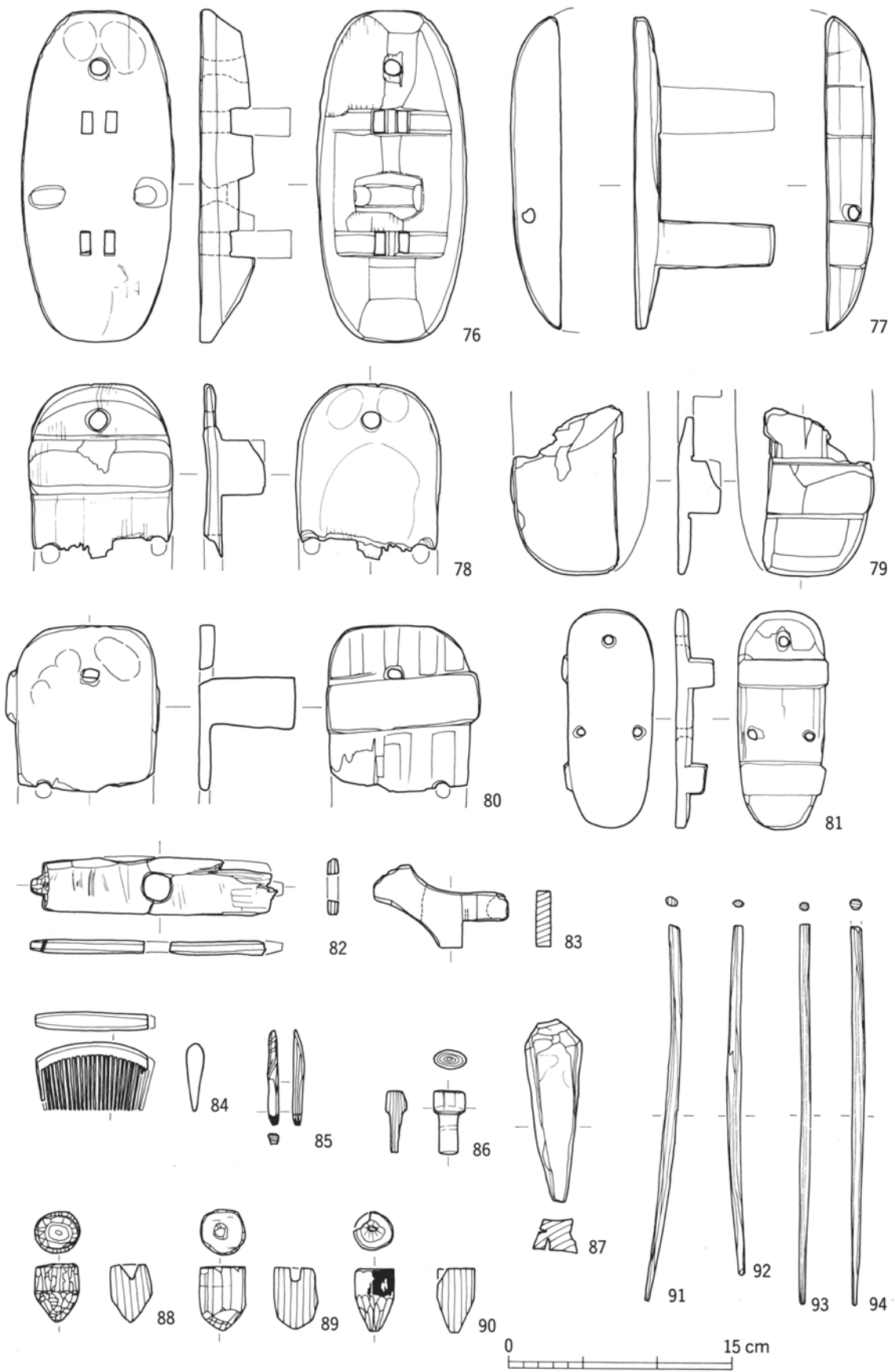
第 160 図 木製品(4)

SD 177 (4)



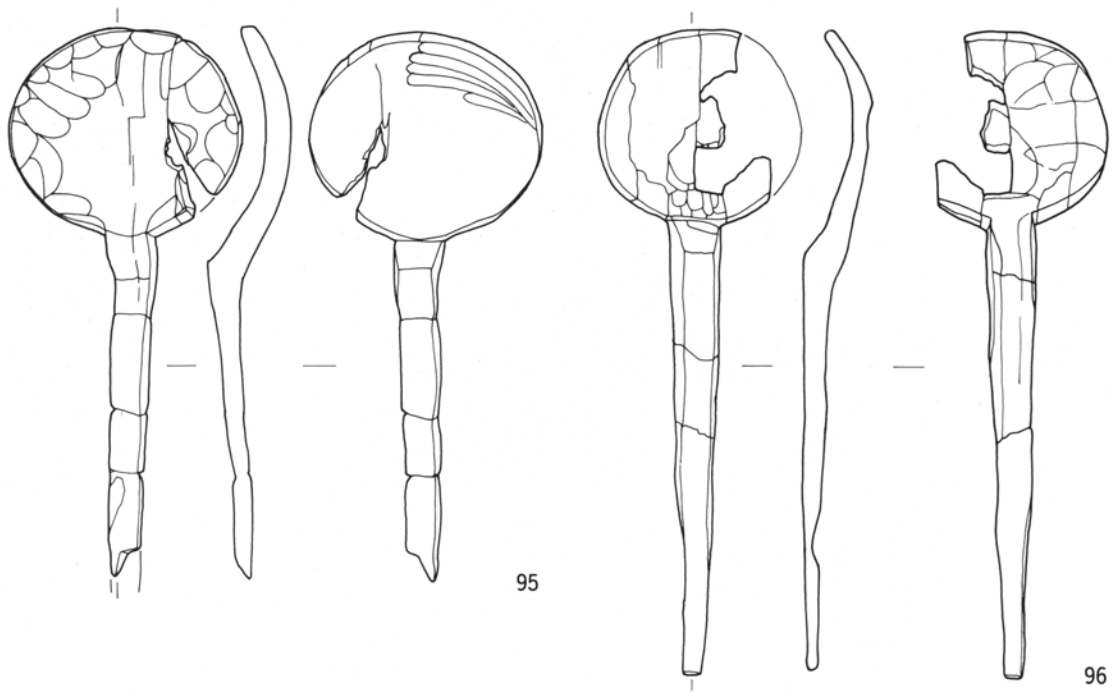
第161図 木製品(5)

SD 177 (5)



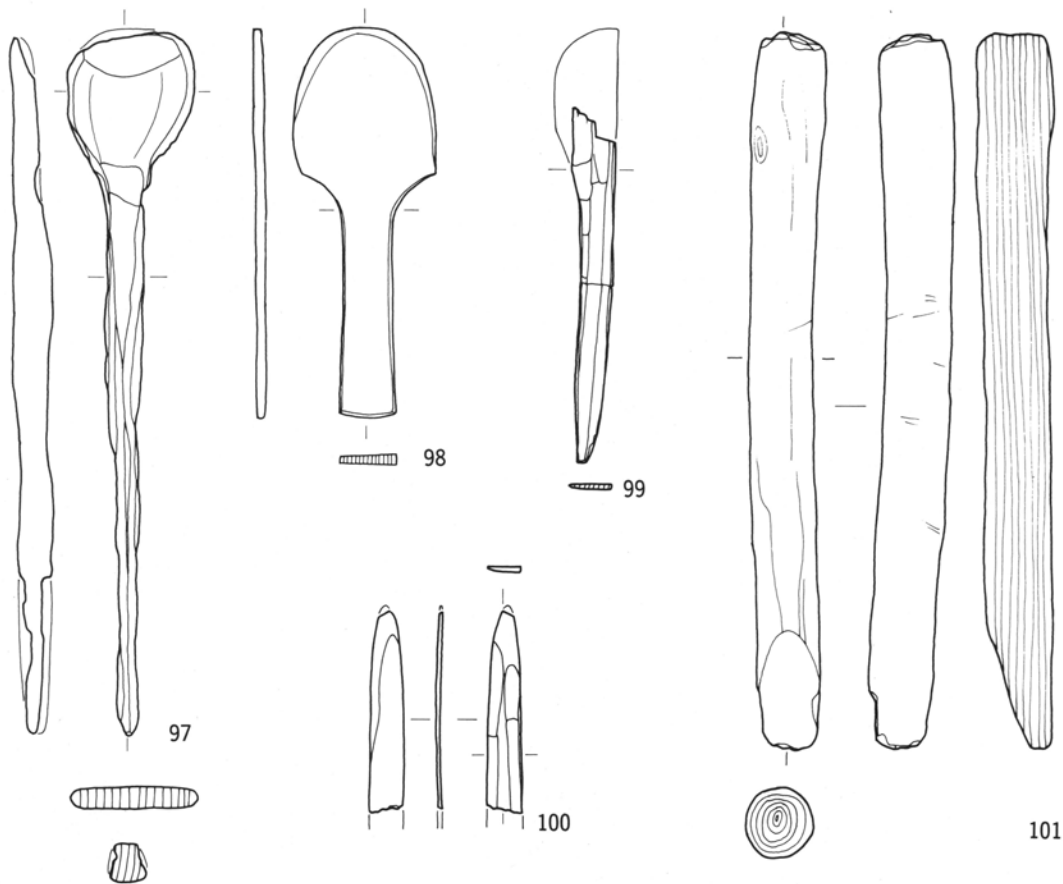
第 162 図 木製品(6)

SD 177 (6)



95

96



97

98

99

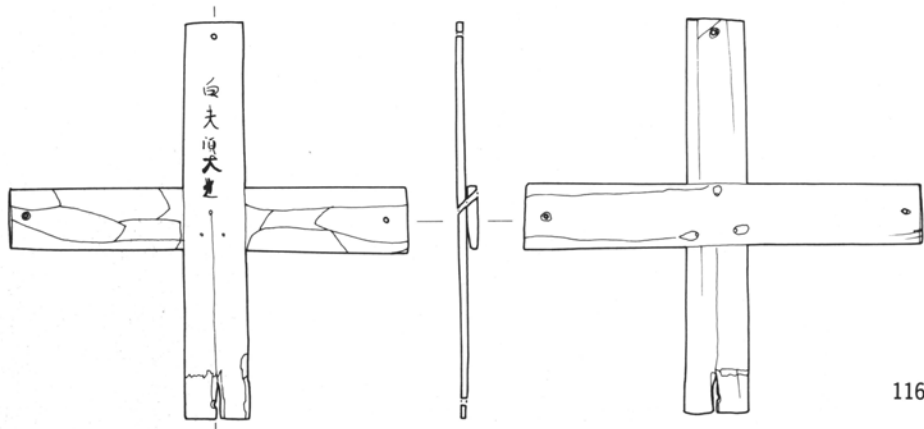
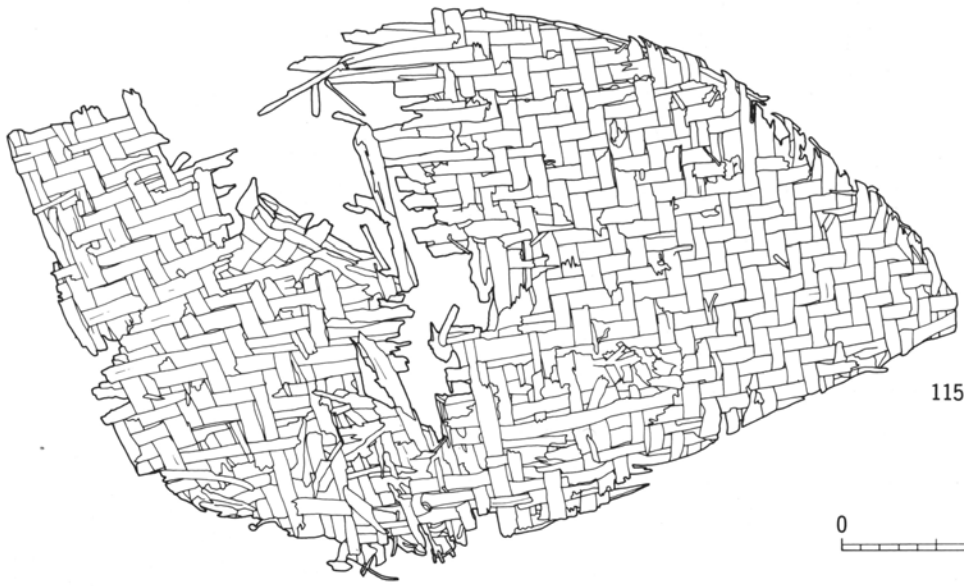
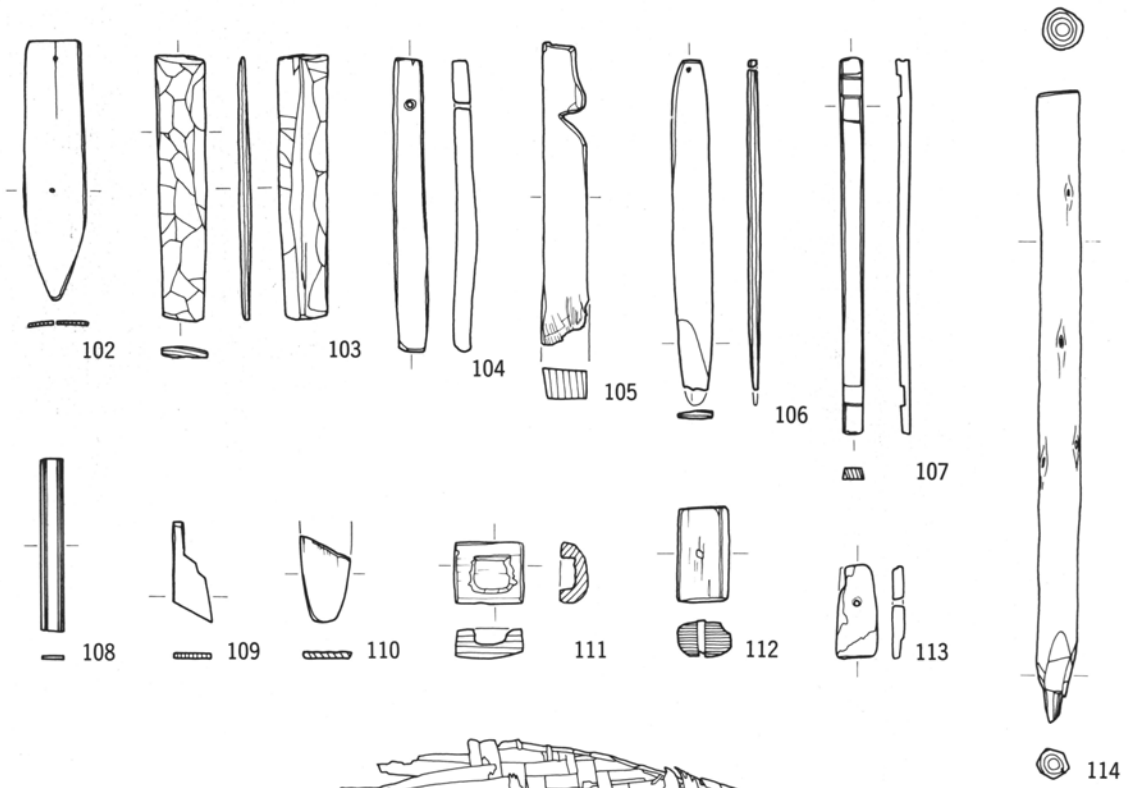
100

101



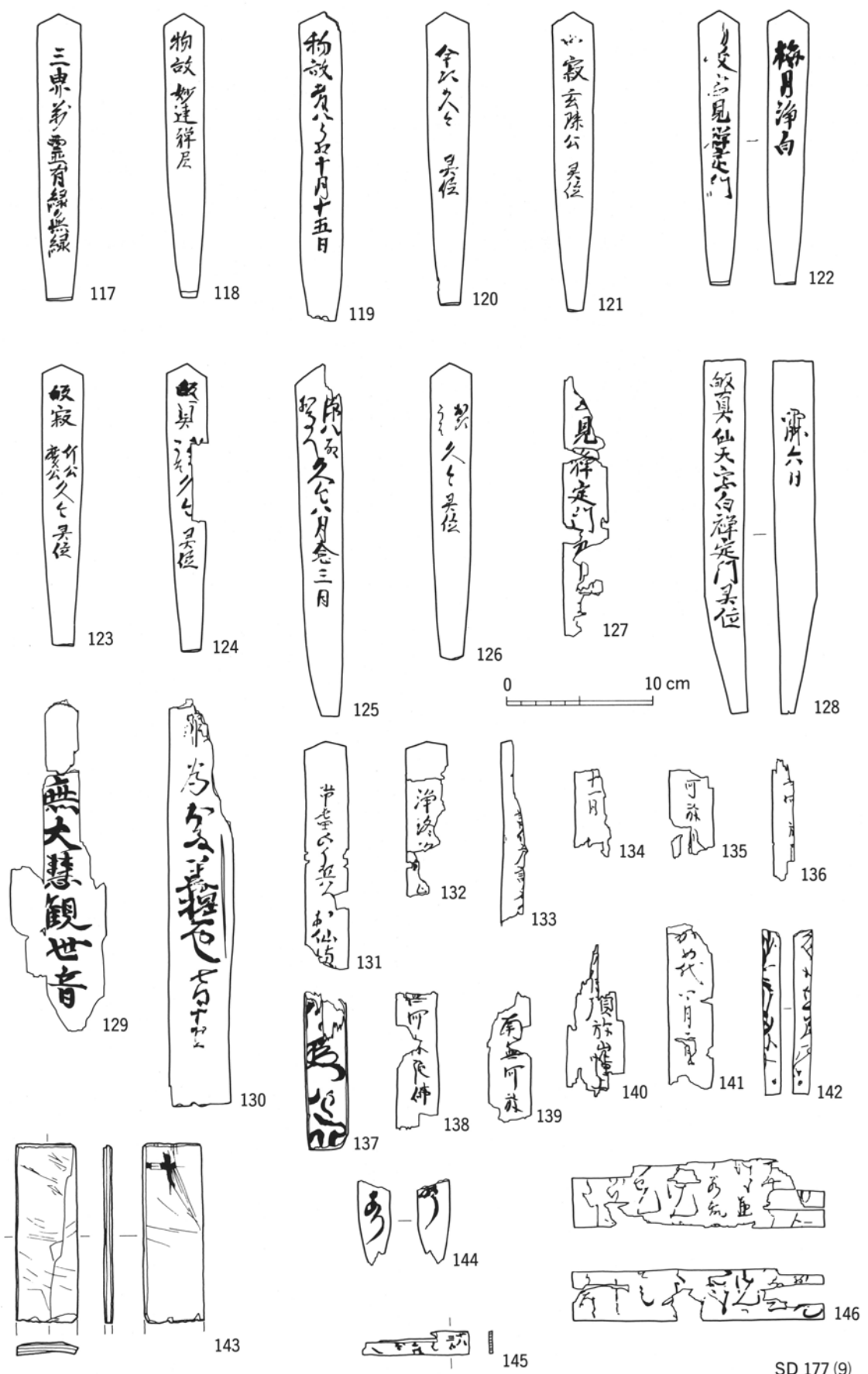
第 163 図 木製品(7)

SD 177 (7)



第 164 図 木製品(8)

SD 177 (8)



SD 177 (9)

第 165 図 木製品(9)

S D 200 (第166～169図147～168)

S D 200から出土した木製品は卒塔婆が多量に存在し、漆器なども若干見られる。

卒塔婆 卒塔婆はほとんどは重なりあった状態で出土した。墨痕が見られないものも数点存在するが、頭部を五輪状に加工しており、卒塔婆と判断できる。規格は大小様々であるが、147～155は長さは68cm前後、幅8.5cm前後と同規格で作製され、このうち147～153は書式・書体も共通している。この7枚は経文の内容・法名・日付などを分析すると、浄円禅門を供養した「七本塔婆」であることが分かる。

- 147・「 是不□□
 歸依仏法僧
 □如□
- 148・「 今地上□
 五蘊本来空 右志者
 □是□□ 五月十五日白」
- 149・「 文殊大□ 敬
 五蘊本来空 右志者為浄□□□
 十方諸□ 五月廿□日白」
- 150・「 一切衆生
 地水火風空
 皆菩提心
- 151・「 南無六道 慶長四年 敬
 歸依仏法僧 右志者為浄円禅門
 能化無仏 六月初七日白」
- 152・「 其後当作仏 敬
 地水火風空 右志者為浄円禅門
 号名曰弥勒 六月十四日白」
- 153・「 我此□□ □長四年
 五蘊本来空 右志者
 一経其耳 六月二十一日
- 154・「 若人欲了知 三世一切仏
 為道西□□□〔禅定門か〕七□□
 三界唯心造 応観法界性 慶長三□□
- 155・「 一撃忘所知 造伏以道
 五蘊本来空 三世一切仏□観□
 若人欲了知 □□於此□□
- 156・「南無大日観世音
- 157・「 七□

□ 水菊在月手□□□□〔美花香か〕衣

□□〔竜か〕□□

158・「南無大□□□

162・・「南無阿弥陀仏 光明遍照十□〔方か〕

念仏衆生□

・「南無阿弥陀□〔仏か〕

木簡（差札） 卒塔婆の他に差札と思われるもの（163）が1点存在する。頭部を圭頭状に加工し、下端部は串状に尖らせている。墨書は板の上半部に限定されており、下端を地中に差し込んで使用したものと思われる。「かちや町」は文禄3年（1594）2月に実施された清洲町奉行3人による「家改」にみられる「鍛冶屋町」に比定されるものである。また、「十六間三尺六寸」は、町並みの奥行きを示すものと推定される。城下町の地割に際して「鍛冶屋町」の範囲を表示したものであろう。なお、文頭の「六」は異筆である。

163・「かちや町

『六』十六間三尺六寸

是より北

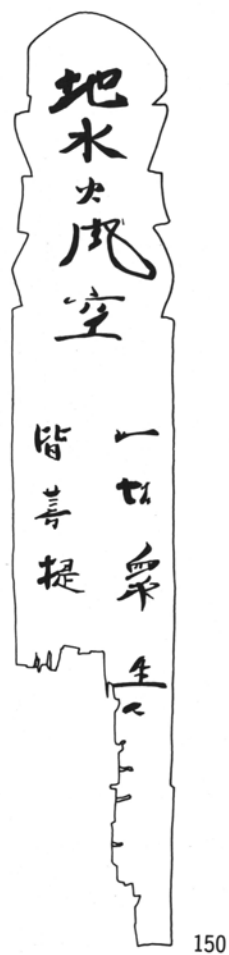
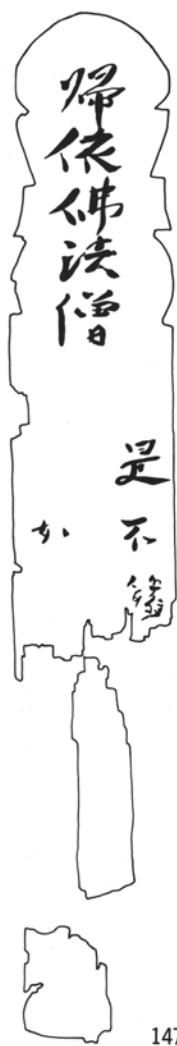
漆器 S D 177の分類でいえば、164は椀B類、165は皿類に属する。164は外面に草花紋を施し、内面に赤色漆が塗布されている。165は内外面共に赤色漆が塗布されている皿で、口縁端部と高台端部に黒色漆が施され、作りは比較的精巧である。

曲物桶 166・167は曲物桶の底板である。166は半分欠損しているが正円形ではないもので、片面に2条づつ細かい傷が存在する。この傷の部分に側板が接続していたものと推定できる。167も半分欠損しているが、端部に桜皮が縫われた痕跡が残存しており、これによって側板を固定した曲物桶の底板であることが分かる。

下駄 168は一本作りの下駄であるが、遺存状況は不良である。

S E 83

S E 83から方形容器の底板が1点、釣瓶が1点、井戸桶と桶に使用された楔が多数出土している。169は方形に組み合わせた容器に取手が付いた釣瓶である。側板同志は釘で3ヶ所打ち付けられており、底板も鉄釘で留められている。取手は断面形が隅丸長方形の材を用い、中央部には圧痕が確認でき使用した痕跡が残存したものと思われる。170は方形容器の底板で、若干欠損しているが、木釘の孔が現存で1個（推定で2個）存在している。端部の厚さが滑らかに薄くなっている。井戸桶に使用された楔は形態によりいくつか分類が可能である。A類は長方形の板の先端を少し面取りしたもので、一見して楔とは思われないものである（171）。B類は細長い長方形の板材の先端を両側面から削って串状に加工したものである（172～174）。C類はB類と同様、先端を両側面から削って串状に加工したものであるが、板の長さが短い。楔の中でも最も多い種類のものである（175～178）。D類はC類と同様に長さが短く先端を串状にしたものであるが、上端部から削りを加えている（179・181）。E類は先端を片側面から削って鋭利にしたものである（180）。A類を除き、削りを加えた反対側の面に桶のタグ



第 166 圖 木製品(10)

SD 200 (1)

娑佉佛法僧
 而無六道
 能化無伴
 古志者
 六月七日
 敬

151

地水火風空
 其後當作伴
 号名曰弥勒
 奈亦不
 淨中
 六月十四日
 敬

152

五蘊未來空
 我此
 一經其耳
 右志者
 長四年
 六月十四日

153

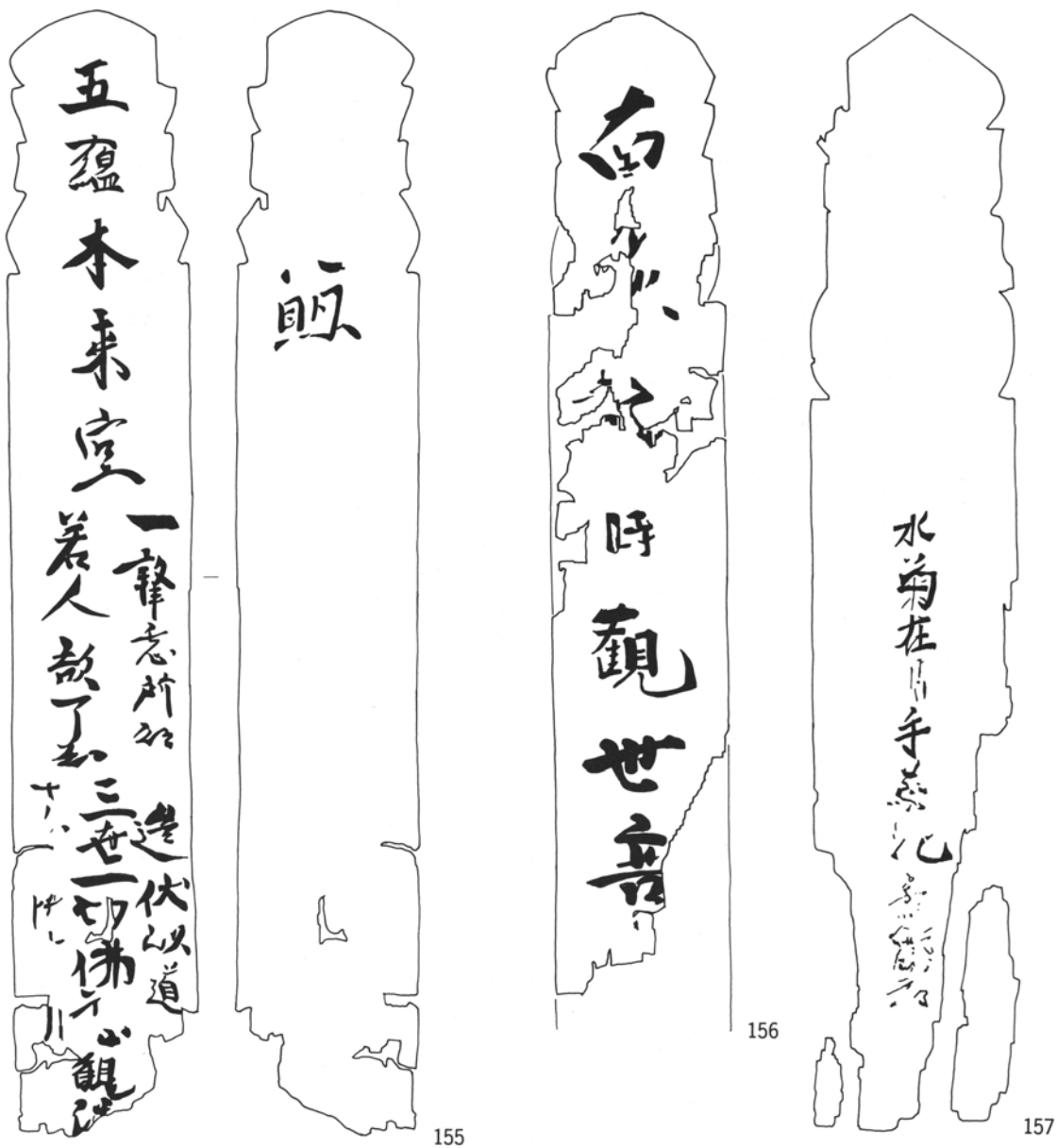
羨欲名如三切佛
 三受唯造應觀法
 為道
 敬

154



SD 200 (2)

第 167 圖 木製品(1)

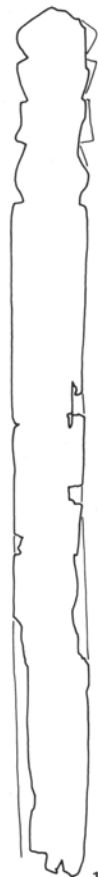


第 168 図 木製品(12)

SD 200 (3)



158



159



160



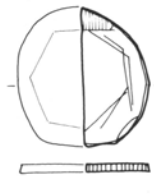
161



162



163



166



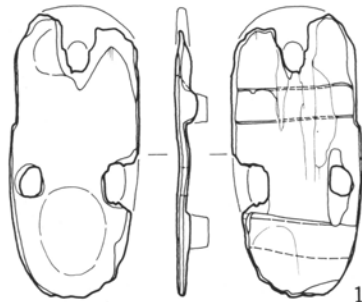
167



164



165

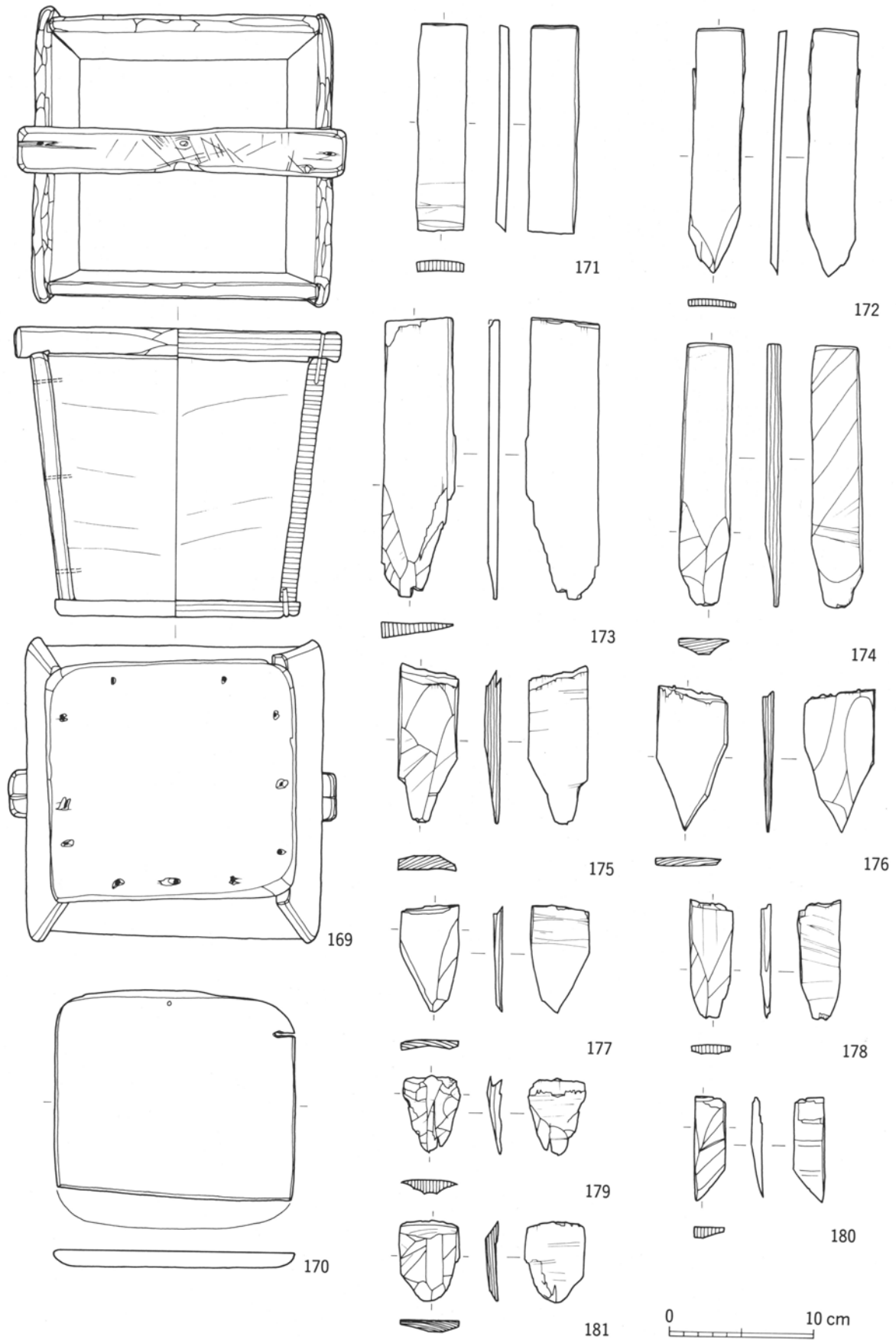


168



第 169 図 木製品(13)

SD 200 (4)



第170図 木製品(14)

SE 83

の圧痕が残存している。なお、174の裏面には製板のための削りが存在する。182は井戸側として使用された結桶である。SE83から出土した井戸桶は2段存在したが、182はその最下段に所在したものである。側板は「割裂法」によって製板され、チョウナで整形している。上端部外面は縦方向に薄く削り、下端部は面取りされている。

SE35

井戸枠として設置された結桶(183)が1点出土している。側板は「割裂法」によって製板され部分的にチョウナで整形されている。下端部は面取りされている。

SE15

曲物桶の側板1点と底板1点が出土した。186は薄い柂目板を2枚重ねて曲げ合わせて3重巻に加工している。桜皮で側板の綴じ合わせを行っている非常に小型の曲物桶である。187は中型の曲物桶の底板で、表面を台カンナで丁寧に加工し、側面に側板と接続するための穴が7個存在している。

SD211

建築部材(185)が1点出土している方形の孔が穿たれており、表面は焦げて黒色に変色している。

SD189

188は曲物桶の側板である。一重巻の側板を2枚重ねて一個の曲物桶を作っている。側板の綴じ合わせは桜皮によって狭い間隔で縫われている。

SD198

結桶の側板などが出土している。189は結桶の側板で、外面にタガの圧痕・内面に底板の圧痕が残存している。190は結桶のタガを締めるための楔である。191は先端を鋭利に尖らせた板材で、用途は不明である。192は中央部から先端を尖らせた短い棒材で爪楊枝の可能性はある。194は細長い板が半分以上欠損したものと思われ、孔が現存で5個穿たれている。193は篋状の製品で柄部が欠損している。皿部は方形を呈している。

SK503

漆器皿が1点(195)出土した。口縁部が内湾する大型の皿で、内・外面ともに黒漆が塗布されている。内面には紋様が施されている。

SE58

結桶の側板(196)が1点出土している。上部に円形の孔が穿たれており、取っ手の付いたものと考えられる。

S E 85

曲物桶の底板が1点(198)出土しているが、周縁部が薄くなっているものである。

S E 82

木筒が1点出土している(199)。文字は判読できない。

S D 215

ものさし状の細長い板材が1点出土した。200は表面に3.3cm(1寸)おきに墨線が記され、木釘がさしこまれた孔が4ヶある。

S E 62

漆器の香合の蓋(201)と編物製品(202・ザルか)が出土している。199は薄い竹材を平織りに編んで周辺部を別の編み方で補強しているものである。

S D 222

曲物桶(203・206)、人形(204)、独楽(205)、木筒(207)が出土している。202は小形の人形で、下部が斜めに切りとられている。206は一重巻きの曲物桶の側板で、表面に「白きたう 壺斤」と記されている。207は先端を鋭利に尖らせた木筒で、墨書は上方に限定される。一部に小囧囧と読みとれる部分もあり、城下町構成を知る一資料となっている。

207・ □□小□□〔牧町カ〕

・ □□□□□小□□〔牧町力〕

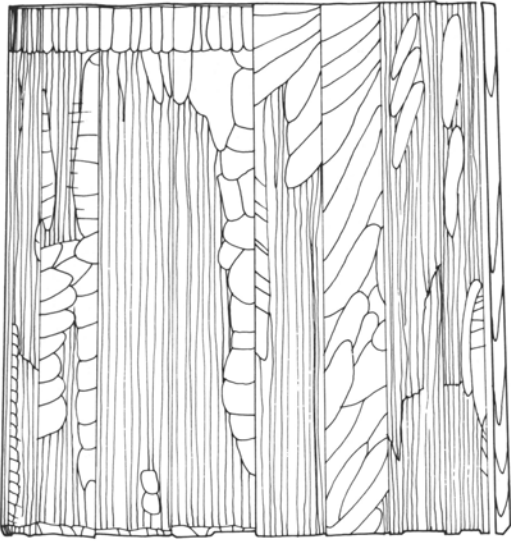
(鈴木正貴)

註1) 木筒の釈読にあたっては、加藤優(文化庁)、下村信博(名古屋市博物館)の御教示を得た。

註2) 出土木製品の年輪年代測定を一部で実施した。この結果は一部、本センターの『年報昭和63年度』に掲載したが、清洲城下町遺跡の資料とあわせ、以下に一覧として再載する。なお、分析は光谷拓実(奈良国立文化財研究所)による。

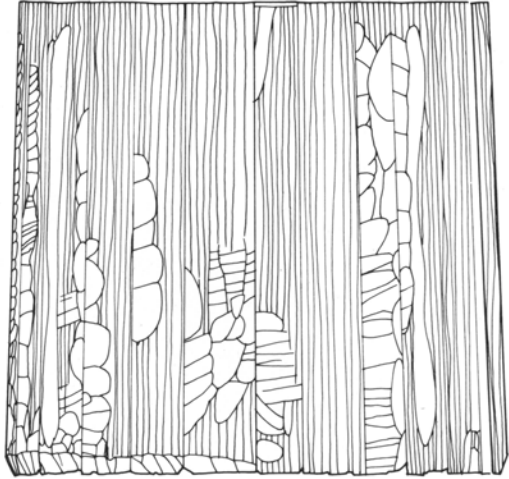
	ファイル名		器種	絶対年代	年輪数
1	清洲城下町遺跡II	S D 66	板材	A.D.1591	(128)
2	"	S K 226	折敷(断片)	1529	(205)
3	朝日西遺跡	S D 177	曲物側板(断片)	1514	(131)
4	"	S D 177	曲物	1512	(201)
5	"	S D 177	曲物類	1503	(118)
6	"	S D 177	"	1491	(107)
7	"	S D 222	曲物	1466	(215)
8	"	S E 83	板状木製品(折敷?)	1452	(208)
9	"	S E 93	曲物?	1443	(420)
10	"	S D 177	曲物底板	1396	(485)
11	清洲城下町遺跡II	S D 66	板材	1330	(123)
12	朝日西遺跡	S D 222	曲物底板	1251	(190)
13	清洲城下町遺跡II	S D 66	不明木製品	1071	(190)
14	朝日西遺跡	S E 90	曲物類	1001	(313)
15	"	S E 73	曲物底板	918	(236)

SE 83



182

SE 35



183



SE 75

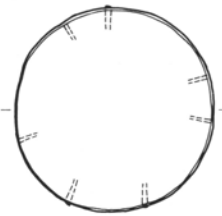


184

SE 15

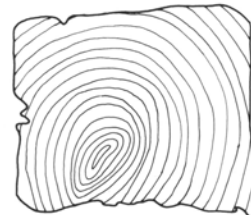
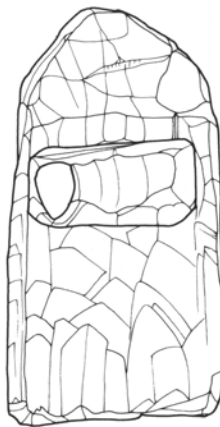


186



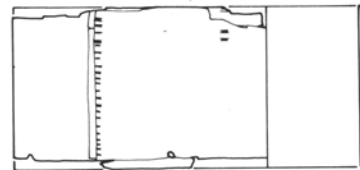
187

SD 211



185

SD 189



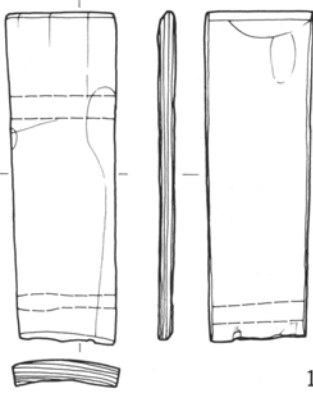
188



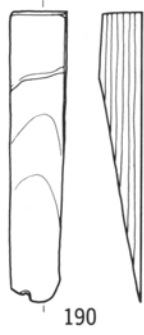
その他(1)

第 171 図 木製品(15)

SD 198



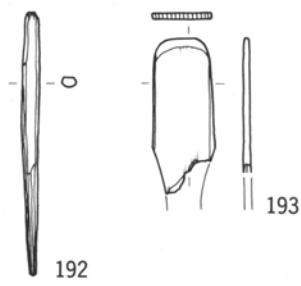
189



190

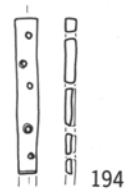


191



192

193

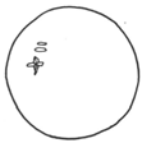


194

SK 503



195



SE 62



201

SE 58



196



197

SE 85



198

SE 82



199

SD 215

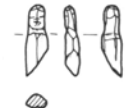


200

SD 222

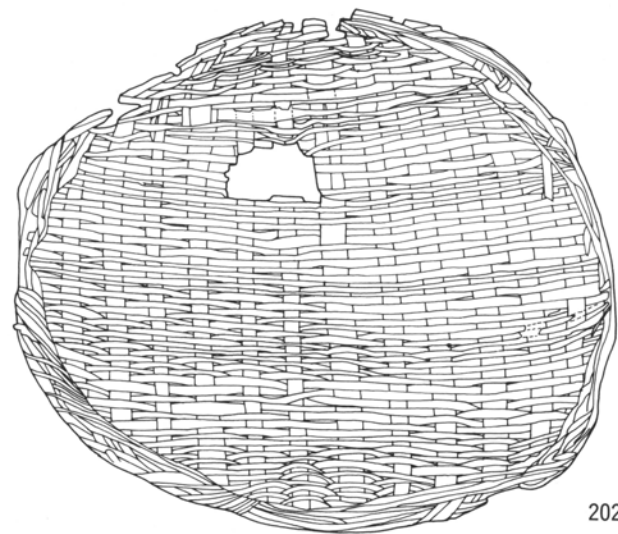


203

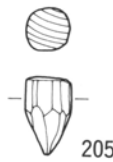


204

0 10 cm



202



205



206



207

第 172 図 木製品(16)

その他(2)

第7節 石製品

朝日西遺跡から出土した石製品には、石鍋、温石、硯、砥石、叩き石、バンドコ、碁石、石臼、石塔類がある。ここでは、それぞれの器種ごとに記述を加える。

石鍋 (第172図1～11) 石鍋の破片は11点出土し、4個体を数えることができる。1は推定口径22.8cm、器高9.5cm、底径17.6cmを測る。鐳付で体部を内湾させるタイプ(木戸雅寿氏の分類⁽¹⁾ではⅢ-a類)であり、共伴する山茶碗から13世紀中頃のものと考えられる。外面には煤が付着している。2～6もこのタイプに属する。9は口縁部直下に鐳が巡るが、この鐳が丸みを帯びた台形状になるもの(木戸分類⁽¹⁾ではⅢ-d類、室町時代中頃に比定)である。外面には煤が付着し、推定口径は11.8cmである。10は石鍋の口縁部の小片であるが、穿孔されている。朝日西遺跡から出土した石鍋は、数量的には他の製品に比べ著しく少ないが、この理由としては①石鍋が壊れにくいこと、②高価な製品であったことなどが考えられよう。

温石 (第172図12) 方形の板状の石製品である。欠損して全形は不明である。

硯 (第173図13～25) 硯は破片が十数点出土した。破片であるため全形が不明なものが多いが、長方硯が大半を占め、1点のみ長方硯にはならない形態不明のものがある。

13は墨堂がくぼんだ細長い長方硯で、覆手の面に微細な線刻がなされている。14、15はやや小型の長方硯、23、25は大型の長方硯である。17のようにやや厚手の製品もある。

砥石 (第173～175図26～48) 砥石は完形、破片を含めて数十点出土した。通常、砥石の分類は石材の粒子の粗細によって行うのが一般的であるが、ここでは平面形態と断面形態によって分類を行うこととした。砥石は、平面形と横断面形が長方形を呈して薄手となるもの(26～28)、同じく平面形と横断面形が長方形を呈して厚手となるもの(29、31～39)、平面形がばち状になるもの(30)、非常に小型で直方体を呈したもの(40～43)、大型の石材で平面形や断面形が不定形になるもの(44～48)に分類できる。27、28、33、37は表面に微細な傷がある。46～48は断面形がV字状の溝が存在する。

叩き石 (第175図49) 49は円礫の下面に敲打痕がある叩き石である。

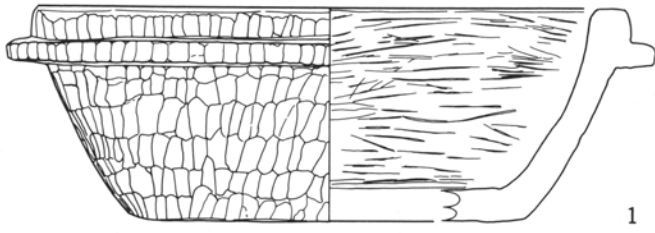
バンドコ (第175図50) 50は緑色凝灰岩(笏谷石)製のバンドコで、上半部が欠損している。正面に長方形の窓が4列あったものと考えられる。

碁石 (第175図51～56) 碁石は数点出土したが、いずれも黒色の碁石である。

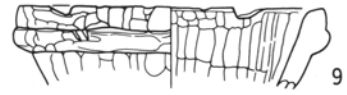
石臼 (第176図58～59) 花崗岩製の石臼で、中央部に孔が穿たれている。

石塔類 (第177図60～62) 60は宝篋印塔、61、62は五輪塔の部材である。

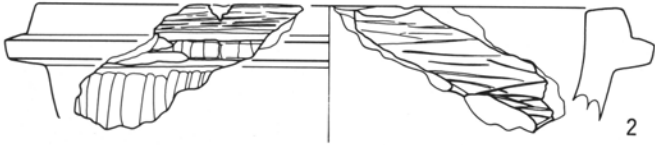
その他 (第175・177図57・63～64) 57は上部中央に穿孔された製品である。63は平面形が三角形の薄手の石材で1条溝が存在する。64は欠損して全形は不明であるが、中央部に大きめの孔が穿たれ、表面に線刻で文様が施されている。(鈴木正貴・小澤一弘)



1



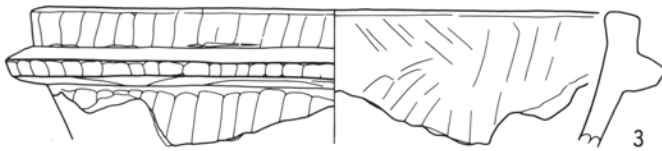
9



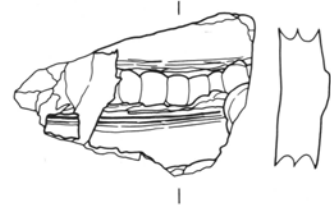
2



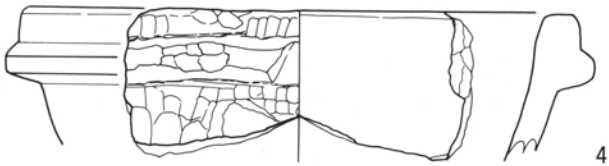
10



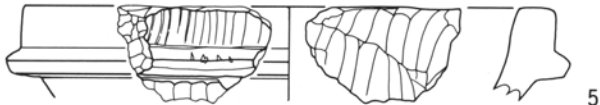
3



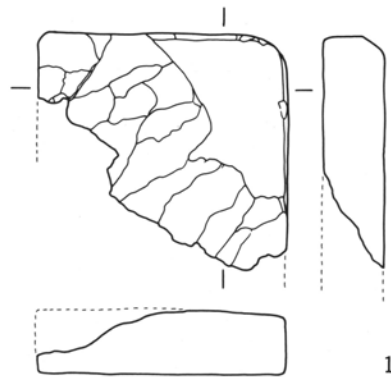
11



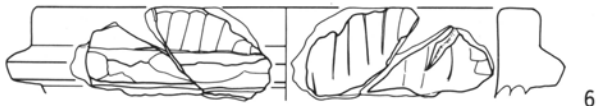
4



5



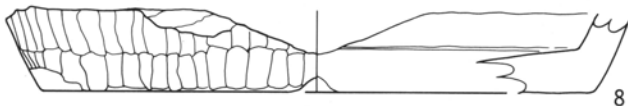
12



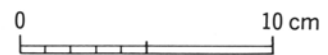
6



7

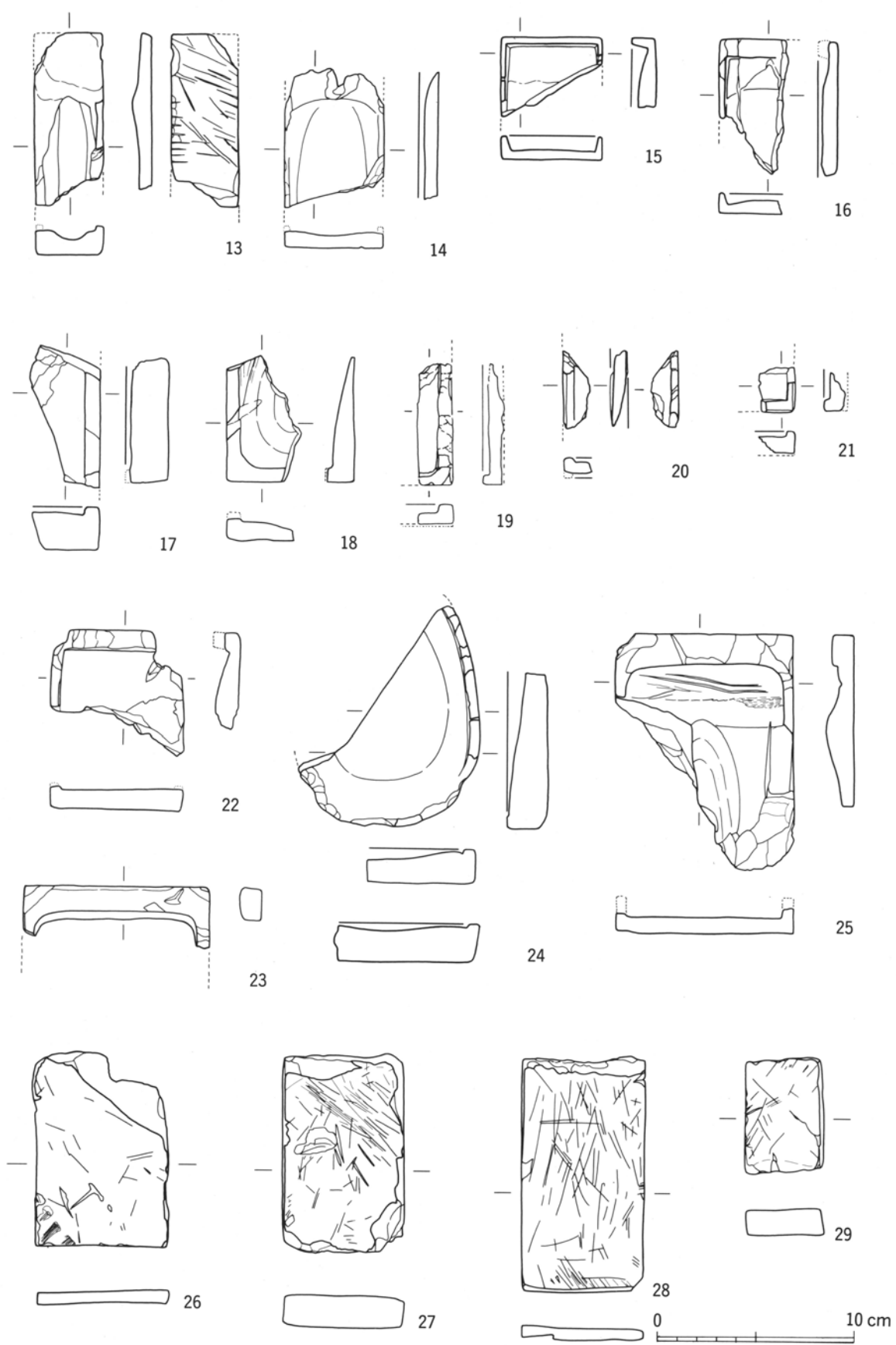


8



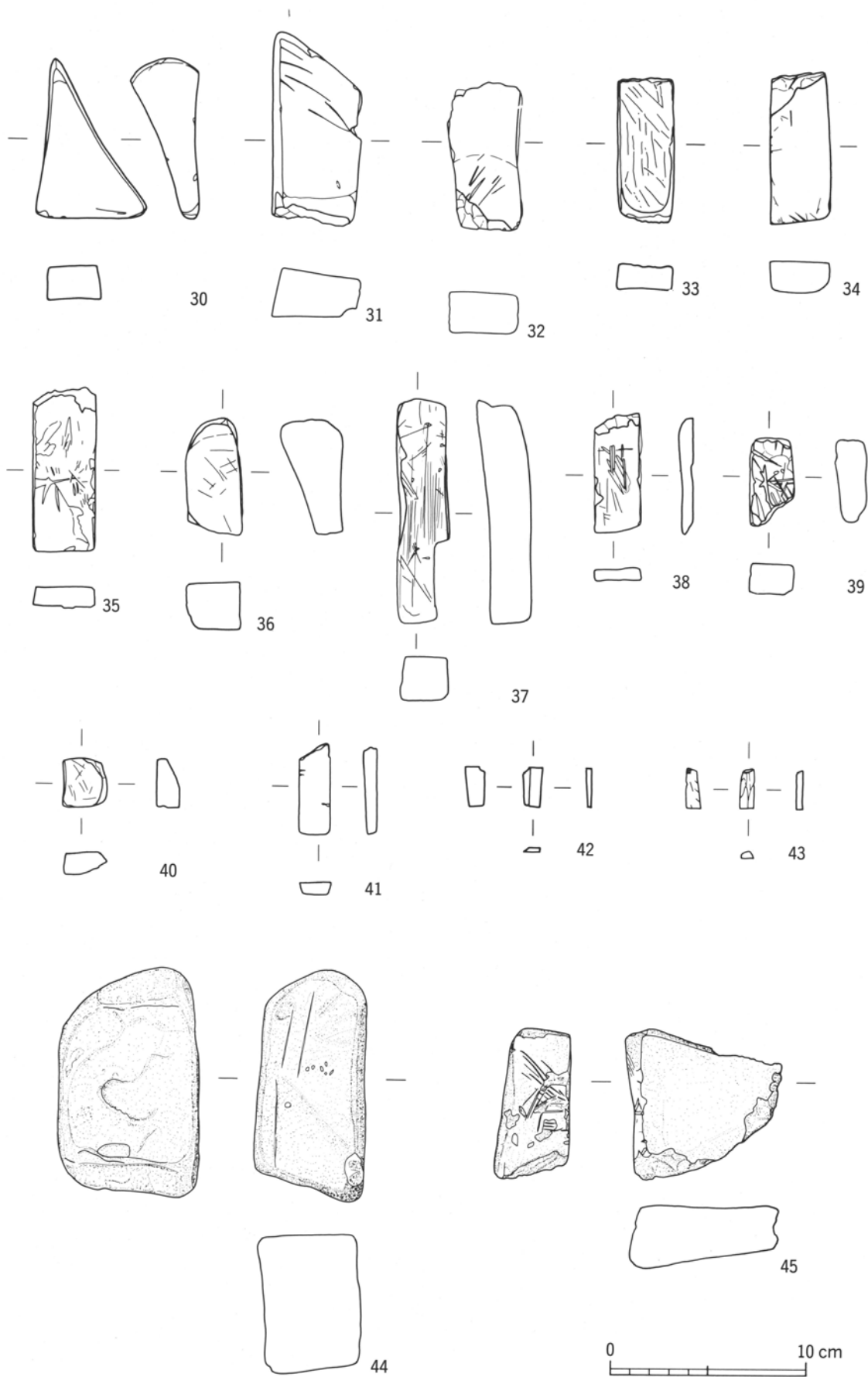
第 173 图 石製品(1)

石鍋・温石



第 174 図 石製品(2)

硯・砥石(1)

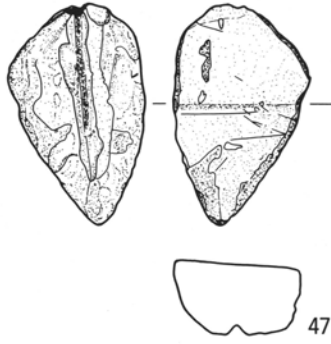


第175図 石製品(3)

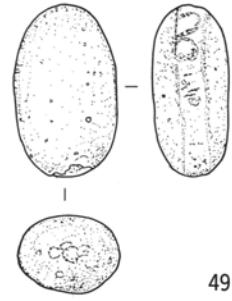
砥石(2)



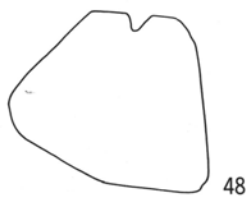
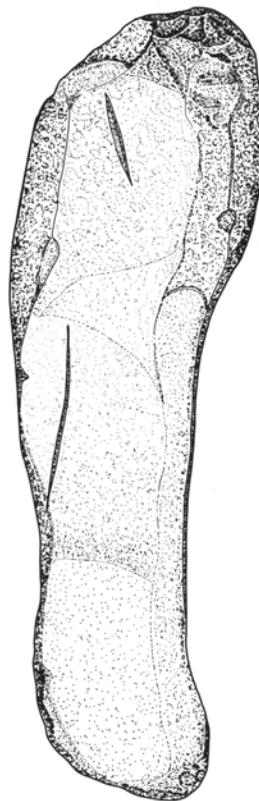
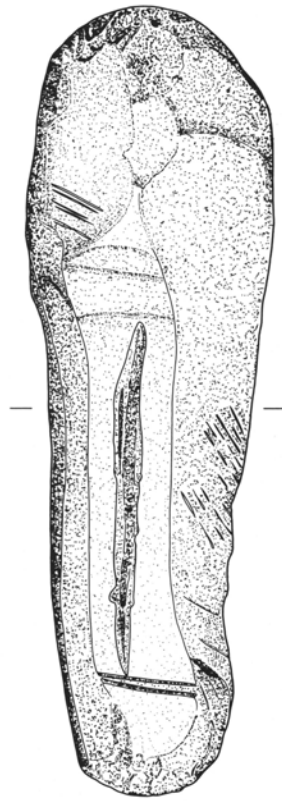
46



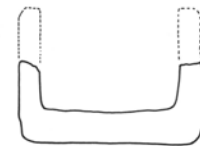
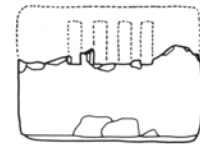
47



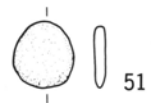
49



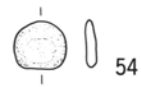
48



50



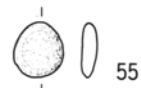
51



54



52



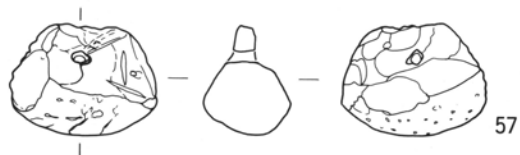
55



53



56

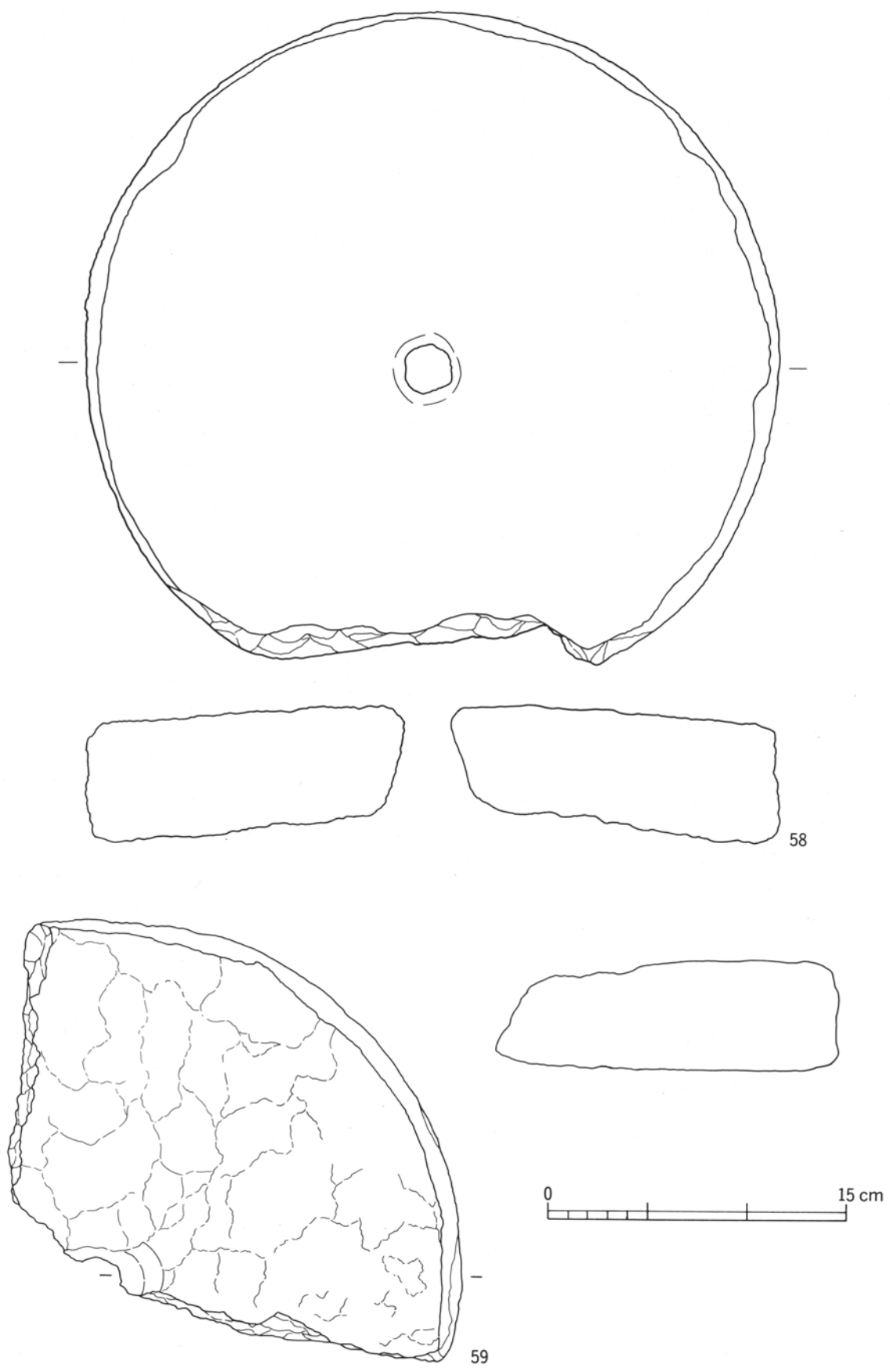


57



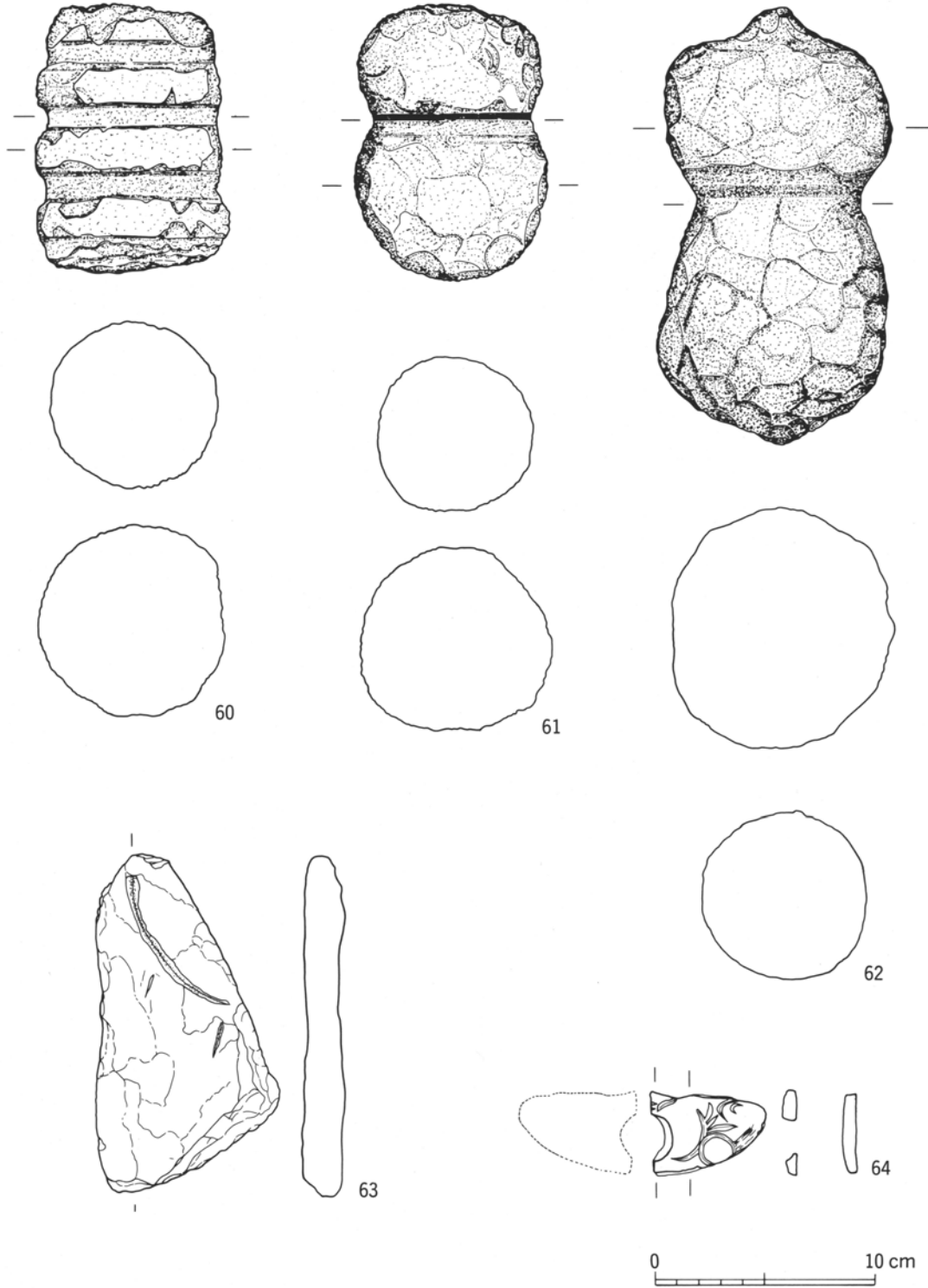
第176図 石製品(4)

砥石(3)・叩き石・バンドコ・基石・他



石臼

第177図 石製品(5)



宝篋印塔・五輪塔・他

第 178 図 石製品(6)

第8節 金属製品

朝日西遺跡から出土した金属製品は、鉄製品と銅製品が大半を占めており、鉄鎌・刀子類・煙管・銅鏡・椀・火打ち鎌・包丁・錐・火箸・釘・銅銭などが存在する。ここでは主要なものについて、種別に記載する。

鉄鎌 (第179図1・2) 両刃の鉄鎌が2点出土した。刃幅の広さから広根鎌(1)・細根鎌(2)に区分できる。共に関は鈍角に開き、刃の平面形は菱形状を呈す。2の下端の関部には突起が見られる。

刀子類 (第179図3～7) 刀子類には鉄製の刀子(3・4)、銅製の柄部(5・6)、銅製の切羽(7)がある。鉄製の刀子は遺存状況が不良で、明確な形状は不明。

煙管 (第179図8～11) 銅製の煙管は雁首部(8)と吸口部(9～11)がある。8の雁首は首部に肩が付かないもので、合わせ目が左に存在する。吸口はひとまわり大きい径の肩が付くI類(10・11)と付かないII類(9)とに分けられる。なお、10には羅字が一部残存している。

銅鏡 (第179図12) 12は藤棚図柄鏡で、鏡背面に「藤原光永」の文字が施されている。柄の端部は欠損しているが、面径は8.3cmを測る。紋様を比較すると八丈島から出土した柄鏡と同范の可能性があり⁽²⁾、江戸時代に属するものであろう。

銅椀 (第179図13) 13は高台を持つ椀で、底部に突起を持つ。

火打ち鎌 (第180図15) 15は火打ち鎌で、紐掛け部に孔を持つ。

包丁 (第180図16) 16は刃部の平面形が長方形の鉄製包丁である。

錐 (第180図17) 17は刃部の断面形が方形の鉄製錐である。柄部は木製で作られ、断面形は円形となる。

火箸 (第180図18～20) 銅の丸棒で、長さが短く欠損していると考えられる。用途は不明だが、火箸の可能性はある。19の先端には括れが見られる。

釘 (第180図24～29) すべて、いわゆる「和釘」という鍛造の角釘である。断面は四角で、頭部を偏平に叩いた後に巻き込んでいる。長さによって2類に区分ができる。

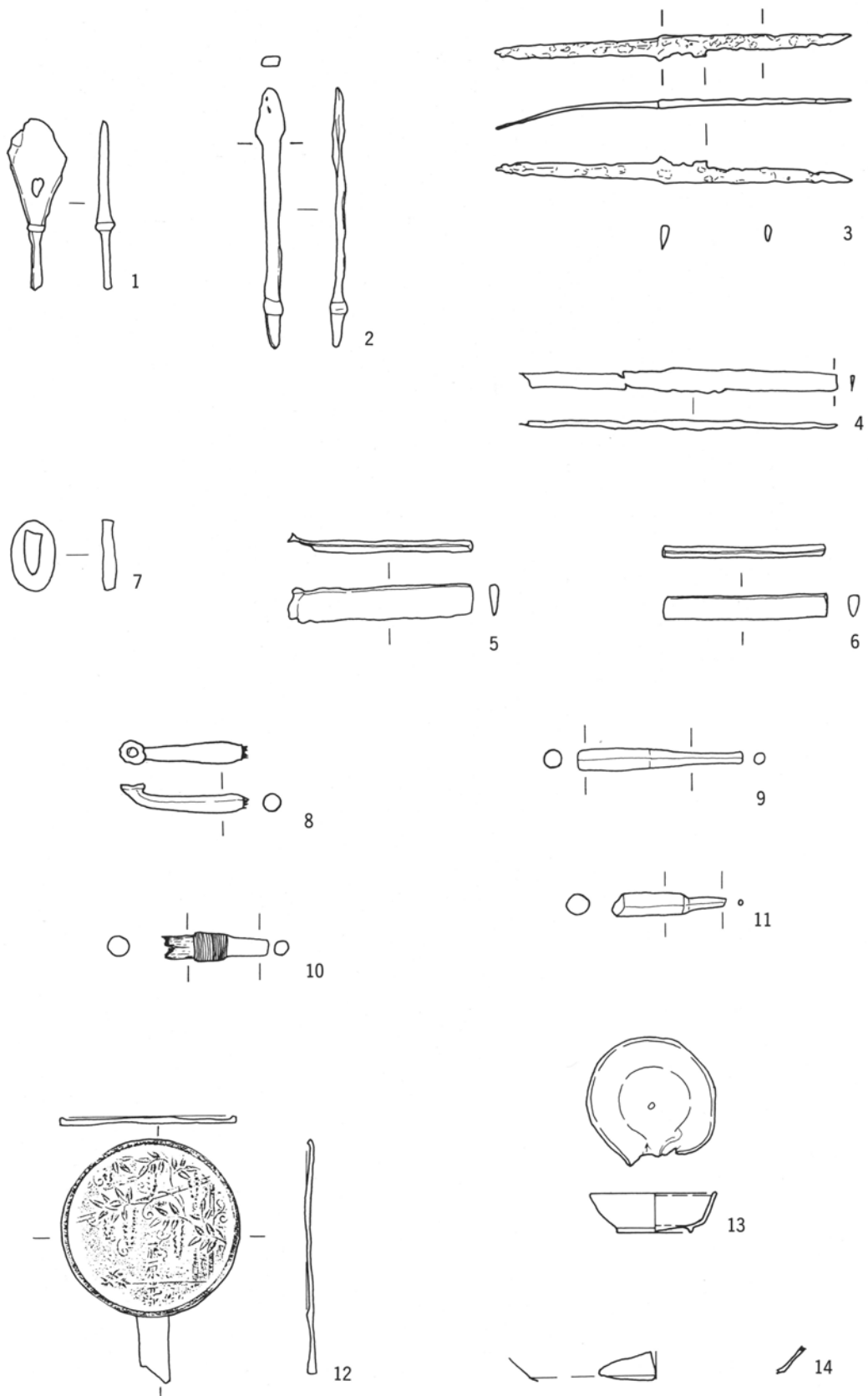
その他 (第179～180図14、21～23) 14は真鍮製の容器の体部で、形状は不明。21～23は鉄製品であるが、用途は詳らかにしない。(鈴木正貴・小澤一弘)

註

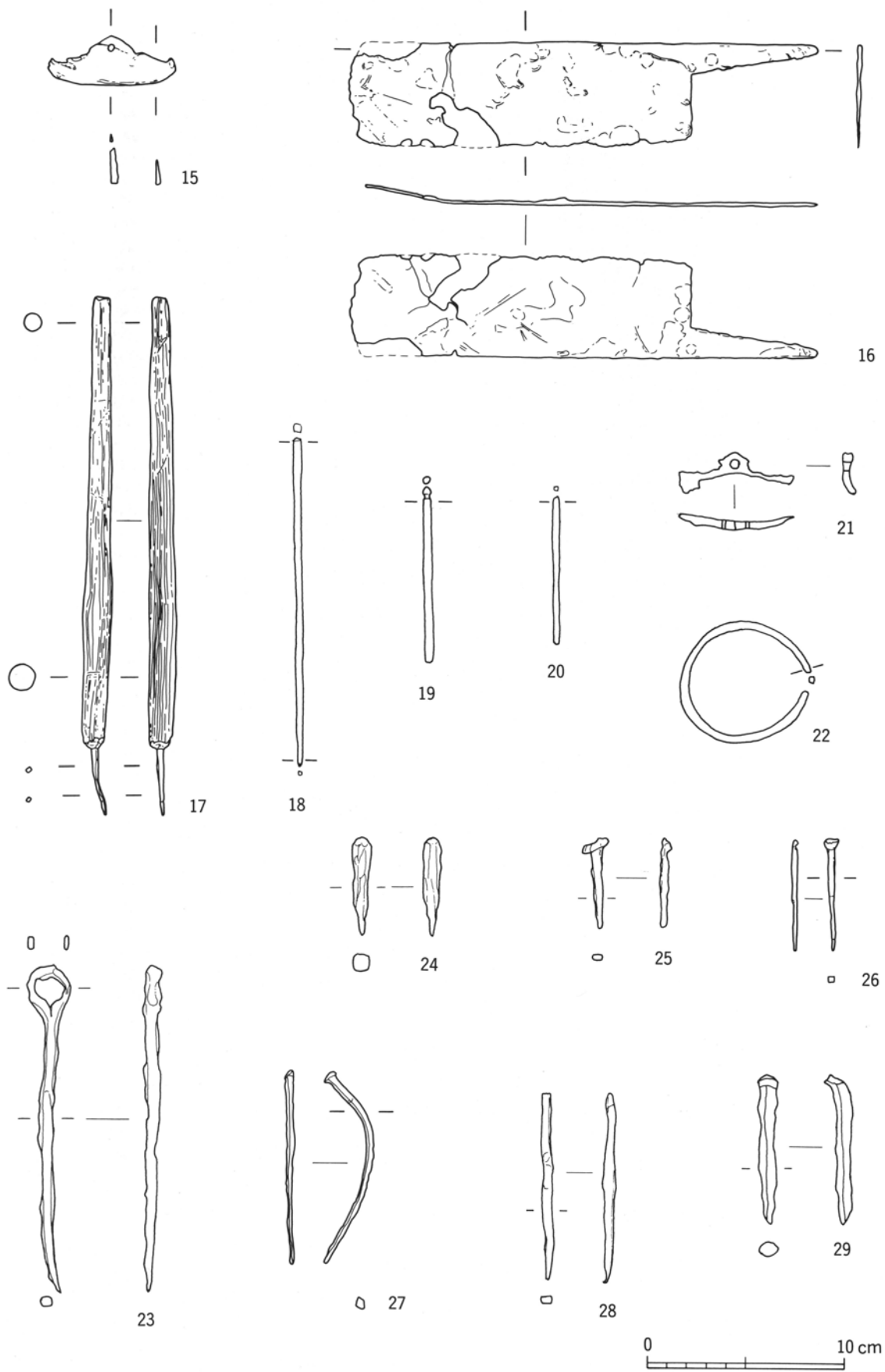
(1) 木戸雅寿「草戸千軒町遺跡出土の石鍋」『草戸千軒No.112』1982

(2) 永峯光一「伊豆諸島出土伝世和鏡基礎集成」『国学院大学考古学資料館紀要第8輯』1992

※本章のうちの第3・4・5・7・8節については小澤一弘が作成した図版を基に、城ヶ谷和広・鈴木正貴が原稿執筆及び補筆をしたものである。



第 179 图 金属製品(1)



第180图 金属製品(2)

第IV章 分析・考察

第1節 人・獣骨類の出土した大溝SD177

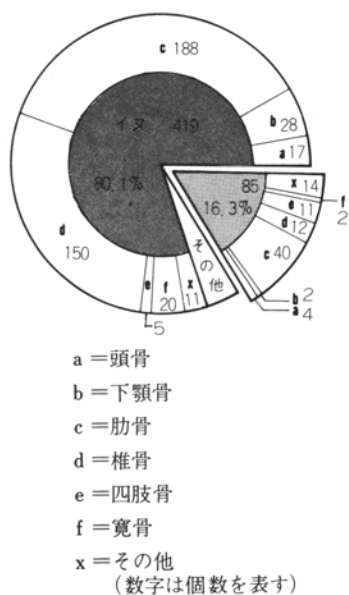
1. 遺構の位置と出土状態

59C・D区において、多数の人骨と犬骨が、他の遺物群とともに大溝SD177より検出された(第186図)。これらの資料は、近世初頭の興味ある精神生活の一端を垣間見せており、人骨等の鑑定結果とともにここに紹介する。

人・獣骨類の出土した大溝SD177は、屋敷地を画する溝の一つで、清須城下町の北東端に展開した寺社地における溝群のなかでもっとも西側に位置している(第39図)。幅7m、深さ0.8m、長さ17m程の規模であるが、南北方向に外堀と併走し、なお調査区外へと南走している。

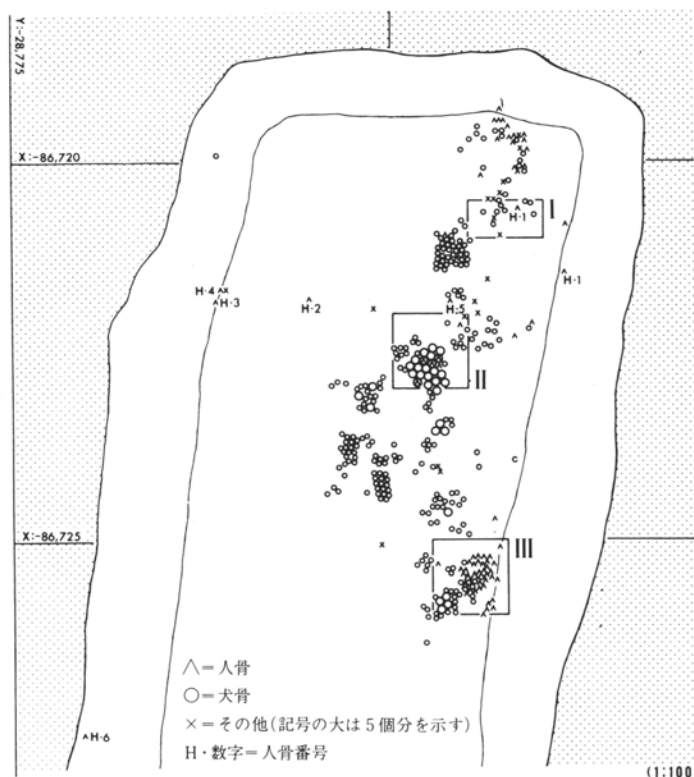
遺物群は、この溝の北東側において大小の群塊状態で検出され、いずれも溝の下層に安定的に堆積した黒褐色土～暗緑灰色粘質土層中より出土している。出土骨については、人骨も犬骨も、まったく解剖学的配列を示さず、かつ混然とした状態で出土している。しかも、第181図に見る如く特定の骨種に限定されている。このことから、出土状況は、あるまとまりをもって、溝の東肩より次々に投棄されたことを示していると考えられる。

こうした遺物群の投棄された時期は、溝が機能していた時期とは考え難く、溝の廃絶時、即ち「清須越」の始まる慶長15年(1610)前後のことと思われる。(遠藤才文・小澤一弘)



第181図 人・獣骨類種別構成

(下顎骨は頭骨の一部だが、本論では別に扱った。)



第182図 人・獣骨類出土分布図

2. 骨以外の遺物

S D177の下層粘質土中からの出土遺物は、その種類、量ともにきわめて豊富で、なかでも土師器が多く、やきものの中では全体の80%を占る。陶磁器類では瀬戸・美濃産の椀、皿、向付、茶入れ、播鉢や中国陶磁が、土器類では土師質の皿、鍋、釜、土犬、土鈴などが、木製品類では漆器の椀、箸、折敷、杓子、柄杓、曲物桶、下駄、数珠玉、編笠、呪符木筒、柿経、堆黒屈輪文香合蓋などが出土している。

これらの遺物は16世紀後半から17世紀初頭にかけての良好な一括資料である。

(遠藤才文・小澤一弘)

3. 出土した人骨および犬骨

(1) 人骨について

以下に述べる人骨の通し番号は、この報告書の記載上便宜的につけたものであり、採取された順に付されたオリジナル番号は括弧内に記してある。後日、採取リストと照合する必要を生じた際に、混乱を招かないようにとの配慮からである。

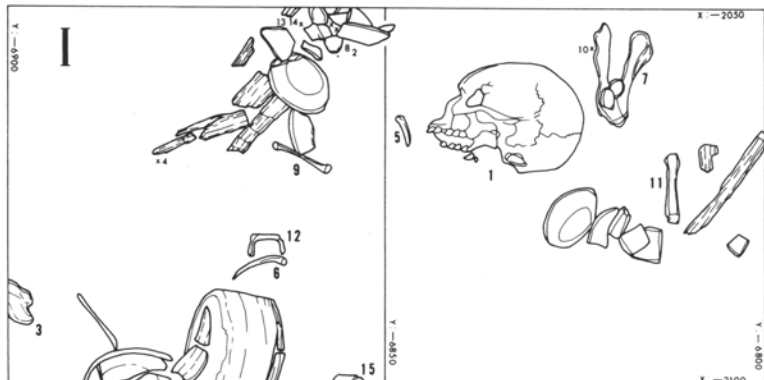
第1号人骨 (No.17、No.22)

熟年女性。出土時には解剖学的配列のあとを留めておらず、東西3m、南北6mの範囲内で散乱状態で出土したため、同一個体のものかどうか同定できなかった。しかしクリーニングした結果、これらはすべて同一個体であることが判明し、No.22の下顎骨もNo.17の頭骨の1部であることがわかった。その結果ほぼ全身骨格が揃ったことになり、骨質の保存状態も良好である。

歯式は右 $\begin{array}{cccccccc|cccc} M_3 & M_2 & M_1 & P_2 & \times & \times & \times & \times & I_2 & P_1 & \times & M_1 & M_2 & M_3 \\ M_3 & M_2 & M_1 & \times & \times & \times & \times & \times & \times & \times & \times & M_1 & M_2 & M_3 \end{array}$ 左で、×印は死後脱落し消

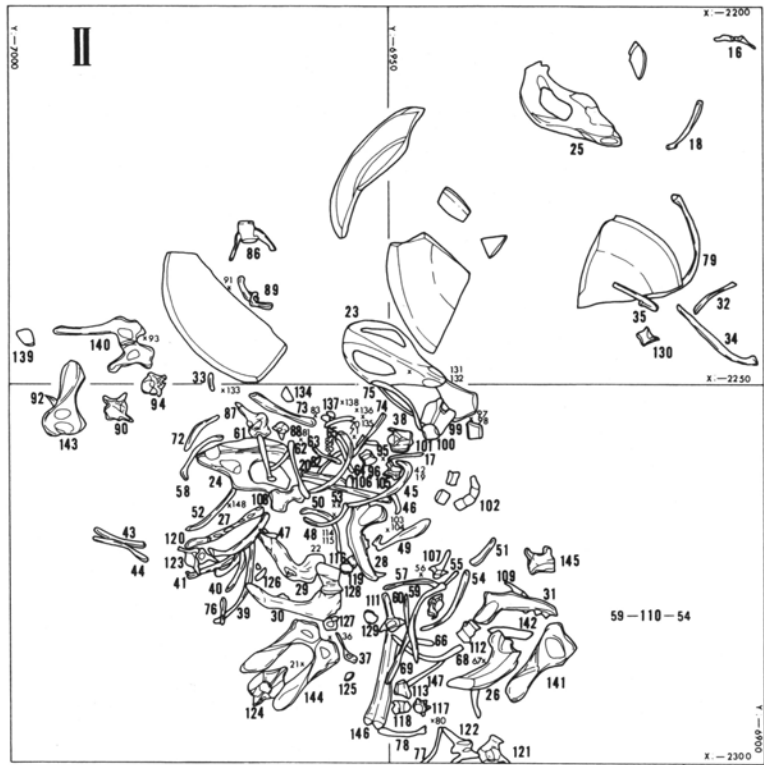
失した歯を意味する。脱落したあとの歯槽には、泥土がぎっしり詰まっており、投棄時にすでに脱落していた可能性がある。残存している歯は、すべて軽度の磨耗が認められるが、象牙質にまで達していない。

ヒト	頭骨	1
イヌ	頭骨	2
	下顎骨	3
	肋骨	4~6
	寛骨	7・8
	上腕骨	9
	尺骨	10
	脛骨	11
カメ		12~15

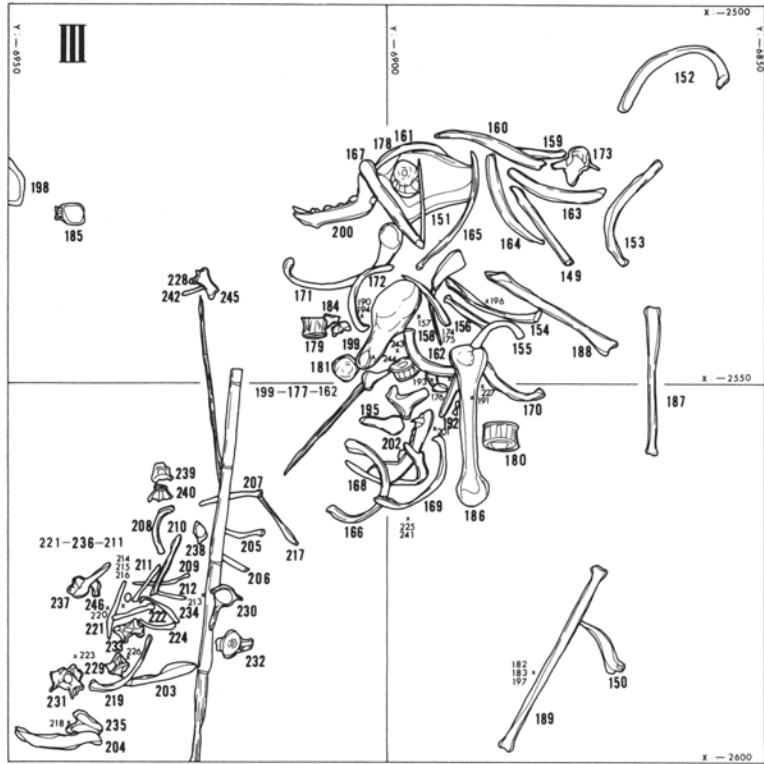


第183図 人・獣骨類出土状態図(1)

- ヒト 肋骨 17~22
- イヌ 頭骨 23~25
- 下顎骨 26~31
- 肋骨 32~85
- 椎骨 86~138
- 寛骨 139~144
- 仙骨 145
- 脛骨 146
- 腓骨 147
- 歯 148
- カメ 16



- ヒト 鎖骨 149・150
- 肩甲骨 151
- 肋骨 152~172
- 椎骨 173~183
- 胸骨 184
- 上腕骨 185・186
- 橈骨 187
- 尺骨 188
- 腓骨 189
- 指骨 190~192
- 足根骨 193~195
- 趾骨 196
- 歯 197

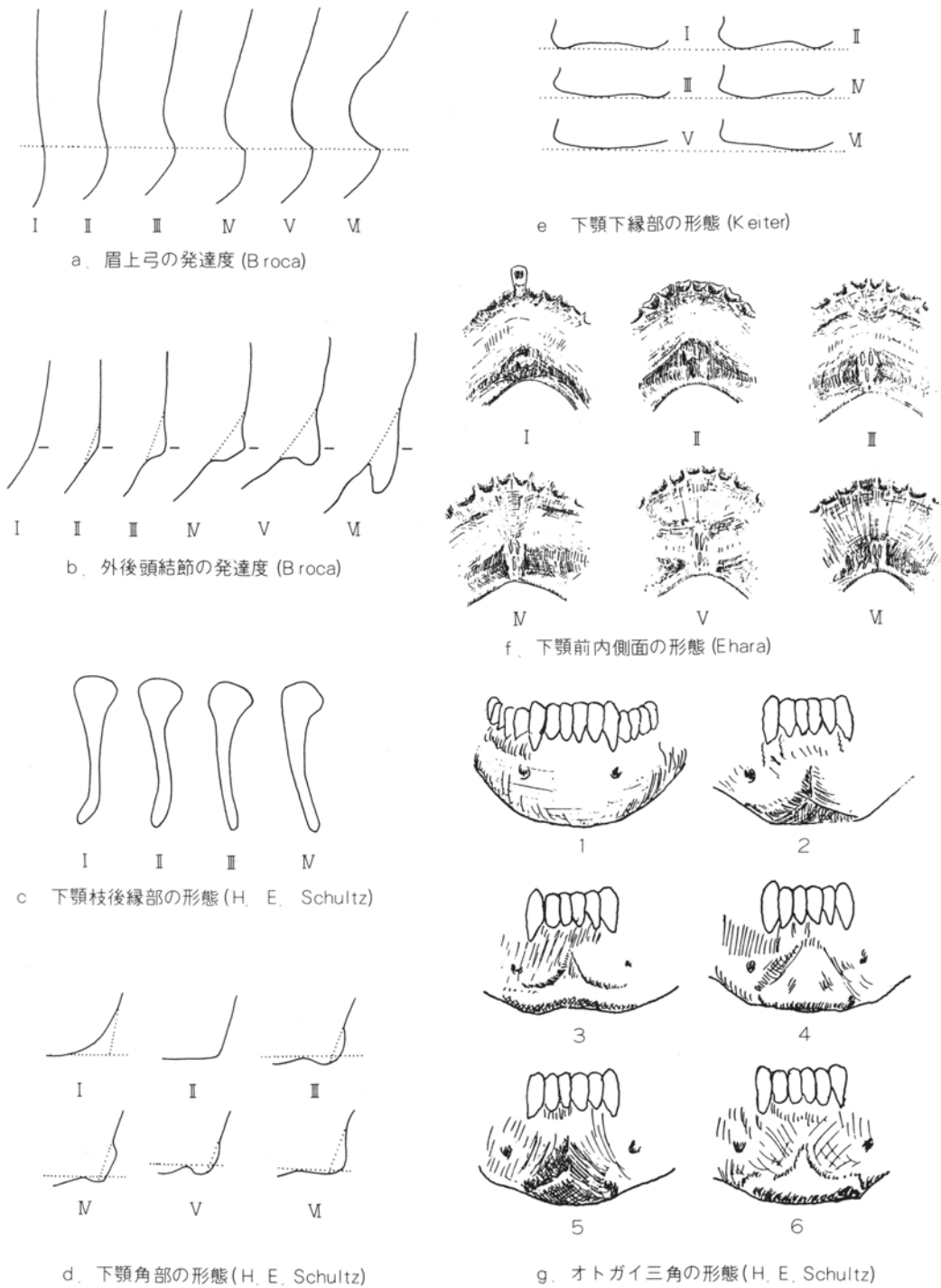


- イヌ 頭骨 198・199
- 下顎骨 200~204
- 肋骨 205~228
- 椎骨 229~242
- 寛骨 243・244
- 仙骨 245
- 歯 246

第184図 人・獣骨類出土状態図(2)

頭骨上面観はSergiの分類によると「菱形」に属し、頭示数は76.57で、長頭に近い中頭。Pterionの部分には、左右ともかなりよく発達したOs epiptericumが存在する。

前頭部は丸味があり、前頭結節の発達が強度ではないが認められる。眉上弓の発達は弱く、Broca II型 (第185図 a)。



第185図 頭骨各形質の分類規準

顔面部全体は頬骨弓の側方への張り出しもつよくはなく、華奢で小柄な印象を受けるが、眼窩下部のくぼみ (Fossa suborbitalis) はめだち、鼻背部はかなり隆起がつよく、全体として彫りの深い顔貌の持主だったらしい。古墳時代や中世に多く見られる扁平な顔つきのなかでは、かなりめだつたものと思われる (第187図、1 a)。

Kollmannの顔示数81.82、上顔示数49.27にもみられるように、低顔である。しかし低顔ではあるが顔幅が小さいために、眼窩高が大きい印象を受け、それは眼窩示数90.37にも反映しており、高眼窩hypsikionchに属する。眼窩軸は外側に向かって中程度に下がっているが、これも顔幅の発達がよくいことと関係があると思われる (第187図、1 b)。

鼻部は鼻示数49.19で中鼻mesorrhinに属する。鼻背部は側面観では凹から凸へとS状カーブを示し、RhinionはNasospinaleよりもかなりつよく前突しており、この時代の女性では稀有なほど、鼻すじが通っていて、隆起もつよかったと考えられる (第187図、1 a)。

乳様突起は中程度の発達で、外耳孔は卵円形である。

後頭部では、とくに後頭平面Planum occipitaleの膨隆がめだつが、外後頭結節そのものは、さほどつよくはなく、Broca II型を示す (第185図 b)。

下顎骨は全体として小さい印象を受け、とくにThomsonの下顎示数は64.92でdolichostenomandibular。下顎枝後縁部はS状カーブを示し、H.E.Schultz型 (第185図 c)。下顎角部では下顎前切痕および下顎上切痕がよく発達し、Schultz III型 (第185図 d)。下顎骨下縁部ではTorus marginalisがよく発達しており、Keiter III型 (第185図 e)。Eminentia Lateralisの発達もいちじるしい。下顎前部の側面観では切歯歯槽部の前突がつよい。オトガイ三角Mentum trigonumはSchultz III型 (第185図 g)。下顎前内側面では、切歯歯槽部が前上方に向くため、Torus transversus superiorが存在するかのように見える。切歯が脱落しているため、わかりにくい歯槽突顎性がある程度発達していたと思われる、Ehara I型 (第185図 f)。

大腿骨最大長 (374mm) に基き、Pearson推定式で身長を計算すると145.59cmで、現代近畿人女性の平均約146cmと比較して、あまり違いが認められない。

第2表 第1号人骨 (頭骨) 計測値

1 g-op	175.0	40 ba-pr	96.5	61 上顎歯槽幅	60.9
2 n-ba	95.5	43 fmt-fmt	101.8	62 ol-sta	40.5
8 eu-eu	134.0	45 zy-zy	130.5	63 上口蓋幅	27.1
頭示数	76.57	46 zm-zm	98.1	65 kdl-kdl	110.9
9 ft-ft	86.9	47 n-gn	106.0	66 go-go	89.7
11 au-au	120.6	顔示数47/45	81.22	68 下顎長	72.0
12 ast-ast	106.4	48 n-pr	64.3	下顎示数68/65	59.96
17 ba-b	128.0	上顎示数48/45	49.27	69 id-gn	26.4
23 頭周囲	495.0	50 mf-mf	23.9	70 go-kond	59.3
25 n-o 弧	352.0	51 mf-ek	37.4	71 下顎枝幅	35.8
26 n-b 弧	125.0	52 眼窩高	33.8	72 下顎枝角	115.0°
27 b-l 弧	125.0	眼窩示数52/51	90.37		
28 l-b 弧	102.0	54 鼻幅	24.4		
29 n-b 弧	109.0	55 n-ns	49.6		
30 b-l 弧	110.9	60 pr-alv	52.0		
31 l-o 弧	86.3				

第2号人骨 (No.1)

熟年女性。顔面頭蓋部は破損消失し、頭蓋底部をともなう脳頭蓋部 (Calvaria) のみ残存。

骨質保存度はふつう。矢状縫合の閉鎖はかなり進行しており、熟年と推定。

上面観では頭蓋の輪郭はかなり歪んでいるが、これは生前からのものと思われる (第187図、2 C)。頭示数74.58で長頭である。

前頭部は丸味を帯びて膨隆しており (第187図、2 a)、前頭結節がある程度認められる。頭頂結節はきわめて顕著である。眉上弓の発達はやわく、Broca II型 (第185図 a)。

乳様突起は小さく、外耳孔は卵円形である。

後頭部とくに後頭平面の膨隆がつよく、丸味があり、外後頭結節はBroca III型 (第185図、b) に属する。

第3表 第2号人骨 (頭骨) 計測値

1 g-op	177.0	11 au-au	110.0	26 n-b 弧	121.0
2 n-ba	94.4	12 ast-ast	109.1	27 b-l 弧	133.5
8 eu-eu	132.0	17 ba-b	125.5	28 l-o 弧	105.5
頭示数	74.58	23 頭周囲	491.0	29 n-b 弧	105.1
9 ft-ft	94.9	25 n-o 弧	360.0	30 b-l 弧	120.5
				31 l-o 弧	89.2

第3号人骨 (No.9)

脳頭蓋部 (頭蓋底は欠如) と左顔面の1部からなるが、破損と変形がいちじるしく、骨質も脆くなっている (第187図、3)。縫合閉鎖はかなり進行しており、熟年もしくは老年女性と推定される。すぐ傍から下顎骨 (第4号人骨) が出土しているが別個体。両者とも骨化したものが投棄されたものと考えたと辻褄が合う。

前頭部は膨隆し、丸味がつよく、前頭結節が認められる。眉上部の発達はほとんどみられない。頭頂結節の発達はあまりつよくない。乳様突起は小さく、外耳孔は卵円形を呈する。

顔面部では左眼窩の部分が残存しており、それによると眼窩軸は外側に下がっていることがわかる。左鼻部の1部が残っており、第1号人骨と同じように、鼻根部の切れ込みはつよくなり扁平に近いが、鼻背部はかなり隆起していたと思われる。

第4号人骨 (No.2)

下顎骨。第3号人骨 (頭骨) のすぐ傍から出土したが、いちじるしく推定年令を異にしており、別個体と見做すべきであろう。

この下顎骨では、左右の下顎枝は欠如している。下顎体の形状から、多分成人女性のものと思われる (第187図、4 a、b)。

左第3大臼歯部が残存しているが、第3大臼歯は歯槽内に埋没しており、第2大臼歯にさえぎられて萌出できなかった可能性がある (第187図、4 c)。附近から上顎左右中切歯および右上顎犬歯が遊離して出土しているが、摩耗があまりなく、第2号人骨と同一個体のものの可能性もある。

下顎下縁部ではTorus marginalisがよく発達しており、側面観ではKeiter III型に属する (第185図 e)。オトガイ三角Mentum trigonumの形態はSchultz VI型 (第185図 g)。下顎体前内面部ではPars incisiva

がよく発達しており、Ehara VI 型（第185図 f）。

第5号人骨 (No.10)

頭蓋底部の大後頭孔の左側が破損欠如しているが、顔面部はすべて残っている。乳歯列は完成しているが、永久歯は未萌出で、5～6才の幼児。性別不明（第187図、5 a、b、c）。

いちじるしく長頭で、頭示数は約72.6。頭頂結節はよく発達しており、後頭部は紡錘状に後方に突出。俗にいう、いちじるしい「才槌頭」である。

第6号人骨 (No.100)

S D117の西側境界付近で、他の人骨や犬骨とはかなり離れて、寛骨の1部と関節した状態で、左大腿骨1本だけが出土した（第187図、6）。

その骨体部後面には、きわめて鋭利な刃物で、近位部から縁位部にかけて外側上方から内側下方へと、斜めに約5cmの等間隔で、しかも平行に深い切り込みがつけられており、最遠位部の4ヶ所目の位置で大腿骨は完全に、しかも鋭利に切断されている。

この部分は人体中でも筋肉の被覆のもっとも肥厚した部分であり、また切り込み箇所がはつきり取られていることから、死体もしくは死後骨化したものを損傷したと考えられる。その意味するところは不明である。

(2) 犬骨について

犬骨は人骨と重複するかたちで、粒度の細かいシルト状土壌中から出土。

頭骨・寛骨のほかに、多数の肋骨や椎骨が群塊状態で発見されたが、四肢の長管骨で見ると、若令個体はきわめて少ない。肩甲骨は皆無である。しかも解剖学的配列を示さないの、人骨の場合と同じように、すでに骨化したものがまとめて投棄されたらしい。

クリーニング後、確認したところでは、頭骨と下顎骨は15体分あるが、そのうち12対を対応させることができた。寛骨は13個体分が認められている。総合して少なくとも18個体分と考えられるが、頭骨と寛骨の対応は不可能で、それら以外の個体が含まれている可能性も排除できない。

性別はオス3個体、メス6個体、オスらしきもの2個体、不明2個体。

今回出土した犬骨には、かなり大きな個体変異が認められたことは、特筆に値しよう。

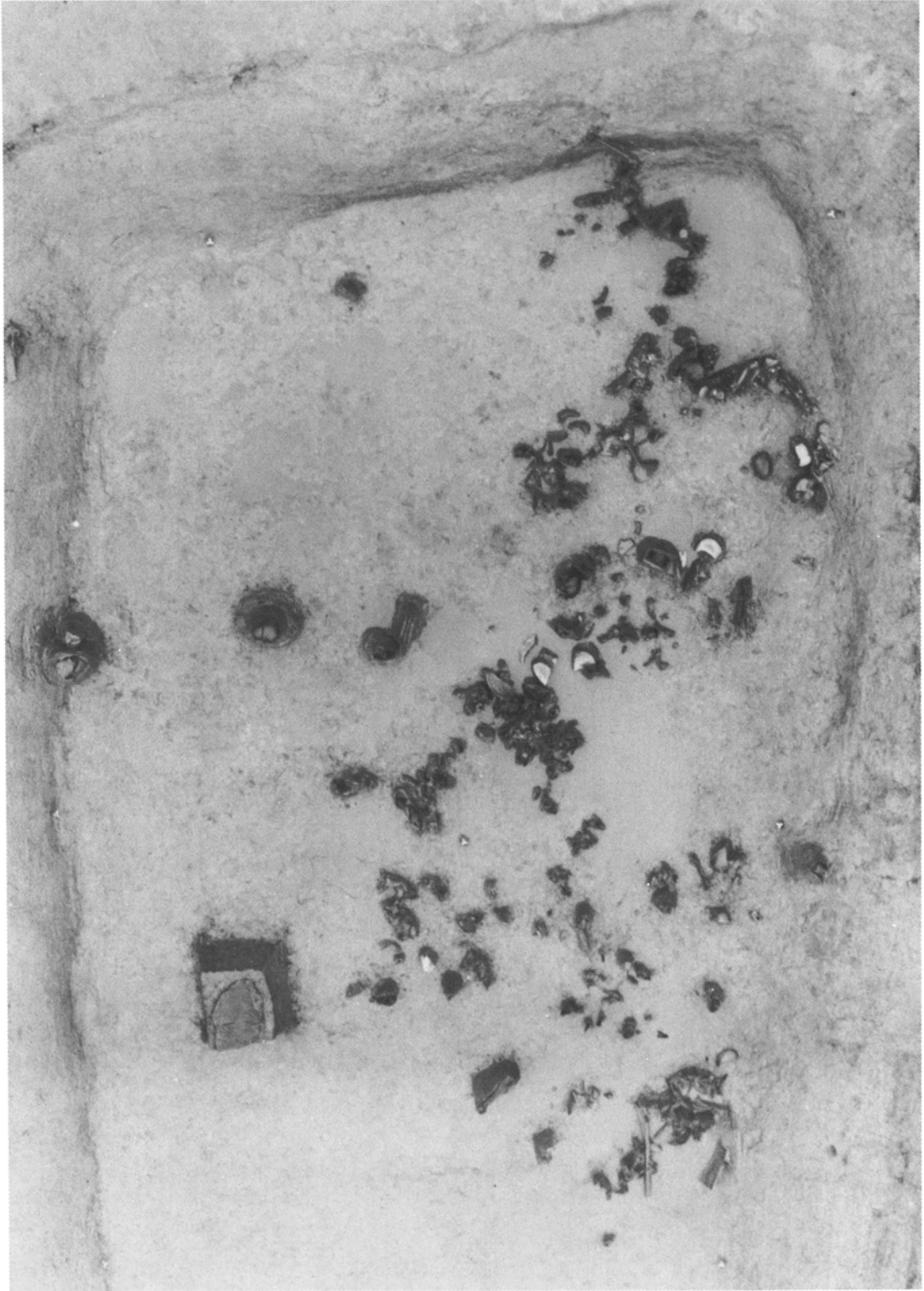
なおこれらの個々の計測データは、「朝日西遺跡出土の犬骨について」の題名のもとに、『人類学雑誌94巻3号』に掲載した。（江原昭善・松本真・木下実）

4. 結 語

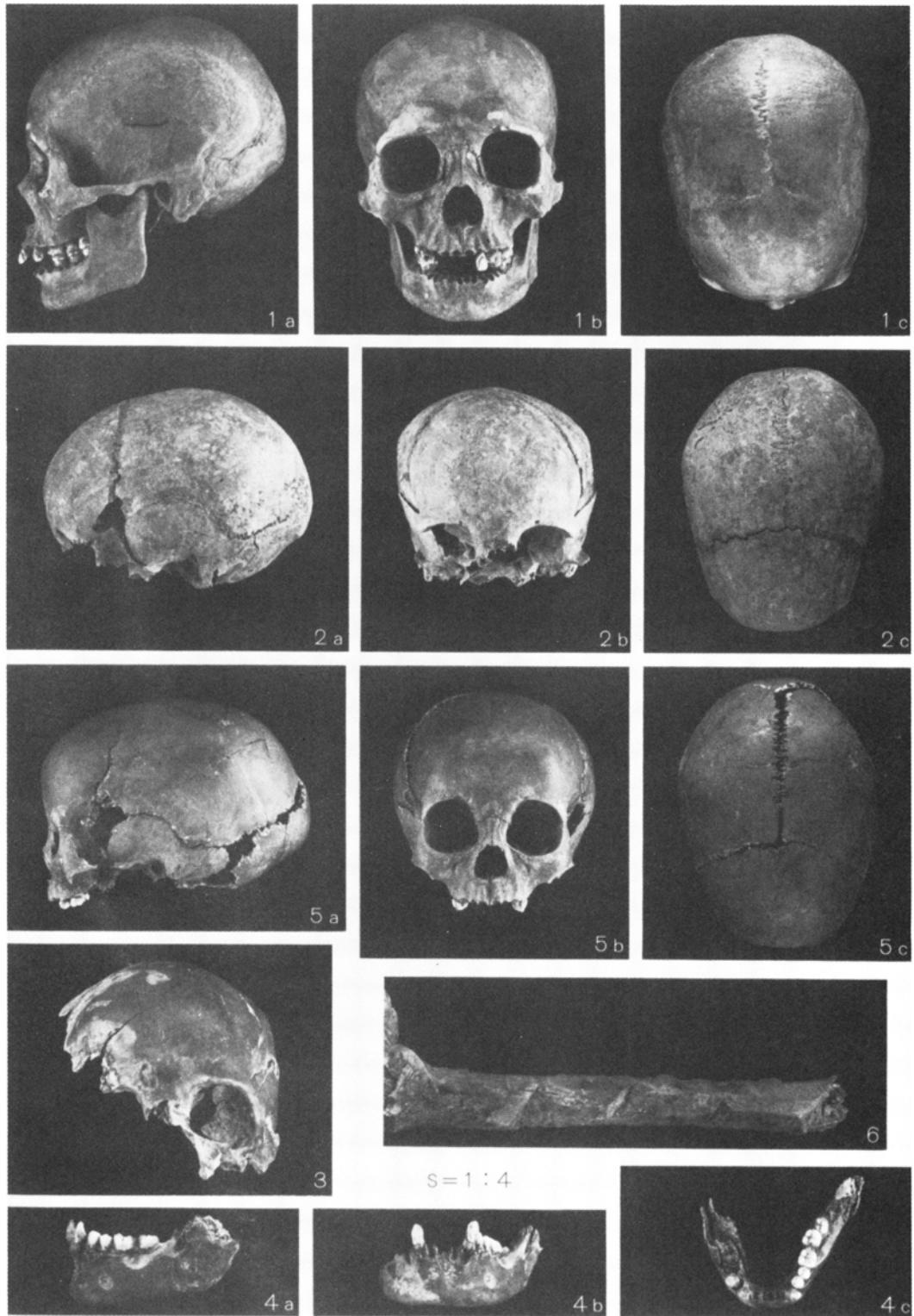
すでに述べてきた人骨や犬骨が、「清須越」に際して、まとめて投棄されたものらしいことは明らかである。

多数まとめて出土した犬骨にかなり大きな個体的変異が認められるのは、すでにこの時期に、在来犬に混じって外来犬が持ち込まれた記録もあるので、興味がある。

しかし、これらの犬骨が大量にまとめて投棄された理由は何か、人骨と混在している理由や、損傷された大腿骨が何を意味するかなど、今後多方面からのアプローチが必要になることだろう。



第 186 図 遺物出土状態



第 187 図 人骨

第2節 朝日西遺跡関連出土木製品材質同定

朝日西遺跡に関連して、出土木製品の樹種同定分析をパリノ・サーヴェイ株式会社に依頼し、実施した。ここでは上記の依頼報告書に基づいて記述したが、一部組替、削除・変更を行い、考察-2を加筆した。その責はすべて筆者にある。

1. 試料

清須城とその城下町は、五条川中流域に位置する。発掘調査は、当初五条川以西を清洲城下町遺跡、五条川以東を朝日西遺跡として行われたが、ともに中世末から近世初頭の遺構・遺物が認められることなどから、これらが全体として清須城下町を形成していたことが明らかになった（梅本1989）。

試料は、清洲城下町遺跡と朝日西遺跡から出土した漆器椀、漆器皿、井戸杵などの木製品108点（No.1～No.109、No.67は欠番）で、時代は12世紀～14世紀（No.66）、15世紀末～16世紀初（No.1～No.46）、15世紀末～16世紀中（No.47～No.64、No.68）、16世紀末～17世紀初（No.65、No.69～No.109）に分かれる。

2. 方法

同定対象とした木製品にはPEG（ポリエチレン・グリコール）の含浸処理を施したのもあった。このような試料はぬるま湯に浸しPEGを溶脱したものを同定材料とした。それ以外の試料は水漬けの状態であったのでそのまま同定試料とし、以下のような方法で同定した。

剃刀の刃を用いて、試料の木口・柾目・板目の3断面の徒手切片を作製、ガム・クロラールで封入し、生物顕微鏡で観察同定した。

3. 結果

同定結果を第4表に示す。108点の試料の中には試料の劣化が激しく類似種としたものや同定できないものもあった。同定できた樹種の特徴や現生種の一般的な性質は次のようなものである。なお、一般的性質などについては平井（1979～1982）を参考にした。

コウヤマキ スギ（コウヤマキ）科

コウヤマキは、通常コウヤマキ科に独立させる（1科）1属1種の日本特産の常緑高木である。自生地は本州（福島県以南）・四国・九州に点在し、また植栽される。材はやや軽軟で割裂性は大きく、加工は容易、保存性は中程度であるが耐水性がある。各種樽桶類・土木・船材・棺材などの用途がある。

ヒノキ属の一種 ヒノキ科

ヒノキ属には、ヒノキとサワラの2種がある。ヒノキは本州（福島県以南）・四国・九州に分布し、また各地で植栽される常緑高木で、国内ではスギに次ぐ植林面積を持つ重要樹種である。材はやや軽軟で加工は容易、割裂性は大きい、強度・保存性は高い。建築・器具材など各種の用途が知られている。サワラは本州（岩手県以南）・九州に自生し、また植栽される高木で多くの園芸品種がある。材は軽軟で割裂性は大きく、加工も容易、強度的にはヒノキに劣るが耐水性が高いため、樽や桶にするほか各種の用途がある。

ハンノキ属の一種 カバノキ科

ハンノキ属は国内に約10種が自生し、ハンノキの仲間（＝ハンノキ亜属）とヤシャブシやミヤマハンノキの仲間（＝ヤシャブシ亜属）に分けられる。後者についてはミヤマハンノキ属として独立させ

の見解もある。いずれも根に根瘤菌が共生しているため瘦地でもよく生育する。材はやや軽軟～やや重硬で、加工は容易、薪炭材や各種器具材などとして用いられるほか、炭が黒色火薬の原料となる種類もある。また樹皮や果実を染料とすることもある。

カバノキ属の一種 カバノキ科

カバノキ属は、シラカンバ、ダケカンバなど11種が自生し、主として本州中北部・北海道の山地・高山・寒冷地などに生育する落葉高木～低木である。このうちミズメは日本固有種で、本州（岩手県以南）・四国・九州の山地に生育する。ミズメの材は重硬・強靱で、加工は困難ではなく、各種の道具・器具材、木地・家具材などに用いられる。梓弓に使われるアズサを本種とする見解もある。

ハシバミ属類似種 カバノキ科

ハシバミ属には、オオハシバミとその変種ハシバミ、オオツノハシバミとその変種ツノハシバミがある。このうちハシバミに関しては、オオハシバミと同一種としてハシバミとする見解もある。広義のハシバミ・ツノハシバミとも北海道から九州の山野に見られる落葉小高木～低木であるが、西日本にはやや少ない。材は重硬・強靱で、器具材や薪炭材などに用いられる。果実は食用となり、また搾油されることもある。

ブナ属の一種 ブナ科

ブナ属には、ブナとイヌブナの2種がある。ブナは北海道南西部（黒松内低地帯意南）・本州・四国・九州に、イヌブナは本州（岩手県以南）・四国・九州の主として太平洋側に分布する。イヌブナのほうがブナより低標高地から生育し、またブナのような大群落をつくることはない。ブナは、日本の冷温帯落葉樹林を代表する樹木で、かつては東日本の山地に広く生育していたが、近年、植林などによって生育地が激減している。材はやや重硬で、強度は大きい加工はそれほど困難ではなく、耐朽性は低い。木地・器具・家具・薪炭材などの用途があったが、最近では各種の用途に用いられている。また種子は食用となり、搾油される。

クリ ブナ科

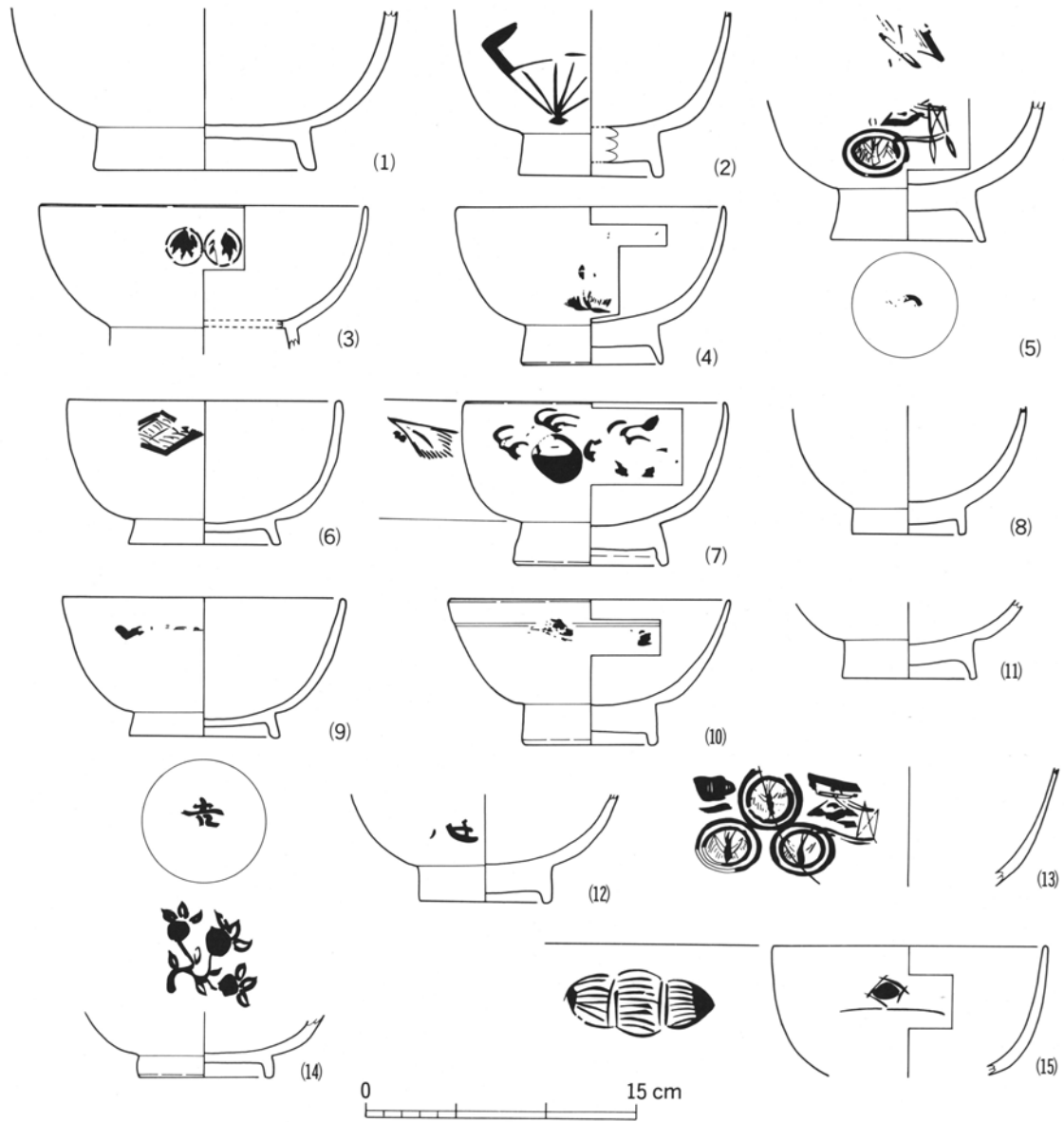
クリは北海道南西部・本州・四国・九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、加工はやや困難であるが耐朽性は高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材・楢木や海苔粗朶などの用途が知られている。樹皮からはタンニンが取られ、果実は食用となる。各地の遺跡からの出土例の多い樹種である。

ケヤキ ニレ科

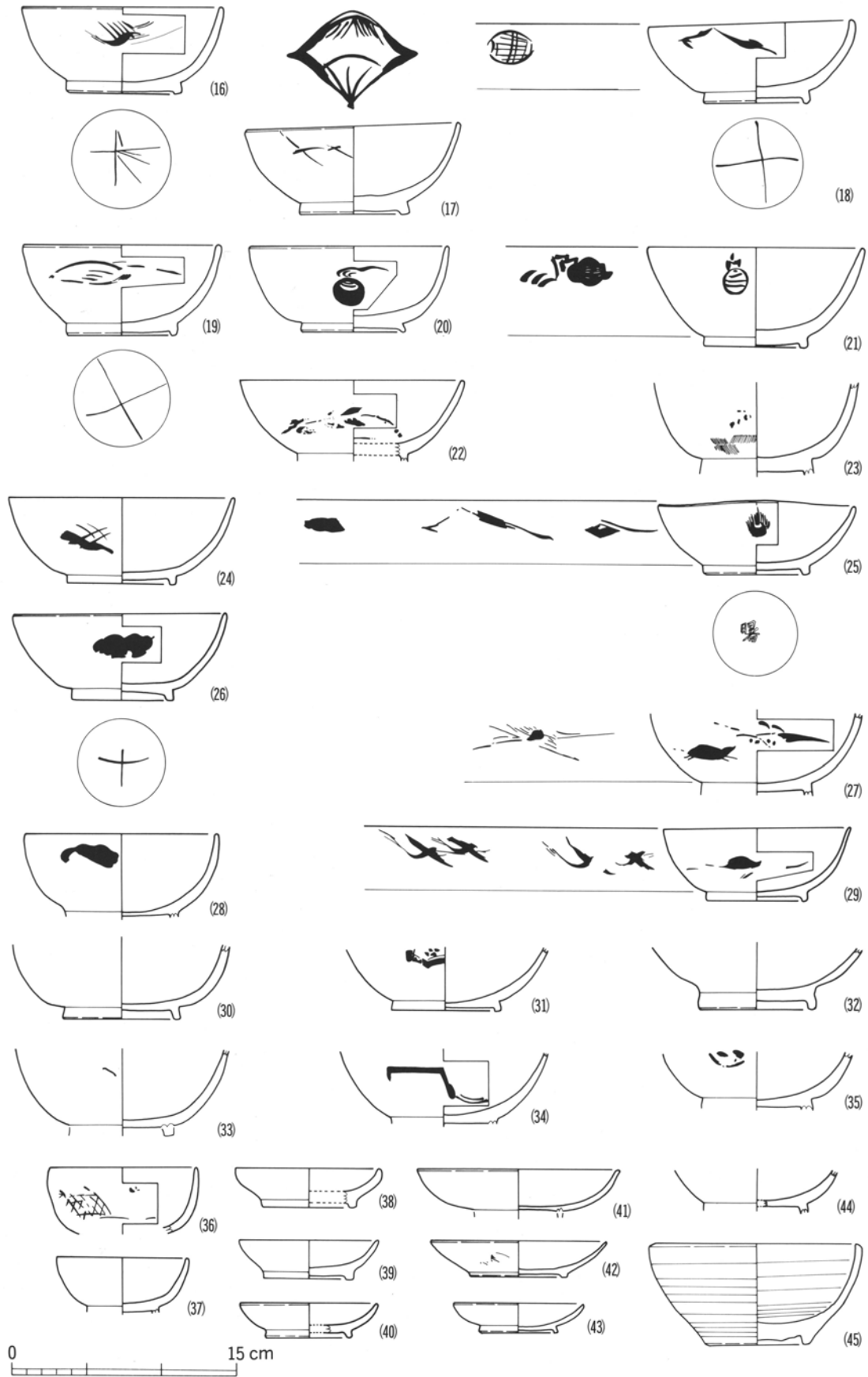
ケヤキは本州・四国・九州の谷沿いの肥沃地などに自生し、また屋敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにも達する。材はやや重硬で、強度は大きい加工は困難ではなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途が知られ、国産広葉樹材の中で最良のものの一つに上げられる。

カツラ類似種 カツラ科

カツラは北海道から九州に自生する落葉高木である。カツラ属にはこのほか、本州北中部の亜高山帯に分布するヒロハカツラがある。カツラの材はやや軽軟で、割裂性は大きく、加工は容易、強度・保存性は低い。大径木が多く、欠点が少ないため、各種の道具・器具・木地・家具・建築・彫刻材な



第 188 図 樹種同定遺物実測図(1)



第 189 図 樹種同定遺物実測図(2)

第4表 清洲城下町遺跡から出土した木製品の樹種

No.	検出遺構など	用途	時代	樹種名
1	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
2	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
3	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	ブナ属類似種
4	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	カツラ類似種
5	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
6	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	クリ
7	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
8	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	タカノツメ類似種
9	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
10	清洲城下町遺跡 90D S K101	漆塗椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
11	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
12	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
13	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	クリ
14	清洲城下町遺跡 90D 検Ⅲ	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
15	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
16	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
17	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆塗椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
18	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
19	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トネリコ属の一種
20	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
21	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	クリ
22	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
23	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
24	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
25	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
26	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川最下層	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
27	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川最下層	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
28	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
29	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹(環孔材)
30	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
31	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
32	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
33	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
34	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川最下層	漆塗椀	15世紀末～16世紀初	サクラ属類似種
35	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ類似種
36	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ハシバミ属類似種
37	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹(散孔材)
38	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属類似種
39	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ類似種
40	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	カバノキ属の一種
41	清洲城下町遺跡 90B 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
42	清洲城下町遺跡 90B 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
43	清洲城下町遺跡 90B 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
44	清洲城下町遺跡 90B 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
45	清洲城下町遺跡 90B 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
46	清洲城下町遺跡 90B 旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
47	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
48	清洲城下町遺跡 59C S D05下層(IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
49	清洲城下町遺跡 59C S D05下層(IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	ブナ属の一種
50	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	カツラ類似種
51	清洲城下町遺跡 59C S D05下層(IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	クリ類似種
52	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	広葉樹(散孔材)
53	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	カバノキ属の一種
54	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
55	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	ケヤキ
56	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	広葉樹(環孔材)
57	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
58	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	広葉樹(散孔材)
59	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
60	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	カバノキ属の一種

No.	検出遺構など	用途	時代	機種名
61	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
62	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
63	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
64	清洲城下町遺跡 59C S D05 (IISD66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ類似種
65	朝日西遺跡 (S D222) (外部)	曲物	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種
66	朝日西遺跡 (S K503)	漆器皿	12世紀～14世紀	トチノキ
68	清洲城下町遺跡 59C S D05西(II S D66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	ハンノキ属の一種
69	清洲城下町遺跡 90D 旧五条川	卒塔婆	15世紀末～16世紀初	ヒノキ属の一種
70	清洲城下町遺跡 89F S D02	人形	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
71	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
72	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
73	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
74	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
75	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
76	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
77	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
78	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種
79	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
80	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
81	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
82	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
83	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
84	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
85	朝日西遺跡 S E47上段	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
86	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵1	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
87	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵2	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
88	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵3	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
89	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵4	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
90	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵5	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
91	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵6	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
92	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵7	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
93	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵8	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
94	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵9	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種
95	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵10	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
96	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵11	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
97	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵12	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
98	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵13	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
99	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵14	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
100	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵15	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
101	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵16	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
102	清洲城下町遺跡 59D S E03(II S E26)	井戸杵17	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
103	清洲城下町遺跡 60C S E04(II S E33)	井戸杵	16世紀末～17世紀初	コウヤマキ
104	清洲城下町遺跡 60F S E02(II S E03)	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
105	朝日西遺跡 S E09	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
106	朝日西遺跡 S E39	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
107	朝日西遺跡 S E43	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
108	朝日西遺跡 S E51	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
109	朝日西遺跡 S E35	井戸杵	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種

清洲城下町遺跡出土資料は、調査当時の旧遺構番号を中心に記載したが、既に報告書になっているものについては()で新番号を付した。

どに用いられる有用材の一つである。

サクラ属類似種 バラ科

サクラ属には、ヤマザクラやウワミズザクラなど15種が自生し、多くの変・品種がある。また、モモやスモモなど古い時代に伝えられ栽培されているものもある。多くは落葉性の高木～低木であるが、バクチノキ、リンボクの常緑樹も含まれる。このうちヤマザクラは、本州（宮城・新潟県以南）・四国・九州の山野に分布する落葉高木で、材は中程度～やや重硬・強靱で、加工は容易、保存性は高い。各種器具材をはじめ、機械・家具・楽器・建築・薪炭材など様々な用途が知られている。また樹皮は樺皮細工に用いられている。

トチノキ トチノキ科

トチノキは北海道（南西部）・本州・四国・九州の主として谷沿いの肥沃地に生育する落葉高木で、東北地方に多く九州には少ない。材は軽軟で、加工・乾燥が容易で、耐朽性は小さい。器具・家具や旋作材・木地などに用いられる。種子は澱粉を多く含み食用となるほか、タンニン原料ともなる。

タカノツメ類似種 ウコギ科

タカノツメは北海道（渡島）・本州・四国・九州の山地の林内に生育する落葉高木である。材は軽軟で割裂性が高い。一般に器具材（箱・杓子・箸等）・下駄材・薪炭材に用いられる。

トネリコ属の一種 モクセイ科

トネリコ属には、シオジ、トネリコアオダモ、など約8種が自生する。このうちアマトアオダモ・マルバアオダモ・アオダモは北海道・本州・四国・九州に、ヤチダモは北海道・本州（中部地方以北）に、トネリコは本州（中部地方以北）に、シオジは本州（関東地方以西）・四国・九州に分布する。いずれも落葉高木である。材の性質は種によって異なるが、一般には中庸～やや重硬で、靱性があり、加工は容易で、建築・器具・家具・旋作・薪炭材などの用途が知られる。

4. 考察－1

108点の試料の同定結果を各用途別の樹種構成にまとめたものを第5表に示す。これを見ると、最も試料数の多かった漆器椀は、トチノキ、ブナ属で61.7%を占め、残りの38.3%を8樹種と不明樹種が占める。今回の試料はいずれもII－1期（15世紀末～16世紀中）に含まれるが、前回の調査（パリノ・サーヴェイ株式会社、1990）でもII－1期はトチノキ、ブナ属が多く、全体の53.8%を占めていた。また、これ以外に同定された樹種もハンノキ属、ケヤキ、カツラ類似種、サクラ属類似種等前回の樹種と重なるものが多く、良く似た結果となっている。今回の漆器椀の同定結果を遺構別にまとめたものを第6表に示した。これを見ると、59C区と90D区はともに樹種構成が豊富なことで一致するが、90D区でブナ属とトチノキがほぼ同数なのに対し、59C区ではトチノキが圧倒的に多く、他の樹種はカバノキ属の2点を除きすべて1点であった。また、90B区では試料数は少ないが、トチノキとブナ属しか同定されなかった。これらの違いが地区による違いかどうかは判断できない。さらに試料数を増やし検討すべきであろう。

漆器皿は今回6点あり、そのうち3点は樹種の同定ができなかった。そのため、今回の結果から用材の傾向等は判断できないが、漆器椀で多かったトチノキ・ブナ属が1点ずつ含まれており、トチノキ・ブナ属の材は椀だけでなく皿にも使用されていたことがわかる。特にトチノキの漆器皿は12世紀～

14世紀とされており、古くからトチノキが漆器の材料として使用されていたことがわかる。漆器碗と漆器皿を除く井戸杵、曲物、卒塔婆、人形は、ヒノキ属がそのほとんどを占め、ヒノキ属以外の樹種では、コウヤマキが井戸杵に1点使用されているのみである。ヒノキ属は今回4つの用途に用いられており、前回指摘したように現在と違って広い用途に使用されていたことがわかる。

井戸杵は39点中38点がヒノキ属で、1点がコウヤマキであった。今回の試料はいずれも16世紀末～17世紀初とされており、時期的には前回の調査ではI期ではコウヤマキが、II期ではヒノキが使用されていた。今回の結果はII期でもコウヤマキを使用していた井戸があったことを示している。また、鈴木(1989)は、清洲城下町遺跡と朝日西遺跡から出土した井戸桶を下端部の形態から、A、B-1～B-3、C、Dの6種類に分類している。今回同定した試料では、No.103、104以外の37点がC類を除く5種類に分類されている(第7表)が、今回の調査では形態による樹種の違いは見られなかった。

5. 考察-2

108点の試料の同定結果から導かれた各用途別の樹種構成について、さらに若干の考察を加える。特に、漆器については次節で論じているので参照されたい。

A. 漆器

今回の漆器についての樹種同定の主要な目的は次の3点に要約できる。

①時期による樹種構成

まず、第1点は、時期によって樹種構成が異なるか否かということである。前回の調査(1990)では、いわゆる「城下町期前期(II-1期)」と「城下町期後期(II-2期)」との樹種構成が異なる様相が予見されていた。具体的には、城下町期前期(II-1期)にはトチノキをはじめブナ属・ケヤキ・ヒノキ属・クリ・サクラ属・カツラ・ハンノキなど樹種構成が多様であるのに対し、城下町期後期(II-2期)ではトチノキが8割弱の割合を占めている。今回の調査では、清洲城下町遺跡59C区SD05と清洲城下町遺跡90D区旧五条川から出土した城下町期前期(II-1期)の良好な試料が存在したので、城下町期前期(II-1期)の樹種構成をより一層明らかにすることを目的にした。

結果として、城下町期前期(II-1期)の樹種構成はトチノキが最も多いがその割合は約半数であり、その他にブナ属・ケヤキ・クリ・サクラ属・カツラ・ハンノキ属・カバノキ属・ハシバミ属・トネリコ属など多様な樹種が存在していることから、前回の調査結果(1990)を追認することとなった。なお、城下町期前期(II-1期)の中でも15世紀末～16世紀初と15世紀末～16世紀中の樹種構成は、トチノキ・ブナ属の割合に相違が見られ、時間を経るにつれてトチノキの割合は増加し、ブナ属の割合が減少する傾向が存在する可能性を指摘できる。

②地点による樹種構成

第2点は、地点によって樹種構成が異なるか否か、すなわち、同時期の資料(この場合、城下町期前期)のうち、武家屋敷と町屋で樹種構成が異なるかどうかという点である。前回と今回の調査で、主に3地点の資料を揃えることができた。A群は清須城本丸北の武家屋敷推定地出土資料(清洲城下町遺跡59C区SD05)である。B群は清須城本丸対岸の幅3～5mの溝で囲まれた武家屋敷推定地出土資料で、前回の調査(1990)のデータがある。C群は清須城本丸対岸の90D区旧五条川出土資料で、旧五条川付近に存在したと推定される町屋から投棄されたものと思われる。

前項に記述したように時期的な差異が若干存在し、検討するには問題があるが、結果として、A群・B群・C群に明確な樹種構成の差異は存在しない。強いて言うなれば、武家屋敷推定地出土資料では、ブナ属・クリ材を用いた漆器が多い傾向が見られる。武家屋敷と町屋では漆器の材料に差がなく、共通の産地から運ばれたものであろう。

③器種による樹種構成

第3点は、器種によって樹種構成が異なるか否かという点である。具体的には、高台の高い椀A類（外面に黒色漆を塗布したもの）・高台の低い椀B類（外面に黒色漆を塗布したもの）・内外面ともに赤色漆を塗布したもの（いわゆる根来手と呼ばれるもの）にそれぞれ差異が存在するかということである。特に「根来手」と呼ばれる一群については遠方から運ばれたものではないかという考えが存在しており、この点を樹種で判明できるか確認してみたい（なお、漆膜の分析では差異が存在しないという意見がある）。

分析の結果、この点についても明確な樹種構成の差異は存在しない。「根来手」と呼ばれる一群ではトチノキの割合が小さい傾向はあるが、樹種構成のパラエティーが豊富な点で高台の高い椀A類・高台の低い椀B類と共通する。

漆器については、陶磁器のように産地が特定できる研究段階に至っていない。しかし、樹種構成の分析から、武家屋敷と町屋という地点の差・器種の差は存在せず、産地が共通する可能性が伺えるのに対し、時期によって樹種構成が変化して産地に変動があった可能性を指摘できよう。

B. 井戸桶

今回の井戸桶についての樹種同定の主要な目的は、①城下町期（II期）の井戸桶にヒノキ属以外が存在するかという点、②同一の井戸桶の用材に異なる樹種が使用される事例があるかという点の2点

第5表 製品別の樹種構成

用途	漆器 椀		漆器 皿		井戸桶	曲物	卒塔婆	人形	合計
	15c末 -16c初	15c末 -16c中	15c末 -16c初	12c -14c					
コウヤマキ					1				1
ヒノキ属*					38	1	1	1	41
ハンノキ属		1							1
カバノキ属	1	2							3
ハシバミ属*	1								1
ブナ属*	11	1	1						13
クリ*	3	1							4
ケヤキ		1							1
カツラ*	1	1							2
サクラ属*	1								1
トチノキ*	16	9		1					26
タカノツメ*			1						1
トネリコ属	1								1
不明樹種	6	3	3						12
合計	41	19	5	1	39	1	1	1	108

* 類似種または類似種を含む樹種

に要約できる。

第1点については、コウヤマキを使用した事例が存在したが、ヒノキ属が主となる点は変わりなかった。第2点については、井戸桶を同一の材で作製するのか否か、井戸桶が部分的に破損した際に一部分の板材を交換する事例の有無を確認できるか否かなどが問題であったが、このような事例は確認できなかった。井戸桶を作製する場合、同一の材を用いることが判明した。

第6表 漆器の調査区別樹種構成

用途 樹種名	漆器 椀			漆器 皿	
	59 C	90 B	90 D	60 A	90 D
ハンノキ属	1				
カバノキ属	2		1		
ハシバミ属*			1		
ブナ属*	1	1	10		1
クリ*	1		3		
ケヤキ	1				
カツラ*	1		1		
サクラ属*			1		
トチノキ*	9	5	11	1	
タカノツメ*					1
トネリコ属			1		
不明樹種	3		6		3

* 類似種または類似種を含む樹種

第7表 井戸桶試料の形態分類

分類型	試料番号
A	No.105
B-1	No.86~No.102
B-2	No.106, No.108, No.109
B-3	No.107
C	該当試料なし
D	No.71~No.85

(鈴木正貴)

文献

- 平井信二『木の事典 第1巻~第17巻』かなえ書房 (1979~1982)
- バリノ・サーヴェイ株式会社「材質(樹種)同定」『清洲城下町遺跡』(1990)、(助愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第17集、財団法人愛知県埋蔵文化財センター)
- 鈴木正貴「清洲城下町遺跡出土の井戸桶に関する考察」『助愛知県埋蔵文化財センター年報 昭和63年度』(1989) p158-168
- 梅本博志「清須城とその城下町-発掘調査の成果を中心に-」『月刊文化財312』(1989) p38-46

第3節 清洲城下町から出土した漆器について

1. 本稿の課題

本稿は清洲城下町遺跡と朝日西遺跡⁽¹⁾を中心とした尾張地域の漆器について若干の考察を行うものである。漆器については、四柳嘉章⁽²⁾・北野信彦⁽³⁾らの漆膜分析や、中井さやからの16世紀の漆椀についての論考⁽⁴⁾など、近年徐々に研究が進展しつつある⁽⁵⁾尾張地域の場合も梅村清春⁽⁶⁾・北野信彦⁽⁷⁾・筆者⁽⁸⁾らの論考があり、編年と漆膜分析などの概要が明らかになってきた。しかし、問題点が全くないわけではない。本稿は拙稿⁽⁹⁾で論じた漆器の形態の変遷を、特に戦国時代について、もう少し細かく述べ、これまであまり論じられていなかった紋様について分析を加える。そのうえで、樹種同定の結果も勘案して、漆器の生産と流通の問題について若干の提言を行いたい。

なお、論を進める前に、漆の種類用語について触れておきたい⁽¹⁰⁾。従来、「朱漆」・「黒漆」などという表記を用いてきたが⁽¹¹⁾ここでは「赤色漆」・「黒色漆」と記述する。「赤漆」とした場合、素地を蘇芳で染めて漆をかけた「赤漆（せきしつ）」と混同することとなり、「朱漆」・「弁柄漆」の用語も漆膜分析などを通じて朱か弁柄かの判断ができた段階で使用すべきである。同様に「黒漆」についても、その成分が未分析であり、筆者の誤認の可能性も捨てきれない現状から、使用を差し控える。数百年の時間を経た色の変色と、表面の肉眼観察の不正確さが問題として存在する点を考慮にいたした上で、「赤色漆」・「黒色漆」の用語使用を把握していただきたい。

2. 漆器の変遷（第190図）

まず、清洲城下町遺跡を中心とした尾張地域の漆器の形態分類を行う。漆器は椀・皿・杯・香合などに大別できるが、椀と皿は更に法量・口縁部の形態から分類が可能である。

椀A類 器壁がやや厚い高台の高い椀。通常外面に黒色漆が塗布されている。

椀B類 器壁がやや厚い高台の低い椀。通常外面に黒色漆が塗布されている。

椀C類 法量がやや小さい高台の低い椀。通常外面に黒色漆が塗布されている。

椀D類 器壁がやや薄い高台の低い椀。通常内外面に赤色漆が塗布されている。

椀E類 体部下半部に稜が入る椀。

皿A類 口縁部が内湾する皿で、口径が大きい。

皿B類 口縁部が直線的に逆ハの字に開く皿。

皿C類 口縁部が内湾する皿で、口径が小さい。

尾張地域の漆器の変遷については、以前、梅村が分析を行い⁽¹²⁾筆者も簡単な案を提示した⁽¹³⁾。筆者のこの小考の中では、I期（皿が主体となる時期）・II期（高台の高い椀A類と高台の低い椀B類が主体となる時期）・III期（体部下半部に稜が入る椀E類が主体となる時期）の3期区分を行い、若干の細区分も試みた。本稿もこの3期区分を踏襲し、各時期の様相を記述する。

I期（皿が主体となる時期）

前稿を記述した段階と比較しても資料数はあまり増加していない。阿弥陀寺遺跡S E 1004⁽¹⁴⁾・朝日西遺跡S K 503出土資料⁽¹⁵⁾を指標とする。資料は皿のみが確認されている。他地域の様相を考慮すると

椀の存在も想定できるが、資料に恵まれておらず、その形態は不明である。皿は口縁部が内湾する皿A類で、内面・外面共に黒色漆が塗布されており、II期以降の皿が赤色漆を主体とした漆塗になるのとは対照的である。器厚は非常に薄く作られ高台は低い。阿弥陀寺遺跡S E 1004出土資料は内面に段を有し、朝日西遺跡S K 503出土資料は同じ紋様単位が器の内面一杯にちりばめられている。共伴する灰釉系陶器から14～15世紀前半に位置づけられる。

II期（高台の高い椀A類と高台の低い椀B類が主体となる時期）

前稿の段階ではII期を更に3区分してその様相を概述した。これは、県道新川清洲線拡幅工事に伴う発掘調査から出土した資料を中心に検討したもの⁽¹⁶⁾であり、主に共伴する土器・陶磁器の変遷案から漆器の変遷を予見したものであった。今回、朝日西遺跡・清洲城下町遺跡・名古屋城三の丸遺跡の資料を報告・分析する機会を得て、修正を加えるものである。

II期1段階

清洲城下町遺跡I S D 136⁽¹⁷⁾・清洲城下町遺跡90D区旧五条川⁽¹⁸⁾・清洲城下町遺跡II S D 66出土資料⁽¹⁹⁾を指標とする。椀類は椀A類と椀B類があり、椀A類は底部の形態から細区分ができる。椀A1類は底部の器厚が厚くて体部の器厚とは著しく異なり、断面を見ると底部と体部の外側に段差があるものである。椀A2類は底部の器厚が薄くて体部の器厚と変わらず、断面を見ると底部と体部が連続しているものである。椀A3類は、椀A1類と同様、底部と体部の器厚が異なるもののうち体部下半部の器厚が非常に厚いものである。椀A3類は極少量しか認められない。椀A類と椀B類の漆塗は内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多い。竈窯後期末から大窯I期の陶器⁽²⁰⁾が共伴することから15世紀末～16世紀前半に位置づけられる。

II期2段階

清洲城下町遺跡I S D 101⁽²¹⁾・清洲城下町遺跡II S D 66⁽²²⁾出土資料の一部を指標とする。II期1段階と器種構成・各器形は大きな変化を見せない。器種構成上、椀A3類を確認できない点が異なるだろう。器形については、II期1段階の椀A1類が高台脇の体部外面を強めに削ることによって薄くなり、途中から急に立ち上がるのに対し、II期2段階では器厚が口縁部に向かって徐々に薄くなる傾向が認められる。前稿では、II期2段階で高台内のえぐりが深くなると考えたが⁽²³⁾1段階にえぐりの深いものがあり、この点は指標にはならないようである。II期2段階の資料は1段階の遺物と共に出土するケースが多く、確実にII期2段階といえる資料が希少であることからII期2段階の様相は明確ではない。大窯II期から大窯III期の遺物が共伴することから16世紀中ごろ～16世紀後半に位置づけられる。

II期3段階

清洲城下町遺跡I S D 137⁽²⁴⁾・朝日西遺跡S D 177⁽²⁵⁾出土資料を指標とする。器種構成・各器形はII期2段階とほぼ同様であるが、椀A2類・椀A3類が確認できない（減少する）点と椀A1類の高台内のえぐりが深さ2cm弱と深くなる点に変化が認められる。椀A類と椀B類の漆塗は、内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多いが、内外面に赤色漆が塗布されているものもある。大窯V期の遺物が共伴することから16世紀末～17世紀初に位置づけられる。

II期4段階

名古屋城三の丸遺跡III S D 07⁽²⁶⁾出土資料を指標とする。器種構成は椀A1類・椀B類が相変わらず

主体を占めるが、蓋と思われるものや腰が張って口縁部が外反する特殊な器形が存在する。椀A1類・椀B類の器形は高台内のえぐりが深い点などII期3段階と大きな変化を見せない。紋様は家紋のような丸紋を多用し、鶴亀紋は著しく減少する。この変化は出土地点の性格の差が影響しているかもしれない。漆塗は内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多いが、内外面に赤色漆が塗布されているものもある。連房式登窯I期からII期の遺物が共伴することから17世紀初～17世紀中ごろに位置づけられる。

III期（体部下半部に稜が入る椀E類が主体となる時期）

前稿では17世紀末と19世紀の2期に細区分したものの、18世紀の様相が全く明らかでない点に限界が存在した。現在も資料数は豊富ではなく、前稿を修正する段階ではない。また、1段階・2段階の名称も間の時期が抜けていることから不適切であるが、容赦されたい。

III期1段階

清洲城下町遺跡63C区SX05⁽²⁷⁾出土資料を指標とする。器種構成は椀A1類が残存する一方、体部下半部に稜が入る椀（椀E類）が現れる。また、蓋類も確実にみられる。漆塗は内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多いが、内外面に赤色漆が塗布されているものも存在する。17世紀末～18世紀初に位置づけられる。

III期2段階

清洲城下町遺跡61B区SK45⁽²⁸⁾出土資料を指標とする。器種構成は体部下半部に稜が入る椀（椀E類）が主体で、椀A1類が消滅する。漆塗は内面赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが消滅し、内外面に赤色漆が塗布されているものも存在する。19世紀中ごろに位置づけられる。⁽²⁹⁾

3. 漆器の紋様

清洲城下町遺跡の出土漆器紋様についても梅村清春が考察している。⁽³⁰⁾梅村は漆絵の施紋部位・施紋方法・紋様の内容について記述しており、漆塗別の漆絵施紋部位・施紋方法に関しては梅村説そのまま用いる。すなわち、漆塗別の漆絵施紋部位は、

- ①内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されたものは、体部外面に赤色漆で施紋。
- ②内外面に黒色漆が塗布されたものは、体部外面と一部底部内面に赤色漆で施紋。
- ③内外面に赤色漆が塗布されたものは、一部底部内面に黒色漆・金泥で施紋。
- ④内外面に赤色漆、底部外面に黒色漆が塗布されたものは、底部外面に赤色漆で施紋。

とまとめることができ、施紋方法は、

- ⑤手描きによる方法
- ⑥かき落とし技法

がある。紋様の内容についても梅村は、動物紋・植物紋・器物紋・幾何紋・紋章紋に分類して列挙している。ここでは、これらの研究成果に依拠しながら、漆器紋様について分析を深めたい。分析は資料が多いII期の漆器紋様が中心となる。

A・紋様の内容（第192図）

梅村は網羅的に各紋様を分類したが、ここでは紋様の組合せとモチーフを重視して分析を進めたい。漆器に用いられる紋様は「鶴亀紋」が最も多く、「扇紋」・「宝珠紋」・「松竹菊紋」・「亀甲紋」・

「草花紋」も一定量認められ、この6種の紋様の分類・分析を行う。

①鶴亀紋

鶴亀紋は各要素に分けてみると大きく鶴紋4類と亀紋とに分類できる。

鶴紋A類 鶴が羽を広げた姿を丸で囲む「丸に鶴」紋を鶴紋A類とする。

鶴紋A類は、鶴を二重丸で囲む鶴紋A1類と一重丸で囲む鶴紋A2類がある。二重丸の鶴紋A1類は清洲城下町遺跡90D区旧五条川出土資料にみられ、15世紀末～16世紀前半に位置づけられる。後述する松・竹・菊紋と組み合わせて用いられている。一重丸の鶴紋A2類は清洲城下町遺跡II S D66出土資料などに認められ、鶴紋A1類よりも新しい紋様と推定できる。他の紋様との組合せが認められず、1個ないし2個が紋様の1単位になっている点が鶴紋A1類と大きく異なる。II期2段階（16世紀中ごろ～16世紀後半）に位置づけられる。II期3段階（16世紀末）には鶴紋A類は見られなくなる。

鶴紋B類 鶴が舞い飛ぶ姿を横から描いた「舞鶴」紋を鶴紋B類とする。

鶴紋B類は、鶴の羽を一本の太い線で描く鶴紋B1類・鶴の羽を複数の細い線で平行に描く鶴紋B2類・鶴の羽を一本の太い線と底から後方に細い線を描く鶴紋B3類・太い線と細い線を2本ずつ井桁状に組んで描いた鶴紋B4類とに分けられる。B1類とB2類は鶴の胴体を太い線で一筆に描き、B3類は胴体の輪郭を描いて丁寧である。B1類は清洲城下町遺跡90D区旧五条川出土資料にしか見られず、鶴紋B類の中でも古いものであろう。B2類は90D区旧五条川・II S D66出土資料などに認められ、15世紀末～16世紀中ごろに位置づけられる。B3類は清洲城下町遺跡I S D136出土資料などに認められ、15世紀末～17世紀初まで残る。なお、鶴紋B1～3類は頭を左に向けた方向にしか描かれない。B4類は弧状の線を井桁に組んでおり、鶴紋とは一見思われないが、亀紋2類とセットになっていることから「鶴紋」と判断できる。

鶴紋C類 鶴が立って羽を広げた姿を横から描いた「立鶴」紋を鶴紋C類とする。

清洲城下町遺跡61D区S K05⁽³¹⁾出土資料などにみられるが、量的には非常に少ない。16世紀末以降に現れるようである。羽を一本の太い線で描いている。

鶴紋D類 鶴が羽を広げた姿を正面から見たような紋様を鶴紋D類とする。

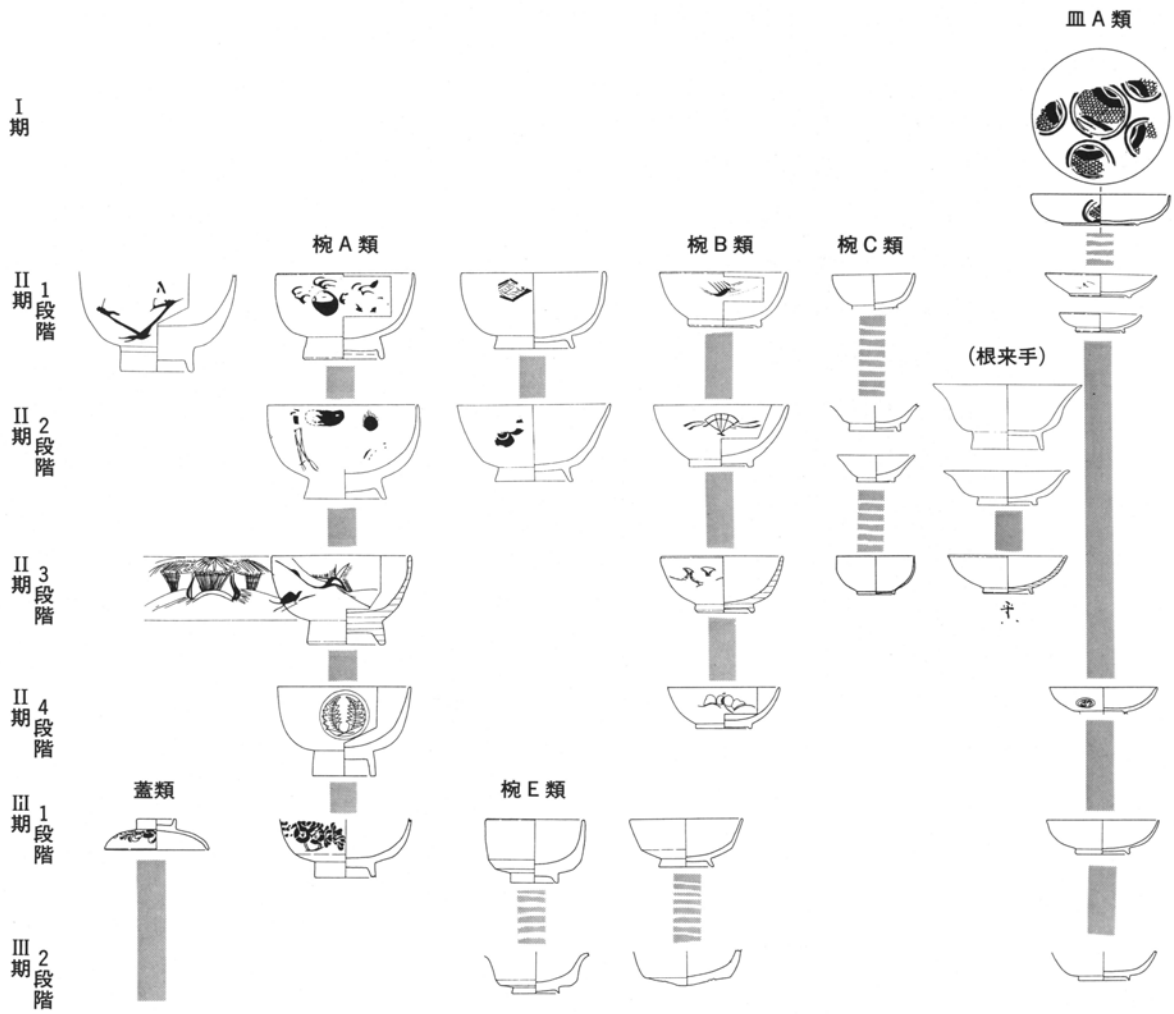
鶴紋D類は羽を広げた状態と思われる葉状の紋様の他は、鶴の各部位がはっきりせず、あるいは蓬萊紋の一部で、鶴紋ではないかもしれない。⁽³²⁾鶴紋B類と亀紋がセットになって描かれる。

亀紋 亀の姿を横から描いたもので、足や尾が明瞭に描かれないものもある。

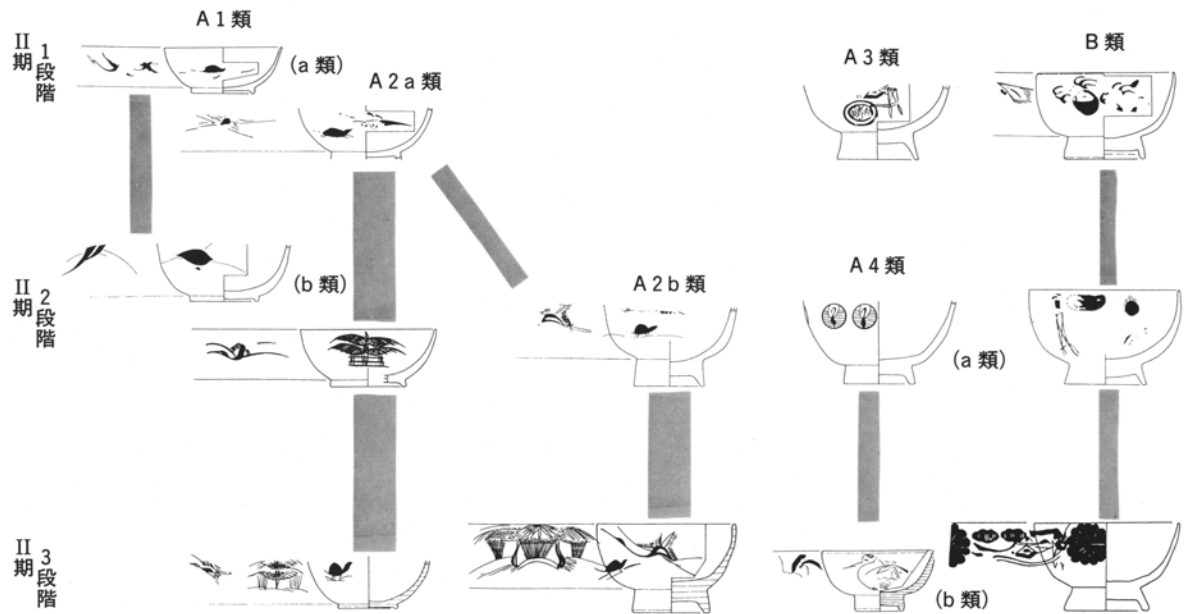
亀紋は、亀の頭・足・尾が描かれ地面の上を歩く亀紋1類と、頭・足・尾が描かれないで胴体のまん中に一筋の線が描かれる亀紋2類がある。亀紋1類の描き方は①頭から尾までを一筆で描き、②胴体部（甲羅）を一筆で丸く塗り、③足を4本の細い線で付け加える。亀の立っている地面も描かれる。

②扇紋

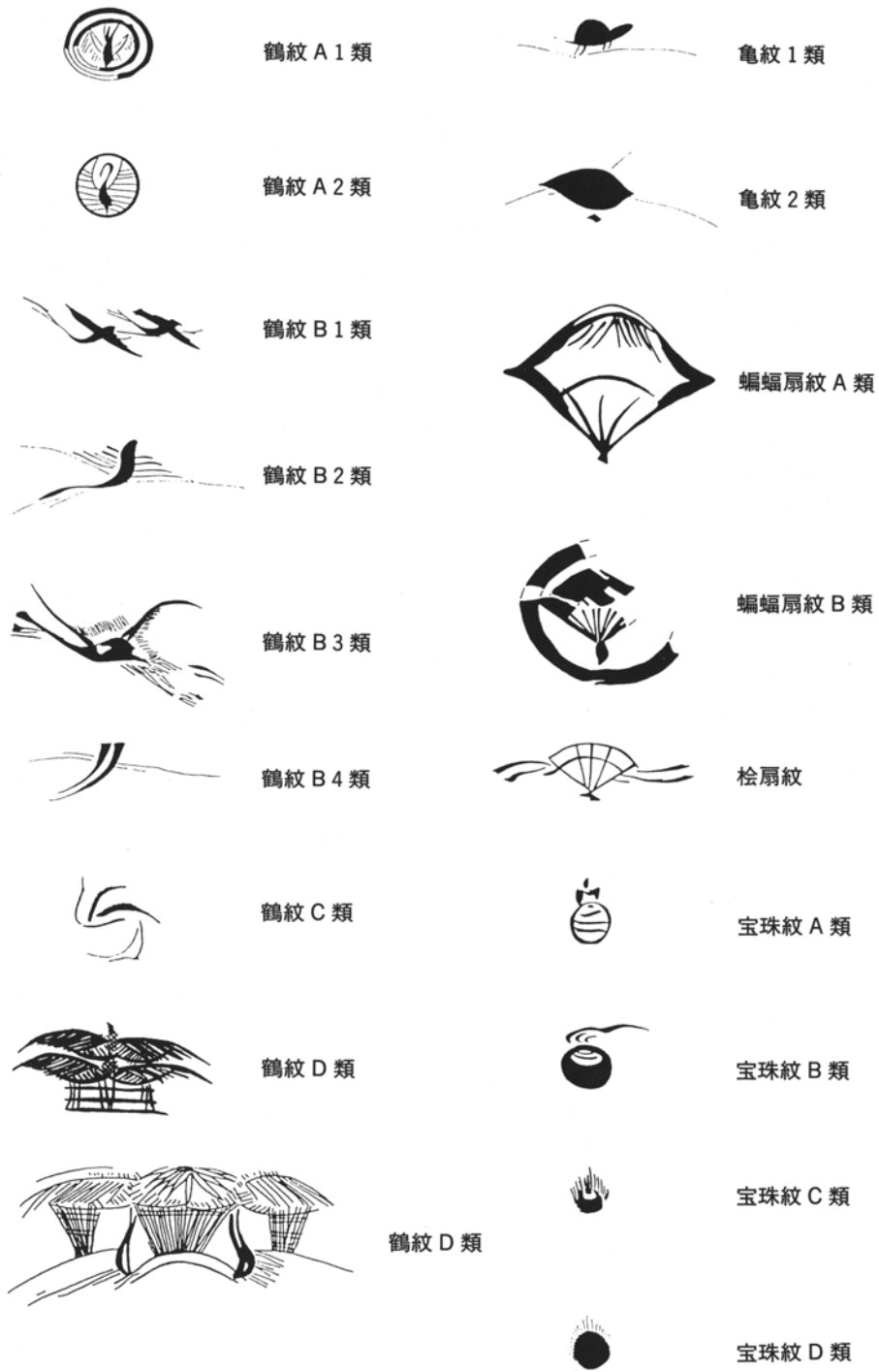
扇紋は、扇骨に紙を張った夏扇の形象を図案化した「蝙蝠扇紋」と杉の薄板を編綴して開閉自在にした冬扇の形象を図案化した「檜扇紋」の2者がある。このうち「蝙蝠扇紋」は、扇紋を丸で囲まない蝙蝠扇紋A類、扇紋を丸で囲む蝙蝠扇紋B類とに分けられる。家紋に用いられる扇紋は通常三本骨・五本骨・七本骨の開扇が多いようであるが、⁽³³⁾清洲城下町遺跡から出土した資料を見ると、骨の数は5・6・9本などで規則性は認められない。「檜扇紋」は扇紋の両脇に「垂げ糸（飾糸）」が2本描



第 190 図 漆器変遷図 (S=1/8)



第 191 図 漆器紋様構成変遷図 (S=1/8)



第 192 図 漆器紋様分類図 (S=1/3)

かれており、丸で囲む紋様は存在しない。

扇紋はこれまでのところ、II期1段階～2段階に見られ、II期3段階以降は存在しない。扇紋は他の紋様と共に描かれることはないようである。

③宝珠紋

宝珠紋は珠本体部の描き方から輪郭の円形を描き中に横線を書く宝珠紋A類、円形の下半部を塗り潰し上半部に横線を書く宝珠紋B類、円形の下半部を塗り潰し上半部が空白となる宝珠紋C類、円形を全部塗り潰した宝珠紋D類と4種に分類できる。宝珠の火炎部にも、弧を描いて右にたなびくa類と細かく直立するb類の2者がある。

宝珠紋はII期1段階に見られ、II期2段階以降は存在しない。宝珠紋は単独で用いられることはなく、雲紋・竹紋?などとセットで描かれ、仏教的・神仙的世界を表現したものであろう。

④松・竹・菊紋

松紋は雪のような形状の紋様の中にかき割り技法で細線を入れているものである。竹紋は三角形を合わせた形の上に鍵の手状の紋様が描かれている。鍵の手の下には菱形の紋様が存在するが、これが何を意味しているのかは不明である。菊紋は菊型に塗りつぶした形状にかき割り技法で花びらの境界を描いている。全体が分かるものが少ないが、松紋・竹紋・菊紋（・菱形紋）を組み合わせた紋様帯が2～3単位で繰り返されているものが多い。体部外面全面に描かれる。

松・竹・菊紋はII期1段階～II期3段階を通じて存在した紋様帯であったと思われるが、1段階では鶴を二重丸で囲む鶴紋A1類と組み合わせている。2段階は資料を欠きよく分からないが、3段階には鶴紋A1類との組み合わせはなくなっている。なお、前項の宝珠紋・雲紋・竹紋?のセットもこの変形の可能性がある。

⑤亀甲紋

亀甲紋は紋様を一個単独で用いる場合と、複数組み合わせで用いる場合の2種がある。II期1段階からII期3段階を通じて存在したと思われる、1段階では亀甲紋の中央に3～4個の点が記される。他の紋様とセットで描かれることはなく、単独で使用される。

⑥草花紋

桐・桔梗・楓・蘭などの紋様を一括して「草花紋」と称する。描き方から、やや太めに描くものと繊細な線で描くものとの大きく2類に区分できる。前者は亀甲紋・松紋・竹紋・菊紋などのようにモチーフが独立して描かれ、他の紋様とセットで描かれる場合と単独で使用される場合がある。これに対し、後者は紋様が一枚の絵画のように連続して描かれており、これまでの類例とは性格が異なる。後者の事例は皿類・法量の小さい小椀類に見られ、II期3段階以降に確認できる。

B・紋様の変遷（第191図）

個々の紋様を組み合わせで分析すると、鶴紋・亀紋を中心に展開する紋様構成（A類）と松紋・竹紋を中心に展開する紋様構成（B類）と個々の紋様を単独で使用する紋様がある。それぞれの紋様構成の変容は次のように示すことができる。

II期1段階（15世紀末～16世紀前半）

紋様構成A1a類 鶴紋B1類複数個と亀紋1類一個の組合せ

紋様構成 A 2 a 類	鶴紋 B 2 類一個と鶴紋 D 類と亀紋 1 類一個の組合せ
紋様構成 A 3 類	鶴紋 A 1 類と松紋・竹紋・菊紋の組合せ
紋様構成 B 類	宝珠紋・雲紋・竹紋の組合せ

II 期 2 段階（16世紀中ごろ～16世紀後半）

紋様構成 A 1 b 類	鶴紋 B 4 類一個と亀紋 2 類一個の組合せ
紋様構成 A 2 a 類	鶴紋 B 2 類一個と鶴紋 D 類と亀紋 1 類一個の組合せ
紋様構成 A 2 b 類	鶴紋 B 3 類と鶴紋 D 類と亀紋 1 類の組合せ
紋様構成 A 4 a 類	鶴紋 A 2 類単独
紋様構成 B 類	松紋・竹紋・宝珠紋の組合せ

II 期 3 段階（16世紀末～17世紀初）

紋様構成 A 2 a 類	鶴紋 B 2 類と鶴紋 D 類と亀紋 1 類の組合せ
紋様構成 A 2 b 類	鶴紋 B 3 類と鶴紋 D 類と亀紋 1 類の組合せ
紋様構成 A 4 b 類	鶴紋 C 類単独（もしくは亀紋 1 類の組合せ）
紋様構成 B 類	松紋・竹紋・菊紋の組合せ

II 期 4 段階（17世紀初～17世紀中ごろ）

紋様構成 A 類・B 類は存在しない。家紋又は家紋に類似する紋様を単独で用いるものが主体である。

なお、I 期の漆器紋様は内面全面に紋様パターンを繰り返すもので、これまで分析した II 期の体部外面に描く方法とは明確に異なる。また、III 期の紋様は、II 期でみられた鶴紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋などはあまり存在しない。1 段階では草花紋が存在するものの 2 段階になると紋様自体がなくなる傾向が認められる。

従って、鶴紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋などの紋様群は、II 期 1 段階から II 期 3 段階に典型的にみられる施紋であり、II 期 4 段階以降 III 期を通じて紋様は著しく変化する。しかも、既に II 期 3 段階で、鶴紋・亀紋の組合せのパラエティーはやや減少、宝珠紋は姿を消し、II 期前半にみられる紋様モチーフは衰退する気配が伺える。また、紋様の比率を見ると、鶴亀紋 36%・扇紋 12%・亀甲紋 6%・宝珠紋や倭紋など 16%・その他の草花紋など 30% と鶴亀紋の比率が高い。しかも鶴亀紋の割合は II 期の早い段階の方が高く、草花紋は低い。

C・紋様の意味

II 期 1 段階から II 期 3 段階まで（15世紀末～17世紀初≒戦国時代）に典型的にみられる鶴紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋などの紋様群には、どの様な意味が込められているのだろうか。

鶴紋は、古くは正倉院御物にも見られる紋様で、一般に延命長寿の象徴として用いられている。鶴紋は松・竹・亀と組み合わせられることが多く、祥瑞思想・浄土信仰・飛行昇天思想を表現しているといえる。鶴紋様のバリエーションには鶴単独・松喰鶴・仙人を乗せた鶴などがあり、これらは蓬萊や須弥山などの東洋的理想郷を表現したものであった⁽³⁴⁾と思われ、鶴紋 D 類と分類したものはこれを描いたのかもしれない。祥瑞紋様には他に菊花紋などがあり、これも清洲城下町遺跡から出土した漆器にみられる紋様である。また、扇紋は法華信仰と華麗な貴族の生活あるいは将来の繁栄を表現してい

る。この様に、II期の漆器紋様群は祥瑞思想などを表現したもので延寿や繁栄を祈念したものであろう。

日常生活道具の中で、この様な祥瑞思想などを表現したものは、中国製の染付製品を除くと、下駄の表面に毛彫りされた笹の葉紋を挙げることができる程度である⁽³⁵⁾この様に、日常生活道具——特に椀A類・椀B類という比較的少量に出土するもの——に祥瑞紋様を描くことによってどの様な意味を込めたかその背景を明らかにする力量を持ち合わせていないが、戦国時代という不安定な時代背景から導き出された人々の心情が同えよう。これは後述するように、尾張地域に限らず、全国的な思潮でもある。

4. 漆器の生産

漆器の生産地の特定や製作の過程についてはほとんど判明していないのが現状である。特に清洲城下町遺跡の場合、漆器生産に伴う工具などの資料が全く出土しておらず、生産の様相は全く不明である。この項では、漆器の生産地について若干の指摘を行う。

A・樹種同定

前章で分析したように樹種同定から次の点を確認できた。

- ① 時期によって樹種構成に若干の変化が認められる。
- ② 地点による樹種構成に差はなく、武家屋敷と町屋敷とも共通の樹種を用いた。
- ③ 器種による樹種構成に差はなく、特定の形が特定の産地を示さない。

樹種同定の結果から分かることは、漆器に使用された木地の産地についての情報に過ぎない。結果としてまだ木地の産地は特定し得ないが、時期による樹種構成の変化から16世紀後半ぐらいに木地の産地が移動した可能性は指摘できる。

B・漆器の紋様

漆器の紋様から、漆器生産に関わる問題点を抽出したい。

II期に通有の鶴紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋・俵紋などの紋様群は同時代の他の地域の遺跡から出土した漆器紋様にも認められる。ここでは、他地域の遺跡から出土した鶴紋を取り上げてみる。ただし、資料は筆者の目についた主なものを抜き出しただけに過ぎず、もとより網羅的なものではないことをあらかじめ断わっておきたい⁽³⁶⁾

他地域の遺跡から出土した鶴紋を、前述の分類に当てはめ、分類毎に評価を加える。

鶴紋A類 北海道から九州地方にまで認められる。しかもそれぞれの地域（遺跡）毎に紋様の形状が異なっている点が挙げられよう。清須城下町でみられる二重丸で囲む鶴紋A1類は類例が少ない。また、鶴の羽の描き方は、西日本によくみられる横線で描く方式と、東日本によくみられる下端部から上方に向けて縦線で描く方式の2者がある。

鶴紋B類 東北地方から九州地方の間でみられる。やはり、それぞれの地域（遺跡）毎に紋様の形状が異なっている点を指摘できる。ただし、地方毎の特徴・類型化は把握できなかった。

鶴紋C類 類例が少ない。清洲城下町遺跡の出土資料は、簡略化が著しく特徴的である。

大雑把ではあるが、一つの鶴紋様を見ただけでも地域性が顕著に伺われることが判明する。もとよ

り、紋様の細かな差が個体差か地域差かは判断に曖昧な点が残るが、このことから中国製の磁器や瀬戸美濃産の陶器のように特定産地で漆塗りが行われ全国規模で流通したものとは思われない。むしろ、少なくとも漆塗に関しては土師器の煮炊具（鍋・釜）のように「在地」で製作し、「在地」で使用した様相⁽³⁷⁾が伺われる。問題は紋様の地域性がどの程度の範囲を占めるのかという点であるが、ここでは紋様と産地の関係について検討することが有意であることを指摘しておくことにとどめたい。しかしながら漆器の紋様のモチーフや碗の形は他の地域と余り異なる点を考えると、祖形となる漆器が存在し、時代の潮流は同一であることや、あるいはそれぞれの生産地に密接な関係があったことなどが考慮されるだろう。

5. まとめ

漆器の極表面的な観察によって、時期的な変化と生産地や紋様意匠の問題について若干の指摘を試みた。結果として、漆器に施された紋様に込められた思い・漆器の在地性について新たな問題点を指摘したに過ぎなかった。今後の一層の検討が必要であろう。

最後に、本稿の作成に当たって、四柳嘉章氏・下津間康夫氏・金子健一氏に御教示いただいた。記して感謝いたします。（鈴木正責）

註

- (1) ここでいう「清洲城下町」は戦国時代の清洲城に付随する城下町を指し、清洲城下町遺跡はもちろん朝日西遺跡の戦国時代の資料もこれに当てはまる。
- (2) 四柳嘉章「能登の中世漆器—編年と下地技法、樹種利用の特質について」『漆工史』第12号 漆工史学会 1989など
- (3) 北野信彦「近世出土漆器に関する一調査方法」『考古学ジャーナル』322 ニューサイエンス社1990など
- (4) 中井さやか「十六世紀の漆碗—特に三重碗との関連について」『考古学の世界』1989
- (5) この他に南洋一郎「漆碗・皿に関する二、三の問題—乗谷の漆製品の観察結果から」『朝倉氏遺跡資料館紀要』朝倉氏遺跡資料館1987などの研究がある。また、広島考古学研究会の『中世遺跡出土の漆器』1985などの資料集成がある。
- (6) 梅村清春「清洲城下町遺跡出土の木製挽物漆器について—漆器碗を中心として—」『年報昭和61年度』(助愛知県埋蔵文化財センター1987
- (7) 北野信彦「近世尾張における生活什器としての出土漆器資料」『愛知大学総合郷土研究所紀要第35輯』1990 愛知大学
- (8) 拙稿「愛知県清洲城下町遺跡出土の漆器小考」『マージナル』No.10愛知考古学談話会1990
- (9) 註(8)と同じ。
- (10) 四柳嘉章「II中・近世漆器の編年」『西川島 能登における中世村落の発掘調査』石川県穴水町教育委員会1987の記述を参考にした。
- (11) 『清洲城下町遺跡』(助愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第17集1990他
- (12) 註(6)と同じ。
- (13) 註(8)と同じ。
- (14) 『阿弥陀寺遺跡』(助愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第11集1990
- (15) 本書第III章
- (16) 註(11)と同じ。
- (17) 註(11)と同じ。
- (18) 「清洲城下町遺跡」『年報平成2年度』(助愛知県埋蔵文化財センター1991
- (19) 『清洲城下町遺跡II』(助愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第27集1992
- (20) 施釉陶器の編年については藤澤良祐「瀬戸大窯発掘調査報告」『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要V』1986などを参照した。
- (21) 註(11)と同じ。

- (22) 註(19)と同じ。この遺構から出土した資料は1段階と2段階のものを混在するものと思われる。
- (23) 註(8)と同じ。
- (24) 註(11)と同じ。
- (25) 本書第Ⅲ章第6節
- (26) 『名古屋城三の丸遺跡Ⅲ』(助愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第39集1992)
- (27) 「清洲城下町遺跡」『年報昭和63年度』(助愛知県埋蔵文化財センター1989)
- (28) 「清洲城下町遺跡」『年報昭和61年度』(助愛知県埋蔵文化財センター1987)
- (29) 中野良法「清洲宿についての一考察」『年報昭和62年度』(助愛知県埋蔵文化財センター1988)
- (30) 註(6)と同じ。
- (31) 「清洲城下町遺跡」『年報昭和61年度』(助愛知県埋蔵文化財センター1987)
- (32) 鶴紋ではない可能性が高いがここでは仮に鶴紋D類と称する。
- (33) 上条耿之介『日本文様事典』雄山閣1981
- (34) 註(33)と同じ。
- (35) 註(19)と同じ。
- (36) 広島考古学研究会『中世遺跡出土の漆器』1985を用いて分析した。具体的に図示しなかったが、同書を参照されたい。
- (37) 足立順司「内耳鍋の研究」『研究紀要Ⅱ』静岡県埋蔵文化財研究所1985

第V章 まとめ

朝日西遺跡は、本センターの前身である(財)愛知県教育サービスセンター埋蔵文化財調査部が手掛けた第一号の調査遺跡であり、またその後の、清須城とその城下町遺跡調査の出発点ともなった遺跡である。しかし、その調査は失敗から出発した。昭和56年度の第一回目の調査では、地表下約2メートルほどにある古墳時代遺構面の検出に主眼を置いたため、中世及び戦国期の遺構面と包含層をことごとく掘り飛ばすという恥べき失態を犯したのである。廃土の山の中から中世陶磁器片を発見——これが、清須城とその城下町遺跡調査の出発点であった。

本遺跡の発掘調査は、このような経緯を踏まえながらも、その後昭和60年度まで続き、調査面積は総計で13,919平方メートルに及んだ。本章ではまとめとして、遺跡の動向を古墳時代、中世、城下町期、江戸期に区分して要約しておきたい。

古墳時代

明瞭な遺構は発見されず、主として古墳時代後期の6世紀始めから7世紀始めにかけての須恵器が少量発見されたに留まった。5世紀始めまで遡る蓋杯も1点含まれているが、出土状況からして、これらの資料は当該地点に集落が営まれていたことを示すものではなく、近隣からの流入品とみられる。しかし、朝日西遺跡の東側に広く展開している朝日遺跡からは、6世紀代の円墳が検出されているから、周辺に6世紀を前後する頃のムラがあったことは違いない。なお、弥生時代の朝日遺跡とのつながりを示す資料はほとんどなく、朝日遺跡の西端の墓域である墓域Aがここまで及んではないことも判明した。

中世

11世紀半ばから15世紀までの遺構と遺物が調査区全域から発見されている。ここでは中世を、古瀬戸(施釉陶器)共伴を指標として、中世Ⅰ期(11世紀半ばから13世紀後半)、Ⅱ期(14・15世紀)に区分し、さらに前者を4小期に細分して取り扱った。

この時期、集落は基本的に、調査区西半の五条川に沿った自然堤防状の微高地上に主要な屋敷地を配置し、東半のやや低い部分(五条川の後背湿地)には井戸を設置する形態を取った。東半部分は水汲場のような空間であったと想像される。屋敷地を溝で区画する形態は、ようやく中世Ⅰ-3期(12世紀後半から13世紀前半)から出現し始めたようで、それ以前に遡る同類の遺構は見あたらない。おそらく、屋敷地が散漫に分布する集落形態を取っていたのであろう。Ⅰ-3期以降の溝区画を持つ屋敷内には必ず井戸が1カ所設置されていて、個別性の高まった屋敷地が集合する集落へと変化していく様相が窺い知れる。

中世の土器・陶磁器としては、Ⅰ・Ⅱ期を通じて、山茶碗類、土師器、施釉陶器、焼き締め陶器、輸入陶磁器などがみられ、両期ともにその主体を占めているのは山茶碗類である。山茶碗類は、時代が下るにつれて東海地方南部系のものから北部系の製品へと主体を移す傾向を示し、その変化は尾張地域の他の遺跡の場合と軌を一にしている。

器種構成のわかる主要例を2・3あげてみよう。

I - 3期のS D09からは、山茶碗類・皿・鉢、土師器皿・鍋、施釉陶器灰釉四耳壺、焼き締め陶器壺・三筋壺・甕・羽釜、白磁碗・水注、青磁碗・皿、陶錘、加工円盤が出土し、そのうちの約75パーセントを山茶碗類が占めている。常滑・猿投窯産が主体で、瀬戸・渥美・美濃窯製品も一定量みられる。同じくI - 3期に属すS D133からは、山茶碗類・皿・鉢、土師器皿・鍋・釜、施釉陶器鉢・四耳壺・壺、焼き締め陶器壺・三筋壺・小壺・水注・甕・釜、白磁碗・皿・四耳壺、青磁碗・皿、青白磁碗・瓶・合子、瓦器羽釜、灰釉陶器、緑釉陶器、陶錘、陶丸などが出土している。山茶碗類の出土比は約34パーセントで、その産地区分はS D09と同様である。しかし、この溝では土師器皿が約51パーセントと最多を占め、遺構の性格は一様ではない。

同じように、中世II期に属すS D164からも山茶碗類・皿・鉢、土師器皿・鍋、施釉陶器灰釉平碗・皿・卸皿・四耳壺・鉢、焼き締め陶器壺・甕、青磁碗、白磁碗、陶丸などが出土している。山茶碗類は全体の約50パーセント、土師器皿は30パーセント弱を占め、施釉陶器の器種が豊富になっている点に特色がみられる。

14世紀の中ごろに記述された『神鳳鈔』によれば、当時、清須の地に御厨がおかれており、おそらくは本遺跡の辺りもその範囲に含まれていたと考えられる。そうしてみると、当時、御厨内の朝日西遺跡の集落に住んでいた人々が使用していた日常容器は、I期においては、主として常滑窯から供給された茶碗類と壺・甕類、少量ではあるが瀬戸窯産の施釉壺・鉢類、中国から輸入された高級品である青磁・白磁製品から成り立っていたといえる。そしてII期になると、この組合せのうち、茶碗類のみが瀬戸・美濃窯産へと変化していくことになるわけである。このような傾向は、先述のとおり尾張地域の中世集落に共通している。

城下町期

清須城とその城下町遺跡における城下町期の時代は天正14年を境に前・後の2期に区分されており、本遺跡ではおもに後期の遺構群が検出された。しかし、遺物の上で大窯II・III期の瀬戸窯製品、及びそれらを伴う溝・土坑も発見されており、当該地においても既に16世紀中ごろ前後から何等かの形で町づくりが始まっていたと考えた方がいいようである。

城下町期後期の遺構の中で特記すべきは、調査区東端部で発見された大溝S D222であろう。南北方向に走り、幅15メートル、深さ2.5メートルを測るこの溝は、清須城の外堀と考えられるものであり、名古屋市蓬左文庫が所蔵する「春日井郡清須村古城絵図」の堀跡とも概ね一致している。興味深いのは堀の西肩、すなわち堀に向かって内側に設けられた一段低い幅3 - 11メートルのテラス状の部分である。このような堀の構造は清洲城下町遺跡の他の地点でも確認されており（本センター調査報告書第27集『清洲城下町遺跡II』）、近世城郭における武者走りを思わせる。今後分析していくべき課題であると考える。

建物遺構は調査区西半の自然堤防の微高地上に広がっており、掘立柱建物が少なくとも7棟は確認されている。柱穴内に礎石ないし根石をおく構造で、建物規模も1間×2間と小規模なものから、4間×2間までである。3間×2間の建物が4棟みられ標準的なようである。横屋が付くS B01、庇が付

いていたとみられるSB04・05もある。これらの建物は、小牧街道の両側に展開していた町屋の一部あるいはその東側に続く寺社地の建物との考え方もあるが、なお検討の余地があろう。

城下町期の遺物は、実際には混在して出土する 경우가多く、したがって遺物から遺構を明確に前期と後期とに区別することは容易ではない。両期を通じて瀬戸・美濃窯製品が圧倒的に多く、前期では施釉陶器天目茶碗・丸碗・平碗・各種皿類、土師器皿・鍋・釜、青磁、白磁、染付の碗・皿があり、後期ではそれらに加えて朝鮮陶器碗・皿・德利、信楽、京都、備前、唐津などの製品が少量みられる。

主要な遺構から、この時期の遺物のあり方をみてみよう。

SD117は人骨・獣骨・位碑などが特異な状態で出土した溝であるが、伴出した陶器は大窯Ⅴ期から登窯Ⅰ期のものに限られていて、時期幅がかなりまとまっている。瀬戸・美濃窯産の天目茶碗・灰釉皿・鉄釉皿・長石釉皿・長石釉向付・重圈皿・大皿・德利・播鉢、土師器皿・内耳鍋・茶釜形羽釜・直口両耳鍋、土犬・土鈴などがみられるが、ただし、この遺構の場合、土師器皿が全体の57パーセントを占めていて、先の特異な資料とも絡んで、一般性を低いものになっている。もう一例、SD200は「慶長三年」(1598)と「慶長四年」(1599)銘の卒塔婆、そして「文禄貳年」と墨書された鉄釉筒型碗が出土した重要な溝である。ここからは、天目茶碗・灰釉皿・鉄釉皿・長石釉皿・長石釉向付・德利・播鉢などの瀬戸・美濃窯製品、楽焼の小片、瓦器、土師器皿、木製品、五輪塔などが出土しているが、しかしここでも瀬戸・美濃窯製品は大窯Ⅱ期からⅤ期・登窯Ⅰ期のものまでみられ、一括資料として扱うことはできない。

このように、これらの興味を引く溝からの出土遺物をより厳密な意味での同時代資料として扱っていくためには、厳格な型式学に基づいたセリエーション作業を必要としている。本報文ではこの作業が欠如しており、それができるならばこれらの資料は同時代性としての貌を取り戻すことが可能となる。むしろ今は、SD63やSK282などから出土したほぼ単一な時期とみられる資料から、城下町後期の遺物のあり方を追った方がよいかも知れない。

このほかに、下駄・井戸桶・曲物・卒塔婆・人形・漆器碗・漆碗皿などの木製品が多数出土している。これらのうちには、年輪年代測定に役立てられたものがあり、その成果を今後の清洲城下町遺跡調査に生かしていくことが求められる。

江戸期

慶長15年(1610)から始まったいわゆる清須越しによって、清須城下町は取り壊されていくが、調査区からは、小牧街道沿いの江戸期の屋敷跡が一部確認されている。溝で画された方形の屋敷で、その内部から井戸跡が検出された。17世紀から19世紀までの陶磁器類が街道沿いから出土しており、幕末までほとんど変わることなく小牧街道に沿った一本街村状の集落景観が続き、近代から現代まで至ってきたものとみられる。

生活用品は、SD49やSK305、SK139にみられるように、瀬戸・美濃窯産の腰鍔茶碗・天目茶碗・灰釉丸碗・灰釉皿・御深井皿・笠原鉢・播鉢・水注・香炉・御室茶碗・尾呂茶碗・土瓶、常滑窯産の火鉢・甕、土師器焙烙鍋・皿などが主体で、これに少量の肥前窯産の磁器碗・皿・仏飯具などが加わっている。城下町期とは違って、中国、朝鮮からの輸入品がほとんどみられなかった点に庶民性が

表れている。

最後に、本遺跡を含む清須城とその城下町遺跡については、昭和63年度にシンポジウムが開かれるなど、戦国期の城下町の構造、中世都市の問題等の話題が先行してきたが、本報文が不十分ながらその前提となった基本的データであることを付記しておきたい。

(加藤安信)

報告書抄録

フリガナ	アサヒニシイセキ
書名	朝日西遺跡
副書名	
巻次	
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第28集
編著者名	小澤一弘・遠藤才文・城ヶ谷和広・鈴木正貴・江原昭善・松本真・木下実・加藤安信
編集機関	財団法人愛知県埋蔵文化財センター
所在地	〒498 愛知県海部郡弥富町大字前ヶ須新田字野方802-24
発行年	西暦1992年 3月30日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯 。 。 。	東経 。 。 。	調査期間	調査面積㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
アサヒニシ 朝日西	ニシカスガイグンキョ スチョウ 西春日井郡清洲町大字 朝日	21	21002	35°258'	136°647'	19810401	1,010	道路建設
						19810930		
						19820501	800	
						19820831		
						19830601	2,000	
						19831031		
19840601	6,407							
19850331								
						19850401	3,702	
						19851131		

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
朝日西	集落跡 城館跡	古墳時代		須恵器	溝区画の屋敷跡
		中世	掘立柱建物 4 井戸 30 他	山茶碗類、土師器 常滑窯産三筋壺・壺・甕 瀬戸美濃窯産碗・皿・壺 青磁、白磁	
		室町・戦国時代	掘立柱建物 7 井戸 41 他	瀬戸美濃窯産碗・皿、 土師器 朝鮮陶器、青磁、白磁、 漆器 人骨・獣骨	
		江戸	掘立柱建物 1 井戸 18	瀬戸美濃窯産碗・皿・壺	清洲城外堀 紀年銘のある卒塔婆、 墨書土器

付 表

凡例

1. 遺構一覧表の時期については、以下のような略称を用いた。
 - 中 I —— 中世 I 期
 - 中 II —— 中世 II 期
 - 城 I —— 城下町期前期
 - 城 II —— 城下町期後期
 - 村 —— 朝日村期
2. グリッドは、本センターで用いている 5 m グリッドの名称である。
3. 遺構一覧表の登録番号とは、調査ときに付けた調査区別遺構番号である。
4. 遺物観察表の数値のうち () 内は反転復元値を示す。また - は計測不能を意味する。

遺 構 一 覧 表

建 物	遺構番号					遺構番号				
	時 期	グリッド	調査区	登録番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号		
(SB)	SB01	城	VIII A10-12g-j	58	SB 01	SB07	城	VIII B6, 7op	59 E	-
	SB02	中	VIII A12-14f-h	58	SB 02	SB08	城	VII B20rs, VIII B1rs	59 E	-
	SB03	城	VIII A11, 12mn	57	SB 01	SB09	中	VII C20f, VIII C1f	59 C	SB 01
	SB04	城	VIII B3jk	59 E 2	-	SB10	中	VII C19, 20t, VII D19, 20a	59 A	SB 02
	SB05	城	VIII B9, 10lm	59 E 2	-	SB11	中	VIII D1-3a-c	59 B	SB 01
	SB06	城	VIII B8no	59 E	-					

柵 列	遺構番号					遺構番号				
	時 期	グリッド	調査区	登録番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号		
(SA)	SA01	-	VIII B3-5o	59 E 2	-	SA03	-	VIII B7-9s	60 B	SA 01
	SA02	-	VIII B3-5p	59 E	-					

池	遺構番号				
	時 期	グリッド	調査区	登録番号	
(SP)	SP01	城 II	VIII A12-14b-e	58	SP 01
		中 I (城 II 村)	VIII A14-16c-e	59 G	SX 02

不明遺構	遺構番号					遺構番号				
	時 期	グリッド	調査区	登録番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号		
(SX)	SX01	-	VIII A10p	57	SX 01	SX03	村	VIII A13rs	59 G	SX 01
	SX02	-	VIII J15, 16t, VIII A15, 16ab	59 G	SX 03	SX04	村	VII B20t, VII C20a, VIII B1, 2t, VIII C1a	60 B	SX 01

溝	遺構番号					遺構番号				
	時 期	グリッド	調査区	登録番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号		
(SD)	SD01	城 II	VIII A12, 13d	58	SD 26	SD21	中 I	VIII A7, 8no	58	SD 08
	SD02	城 II	VIII A12, 13d	58	SD 23	SD22	中 I	VIII A8mn	58	SD 07
	SD03	中 I	VIII A12, 13de	58	SD 22	SD23	中 I	VIII A8, 9mn	58	SD 06
	SD04	城 II?	VIII A12, 13de	58	SD 25	SD24	城 II	VIII A6, 7p	58	SK 25
	SD05	城 II	VIII A6, 7h	58	SD 20		城 II	VIII A3-5pq	59 F	SD 02
	SD06	城 II	VIII A6-14gh	58	SD 18		(村)			
		中 I	VIII A14g	59 G	SD 16	SD25	城 II	VIII A7, 8op	58	SD 03
	SD07	村	VIII A7-9f-m	58	SD 11	SD26	村	VIII A9-12op	57	SD 12
	SD08	中 I	VIII A8g-i	58	SD 17		城 II	VIII A7, 8p	58	SD 02
	SD09	中 I	VIII A8-13g-k	58	SD 09		村	VIII A13, 14no	59 G	SD 14
		中 I	VIII A14, 15ij	59 G	SD 25	SD27	城 II	VIII A9-12pq	57	SD 08
	SD10	村	VIII A8, 9h	58	SD 10C		(村)			
	SD11	-	VIII A10, 11m-o	57	SD 15		城 II	VIII A7, 8pq	58	SD 01
		村	VIII A9, 10g-m	58	SD 10		城 II	VIII A13, 14op	59 G	SD 12
		村	VIII A9g-i	58	SD 10A	SD28	中 I	VIII A6-8rs	58	SD 24
		村	VIII A9g-i	58	SD 10B		(城 I II)			
	SD12	中 I	VIII A9, 10g	58	SD 19		-	VIII A5, 6rs	59 F	SD 11
	SD13	中 I	VIII A10j	58	SD 21	SD29	村	VIII A10o	57	SD 14
	SD14	-	VIII A10j	58	SD 16	SD30	村	VIII A10o	57	SD 13
	SD15	中 I	VIII A10ij	58	SD 15	SD31	-	VIII A11no	57	SD 16
SD16	中 I	VIII A10ij	58	SD 14	SD32	-	VIII A11op	57	SD 09	
SD17	中 I	VIII A9-12i-k	58	SD 13	SD33	村	VIII A11, 12p	57	SD 11	
SD18	中 I	VIII A9K	58	SD 12	SD34	村	VIII A12p	57	SD 10	
SD19	中 II	VIII A6l-n	58	SD 04	SD35	城 II	VIII A9, 10r	57	SD 05	
SD20	中 I	VIII A6-8no	58	SD 05	SD36	城 II	VIII A9, 10rs	57	SD 03	

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SD37	-	VⅢA10qr	57	SD 06	SD77	村	VⅢB6e	60 C	SD 07
SD38	村	VⅢA10, 11qr	57	SD 04	SD78	中?	VⅢB3, 4ef	60 C	SD 05
SD39	村	VⅢA11rs	57	SD 01	SD79	村	VⅢB2-4f	60 C	SD 04
	村	VⅢA12t, VⅢB12a	59 G	SD 05	SD80	城Ⅱ	VⅢB2fg	59 E 2	SKI 30
SD40	-	VⅢA11r	57	SD 02		城	VⅢB2-4fg	60 C	SD 03
	村	VⅢA12t, VⅢB12a	59 G	SD 04	SD81	中?	VⅢB2, 3gh	59 E 2	SD 42
SD41	村	VⅢA12pq	57	SD 07	SD82	村	VⅢB2h-1	59 E 2	SD 40
SD42	城Ⅱ	VⅢA9-12rs?	57	SD 17	SD83	村	VⅢB1, 2i-1	59 E 2	SD 41
	(村)				SD84	中Ⅰ?	VⅢB2i-k	59 E 2	SD 44
	中Ⅱ	VⅢA3-6r-t	59 F	SD 14	SD85	城?	VⅢB2i	59 E 2	SD 43
	(城Ⅱ)				SD86	村	VⅢB1jk	59 E 2	SD 45
	中Ⅰ	VⅢA12-14q-s	59 G	SD 08	SD87	村	VⅢB2o-s	59 E	SD 33
	城Ⅱ			村		VⅢB1, 2k-o	59 E 2	SD 47	
SD43	村	VⅢA4, 5mn	59 F	SD 05		村	VⅢB2st	60 B	SD 12
SD44	村	VⅢA4, 5n-g	59 F	SD 01	SD88	城	VⅢB1-3kl	59 E 2	SD 46
SD45	中Ⅱ	VⅢA4op	59 F	SD 04	SD89	-	VⅢB1-3kl	59 E 2	SD 86
SD46	中Ⅰ	VⅢA4, 5o-r	59 F	SD 03	SD90	城Ⅱ	VⅢB1, 2l	59 E 2	SD 48
SD47	中Ⅰ	VⅢA3, 4r	59 F	SD 12	SD91	城	VⅢB1-3l	59 E 2	SD 49
SD48	村	VⅢA5r	59 F	SD 13	SD92	村	VⅢB3l	59 E 2	SD 60
SD49	村	VⅢB2, 3a-d	59 F	SD 06	SD93	城Ⅱ	VⅢB1-3lm	59 E 2	SD 56
SD50	村	VⅢB3-6c	59 F	SD 07	SD94	城Ⅱ	VⅢB3lm	59 E 2	SD 65
SD51	-	VⅢB3c	59 F	SD 15	SD95	村	VⅢB1-3lm	59 E 2	SD 58
SD52	-	VⅢB3, 4c	59 F	SD 16	SD96	村	VⅢB3m	59 E 2	SD 64
SD53	-	VⅢB3, 4cd	59 F	SD 17	SD97	村	VⅢB3, 4o-s	59 E	SD 34
SD54	-	VⅢB4cd	59 F	SD 18		-	VⅢB2, 3l-o	59 E 2	SD 34
SD55	中Ⅰ	VⅢA4, 5t, V 5ⅢB	59 F	SD 08		-	VⅢB4s	60 B	SD 08
	(Ⅱ)	4, 5a-d			SD98	中	VⅢB1, 2m	59 E 2	SD 63
	中Ⅰ	VⅢB3, 4, (5) c-g	60 C	SD 06	SD99	-	VⅢB2m	59 E 2	SD 85
SD56	中Ⅰ	VⅢB4, 5b	59 F	SD 09	SD100	村	VⅢB2mn	59 E 2	SD 61
SD57	城Ⅰ	VⅢB6c	59 F	SD 10	SD101	-	VⅢB1no	59 E 2	SD 50
SD58	城Ⅱ	VⅢA15, 16b	59 G	SD 23	SD102	-	VⅢB1no	59 E 2	SD 51
SD59	中Ⅰ	VⅢA15, 16bc	59 G	SD 24	SD103	-	VⅢB1no	59 E 2	SD 53
SD60	村	VⅢA14, 15c	59 G	SD 22	SD104	-	VⅢB1no	59 E 2	SD 52
SD61	村	VⅢA15, 16cd	59 G	SD 21	SD105	-	VⅢB2no	59 E 2	SD 54
SD62	中Ⅰ	VⅢA14, 15e-g	59 G	SD 18	SD106	-	VⅢB2m-o	59 E 2	SD 55
SD63	城Ⅱ	VⅢA15, 16fg	59 G	SD 19	SD107	中Ⅰ	VⅢB3mn	59 E 2	SD 59
SD64	中	VⅢA15h	59 G	SD 17	SD108	中Ⅰ	VⅢB6, 7t, VⅢC6,	59 D	SD 01
SD65	-	VⅢA13, 14o	59 G	SD 13		(Ⅱ)	7ab		
SD66	城	VⅢA13o	59 G	SD 13		中Ⅰ	VⅢB5, 6o-s	59 E	SD 37
SD67	-	VⅢA13p	59 G	SD 11		中Ⅰ	VⅢB4-6m-o	59 E 2	SD 37
SD68	城Ⅱ	VⅢA13p	59 G	SD 10		(Ⅱ)			
SD69	城Ⅱ	VⅢA12-14q	59 G	SD 09	中ⅠⅡ	VⅢB6, 7st	60 B	SD 09	
SD70	-	VⅢA13r	59 G	SD 15	SD109	中Ⅰ	VⅢB8no	59 E	SD 20
SD71	村	VⅢA12-14rs	59 G	SD 15	中	VⅢB7, 8mn	59 E 2	SD 72	
SD72	村	VⅢA12, 13st, VⅢB	59 G	SD 01	SD110	-	VⅢB12e	59 E 2	SD 66
		12, 13a			SD111	城Ⅱ	VⅢB11, 12ef	59 E 2	SD 67
SD73	村	VⅢA13t	59 G	SD 03	SD112	城Ⅱ	VⅢB11, 12fg	59 E 2	SD 68
SD74	村	VⅢB12a	59 G	SD 02	SD113	-	VⅢB11, 12gh	59 E 2	SD 69B
SD75	中Ⅱ	VⅢB4, 5c-g	60 C	SD 02	SD114	中Ⅰ	VⅢB11h	59 E 2	SD 70
SD76	中Ⅰ	VⅢB9-12bc	60 C	SD 01	SD115	中?	VⅢB11j	59 E 2	SD 73

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SD116	城 I II	VIII B10, 11k	59 E 2	SD 74	SD164	中 I II	VII C19, 20de, VIII C	59 C	SD 05
SD117	—	VIII B10, 11k	59 E 2	SD 87			1-5c-e		
SD118	中 II	VIII B10, 11k	59 E 2	SD 75		中 I	VIII C1-5c-e	59 C	SD 10
SD119	中 II	VIII B10, 11kl	59 E 2	SD 76		(II)			
SD120	中?	VIII B9-11l	59 E 2	SD 77		中 I II	VIII C5-9bc	59 D	SD 07
SD121	中 I	VIII B9-11l	59 E 2	SD 78	SD165	—	VII C20ef	59 C	SD 06
SD122	中 I	VIII B9-11l	59 E 2	SD 79	SD166	中 I 城 II	VIII C2e-g	59 C	SD 11
SD123	中 I	VIII B9, 10l	59 E 2	SD 80	SD167	城 II	VIII C1, 2gh	59 C	SD 15A
SD124	中?	VIII B8-10m	59 E 2	SD 81		村	VII C19, 20h	59 C	SD 17
SD125	中 I	VIII B8-10m	59 E 2	SD 82	SD168	村	VII C20hi, VIII C1-3f-h	59 C	SD 13
SD126	中?	VIII B10m	59 E 2	SD 84	SD169	中	VIII C1-3g-i	59 C	SD 16
SD127	中?	VIII B10m	59 E 2	SD 83	SD170	中 II	VIII C2, 3g-j	59 C	SD 14
SD128	—	VIII B3qr	59 E	SD 32		(城 II)			
SD129	村	VIII B3o-r	59 E	SD 35	SD171	城 II	VIII C1~4h	59 C	SD 15B
SD130	中 I	VIII B3, 4pq	59 E	SD 31	SD172	村	VIII C2h-j	59 C	SD 18
SD131	城 II	VIII B6p	59 E	SD 36	SD173	村	VIII C3i	59 C	SD 19
SD132	中 II	VIII B6, 7q	59 E	SD 38	SD174	城	VIII C3i	59 C	SD 22
SD133	中 I	VIII B6-10p-r	59 E	SD 01	SD175	中	VIII C4i	59 C	SD 21
SD134	村	VIII B7qr	59 E	SD 39	SD176	中	VIII C4hi	59 C	SD 20
SD135	城 II	VIII B8n	59 E	SD 03	SD177	—	VIII C4fg	59 C	SD 08
SD136	中 I	VIII B8n	59 E	SD 05		城 II	VIII C4-8e-g	59 D	SD 11
SD137	中 II	VIII B8n	59 E	SD 07	SD178	中 I?	VII C18, 19ij	59 C	SD 09
SD138	中	VIII B8o	59 E	SD 13	SD179	中 II	VIII B7-9t, VIII C7a	59 D	SD 02
SD139	中 I	VIII B8, 9no	59 E	SD 06	SD180	—	VIII B7-9t	59 D	SD 02
	(村?)				SD181	中 I	VIII B7-9t, VIII C7, 8	59 D	SD 03
SD140	中 I	VIII B9n	59 E	SD 19B		(II)	a		
SD141	—	VIII B9o	59 E	SD 16	SD182	村	VIII C6a-c	59 D	SD 06
SD142	—	VIII B9, 10op	59 E	SD 17	SD183	中 I	VIII C7, 8cd	59 D	SD 08
SD143	中	VIII B9, 10op	59 E	SD 18	SD184	中 II	VIII C5-8c-e	59 D	SD 10
SD144	—	VIII B9, 10op	59 E	SD 21	SD185	中 I	VIII C8de	59 D	SD 09
SD145	中 I	VIII B10op	59 E	SD 02	SD186	村	VIII C7, 8g	59 D	SD 13
SD146	—	VIII B8p	59 E	SD 22	SD187	城 II	VIII C7, 8gh	59 D	SD 12
SD147	中 I	VIII B8p	59 E	SD 14	SD188	城 II	VIII C4, 5h	59 D	SD 15
SD148	中 II	VIII B8p	59 E	SD 15	SD189	—	VIII C6, 7k-n	59 B	SD 14
SD149	中 I	VIII B8p	59 E	SD 08		城 II	VIII C5-7hi	59 D	SD 14
SD150	—	VIII B9p	59 E	SD 12		城 II	VIII C5-7jk	60 A	SD 01
SD151	中 I	VIII B8qr	59 E	SD 04	SD190	中?	VIII C2K1	60 A	SD 04
SD152	中 I	VIII B3st	60 B	SD 02	SD191	城 II	VIII C3K1	60 A	SD 03
SD153	村	VII B20t, VIII B1-3t	60 B	SD 01	SD192	村?	VIII C3K1	60 A	SD 02
SD154	城	VIII B3t	60 B	SD 03	SD193	中 II	VII C19, 20n-p	59 A	SD 16
SD155	村	VIII B3, 4t	60 B	SD 04	SD194	—	VII C19, 20n-q, VIII	59 A	SD 15
SD156	村	VIII B6t	60 B	SD 05			C1q		
SD157	村	VIII B7-9st	60 B	SD 06		—	VII C1-3q-s	59 B	SD 15
SD158	—	VIII B7, 8t	60 B	SD 10	SD195	村	VII C18, 19p-r	59 A	SD 18
SD159	中 I	VIII B8, 9st	60 B	SD 11	SD196	村	VII C19, 20p-s	59 A	SD 17
SD160	中 II?	VIII C2ab	59 C	SD 04	SD197	中 I	VII C19, 20qr	59 A	SD 19
SD161	—	VIII C3a	59 C	SD 02	SD198	中 II 城	VII C19, 20qr, VIII C	59 A	SD 02
SD162	中 I	VIII C4ab	59 C	SD 01		II	1q		
SD163	中 I	VIII C2-4b	59 C	SD 03	SD198	中 II	VIII C1-4pq	59 B	SD 02
						城 II			

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SD199	城II	VII C18, 19rs	59 A	SD 20	SD212	中 I	VIII D3, 4de	60 E	SD 09
SD200	城II (中城村)	VII C18-20st, VII D18, 19a-d, VIII C1st	59 A	SD 13	SD213	中II	VIII D2, 3e	60 E	SD 10
	城II (中城村)	VIII C1-5r-t	59 B	SD 13	SD214	城II	VII D20fg, VIII D1-5e- g	60 E	SD 04
	城 I II 村	VII D19, 20d-j	60 E	SD 01	SD215	城II	VII D20g, VIII D1-5e- g	60 E	SD 02
					SD216	城	VII D18fg	60 E	SD 05
SD201	—	VII C20t, VIII C1t	59 A	—	SD217	中II	VIII D1, 2fg	60 E	SD 07
	—	VIII D1t	59 B	SD 08	SD218	中II	VIII D2fg	60 E	SD 11
SD202	—	VII D18ab	59 A	SD 21	SD219	中 (城村)	VII D20i, VIII D1-4f- i	60 E	SD 08
SD203	村	VIII C1, 2lm	59 B	SD 10	SD220	城II (城 I)	VIII D18g-i	60 E	SD 06
SD204	中 I	VIII C1, 2m-p	59 B	SD 03	SD221	城 I	VII D16-18i	60 E	SD 12
SD205	中II (城II村)	VIII C1, 2l-q	59 B	SD 04	SD222	城II (村)	VII D17-20k-n, VIII D 1-4K-m	60 D	SD 03
SD206	中II	VIII C2lm	59 B	SD 12	城II (村)	VII D16-20ij, VIII D1- 4g-j	60 E	SD 03	
SD207	村	VIII C2-5lm	59 B	SD 09					
SD208	—	VIII C4m	59 B	SD 07					
SD209	城II	VIII C5op	59 B	SD 06					
SD210	—	VIII C2, 3p	59 B	SD 16					
SD211	城II	VIII C3, 4s-t, VIII D4 a-c	59 B	SD 01					
	中II	VIII C3qr	59 B	SD 05					
	城II	VIII D4cd	60 E	SD 13					

井 戸
(SE)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SE01	中II	VIII A10g	58	SE 06	SE20	城	VIII A13, 14k	59 G	SE 09
	中II	VIII A10g	58	SE 83	SE21	村	VIII A14k	59 G	SE 08
SE02	中 I	VIII A9ij	58	SE 05	SE22	城II	VIII A15kl	59 G	SE 07
	中 I	VIII A9ij	58	SE 73	SE23	城II	VIII A15l	59 G	SE 06
SE03	城II	VIII A10, 11Kl	58	SE 04	SE24	城	VIII A14, 15lm	59 G	SE 05
	城II	VIII A10, 11Kl	58	SE 67	SE25	城II	VIII A13, 14mn	59 G	SE 04
SE04	中 I	VIII A11, 12Kl	58	SE 03	SE26	—	VIII A14m	59 G	SE 03
	中I城II	VIII A11, 12Kl	58	SE 65	SE27	村	VIII A14, 15mn	59 G	SE 02
SE05	城II	VIII A6no	58	SE 02A	SE28	城II	VIII A13, 14op	59 G	SE 01
	城II	VIII A6, 7no	58	SK 19	SE29	—	VIII B10i	56	SE 03
SE06	城II	VIII A6, 7no	58	SK 02B	SE30	—	VIII B9j	56	SE 01
SE07	城II	VIII A7t, VIII B7a	58	SE 01	SE31	—	VIII B9k	56	SE 02
	城II	VIII A7t, VIII B7a	58	SE 21	SE32	—	VIII B11, 12g	59 E 2	SE 02
SE08	城II	VIII A12m	57	SE 05	SE33	中 I	VIII B11, 12g	59 E 2	SK216
SE09	城II	VIII A12n	57	SE 04	SE34	城II —	VIII B2hi VIII B2hi	59 E 2 59 E 2	SE 08 SK133
SE10	現代	VIII A10p	57	SE 03	SE35	城II 城	VIII B2hi VIII B2hi	59 E 2 59 E 2	SE 09 SK156
SE11	現代	VIII A10p	57	SE 01	SE36	村	VIII B11hi	59 E 2	SE 06
SE12	城II	VIII A12p	57	SE 02	SE37	中 I	VIII B10, 11lm	59 E 2	SE 03
SE13	村	VIII A5p	59 F	SK 11	SE38	村 村	VIII B5o VIII B5no	59 E 59 E 2	SK102 SE007
SE14	村	VIII A4qr	59 F	SK 49	SE39	城II	VIII B9op	59 E	SK 03
SE15	村	VIII A5s	59 F	SK 16	SE40	城II	VIII B5p	59 E	SK 98
SE16	村	VIII B5, 6ab	59 F	SK 39	SE41	—	VIII B5p	59 E	SK 98B
SE17	村	VIII B5c	59 F	SK 40					
SE18	村	VIII B4, 5cd	59 F	SK 35					
SE19	城II	VIII A14i	59 G	SK 34					

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SE42	村	VIII B5pq	59 E	SK 106	SE70	城 II	VIII C1, 2l	60 A	SK 11
SE43	城 II	VIII B6, 7p	59 E	SK 41	SE71	—	VII C20m	59 A	SE 13
SE44	城 II	VIII B8p	59 E	SK 30	SE72	中 I	VII C20mn	59 A	SE 14
SE45	城 II	VIII B8, 9p	59 E	SK 02	SE73	中 II	VII C19, 20no	59 A	SE 15
SE46	城 I II	VIII B3q	59 E	SK 105	SE74	—	VII C20s	59 A	SE 16
SE47	城 II	VIII B3qr	59 E	SK 57	SE75	中 I	VII D18, 19t	59 A	SE 17
SE48	村	VIII B6, 7qr	59 E	SK 36	SE76	中 II	VII D18cd	59 A	SE 18
SE49	村	VIII B7qr	59 E	SK 36B	SE77	中 I	VII D20c	59 A	SE 19
SE50	村	VIII B7q	59 E	SK 36C	SE78	中 I	VIII C5l	59 B	SK 09
SE51	城 II	VIII B2, 3r	59 E	SK 79	SE79	中 II	VIII C2, 3m	59 B	SE 03
SE52	中 I	VIII B4, 5rs	59 E	SE 01	SE80	—	VIII C5n	59 B	SE 05
SE53	村	VIII B7r	59 E	SK 80	SE81	—	VIII C6n	59 B	SE 12
SE54	中 II	VIII B4, 5st	60 B	SK 15	SE82	城 II	VIII C2o	59 B	SE 06
SE55	中 I	VIII B6, 7rs	60 B	SE 01	SE83	城 II	VIII C2, 3op	59 B	SE 04
SE56	城 II	VIII C2, 3ab	59 C	SK 09	SE84	城 II	VIII C3o	59 B	SE 01
SE57	村	VIII C2, 3bc	59 C	SK 05	SE85	中 I	VIII C6o	59 B	SE 02
SE58	城 II	VIII C3, 4bc	59 C	SK 15	SE86	中 II	VIII C1, 2p	59 B	SE 07
SE59	城 II	VIII C4, 5b	59 C	SK 06	SE87	中 II	VIII C2p	59 B	SE 09
SE60	中 I	VIII C3c	59 C	SK 07	SE88	城 II	VIII C2, 3p	59 B	SE 08
SE61	中 II	VIII C3cd	59 C	SK 04	SE89	中 I	VIII C5p	59 B	SK 07
	城 I				SE90	城 II	VIII C2, 3q	59 B	SK 02
SE62	城 II	VIII C2i	59 C	SK 37	SE91	中 I	VIII C1, 2st	59 B	SE 10
SE63	城 II	VIII C7, 8ab	59 D	SK 04	SE92	中 I	VIII C3t	59 B	SE 11
SE64	中 I II	VIII C7b	59 D	SK 03	SE93	中 I	VIII D3, 4a	59 B	SK 03
	城 II 村				SE94	城 II?	VIII D1cd	60 E	SE 03
SE65	城 II	VIII C5c	59 D	SE 02	SE95	中 II	VIII D3, 4c	60 E	SE 02
SE66	中 I	VIII C8d	59 D	SK 11	SE96	中 I	VII D20e, VIII D1e	60 E	SE 01
SE67	中 I	VIII C3k	60 A	SK 04		(城 I)			
SE68	城 II	VII C20l	60 A	SK 02	SE97	城 II	VIII D2, 3ef	60 E	SK 10
SE69	中 I	VII C20l, VIII C1l	60 A	SK 03					

土 坑
(SK)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SK 01	—	VIII A13fg	58	—	SK 18	—	VIII A12i	58	—
SK 02	中 I	VIII A13f	58	SK 85	SK 19	—	VIII A12i	58	—
SK 03	中 I	VIII A13, 14f	58	SK 84	SK 20	中 I	VIII A13i	58	SK 79
	(村)				SK 21	中 I	VIII A6j	58	SK 88
SK 04	中 I	VIII A7g	58	SK 81	SK 22	中 I	VIII A6, 7j	58	SK 55
SK 05	城 II	VIII A7gh	58	SK 80	SK 23	城 II	VIII A7jk	58	SK 49
SK 06	中 II	VIII A8, 9gh	58	SK 87	SK 24	中 II	VIII A7, 8j	58	SK 77
SK 07	中 I	VIII A9g	58	SK 86	SK 25	—	VIII A8j	58	—
SK 08	城 II	VIII A7hi	58	SK 78	SK 26	城 II	VIII A9j	58	SK 60
SK 09	中 I	VIII A9, 10hi	58	SK 70	SK 27	村	VIII A9j	58	SK 64
SK 10	中 I	VIII A10h	58	SK 71	SK 28	中 II	VIII A6k	58	SK 48
SK 11	中 II	VIII A11hi	58	SK 82	SK 29	中 I	VIII A6, 7k	58	SK 50
SK 12	—	VIII A12hi	58	—	SK 30	中 I	VIII A6, 7k	58	SK 51
SK 13	中 II	VIII A7, 8ij	58	SK 76	SK 31	中 I	VIII A7k	58	SK 56
SK 14	中 I	VIII A8ij	58	SK 72	SK 32	中 I	VIII A7, 8kl	58	SK 89
SK 15	中 I	VIII A10i	58	SK 68	SK 33	中 II	VIII A8kl	58	SK 59
SK 16	—	VIII A11i	58	—	SK 34	中 I	VIII A9k	58	SK 62
SK 17	中 I	VIII A11i	58	SK 69					

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SK 35	—	VⅢA9kl	58	—	SK 84	城Ⅱ	VⅢA7q	58	SK 13
SK 36	中Ⅰ	VⅢA9, 10k	58	SK 63	SK 85	—	VⅢA7q	58	SK 37
SK 37	村	VⅢA10k	58	SK 74	SK 86	城Ⅱ	VⅢA8q	58	SK 24
SK 38	中Ⅰ	VⅢA10k	58	SK 75	SK 87	—	VⅢA8qr	58	SK 32
SK 39	中Ⅰ 城Ⅰ	VⅢA11k	58	SK 66	SK 88	—	VⅢA8q	58	SK 33
SK 40	—	VⅢA7l	58	—	SK 89	中Ⅰ	VⅢA7r	58	SK 14
SK 41	—	VⅢA8, 9l	58	—	SK 90	中Ⅰ	VⅢA7r	58	SK 15
SK 42	—	VⅢA8, 9l	58	—	SK 91	城Ⅱ	VⅢA7r	58	SK 31B
SK 43	—	VⅢA9l	58	—	SK 92	—	VⅢA8r	58	SK 27
SK 44	—	VⅢA9l	58	—	SK 93	城Ⅱ	VⅢA8r	58	SK 16
SK 45	—	VⅢA9, 10l	58	—	SK 94	村	VⅢA8r	58	SK 03
SK 46	村	VⅢA10l	58	SK 61	SK 95	—	VⅢA6, 7s	58	SK 05
SK 47	—	VⅢA7m	58	—	SK 96	城Ⅱ	VⅢA7t	58	SK 20
SK 48	城Ⅰ	VⅢA7m	58	SK 01	SK 97	城Ⅱ	VⅢB7, 8ab	58	SK 22
SK 49	村	VⅢA7m	58	SK 09	SK 98	中Ⅰ	VⅢB8ab	58	SK 23
SK 50	城Ⅱ	VⅢA7, 8m	58	SK 18	SK 99	—	VⅢA11l	57	SK 10
SK 51	—	VⅢA8m	58	—	SK100	中Ⅰ	VⅢA11n	57	SK 09
SK 52	—	VⅢA8m	58	—	SK101	—	VⅢA11n	57	SK 08
SK 53	城Ⅱ	VⅢA9m	58	SK 54	SK102	—	VⅢA11, 12o	57	SK 11
SK 54	村	VⅢA9m	58	SK 53	SK103	城Ⅱ	VⅢA10r	57	SK 07
SK 55	—	VⅢA6, 7n	58	—	SK104	城Ⅱ	VⅢA10rs	57	SK 06
SK 56	中Ⅰ	VⅢA8n	58	SK 57	SK105	村?	VⅢA10rs	57	SK 05
SK 57	中Ⅰ	VⅢA8no	58	SK 47	SK106	城Ⅱ	VⅢA10s	57	SK 03
SK 58	中Ⅱ	VⅢA8n	58	SK 58	SK107	城Ⅱ	VⅢA10s	57	SK 02
SK 59	城Ⅱ	VⅢA8n	58	SK 02	SK108	村?	VⅢA10, 11s	57	SK 04
SK 60	中Ⅰ	VⅢA6op	58	SK 17	SK109	城Ⅱ	VⅢA11t	57	SK 01
SK 61	—	VⅢA7o	58	SK 43	SK110	中Ⅰ	VⅢA4, 5n	59 F	SK 18
SK 62	村	VⅢA7, 8o	58	SK 45	SK111	中Ⅱ	VⅢA4, 5no	59 F	SK 15
SK 63	中Ⅰ	VⅢA8o	58	SK 46	SK112	中Ⅰ	VⅢA5n	59 F	SK 19
SK 64	城Ⅱ	VⅢA8op	58	SK 07	SK113	城	VⅢA5n	59 F	SK 14
SK 65	村	VⅢA6, 7p	58	SK 06	SK114	城	VⅢA4o	59 F	SK 13
SK 66	城Ⅱ	VⅢA6, 7p	58	SK 42	SK115	城Ⅱ	VⅢA3, 4qr	59 F	SK 50
SK 67	城Ⅱ	VⅢA7p	58	SK 38	SK116	村	VⅢA3, 4pq	59 F	SK 12
SK 68	城Ⅱ	VⅢA7p	58	SK 41	SK117	—	VⅢA4q	59 F	—
SK 69	城Ⅱ	VⅢA7, 8p	58	SK 40	SK118	—	VⅢA5qr	59 F	—
SK 70	城Ⅱ	VⅢA7, 8p	58	SK 39	SK119	城Ⅱ	VⅢA5r	59 F	SK 51
SK 71	—	VⅢA8pq	58	SK 10	SK120	城Ⅱ	VⅢA3s	59 F	SK 08
SK 72	城Ⅱ	VⅢA8p	58	SK 35	SK121	城	VⅢA3st	59 F	SK 09
SK 73	城Ⅱ	VⅢA8p	58	SK 36	SK122	城	VⅢA3, 4s	59 F	SK 07
SK 74	城Ⅱ	VⅢA8p	58	SK 26	SK123	城	VⅢA4s	59 F	SK 05
SK 75	中Ⅰ	VⅢA8p	58	SK 08	SK124	城Ⅱ	VⅢA4s	59 F	SK 06
SK 76	村	VⅢA6, 7qr	58	SK 30	SK125	中Ⅰ	VⅢA4s	59 F	SK 31
SK 77	城Ⅱ	VⅢA7q	58	SK 28	SK126	城	VⅢA4st	59 F	SK 04
SK 78	—	VⅢA7q	58	SK 34	SK127	中城	VⅢA4, 5st	59 F	SK 03
SK 79	城Ⅱ	VⅢA7q	58	SK 29	SK128	中Ⅰ	VⅢA3t	59 F	SK 43
SK 80	城Ⅱ	VⅢA7q	58	SK 44	SK129	城Ⅰ	VⅢA3t	59 F	SK 28
SK 81	城Ⅱ	VⅢA7q	58	SK 11	SK130	村	VⅢA3t	59 F	SK 27
SK 82	城Ⅰ	VⅢA7q	58	SK 12	SK131	城Ⅱ	VⅢA3t, VⅢB3a	59 F	SK 22
SK 83	—	VⅢA7q	58	SK 31A	SK132	—	VⅢA3, 4t, VⅢB3, 4a	59 F	SK 52

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SK133	城Ⅱ	VⅢA4t	59 F	SK 26	SK182	—	VⅢA15h	59 G	SK 60
SK134	城	VⅢA4t	59 F	SK 32	SK183	中	VⅢA15h	59 G	SK 51
SK135	村	VⅢA4t	59 F	SK 25	SK184	中	VⅢA15hi	59 G	SK 52
SK136	中Ⅰ	VⅢA4t, VⅢB4a	59 F	SK 41	SK185	—	VⅢA15h	59 G	SK 53
SK137	城ⅠⅡ	VⅢA4t, VⅢB4a	59 F	SK 20	SK186	城Ⅱ	VⅢA14i	59 G	SK 47
SK138	村	VⅢA5t	59 F	SK 02	SK187	村	VⅢA14ij	59 G	SK 46
SK139	村	VⅢA5t, VⅢB5a	59 F	SK 01	SK188	中Ⅰ	VⅢA14, 15i	59 G	SK 48
SK140	城Ⅱ	VⅢA5, 6t	59 F	SK 24	SK189	中Ⅰ	VⅢA14j	59 G	SK 44
SK141	村	VⅢA6t	59 F	SK 23	SK190	城Ⅱ	VⅢA14j	59 G	SK 45
SK142	—	VⅢA6t, VⅢB6a	59 F	SK 37	SK191	中Ⅰ	VⅢA15k	59 G	SK 43
SK143	村	VⅢB2, 3a	59 F	SK 30	SK192	中Ⅰ	VⅢA15k	59 G	SK 42
SK144	中Ⅰ	VⅢB3a	59 F	SK 44	SK193	中Ⅰ	VⅢA13m	59 G	SK 38
SK145	城	VⅢB3a	59 F	SK 42	SK194	城	VⅢA13m	59 G	SK 39
SK146	城	VⅢB3a	59 F	SK 29	SK195	中Ⅰ	VⅢA14m	59 G	SK 37
SK147	城	VⅢB3a	59 F	SK 45	SK196	—	VⅢA14, 15m	59 G	SK 40
SK148	—	VⅢB3a	59 F	SK 53	SK197	—	VⅢA15m	59 G	SK 41
SK149	中Ⅰ	VⅢB3, 4a	59 F	SK 21	SK198	城Ⅱ	VⅢA13, 14o	59 G	SK 35
SK150	城Ⅱ	VⅢB4a	59 F	SK 17	SK199	中Ⅰ	VⅢA13p	59 G	SK 26
SK151	村	VⅢA6ab	59 F	SK 38	SK200	城Ⅱ	VⅢA13pq	59 G	SK 25
SK152	—	VⅢB3, 4b	59 F	SK 54	SK201	—	VⅢA13, 14p	59 G	SK 27
SK153	中Ⅰ	VⅢB3, 4ab	59 F	SK 46	SK202	—	VⅢA14p	59 G	SK 31
SK154	—	VⅢB3, 4b	59 F	SK 55	SK203	城	VⅢA14p	59 G	SK 32
SK155	中Ⅰ	VⅢB4b	59 F	SK 47	SK204	城Ⅱ	VⅢA14p	59 G	SK 33
SK156	村	VⅢB4b	59 F	SK 34	SK205	村	VⅢA14p	59 G	SK 30
SK157	中	VⅢB4bc	59 F	SK 33	SK206	城	VⅢA14p	59 G	SK 28
SK158	—	VⅢB5b	59 F	—	SK207	中Ⅰ	VⅢA14pq	59 G	SK 29
SK159	—	VⅢB6b	59 F	—	SK208	中Ⅰ	VⅢA14q	59 G	SK 24
SK160	—	VⅢB3c	59 F	SK 57	SK209	城Ⅱ	VⅢA12, 13rs	59 G	SK 23
SK161	—	VⅢB3cd	59 F	SK 56	SK210	城Ⅱ	VⅢA12s	59 G	SK 21
SK162	村	VⅢB5, 6bc	59 F	SK 36	SK211	村	VⅢA12, 13s	59 G	SK 20
	—	VⅢB5, 6c	60 C	SK 04	SK212	城Ⅱ	VⅢA12, 13s	59 G	SK 22
SK163	中Ⅰ	VⅢB6c	59 F	SK 48	SK213	村	VⅢA12, 13s	59 G	SK 17
SK164	城Ⅱ	VⅢA14, 15ef	59 G	SK 70	SK214	城Ⅱ	VⅢA13s	59 G	SK 15
SK165	城Ⅱ	VⅢA14, 15ef	59 G	SK 67	SK215	中?	VⅢA13st	59 G	SK 16
SK166	中	VⅢA15e	59 G	SK 68	SK216	—	VⅢA13s	59 G	SK 19
SK167	—	VⅢA14f	59 G	SK 69	SK217	城Ⅱ	VⅢA13s	59 G	SK 36
SK168	中Ⅰ	VⅢA14, 15fg	59 G	SK 65	SK218	村	VⅢA13s	59 G	SK 10
SK169	宿	VⅢA14, 15f	59 G	SK 66	SK219	城Ⅱ	VⅢA13s	59 G	SK 11
SK170	中Ⅰ	VⅢA14, 15g	59 G	SK 62	SK220	城Ⅱ	VⅢA13st	59 G	SK 08
SK171	中	VⅢA15gh	59 G	SK 61	SK221	村	VⅢA13st	59 G	SK 09
SK172	—	VⅢA15g	59 G	SK 64A	SK222	村	VⅢA12, 13t	59 G	SK 18
SK173	中Ⅰ	VⅢA15gh	59 G	SK 64B	SK223	村	VⅢA13t	59 G	SK 14
SK174	—	VⅢA14h	59 G	SK 54	SK224	—	VⅢA13t	59 G	SK 13
SK175	城	VⅢA14h	59 G	SK 50	SK225	城	VⅢA13t	59 G	SK 06
SK176	城Ⅱ	VⅢA14h	59 G	SK 49	SK226	村	VⅢA13t	59 G	SK 05
SK177	中	VⅢA14, 15h	59 G	SK 55	SK227	中Ⅰ	VⅢA13t	59 G	SK 04
SK178	中Ⅰ	VⅢA15h	59 G	SK 56	SK228	—	VⅢA13t	59 G	SK 07
SK179	中	VⅢA15h	59 G	SK 57	SK229	城?	VⅢB13a	59 G	SK 01
SK180	中Ⅰ	VⅢA15h	59 G	SK 58	SK230	中Ⅰ	VⅢB10, 11bc	60 C	SK 02
SK181	中	VⅢA15h	59 G	SK 59	SK231	村	VⅢB8c	60 C	SK 01

遺構番号	時期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時期	グリッド	調査区	登録番号
SK232	村	VIII B4, 5f	60 C	SK 03	SK282	城II	VIII B3j	59 E 2	SK159
SK233	城I	VIII B12ef	59 E 2	SK215	SK283	中?	VIII B3j	59 E 2	SK185
SK234	-	VIII B11f	59 E 2	SK214	SK284	村	VIII B3j	59 E 2	SK166
SK235	中?	VIII B2gh	59 E 2	SK136	SK285	城II	VIII B3j	59 E 2	SK165
SK236	城?	VIII B2g	59 E 2	SK131	SK286	城II?	VIII B3j	59 E 2	SK179
SK237	村	VIII B2gh	59 E 2	SK129	SK287	中	VIII B3j	59 E 2	SK176
SK238	中I	VIII B3g	59 E 2	SK141	SK288	中I	VIII B10, 11j	59 E 2	SK240
SK239	城II	不明	59 E 2	SK132	SK289	-	VIII B2, 3k	59 E 2	SK170
SK240	-	VIII B11g	59 E 2	SK219A	SK290	村	VIII B2, 3k	59 E 2	SK193
SK241	村	VIII B2h	59 E 2	SK140	SK291	城II	VIII B3k	59 E 2	SK181
SK242	城II	VIII B2, 3h	59 E 2	SK139	SK292	城II	VIII B3k	59 E 2	SK160
SK243	城II	VIII B2, 3h	59 E 2	SK135	SK293	城II村	VIII B3kl	59 E 2	SK190
SK244	城II	VIII B3hi	59 E 2	SK143	SK294	城	VIII B2, 3kl	59 E 2	SK198
SK245	城	VIII B3hi	59 E 2	SK147	SK295	城II	VIII B3kl	59 E 2	SK201
SK246	中I	VIII B3hi	59 E 2	SK149	SK296	城	VIII B1l	59 E 2	SK188
SK247	城II	VIII B3h	59 E 2	SK148	SK297	-	VIII B2l	59 E 2	SK194
SK248	-	VIII B3h	59 E 2	SK154	SK298	-	VIII B3lm	59 E 2	SK209
SK249	城II	VIII B3h	59 E 2	SK146	SK299	中I?	VIII B8lm	59 E 2	SK243
SK250	城II	VIII B3hi	59 E 2	SK168	SK300	中?	VIII B8l	59 E 2	SK242
SK251	城	VIII B11h	59 E 2	SK219B	SK301	中	VIII B8l	59 E 2	SK232
SK252	城II	VIII B11h	59 E 2	SK223	SK302	中	VIII B8, 9l	59 E 2	SK233
SK253	中I	VIII B11h	59 E 2	SK222	SK303	中I	VIII B9, 10l-n	59 E 2	SK241
SK254	中I	VIII B11h	59 E 2	SK221	SK304	-	VIII B10lm	59 E 2	SK245
SK255	村	VIII B11, 12h	59 E 2	SK218	SK305	村	VIII B3gh	59 E 2	SK134
SK256	村	VIII B2i	59 E 2	SK138	SK306	中I	VIII B2m	59 E 2	SK206
SK257	中I?	VIII B2ij	59 E 2	SK162	SK307	中I	VIII B2, 3m	59 E 2	SK207
SK258	-	VIII B2i	59 E 2	SK246A	SK308	城	VIII B3m	59 E 2	SK208
SK259	-	VIII B2i	59 E 2	SK247	SK309	城	VIII B3m	59 E 2	SK211
SK260	城II?	VIII B3i	59 E 2	SK151	SK310	村	VIII B3m	59 E 2	SK213
SK261	城	VIII B3i	59 E 2	SK152	SK311	城I?	VIII B4m	59 E 2	SK205
SK262	城	VIII B3i	59 E 2	SK153	SK312	中I?	VIII B4m	59 E 2	SK204
SK263	村	VIII B3ij	59 E 2	SK172	SK313	城II	VIII B4m	59 E 2	SK202
SK264	城?	VIII B3ij	59 E 2	SK186	SK314	中	VIII B7m	59 E 2	SK227
SK265	村	VIII B3i	59 E 2	SK177	SK315	中I	VIII B7, 8m	59 E 2	SK246B
SK266	城II	VIII B3i	59 E 2	SK155	SK316	中I	VIII B8m	59 E 2	SK235
SK267	城	VIII B3i	59 E 2	SK171	SK317	中I	VIII B8m	59 E 2	SK234
SK268	-	VIII B3i	59 E 2	-	SK318	-	VIII B9m	59 E 2	SK244
SK269	-	VIII B3ij	59 E 2	SK184	SK319	中?	VIII B1n	59 E 2	SK187
SK270	-	VIII B10, 11i	59 E 2	SK237	SK320	-	VIII B1no	59 E 2	SK191
SK271	中I	VIII B11ij	59 E 2	SK238	SK321	中I	VIII B3no	59 E 2	SK199
SK272	城II	VIII B1, 2j	59 E 2	SK144	SK322	中I	VIII B3, 4no	59 E 2	SK197
SK273	城	VIII B2j	59 E 2	SK145	SK323	城II?	VIII B3, 4n	59 E 2	SK203
SK274	城II	VIII B2j	59 E 2	SK161	SK324	城II	VIII B4n	59 E 2	SK195
SK275	城II	VIII B2j	59 E 2	SK150	SK325	中II	VIII B5n	59 E 2	SK210
SK276	城II	VIII B2j	59 E 2	SK182	SK326	城	VIII B6o	59 E	SK 82
SK277	-	VIII B2jk	59 E 2	SK183		-	VIII B6no	59 E 2	SK 82
SK278	城II	VIII B2j	59 E 2	SK163	SK327	中II	VIII B7n	59 E 2	SK220
SK279	-	VIII B2j	59 E 2	SK158	SK328	村	VIII B8, 9n	59 E 2	SK229
SK280	城	VIII B2, 3j	59 E 2	SK157	SK329	城	VIII B3o	59 E 2	SK196
SK281	城II	VIII B2, 3jk	59 E 2	SK169					

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SK330	中 ?	VIII B4o	59 E	SK 47	SK378	—	VIII B4pq	59 E	SK 53
	—	VIII B4o	59 E 2	SK 47	SK379	—	VIII B4p	59 E	SK 50
SK331	中 I	VIII B8n	59 E	SK 04	SK380	—	VIII B4, 5p	59 E	SK 49
SK332	城 II	VIII B8no	59 E	SK 19	SK381	村	VIII B4, 5p	59 E	SK 37
SK333	中	VIII B9n	59 E	SK127	SK382	—	VIII B5p	59 E	SK 48
SK334	中 I	VIII B9no	59 E	SK125	SK383	城 II	VIII B5pq	59 E	SK 55
SK335	中 I	VIII B9, 10no	59 E	SK 24	SK384	城 II	VIII B6pq	59 E	SK101
SK336	中	VIII B9, 10o	59 E	SK128	SK385	城 II	VIII B6pq	59 E	SK100
SK337	中 I II	VIII B10n	59 E	SK 07	SK386	城 II	VIII B6p	59 E	SK 97
SK338	村	VIII B10no	59 E	SK 06	SK387	城 II	VIII B7p	59 E	SK 95
SK339	城 II	VIII B3o	59 E	SK 40	SK388	中 I	VIII B8, 9pq	59 E	SK 18
SK340	—	VIII B3op	59 E	SK 45	SK389	中 I	VIII B9p	59 E	SK 26
SK341	—	VIII B4o	59 E	SK 44		(城)			
SK342	—	VIII B4op	59 E	SK 68	SK390	中 I	VIII B9p	59 E	SK 27
SK343	—	VIII B4o	59 E	SK 46	SK391	中 II	VIII B9, 10p	59 E	SK 28
SK344	城 II	VIII B4, 5o	59 E	SK 38	SK392	村	VIII B10p	59 E	SK 01
SK345	—	VIII B5op	59 E	—	SK393	中 I	VIII B20qr	59 E	SK 32
SK346	城 II	VIII B6o	59 E	SK 83	SK394	村	VIII B20q, VIII B1q	59 E	SK 42
SK347	—	VIII B6o	59 E	SK 85	SK395	中 I	VIII B1q	59 E	SK113
SK348	中 I	VIII B6o	59 E	SK 86	SK396	城 II	VIII B1q	59 E	SK 96
SK349	村	VIII B6op	59 E	SK 84		城 II	VIII B1qr	59 E	SK112
SK350	—	VIII B6, 7op	59 E	SK 93	SK397	中 ?	VIII B1q	59 E	SK 43
SK351	中 ?	VIII B7o	59 E	SK 89	SK398	城	VIII B1qr	59 E	SK111
SK352	城	VIII B7o	59 E	SK 88	SK399	中 I	VIII B1, 2q	59 E	SK 61
SK353	中 ?	VIII B7o	59 E	SK 87	SK400	村	VIII B1, 2q	59 E	SK 35
SK354	中 I	VIII B7o	59 E	SK 90	SK401	城 II	VIII B2, 3q	59 E	SK 60
SK355	村	VIII B7o	59 E	SK 91	SK402	城 II	VIII B2, 3qr	59 E	SK 71
SK356	—	VIII B7o	59 E	SK 92	SK403	—	VIII B2, 3q	59 E	SK 59
SK357	—	VIII B7op	59 E	SK 94	SK404	村	VIII B3q	59 E	SK 58
SK358	城	VIII B7, 8o	59 E	SK 09	SK405	—	VIII B3qr	59 E	—
SK359	村	VIII B7, 8o	59 E	SK 10	SK406	城 II	VIII B4q	59 E	SK 51
SK360	中 I	VIII B8op	59 E	SK 17	SK407	城 II	VIII B4, 5q	59 E	SK110
SK362	中 I	VIII B8o	59 E	SK 13A	SK408	中	VIII B4, 5q	59 E	SK 54
	—	VIII B8op	59 E	SK120	SK409	村	VIII B9, 10qr	59 E	SK 14
SK363	中 I	VIII B8o	59 E	SK 08	SK410	村	VIII B20r, VIII B1r	59 E	SK 33
SK364	中 I	VIII B8o	59 E	SK124	SK411	—	VIII B1r	59 E	—
SK365	中 II	VIII B8o	59 E	SK123	SK412	中 ?	VIII B1, 2s	59 E	SK 65
SK366	—	VIII B8, 9o	59 E	SK 20	SK413	村	VIII B1, 2r	59 E	SK 34
SK367	中 I	VIII B8, 9op	59 E	SK121	SK414	村	VIII B2r	59 E	SK 39
SK368	中	VIII B9o	59 E	SK 21	SK415	—	VIII B3r	59 E	—
SK369	城 II	VIII B9o	59 E	SK 22	SK416	—	VIII B4rs	59 E	—
SK370	中 I	VIII B9o	59 E	SK126	SK417	村	VIII B6, 7r	59 E	—
SK371	中 I	VIII B9o	59 E	SK 23	SK418	中 I	VIII B8r	59 E	SK 13B
SK372	中 I	VIII B9op	59 E	SK122	SK419	中	VIII B8r	59 E	SK 11
SK373	中 I	VIII B9op	59 E	SK 25	SK420	城 I	VIII B9r	59 E	SK 12
	(II)				SK421	—	VIII B9r	59 E	SK 15
SK374	中 I	VIII B1pq	59 E	SK 69	SK422	城 II	VIII B9r	59 E	SK 16
SK375	村	VIII B1, 2p	59 E	SK 31	SK423	中 I	VIII B1s	59 E	SK 67
SK376	城 II	VIII B1, 2pq	59 E	SK 70	SK424	中 II	VIII B1s	59 E	SK 66
SK377	中 I	VIII B4pq	59 E	SK109	SK425	—	VIII B1, 2s	59 E	—

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SK426	中II	VIII B2s	59 E	SK 72	SK474	—	VIII C1, 2h	59 C	SK 34
SK427	村	VIII B2s	59 E	SK 74	SK475	城II	VIII C3hi	59 C	SK 41
SK428	城II	VIII B2s	59 E	SK 73	SK476	城II	VIII C3hi	59 C	SK 03
SK429	—	VIII B2s	59 E	SK 77	SK477	城II	VIII C3, 4hi	59 C	SK 38
SK430	城II	VIII B2s	59 E	SK 76	SK478	中 I	VIII C4h	59 C	SK 42
SK431	城II	VIII B2s	59 E	SK 75	SK479	中 I	VII C18, 19i	59 C	SK 44
SK432	村	VIII B2, 3s	59 E	SK103	SK480	城II	VIII C2i	59 C	SK 35
SK433	村	VIII B2, 3s	59 E	SK104	SK481	城II	VIII C2i	59 C	SK 36
SK434	城II	VIII B2, 3s	59 E	SK 64	SK482	村	VIII C4i	59 C	SK 02
SK435	中 ?	VIII B3s	59 E	SK 62	SK483	村	VIII B8, 9t, VIII C8, 9a	59 D	SK 08
SK436	—	VIII B3s	59 E	SK 63	SK484	城II	VIII C6a	59 D	SK 06
SK437	中 I	VIII B3s	59 E	SK 52	SK485	中	VIII C7a	59 D	SK 01
SK438	城II	VIII B4s	59 E	SK 78	SK486	—	VIII C8a	59 D	SK 02
SK439	城II	VIII B4, 5s	59 E	SK108	SK487	—	VIII C8, 9a	59 D	—
	中II	VIII B4, 5s	60 B	SK 14	SK488	中 I	VIII C9ab	59 D	SK 07
SK440	城	VIII B7rs	60 B	SK 09A	SK489	—	VIII C8b	59 D	SK 05
SK441	中 I	VIII B7, 8r	60 B	SK 10	SK490	村	VIII C6, 7cd	59 D	SK 09B
SK442	—	VIII B8rs	60 B	SK 09B	SK491	中 I	VIII C7c	59 D	SK 19
SK443	中 I	VIII B8rs	60 B	SK 02	SK492	中 I	VIII C8, 9c	59 D	SK 13
SK444	村	VIII B3s	60 B	SK 06	SK493	中II 城 I	VIII C5, 6de	59 D	SK 10
SK445	—	VIII B3s	60 B	SK 07	SK494	—	VIII C7de	59 D	—
SK446	村	VIII B3, 4s	60 B	SK 05	SK495	—	VIII C6f	59 D	—
SK447	中 I	VIII B4st	60 B	SK 11	SK496	中 I	VIII C6ef	59 D	SK 12
SK448	村	VIII B7st	60 B	SK 03	SK497	—	VIII C4, 5hi	59 D	SK 18
SK449	中II	VIII B8s	60 B	SK 04	SK498	城II	VIII C5h	59 D	SK 15
SK450	—	VIII B2, 3t, VIII C2, 3a	60 B	SK 01A	SK499	村	VIII C5h	59 D	SK 16
SK451	村	VIII B5, 6t	60 B	SK 12	SK500	城II	VIII C5hi	59 D	SK 17
SK452	村	VIII C4ab	59 C	SK 11	SK501	中II	VIII C2k	60 A	SK 08
SK453	村	VIII C5a	59 C	SK 01	SK502	—	VIII C2k	60 A	SK 09
SK454	中 I	VIII C1bc	59 C	SK 19	SK503	中 I	VIII C5k	60 A	SK 06
SK455	中 I	VIII C1, 2bc	59 C	SK 20	SK504	中 I	VIII C5kl	60 A	SK 05
SK456	中 I	VIII C2b	59 C	SK 18	SK505	城II	VII C19l	60 A	SK 01
SK457	城II	VIII C3bc	59 C	SK 08	SK506	中II	VIII C2l	60 A	SK 10
SK458	城II	VIII C3b	59 C	SK 10	SK507	中 I	VII C19n	59 A	SK 14
SK459	城II	VIII C4bc	59 C	SK 16	SK508	—	VII C20o	59 A	SK 15
SK460	中 I	VIII C5bc	59 C	SK 17	SK509	—	VII C18qr	59 A	SK 29
SK461	城II	VIII C4c	59 C	SK 12	SK510	村	VII C18, 19qr	59 A	SK 20
SK462	中 I	VIII C5d	59 C	SK 39	SK511	城II	VII C19q	59 A	SK 18
SK463	中 I	VIII C1e	59 C	SK 26	SK512	—	VII C20q	59 A	SK 16
SK464	中 I	VIII C20f	59 C	SK 21	SK513	城 I	VII C20qr	59 A	SK 22
SK465	中 ?	VIII C3fg	59 C	SK 30	SK514	中 I	VII C20q, VIII C1q	59 A	SK 17
SK466	村	VIII C1gh	59 C	SK 29	SK515	—	VII C18r	59 A	SK 23
SK467	村	VIII C1g	59 C	SK 33	SK516	城II	VII C19rs	59 A	SK 21
SK468	中 I ?	VIII C2g	59 C	SK 32	SK517	中II	VII C18st	59 A	SK 24
SK469	城II	VIII C2g	59 C	SK 31	SK518	中 I	VII C18s	59 A	SK 25
SK470	中	VIII C3gh	59 C	SK 28	SK519	中 I	VII C18t, VII D18a	59 A	SK 27
SK471	中 I	VIII C4g	59 C	SK 22	SK520	—	VII D18a	59 A	SK 28
SK472	中	VIII C4g	59 C	SK 23	SK521	中 I	VII D20ab, VIII D1ab	59 A	SK 26
SK473	中	VIII C4g	59 C	SK 24					

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SK522	中II (城II)	VIII C2m	59 B	SK 05	SK547	中	VII D19g	60 E	SK 07
SK523	中II	VIII C2n	59 B	SK 08	SK548	—	VII D18h	60 E	SK 06
SK524	中II	VIII C2o	59 B	SK 10	SK549	城II	VII D18h	60 E	SK 05
SK525	中I	VIII C3q	59 B	SK 12	SK550	中I	VII D19h	60 E	SK 14
SK526	中I	VIII C2, 3s	59 B	SK 13	SK551	城II	VIII D3, 4hi	60 E	SK 17
SK527	—	VIII C3st	59 B	—	SK552	中II	VII D18i	60 E	SK 15
SK528	村	VIII C3t, VIII D3a	59 B	SK 11	SK553	中I	VIII D2, 3i	60 E	SK 21
SK529	—	VIII D3a	59 B	—	SK554	中	VII D20j	60 E	SK 16
SK530	城II —	VII D2c VIII D2c	59 B 60 E	SK 01 SK 22	SK555	—	VIII D1, 2j	60 E	SK 20
SK531	城	VII D4cd	60 E	SK 28	SK556	—	VIII D2mn	60 D	SK 43
SK532	城	VII D20d, VIII D1d	60 E	SK 27	SK557	中II	VIII D2, 3mn	60 D	SK 44
SK533	城	VII D1d	60 E	SK 25	SK558	—	VIII D3m	60 D	SK 47
SK534	城II	VII D2d	60 E	SK 23	SK559	—	VIII D3mn	60 D	SK 45
SK535	中I	VII D4d	60 E	SK 18	SK560	城II	VII D17, 18no	60 D	SK 29
SK536	中?	VII D4d	60 E	SK 24	SK561	—	VII D17, 18n	60 D	SK 30
SK537	中I	VIII D1, 2ef	60 E	SK 01	SK562	—	VII D18n	60 D	SK 31
SK538	中	VIII D2ef	60 E	SK 09	SK563	城II	VII D18n	60 D	SK 32
SK539	中II	VIII D2e	60 E	SK 08	SK564	—	VII D18, 19n	60 D	SK 33
SK540	—	VIII D2, 3e	60 E	SK 13A	SK565	城II	VII D18, 19n	60 D	SK 34
SK541	城I	VIII D3e	60 E	SK 02	SK566	中	VII D19n	60 D	SK 35
SK542	中II	VIII D3ef	60 E	SK 19	SK567	城II	VII D19n	60 D	SK 36
SK543	城II	VIII D3, 4e	60 E	SK 13B	SK568	村	VII D19n	60 D	SK 37
SK544	城II	VIII D4e	60 E	SK 12	SK569	城II	VII D20n	60 D	SK 38
SK545	中I	VII D18, 19g	60 E	SK 03	SK570	中	VII D20n	60 D	SK 39
SK546	城II	VII D18, 19g	60 E	SK 04	SK571	城II	VIII D1n	60 D	SK 40
					SK572	城	VIII D1n	60 D	SK 41
					SK573	中	VIII D1n	60 D	SK 42

柱 穴
(P)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P01	—	VIII A12e	58	—	P22	—	VIII A13f	58	—
P02	—	VIII A12e	58	—	P23	—	VIII A13f	58	—
P03	—	VIII A12e	58	—	P24	—	VIII A13f	58	—
P04	—	VIII A12e	58	—	P25	—	VIII A13f	58	—
P05	—	VIII A13e	58	—	P26	—	VIII A13, 14f	58	—
P06	—	VIII A13e	58	—	P27	—	VIII A13f	58	—
P07	—	VIII A13e	58	—	P28	—	VIII A13fg	58	—
P08	—	VIII A13ef	58	—	P29	—	VIII A13fg	58	—
P09	—	VIII A13ef	58	—	P30	—	VIII A13, 14fg	58	—
P10	—	VIII A7f	58	—	P31	—	VIII A14f	58	—
P11	—	VIII A13f	58	—	P32	—	VIII A7g	58	—
P12	—	VIII A13f	58	—	P33	—	VIII A7, 8g	58	—
P13	—	VIII A13f	58	—	P34	—	VIII A10g	58	—
P14	—	VIII A13f	58	—	P35	—	VIII A10g	58	—
P15	—	VIII A13f	58	—	P36	—	VIII A10g	58	—
P16	—	VIII A13, 14f	58	—	P37	—	VIII A10, 11g	58	—
P17	—	VIII A13f	58	—	P38	—	VIII A11g	58	—
P18	—	VIII A13f	58	—	P39	—	VIII A11g	58	—
P19	—	VIII A13f	58	—	P40	—	VIII A11g	58	—
P20	—	VIII A13f	58	—	P41	—	VIII A11g	58	—
P21	—	VIII A13fg	58	—	P42	—	VIII A11, 12g	58	—

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P43	-	VIII A11g	58	-	P93	-	VIII A11h	58	-
P44	-	VIII A11g	58	-	P94	-	VIII A11h	58	-
P45	-	VIII A11g	58	-	P95	-	VIII A11h	58	-
P46	-	VIII A11g	58	-	P96	-	VIII A11h	58	-
P47	-	VIII A12g	58	-	P97	-	VIII A11h	58	-
P48	-	VIII A12g	58	-	P98	-	VIII A11h	58	-
P49	-	VIII A12g	58	-	P99	-	VIII A11h	58	-
P50	-	VIII A12g	58	-	P100	-	VIII A11h	58	-
P51	-	VIII A12g	58	-	P101	-	VIII A11, 12h	58	-
P52	-	VIII A12g	58	-	P102	-	VIII A11, 12h	58	-
P53	-	VIII A12g	58	-	P103	-	VIII A11, 12h	58	-
P54	-	VIII A12g	58	-	P104	-	VIII A12h	58	-
P55	-	VIII A12g	58	-	P105	-	VIII A12h	58	-
P56	-	VIII A12g	58	-	P106	-	VIII A12h	58	-
P57	-	VIII A12g	58	-	P107	-	VIII A12h	58	-
P58	-	VIII A12g	58	-	P108	-	VIII A12h	58	-
P59	-	VIII A12g	58	-	P109	-	VIII A12h	58	-
P60	-	VIII A12g	58	-	P110	-	VIII A12h	58	-
P61	-	VIII A12g	58	-	P111	-	VIII A12h	58	-
P62	-	VIII A12, 13g	58	-	P112	-	VIII A12h	58	-
P63	-	VIII A12, 13g	58	-	P113	-	VIII A12h	58	-
P64	-	VIII A13g	58	-	P114	-	VIII A12hi	58	-
P65	-	VIII A13g	58	-	P115	-	VIII A13h	58	-
P66	-	VIII A13g	58	-	P116	-	VIII A13h	58	-
P67	-	VIII A13g	58	-	P117	-	VIII A13h	58	-
P68	-	VIII A13g	58	-	P118	-	VIII A13h	58	-
P69	-	VIII A13g	58	-	P119	-	VIII A13h	58	-
P70	-	VIII A13g	58	-	P120	-	VIII A13h	58	-
P71	-	VIII A13g	58	-	P121	-	VIII A13h	58	-
P72	-	VIII A13g	58	-	P122	-	VIII A13h	58	-
P73	-	VIII A13g	58	-	P123	-	VIII A13h	58	-
P74	-	VIII A13g	58	-	P124	-	VIII A13h	58	-
P75	-	VIII A13gh	58	-	P125	-	VIII A13h	58	-
P76	-	VIII A13gh	58	-	P126	-	VIII A13h	58	-
P77	-	VIII A7h	58	-	P127	-	VIII A13h	58	-
P78	-	VIII A7h	58	-	P128	-	VIII A13h	58	-
P79	-	VIII A7h	58	-	P129	-	VIII A13h	58	-
P80	-	VIII A7h	58	-	P130	-	VIII A13h	58	-
P81	-	VIII A7h	58	-	P131	-	VIII A13h	58	-
P82	-	VIII A7h	58	-	P132	-	VIII A13hi	58	-
P83	-	VIII A8h	58	-	P133	-	VIII A6i	58	-
P84	-	VIII A8h	58	-	P134	-	VIII A6i	58	-
P85	-	VIII A8, 9h	58	-	P135	-	VIII A6i	58	-
P86	-	VIII A9h	58	-	P136	-	VIII A6i	58	-
P87	-	VIII A10h	58	-	P137	-	VIII A6i	58	-
P88	-	VIII A10, 11h	58	-	P138	-	VIII A6i	58	-
P89	-	VIII A10, 11h	58	-	P139	-	VIII A6, 7i	58	-
P90	-	VIII A10, 11h	58	-	P140	-	VIII A6, 7i	58	-
P91	-	VIII A11h	58	-	P141	-	VIII A7i	58	-
P92	-	VIII A11h	58	-	P142	-	VIII A7i	58	-

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P143	-	VⅢA7i	58	-	P193	-	VⅢA7j	58	-
P144	-	VⅢA7i	58	-	P194	-	VⅢA7j	58	-
P145	-	VⅢA7i	58	-	P195	-	VⅢA7j	58	-
P146	-	VⅢA7i	58	-	P196	-	VⅢA7, 8j	58	-
P147	-	VⅢA7i	58	-	P197	-	VⅢA7, 8j	58	-
P148	-	VⅢA7i	58	-	P198	-	VⅢA7, 8j	58	-
P149	-	VⅢA8, 9i	58	-	P199	-	VⅢA8j	58	-
P150	-	VⅢA9i	58	-	P200	-	VⅢA8j	58	-
P151	-	VⅢA9i	58	-	P201	-	VⅢA8j	58	-
P152	-	VⅢA9i	58	-	P202	-	VⅢA8j	58	-
P153	-	VⅢA9i	58	-	P203	-	VⅢA8j	58	-
P154	-	VⅢA10, 11i	58	-	P204	-	VⅢA8jk	58	-
P155	-	VⅢA10, 11i	58	-	P205	-	VⅢA9j	58	-
P156	-	VⅢA11i	58	-	P206	-	VⅢA10j	58	-
P157	-	VⅢA11i	58	-	P207	-	VⅢA12j	58	-
P158	-	VⅢA11i	58	-	P208	-	VⅢA7k	58	-
P159	-	VⅢA11i	58	-	P209	-	VⅢA7k	58	-
P160	-	VⅢA12i	58	-	P210	-	VⅢA7k	58	-
P161	-	VⅢA12i	58	-	P211	-	VⅢA7k	58	-
P162	-	VⅢA12i	58	-	P212	-	VⅢA7k	58	-
P163	-	VⅢA12i	58	-	P213	-	VⅢA7k	58	-
P164	-	VⅢA12i	58	-	P214	-	VⅢA7k	58	-
P165	-	VⅢA12i	58	-	P215	-	VⅢA7k	58	-
P166	-	VⅢA12i	58	-	P216	-	VⅢA7k	58	-
P167	-	VⅢA12, 13ij	58	-	P217	-	VⅢA7k	58	-
P168	-	VⅢA13i	58	-	P218	-	VⅢA7k	58	-
P169	-	VⅢA13i	58	-	P219	-	VⅢA7k1	58	-
P170	-	VⅢA13i	58	-	P220	-	VⅢA7k1	58	-
P171	-	VⅢA13i	58	-	P221	-	VⅢA7, 8k	58	-
P172	-	VⅢA13i	58	-	P222	-	VⅢA8k	58	-
P173	-	VⅢA13i	58	-	P223	-	VⅢA8k	58	-
P174	-	VⅢA13i	58	-	P224	-	VⅢA8k	58	-
P175	-	VⅢA6j	58	-	P225	-	VⅢA8k	58	-
P176	-	VⅢA6j	58	-	P226	-	VⅢA8k	58	-
P177	-	VⅢA6, 7j	58	-	P227	-	VⅢA6l	58	-
P178	-	VⅢA7j	58	-	P228	-	VⅢA6l	58	-
P179	-	VⅢA7j	58	-	P229	-	VⅢA6l	58	-
P180	-	VⅢA7j	58	-	P230	-	VⅢA6l	58	-
P181	-	VⅢA7j	58	-	P231	-	VⅢA6, 7l	58	-
P182	-	VⅢA7j	58	-	P232	-	VⅢA7l	58	-
P183	-	VⅢA7j	58	-	P233	-	VⅢA7l	58	-
P184	-	VⅢA7j	58	-	P234	-	VⅢA7l	58	-
P185	-	VⅢA7j	58	-	P235	-	VⅢA7l	58	-
P186	-	VⅢA7j	58	-	P236	-	VⅢA8l	58	-
P187	-	VⅢA7j	58	-	P237	-	VⅢA8l	58	-
P188	-	VⅢA7j	58	-	P238	-	VⅢA9l	58	-
P189	-	VⅢA7j	58	-	P239	-	VⅢA9l	58	-
P190	-	VⅢA7j	58	-	P240	-	VⅢA10l	58	-
P191	-	VⅢA7j	58	-	P241	-	VⅢA10l	58	-
P192	-	VⅢA7j	58	-	P242	-	VⅢA10lm	58	-

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P243	-	VIII A11l	58	-	P293	-	VIII A11, 12o	57	-
P244	-	VIII A11l	58	-	P294	-	VIII A12o	57	-
P245	-	VIII A11l	58	-	P295	-	VIII A12p	57	-
P246	-	VIII A11l	58	-	P296	-	VIII A10q	57	-
P247	-	VIII A11l	58	-	P297	-	VIII A9r	57	-
P248	-	VIII A11l	58	-	P298	-	VIII A10r	57	-
P249	-	VIII A11lm	58	-	P299	-	VIII A4l	59 F	Pit 01
P250	-	VIII A6m	58	-	P300	-	VIII A4l	59 F	Pit 02
P251	-	VIII A6mn	58	-	P301	-	VIII A4l	59 F	Pit 03
P252	-	VIII A6, 7m	58	-	P302	-	VIII A4l	59 F	Pit 05
P253	-	VIII A7m	58	-	P303	-	VIII A4l	59 F	Pit 04
P254	-	VIII A7mn	58	-	P304	-	VIII A4l	59 F	Pit 06
P255	-	VIII A8m	58	-	P305	-	VIII A4lm	59 F	Pit 07
P256	-	VIII A8m	58	-	P306	-	VIII A4m	59 F	Pit 10
P257	-	VIII A8m	58	-	P307	-	VIII A4m	59 F	Pit 11
P258	-	VIII A8m	58	-	P308	-	VIII A4m	59 F	Pit 13
P259	-	VIII A8m	58	-	P309	-	VIII A4m	59 F	-
P260	-	VIII A10, 11m	58	-	P310	-	VIII A4m	59 F	Pit 08
P261	-	VIII A11m	58	-	P311	-	VIII A4m	59 F	Pit 09
P262	-	VIII A6n	58	-	P312	-	VIII A4m	59 F	Pit 12
P263	-	VIII A6n	58	-	P313	-	VIII A4m	59 F	Pit 14
P264	-	VIII A6n	58	-	P314	-	VIII A4m	59 F	-
P265	-	VIII A6n	58	-	P315	-	VIII A4n	59 F	Pit 16
P266	-	VIII A7n	58	-	P316	-	VIII A4n	59 F	Pit 15
P267	-	VIII A7n	58	-	P317	-	VIII A4n	59 F	Pit 17
P268	-	VIII A8n	58	-	P318	-	VIII A5n	59 F	Pit 18
P269	-	VIII A8n	58	-	P319	-	VIII A5o	59 F	-
P270	-	VIII A7o	58	-	P320	-	VIII A4p	59 F	-
P271	-	VIII A7op	58	-	P321	-	VIII A3s	59 F	Pit 20
P272	-	VIII A8o	58	-	P322	-	VIII A3s	59 F	Pit 51
P273	-	VIII A7r	58	-	P323	-	VIII A3s	59 F	Pit 19
P274	-	VIII A8r	58	-	P324	-	VIII A3s	59 F	Pit 23
P275	-	VIII A8r	58	-	P325	-	VIII A3st	59 F	Pit 52
P276	-	VIII A11m	57	Pit 18	P326	-	VIII A4s	59 F	Pit 24
P277	-	VIII A11m	57	Pit 08	P327	-	VIII A4s	59 F	Pit 55
P278	-	VIII A12m	57	Pit 20	P328	-	VIII A4s	59 F	Pit 22
P279	-	VIII A11n	57	Pit 13	P329	-	VIII A4s	59 F	Pit 21
P280	-	VIII A11n	57	Pit 12	P330	-	VIII A3t	59 F	Pit 29
P281	-	VIII A11n	57	Pit 05	P331	-	VIII A3t	59 F	Pit 30
P282	-	VIII A11n	57	Pit 15	P332	-	VIII A3t	59 F	Pit 31
P283	-	VIII A11n	57	Pit 14	P333	-	VIII A3t	59 F	Pit 57
P284	-	VIII A11n	57	Pit 17	P334	-	VIII A3t	59 F	Pit107
P285	-	VIII A11, 12n	57	Pit 10	P335	-	VIII A3t	59 F	Pit 32
P286	中 I	VIII A11, 12n	57	Pit 04	P336	-	VIII A3t	59 F	Pit 59
P287	-	VIII A12n	57	Pit 16	P337	-	VIII A3t	59 F	Pit 34
P288	-	VIII A12n	57	Pit 11	P338	-	VIII A3t	59 F	Pit 53
P289	-	VIII A12n	57	Pit 07	P339	-	VIII A3t	59 F	Pit 27
P290	-	VIII A12, no	57	-	P340	-	VIII A3t	59 F	Pit 28
P291	-	VIII A9o	57	-	P341	-	VIII A3t	59 F	Pit 60
P292	-	VIII A11o	57	-	P342	-	VIII A3t	59 F	Pit 61

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P343	-	VIII A3t	59 F	Pit117	P393	-	VIII B3b	59 F	Pit121
P344	-	VIII A3t	59 F	Pit 35	P394	-	VIII B3b	59 F	Pit 82
P345	-	VIII A3t, VIII B3a	59 F	Pit 33	P395	-	VIII B3b	59 F	Pit 83
P346	-	VIII A3, 4t	59 F	Pit 54	P396	-	VIII B3bc	59 F	Pit 79
P347	-	VIII A3, 4t	59 F	Pit 62	P397	-	VIII B3bc	59 F	Pit 81
P348	-	VIII A4t	59 F	Pit 25	P398	-	VIII B4b	59 F	Pit 75
P349	-	VIII A4t	59 F	Pit118	P399	-	VIII B4b	59 F	Pit 76
P350	-	VIII A4t	59 F	Pit 56	P400	-	VIII B4b	59 F	Pit 86
P351	-	VIII A4t	59 F	Pit 26	P401	-	VIII B4b	59 F	Pit127
P352	-	VIII A4t	59 F	Pit 63	P402	-	VIII B4b	59 F	Pit 87
P353	-	VIII A6t	59 F	Pit119	P403	-	VIII B4b	59 F	-
P354	-	VIII B3a	59 F	Pit 58	P404	-	VIII B6bc	59 F	Pit104
P355	-	VIII B3a	59 F	Pit108	P405	-	VIII B2c	59 F	Pit 89
P356	-	VIII B3a	59 F	Pit109	P406	-	VIII B2c	59 F	Pit 90
P357	-	VIII B3a	59 F	Pit110	P407	-	VIII B2c	59 F	Pit 91
P358	-	VIII B3a	59 F	Pit111	P408	-	VIII B2cd	59 F	Pit 93
P359	-	VIII B3a	59 F	Pit125	P409	-	VIII B2cd	59 F	Pit 92
P360	-	VIII B3a	59 F	Pit 36	P410	-	VIII B3c	59 F	Pit 78
P361	-	VIII B3a	59 F	Pit 67	P411	-	VIII B3c	59 F	Pit 80
P362	-	VIII B3a	59 F	Pit 37	P412	-	VIII B3c	59 F	Pit 47
P363	-	VIII B3a	59 F	Pit112	P413	-	VIII B3c	59 F	Pit 85
P364	-	VIII B3a	59 F	Pit 64	P414	-	VIII B3c	59 F	Pit 84
P365	-	VIII B3a	59 F	Pit114	P415	-	VIII B3c	59 F	Pit 48
P366	-	VIII B3a	59 F	Pit113	P416	-	VIII B3cd	59 F	Pit 97
P367	-	VIII B3a	59 F	Pit126	P417	-	VIII B3, 4c	59 F	Pit122
P368	-	VIII B3a	59 F	Pit 70	P418	-	VIII B3, 4c	59 F	Pit123
P369	-	VIII B3a	59 F	Pit 72A	P419	-	VIII B4c	59 F	Pit 88
P370	-	VIII B3ab	59 F	Pit 68	P420	-	VIII B6c	59 F	Pit 49
P371	-	VIII B3ab	59 F	Pit 38	P421	-	VIII B6c	59 F	Pit 50
P372	-	VIII B3, 4a	59 F	Pit 65	P422	-	VIII B6c	59 F	Pit102
P373	-	VIII B3, 4a	59 F	Pit115	P423	-	VIII B6c	59 F	Pit103
P374	-	VIII B4a	59 F	Pit116	P424	-	VIII B2d	59 F	Pit 94
P375	-	VIII B4a	59 F	Pit106	P425	-	VIII B2d	59 F	Pit 95
P376	-	VIII B4a	59 F	Pit 66	P426	-	VIII B3d	59 F	Pit 96
P377	-	VIII B4a	59 F	Pit124	P427	-	VIII B3d	59 F	Pit 98
P378	-	VIII B4a	59 F	Pit105	P428	-	VIII B4d	59 F	Pit 99
P379	-	VIII B3b	59 F	Pit 69	P429	-	VIII B4d	59 F	Pit100
P380	-	VIII B3b	59 F	Pit 42	P430	-	VIII B4d	59 F	Pit101
P381	-	VIII B3b	59 F	Pit 44	P431	-	VIII A14f	59 G	Pit145
P382	-	VIII B3b	59 F	Pit 39	P432	-	VIII A14f	59 G	Pit144
P383	-	VIII B3b	59 F	Pit120	P433	-	VIII A14f	59 G	-
P384	-	VIII B3b	59 F	Pit 72B	P434	-	VIII A14f	59 G	Pit140
P385	-	VIII B3b	59 F	Pit 71	P435	-	VIII A14f	59 G	-
P386	-	VIII B3b	59 F	Pit 41	P436	-	VIII A14f	59 G	-
P387	-	VIII B3b	59 F	Pit 40	P437	-	VIII A14f	59 G	-
P388	-	VIII B3b	59 F	Pit 74	P438	-	VIII A14f	59 G	Pit138
P389	-	VIII B3b	59 F	Pit 43	P439	-	VIII A14f	59 G	Pit139
P390	-	VIII B3b	59 F	Pit 45	P440	-	VIII A15f	59 G	Pit146
P391	-	VIII B3b	59 F	Pit 46	P441	-	VIII A15f	59 G	-
P392	-	VIII B3b	59 F	Pit 77	P442	-	VIII A15f	59 G	-

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P443	-	VIII A15f	59 G	Pit150	P493	-	VIII A14h	59 G	Pit 91
P444	-	VIII A15f	59 G	Pit149	P494	-	VIII A14, 15h	59 G	Pit 92
P445	-	VIII A15f	59 G	Pit148	P495	-	VIII A15h	59 G	Pit 93
P446	-	VIII A15f	59 G	Pit147	P496	-	VIII A15h	59 G	Pit100
P447	-	VIII A15, 16f	59 G	Pit151	P497	-	VIII A15h	59 G	Pit101
P448	-	VIII A15fg	59 G	-	P498	-	VIII A15h	59 G	Pit112
P449	-	VIII A14g	59 G	Pit132	P499	-	VIII A15h	59 G	Pit111
P450	-	VIII A14g	59 G	Pit133	P500	-	VIII A15h	59 G	Pit110
P451	-	VIII A14g	59 G	-	P501	-	VIII A15h	59 G	Pit113
P452	-	VIII A14g	59 G	Pit129	P502	-	VIII A15h	59 G	Pit 97
P453	-	VIII A14g	59 G	Pit137	P503	-	VIII A15h	59 G	Pit 96
P454	-	VIII A14g	59 G	Pit128	P504	-	VIII A15h	59 G	Pit 95
P455	-	VIII A14g	59 G	Pit118	P505	-	VIII A15h	59 G	Pit 94
P456	-	VIII A14g	59 G	Pit117	P506	-	VIII A15h	59 G	Pit 98
P457	-	VIII A14g	59 G	Pit115	P507	-	VIII A15h	59 G	Pit114
P458	-	VIII A14g	59 G	Pit119	P508	-	VIII A15h	59 G	Pit 99
P459	-	VIII A14g	59 G	Pit120	P509	-	VIII A15h	59 G	-
P460	-	VIII A14g	59 G	Pit116	P510	-	VIII A15h	59 G	Pit102
P461	-	VIII A14g	59 G	Pit121	P511	-	VIII A15h	59 G	Pit105
P462	-	VIII A14g	59 G	-	P512	-	VIII A15h	59 G	Pit104
P463	-	VIII A14g	59 G	Pit122	P513	-	VIII A15h	59 G	Pit103
P464	-	VIII A14gh	59 G	-	P514	-	VIII A15h	59 G	Pit 86
P465	-	VIII A14gh	59 G	-	P515	-	VIII A15h	59 G	Pit 81
P466	-	VIII A15g	59 G	Pit136	P516	-	VIII A15h	59 G	-
P467	-	VIII A15g	59 G	Pit135	P517	-	VIII A15h	59 G	Pit 73
P468	-	VIII A15g	59 G	Pit134	P518	-	VIII A14, 15hi	59 G	Pit 82
P469	-	VIII A15g	59 G	Pit124	P519	-	VIII A15hi	59 G	Pit 72
P470	-	VIII A15g	59 G	Pit123	P520	-	VIII A15h	59 G	-
P471	-	VIII A15g	59 G	Pit125	P521	-	VIII A15h	59 G	Pit 78
P472	-	VIII A15g	59 G	Pit126	P522	-	VIII A15h	59 G	Pit 75
P473	-	VIII A15g	59 G	Pit127	P523	-	VIII A15h	59 G	Pit 76
P474	-	VIII A14h	59 G	Pit106	P524	-	VIII A15h	59 G	Pit 77
P475	-	VIII A14h	59 G	-	P525	-	VIII A15hi	59 G	Pit 74
P476	-	VIII A14h	59 G	Pit108	P526	-	VIII A14i	59 G	-
P477	-	VIII A14h	59 G	Pit107	P527	-	VIII A14i	59 G	Pit 71
P478	-	VIII A14h	59 G	Pit109	P528	-	VIII A14i	59 G	-
P479	-	VIII A14h	59 G	Pit 69	P529	-	VIII A14i	59 G	-
P480	-	VIII A14h	59 G	Pit 68	P530	-	VIII A14ij	59 G	-
P481	-	VIII A14h	59 G	-	P531	-	VIII A15i	59 G	-
P482	-	VIII A14h	59 G	Pit 87	P532	-	VIII A15i	59 G	Pit 56A
P483	-	VIII A14h	59 G	Pit 88	P533	-	VIII A15i	59 G	-
P484	-	VIII A14h	59 G	Pit 90	P534	-	VIII A15i	59 G	-
P485	-	VIII A14h	59 G	Pit 89	P535	-	VIII A14j	59 G	Pit 55
P486	-	VIII A14h	59 G	Pit130	P536	-	VIII A14j	59 G	Pit 56B
P487	-	VIII A14h	59 G	Pit131	P537	-	VIII A14j	59 G	-
P488	-	VIII A14h	59 G	Pit 84	P538	-	VIII A14j	59 G	Pit 57
P489	-	VIII A14h	59 G	Pit 83	P539	-	VIII A14j	59 G	-
P490	-	VIII A14h	59 G	Pit 79	P540	-	VIII A14j	59 G	Pit 58
P491	-	VIII A14h	59 G	Pit 80	P541	-	VIII A15j	59 G	-
P492	-	VIII A14h	59 G	Pit 85	P542	-	VIII A14, 15j	59 G	Pit 65

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P543	-	VIII A15j	59G	Pit 64	P593	-	VIII A14p	59G	Pit 26
P544	-	VIII A15j	59G	Pit 59	P594	-	VIII A14p	59G	Pit 31
P545	-	VIII A15j	59G	-	P595	-	VIII A14p	59G	Pit 33
P546	-	VIII A15j	59G	Pit 60	P596	-	VIII A14p	59G	Pit 34
P547	-	VIII A15j	59G	Pit 61	P597	-	VIII A14p	59G	Pit 38
P548	-	VIII A15j	59G	Pit 62	P598	-	VIII A14p	59G	Pit 36
P549	-	VIII A15j	59G	Pit 63	P599	-	VIII A14p	59G	Pit 35
P550	-	VIII A14k	59G	-	P600	-	VIII A14p	59G	Pit 37
P551	-	VIII A14k	59G	Pit 53	P601	-	VIII A14p	59G	-
P552	-	VIII A14k	59G	-	P602	-	VIII A13q	59G	Pit 13
P553	-	VIII A14k	59G	Pit 51	P603	-	VIII A13q	59G	Pit 40
P554	-	VIII A14k	59G	-	P604	-	VIII A13, 14q	59G	Pit 14
P555	-	VIII A14k	59G	-	P605	-	VIII A14q	59G	Pit 39
P556	-	VIII A15k	59G	-	P606	-	VIII A12s	59G	Pit 07
P557	-	VIII A15k	59G	Pit 54	P607	-	VIII A12s	59G	Pit 10
P558	-	VIII A15k	59G	-	P608	-	VIII A12, 13s	59G	Pit 11
P559	-	VIII A15k	59G	-	P609	-	VIII A12st	59G	Pit152
P560	-	VIII A14l	59G	-	P610	-	VIII A13s	59G	Pit 09
P561	-	VIII A14l	59G	-	P611	-	VIII A13s	59G	-
P562	-	VIII A14l	59G	-	P612	-	VIII A13s	59G	Pit 08
P563	-	VIII A14l	59G	-	P613	-	VIII A13s	59G	Pit 06
P564	-	VIII A14l	59G	-	P614	-	VIII A13s	59G	Pit 05
P565	-	VIII A14l	59G	-	P615	-	VIII A13t	59G	-
P566	-	VIII A14l	59G	-	P616	-	VIII A13t	59G	Pit 03
P567	-	VIII A12st	59G	Pit 52	P617	-	VIII A13t	59G	-
P568	-	VIII A13, 14m	59G	Pit 47	P618	-	VIII A13t	59G	Pit 04
P569	-	VIII A14m	59G	Pit 50	P619	-	VIII A13t	59G	Pit 02
P570	-	VIII A14m	59G	Pit 49	P620	-	VIII A13t, VIII B13a	59G	-
P571	-	VIII A14m	59G	Pit 48	P621	-	VIII B13a	59G	-
P572	-	VIII A14m	59G	-	P622	-	VIII B11, 12b	60C	Pit 10
P573	-	VIII A13n	59G	Pit 43	P623	-	VIII B12b	60C	Pit 11
P574	-	VIII A13n	59G	Pit 44	P624	-	VIII B10c	60C	Pit 09
P575	-	VIII A14n	59G	Pit 45	P625	-	VIII B4e	60C	Pit 08
P576	-	VIII A14n	59G	Pit 46	P626	-	VIII B5e	60C	Pit 12
P577	-	VIII A14n	59G	Pit 41	P627	-	VIII B2, 3f	60C	Pit 01
P578	-	VIII A14n	59G	Pit 42	P628	-	VIII B3f	60C	Pit 05
P579	-	VIII A13p	59G	Pit 16	P629	-	VIII B3f	60C	Pit 06
P580	-	VIII A13p	59G	Pit 17	P630	-	VIII B3f	60C	Pit 07
P581	-	VIII A13p	59G	Pit 18	P631	-	VIII B3f	60C	Pit 02
P582	-	VIII A13p	59G	Pit 19	P632	-	VIII B3f	60C	Pit 03
P583	-	VIII A13p	59G	Pit 20	P633	-	VIII B3f	60C	Pit 04
P584	-	VIII A13p	59G	Pit 24A	P634	-	VIII B11, 12e	59E2	Pit685
P585	-	VIII A13p	59G	Pit 22	P635	-	VIII B11f	59E2	Pit689
P586	-	VIII A13p	59G	Pit 24B	P636	-	VIII B12f	59E2	Pit688
P587	-	VIII A13p	59G	Pit 21	P637	-	VIII B12f	59E2	Pit687
P588	-	VIII A13p	59G	Pit 27	P638	-	VIII B2g	59E2	Pit606
P589	-	VIII A13p	59G	Pit 28	P639	-	VIII B2g	59E2	Pit611
P590	-	VIII A13, 14p	59G	Pit 29	P640	-	VIII B2g	59E2	Pit608
P591	-	VIII A13, 14p	59G	Pit 25	P641	-	VIII B2g	59E2	Pit603
P592	-	VIII A13, 14p	59G	Pit 30	P642	-	VIII B2g	59E2	Pit607

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P643	-	VIII B2g	59 E 2	Pit604	P693	-	VIII B9l	59 E 2	Pit752
P644	-	VIII B2g	59 E 2	Pit605	P694	-	VIII B9l	59 E 2	Pit751
P645	-	VIII B2gh	59 E 2	Pit612	P695	-	VIII B9l	59 E 2	Pit723B
P646	-	VIII B3g	59 E 2	Pit600	P696	-	VIII B9l	59 E 2	Pit750
P647	-	VIII B3g	59 E 2	Pit601	P697	-	VIII B9l	59 E 2	Pit749
P648	-	VIII B3g	59 E 2	Pit609	P698	-	VIII B9l	59 E 2	Pit730
P649	-	VIII B3g	59 E 2	Pit610	P699	-	VIII B9l	59 E 2	Pit723A
P650	-	VIII B2h	59 E 2	Pit621	P700	-	VIII B9l	59 E 2	Pit722
P651	-	VIII B2h	59 E 2	Pit618	P701	-	VIII B9l	59 E 2	Pit727
P652	-	VIII B2h	59 E 2	Pit620	P702	-	VIII B9l	59 E 2	Pit719
P653	-	VIII B2h	59 E 2	Pit619	P703	-	VIII B9l	59 E 2	Pit725
P654	-	VIII B3h	59 E 2	Pit622	P704	-	VIII B9l	59 E 2	Pit788
P655	-	VIII B3h	59 E 2	Pit623	P705	-	VIII B9l	59 E 2	Pit726
P656	-	VIII B3h	59 E 2	Pit615	P706	-	VIII B9l	59 E 2	Pit729
P657	-	VIII B3h	59 E 2	Pit616	P707	-	VIII B9, 10l	59 E 2	Pit748
P658	-	VIII B3h	59 E 2	Pit617	P708	-	VIII B10l	59 E 2	Pit746B
P659	-	VIII B3h	59 E 2	Pit624	P709	-	VIII B10l	59 E 2	Pit746A
P660	-	VIII B3h	59 E 2	Pit613	P710	-	VIII B10l	59 E 2	Pit745
P661	-	VIII B3h	59 E 2	Pit614	P711	-	VIII B10l	59 E 2	Pit743
P662	-	VIII B3hi	59 E 2	-	P712	-	VIII B10l	59 E 2	Pit742
P663	-	VIII B2i	59 E 2	Pit629	P713	-	VIII B10, 11l	59 E 2	Pit782
P664	-	VIII B2, 3i	59 E 2	Pit643	P714	-	VIII B10l	59 E 2	Pit786
P665	-	VIII B3i	59 E 2	Pit626	P715	-	VIII B10l	59 E 2	Pit787
P666	-	VIII B3i	59 E 2	Pit628	P716	-	VIII B10l	59 E 2	Pit740
P667	-	VIII B3i	59 E 2	Pit625	P717	-	VIII B10l	59 E 2	Pit728
P668	-	VIII B3i	59 E 2	Pit641	P718	-	VIII B10l	59 E 2	Pit760
P669	-	VIII B3j	59 E 2	Pit637	P719	-	VIII B10l	59 E 2	Pit759
P670	-	VIII B3j	59 E 2	Pit633	P720	-	VIII B10l	59 E 2	Pit758
P671	-	VIII B3j	59 E 2	Pit634	P721	-	VIII B10l	59 E 2	Pit757
P672	-	VIII B3jk	59 E 2	Pit649	P722	-	VIII B10, 11l	59 E 2	Pit781
P673	-	VIII B3j	59 E 2	Pit632	P723	-	VIII B11l	59 E 2	Pit741
P674	-	VIII B3j	59 E 2	Pit795	P724	-	VIII B11l	59 E 2	Pit744
P675	-	VIII B3j	59 E 2	Pit645	P725	-	VIII B3m	59 E 2	Pit667
P676	-	VIII B3j	59 E 2	Pit639	P726	-	VIII B3m	59 E 2	Pit653
P677	-	VIII B3j	59 E 2	Pit650	P727	-	VIII B3m	59 E 2	Pit654
P678	-	VIII B3jk	59 E 2	Pit647	P728	-	VIII B3lm	59 E 2	Pit655
P679	-	VIII B3k	59 E 2	Pit636	P729	-	VIII B3mn	59 E 2	Pit676
P680	-	VIII B3k	59 E 2	Pit635	P730	-	VIII B3mn	59 E 2	Pit663
P681	-	VIII B3k	59 E 2	Pit642	P731	-	VIII B4m	59 E 2	Pit672
P682	-	VIII B2l	59 E 2	Pit646	P732	-	VIII B4m	59 E 2	Pit671
P683	-	VIII B2l	59 E 2	Pit640	P733	-	VIII B4m	59 E 2	Pit666
P684	-	VIII B3lm	59 E 2	Pit794	P734	-	VIII B4, 5m	59 E 2	Pit679
P685	-	VIII B8l	59 E 2	Pit789	P735	-	VIII B7m	59 E 2	Pit691
P686	-	VIII B9l	59 E 2	Pit790	P736	-	VIII B8m	59 E 2	Pit771
P687	-	VIII B9l	59 E 2	Pit732	P737	-	VIII B8m	59 E 2	Pit763
P688	-	VIII B9l	59 E 2	Pit733	P738	-	VIII B8m	59 E 2	Pit764
P689	-	VIII B9l	59 E 2	Pit724	P739	-	VIII B8m	59 E 2	Pit765
P690	-	VIII B9l	59 E 2	Pit755	P740	-	VIII B8m	59 E 2	Pit791
P691	-	VIII B9l	59 E 2	Pit712	P741	-	VIII B8m	59 E 2	Pit770
P692	-	VIII B9l	59 E 2	Pit753	P742	-	VIII B8mn	59 E 2	Pit769

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P743	-	VIII B8m	59 E 2	Pit709A	P793	-	VIII B9n	59 E 2	Pit693
P744	-	VIII B8m	59 E 2	Pit705	P794	-	VIII B9n	59 E 2	Pit696
P745	-	VIII B8m	59 E 2	Pit736	P795	-	VIII B9n	59 E 2	Pit695
P746	-	VIII B8m	59 E 2	Pit735	P796	-	VIII B9n	59 E 2	Pit700
P747	-	VIII B8m	59 E 2	Pit738	P797	-	VIII B9n	59 E 2	Pit692
P748	-	VIII B8, 9m	59 E 2	Pit737	P798	-	VIII B9n	59 E 2	Pit704
P749	-	VIII B9m	59 E 2	Pit754	P799	-	VIII B9n	59 E 2	Pit694
P750	-	VIII B9m	59 E 2	Pit773	P800	-	VIII B9n	59 E 2	Pit775
P751	-	VIII B9m	59 E 2	Pit756	P801	-	VIII B9n	59 E 2	Pit715
P752	-	VIII B9m	59 E 2	Pit718	P802	-	VIII B10n	59 E 2	Pit777
P753	-	VIII B9m	59 E 2	Pit707	P803	-	VIII B10n	59 E 2	Pit776
P754	-	VIII B9m	59 E 2	Pit785	P804	-	VIII B10n	59 E 2	Pit762
P755	-	VIII B9m	59 E 2	Pit713	P805	-	VIII B10n	59 E 2	Pit711
P756	-	VIII B9m	59 E 2	Pit708	P806	-	VIII B1o	59 E 2	Pit648
P757	-	VIII B9m	59 E 2	Pit710	P807	-	VIII B3o	59 E 2	Pit669
P758	-	VIII B9m	59 E 2	Pit720	P808	-	VIII B3o	59 E 2	Pit670
P759	-	VIII B9m	59 E 2	Pit772	P809	-	VIII B3o	59 E 2	Pit678
P760	-	VIII B9m	59 E 2	Pit701	P810	-	VIII B4o	59 E 2	Pit660
P761	-	VIII B9m	59 E 2	Pit774	P811	-	VIII B4o	59 E 2	Pit659
P762	-	VIII B9m	59 E 2	Pit702	P812	-	VIII B4o	59 E 2	Pit661
P763	-	VIII B9m	59 E 2	Pit716	P813	-	VIII B4o	59 E 2	Pit662
P764	-	VIII B9mn	59 E 2	Pit698	P814	-	VIII B5o	59 E 2	Pit673
P765	-	VIII B9m	59 E 2	Pit699	P815	-	VIII B7n	59 E	Pit 26
P766	-	VIII B10m	59 E 2	Pit780	P816	-	VIII B7n	59 E	Pit 01
P767	-	VIII B10m	59 E 2	Pit779	P817	-	VIII B8n	59 E	Pit 54
P768	-	VIII B10mn	59 E 2	Pit714	P818	-	VIII B8n	59 E	Pit 29
P769	-	VIII B10m	59 E 2	Pit778	P819	-	VIII B8n	59 E	Pit 30
P770	-	VIII B1n	59 E 2	Pit793	P820	-	VIII B8n	59 E	Pit 28
P771	-	VIII B1n	59 E 2	Pit792	P821	-	VIII B8no	59 E	Pit 53
P772	-	VIII B3n	59 E 2	Pit656	P822	-	VIII B8n	59 E	-
P773	-	VIII B3n	59 E 2	Pit657	P823	-	VIII B9n	59 E	Pit367
P774	-	VIII B3n	59 E 2	Pit658	P824	-	VIII B9n	59 E	Pit306
P775	-	VIII B3n	59 E 2	Pit668	P825	-	VIII B9n	59 E	Pit305A
P776	-	VIII B3n	59 E 2	Pit651	P826	-	VIII B9n	59 E	Pit363
P777	-	VIII B3n	59 E 2	Pit684	P827	-	VIII B9n	59 E	Pit364
P778	-	VIII B3n	59 E 2	Pit665	P828	-	VIII B9n	59 E	Pit360
P779	-	VIII B3n	59 E 2	Pit652	P829	-	VIII B9n	59 E	Pit361
P780	-	VIII B3, 4no	59 E 2	Pit677	P830	-	VIII B9n	59 E	Pit362
P781	-	VIII B4n	59 E 2	Pit683	P831	-	VIII B9n	59 E	Pit342
P782	-	VIII B4n	59 E 2	Pit682	P832	-	VIII B9n	59 E	Pit343
P783	-	VIII B4, 5n	59 E 2	Pit680	P833	-	VIII B9n	59 E	Pit344
P784	-	VIII B5n	59 E 2	Pit681	P834	-	VIII B9n	59 E	Pit231A
P785	-	VIII B7n	59 E 2	Pit784	P835	-	VIII B9n	59 E	Pit 23
P786	-	VIII B7n	59 E 2	Pit783	P836	-	VIII B9n	59 E	Pit346
P787	-	VIII B8n	59 E 2	Pit767	P837	-	VIII B9, 10n	59 E	Pit 22A
P788	-	VIII B8n	59 E 2	Pit709B	P838	-	VIII B10n	59 E	Pit345
P789	-	VIII B8n	59 E 2	Pit766	P839	-	VIII B10n	59 E	Pit347
P790	-	VIII B8n	59 E 2	Pit768	P840	-	VIII B10n	59 E	Pit 21
P791	-	VIII B9n	59 E 2	Pit717	P841	-	VIII B2o	59 E	Pit296
P792	-	VIII B9n	59 E 2	Pit697	P842	-	VIII B2o	59 E	Pit297

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P843	-	VIII B2o	59 E	Pit198	P893	-	VIII B9o	59 E	Pit341
P844	-	VIII B2o	59 E	Pit298	P894	-	VIII B9o	59 E	Pit319
P845	-	VIII B2o	59 E	Pit400	P895	-	VIII B9o	59 E	Pit329
P846	-	VIII B3, 4o	59 E	Pit166A	P896	-	VIII B9o	59 E	Pit318
P847	-	VIII B4o	59 E	Pit159	P897	-	VIII B9o	59 E	Pit320
P848	-	VIII B4o	59 E	Pit413	P898	-	VIII B9o	59 E	Pit321
P849	-	VIII B4o	59 E	Pit414	P899	-	VIII B9o	59 E	Pit322
P850	-	VIII B4o	59 E	Pit126	P900	-	VIII B9o	59 E	Pit323
P851	-	VIII B4op	59 E	Pit127	P901	-	VIII B9o	59 E	Pit328
P852	-	VIII B6o	59 E	Pit432	P902	-	VIII B9, 10o	59 E	Pit327
P853	-	VIII B6o	59 E	Pit431	P903	-	VIII B10o	59 E	Pit324
P854	-	VIII B6o	59 E	-	P904	-	VIII B10o	59 E	Pit325
P855	-	VIII B7o	59 E	Pit485	P905	-	VIII B10o	59 E	Pit370
P856	-	VIII B7o	59 E	-	P906	-	VIII B10o	59 E	Pit326
P857	-	VIII B7o	59 E	Pit483	P907	-	VIII B10o	59 E	Pit 20
P858	-	VIII B7op	59 E	Pit484	P908	-	VIII B10o	59 E	Pit 57
P859	-	VIII B7o	59 E	Pit350	P909	-	VIII B1p	59 E	Pit450
P860	-	VIII B7o	59 E	Pit 36	P910	-	VIII B1pq	59 E	-
P861	-	VIII B8o	59 E	Pit 31	P911	-	VIII B1p	59 E	Pit451
P862	-	VIII B8o	59 E	Pit 02	P912	-	VIII B1p	59 E	Pit192
P863	-	VIII B8o	59 E	Pit 24	P913	-	VIII B1p	59 E	-
P864	-	VIII B8o	59 E	Pit 52	P914	-	VIII B1p	59 E	Pit193
P865	-	VIII B8o	59 E	Pit357	P915	-	VIII B1p	59 E	Pit197
P866	-	VIII B8o	59 E	Pit358	P916	-	VIII B1p	59 E	-
P867	-	VIII B8o	59 E	Pit 32	P917	-	VIII B1p	59 E	Pit194
P868	-	VIII B8o	59 E	Pit 37	P918	-	VIII B1p	59 E	Pit449
P869	-	VIII B8o	59 E	Pit 33	P919	-	VIII B1p	59 E	Pit243
P870	-	VIII B8o	59 E	Pit 38	P920	-	VIII B1p	59 E	Pit195
P871	-	VIII B8o	59 E	Pit 25	P921	-	VIII B1p	59 E	Pit196
P872	-	VIII B8o	59 E	Pit355	P922	-	VIII B2pq	59 E	-
P873	-	VIII B8o	59 E	-	P923	-	VIII B2p	59 E	Pit445
P874	-	VIII B8o	59 E	Pit352	P924	-	VIII B2p	59 E	Pit447
P875	-	VIII B8o	59 E	Pit353	P925	-	VIII B2p	59 E	Pit446
P876	-	VIII B8o	59 E	Pit354	P926	-	VIII B2p	59 E	Pit199
P877	-	VIII B8o	59 E	Pit312	P927	-	VIII B2p	59 E	Pit299
P878	-	VIII B8o	59 E	Pit339	P928	-	VIII B2p	59 E	Pit401
P879	-	VIII B8o	59 E	Pit338	P929	-	VIII B2p	59 E	Pit402
P880	-	VIII B9o	59 E	Pit337	P930	-	VIII B3p	59 E	Pit162
P881	-	VIII B9o	59 E	Pit310	P931	-	VIII B3p	59 E	Pit163A
P882	-	VIII B9o	59 E	Pit309	P932	-	VIII B3p	59 E	Pit444
P883	-	VIII B9o	59 E	Pit311	P933	-	VIII B3p	59 E	Pit161
P884	-	VIII B9o	59 E	Pit313	P934	-	VIII B3p	59 E	Pit139
P885	-	VIII B9o	59 E	Pit314	P935	-	VIII B3p	59 E	Pit120
P886	-	VIII B9o	59 E	Pit315	P936	-	VIII B3p	59 E	Pit138
P887	-	VIII B9o	59 E	Pit307	P937	-	VIII B3p	59 E	Pit140
P888	-	VIII B9o	59 E	Pit308	P938	-	VIII B3p	59 E	Pit145
P889	-	VIII B9o	59 E	Pit372	P939	-	VIII B3, 4p	59 E	-
P890	-	VIII B9o	59 E	Pit316	P940	-	VIII B3, 4p	59 E	Pit141
P891	-	VIII B9o	59 E	Pit317	P941	-	VIII B4p	59 E	Pit410
P892	-	VIII B9o	59 E	Pit359	P942	-	VIII B4p	59 E	Pit411

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P943	-	VIII B4p	59 E	Pit412	P 993	-	VIII B1q	59 E	Pit245
P944	-	VIII B4p	59 E	Pit128	P 994	-	VIII B1q	59 E	Pit477
P945	-	VIII B4p	59 E	Pit133	P 995	-	VIII B1q	59 E	Pit249
P946	-	VIII B4p	59 E	Pit134	P 996	-	VIII B1q	59 E	-
P947	-	VIII B4p	59 E	Pit135	P 997	-	VIII B1q	59 E	-
P948	-	VIII B4p	59 E	Pit136	P 998	-	VIII B1q	59 E	Pit124
P949	-	VIII B4p	59 E	Pit142	P 999	-	VIII B1q	59 E	Pit246
P950	-	VIII B4p	59 E	Pit409	P1000	-	VIII B1q	59 E	Pit164
P951	-	VIII B4p	59 E	Pit137	P1001	-	VIII B1q	59 E	Pit165
P952	-	VIII B4p	59 E	Pit132	P1002	-	VIII B1, 2q	59 E	-
P953	-	VIII B4p	59 E	Pit415	P1003	-	VII B1, 2q	59 E	Pit279A
P954	-	VIII B4p	59 E	Pit131	P1004	-	VIII B2q	59 E	Pit248
P955	-	VIII B4p	59 E	Pit130	P1005	-	VIII B2q	59 E	Pit274
P956	-	VIII B4p	59 E	Pit416	P1006	-	VIII B2q	59 E	-
P957	-	VIII B4p	59 E	Pit203	P1007	-	VIII B2q	59 E	Pit275
P958	-	VIII B4p	59 E	Pit204	P1008	-	VIII B2qr	59 E	Pit290
P959	-	VIII B4p	59 E	Pit129	P1009	-	VIII B2q	59 E	Pit158
P960	-	VIII B6p	59 E	-	P1010	-	VIII B2q	59 E	Pit154
P961	-	VIII B6p	59 E	Pit630	P1011	-	VIII B2q	59 E	Pit294
P962	-	VIII B6p	59 E	-	P1012	-	VIII B2q	59 E	Pit295
P963	-	VIII B6p	59 E	-	P1013	-	VIII B2q	59 E	Pit153
P964	-	VIII B7p	59 E	Pit488	P1014	-	VIII B2q	59 E	Pit152
P965	-	VIII B8p	59 E	Pit 39	P1015	-	VIII B2q	59 E	Pit292
P966	-	VIII B8p	59 E	Pit 41	P1016	-	VIII B2q	59 E	Pit291
P967	-	VIII B8p	59 E	Pit 40	P1017	-	VIII B2q	59 E	Pit156
P968	-	VIII B8p	59 E	Pit 42	P1018	-	VIII B2q	59 E	Pit157
P969	-	VIII B8p	59 E	Pit 55	P1019	-	VIII B2q	59 E	Pit452
P970	-	VIII B8p	59 E	-	P1020	-	VIII B2q	59 E	Pit151
P971	-	VIII B8p	59 E	Pit356	P1021	-	VIII B2q	59 E	Pit155
P972	-	VIII B9p	59 E	Pit331	P1022	-	VIII B2q	59 E	Pit293
P973	-	VIII B9p	59 E	Pit369	P1023	-	VIII B2q	59 E	-
P974	-	VIII B9p	59 E	Pit368	P1024	-	VIII B2q	59 E	-
P975	-	VIII B9p	59 E	Pit 59	P1025	-	VIII B2q	59 E	-
P976	中 I	VIII B9pq	59 E	Pit 58	P1026	-	VII B2q	59 E	Pit143A
P977	-	VIII B9p	59 E	Pit 60	P1027	-	VIII B2, 3q	59 E	-
P978	-	VIII B9p	59 E	Pit332	P1028	-	VIII B2, 3q	59 E	Pit149
P979	-	VIII B9p	59 E	Pit333	P1029	-	VIII B3q	59 E	Pit147
P980	-	VIII B9p	59 E	Pit334	P1030	-	VIII B3q	59 E	Pit148
P981	-	VIII B9p	59 E	Pit335	P1031	-	VIII B3q	59 E	Pit443
P982	-	VIII B9p	59 E	Pit336	P1032	-	VIII B3q	59 E	Pit146
P983	-	VII B20q	59 E	Pit472	P1033	-	VIII B3q	59 E	Pit403
P984	-	VII B20q	59 E	Pit473	P1034	-	VIII B3q	59 E	Pit404
P985	-	VII B20q	59 E	Pit474	P1035	-	VIII B3q	59 E	Pit405
P986	-	VII B20q	59 E	Pit438	P1036	-	VIII B4q	59 E	Pit406
P987	-	VII B20q, VIII B1q	59 E	Pit439	P1037	-	VIII B4q	59 E	Pit408
P988	-	VIII B1q	59 E	Pit123	P1038	-	VII B4q	59 E	Pit144
P989	-	VIII B1q	59 E	Pit121	P1039	-	VII B4q	59 E	Pit143B
P990	-	VIII B1q	59 E	Pit122	P1040	-	VIII B5q	59 E	-
P991	-	VIII B1q	59 E	Pit476	P1041	-	VIII B5q	59 E	-
P992	-	VIII B1q	59 E	Pit244	P1042	-	VIII B6q	59 E	-

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P1043	-	VIII B8q	59 E	-	P1093	-	VIII B1r	59 E	Pit119
P1044	-	VIII B8q	59 E	Pit 51	P1094	-	VIII B1rs	59 E	Pit462
P1045	-	VIII B8q	59 E	Pit 08	P1095	-	VII B20s	59 E	Pit 91
P1046	-	VIII B8q	59 E	Pit 07	P1096	-	VIII B1r	59 E	Pit223
P1047	-	VIII B8qr	59 E	Pit 03	P1097	-	VIII B1r	59 E	Pit228
P1048	-	VIII B8qr	59 E	Pit 09	P1098	-	VIII B1r	59 E	Pit460
P1049	-	VIII B9q	59 E	Pit340	P1099	-	VIII B1r	59 E	Pit461
P1050	-	VIII B9q	59 E	Pit371	P1100	-	VIII B1r	59 E	Pit226
P1051	-	VIII B9q	59 E	Pit 49	P1101	-	VIII B1r	59 E	Pit230
P1052	-	VIII B9q	59 E	Pit305B	P1102	-	VIII B1r	59 E	Pit231B
P1053	-	VIII B9q	59 E	Pit304	P1103	-	VIII B1r	59 E	Pit453
P1054	-	VIII B9q	59 E	Pit 50	P1104	-	VIII B1r	59 E	Pit247
P1055	-	VIII B9q	59 E	Pit303	P1105	-	VIII B1r	59 E	Pit229
P1056	-	VIII B9q	59 E	Pit302	P1106	-	VIII B1r	59 E	Pit240
P1057	-	VIII B10q	59 E	Pit300	P1107	-	VIII B1r	59 E	Pit237
P1058	-	VII B20r	59 E	Pit208	P1108	-	VIII B1r	59 E	Pit236
P1059	-	VII B20r	59 E	Pit207	P1109	-	VIII B1r	59 E	Pit481
P1060	-	VII B20r	59 E	Pit206	P1110	-	VIII B1r	59 E	Pit233
P1061	-	VII B20r	59 E	Pit205	P1111	-	VIII B1r	59 E	Pit235
P1062	-	VII B20r	59 E	Pit209	P1112	-	VIII B1r	59 E	Pit234
P1063	-	VII B20r	59 E	Pit440	P1113	-	VIII B1r	59 E	Pit241
P1064	-	VII B20r	59 E	-	P1114	-	VIII B1r	59 E	Pit102
P1065	-	VII B20r	59 E	-	P1115	-	VIII B1r	59 E	Pit103
P1066	-	VII B20r	59 E	Pit 74	P1116	-	VIII B1r	59 E	Pit251
P1067	-	VII B20rs	59 E	Pit433	P1117	-	VIII B1r	59 E	Pit250
P1068	-	VII B20r	59 E	Pit 76	P1118	-	VIII B1r	59 E	Pit256
P1069	-	VII B20r	59 E	Pit179	P1119	-	VIII B1r	59 E	Pit257
P1070	-	VII B20r	59 E	Pit434	P1120	-	VIII B1r	59 E	Pit101
P1071	-	VII B20r	59 E	Pit435	P1121	-	VIII B1r	59 E	Pit254
P1072	-	VII B20r	59 E	Pit 75	P1122	-	VIII B1r	59 E	Pit253
P1073	-	VII B20r	59 E	Pit436	P1123	-	VIII B1r	59 E	Pit181A
P1074	-	VII B20r, VIII B1r	59 E	Pit215	P1124	-	VIII B1r	59 E	Pit100
P1075	-	VII B20r	59 E	-	P1125	-	VIII B1r	59 E	Pit255
P1076	-	VII B20r, VIII B1r	59 E	Pit213	P1126	-	VIII B1r	59 E	Pit258
P1077	-	VIII B1r	59 E	Pit216	P1127	-	VIII B1, 2r	59 E	Pit 96
P1078	-	VII B20r, VIII B1r	59 E	-	P1128	-	VIII B2r	59 E	Pit252
P1079	-	VIII B1r	59 E	Pit210	P1129	-	VIII B2r	59 E	Pit276
P1080	-	VIII B1r	59 E	Pit454	P1130	-	VIII B2r	59 E	Pit104
P1081	-	VIII B1r	59 E	Pit211	P1131	-	VIII B2r	59 E	Pit277
P1082	-	VIII B1r	59 E	Pit470	P1132	-	VIII B2r	59 E	Pit105
P1083	-	VIII B1r	59 E	Pit471	P1133	-	VIII B2r	59 E	Pit278
P1084	-	VIII B1r	59 E	Pit238	P1134	-	VIII B2r	59 E	Pit106
P1085	-	VIII B1r	59 E	Pit239	P1135	-	VIII B2r	59 E	-
P1086	-	VIII B1r	59 E	Pit212	P1136	-	VIII B2r	59 E	Pit108
P1087	-	VIII B1r	59 E	Pit458	P1137	-	VIII B2r	59 E	Pit109
P1088	-	VIII B1r	59 E	Pit455	P1138	-	VII B2r	59 E	Pit279B
P1089	-	VIII B1r	59 E	Pit214	P1139	-	VIII B2r	59 E	Pit478
P1090	-	VIII B1r	59 E	Pit457	P1140	-	VIII B2r	59 E	Pit107
P1091	-	VIII B1r	59 E	Pit224	P1141	-	VIII B2r	59 E	Pit272
P1092	-	VIII B1r	59 E	Pit182	P1142	-	VIII B2r	59 E	Pit 97

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P1143	-	VIII B2rs	59 E	Pit465	P1192	-	VIII B9r	59 E	Pit 47
P1144	-	VIII B2rs	59 E	Pit 98	P1193	-	VIII B9r	59 E	-
P1145	-	VIII B2r	59 E	Pit 99	P1194	-	VII B20s	59 E	Pit116
P1146	-	VIII B2r	59 E	-	P1195	-	VII B20s	59 E	Pit 71
P1147	-	VIII B2r	59 E	Pit480	P1196	-	VII B20s	59 E	Pit181B
P1148	-	VIII B2r	59 E	Pit479	P1197	中 I	VII B20s	59 E	Pit 72A
P1149	-	VII B2r	59 E	Pit281	P1198	中 I	VII B20s	59 E	Pit 72B
P1150	-	VII B2r	59 E	Pit280	P1199	-	VII B20s	59 E	Pit201
P1151	-	VIII B2r	59 E	Pit184	P1200	-	VII B20s	59 E	Pit200
P1152	-	VIII B2r	59 E	-	P1201	-	VII B20s	59 E	Pit202
P1153	-	VIII B2r	59 E	Pit183	P1202	-	VII B20s	59 E	Pit 66
P1154	-	VIII B2, 3r	59 E	Pit282	P1203	-	VII B20s	59 E	Pit 65
P1155	-	VIII B2r	59 E	Pit110	P1204	-	VII B20s	59 E	Pit117
P1156	-	VIII B2, 3r	59 E	Pit111	P1205	-	VII B20s	59 E	-
P1157	-	VIII B2rs	59 E	Pit467	P1206	-	VII B20s	59 E	Pit 62
P1158	-	VIII B2r	59 E	Pit166B	P1207	-	VII B20st	59 E	Pit218
P1159	-	VIII B2, 3r	59 E	Pit167	P1208	-	VII B20s	59 E	Pit 67
P1160	-	VIII B3r	59 E	Pit112	P1209	-	VII B20s	59 E	Pit 68
P1161	-	VIII B3r	59 E	Pit113	P1210	-	VII B20s	59 E	Pit 64
P1162	-	VIII B3r	59 E	Pit284	P1211	-	VII B20s	59 E	Pit 69
P1163	-	VIII B3r	59 E	Pit285	P1212	-	VII B20s	59 E	Pit 63
P1164	-	VIII B4r	59 E	Pit419	P1213	-	VII B20s	59 E	Pit219
P1165	-	VIII B5r	59 E	Pit420	P1214	-	VIII B1s	59 E	Pit 73
P1166	-	VIII B5r	59 E	-	P1215	-	VIII B1s	59 E	Pit 22B
P1167	-	VIII B5r	59 E	Pit422	P1216	-	VIII B1s	59 E	Pit463
P1168	-	VIII B5r	59 E	Pit423	P1217	-	VIII B1r	59 E	Pit437
P1169	-	VIII B5r	59 E	Pit424	P1218	-	VIII B1s	59 E	Pit186
P1170	-	VIII B5r	59 E	Pit427	P1219	-	VIII B1s	59 E	Pit118
P1171	-	VIII B5r	59 E	Pit426	P1220	-	VIII B1s	59 E	Pit181C
P1172	-	VIII B6r	59 E	-	P1221	-	VIII B1s	59 E	Pit221
P1173	-	VIII B7r	59 E	-	P1222	-	VIII B1s	59 E	Pit190
P1174	-	VIII B7r	59 E	-	P1223	-	VIII B1s	59 E	Pit189
P1175	-	VIII B8r	59 E	Pit 27	P1224	-	VIII B1s	59 E	Pit188
P1176	-	VIII B8r	59 E	Pit 04	P1225	-	VIII B1s	59 E	-
P1177	-	VIII B8r	59 E	Pit 10	P1226	-	VIII B1s	59 E	Pit 70
P1178	-	VIII B8r	59 E	Pit 11	P1227	-	VIII B1s	59 E	Pit163B
P1179	-	VIII B8r	59 E	Pit 12	P1228	-	VIII B1s	59 E	Pit187
P1180	-	VIII B8r	59 E	Pit 13	P1229	-	VIII B1s	59 E	Pit 81
P1181	-	VIII B8r	59 E	Pit 14	P1230	-	VIII B1s	59 E	Pit 82
P1182	-	VIII B8, 9r	59 E	Pit 19	P1231	-	VIII B1s	59 E	-
	-	VIII B8, 9r	60 B	Pit 16	P1232	-	VIII B1s	59 E	Pit 90
P1183	-	VIII B9r	59 E	Pit 15	P1233	-	VIII B1s	59 E	-
P1184	-	VIII B9r	59 E	Pit 16	P1234	-	VIII B1s	59 E	Pit 87
P1185	-	VIII B9r	59 E	Pit 17	P1235	-	VIII B1s	59 E	Pit178
P1186	-	VIII B9r	59 E	Pit 18	P1236	-	VIII B1s	59 E	Pit 85
P1187	-	VIII B9r	59 E	-	P1237	-	VIII B1s	59 E	Pit 86
P1188	-	VIII B9r	59 E	Pit 44	P1238	-	VIII B1s	59 E	Pit 84
P1189	-	VIII B9r	59 E	Pit 45	P1239	-	VIII B1s	59 E	Pit 83
P1190	-	VIII B9r	59 E	Pit 46	P1240	-	VIII B1st	59 E	Pit 80
P1191	-	VIII B9r	59 E	Pit 48	P1241	-	VIII B1st	59 E	Pit 79

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P1242	-	VIII B1s	59 E	Pit 88	P1291	-	VIII B5s	59 E	Pit425
P1243	-	VIII B1s	59 E	Pit177A	P1292	-	VII B20t	59 E	Pit217
P1244	-	VIII B1s	59 E	Pit 93	P1293	-	VII B20t	59 E	-
P1245	-	VIII B1s	59 E	Pit 95	P1294	-	VII B20t	59 E	Pit220
P1246	-	VIII B1s	59 E	Pit 92	P1295	-	VII B20t	59 E	Pit 61
P1247	-	VIII B1s	59 E	Pit464	P1296	-	VIII B1t	59 E	Pit177B
P1248	-	VIII B1s	59 E	Pit175	P1297	-	VIII B1t	59 E	Pit 78
P1249	-	VIII B1s	59 E	Pit172	P1298	-	VIII B7s	60 B	Pit 40
P1250	-	VIII B1s	59 E	Pit174	P1299	-	VIII B8r	60 B	Pit 59
P1251	-	VIII B1s	59 E	Pit260	P1300	-	VIII B8rs	60 B	Pit 38
P1252	-	VIII B1s	59 E	Pit259	P1301	-	VIII B8r	60 B	Pit 23
P1253	-	VIII B1s	59 E	Pit 89	P1302	-	VIII B8, 9r	60 B	Pit 17
P1254	-	VIII B1s	59 E	Pit176	P1303	-	VIII B8, 9rs	60 B	Pit 12
P1255	-	VIII B1, 2s	59 E	Pit171	P1304	-	VIII B9r	60 B	Pit 18
P1256	-	VIII B2s	59 E	-	P1305	-	VIII B9r	60 B	Pit 19
P1257	-	VIII B2s	59 E	Pit 94	P1306	-	VIII B9r	60 B	Pit 20
P1258	-	VIII B2s	59 E	Pit173	P1307	-	VIII B9r	60 B	Pit 36
P1259	-	VIII B2s	59 E	-	P1308	-	VIII B9r	60 B	Pit 31
P1260	-	VIII B2s	59 E	Pit261	P1309	-	VIII B9r	60 B	Pit 30
P1261	-	VIII B2s	59 E	-	P1310	-	VIII B9r	60 B	Pit 21
P1262	-	VIII B2s	59 E	Pit466	P1311	-	VIII B9rs	60 B	Pit 22
P1263	-	VIII B2s	59 E	Pit270	P1312	-	VIII B9r	60 B	Pit 24
P1264	-	VIII B2s	59 E	-	P1313	-	VIII B9r	60 B	Pit 29
P1265	-	VIII B2s	59 E	-	P1314	-	VIII B9r	60 B	Pit 28
P1266	-	VIII B2s	59 E	-	P1315	-	VIII B9r	60 B	Pit 27
P1267	-	VIII B2s	59 E	-	P1316	-	VIII B9r	60 B	Pit 08
P1268	-	VIII B2s	59 E	-	P1317	-	VIII B9r	60 B	Pit 26
P1269	-	VIII B2s	59 E	-	P1318	-	VIII B9r	60 B	Pit 25
P1270	-	VIII B2s	59 E	Pit269	P1319	-	VIII B2s	60 B	Pit 66
P1271	-	VIII B2s	59 E	Pit268	P1320	-	VIII B2s	60 B	Pit 67
P1272	-	VIII B2s	59 E	Pit266	P1321	-	VIII B2st	60 B	Pit 65
P1273	-	VIII B2s	59 E	Pit267	P1322	-	VIII B2s	60 B	Pit 68
P1274	-	VIII B2s	59 E	Pit262	P1323	-	VIII B3s	60 B	Pit 83
P1275	-	VIII B2s	59 E	Pit263	P1324	-	VIII B3s	60 B	Pit 85
P1276	-	VIII B2s	59 E	Pit264	P1325	-	VIII B3s	60 B	Pit 86
P1277	-	VIII B2s	59 E	Pit265	P1326	-	VIII B7s	60 B	Pit 52
P1278	-	VIII B3s	59 E	Pit168	P1327	-	VIII B7s	60 B	Pit 44
P1279	-	VIII B3s	59 E	Pit286	P1328	-	VIII B7s	60 B	Pit 45
P1280	-	VIII B3s	59 E	Pit169	P1329	-	VIII B7s	60 B	Pit 49
P1281	-	VIII B3s	59 E	Pit170	P1330	-	VIII B7s	60 B	Pit 50
P1282	-	VIII B3s	59 E	Pit287A	P1331	-	VIII B7s	60 B	Pit 48
P1283	-	VIII B3s	59 E	Pit114	P1332	-	VIII B7s	60 B	Pit 58
P1284	-	VIII B3s	59 E	Pit288	P1333	-	VIII B7s	60 B	Pit 47
P1285	-	VIII B3s	59 E	Pit287B	P1334	-	VIII B7s	60 B	Pit 51
P1286	-	VIII B3s	59 E	Pit289	P1335	-	VIII B7s	60 B	Pit 55
P1287	-	VIII B3s	59 E	Pit115	P1336	-	VIII B7s	60 B	Pit 54
P1288	-	VIII B3s	59 E	Pit486	P1337	-	VIII B7s	60 B	Pit 46
	-	VIII B3s	60 B	Pit 84	P1338	-	VIII B7s	60 B	Pit 42
P1289	-	VIII B3s	59 E	Pit487	P1339	-	VIII B7s	60 B	Pit 43
P1290	-	VIII B4s	59 E	Pit407	P1340	-	VIII B7s	60 B	Pit 57

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P1341	-	VIII B7, 8s	60 B	Pit 56	P1391	-	VIII C2b	59 C	Pit 06
P1342	-	VIII B8s	60 B	Pit 41	P1392	-	VIII C3b	59 C	-
P1343	-	VIII B8s	60 B	Pit 39	P1393	-	VIII C4b	59 C	Pit 02
P1344	-	VIII B8s	60 B	Pit 37	P1394	-	VIII C4b	59 C	-
P1345	-	VIII B8s	60 B	Pit 35	P1395	-	VIII C5b	59 C	-
P1346	-	VIII B8s	60 B	Pit 33	P1396	-	VIII C5b	59 C	-
P1347	-	VIII B8s	60 B	Pit 34	P1397	-	VIII C2c	59 C	-
P1348	-	VIII B8s	60 B	Pit 15	P1398	-	VIII C3c	59 C	-
P1349	-	VIII B8s	60 B	Pit 14	P1399	-	VII C20f	59 C	-
P1350	-	VIII B8s	60 B	Pit 13	P1400	-	VII C20f	59 C	-
P1351	-	VIII B8st	60 B	Pit 01	P1401	-	VII C20f, VIII C1f	59 C	-
P1352	-	VIII B8s	60 B	Pit 03	P1402	-	VII C20f	59 C	-
P1353	-	VIII B8s	60 B	Pit 05	P1403	-	VII C20f	59 C	-
P1354	-	VIII B8s	60 B	Pit 06	P1404	-	VII C20f	59 C	-
P1355	-	VIII B8s	60 B	Pit 04	P1405	-	VIII C1f	59 C	-
P1356	-	VIII B8s	60 B	Pit 02	P1406	-	VIII C3f	59 C	-
P1357	-	VIII B9s	60 B	Pit 53	P1407	-	VIII C3f	59 C	-
P1358	-	VIII B9s	60 B	Pit 09	P1408	-	VIII C1h	59 C	-
P1359	-	VIII B9s	60 B	Pit 10	P1409	-	VIII C3g	59 C	-
P1360	-	VIII B9s	60 B	Pit 11	P1410	-	VIII C3g	59 C	Pit 10
P1361	-	VIII B9s	60 B	Pit 32	P1411	-	VIII C3g	59 C	Pit 11
P1362	-	VIII B9s	60 B	Pit 07	P1412	-	VIII C4g	59 C	-
P1363	-	VIII B9s	60 B	Pit 70	P1413	-	VIII C2h	59 C	-
P1364	-	VIII B1t	60 B	Pit 60	P1414	-	VIII C3i	59 C	-
P1365	-	VIII B1t	60 B	Pit 61	P1415	-	VIII B9t	59 D	-
P1366	-	VIII B1t	60 B	Pit 62	P1416	-	VIII C6a	59 D	-
P1367	-	VIII B1t	60 B	Pit 63	P1417	-	VIII C7a	59 D	Pit 01
P1368	-	VIII B2t	60 B	Pit 64	P1418	-	VIII C7a	59 D	Pit 02
P1369	-	VIII B2t	60 B	Pit 69	P1419	-	VIII C7a	59 D	Pit 11
P1370	-	VIII B2t	60 B	Pit 73	P1420	-	VIII C8a	59 D	-
P1371	-	VIII B2t	60 B	Pit 72	P1421	-	VIII C8a	59 D	Pit 04
P1372	-	VIII B2t	60 B	Pit 74	P1422	-	VIII C8a	59 D	Pit 05
P1373	-	VIII B3t	60 B	Pit 75	P1423	-	VIII C8a	59 D	Pit 06
P1374	-	VIII B3t	60 B	Pit 77	P1424	-	VIII C6c	59 D	-
P1375	-	VIII B3t	60 B	Pit 76	P1425	-	VIII C8c	59 D	-
P1376	-	VIII B3t	60 B	Pit 78	P1426	-	VIII C8c	59 D	-
P1377	-	VIII B3t, VIII C3a	60 B	Pit 79	P1427	-	VIII C7, 8d	59 D	-
P1378	-	VIII B4t	60 B	Pit 80	P1428	-	VIII C5g	59 D	-
P1379	-	VIII B4t	60 B	Pit 81	P1429	-	VIII C5g	59 D	-
P1380	-	VIII B4t	60 B	Pit 82	P1430	-	VIII C5g	59 D	-
P1381	-	VIII C2a	60 B	Pit 71	P1431	-	VIII C5, 6g	59 D	-
P1382	-	VIII C2ab	59 C	Pit 08	P1432	-	VIII C5, 6g	59 D	-
P1383	-	VIII C2ab	59 C	Pit 08	P1433	-	VIII C4k	60 A	Pit 01
P1384	-	VIII C3a	59 C	Pit 03	P1434	-	VII C19, 20op	59 A	-
P1385	-	VIII C3a	59 C	Pit 09	P1435	-	VII C19q	59 A	-
P1386	-	VIII C4a	59 C	-	P1436	-	VII C19r	59 A	-
P1387	-	VIII C4a	59 C	-	P1437	-	VII C20r	59 A	-
P1388	-	VIII C4a	59 C	Pit 01	P1438	中	VII C19t	59 A	Pit 04
P1389	-	VIII C5ab	59 C	-	P1439	-	VII C20a	59 A	Pit 14
P1390	-	VIII C2b	59 C	Pit 07	P1440	中	VII C19a	59 A	Pit 03

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
P1441	－	VII D19a	59 A	Pit 12	P1466	－	VIII D4d	60 E	Pit 22
P1442	－	VII D20a	59 A	Pit 13	P1467	－	VIII D2e	60 E	Pit 02
P1443	城	VII D20a	59 A	Pit 05	P1468	－	VIII D2e	60 E	Pit 01
P1444	－	VII D20c	59 A	－	P1469	－	VIII D3e	60 E	Pit 18A
P1445	－	VIII C1n	59 B	－	P1470	－	VIII D3e	60 E	－
P1446	－	VIII C2n	59 B	－	P1471	－	VIII D3e	60 E	Pit 16
P1447	－	VIII C1p	59 B	－	P1472	－	VIII D3e	60 E	Pit 18B
P1448	－	VIII C1p	59 B	－	P1473	－	VIII D1f	60 E	Pit 03
P1449	－	VIII C1p	59 B	－	P1474	－	VII D18g	60 E	Pit 07
P1450	－	VIII C1p	59 B	－	P1475	－	VII D18, 19g	60 E	Pit 06
P1451	－	VIII C1p	59 B	－	P1476	－	VII D19g	60 E	Pit 05
P1452	－	VIII C3p	59 B	－	P1477	－	VII D17h	60 E	Pit 14
P1453	－	VIII C5p	59 B	－	P1478	－	VII D17h	60 E	Pit 19
P1454	－	VIII C4q	59 B	－	P1479	－	VII D18h	60 E	Pit 20
P1455	－	VIII C5q	59 B	－	P1480	－	VII D18h	60 E	Pit 11
P1456	中	VIII D1ab	59 B	Pit 01	P1481	－	VII D18h	60 E	Pit 13
P1457	－	VIII D2a	59 B	Pit 07	P1482	－	VII D18h	60 E	Pit 10
P1458	中	VIII D1b	59 B	Pit 02	P1483	－	VII D18h	60 E	－
P1459	－	VIII D2b	59 B	Pit 06	P1484	－	VII D18, 19n	60 E	Pit 09
P1460	－	VIII D2b	59 B	Pit 05	P1485	－	VII D18, 19h	60 E	Pit 12
P1461	－	VIII D2, 3bc	59 B	Pit 04	P1486	－	VII D19h	60 E	Pit 15
P1462	－	VIII D3b	59 B	－	P1487	－	VII D20m, VIII D1m	60 E	Pit 23
P1463	－	VIII D4b	59 B	－	P1488	－	VIII D2m	60 E	Pit 25
P1464	－	VIII D1c	59 B	Pit 03	P1489	－	VIII D2m	60 E	Pit 24
P1465	－	VIII D4d	60 E	Pit 21					

遺物観察表

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
44-1	須恵器	蓋杯	蓋	検出	-	14.4						E-3093
2	須恵器	蓋杯	蓋	検出	4.4	11.9						3094
3	須恵器	蓋杯	蓋	検出	3.7	10.8						3095
4	須恵器	蓋杯	身	検出	5.0	10.4		5.4				3096
5	須恵器	蓋杯	身	検出	5.4	12.0		6.4				3097
6	須恵器	蓋杯	身	検出	4.7	10.7		4.2				3098
7	須恵器	蓋杯	身	検出	-	10.2						3099
8	須恵器	蓋杯	身	検出	-	10.4						3100
9	須恵器	蓋杯	身	検出	3.2	8.3						3101
10	須恵器	高杯		検出	-	11.8		-				3102
11	須恵器	高杯		検出	-	-		8.6				3103
12	須恵器	鉢		検出	-	8.0						3104
13	須恵器	脚付壺		検出	-	-		-				3105
14	須恵器	壺		検出	-	-		-				3106
15	須恵器	壺		検出	-	-		5.4				3107
16	須恵器	長頸瓶		検出	18.7	8.1						3108
17	土師器	高杯		検出	-	-		-				3109
18	須恵器	瓶		検出	-	22.6		-				3110
19	須恵器	瓶		検出	-	-		12.0				3111
46-1	灰釉陶器	椀		SE52	5.4	15.4	35.1	7.4	ナデ		美濃、ツケガケ	1840
2	灰釉陶器	椀		SE52	4.7	15.1	31.1	6.7			猿投、ツケガケ	1841
3	灰釉陶器	椀		SE52	4.3	12.8	33.6	6.2	ナデ		ツケガケ	1842
4	灰釉陶器	椀		SE52	4.7	14.5	32.4	6.8			猿投、ツケガケ	1843
5	灰釉陶器	椀		SE52	4.5	14.8	30.4	6.8			猿投、ツケガケ	1844
6	灰釉陶器	椀		SE52	5.8	16.7	34.7	7.8			猿投、ツケガケ	1845
7	灰釉陶器	椀		SE52	3.6	12.6	28.6	6.4			美濃、ツケガケ	1846
8	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	8.4			美濃?	1847
9	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.4			美濃	1848
10	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.5			美濃	1849
11	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	8.6	ナデ		猿投、ツケガケ	1850
12	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	8.2			美濃	1851
13	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.0			猿投	1852
14	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.8			猿投	1853
15	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	8.6			猿投	1854
16	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.2			猿投?	1855
17	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.3			猿投	1856
18	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	5.9			猿投	1857
19	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	6.9			猿投	1858
20	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	6.6			猿投	1859
21	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	6.4			猿投?常滑?	1860
22	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.6	ナデ		猿投	1861
23	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.4			猿投?	1862
24	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.8			猿投?	1863
25	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.2			?	1864
26	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.2			猿投	1865
27	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	6.4			猿投	1866
28	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.2			猿投	1867
29	灰釉陶器	皿		SE52	-	-	-	6.4			美濃	1868
30	灰釉陶器	皿		SE52	-	-	-	6.4			美濃	1869
31	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.1			猿投	1870
32	灰釉陶器	深椀		SE52	-	19.7	-	-			?,ハケヌリ	1871
33	灰釉陶器	段皿		SE52	-	-	-	8.0			猿投?	1872
34	灰釉陶器	皿		SE52	2.6	12.3	21.1	6.6			?	1873
35	灰釉陶器	皿		SE52	2.4	13.7	17.5	7.0			猿投、ツケガケ	1874
36	灰釉陶器	皿		SE52	2.6	12.8	20.3	7.2			美濃?	1875
37	灰釉陶器	皿		SE52	2.2	11.1	19.8	6.1	ナデ		美濃、ツケガケ	1876
38	灰釉陶器	皿		SE52	2.7	12.6	21.0	5.6			猿投	1877
39	灰釉陶器	皿		SE52	2.7	13.0	20.8	6.6			猿投、ツケガケ	1878
47-40	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	5.8			美濃	1879
41	灰釉陶器	皿		SE52	-	-	-	7.2			猿投?	1880
42	灰釉陶器	皿		SE52	-	-	-	5.8			美濃?	1881
43	灰釉陶器	皿		SE52	-	-	-	6.0			美濃、ツケガケ	1882
44	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	7.6			猿投	1883
45	灰釉陶器	皿		SE52	-	-	-	6.2	ナデ		?	1884
46	灰釉陶器	皿		SE52	-	-	-	6.8			猿投	1885
47	灰釉陶器	椀		SE52	-	-	-	6.6	ナデオサエ		猿投	1886
48	灰釉陶器	壺		SE52	-	-	-	-			?,ハケヌリ	1887
49	須恵器	甕		SE52	-	34.4		-				1888
50	須恵器	甕		SE52	-	26.6		-				1889
51	須恵器	甕		SE52	-	23.9		-				1890

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
52	土師器	土鉢		SE52								E-1891
53	土師器	鉢	A	SE52	-	13.3			ヨコハケメ	タテハケメ	伊勢型	1892
54	土師器	甕		SE52	-	20.8			ナデ	タテハケメ		1893
55	瓦	平瓦		SE52					布目	叩き		1894
56	瓦	平瓦		SE52					布目	布目		1895
57	灰釉陶器	碗		SD55	4.3	14.6	29.5	7.4			猿投、ツケガケ	1896
58	灰釉陶器	碗		SD55	4.0	13.0	30.8	6.4			?	1897
59	灰釉陶器	碗		SD55	-	-	-	7.6			?	1898
60	灰釉陶器	段皿		SD55	2.1	13.1	16.0	6.8			?	1899
61	灰釉陶器	皿		SD55	2.3	11.4	20.2	6.0			?	1900
62	灰釉陶器	壺		SD55	-	8.2		-			?	1901
63	土師器	土鉢		SD55								1902
48-64	灰釉陶器	碗		SK271	5.5	14.7	37.4	6.5			?	1903
65	灰釉陶器	碗		SK271	5.5	14.4	38.2	6.6			?	1904
66	灰釉陶器	碗		SK271	-	16.6	-	-			?	1905
67	灰釉陶器	碗		SK271	-	-	-	7.3			?	1906
68	灰釉陶器	碗		SK271	-	-	-	5.4			?	1907
69	土師器	皿	A 3	SK271	2.1	9.2	22.8	3.6			ロクロ	1908
70	土師器	皿	A 3	SK271	2.0	7.8	25.6	3.8			ロクロ、白色	1909
71	土師器	皿	A 4	SK271	-	-	-	6.9				1910
72	土師器	鉢	B	SK271	-	23.0						1911
73	土師器	鉢	B	SK271	-	27.4						1912
74	土師器	鉢	B	SK271	-	30.4						1913
75	土師器	鉢	B	SK271	-	26.4						1914
76	土師器	鉢	B	SK271	-	23.4						1915
77	緑釉陶器	皿		検出	-	-	-	-				1916
78	緑釉陶器	碗		SD75	-	-	-	6.0				1917
79	緑釉陶器	碗		SE39	-	-	-	5.0				1918
80	緑釉陶器	碗		検出	-	-	-	5.4				1919
81	灰釉陶器	碗		SE39	-	-	-	6.8			？、ツケガケ	1920
82	灰釉陶器	碗		SK111	5.4	15.6	34.6	7.5			猿投、ツケガケ	1921
83	灰釉陶器	碗		検出	5.0	15.6	32.1	7.4			？、ハケヌリ	1922
84	灰釉陶器	碗		SK111	7.4	14.9	49.7	7.4			？、ツケガケ	1923
85	灰釉陶器	碗		検出	3.9	10.8	36.1	5.4			？、ツケガケ	1924
86	灰釉陶器	碗		検出	4.1	11.6	35.3	5.8			猿投、ツケガケ	1925
87	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	7.4			?	1926
88	灰釉陶器	皿		SE42	2.6	11.4	22.8	6.0			?	1927
89	灰釉陶器	皿		検出	1.9	12.1	15.7	6.2			?	1928
90	灰釉陶器	皿		検出	1.7	11.6	14.7	6.8	ナデ		?	1929
91	灰釉陶器	皿		検出	2.1	10.0	21.0	5.8			?	1930
92	灰釉陶器	皿		検出	1.8	13.6	13.2	7.6			?	1931
93	灰釉陶器	皿		検出	3.1	11.3	27.4	4.2			?	1932
94	灰釉陶器	皿		検出	1.6	11.8	13.6	7.2			美濃	1933
95	灰釉陶器	皿		SK339	-	-	-	6.8			?	1934
96	灰釉陶器	耳皿		検出	-	-	-	5.8			?	1935
97	灰釉陶器	耳皿		SK339	2.7	9.8	27.6	4.8			?	1936
98	灰釉陶器	脚付皿		SE51	-	13.7		-			?	1937
99	土師器	鉢	B	検出	-	29.8						1938
49-100	灰釉陶器	碗		検出	4.2	14.4	29.2	6.6			美濃、ツケガケ	1939
101	灰釉陶器	碗		検出	3.7	12.2	30.3	5.8			?	1940
102	灰釉陶器	碗		検出	-	12.8	-	-			？、ツケガケ	1941
103	灰釉陶器	碗		検出	-	15.0	-	-			美濃、ツケガケ	1942
104	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	6.9			美濃？	1943
105	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	7.5			美濃？	1944
106	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	6.9			美濃	1945
107	灰釉陶器	深碗		検出	-	-	-	8.0			美濃？	1946
108	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	5.0			美濃、ツケガケ	1947
109	灰釉陶器	皿		検出	-	-	-	5.2			?	1948
110	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	5.3			美濃	1949
111	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	4.7			?	1950
112	灰釉陶器	碗		検出	-	-	-	6.2			？、ヘラ記号あり	1951
113	灰釉陶器	皿		検出	-	-	-	6.8			?	1952
114	灰釉陶器	皿		検出	3.2	13.4	23.9	5.3			?	1953
115	灰釉陶器	皿		検出	2.9	12.0	24.2	5.6			?	1954
116	灰釉陶器	皿		検出	2.8	13.9	20.1	6.0			?	1955
117	灰釉陶器	皿		検出	2.2	13.6	16.2	6.6			?	1956
118	灰釉陶器	皿		検出	1.7	11.4	14.9	5.4			?	1957
119	灰釉陶器	耳皿		検出	-	-	-	4.0			?	1958
120	灰釉陶器	皿		検出	3.0	14.0	21.4	6.8			猿投、ツケガケ	1959
121	灰釉陶器	段皿		検出	2.2	13.6	16.2	6.9			？、ツケガケ	1960

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
122	灰軸陶器	皿		検出	1.9	9.8	19.4	5.6			?	E-1961
123	灰軸陶器	皿		検出	2.3	9.7	23.7	4.0			美濃	1962
124	土師器	椀		検出	4.7	12.3	38.2	5.9				1963
125	灰軸陶器	壺		検出	-	15.0	-	-			?	1964
126	灰軸陶器	壺		検出	-	19.2	-	-			美濃?	1965
127	灰軸陶器	壺		検出	-	11.2	-	-			?	1966
128	灰軸陶器	短頸壺		検出	-	10.7	-	-			?	1967
129	灰軸陶器	長頸瓶		検出	-	-	-	7.3			?	1968
130	灰軸陶器	長頸瓶		検出	15.9	7.9	-	7.6			?	1969
131	土師器	鍋	B	検出	-	18.4	-	-				1970
132	土師器	鍋	B	検出	-	21.4	-	-				1971
133	土師器	鍋	B	検出	-	26.0	-	-				1972
134	土師器	鍋	B	検出	-	25.8	-	-				1973
135	土師器	鍋	B	検出	-	33.0	-	-				1974
50-136	山茶碗	椀	A 1	SK492	5.5	16.3	33.7	7.8			?	1975
137	山茶碗	椀	A 1	SK492	5.6	16.1	34.8	6.8			常滑? 渥美?	1976
138	山茶碗	椀	A 1	SK492	6.5	16.3	39.9	7.1			?、墨書	1977
139	山茶碗	輪花椀	A 3	SK492	5.6	16.5	33.9	7.4			猿投? 常滑?	1978
140	山茶碗	椀	A	SK492	-	-	-	8.0			?	1979
141	山茶碗	皿		SK492	2.0	9.4	21.3	4.4			?	1980
142	土師器	椀		SK492	-	-	-	6.0			ロクロ	1981
143	土師器	皿	A 4	SK492	-	-	-	9.4			ロクロ	1982
144	山茶碗	皿	A	SK492	-	-	-	4.5			瀬戸?	1983
145	山茶碗	皿	A	SK492	-	-	-	5.5			?	1984
146	山茶碗	皿	A	SK492	3.7	10.5	35.2	5.2			瀬戸	1985
147	山茶碗	皿	A	SK492	3.3	9.6	34.4	5.4			猿投	1986
148	土師器	鍋	A	SK492	-	19.6	-	-				1987
149	土師器	鍋	A	SK492	-	21.2	-	-				1988
150	土師器	鍋	A	SK492	-	19.6	-	-				1989
151	山茶碗	皿	A	SK491	3.8	11.0	34.5	5.8			?	1990
152	山茶碗	皿	A	SK491	3.5	10.8	32.4	5.8			猿投?	1991
153	山茶碗	蓋		SK491	2.0	7.1	-	-			?	1992
154	山茶碗	小瓶		SK491	9.9	5.0	-	8.0			?	1993
155	山茶碗	椀	A 1	SK460	-	16.0	-	-			常滑?	1994
156	山茶碗	椀	A 1	SK460	6.2	16.9	36.7	8.2			?	1995
157	山茶碗	椀	A 2	SK460	5.0	15.7	31.8	7.5			常滑	1996
158	山茶碗	椀	A 2	SK460	5.2	16.6	31.3	8.7			常滑?	1997
159	山茶碗	椀	A 2	SK460	5.4	16.7	32.3	7.1	ナデ	圧痕アリ	常滑	1998
160	山茶碗	椀	A 2	SK460	5.3	16.1	32.9	7.6			常滑? 渥美?	1999
161	山茶碗	椀	A 2	SK460	4.8	16.3	29.4	7.2			常滑	2000
162	山茶碗	椀	A 2	SK460	-	-	-	7.5			猿投?	2001
163	白磁	椀		SK460	-	-	-	-	陰刻花文			2002
164	山茶碗	皿	A	SK460	2.6	8.7	29.9	4.2			常滑? 猿投?	2003
165	山茶碗	皿	A	SK460	2.7	8.8	30.7	4.4			常滑? 猿投?	2004
166	山茶碗	椀		SK460	-	-	-	4.8			?	2005
167	灰軸陶器	瓶		SK460	-	-	-	-			?	2006
168	灰軸陶器	瓶		SK460	-	-	-	12.7			?	2007
51-169	山茶碗	皿	A	検出	3.3	8.8	37.5	4.6			猿投	2008
170	山茶碗	皿	A	検出	3.0	8.8	34.1	4.0			?	2009
171	土師器	皿	A 1	検出	-	9.8	-	-			ロクロ	2010
172	土師器	皿		検出	-	-	-	7.6			ロクロ	2011
173	土師器	皿	A 4	検出	-	9.5	-	-			ロクロ	2012
174	土師器	皿	A 4	検出	-	-	-	6.0			ロクロ	2013
175	土師器	鉢		検出	-	25.0	-	-				2014
176	土師器	鍋	A	検出	-	22.8	-	-				2015
177	土師器	土鉢		検出								2016
178	山茶碗	椀	A 1	検出	5.5	15.7	35.0	6.6			渥美?	2017
179	山茶碗	皿	A	検出	3.0	9.6	31.3	5.1		圧痕アリ	猿投?、墨書	2018
180	山茶碗	皿	A	検出	3.3	10.6	31.1	6.2			猿投?	2019
181	山茶碗	皿	A	検出	-	-	-	3.9			?	2020
182	山茶碗	皿	A	検出	-	-	-	5.8			美濃?	2021
183	土師器	皿	A 4	検出	3.5	11.4	-	5.9			ロクロ	2022
184	土師器	鍋	B	検出	-	17.4	-	-				2023
52-185	山茶碗	椀	A 1	SD09	5.1	15.6	32.7	6.2	ナデ		常滑?	2224
186	山茶碗	椀	A 1	SD09	4.9	15.5	31.6	6.8			猿投? 常滑?	2225
187	山茶碗	椀	A 1	SD09	5.1	15.8	32.3	7.0	ナデ		常滑	2226
188	山茶碗	椀	A 1	SD09	5.4	15.8	34.2	7.0			常滑	2227
189	山茶碗	椀	A 1	SD09	5.4	15.8	34.2	6.8	ナデオサエ		常滑	2228
190	山茶碗	椀	A 1	SD09	5.4	15.6	34.6	6.5	ナデオサエ		猿投? 常滑?	2229
191	山茶碗	椀	A 1	SD09	5.0	15.2	32.9	6.5	ナデ		常滑?	2230

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
192	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.3	15.9	33.3	8.0	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	E-2231
193	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.8	15.2	31.6	7.0	オサエ		猿投?常滑?	2232
194	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.3	16.2	32.7	7.4			常滑	2233
195	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.9	15.9	30.8	7.4			常滑?	2234
196	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.0	15.8	31.6	6.4	ナデ		常滑	2235
197	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.8	15.9	30.2	8.0	ナデ		常滑	2236
198	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.9	15.4	31.8	7.2	ナデ		常滑?	2237
199	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.1	15.6	32.7	6.3	ナデ		?	2238
200	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.0	15.6	32.1	6.8			?	2239
201	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.1	14.3	35.7	6.6			猿投?常滑?	2240
202	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.3	15.9	33.3	7.6			猿投?常滑?	2241
203	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.0	14.6	34.2	7.0	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2242
204	山茶碗	碗	A 2	SD09	3.9	14.6	26.7	7.0	ナデオサエ		猿投?	2243
205	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.9	15.0	32.7	6.0			猿投?	2244
206	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.2	15.0	34.7	7.8	ナデオサエ		常滑?	2245
207	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.3	15.3	34.6	7.0			猿投?	2246
208	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.9	14.9	32.9	6.4			猿投?	2247
209	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.7	13.8	34.1	7.0	ナデ		猿投?常滑?	2248
210	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.9	15.0	32.7	6.6			常滑?猿投?	2249
211	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.1	14.9	34.2	6.8			渥美?常滑?	2250
212	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.9	15.4	31.8	6.8			?	2251
213	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.3	15.3	34.6	6.4			常滑?	2252
214	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.9	15.1	32.5	6.4			猿投?	2253
215	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.2	15.2	34.2	7.0	ナデ		常滑?	2254
216	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.8	15.1	31.8	7.2			猿投?瀬戸?	2255
217	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.8	15.6	30.8	6.6			瀬戸	2256
53-218	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.2	15.8	32.9	6.2			猿投?	2257
219	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.0	15.4	32.5	4.8			猿投?	2258
220	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.9	15.2	32.2	6.0	ナデ		?	2259
221	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.2	15.1	34.4	6.2			猿投?	2260
222	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.6	18.0	31.1	9.6			瀬戸	2261
223	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.8	13.9	34.5	5.6			猿投?瀬戸?	2262
224	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.3	15.3	34.6	7.0			常滑	2263
225	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.7	13.7	34.3	5.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸?	2264
226	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.4	15.1	35.8	5.8			?	2265
227	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.3	15.1	35.1	6.0	ナデ	圧痕アリ	?	2266
228	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.1	14.5	35.2	8.2	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑?猿投?	2267
229	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.2	15.1	34.4	6.6	ナデ		瀬戸?	2268
230	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.2	14.3	36.4	6.9			常滑	2269
231	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.1	14.7	34.7	7.2			渥美?	2270
232	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.9	14.9	32.9	7.0			渥美?	2271
233	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.4	15.7	34.4	7.0	オサエ		渥美	2272
234	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.8	15.1	38.4	6.6			猿投?常滑?	2273
235	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.3	15.3	34.6	6.8			瀬戸	2274
236	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.1	14.1	36.2	6.0	ナデ	圧痕アリ	?	2275
237	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.1	15.0	34.0	6.0			瀬戸?	2276
238	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.7	15.8	36.1	7.4			瀬戸?猿投?	2277
239	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.4	14.5	37.2	5.8			?	2278
240	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.6	15.0	37.3	5.6			?	2279
241	山茶碗	碗	C 1	SD09	5.2	15.4	33.8	7.6		圧痕アリ	美濃?	2280
242	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.5	14.9	36.9	6.4			常滑?	2281
243	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.1	14.0	36.4	6.0		圧痕アリ	瀬戸?	2282
244	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.4	14.8	36.5	6.0			瀬戸	2283
245	山茶碗	碗	C 1	SD09	5.1	14.2	35.9	6.2	ナデ	圧痕アリ	美濃	2284
246	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.2	15.4	33.8	6.8	ナデ		?	2285
247	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.5	15.7	35.0	7.4		圧痕アリ	常滑、へら記号あり	2286
248	山茶碗	碗	C 1	SD09	5.9	14.8	39.9	6.8			美濃	2287
249	山茶碗	碗	C 1	SD09	5.8	14.8	39.2	5.5			?	2288
54-250	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.2	14.2	36.6	5.6			常滑?	2289
251	山茶碗	碗	B 1	SD09	6.0	14.9	40.3	6.2			瀬戸	2290
252	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.6	15.2	36.8	6.4			?	2291
253	山茶碗	碗	D 1	SD09	5.6	14.0	40.0	5.8			?	2292
254	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.7	14.6	39.0	6.8	ナデオサエ		?	2293
255	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.9	15.8	37.3	6.8			?	2294
256	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.9	15.2	38.8	7.2		圧痕アリ	?	2295
257	山茶碗	碗	C 1	SD09	5.8	14.9	38.9	6.2			美濃?瀬戸?	2296
258	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.3	13.8	38.4	5.2			?	2297
259	山茶碗	碗	D 1	SD09	6.0	14.9	40.3	5.6		圧痕アリ	?	2298
260	山茶碗	碗	D 1	SD09	6.1	14.3	42.7	6.2		圧痕アリ	?	2299
261	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.9	15.1	39.1	7.4			?	2300

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
262	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.4	14.0	38.6	4.6			?	E-2301
263	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.5	14.0	39.3	7.0	ナデオサエ		瀬戸	2302
264	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.6	15.0	37.3	5.2			常滑	2303
265	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.1	14.1	36.2	5.2			瀬戸	2304
266	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.4	14.2	38.0	5.5	ナデ		瀬戸	2305
267	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.6	14.4	38.9	5.6	ナデ		瀬戸	2306
268	山茶碗	碗	C 1	SD09	4.6	12.3	37.4	5.0			美濃	2307
269	山茶碗	碗	片口	SD09	5.9	13.6	43.4	6.8			美濃	2308
270	灰釉陶器	碗		SD09	-	-	-	7.0			猿投	2309
271	山茶碗	皿	A	SD09	3.2	10.3	31.1	5.2			?	2310
272	山茶碗	皿	A	SD09	2.8	9.0	31.1	4.2	ナデ		猿投	2311
273	山茶碗	皿	A	SD09	2.9	8.9	32.6	3.8			猿投?常滑?	2312
274	山茶碗	皿	A	SD09	2.3	8.8	26.1	4.8			?	2313
275	山茶碗	皿	B 1	SD09	2.2	7.5	29.3	4.0	ナデ		常滑	2314
276	山茶碗	皿	B 1	SD09	2.2	7.7	28.6	3.5	ナデ		?	2315
277	山茶碗	皿	B 1	SD09	2.2	7.4	29.7	4.0	ナデ		常滑	2316
278	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	7.4	31.1	3.8	ナデ		常滑	2317
279	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.2	30.6	3.9			?	2318
280	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.3	26.0	4.8			瀬戸?常滑?	2319
281	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.0			?	2320
282	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	4.4			?	2321
283	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	8.1	29.6	4.4			常滑?	2322
284	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	7.8	30.8	4.0		圧痕アリ	?	2323
285	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	7.7	29.9	4.0			?	2324
286	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	3.9			常滑	2325
287	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.7	8.9	30.3	5.0			常滑?	2326
288	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	7.9	22.8	4.4	ナデ		常滑	2327
289	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.6	25.0	4.7			常滑	2328
290	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.7	27.3	4.0	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑	2329
291	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	8.8	26.1	5.0			?	2330
292	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	4.2	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑	2331
293	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	8.1	28.4	4.1	ナデオサエ		常滑?渥美?	2332
294	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.9	25.3	3.9	ナデ	圧痕アリ	常滑	2333
295	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.9	27.8	3.8	ナデ		常滑?	2334
296	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.4	28.4	4.2	ナデオサエ		常滑	2335
297	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.5	28.0	4.2			?	2336
55-298	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.1	ナデ		常滑?	2337
299	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.7	26.0	4.8		圧痕アリ	?	2338
300	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.5	7.7	32.5	3.7			?	2339
301	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	7.5	30.7	4.0			?	2340
302	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	8.2	26.8	4.4	ナデ		常滑	2341
303	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.5	8.1	30.9	4.2			常滑?渥美?	2342
304	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	3.6			常滑?渥美?	2343
305	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	3.2			瀬戸?	2344
306	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	4.1			?	2345
307	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	8.1	27.2	4.4	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2346
308	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	4.6	ナデ		瀬戸	2347
309	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	8.1	29.6	4.2			猿投	2348
310	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.0			瀬戸?	2349
311	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	3.5	オサエ	ナシ	猿投?瀬戸?	2350
312	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	3.8			猿投?瀬戸?	2351
313	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.0	ナデ	圧痕アリ	?	2352
314	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.1	26.8	3.4	ナデ		常滑?瀬戸?	2353
315	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.9	26.6	4.4			渥美	2354
316	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.3	ナデ		常滑	2355
317	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	8.2	29.3	4.0	ナデオサエ		瀬戸?	2356
318	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	6.8	30.9	4.4	ナデ		瀬戸	2357
319	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.9	27.8	5.0	ナデ		瀬戸?猿投?	2358
320	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	8.0	26.3	4.4	ナデ		猿投?	2359
321	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.9	7.8	24.4	4.2	ナデ	圧痕アリ	猿投	2360
322	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.2			猿投?瀬戸?	2361
323	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.6	28.9	3.8	ナデ		?	2362
324	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	7.9	30.4	4.2			美濃	2363
325	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	7.8	30.8	4.0			美濃	2364
326	山茶碗	皿	D 2	SD09	2.2	8.3	26.5	4.0			美濃	2365
327	山茶碗	皿	D 2	SD09	2.2	7.1	31.0	3.7			美濃	2366
328	山茶碗	皿	D 2	SD09	1.9	7.2	26.4	4.2	ナデオサエ		美濃	2367
329	山茶碗	皿	D 2	SD09	2.1	7.5	28.0	4.0		圧痕アリ	美濃	2368
330	山茶碗	皿	D 2	SD09	2.1	8.0	26.3	4.4			美濃	2369
331	山茶碗	皿	D 2	SD09	2.3	7.7	29.9	4.4			美濃	2370

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
332	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.7	7.7	22.1	4.6			猿投?	E-2371
333	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	8.0	22.5	5.0			常滑? 渥美?	2372
334	山茶碗	皿	B 3	SD09	2.0	8.1	24.7	4.6			常滑	2373
335	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.0	ナデ		瀬戸	2374
336	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.7	26.0	4.6			瀬戸	2375
337	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	8.1	25.9	4.1			常滑? 瀬戸?	2376
338	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.4	27.0	4.2			?	2377
339	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.8	26.9	4.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2378
340	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.0			猿投?	2379
341	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.6	27.6	4.0			瀬戸?	2380
342	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.9	26.6	4.4	ナデ		猿投? 常滑?	2381
343	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	7.8	23.1	4.5			瀬戸	2382
344	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.7	26.0	4.0		圧痕アリ	常滑	2383
345	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	4.1			?	2384
346	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.9	7.9	24.1	4.6			常滑	2385
347	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	7.7	23.4	4.4			常滑?	2386
348	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	8.2	22.0	4.8	ナデ		?	2387
349	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	8.5	21.2	5.6			?	2388
350	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.7	7.1	23.9	3.6			猿投? 瀬戸?	2389
351	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.9	8.4	22.6	5.6	ナデ		瀬戸	2390
352	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.9	8.0	23.8	4.2	ナデ		瀬戸? 猿投?	2391
353	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.9	8.1	23.5	4.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2392
354	山茶碗	皿	B 3	SD09	2.0	8.4	23.8	5.0			瀬戸	2393
355	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.7	8.8	19.3	5.6			瀬戸	2394
356	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.6	8.2	19.5	5.2	ナデオサエ		瀬戸	2395
357	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.7	7.7	22.1	5.6	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸	2396
358	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.5	8.3	18.1	4.7	ナデ	圧痕アリ	?	2397
359	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	8.1	22.2	5.0	ナデ	圧痕アリ	猿投? 瀬戸?	2398
360	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	7.8	23.1	4.8	ナデ	圧痕アリ	?	2399
361	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.7	8.2	20.7	4.8	ナデ		瀬戸	2400
362	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.6	8.2	19.5	6.0			瀬戸	2401
363	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.5	7.7	19.5	4.1			?	2402
364	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.7	8.7	19.5	5.0	ナデ	圧痕アリ	?	2403
365	山茶碗	皿	B 3	SD09	2.1	8.7	24.1	4.8	ナデ		瀬戸?	2404
366	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.7	7.5	22.7	5.0			?	2405
367	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.1	8.0	13.8	5.0			?	2406
368	山茶碗	皿	片口	SD09	2.8	7.9	35.4	4.0			美濃	2407
369	山茶碗	皿		SD09	-	-	-	4.6			?	2408
370	白磁	碗		SD09	-	16.7	-	-		玉縁口縁		2409
371	白磁	碗		SD09	-	16.9	-	-		玉縁口縁		2410
372	白磁	碗		SD09	-	-	-	5.8				2411
373	白磁	碗		SD09	-	17.8	-	-				2412
374	青磁	皿		SD09	-	-	-	3.6				2413
56-375	土師器	皿	A 1	SD09	2.0	7.1	28.2	3.8			ロクロ	2414
376	土師器	皿	A 2	SD09	2.2	7.6	28.9	4.2			ロクロ	2415
377	土師器	皿	A 2	SD09	1.6	7.0	22.9	3.8			ロクロ	2416
378	土師器	皿	A 2	SD09	1.5	7.1	21.1	3.7			ロクロ	2417
379	土師器	皿	B	SD09	3.6	13.5	26.7	7.0			ロクロ	2418
380	土師器	皿	B	SD09	3.4	14.1	24.1	8.0			ロクロ	2419
381	土師器	皿	B	SD09	3.9	13.9	28.1	7.0			ロクロ	2420
382	土師器	皿	C 2	SD09	1.8	8.2	22.0	-	ナデ			2421
383	土師器	皿	C 2	SD09	1.9	8.6	22.1	-				2422
384	土師器	皿	C 2	SD09	1.7	8.3	20.5	-				2423
385	土師器	皿	C 2	SD09	1.8	8.5	21.2	-				2424
386	土師器	皿	C 3	SD09	1.3	8.8	14.8	6.3			白色	2425
387	土師器	皿	C 3	SD09	1.3	8.2	15.9	6.0			白色	2426
388	土師器	皿	C 3	SD09	1.4	8.4	16.7	5.6			白色	2427
389	土師器	皿	C 3	SD09	1.5	7.8	19.2	6.0			白色	2428
390	土師器	皿	C 3	SD09	1.4	8.4	16.7	6.6			白色	2429
391	土師器	皿	C 3	SD09	1.3	8.5	15.3	6.6			白色	2430
392	土師器	皿	C 2	SD09	1.5	8.7	17.2	6.4			白色	2431
393	土師器	皿	C 2	SD09	1.3	9.5	13.7	8.0			白色	2432
394	土師器	皿	C 2	SD09	1.3	9.8	13.3	7.4			白色	2433
395	土師器	皿	C 3	SD09	2.1	11.4	18.4	9.4			白色	2434
396	土師器	碗		SD09	-	-	-	4.9			白色、ロクロ	2435
397	土師器	皿	A 4	SD09	-	9.6	-	-			ロクロ	2436
398	土師器	皿	A 4	SD09	-	16.6	-	-			中世? 古代?	2437
399	土師器	皿	A 4	SD09	-	17.4	-	-			ロクロ、古代?	2438
400	土師器	盤		SD09	-	-	-	-			古代?	2439
401	山茶碗	鉢		SD09	-	29.0	-	-			?	2440

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
402	山茶碗	鉢		SD09	—	28.7	—	—			常滑	E-2441
403	山茶碗	鉢		SD09	—	27.7	—	—			常滑	2442
404	山茶碗	鉢		SD09	—	—	—	10.0			?	2443
405	山茶碗	鉢		SD09	—	—	—	11.4			常滑	2444
406	焼き締め	三筋壺		SD09	—	—	—	—			常滑	2445
407	焼き締め	壺		SD09	—	10.4	—	—			常滑	2446
408	焼き締め	壺		SD09	—	—	—	—			常滑	2447
409	施釉陶器	壺		SD09	—	—	—	—		灰釉		2448
410	施釉陶器	四耳壺		SD09	—	—	—	12.0		灰釉		2449
411	焼き締め	壺		SD09	—	—	—	10.4			常滑	2450
412	施釉陶器	壺		SD09	—	—	—	8.6		灰釉		2451
57-413	土師器	鍋	B	SD09	—	13.2	—	—				2452
414	土師器	鍋	B	SD09	—	25.0	—	—				2453
415	土師器	鍋	B	SD09	—	—	—	—				2454
416	土師器	鍋	B	SD09	—	—	—	—				2455
417	土師器	鍋	B	SD09	—	33.4	—	—				2456
418	土師器	鍋	B	SD09	—	20.5	—	—				2457
419	土師器	鍋	A	SD09	—	28.8	—	—				2458
420	土師器	鍋	A	SD09	—	25.6	—	—				2459
421	土師器	鍋	A	SD09	—	22.2	—	—				2460
422	土師器	鍋	A	SD09	—	23.0	—	—				2461
423	焼き締め	壺		SD09	—	21.7	—	—			常滑	2462
424	焼き締め	釜		SD09	—	7.8	—	—			常滑	2463
425	焼き締め	甕		SD09	—	41.4	—	—			常滑	2464
426	焼き締め	甕		SD09	—	40.6	—	—			常滑	2465
427	焼き締め	甕		SD09	—	43.7	—	—			常滑	2466
428	焼き締め	甕		SD09	—	31.7	—	—			常滑	2467
429	焼き締め	甕		SD09	—	—	—	15.0			常滑	2468
430	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、常滑	2469
431	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、常滑	2470
432	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、常滑	2471
433	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、美濃	2472
434	加工円盤	甕胴部		SD09							山茶碗、常滑	2473
435	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、瀬戸	2474
436	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、常滑	2475
437	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、常滑	2476
438	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、瀬戸	2477
439	加工円盤	碗底部		SD09							山茶碗、常滑	2478
440	土師器	土鉢		SD09								2479
441	土師器	土鉢		SD09								2480
58-442	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.4	16.1	33.5	6.0			常滑	2145
443	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.4	15.6	34.6	6.8			猿投?常滑?	2146
444	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.4	16.0	33.8	7.8			常滑?	2147
445	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.8	15.0	32.0	7.2	ナデ	圧痕アリ	常滑	2148
446	山茶碗	碗	A 2	SD09	5.0	15.6	32.1	7.0			常滑?	2149
447	山茶碗	碗	A 1	SD09	5.3	15.1	35.1	7.0	ナデ		猿投?常滑?	2150
448	山茶碗	碗	A 1	SD09	4.6	15.4	29.9	7.0			猿投?	2151
449	山茶碗	碗	A 2	SD09	4.9	15.8	31.0	6.4	ナデ		瀬戸?猿投?	2152
450	山茶碗	碗	C 1	SD09	6.0	15.4	39.0	7.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2153
451	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.8	8.3	33.7	5.0			常滑?	2154
452	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.8	8.6	32.6	5.0			常滑?	2155
453	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.5	7.7	32.5	4.5			常滑?	2156
454	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	7.5	32.0	3.7	ナデ		常滑?	2157
455	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	8.1	29.6	4.0			?	2158
456	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	4.6			?	2159
457	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.5	7.8	32.1	4.2			常滑?猿投?	2160
458	山茶碗	皿	B 2	SD09	1.9	7.0	27.1	3.9	ナデ	圧痕アリ	常滑	2161
459	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.4	27.0	4.3			常滑	2162
460	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.8	25.6	4.0	ナデ		常滑	2163
461	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	8.2	25.6	4.5	ナデ		?	2164
462	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.9	7.8	24.4	5.1			猿投?常滑?	2165
463	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	7.7	29.9	3.8			猿投?常滑?	2166
464	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.3	7.5	30.7	4.8			猿投?	2167
465	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.4	8.3	28.9	4.5			瀬戸	2168
466	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	4.3	ナデ		猿投?	2169
467	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	8.0	27.5	4.6	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2170
468	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.1	7.2	29.2	4.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2171
469	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	4.2	ナデ		猿投?瀬戸?	2172
470	山茶碗	皿	B 2	SD09	2.2	7.4	29.7	3.9	ナデ	圧痕アリ	猿投	2173
471	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.9	7.8	24.4	3.8			瀬戸	2174

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
472	山茶碗	皿	B 3	SD09	1.8	7.4	24.3	4.0	ナデ		瀬戸	E-2175
473	山茶碗	皿	D 2	SD09	2.2	8.2	26.8	4.1			美濃	2176
474	白磁	皿		SD09	-	10.1		-				2177
475	土師器	皿	C 3	SD09	1.7	8.3	20.5					2178
476	土師器	皿	C 3	SD09	1.5	8.8	17.0	6.8	ナデ			2179
477	土師器	皿	C 3	SD09	1.6	10.3	15.5				白色	2180
478	土師器	皿	A 2	SD09	1.4	7.8	17.9	5.0			ロクロ	2181
479	土師器	皿	A 3	SD09	-	-	-	3.5			ロクロ	2182
480	土師器	皿	A 4	SD09	-	-	-	6.2			白色	2183
481	土師器	皿	B	SD09	3.8	13.6	27.9	8.0			ロクロ	2184
482	土師器	皿	B	SD09	3.7	13.0	28.5	7.2	ナデ		ロクロ	2185
483	土師器	盤		SD09	-	-	-	-			古代?	2186
484	土師器	盤		SD09	-	-	-	8.4			古代?	2187
485	山茶碗	鉢		SD09	12.5	31.1	40.2	12.7			常滑	2188
486	焼き締め	釜		SD09	-	36.0		-			常滑	2189
59-487	焼き締め	甕		SD09	-	45.6		-			常滑	2190
488	焼き締め	甕		SD09	-	-		12.0			常滑	2191
489	土師器	鍋	A	SD09	-	24.2						2192
490	山茶碗	碗	A 1	SK168	5.2	14.7	35.4	6.5	ナデ		瀬戸? 猿投?	2193
491	山茶碗	皿	B 2	SK168	1.9	7.5	25.3	3.8	ナデ		猿投? 常滑?	2194
492	山茶碗	皿	B 2	SK168	2.2	8.0	27.5	3.8			渥美?	2195
493	山茶碗	皿	B 2	SK168	2.2	7.8	28.2	3.8	ナデ		常滑? 猿投?	2196
494	山茶碗	皿	B 2	SK168	2.3	7.7	29.9	4.0	ナデ		瀬戸? 猿投?	2197
495	土師器	皿	C 1	SK168	2.4	11.8	20.3		ナデ			2198
496	土師器	皿	B	SK168	-	14.0	-				ロクロ	2199
497	土師器	皿	E 1	SK168	3.3	13.6	24.3					2200
498	土師器	皿	A 3	SK168	2.6	7.3	35.6	3.4			ロクロ	2201
499	土師器	皿	D	SK168	2.5	15.2	16.4					2202
500	焼き締め	壺		SK168	-	-	-	14.0			常滑	2203
501	土師器	鍋	B	SK168	-	27.4						2204
502	山茶碗	碗	A 1	SE55	5.0	14.1	35.5	6.4	ナデ		常滑	2205
503	山茶碗	碗	A 1	SE55	-	-	-	7.8		圧痕アリ	常滑?	2206
504	山茶碗	皿	B 2	SE55	2.2	8.0	27.5	4.0			常滑	2207
505	山茶碗	皿	B 3	SE55	1.7	7.6	22.4	4.2			猿投?	2208
506	山茶碗	皿	B 2	SE55	2.2	7.7	28.6	4.4			常滑	2209
507	山茶碗	皿	B 3	SE55	2.1	8.5	24.7	5.4			猿投?	2210
508	山茶碗	皿	D 2	SE55	2.1	8.4	25.0	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2211
509	山茶碗	皿	B 3	SE55	1.6	8.3	19.3	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2212
510	山茶碗	皿	B 3	SE55	1.8	7.4	24.3	4.0			?	2213
511	土師器	皿	D	SE55	1.4	8.6	16.3					2214
512	土師器	皿	C 1	SE55	1.6	9.4	17.0					2215
513	土師器	皿	D	SE55	1.0	8.5	11.8	7.2				2216
514	土師器	皿	C 1	SE55	1.7	8.6	19.8					2217
515	土師器	皿	C 1	SE55	-	13.7	-	-				2218
516	土師器	皿	E 1	SE55	2.3	11.2	20.5	7.6				2219
517	土師器	皿	C 1	SE55	2.1	11.8	17.8	7.6				2220
518	灰釉陶器	段皿		SE55	1.6	10.8	14.8	5.2			?	2221
519	山茶碗	鉢		SE55	-	34.5	-	-				2222
520	土師器	鍋	A	SE55	-	25.2						2223
60-521	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.4	15.5	34.8	7.5			常滑	2024
522	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.1	15.5	32.9	7.0			常滑? 猿投?	2025
523	山茶碗	碗	A 1	SD76	4.9	15.8	31.0	6.6	ナデ	圧痕アリ	常滑?	2026
524	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.0	15.2	32.9	7.4			猿投? 常滑?	2027
525	山茶碗	碗	A 2	SD76	5.2	15.9	32.7	7.6	ナデ		常滑	2028
526	山茶碗	碗	A 2	SD76	4.8	15.4	31.2	6.1			常滑	2029
527	山茶碗	碗	A 1	SD76	4.9	15.6	31.4	6.8			常滑? 渥美?	2030
528	山茶碗	碗	A 1	SD76	4.9	15.9	30.8	6.8		圧痕アリ	?	2031
529	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.0	15.3	32.7	8.2	ナデオサエ		常滑	2032
530	山茶碗	碗	A 1	SD76	4.8	15.7	30.6	7.0			?	2033
531	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.3	15.1	35.1	7.1			常滑? 渥美?	2034
532	山茶碗	碗	A 2	SD76	4.7	15.4	30.5	6.8		圧痕アリ	常滑? 渥美?	2035
533	山茶碗	碗	A 2	SD76	4.8	16.1	29.8	7.0			常滑	2036
534	山茶碗	碗	A 2	SD76	5.0	15.6	32.1	7.5			常滑	2037
535	山茶碗	碗	A 2	SD76	4.9	15.1	32.5	7.8			常滑	2038
536	山茶碗	碗	A 2	SD76	5.1	15.6	32.7	7.0	ナデ		常滑	2039
537	山茶碗	碗	A 2	SD76	5.2	15.6	33.3	8.1	ナデオサエ		常滑	2040
538	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.5	15.5	35.5	7.0			常滑	2041
539	山茶碗	碗	A 2	SD76	4.9	15.4	31.8	6.8	ナデ		常滑? 渥美?	2042
540	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.0	15.2	32.9	6.4	ナデ		猿投	2043
541	山茶碗	碗	A 1	SD76	4.8	15.1	31.8	7.6	ナデ		猿投	2044

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
542	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.5	14.9	36.9	6.6	ナデ		渥美?	E-2045
543	山茶碗	碗	A 1	SD76	5.5	15.7	35.0	7.6			渥美?	2046
544	山茶碗	碗	A 2	SD76	5.0	15.3	32.7	6.5			渥美	2047
545	山茶碗	碗	B 3	SD76	4.9	15.4	31.8	7.0	ナデ		渥美?	2048
546	山茶碗	碗	D 1	SD76	6.0	14.8	40.5	6.6			美濃?瀬戸?	2049
547	山茶碗	碗	C 1	SD76	5.6	14.3	39.2	6.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2050
548	山茶碗	碗	C 1	SD76	6.1	15.7	38.9	7.0	ナデ		?	2051
549	山茶碗	碗	C 1	SD76	5.6	14.4	38.9	5.4			美濃	2052
550	山茶碗	碗	C 1	SD76	6.0	15.2	39.5	6.0	ナデ		美濃	2053
551	山茶碗	碗	D 1	SD76	5.8	14.6	39.7	5.6			美濃	2054
552	山茶碗	碗	D 1	SD76	5.7	15.6	36.5	6.6	ナデ		美濃	2055
61-553	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.4	7.7	31.2	4.3	ナデ		常滑?	2056
554	山茶碗	皿	B 2	SD76	4.0	8.1	49.4	4.8			常滑	2057
555	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.3	7.6	30.3	4.2			瀬戸?猿投?	2058
556	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.7	8.2	32.9	4.5			常滑?猿投?	2059
557	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.7	8.4	32.1	5.0			?	2060
558	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.1	7.5	28.0	4.7			常滑?	2061
559	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.6	8.2	31.7	5.2	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2062
560	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.4	7.7	31.2	4.2	ナデ	圧痕アリ	常滑?猿投?	2063
561	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.8	28.2	4.8	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2064
562	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.3	7.4	31.1	4.1	ナデ	圧痕アリ	常滑	2065
563	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.9	27.8	4.6		圧痕アリ	常滑?	2066
564	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.7	28.6	3.9	ナデ		猿投?常滑?	2067
565	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.7	28.6	4.8	ナデ	圧痕アリ	?	2068
566	山茶碗	皿	B 2	SD76	1.9	7.5	25.3	3.6			常滑?	2069
567	山茶碗	皿	B 3	SD76	1.9	7.7	24.7	4.2		圧痕アリ	常滑?	2070
568	山茶碗	皿	B 3	SD76	1.9	7.8	24.4	4.4	ナデ		常滑	2071
569	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.1	7.5	28.0	4.2	ナデ		猿投?常滑?	2072
570	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.4	29.7	4.3	ナデ		渥美?常滑?	2073
571	山茶碗	皿	B 3	SD76	2.0	8.6	23.3	4.6	ナデ		渥美?常滑?	2074
572	山茶碗	皿	B 3	SD76	1.8	7.9	22.8	4.6	ナデオサエ		常滑	2075
573	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	8.0	27.5	4.8		圧痕アリ	猿投?	2076
574	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.1	7.6	27.6	4.8	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2077
575	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.4	8.3	28.9	4.1			瀬戸?猿投?	2078
576	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.1	7.4	28.4	4.3			瀬戸?猿投?	2079
577	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.4	7.7	31.2	4.1	ナデ		猿投?	2080
578	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.8	28.2	4.8	ナデ		猿投	2081
579	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.1	8.1	25.9	4.8	ナデ		猿投	2082
580	山茶碗	皿	B 2	SD76	1.9	7.2	26.4	3.6	ナデ		猿投?瀬戸?	2083
581	山茶碗	皿	B 3	SD76	2.0	8.2	24.4	5.4	ナデオサエ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2084
582	山茶碗	皿	B 2	SD76	1.9	7.3	26.0	4.0			瀬戸?猿投?	2085
583	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.1	7.7	27.3	4.3	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2086
584	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.3	7.9	29.1	4.1	ナデ		瀬戸	2087
585	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.1	7.9	26.6	4.3	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2088
586	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.0	7.0	28.6	3.7		圧痕アリ	美濃	2089
587	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.1	31.0	4.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2090
588	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.4	7.8	30.8	4.3			美濃	2091
589	山茶碗	皿	B 2	SD76	2.2	7.3	30.1	3.6			美濃	2092
590	土師器	皿	A 2	SD76	2.0	8.7	23.0	5.0			ロクロ	2093
591	土師器	皿	A 2	SD76	1.9	7.2	26.4	4.8	ナデ		ロクロ	2094
592	土師器	皿	A 1	SD76	1.9	8.4	22.6	4.2			ロクロ	2095
593	白磁	碗		SD76	-	15.6	-	-		玉縁口縁		2096
594	白磁	碗		SD76	-	12.8	-	-		玉縁口縁		2097
595	白磁	碗		SD76	-	-	-	5.8				2098
596	青磁	碗		SD76	-	16.2	-	-				2099
597	青磁	碗		SD76	4.0	11.2	-	3.8				2100
598	青磁	碗		SD76	-	-	-	4.9				2101
599	施釉陶器	片口鉢		SD76	9.0	21.0	-	-		灰釉		2102
600	施釉陶器	壺		SD76	-	-	-	7.4		灰釉		2103
601	焼き締め	襷		SD76	-	28.0	-	-			常滑	2104
62-602	焼き締め	襷		SD76	-	28.0	-	-			常滑	2105
603	土師器	鍋	A	SD76	-	22.8	-	-				2106
604	焼き締め	釜		SD76	-	-	-	-			常滑	2107
605	山茶碗	碗	A 1	SK232	5.4	15.7	34.4	6.0	ナデ		常滑	2108
606	山茶碗	碗	A 1	SK232	5.0	15.7	31.8	7.4	ナデ	圧痕アリ	常滑	2109
607	山茶碗	碗	A 1	SK232	5.3	16.0	33.1	7.2	ナデ		常滑	2110
608	山茶碗	碗	A 2	SK232	4.5	15.3	29.4	6.6			常滑?	2111
609	山茶碗	碗	A 2	SK232	5.6	15.6	35.9	7.0			常滑?	2112
610	山茶碗	碗	A 2	SK232	5.4	15.0	36.0	5.8	ナデ	圧痕アリ	常滑	2113
611	山茶碗	碗	A 2	SK232	5.2	15.0	34.7	7.0	ナデ		常滑	2114

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
612	山茶碗	碗	A 1	SK232	5.6	15.0	37.3	5.8	ナデ		?	E-2115
613	山茶碗	碗	A 2	SK232	5.3	15.5	34.2	7.0			?	2116
614	山茶碗	碗	A 1	SK232	5.1	15.3	33.3	6.4	ナデ		瀬戸? 猿投?	2117
615	山茶碗	碗	A 1	SK232	5.0	14.9	33.6	6.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸? 常滑?	2118
616	山茶碗	碗	A 1	SK232	4.8	15.9	30.2	6.2		圧痕アリ	猿投? 常滑?	2119
617	山茶碗	碗	A 1	SK232	4.6	15.8	29.1	6.8			猿投?	2120
618	山茶碗	碗	C 1	SK232	5.8	15.2	38.2	5.8		圧痕アリ	美濃?	2121
619	山茶碗	碗	A 2	SK232	4.7	13.7	34.3	6.4			美濃?	2122
620	山茶碗	碗	A 2	SK232	5.8	15.2	38.2	7.4	ナデ		瀬戸?	2123
621	山茶碗	碗	A 2	SK232	-	-	-	6.6			瀬戸	2124
622	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.4	8.1	29.6	4.4		圧痕アリ	常滑	2125
623	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	7.8	26.9	4.4	ナデオサエ		常滑	2126
624	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.2	7.5	29.3	3.6			常滑	2127
625	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.0	8.0	25.0	4.2	ナデ		常滑?	2128
626	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	7.5	28.0	4.6	ナデ	圧痕アリ	?	2129
627	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.2	7.4	29.7	4.1	ナデ	圧痕アリ	常滑	2130
628	山茶碗	皿	B 2	SK232	1.9	7.6	25.0	4.7			常滑? 瀬戸?	2131
629	山茶碗	皿	B 3	SK232	1.9	7.5	25.3	4.1	ナデオサエ		常滑?	2132
630	山茶碗	皿	B 3	SK232	1.8	8.1	22.2	4.4			常滑	2133
631	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	7.3	28.8	3.7	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2134
632	山茶碗	皿	B 2	SK232	1.9	7.3	26.0	4.1			瀬戸?	2135
633	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	8.1	25.9	4.3	ナデ		瀬戸?	2136
634	山茶碗	皿	D 2	SK232	2.1	7.5	28.0	4.4			美濃	2137
635	山茶碗	皿	D 2	SK232	2.4	8.5	28.2	4.2			美濃	2138
636	土師器	皿	C 3	SK232	1.6	8.4	19.0					2139
637	土師器	皿	D	SK232	2.0	13.8	14.5					2140
638	土師器	皿	B	SK232	-	-	-	6.0			ロクロ	2141
639	白磁	碗		SK232	-	-	-	-				2142
640	土師器	鍋	A	SK232	-	19.6						2143
641	土師器	土鉢		SK232								2144
63-642	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.4	15.7	34.4	6.8			常滑	2481
643	山茶碗	碗	A 1	SD133	4.9	14.8	33.1	6.9			常滑? 渥美?	2482
644	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.3	15.4	34.4	6.8	ナデ		常滑	2483
645	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.5	14.8	37.2	5.6			渥美? 常滑?	2484
646	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.1	15.0	34.0	6.4	ナデ		常滑	2485
647	山茶碗	碗	A 1	SD133	4.2	16.4	25.6	8.2				2486
648	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.0	14.0	35.7	6.7	ナデ		常滑	2487
649	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.5	15.8	34.8	6.4			常滑、墨書	2488
650	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.1	15.4	33.1	7.6			常滑	2489
651	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.4	15.2	35.5	6.8			常滑	2490
652	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.4	15.6	34.6	6.7			?	2491
653	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.4	15.0	36.0	6.0			猿投? 常滑?	2492
654	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.1	14.3	35.7	7.4	ナデ	圧痕アリ	常滑	2493
655	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.2	15.1	34.4	6.4			常滑	2494
656	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.0	15.0	33.3	7.2	ナデ		常滑	2495
657	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.3	15.0	35.3	7.0	ナデ		常滑	2496
658	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.2	15.4	33.8	6.8			常滑	2497
659	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.2	14.8	35.1	7.0			常滑	2498
660	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.2	15.5	33.5	6.8			常滑	2499
661	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.6	15.2	36.8	7.0	ナデ	圧痕アリ	常滑	2500
662	山茶碗	碗	A 1	SD133	4.7	13.8	34.1	6.0			常滑	2501
663	山茶碗	碗	A 1	SD133	4.9	14.7	33.3	7.0	ナデ		渥美? 常滑?	2502
664	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.2	14.3	36.4	5.8	ナデ		?	2503
665	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.5	14.7	37.4	7.0	ナデオサエ		常滑? 渥美?	2504
666	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.1	14.1	36.2	5.8	ナデ		常滑?	2505
667	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.4	14.4	37.5	6.4			猿投? 常滑?	2506
668	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.3	14.0	37.9	6.4			常滑	2507
669	山茶碗	碗	A 2	SD133	4.9	14.1	34.8	6.4	ナデ		常滑	2508
670	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.5	14.5	37.9	7.0			常滑	2509
671	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.4	14.1	38.3	7.2			常滑	2510
672	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.4	14.6	37.0	6.2	ナデ		常滑	2511
673	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.5	15.5	35.5	6.6	ナデ	圧痕アリ	常滑	2512
674	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.4	14.8	36.5	7.1			?	2513
64-675	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.5	15.3	35.9	6.0			猿投、墨書	2514
676	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.2	15.6	33.3	7.0			常滑、墨書	2515
677	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.4	15.4	35.1	7.0			常滑、墨書	2516
678	山茶碗	碗	A 1	SD133	5.7	15.4	37.0	6.6		圧痕アリ	渥美?	2517
679	山茶碗	碗	A 2	SD133	5.3	14.6	36.3	7.4			渥美	2518
680	山茶碗	碗	A 1	SD133	4.5	15.1	29.8	6.6	ナデ		猿投? 渥美?	2519
681	山茶碗	碗	A 1	SD133	4.8	14.6	32.9	6.5	タテナデ		猿投? 瀬戸?	2520

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
682	山茶椀	椀	A 1	SD133	4.9	14.1	34.8	6.8	ナデ		猿投?	E-2521
683	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.5	14.5	37.9	6.0	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2522
684	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.2	13.7	38.0	5.8	ナデ		常滑?	2523
685	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.1	13.7	37.2	6.1	ナデ		猿投?常滑?	2524
686	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.6	37.7	6.8	ナデ	圧痕アリ	猿投	2525
687	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.2	13.9	37.4	5.8	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸	2526
688	山茶椀	椀	A 2	SD133	4.6	13.6	33.8	5.3	ナデ		瀬戸	2527
689	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.0	13.9	36.0	6.3	ナデ		猿投?瀬戸?	2528
690	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	15.0	36.7	6.4	ナデ		猿投?瀬戸?	2529
691	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.8	37.2	7.0	ナデ		?	2530
692	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.6	14.4	38.9	6.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2531
693	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.6	14.7	38.1	6.4			瀬戸	2532
694	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.2	14.1	36.9	6.0	ナデ		瀬戸	2533
695	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.1	13.6	37.5	5.6	ナデオサエ		瀬戸	2534
696	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.4	38.2	6.3	ナデ		瀬戸	2535
697	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.7	14.7	38.8	6.8	ナデ		瀬戸	2536
698	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.3	13.8	38.4	6.6	ナデ		常滑、墨書	2537
699	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.2	38.7	7.2	ナデ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2538
700	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.3	14.0	37.9	6.4	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2539
701	山茶椀	椀	B 1	SD133	5.6	13.9	40.3	5.6			瀬戸	2540
702	山茶碗	椀	B 1	SD133	5.3	13.3	39.8	5.6	ナデ		猿投?	2541
65-703	山茶碗	椀	C 1	SD133	5.2	14.9	34.9	6.4			美濃	2542
704	山茶碗	椀	C 1	SD133	5.5	15.1	36.4	6.8	ナデ	圧痕アリ	美濃	2543
705	山茶碗	椀	C 1	SD133	5.2	15.1	34.4	6.4	ナデ		美濃	2544
706	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	14.0	38.6	7.3	ナデ		常滑	2545
707	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.1	13.7	37.2	6.8			常滑	2546
708	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.2	13.5	38.5	6.8	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑	2547
709	山茶碗	椀	A 2	SD133	-	14.1	-	-		圧痕アリ	常滑?	2548
710	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.9	15.0	39.3	6.8	ナデ		常滑	2549
711	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.9	13.7	43.1	5.8	ナデ		常滑?	2550
712	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.7	14.7	38.8	6.4	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸	2551
713	山茶碗	椀	A 2	SD133	-	13.7	-	-	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸	2552
714	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.6	14.2	39.4	5.0	ナデ		猿投?	2553
715	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.5	14.0	39.3	5.4	タテナデ	圧痕アリ	瀬戸	2554
716	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.5	14.1	39.0	6.2	ナデオサエ		猿投?瀬戸?	2555
717	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.5	13.8	39.9	6.2			瀬戸?	2556
718	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.6	13.6	41.2	5.3	ナデオサエ	圧痕アリ	猿投?	2557
719	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.4	13.3	40.6	5.8			瀬戸	2558
720	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.3	13.2	40.2	6.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2559
721	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.5	13.8	39.9	5.8	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2560
722	山茶碗	椀	B 2	SD133	5.8	13.4	43.3	6.1	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2561
723	山茶碗	椀	A 2	SD133	4.6	11.8	39.0	5.0	オサエ		瀬戸?	2562
724	山茶椀	椀	B 2	SD133	6.2	12.8	48.4	5.5			?	2563
725	山茶碗	椀	D 2	SD133	5.3	13.2	40.2	5.4	オサエ		美濃?瀬戸?	2564
726	山茶椀	椀	C 1	SD133	6.1	15.2	40.1	6.6			?	2565
727	山茶碗	椀	D 1	SD133	6.1	15.3	39.9	6.6			美濃	2566
728	山茶碗	椀	C 2	SD133	5.0	13.0	38.5	5.2	ナデ		美濃	2567
729	山茶碗	椀	C	SD133	-	-	-	3.6			美濃	2568
730	緑釉陶器	椀		SD133	-	-	-	6.6				2569
731	緑釉陶器	椀		SD133	-	-	-	6.0				2570
732	緑釉陶器	段皿	素地	SD133	-	-	-	7.2				2571
733	灰釉陶器	椀		SD133	-	-	-	7.6			?、底部へラ痕	2572
734	灰釉陶器	椀		SD133	-	-	-	6.6			?、底部墨書	2573
66-735	山茶碗	皿	A	SD133	2.8	9.8	28.6	6.3				2574
736	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.4	8.2	29.3	4.2			常滑	2575
737	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.6	7.7	33.8	4.0			常滑	2576
738	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	7.3	30.1	4.4	ナデ	圧痕アリ	猿投	2577
739	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.4	8.0	30.0	4.2			常滑	2578
740	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.3	7.8	29.5	4.5			猿投?常滑?	2579
741	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.5	8.3	30.1	5.0			常滑	2580
742	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.1	7.4	28.4	4.0	ナデオサエ		猿投?常滑?	2581
743	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.3	8.0	28.8	4.4	ナデ		常滑	2582
744	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	7.1	31.0	3.4	ナデ		猿投?常滑?	2583
745	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.3	8.0	28.8	4.2			常滑	2584
746	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	7.8	25.6	5.1		圧痕アリ	常滑	2585
747	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.1	24.7	5.2	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑?	2586
748	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.3	ナデ		常滑	2587
749	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.2	26.8	5.0			常滑	2588
750	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	7.7	28.6	5.1			常滑	2589
751	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.1	27.2	5.0	ナデ		常滑	2590

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
752	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.1	8.1	25.9	4.7	ナデ	圧痕アリ	常滑?	E-2591
753	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.4	26.2	6.0	ナデ		常滑	2592
754	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.0	ナデ		常滑	2593
755	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.1	7.9	26.6	4.0	ナデ		常滑?	2594
756	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.1	8.1	25.9	4.6	ナデ		猿投?常滑?	2595
757	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.0	ナデ		猿投?常滑?	2596
758	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.4	25.7	4.2	ナデ		猿投?常滑?	2597
759	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.1	ナデ		常滑?	2598
760	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.9	22.8	4.8	ナデ	圧痕アリ	常滑	2599
761	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	4.0			常滑	2600
762	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.1	8.4	25.0	4.6	ナデ		常滑?	2601
763	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.6	22.1	5.7	ヨコナデ	圧痕アリ	常滑	2602
764	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.8	ナデ		常滑	2603
765	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	4.9	ナデ		常滑	2604
766	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	5.6	ナデ		常滑	2605
767	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.3	22.9	4.8			?	2606
768	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.1	8.6	24.4	5.2			常滑	2607
769	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.5	8.6	29.1	4.8	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2608
770	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.1	8.2	25.6	5.4			瀬戸	2609
771	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.1	27.2	4.4	ナデ		瀬戸	2610
772	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.1	7.5	28.0	4.4			猿投	2611
773	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.1	27.2	4.5	ナデ		瀬戸?	2612
774	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.2	26.8	4.6	ナデオサエ		瀬戸?猿投?	2613
775	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.0	25.0	5.1	ナデ		瀬戸	2614
776	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.2		圧痕アリ	瀬戸?	2615
777	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	7.9	25.3	5.0	ナデ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2616
778	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.5	8.8	28.4	5.3	オサエ	圧痕アリ	猿投?	2617
779	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.3	8.5	27.1	5.6			猿投?	2618
780	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.1	8.0	26.3	4.4			常滑?	2619
781	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.2	8.6	25.6	5.4			瀬戸	2620
782	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.1	8.1	25.9	4.4	ナデ	圧痕アリ	?	2621
783	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.0	7.5	26.7	4.6	ナデオサエ		瀬戸?猿投?	2622
784	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.3	24.1	4.6	ナデオサエ		瀬戸?猿投?	2623
785	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.7	24.7	5.0	ナデ	圧痕アリ	猿投	2624
786	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.1	24.7	5.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2625
787	山茶碗	皿	D 2	SD133	2.3	8.0	28.8	3.8			美濃	2626
788	山茶碗	皿	D 2	SD133	2.0	8.3	24.1	4.7		圧痕アリ	美濃	2627
789	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.6	23.7	5.0	ナデオサエ		猿投?常滑?	2628
790	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	4.4	ナデ		常滑	2629
791	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.1	8.2	25.6	5.4	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑?猿投?	2630
792	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.1	23.9	4.6			常滑?猿投?	2631
793	山茶碗	皿	B 2	SD133	1.9	7.3	26.0	4.7	ナデ	圧痕アリ	常滑?猿投?	2632
794	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.6	ナデ		常滑	2633
795	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.2	ナデ		猿投?常滑?	2634
796	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.0			常滑	2635
797	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.5	24.0	4.8	ナデ	圧痕アリ	?	2636
798	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	5.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2637
799	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.7	22.1	5.3	ナデ		常滑	2638
800	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.6	22.1	4.7	ナデ	圧痕アリ	常滑	2639
801	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.6	23.7	5.3	ナデ		常滑	2640
802	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.4	23.0	4.7	ナデ		常滑	2641
803	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.2	ナデ		猿投?常滑?	2642
804	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	4.9	ナデ	圧痕アリ	常滑	2643
805	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	4.9	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2644
806	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	5.0	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2645
807	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.3	20.5	4.9	ナデ		常滑?	2646
808	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.4	21.4	5.8	ナデ		常滑	2647
809	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.4		圧痕アリ	猿投?常滑?	2648
810	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.0	ナデ		常滑	2649
811	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.2	ナデ		常滑	2650
812	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.3	21.7	4.5	ナデ	圧痕アリ	常滑	2651
813	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	5.2	ナデ		常滑	2652
67-814	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.8	21.8	4.8	ナデ	圧痕アリ	常滑?猿投?	2653
815	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.8	ナデ		常滑?猿投?	2654
816	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	4.8	ナデ	圧痕アリ	常滑	2655
817	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.8	21.8	4.6	ナデ		常滑	2656
818	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	4.4	ナデ	圧痕アリ	常滑	2657
819	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	4.2	ナデ	瀬戸アリ	瀬戸?常滑?	2658
820	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.8	21.8	5.8	ナデ	圧痕アリ	常滑	2659
821	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.4	7.5	18.7	4.8	ナデ		常滑?	2660

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
822	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	8.0	20.0	5.2	ナデ		常滑	E-2661
823	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	7.8	20.5	5.6	ナデ		常滑	2662
824	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	7.7	20.8	4.4	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2663
825	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.4	7.9	17.7	5.8	ナデ	圧痕アリ	常滑	2664
826	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.5	7.8	19.2	4.2	ナデ		常滑	2665
827	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	8.0	20.0	4.4	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑	2666
828	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.3	7.5	17.3	5.1			猿投?常滑?	2667
829	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	7.7	20.8	5.0	ナデ		常滑	2668
830	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.9	22.8	4.6			常滑	2669
831	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.5	8.0	18.8	4.6	ナデオサエ	圧痕アリ	常滑?	2670
832	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.0	23.8	4.6	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2671
833	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.0	ナデ		猿投?	2672
834	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.4	20.2	4.5		圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2673
835	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.5	ナデ		猿投?	2674
836	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	4.4	ナデ	圧痕アリ	猿投	2675
837	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.3	24.7	5.7	ナデ		猿投?	2676
838	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.6	23.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2677
839	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	5.2	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2678
840	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.6	ナデ		猿投?	2679
841	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	7.4	21.6	5.0	ナデ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2680
842	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.3	24.7	4.8	ナデ		猿投?	2681
843	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.2			猿投	2682
844	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.2	20.7	4.2	ナデ	圧痕アリ	猿投	2683
845	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.4	8.1	17.3	5.0	ナデ		猿投?	2684
846	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.4	7.4	18.9	3.9	ナデ	圧痕アリ	?	2685
847	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.7	22.1	5.4	ナデ		猿投?瀬戸?	2686
848	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.2	24.4	5.6			猿投?瀬戸?	2687
849	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.4	21.4	5.4	ナデ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2688
850	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.8	24.4	5.4			猿投?瀬戸?	2689
851	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.2	22.0	5.0		圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2690
852	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.3	23.3	4.2	ナデ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2691
853	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.0	23.8	4.2			瀬戸?猿投?	2692
854	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	8.4	19.0	5.0		圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2693
855	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.7	22.1	4.6	ナデ		?	2694
856	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.5	7.4	20.3	4.1	ナデオサエ		瀬戸?猿投?	2695
857	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.3	24.1	5.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2696
858	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2697
859	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.9	22.8	5.0	ナデ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2698
860	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.2	7.8	28.2	4.0	ナデ		猿投?瀬戸?	2699
861	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.4	7.9	17.7	5.2	ナデ		瀬戸?猿投?	2700
862	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.2	25.0	4.2	ナデ		瀬戸?猿投?	2701
863	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	4.8	ナデ		瀬戸?猿投?	2702
864	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.6		圧痕アリ	瀬戸?猿投?	2703
865	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.5	7.8	19.2	4.2	ナデ		瀬戸?猿投?	2704
866	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.3	24.1	5.2	ナデオサエ	圧痕アリ	?	2705
867	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.3	20.5	4.9	ナデ	圧痕アリ	常滑?猿投?	2706
868	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.5	ナデ		瀬戸	2707
869	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.3	22.9	5.0			瀬戸	2708
870	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.2	23.6	4.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2709
871	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2710
872	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.6		圧痕アリ	瀬戸	2711
873	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	7.4	25.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2712
874	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.3	22.9	5.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2713
875	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.3	7.2	18.1	4.1	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2714
876	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	8.3	20.5	5.8	ナデオサエ		瀬戸	2715
877	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.7	20.7	5.4	ナデ		瀬戸	2716
878	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	7.9	20.3	5.5	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2717
879	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.9	8.0	23.8	5.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸?	2718
880	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	5.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2719
881	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.3	21.7	5.4	ナデ		瀬戸	2720
882	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	7.7	26.0	4.3	ナデ	圧痕アリ	瀬戸?	2721
883	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.5	8.2	18.3				瀬戸	2722
884	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	8.2	22.0	4.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2723
885	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.7	7.9	21.5	5.3	ナデ		瀬戸	2724
886	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.6		圧痕アリ	瀬戸	2725
887	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.2	7.6	15.8	4.7			瀬戸	2726
888	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.5	7.4	20.3	4.4	ナデ		瀬戸	2727
889	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.6	8.5	18.8	6.1	ナデ		瀬戸	2728
890	山茶碗	皿	B 3	SD133	1.4	8.1	17.3	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2729
891	山茶碗	皿	D 3	SD133	1.8	8.4	21.4	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2730

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
892	山茶碗	皿	D 3	SD133	1.8	8.1	22.2	5.0	ナデオサエ		美濃	E-2731
893	山茶碗	皿	D 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.5		圧痕アリ	美濃	2732
894	山茶碗	皿	D 3	SD133	1.4	8.2	17.1	4.9	ナデ		美濃	2733
895	山茶碗	皿	D 3	SD133	1.3	8.2	15.9	5.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2734
896	山茶碗	皿	D 3	SD133	1.3	8.2	15.9	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2735
68-897	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.3	18.1					2736
898	土師器	皿	D	SD133	1.4	8.7	16.1					2737
899	土師器	皿	C 2	SD133	1.8	8.6	20.9					2738
900	土師器	皿	C 2	SD133	1.6	8.2	19.5					2739
901	土師器	皿	C 2	SD133	1.7	8.2	20.7					2740
902	土師器	皿	D	SD133	1.4	8.3	16.9					2741
903	土師器	皿	D	SD133	1.5	8.5	17.6					2742
904	土師器	皿	D	SD133	1.4	8.3	16.9					2743
905	土師器	皿	C 2	SD133	1.7	8.5	20.0					2744
906	土師器	皿	C 2	SD133	1.7	8.2	20.7					2745
907	土師器	皿	C 3	SD133	1.6	8.2	19.5					2746
908	土師器	皿	C 3	SD133	2.0	8.1	24.7					2747
909	土師器	皿	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2748
910	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.7	17.2					2749
911	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.6	17.4					2750
912	土師器	皿	C 2	SD133	1.6	8.4	19.0					2751
913	土師器	皿	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2752
914	土師器	皿	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2753
915	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.7	17.2					2754
916	土師器	皿	C 3	SD133	1.8	8.1	22.2					2755
917	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.2	18.3					2756
918	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.3	18.1					2757
919	土師器	皿	C 2	SD133	1.6	8.8	18.2					2758
920	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.4	17.9					2759
921	土師器	皿	C 2	SD133	1.6	8.3	19.3					2760
922	土師器	皿	D	SD133	1.4	8.0	17.5					2761
923	土師器	皿	C 3	SD133	1.6	8.8	18.2					2762
924	土師器	皿	C 3	SD133	1.8	8.5	21.2					2763
925	土師器	皿	C 2	SD133	1.6	9.0	17.8					2764
926	土師器	皿	D	SD133	1.3	8.3	15.7					2765
927	土師器	皿	C 2	SD133	1.6	8.7	18.4					2766
928	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	9.2	16.3					2767
929	土師器	皿	C 2	SD133	1.4	8.1	17.3					2768
930	土師器	皿	C 3	SD133	1.7	8.2	20.7					2769
931	土師器	皿	C 3	SD133	1.5	7.8	19.2					2770
932	土師器	皿	C 2	SD133	1.3	8.2	15.9					2771
933	土師器	皿	D	SD133	1.3	8.9	14.6					2772
934	土師器	皿	D	SD133	1.3	8.6	15.1					2773
935	土師器	皿	D	SD133	1.0	8.0	12.5					2774
936	土師器	皿	C 3	SD133	1.6	8.4	19.0					2775
937	土師器	皿	C 3	SD133	1.6	8.7	18.4					2776
938	土師器	皿	C 2	SD133	1.5	8.6	17.4					2777
939	土師器	皿	C 2	SD133	1.7	8.1	21.0					2778
940	土師器	皿	C 2	SD133	1.6	9.0	17.8					2779
941	土師器	皿	D	SD133	1.5	8.6	17.4					2780
942	土師器	皿	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2781
943	土師器	皿	C 3	SD133	1.5	8.5	17.6					2782
944	土師器	皿	D	SD133	1.3	8.3	15.7					2783
945	土師器	皿	C 2	SD133	1.4	8.7	16.1					2784
946	土師器	皿	D	SD133	1.4	7.9	17.7				白色	2785
947	土師器	皿	F	SD133	1.5	6.6	22.7	6.4				2786
948	土師器	皿	F	SD133	1.4	6.8	20.6	7.6				2787
949	土師器	皿	F	SD133	0.9	5.8	15.5				白色	2788
950	土師器	皿	F	SD133	1.0	5.8	17.2	6.2			白色	2789
951	土師器	皿	F	SD133	1.0	6.5	15.4	7.2			白色	2790
952	土師器	皿	E 1	SD133	2.5	11.9	21.0					2791
953	土師器	皿	E 1	SD133	2.4	12.5	19.2					2792
954	土師器	皿	E 1	SD133	2.5	11.6	21.6					2793
955	土師器	皿	E 1	SD133	2.7	12.2	22.1					2794
956	土師器	皿	C 2	SD133	2.8	12.8	21.9					2795
957	土師器	皿	E 1	SD133	2.6	12.3	21.1					2796
958	土師器	皿	E 1	SD133	2.7	12.8	21.1					2797
959	土師器	皿	E 1	SD133	2.3	13.2	17.4					2798
960	土師器	皿	E 1	SD133	2.7	13.1	20.6					2799
961	土師器	皿	C 2	SD133	2.9	13.2	22.0					2800

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
962	土師器	皿	C 2	SD133	2.8	13.1	21.4					E-2801
963	土師器	皿	C 2	SD133	2.5	13.1	19.1				白色	2802
964	土師器	皿	C 3	SD133	2.7	12.0	22.5				白色	2803
965	土師器	皿	E 1	SD133	3.2	15.0	21.3	8.0			白色	2804
966	土師器	皿	B	SD133	3.7	13.6	27.2	7.6			ロクロ	2805
967	土師器	皿	A 3	SD133	-	-	-	3.7			穿孔アリ	2806
69-968	白磁	碗		SD133	-	15.4	-	-			口禿	2807
969	白磁	碗		SD133	-	17.6	-	-			玉縁口縁	2808
970	白磁	碗		SD133	-	10.2	-	-				2809
971	白磁	碗		SD133	-	-	-	6.2				2810
972	白磁	皿		SD133	-	-	-	6.6				2811
973	白磁	四耳壺		SD133	-	-	-	-				2812
974	青白磁	蓋		SD133	-	9.3	-	-				2813
975	青白磁	蓋		SD133	-	6.5	-	-				2814
976	青白磁	蓋		SD133	-	5.7	-	-				2815
977	青白磁	蓋		SD133	-	5.5	-	-				2816
978	青白磁	合子		SD133	-	5.0	-	-				2817
979	青磁	碗		SD133	-	15.8	-	-				2818
980	青磁	碗		SD133	-	15.4	-	-				2819
981	青磁	碗		SD133	-	14.6	-	-				2820
982	青磁	碗		SD133	-	15.8	-	-			蓮弁文	2821
983	青磁	碗		SD133	-	16.4	-	-	毛彫り			2822
984	青磁	碗		SD133	-	16.0	-	-			蓮弁文	2823
985	青磁	碗		SD133	-	12.8	-	-				2824
986	青磁	碗		SD133	-	13.2	-	-			輪花	2825
987	青磁	碗		SD133	-	-	-	5.7				2826
988	青磁	碗		SD133	-	-	-	-				2827
989	青磁	碗		SD133	-	-	-	4.4				2828
990	青磁	碗		SD133	-	-	-	5.2				2829
991	青磁	碗		SD133	-	-	-	3.4				2830
992	青磁	皿		SD133	-	13.2	-	-				2831
993	青磁	皿		SD133	-	10.5	-	-				2832
994	青磁	皿		SD133	-	9.8	-	-				2833
995	青磁	皿		SD133	-	-	-	5.0	櫛描き文			2834
996	山茶碗	鉢		SD133	9.4	22.2	42.3	10.5		圧痕アリ	猿投?常滑?	2835
997	山茶碗	鉢		SD133	14.8	31.3	47.3	13.8			猿投?常滑?	2836
998	山茶碗	鉢		SD133	13.7	31.0	44.2	12.2		圧痕アリ	常滑	2837
70-999	山茶碗	鉢		SD133	13.3	31.0	42.9	13.2		圧痕アリ	瀬戸	2838
1000	山茶碗	鉢		SD133	-	19.3	-	-			?	2839
1001	山茶碗	鉢		SD133	-	28.4	-	-			?	2840
1002	山茶碗	鉢		SD133	-	30.0	-	-			常滑	2841
1003	山茶碗	鉢		SD133	-	28.6	-	-			?	2842
1004	山茶碗	鉢		SD133	-	29.6	-	-			?	2843
1005	山茶碗	鉢		SD133	-	34.6	-	-			常滑	2844
1006	山茶碗	鉢		SD133	-	-	-	12.6			?	2845
1007	施釉陶器	壺		SD133	-	-	-	15.4		灰釉		2846
1008	施釉陶器	壺		SD133	-	-	-	-		灰釉		2847
1009	施釉陶器	四耳壺		SD133	-	-	-	-		灰釉		2848
1010	瓦器	釜		SD133	-	13.8	-	-				2849
1011	焼き締め	釜		SD133	-	26.0	-	-			?	2850
1012	焼き締め	釜		SD133	-	-	-	-			常滑	2851
71-1013	焼き締め	甕		SD133	-	33.0	-	-			常滑	2852
1014	焼き締め	甕		SD133	-	19.5	-	-			常滑	2853
1015	焼き締め	甕		SD133	-	-	-	12.0			常滑	2854
1016	焼き締め	壺		SD133	-	-	-	4.2		圧痕アリ	常滑	2855
1017	施釉陶器	壺		SD133	-	-	-	6.2				2856
1018	焼き締め	甕		SD133	-	-	-	10.0			常滑	2857
1019	灰釉陶器	壺		SD133	-	5.0	-	-				2858
1020	焼き締め	三筋壺		SD133	-	-	-	7.2			常滑	2859
1021	焼き締め	壺		SD133	-	-	-	7.8		圧痕アリ	猿投?常滑?	2860
1022	焼き締め	壺		SD133	-	-	-	-			?	2861
1023	土師器	鍋	A	SD133	-	29.6	-	-				2862
1024	土師器	鍋	A	SD133	-	24.0	-	-				2863
1025	土師器	鍋	A	SD133	-	26.8	-	-				2864
1026	土師器	土鉢		SD133								2865
1027	土師器	土鉢		SD133								2866
1028	土師器	土鉢		SD133								2867
1029	土師器	土鉢		SD133								2868
1030	山茶碗	陶丸		SD133	2.4						?	2869
1031	山茶碗	陶丸		SD133	2.3						?	2870

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
72-1032	山茶碗	碗	A 2	SK316	5.0	14.3	35.0	6.0	ナデ		瀬戸	E-2871
1033	土師器	皿	F	SK316	1.1	7.0	15.7	7.2			白色	2872
1034	土師器	皿	D	SK316	1.3	8.4	15.5					2873
1035	土師器	皿	F	SK316	1.4	6.9	20.3				白色	2874
1036	土師器	皿	D	SK316	1.5	8.7	17.2					2875
1037	土師器	皿	D	SK316	1.5	8.5	17.6					2876
1038	土師器	皿	D	SK316	1.3	8.1	16.0					2877
1039	土師器	皿	D	SK316	1.5	8.6	17.4					2878
1040	土師器	皿	D	SK316	1.3	8.2	15.9					2879
1041	土師器	皿	E 1	SK316	2.6	12.2	21.3	9.0				2880
1042	土師器	皿	C 2	SK316	1.6	8.4	19.0					2881
1043	土師器	皿	E 1	SK316	1.9	7.6	25.0				白色	2882
1044	土師器	皿	E 1	SK316	1.9	7.7	24.7					2883
1045	土師器	皿	C 2	SK316	1.5	8.4	17.9					2884
1046	山茶碗	皿	B 2	褐色土層	2.0	7.9	25.3	4.0	ナデ		常滑	2885
1047	山茶碗	皿	B 2	褐色土層	2.5	8.5	29.4	4.2	ナデ	圧痕アリ	常滑	2886
1048	山茶碗	皿	B 2	褐色土層	2.3	7.5	30.7	4.0	ナデ	圧痕アリ	常滑	2887
1049	山茶碗	碗	A 2	褐色土層	5.0	15.3	32.7	6.0	ナデ		常滑	2888
1050	山茶碗	碗	A 2	褐色土層	5.1	15.7	32.5	6.6	ナデ		常滑	2889
1051	焼き締め	三筋壺		褐色土層	-	8.4	-	-			?	2890
1052	焼き締め	三筋壺		褐色土層	-	-	-	-			?	2891
1053	山茶碗	碗	D 1	検出	6.2	15.7	39.5	6.0			美濃	2892
1054	山茶碗	碗	A 2	検出	5.3	14.6	36.3	6.0			常滑	2893
1055	山茶碗	碗		検出	-	14.9	-	-			?	2894
1056	山茶碗	碗		(SD71)	-	-	-	6.8			瀬戸	2895
1057	白磁	皿		検出	-	-	-	3.2		底部露胎		2896
1058	山茶碗	皿		検出	-	9.4	-	-			美濃	2897
1059	山茶碗	小碗		検出	3.2	10.3	31.1	6.2			?	2898
1060	施釉陶器	壺		検出	-	-	-	17.8		灰釉		2899
1061	山茶碗	鉢		(SD71)	10.9	27.0	40.4	11.4			常滑	2900
1062	白磁	四耳壺		(SK111)	-	-	-	-				2901
1063	施釉陶器	四耳壺		(SD71)	-	-	-	-		灰釉		2902
1064	施釉陶器	四耳壺		(SD71)	-	-	-	-		灰釉		2903
1065	焼き締め	甕		検出	-	32.0	-	-			常滑	2904
73-1066	灰釉陶器	碗		SD55	-	-	-	6.7			猿投	2905
1067	山茶碗	碗	A 1	SD55	5.0	15.1	33.1	7.5			猿投?	2906
1068	山茶碗	碗	C 1	SD55	5.5	15.0	36.7	5.8			美濃	2907
1069	山茶碗	碗	A 1	SD55	5.5	14.0	39.3	6.8	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸?	2908
1070	山茶碗	碗	A 1	SD55	4.5	12.7	35.4	6.0			猿投?常滑?	2909
1071	山茶碗	碗	D 2	SD55	5.2	12.6	41.3	3.4	ナデ		美濃	2910
1072	山茶碗	碗	B 3	SD55	4.4	12.6	34.9	5.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2911
1073	山茶碗	碗	B 3	SD55	4.9	13.4	36.6	5.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2912
1074	山茶碗	碗	C 1	SD55	4.6	13.2	34.8	4.3	ナデ		美濃?瀬戸?	2913
1075	山茶碗	碗	C 1	SD55	4.3	12.9	33.3	4.2			美濃	2914
1076	山茶碗	碗	C 1	SD55	4.7	12.9	36.4	4.4	ナデ	圧痕アリ	美濃	2915
1077	山茶碗	碗	C 2	SD55	4.9	13.2	37.1	4.5			美濃	2916
1078	山茶碗	碗	C 2	SD55	5.0	13.1	38.2	4.0	ナデ		美濃	2917
1079	灰釉陶器	皿		SD55	2.7	13.6	19.9	6.3			猿投	2918
1080	山茶碗	皿	A	SD55	3.0	9.3	32.3	5.3			?	2919
1081	山茶碗	皿	B 2	SD55	2.7	8.3	32.5	4.4			常滑	2920
1082	山茶碗	皿	B 2	SD55	2.2	7.9	27.8	4.4	ナデ	圧痕アリ	猿投?常滑?	2921
1083	山茶碗	皿	B 3	SD55	2.0	7.9	25.3	5.0	ナデ		猿投?	2922
1084	山茶碗	皿	B 3	SD55	1.9	7.5	25.3	4.2			渥美	2923
1085	山茶碗	皿	B 2	SD55	2.1	8.2	25.6	4.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸?	2924
1086	山茶碗	皿	B 3	SD55	2.0	8.9	22.5	5.2	ナデ	圧痕アリ	猿投	2925
1087	山茶碗	皿	B 2	SD55	2.1	8.0	26.3	4.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2926
1088	山茶碗	皿	B 3	SD55	1.5	7.5	20.0	5.2	ナデ	圧痕アリ	猿投?	2927
1089	山茶碗	皿	B 3	SD55	1.5	7.5	20.0	4.3	ナデ	圧痕アリ	猿投?瀬戸?	2928
1090	山茶碗	皿	D 2	SD55	1.5	8.1	18.5	4.5	ナデ	圧痕アリ	美濃	2929
1091	山茶碗	皿	D 2	SD55	1.7	8.4	20.2	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2930
1092	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.3	8.2	15.9	5.4	ナデ	圧痕アリ	美濃	2931
1093	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.4	7.9	17.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2932
1094	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.1	8.0	13.8	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2933
1095	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.1	8.0	13.8	4.5	ナデ	圧痕アリ	美濃	2934
1096	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.1	7.8	14.1	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2935
1097	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.2	7.9	15.2	4.6	ナデ		美濃	2936
1098	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.1	7.5	14.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2937
1099	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.1	8.2	13.4	4.8	ナデ	圧痕アリ	美濃	2938
1100	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.0	7.5	13.3	4.7	ナデ	圧痕アリ	美濃	2939
1101	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.2	8.2	14.6	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2940

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
1102	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.1	8.5	12.9	4.8	ナデ	圧痕アリ	美濃	E-2941
1103	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.1	8.1	13.6	4.5	ナデ		美濃	2942
1104	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.0	7.8	12.8	4.9	ナデ	圧痕アリ	美濃	2943
1105	山茶碗	皿	D 3	SD55	0.9	8.1	11.1	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2944
1106	山茶碗	皿	D 3	SD55	1.0	8.1	12.3	4.4	ナデオサエ	圧痕アリ	美濃	2945
1107	山茶碗	皿	D 3	SD55	0.8	8.1	9.9	4.4	ナデ	圧痕アリ	美濃	2946
1108	山茶碗	皿		SD55	0.6	2.1	28.6	1.4			?、ミニアチュア	2947
1109	山茶碗	入子		SD55	2.2	7.0		4.2			?	2948
1110	土師器	皿	A 1	SD55	1.9	8.2	23.2	5.2			ロクロ	2949
1111	土師器	皿	E 2	SD55	1.9	6.7						2950
1112	土師器	皿	F	SD55	2.0	7.3	27.4					2951
1113	土師器	皿	F	SD55	1.8	7.2	25.0					2952
1114	土師器	皿	F	SD55	1.4	7.8	17.9					2953
1115	土師器	皿	F	SD55	1.8	7.8	23.1					2954
1116	土師器	皿	F	SD55	1.7	7.7	22.1					2955
1117	土師器	皿	F	SD55	1.7	7.3	23.3					2956
1118	土師器	皿	F	SD55	1.7	6.9	24.6					2957
1119	土師器	皿	C 2	SD55	1.9	7.7	24.7					2958
1120	土師器	皿	C 3	SD55	2.0	7.5	26.7					2959
1121	土師器	皿	C 2	SD55	1.9	7.9	24.1					2960
1122	土師器	皿	C 2	SD55	1.8	7.7	23.4					2961
1123	土師器	皿	C 2	SD55	1.8	8.0	22.5					2962
1124	土師器	皿	C 2	SD55	1.7	8.2	20.7					2963
1125	土師器	皿	C 2	SD55	1.7	8.2	20.7					2964
74-1126	土師器	皿	C 2	SD55	1.9	8.2	23.2					2965
1127	土師器	皿	C 2	SD55	1.5	8.1	18.5					2966
1128	土師器	皿	C 2	SD55	1.7	8.4	20.2					2967
1129	土師器	皿	C 2	SD55	1.7	8.4	20.2					2968
1130	土師器	皿	C 3	SD55	1.9	7.9	24.1					2969
1131	土師器	皿	C 2	SD55	1.6	7.9	20.3					2970
1132	土師器	皿	C 2	SD55	1.8	8.0	22.5					2971
1133	土師器	皿	C 2	SD55	1.9	8.5	22.4					2972
1134	土師器	皿	C 2	SD55	1.9	8.3	22.9					2973
1135	土師器	皿	C 2	SD55	1.7	8.0	21.3					2974
1136	土師器	皿	C 2	SD55	1.5	8.5	17.6					2975
1137	土師器	皿	C 2	SD55	1.9	8.5	22.4					2976
1138	土師器	皿	C 2	SD55	1.8	8.7	20.7					2977
1139	土師器	皿	C 2	SD55	1.5	8.8	17.0					2978
1140	土師器	皿	C 2	SD55	1.6	8.4	19.0					2979
1141	土師器	皿	C 2	SD55	2.0	11.2	17.9					2980
1142	土師器	皿	E 1	SD55	3.0	11.0	27.3					2981
1143	土師器	皿	C 2	SD55	2.9	12.2	23.8		ナデオサエ			2982
1144	青磁	碗		SD55	-	-		6.4				2983
1145	青磁	皿		SD55	-	21.3		-				2984
1146	施釉陶器	碗		SD55	5.6	10.3	54.4	4.1	灰釉	灰釉	天目型	2985
1147	施釉陶器	皿		SD55	3.6	15.7	22.9	7.4	おろし目			2986
1148	施釉陶器	大碗		SD55	-	25.5		-			常滑?	2987
1149	山茶碗	鉢		SD55	-	29.4		-			?	2988
1150	山茶碗	鉢		SD55	-	-		10.2			?	2989
1151	焼き締め	甕		SD55	-	21.7		-			常滑	2990
1152	土師器	鍋	B	SD55	-	25.0						2991
1153	土師器	鍋	B	SD55	-	21.0						2992
1154	土師器	釜		SD55	-	21.4						2993
1155	山茶碗	陶丸		SD55	2.2						?	2995
1156	山茶碗	陶丸		SD55	2.4						?	2996
1157	山茶碗	土鉢		SD55							?	2994
1158	焼き締め	甕		SD55	-	43.7		-			常滑	2997
75-1159	山茶碗	碗	A 1	SK400F	5.1	15.0	34.0	5.8			常滑	2998
1160	山茶碗	碗	A 2	SK400F	5.3	13.9	38.1	5.1	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2999
1161	山茶碗	碗	B 3	SK400F	4.8	13.2	36.4	5.9	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	3000
1162	山茶碗	碗	B 3	SK400F	5.4	13.5	40.0	5.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	3001
1163	山茶碗	皿	B 3	SK400F	1.7	7.5	22.7	4.0	ナデ		常滑?瀬戸?	3002
1164	山茶碗	皿	B 3	SK400F	1.6	8.0	20.0	5.0	ナデオサエ		瀬戸	3003
1165	山茶碗	皿	B 3	SK400F	1.6	7.6	21.1	4.6	ナデ	圧痕アリ	常滑?	3004
1166	山茶碗	皿	B 3	SK400F	1.7	7.8	21.8	4.9	ナデ		瀬戸?	3005
1167	土師器	皿	D	SK400F	1.4	8.2	17.1					3006
1168	土師器	皿	D	SK400F	1.6	8.0	20.0					3007
1169	土師器	皿	E 1	SK400F	3.1	11.8	26.3					3008
1170	土師器	皿	E 1	SK400F	2.4	12.6	19.0					3009
1171	土師器	皿	E 1	SK400F	3.1	14.2	21.8					3010

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
1172	山茶碗	碗	A 2	SK388	4.9	13.7	35.8	4.8	ナデオサエ		瀬戸	E-3011
1173	山茶碗	碗	A 2	SK388	5.3	14.3	37.1	5.2	ナデ		瀬戸	3012
1174	山茶碗	碗	A 2	SK388	5.1	13.6	37.5	5.2	ナデ		瀬戸	3013
1175	緑釉陶器	碗		SK388	-	-	-	6.4				3014
1176	山茶碗	皿	B 3	SK388	1.8	8.0	22.5	4.3			?	3015
1177	山茶碗	皿	B 3	SK388	1.9	8.4	22.6	5.4	ナデ		?	3016
1178	土師器	皿	F	SK388	1.0	3.8	26.3					3017
1179	土師器	皿	C 2	SK388	1.6	7.7	20.8					3018
1180	土師器	皿	D	SK388	1.5	8.4	17.9					3019
1181	土師器	皿	C 3	SK388	1.4	8.7	16.1					3020
1182	土師器	皿	C 3	SK388	1.4	8.9	15.7					3021
1183	土師器	皿	C 2	SK388	2.2	14.5	15.2					3022
1184	土師器	皿	C 3	SK388	1.9	8.1	23.5				白色	3023
1185	土師器	皿	E 1	SK388	2.2	11.7	18.8	7.2			白色	3024
1186	土師器	鍋	A	SK388	-	18.2						3025
1187	土師器	釜		SK388	4.1	4.0					ミアアチュア	3026
1188	山茶碗	碗	D 1	SK455	5.8	13.6	42.6	5.2	ナデ		?	3027
1189	土師器	皿	F	SK455	1.5	7.8	19.2	6.8				3028
1190	土師器	皿	F	SK455	1.3	8.2	15.9	8.0				3029
1191	土師器	皿	C 3	SK455	1.2	8.3	14.5	6.8				3030
1192	土師器	皿	C 2	SK455	1.5	7.7	19.5	3.8				3031
1193	土師器	皿	D	SK455	1.2	8.5	14.1	5.0				3032
1194	土師器	皿	D	SK455	1.4	8.3	16.9	5.0				3033
1195	土師器	皿	E 1	SK455	2.4	11.6	20.7	7.0				3034
1196	土師器	皿	E 1	SK455	2.3	10.6	21.7	5.0				3035
1197	土師器	皿	E 1	SK455	2.3	11.6	19.8	7.0				3036
1198	土師器	皿	E 1	SK455	2.8	11.7	23.9	7.4				3037
1199	土師器	皿	E 1	SK455	-	10.6	-	-				3038
1200	山茶碗	陶丸		SK455	1.9						?	3039
1201	山茶碗	鉢		SK455	-	-	-	13.6			?	3040
1202	山茶碗	碗	D 1	SE91	5.9	14.2	41.5	5.2	ナデオサエ		美濃	3041
1203	山茶碗	碗	C 2	SE91	4.2	11.8	35.6	3.8	ナデオサエ		美濃	3042
1204	山茶碗	碗	C 2	SE91	4.2	12.7	33.1	4.0	ナデ	圧痕アリ	?, 墨書[上]	3043
1205	山茶碗	皿	B 3	SE91	1.5	7.8	19.2	4.0			?	3044
1206	山茶碗	皿	D 3	SE91	1.1	8.4	13.1	5.0	ナデ	圧痕アリ	?	3045
1207	土師器	皿	C 3	SE91	1.5	9.1	16.5	5.0				3046
1208	土師器	皿	C 2	SE91	2.3	11.1	20.7	7.4				3047
76-1209	灰釉陶器	碗		SK360	-	14.4	-	-			?	3048
1210	山茶碗	碗	B 1	SK360	5.8	14.6	39.7	6.8	ナデ		常滑?	3049
1211	山茶碗	碗	B 1	SK360	5.6	13.7	40.9	5.6			常滑	3050
1212	山茶碗	碗	A 1	SK360	4.7	13.9	33.8	6.4			常滑	3051
1213	山茶碗	碗	A 2	SK360	4.8	15.5	31.0	7.4			瀬戸? 猿投?	3052
1214	山茶碗	碗	B 2	SK360	5.3	13.6	39.0	5.6	ナデ	圧痕アリ	猿投	3053
1215	山茶碗	碗	B 3	SK360	5.0	13.2	37.9	5.6	ナデ		瀬戸? 猿投?	3054
1216	灰釉陶器	碗		SK360	-	-	-	6.4			?	3055
1217	灰釉陶器	碗		SK360	-	-	-	6.4			?	3056
1218	山茶碗	皿	B 2	SK360	2.2	7.7	28.6	4.0	ナデ		常滑	3057
1219	山茶碗	皿	B 2	SK360	-	-	-	4.6			常滑	3058
1220	山茶碗	皿	B 2	SK360	2.3	8.3	27.7	4.7			常滑	3059
1221	山茶碗	皿	B 3	SK360	1.8	8.1	22.2	5.2			常滑?	3060
1222	山茶碗	皿	B 2	SK360	2.4	7.5	32.0	4.2			常滑	3061
1223	山茶碗	皿	B 2	SK360	2.1	8.2	25.6	4.2	ナデ		常滑	3062
1224	山茶碗	皿	B 3	SK360	1.8	8.2	22.2	5.8			常滑?	3063
1225	山茶碗	皿	B 3	SK360	1.8	7.6	23.7	5.0	ナデ		瀬戸	3064
1226	山茶碗	皿	B 3	SK360	1.6	7.9	20.3	5.2	ナデ		瀬戸	3065
1227	土師器	皿	D	SK360	1.5	7.7	19.5					3066
1228	土師器	皿	D	SK360	1.3	7.2	18.1					3067
1229	土師器	皿	D	SK360	1.0	7.8	12.8					3068
1230	土師器	皿	D	SK360	1.4	8.5	16.5					3069
1231	土師器	皿	D	SK360	1.0	8.0	12.5					3070
1232	土師器	皿	E 1	SK360	-	11.6	-					3071
1233	土師器	皿	C 1	SK360	1.9	10.7	17.8					3072
1234	土師器	皿	D	SK360	1.2	9.1	13.2					3073
1235	土師器	皿	C 2	SK360	2.1	12.4	16.9					3074
1236	土師器	皿	E 1	SK360	2.9	12.6	23.0					3075
1237	土師器	皿	C 3	SK360	2.8	13.4	20.9		オサエ		白色	3076
1238	青磁	碗		SK360	-	12.8	-	-		輪花		3077
1239	白磁	皿		SK335	-	-	-	5.2		底部露胎		3078
1240	焼き締め	甕		SK335	-	46.3	-	-			常滑	3079
1241	山茶碗	陶丸		SK335	4.2						?	3080

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
1242	山茶碗	碗		SK335	—	—	—	6.2			瀬戸	E-3081
1243	土師器	皿	F	SK335	1.2	6.2	19.4					3082
1244	土師器	皿	D	SK335	1.3	8.3	15.7					3083
1245	土師器	皿	C 2	SK335	1.6	8.3	19.3					3084
1246	土師器	皿	D	SK335	1.4	8.0	17.5					3085
1247	土師器	皿	C 2	SK335	1.6	8.5	18.8					3086
1248	土師器	皿	E 1	SK335	2.3	12.1	19.0					3087
1249	青白磁	壺		SK335	—	—	—	—				3088
1250	山茶碗	鉢		SE42	13.7	27.0	50.7	10.2				3089
1251	山茶碗	碗	D 2	検出	5.0	13.0	38.5	4.0	オサエ	圧痕アリ	?、墨書[L]	3090
1252	青磁	碗		検出	—	16.9	—	—				3091

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
77-1	SD164	灰釉陶器椀	-	-		(6.0)			E-1702	
2	SD164	灰釉陶器椀	-	-		7.3		10C末	1700	
3	SD164	山茶椀	-	-		8.0		10C末	1704	
4	SD164	山茶椀	-	-		(6.2)			1709	
5	SD164	山茶椀	-	-		(5.2)			1701	
6	SD164	山茶椀	-	-		(8.0)		11C末	1710	
7	SD164	山茶椀	-	(14.6)		-			1703	
8	SD164	山茶椀	5.4	(14.8)		(6.4)		12C後半	1705	
9	SD164	山茶椀	5.7	15.4		7.0		12C前半	1706	
10	SD164	山茶椀	5.5	(13.6)		(5.8)		13C前半	1707	
11	SD164	山茶椀	5.0	(14.8)		(6.6)		13C初	1708	
12	SD164	山茶椀	5.4	(13.6)		(5.4)		13C後半	1711	
13	SD164	三筋壺	-	-	19.8	7.6		常滑窯 12C後半	1715	
14	SD164	三筋壺	-	-	-	-		常滑窯 12C後半	1714	
15	SD164	三筋壺	-	-	(19.6)	(8.4)		常滑窯 12C後半	1716	
78-16	SD164	三筋壺	-	10.0	-	-		常滑窯 13C前半	1712	
17	SD164	壺	-	(8.2)	-	-	灰釉	四耳壺か三耳壺 15C初	1745	
18	SD164	灰釉皿	3.6	(12.6)		(5.6)	灰釉	13C前半	1733	
19	SD164	おろし皿	3.7	(14.2)		(8.0)	灰釉	13C後半	1740	
20	SD164	折縁深皿	4.7	(15.6)		(9.6)	灰釉	13C後半	1734	
21	SD164	壺	-	-	11.6	-		常滑窯 13C代	1713	
22	SD164	梅瓶	-	-	-	(7.8)	灰釉	14C代	1743	
23	SD164	おろし皿	3.8	(13.6)		(5.0)	灰釉	14C前半	1739	
24	SD164	平椀	8.1	(15.6)		(5.4)	灰釉	14C中頃	1723	
25	SD164	小型仏花瓶	-	-	-	-	灰釉	14C中頃	1751	
26	SD164	合子	-	(3.2)	6.4	-	灰釉	14C中頃 印花有	1750	
27	SD164	平椀	-	(15.0)		-	灰釉	15C前半	1721	
28	SD164	灰釉天目茶椀	-	-		4.4	灰釉	15C前半	1726	
29	SD164	平椀	-	(16.2)		-	灰釉	15C後半	1722	
30	SD164	平椀	-	-		4.4	灰釉	15C後半	1725	
31	SD164	天目茶椀	-	(11.2)		-	鉄釉	15C後半	1717	
32	SD164	天目茶椀	-	-		3.4	鉄釉	15C前	1719	
33	SD164	天目茶椀	-	-		3.6	鉄釉	15C	1724	
34	SD164	天目茶椀	-	-		4.0	鉄釉	大窯 I a	1720	
35	SD164	天目茶椀	-	-		4.0	鉄釉	15C	1718	
79-36	SD164	燭台?	-	-	8.8	(5.6)	鉄釉	15C前半	1752	
37	SD164	水滴?	-	-		(4.4)	灰釉	15C前半	1749	
38	SD164	緑釉小皿	-	(11.0)		-	灰釉	15C前半	1730	
39	SD164	緑釉小皿	2.9	(11.0)		(4.4)	灰釉	15C前半	1732	
40	SD164	壺	-	-	-	-	灰釉	四耳壺か三耳壺 15C初	1746	
41	SD164	根来型瓶子	-	-	-	-	灰釉	15C前半	1747	
42	SD164	根来型瓶子	-	-	-	-	鉄釉	15C代	1744	
43	SD164	陶丸			2.4			鎌倉期 13C~14C	1754	
44	SD164	陶丸			2.5			鎌倉期 13C~14C	1755	
45	SD164	陶丸			2.5			鎌倉期 13C~14C	1756	
46	SD164	陶丸			2.0			鎌倉期 13C~14C	1757	
47	SD164	陶丸			2.1			鎌倉期 13C~14C	1758	
48	SD164	折縁深皿	5.0	(19.2)		(9.2)	灰釉	15C前半	1735	
49	SD164	折縁深皿	5.3	(24.4)		(12.0)	灰釉	15C前半	1738	
50	SD164	折縁深皿	-	(22.4)		-	灰釉	15C前半	1736	
51	SD164	折縁深皿	9.0	(27.2)		(14.8)	灰釉	15C前半	1737	
80-52	SD164	直縁大皿	-	(24.0)		-	灰釉	15C前半	1729	
53	SD164	直縁大皿	-	(32.0)		-	灰釉	15C前半	1727	
54	SD164	直縁大皿	-	(30.8)		-	灰釉	15C前半	1728	
55	SD164	播鉢	-	(36.0)		-	鉄釉	15C後半	1748	
56	SD164	小鉢	2.7	(8.0)		(3.8)	灰釉	15C後半	1731	
57	SD164	羽釜	-	(13.0)	21.8	-	鉄釉	15C後半	1742	
58	SD164	燭台	-	-		15.4	鉄釉	15C後半	1741	
59	SD164	瓦質風炉	-	-	-	(41.6)			1753	
81-60	SD108	山茶椀	4.8	15.4		7.0				

図版番号	遺 構	器 種	法 量(cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
61	SD108	山茶椀	5.2	(15.2)		(7.2)				
62	SD108	山茶椀	5.2	(15.4)		(7.6)				
63	SD108	山茶椀	4.8	(14.6)		(6.3)				
64	SD108	山茶椀	4.6	(14.6)		(6.6)				
65	SD108	山茶椀	4.8	(14.6)		(7.0)				
66	SD108	山茶椀	5.2	15.4		7.0				
67	SD108	山茶椀	—	—		(6.0)				
68	SD108	山茶椀	4.4	(14.0)		(5.2)				
69	SD108	山茶椀	4.8	(14.0)		(6.0)				
70	SD108	小皿	3.3	(13.0)		(4.0)				
71	SD108	小皿	2.0	8.4		5.1				
72	SD108	小皿	2.0	9.0		2.2				
73	SD108	小皿	2.0	7.8		4.8				
74	SD108	小皿	2.0	7.8		3.8				
75	SD108	小皿	1.0	7.9		3.8				
76	SD108	小皿	1.1	8.2		5.6				
82-77	SD108	羽釜	7.0	(11.6)		(9.4)			常滑窯 12C代	E-1797
78	SD108	甕	—	(15.6)	—	—			常滑窯 12C前半	1804
79	SD108	大甕	—	(33.2)	—	—			常滑窯 12C前半	1803
80	SD108	大甕	—	(32.2)	(51.2)	—			常滑窯 12C前半	1806
83-81	SD108	釜	—	—	—	—			常滑窯 15C後半	1800
82	SD108	大甕	—	48.6	—	—			常滑窯 15C前半	1808
83	SD108	大甕	—	(44.6)	—	—			常滑窯 15C後半	1810
84-84	SD108	水注	—	—	—	—		灰釉	13C初	1792
85	SD108	水注	—	—	—	—		灰釉	13C後半	1791
86	SD108	おろし皿	4.0	(14.3)		(9.3)	灰釉	灰釉	13C初	1780
87	SD108	おろし皿	—	(12.7)		—	灰釉	灰釉	13C初	1779
88	SD108	瓶子	—	—	—	(8.7)		灰釉	13C後半	1743
89	SD108	播座茶入	—	8.2	10.4	—	鉄釉	漆塗?)	14C後半	1777
90	SD108	平底椀	4.2	(10.2)		(4.6)	灰釉	灰釉	14C後半	1776
91	SD108	青磁椀	—	(15.8)		—				
92	SD108	天目茶椀	—	(12.8)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 I a	1766
93	SD108	天目茶椀	—	(11.4)		—	鉄釉	鉄釉	15C前半	1767
94	SD108	平椀	—	(13.8)		—	灰釉	灰釉	14C後半	1773
95	SD108	平椀	—	(12.0)		—	鉄釉	鉄釉	15C前半	1769
96	SD108	平椀	—	—		(3.8)	鉄釉	鉄釉	15C前半	1772
97	SD108	平椀	—	12.0		—	鉄釉	鉄釉	15C前半	1768
98	SD108	平椀	—	—		(4.2)	鉄釉	鉄釉	15C前半	1770
99	SD108	平椀	—	—		(4.2)	灰釉	灰釉	15C前半	1774
100	SD108	平椀	—	—		(5.8)	灰釉	灰釉	15C前半	1775
101	SD108	天目茶椀	—	—		(3.4)	鉄釉	鉄釉	15C後半	1771
85-102	SD108	把手付鉢	—	(14.0)		—	灰釉	灰釉	15C前半	1786
103	SD108	把手付鉢	—	15.2		—	灰釉	灰釉	15C前半	1787
104	SD108	鉢	—	21.0		—	灰釉	灰釉	15C前半	1781
105	SD108	鉢	8.1	23.6		12.2	灰釉	灰釉	14C後半	1785
106	SD108	鉢	—	—		(16.7)	灰釉	灰釉	15C前半	1783
107	SD108	鉢	—	(25.2)		—	灰釉	灰釉	15C後半	1784
108	SD108	鉢	—	(15.4)		—	鉄釉	鉄釉	15C後半	1793
109	SD108	香炉	—	(8.9)		—		灰釉	15C後半	1778
110	SD108	播鉢	—	8.0		—	鉄釉	鉄釉	15C後半	1796
111	SD108	播鉢	—	(9.6)		—	鉄釉	鉄釉	15C後半	1795
86-112	SK447	山茶椀	5.6	(15.0)		(6.4)				1036
113	SK447	山茶椀	5.4	(13.6)		(5.4)				1037
114	SK447	山茶椀	—	(13.8)		—				1038
115	SK447	土師器皿	2.5	(12.8)		(8.2)				1041
116	SK447	土師器皿	2.4	(11.0)		(7.2)				1042
117	SK447	土師器皿	—	11.8		—				1043
118	SK447	土師器皿	2.4	8.0		4.0				1040
119	SK447	土師器皿	1.1	(8.2)		(4.6)				1046
120	SK447	土師器皿	1.4	(9.6)		(5.6)				1045

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
121	SD133	椀	3.0	(8.6)		(3.0)	灰釉	灰釉	15C前半	E-1629
122	SD133	椀	3.6	(9.8)		(4.6)	灰釉	灰釉	15C前半	1630
123	SD133	平椀	—	—		(3.6)	灰釉	灰釉	15C前半	1631
124	SD133	把手付鉢	—	(10.2)		—	灰釉	灰釉	15C前半	1633
125	SD133	おろし皿	—	—		4.4				1632
126	SD133	鉢	—	(11.0)	—	—		灰釉		1634
127	SD177	灰釉折縁深皿	—	(11.4)		—	灰釉	灰釉	窯窯 13C後半	837
128	SD130	常滑洗	3.8	(13.6)		(10.6)			常滑窯 13C初	1116
129	SE02 SK13	四耳壺	—	—	13.2	—		灰釉		1832
87-130	SD170	平椀	—	23.4		—	灰釉	灰釉	15C前半	1083
131	SD170	天目茶椀	—	10.8		—	鉄釉	鉄釉	15C前半	1084
132	SD170	天目茶椀	4.2	9.2		3.6	鉄釉	鉄釉	15C前半	7
133	SD170	緑釉小皿	3.3	11.0		4.0	鉄釉	鉄釉	15C中頃	1088
134	SD170	緑釉小皿	3.0	11.0		6.2	鉄釉	鉄釉	15C後半	1087
135	検出	平椀	—	—		5.0	灰釉	灰釉		839
136	検出	緑釉皿	2.8	9.0		4.8	灰釉	灰釉	窯窯最末	17
137	SD170	鍋	—	25.0		—		鉄釉	15C末	1090
138	SD198他	壺	—	11.6	30.9	—	鉄釉	鉄釉	15C後半 祖母襖	1364
88-1	SK137	天目茶椀	6.0	11.8		4.5	鉄釉	鉄釉	大窯II a	407
2	SK137	天目茶椀	—	11.6		—	鉄釉	鉄釉	大窯II a	408
3	SK137	丸皿	2.2	11.0		10.2	灰釉	灰釉	大窯II a	409
4	SK137	丸皿	2.1	9.0		4.1	灰釉	灰釉	大窯II a	412
5	SK137	丸皿	2.2	10.4		6.2	灰釉	灰釉	大窯II b	410
6	SK137	丸皿	2.2	10.4		6.4	灰釉	灰釉	大窯II b	411
7	SK137	内禿皿	2.3	10.2		4.5	灰釉	灰釉	大窯II b (基筋底)	413
8	SK137	内禿皿	2.3	10.8		6.0	灰釉	灰釉	大窯II b (基筋底)	414
9	SK137	重圈皿	—	10.0		—	無釉	無釉	大窯	415
10	SK137	重圈皿	—	10.2		—	無釉	無釉	大窯	416
11	SK137	土師器皿	—	—		推 7.2				419
12	SK137	土師器皿	2.0	10.6						417
13	SK137	土師器皿	1.7	推 9.6		推 5.3				418
14	SK137	土師器皿	—	—		推 4.4				420
15	SK541	甕	—	14.0	—	—			常滑窯13C後半	464
16	SK541	壺	—	14.2	16.2	—		鉄釉	大窯 I	462
17	SK541	双耳壺	—	—	13.6	10.0	鉄釉	鉄釉		463
18	SK541	茶入れ	3.4	3.6	5.9	3.0	鉄釉	鉄釉	大窯 I b	461
19	SK541	丸皿	1.9	10.6		6.2	灰釉	灰釉	大窯II a	459
20	SK541	稜皿	—	—		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯II b	458
21	SK541	小丸椀	2.5	6.2		2.8	灰釉	灰釉	大窯III	460
22	SK541	土師器皿	2.3	(12.0)		(8.0)				465
23	SK541	土師器皿	2.4	(11.0)		(6.6)				466
24	SK541	土師器皿	2.4	(11.0)		(5.0)				467
25	SK541	土師器皿	1.2	4.5						468
26	SK541	土師器皿	1.2	4.5						469
27	SK541	土師器皿	1.0	4.8						470
28	SK541	土師器皿	1.2	4.5						471
89-29	SD42	丸皿	2.6	(10.6)		(6.0)	鉄釉	鉄釉	大窯II b 見込に輪状凸帯	1196
30	SD42	ひだ皿	2.7	10.2		5.6	鉄釉	鉄釉	大窯II b 見込に輪状凸帯	1197
31	SD42	ひだ皿	2.8	10.8		5.8	鉄釉	鉄釉	大窯II b 見込に輪状凸帯	1198
32	SD42	播鉢	—	(34.0)		—	鉄釉	鉄釉	大窯III以降	1199
33	SD42	土師器皿	2.3	(11.2)						1204
34	SD42	土師器椀	3.8	(11.8)		(2.6)				1205
35	SD42	土師器椀	4.6	(10.0)		(4.8)				1206
36	SD42	土師器椀	5.2	(11.0)		(5.2)				1208
37	SD42	土師器椀	5.4	10.0		5.8				1207
38	SD42	茶釜型羽釜	15.1	(11.4)		(11.2)				1200
39	SD42	茶釜型羽釜	15.5	(12.0)		(7.0)				1201
40	SD42	茶釜型羽釜	15.7	(14.0)		(5.6)				1202
41	SD42	内耳鍋	—	(22.4)						1203
90-42	SE62	天目茶椀	—	(10.9)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 I b	423

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
43	SE62	天目茶碗	—	(11.0)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 I b	E-424
44	SE62	天目茶碗	—	—		(4.4)	鉄釉	鉄釉	大窯 I b	425
45	SE62	天目茶碗	6.4	(11.6)		(4.5)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	421
46	SE62	天目茶碗	5.4	(11.8)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	422
47	SE62	丸皿	2.3	10.3		5.9	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	427
48	SE62	小碗	3.9	7.4		3.9	無釉	無釉	大窯 III	426
49	SE62	茶入れ	5.2	(3.5)	5.9	(3.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 III	429
50	SE62	双耳釜	9.7	(14.0)		(8.0)	鉄釉	鉄釉	大窯 III	428
51	SE62	土師器皿	2.6	(12.0)		(7.2)				430
52	SE83	大皿	—	—		(14.8)			15C後半	1033
53	SE83	水滴	3.7	(2.1)		(2.6)	鉄釉	鉄釉	大窯 III	1032
54	SE83	水滴	2.2	(2.8)	5.9	(3.9)	鉄釉	鉄釉	大窯 III	1031
55	SE83	小杯	3.8	(5.7)		(4.2)	長石釉	長石釉	大窯 V	1030
56	SE83	擂鉢	—	(29.0)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 V	1034
57	SK242	天目茶碗	6.3	(11.8)		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	59
58	SK242	天目茶碗	6.1	(11.4)		(4.5)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	60
59	SK242	丸皿	2.2	9.9		5.0	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	61
60	SK242	丸皿	2.5	10.4		5.8	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	62
61	SK242	折縁皿	2.4	10.2		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	63
62	SK242	折縁皿	2.6	10.6		6.2	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	64
63	SK242	折縁内禿皿	2.3	10.6		5.4	灰釉	灰釉	大窯 III	65
64	SK242	折縁内禿皿	2.3	10.6		5.6	灰釉	灰釉	大窯 III	66
91-65	SK96	平碗	4.4	(12.2)		(3.1)	鉄釉	鉄釉	大窯 I b	1190
66	SK96	天目茶碗	—	—		(4.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	1178
67	SK96	天目茶碗	—	—		(4.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	1179
68	SK96	天目茶碗	—	(12.0)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 I	1177
69	SK96	向付	6.6	(12.2)		(5.6)	灰釉	灰釉	大窯 V	1180
70	SK96	向付	—	—		(6.6)	長石釉	長石釉	大窯 V	1193
71	SK96	丸皿	—	—		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯 I	1191
72	SK96	内禿皿	2.2	(10.0)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯 II b	1182
73	SK96	内禿皿	—	—		(7.6)	灰釉	灰釉	大窯 V	1183
74	SK96	折縁鉢	—	(19.8)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 V	1184
75	SK96	甕	—	(16.0)	27.5	—	鉄釉	鉄釉	大窯 III	1186
76	SK96	擂鉢	—	—		(11.0)	鉄釉	鉄釉	大窯 III以降 卸目18本単位	1187
77	SK96	擂鉢	11.0	(30.0)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	1188
78	SK96	德利	—	—	—	—	鉄釉	鉄釉	大窯	1185
79	SK96	水注	—	—	7.5	(5.2)	鉄釉	鉄釉	大窯	1192
80	SK96	重圍皿	2.0	(10.0)		(5.0)	無釉	無釉	大窯	1194
81	SK96	土師器皿	1.8	(9.4)		(4.8)				1189
82	SK96	土師器皿	1.7	(9.4)						1195
92-83	SD63	天目茶碗	—	(12.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 V	67
84	SD63	端反皿	2.1	10.8		5.8	長石釉	長石釉	大窯 V	72
85	SD63	鉄絵碗	6.1	(11.4)		—	長石釉	長石釉	大窯 V	68
86	SD63	鉄絵角向付	6.6	8.2		—	長石釉	長石釉	大窯 V	71
87	SD63	丸碗	3.8	(8.4)		(4.1)	長石釉	長石釉	大窯 V	69
88	SD63	小杯	—	—		(3.4)	長石釉	長石釉	大窯 V	70
89	SD63	鉄絵三足鉢	4.9	15.8			長石釉	長石釉	大窯 V	73
90	SD63	擂鉢	13.2	(31.9)		(13.1)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	75
91	SD63	大皿	—	—		8.8	無釉	無釉	大窯 III	74
92	SD63	土師器皿	2.3	10.4		6.3				77
93	SD63	土師器皿	2.5	(10.5)		(5.6)				78
94	SD63	土師器皿	2.4	(11.4)		(6.6)				79
95	SD63	土師器皿	2.4	(12.6)		(7.4)				80
96	SD63	碗	—	(9.9)		—			楽系	76
93-97	SK282	丸皿	2.3	(10.8)		(6.2)	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	1124
98	SK282	端反皿	—	(12.4)		—	長石釉	長石釉	大窯 V	1123
99	SK282	丸碗	6.6	(10.8)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	1120
100	SK282	沓茶碗	—	—		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	1121
101	SK282	鉄絵向付	4.9	(9.6)		(7.0)	長石釉	長石釉	大窯 V	1126
102	SK282	小碗	—	(7.2)		—	長石釉	長石釉	大窯 V	1122

図版番号	遺 構	器 種	法 量(cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
103	SK282	折縁稜花皿	2.8	(15.6)		(7.6)	長石釉	長石釉	大窯 V	E-1125
104	SK293	天目茶碗	—	(11.8)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 II	1
105	SK293	折縁皿	2.4	(12.0)		(7.0)	長石釉	長石釉	大窯 V	31
106	SK293	折縁皿	2.1	(12.0)		(7.4)	長石釉	長石釉	大窯 V	33
107	SK293	折縁皿	—	(11.0)		—	長石釉	長石釉	高台削り失敗 大窯 V	32
108	SK293	菊花皿	3.2	(12.8)		(7.2)	長石釉	長石釉	大窯 V	38
109	SK293	折縁稜花皿	2.8	14.8		7.8	長石釉	長石釉	13弁 大窯 V	36
110	SK293	折縁稜花皿	2.8	(14.8)		(7.8)	長石釉	長石釉	93-109とほぼ同じ 大窯 V	37
111	SK293	鉄絵鉢	—	—		10.6	長石釉	長石釉	登窯 I	39
94-112	SD27	天目茶碗	6.1	(12.2)		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	198
113	SD27	天目茶碗	—	(12.6)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	197
114	SD27	天目茶碗	—	(11.4)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	84
115	SD27	天目茶碗	—	—		(3.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	85
116	SD27	天目茶碗	—	(11.6)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	81
117	SD27	丸碗	5.8	(11.0)		(4.6)	灰釉	灰釉	大窯 II a	88
118	SD27	天目茶碗	—	(10.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	194
119	SD27	天目茶碗	5.6	(10.7)		(4.4)	鉄釉	鉄釉	大窯 III	1048
120	SD27	天目茶碗	—	(11.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 III a	82
121	SD27	天目茶碗	5.7	(11.4)		4.4	長石釉	長石釉	大窯 V	90
122	SD27	天目茶碗	5.8	(12.0)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	199
123	SD27	丸碗	—	(10.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 V	200
124	SD27	丸碗	—	(11.8)		—	灰釉	灰釉	大窯 V	89
125	SD27	小壺	—	—		5.4	長石釉	長石釉	大窯 V	113
126	SD27	小碗	2.5	(6.2)		(3.8)	長石釉	長石釉	大窯 V	224
127	SD27	小皿	—	(6.3)		—	灰釉	灰釉	大窯 II a	94
128	SD27	半筒形向付	4.5	7.8		4.8	長石釉	長石釉	大窯 V	223
129	SD27	鉄絵四方形向付	—	9.9		—	長石釉	長石釉	大窯 V	221
130	SD27	筒向付	6.3	(6.6)		(4.4)	灰釉	灰釉	大窯 V	106
131	SD27	向付	4.0	4.0		3.7	長石釉	長石釉	大窯 V	225
132	SD27	小皿	3.0	(8.3)		(4.2)	灰釉	灰釉	密窯最末	228
133	SD27	天目茶碗	—	(10.6)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 I	195
134	SD27	丸碗	—	(11.8)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 I	201
135	SD27	天目茶碗	—	(10.0)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 II	196
95-136	SD27	小皿	1.45	(7.8)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯 II a	93
137	SD27	小皿	1.9	(8.2)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯 II a	94
138	SD27	丸皿	2.0	(9.3)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯 II a	95
139	SD27	丸皿	2.4	(9.6)		4.8	灰釉	灰釉	輪トチ 大窯 II a	96
140	SD27	丸皿	2.8	(10.2)		5.1	灰釉	灰釉	大窯 II a	97
141	SD27	丸皿	2.6	(10.4)		5.8	灰釉	灰釉	大窯 II a	98
142	SD27	丸皿	2.7	(10.2)		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯 II a	206
143	SD27	丸皿	2.0	(10.2)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯 II a	207
144	SD27	丸皿	2.1	(9.8)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯 II a	208
145	SD27	丸皿	2.0	(10.6)		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯 II a	209
146	SD27	丸皿	2.5	(10.8)		(6.2)	灰釉	灰釉	大窯 II a	210
147	SD27	丸皿	2.4	(10.2)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	92
148	SD27	内禿皿	2.5	9.8		5.7	灰釉	灰釉	大窯 II b	99
149	SD27	内禿皿	2.5	(10.4)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯 II b	212
150	SD27	内禿皿	1.9	(9.8)		(6.1)	灰釉	灰釉	大窯 II b	100
151	SD27	内禿皿	2.2	(10.0)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯 II b	211
152	SD27	折縁皿	—	(12.2)		—	灰釉	灰釉	大窯 II b	101
153	SD27	水注	—	—		(6.2)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	153
154	SD27	折縁菊皿	2.2	(11.4)		(6.4)	灰釉	灰釉	大窯 III	1057
155	SD27	折縁菊皿	—	(12.0)		—	灰釉	灰釉	大窯 V	1058
156	SD27	折縁皿	—	(11.0)		—	灰釉	灰釉	大窯 V	213
157	SD27	折縁菊皿	—	11.4		—	灰釉	灰釉	大窯 V	215
158	SD27	端反皿	2.6	(12.4)		(6.4)	長石釉	長石釉	大窯 V	103
159	SD27	端反皿	2.3	(11.8)		(6.0)	長石釉	長石釉	大窯 V	104
160	SD27	内禿中皿	3.1	(15.0)		(8.0)	灰釉	灰釉	大窯 V ^{見込} に輪トチの痕	102
161	SD27	端反皿	2.8	12.0		7.2	長石釉	長石釉	大窯 V	216
162	SD27	端反皿	2.6	11.4		7.0	長石釉	長石釉	大窯 V	217

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
163	SD27	端反皿	2.7	11.6		6.4	長石釉	長石釉	大窯V	E-218
164	SD27	丸皿	—	11.6		—	長石釉	長石釉	大窯V	219
165	SD27	平鉢形向付	2.7	10.6		6.8	長石釉	長石釉	大窯V	222
96-166	SD27	重圈皿	2.2	10.4		5.7	無釉	無釉		237
167	SD27	重圈皿	2.0	10.4		4.6	無釉	無釉		238
168	SD27	重圈皿	2.1	(10.8)		(4.2)	無釉	無釉	大窯IV	119
169	SD27	重圈皿	2.1	(10.6)		(4.6)	無釉	無釉	大窯IV	120
170	SD27	重圈皿	2.1	(10.2)		(4.2)	無釉	無釉	大窯	121
171	SD27	重圈皿	2.6	(10.4)		(4.9)	無釉	無釉		239
172	SD27	大皿	—	(32.0)		—	無釉	無釉	祖母懷	229
173	SD27	大皿	5.8	(28.6)		(15.0)	無釉	無釉	祖母懷	230
174	SD27	大皿	—	(24.2)		—	無釉	無釉	祖母懷?	108
175	SD27	大皿	3.6	20.4		11.0	無釉	無釉	大窯III	109
176	SD27	大皿	6.2	(31.2)		(12.4)	無釉	無釉	大窯III	1063
97-177	SD27	徳利	—	—	12.8	—	鉄釉	鉄釉	大窯I b	107
178	SD27	徳利	—	—		13.2	鉄釉	鉄釉	大窯I b	111
179	SD27	甕	—	20.6		—	鉄釉	鉄釉	大窯II a	112
180	SD27	徳利	—	5.6		—	鉄釉	鉄釉	大窯II b	1061
181	SD27	焼き締め徳利	—	—	13.6	(9.0)	無釉	無釉	大窯	231
182	SD27	耳付小壺	—	(13.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯III	227
183	SD27	徳利	—	—		(13.3)	鉄釉	鉄釉	大窯	1065
184	SD27	片口鉢	11.0	18.0		8.6	鉄釉	鉄釉	大窯III~IV	110
185	SD27	小壺	2.8	3.1	5.6	3.9	長石釉	長石釉	大窯V	1060
98-186	SD27	小鉢	—	(25.2)		—			常滑窯 16C後半	118
187	SD27	建水	—	(15.6)		—		鉄釉	大窯	1064
188	SD27	甕	—	—	26.1	(15.0)	鉄釉	鉄釉	大窯III	1066
189	SD27	甕	—	—	30.1	(17.2)	鉄釉	鉄釉	大窯	131
99-190	SD27	搦鉢	—	(29.4)		—	鉄釉	鉄釉	卸目12本単位	234
191	SD27	搦鉢	—	(28.6)		—	鉄釉	鉄釉	卸目10本単位	233
192	SD27	搦鉢	—	26.8		—	鉄釉	鉄釉	大窯II b	115
193	SD27	搦鉢	—	(29.0)		—	鉄釉	鉄釉	大窯V	116
194	SD27	搦鉢	—	(30.0)		—	鉄釉	鉄釉	登窯IかII	117
100-195	SD27	内耳鍋	10.3	(21.6)		(5.2)				245
196	SD27	直口両耳釜	—	(13.0)		—				129
197	SD27	直口両耳釜	14.8	12.7		6.0				130
198	SD27	直口両耳釜	17.1	(13.0)		(10.0)				246
199	SD27	土師器皿	1.1	4.8						122
200	SD27	土師器皿	1.1	4.7						123
201	SD27	土師器皿	0.8	4.7						124
202	SD27	土師器皿	1.0	5.0						240
203	SD27	土師器皿	1.0	4.8						241
204	SD27	土師器皿	1.0	5.1						1074
205	SD27	土師器皿	0.9	4.8						1076
206	SD27	土師器皿	1.0	4.8						1077
207	SD27	土師器皿	1.3	5.2						1078
208	SD27	土師器皿	0.7	4.6						1080
209	SD27	土師器皿	1.9	(7.4)		(5.0)				242
210	SD27	土師器皿	1.6	(8.8)		(2.4)			煤	125
211	SD27	土師器皿	1.9	(10.2)		(5.4)				127
212	SD27	土師器皿	1.9	(11.0)		(6.0)				244
213	SD27	土師器皿	2.1	(11.4)		(6.0)				126
214	SD27	土師器皿	2.0	(11.2)		(6.0)				128
101-215	SK46	天目茶碗	6.1	12.4		4.2	鉄釉	鉄釉	大窯II a	132
216	SK46	天目茶碗	—	12.8		—	鉄釉	鉄釉	大窯II a	135
217	SK46	丸皿	2.1	(10.4)		(5.2)	鉄釉	鉄釉	大窯II b	141
218	SK46	丸皿	2.3	(11.2)		(6.4)	灰釉	灰釉	大窯II b	142
219	SK46	重圈皿	2.3	(10.5)		(5.4)	鉄釉	鉄釉	火を受けている 大窯II	164
220	SK46	天目茶碗	—	11.4		—	鉄釉	鉄釉	大窯V	137
221	SK46	筒向付	—	—		—	長石釉	長石釉	大窯V 最大径約9.0 脚柱	149
222	SK46	丸碗	—	—		4.6	長石釉	長石釉	大窯V	139

図版番号	遺 構	器 種	法 量 (cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
223	SK46	丸皿	2.5	(12.2)		(7.6)	長石釉	長石釉	大窯 V	E-145
224	SK46	稜皿	2.7	(11.2)		(6.4)	長石釉	長石釉	大窯 V	147
225	SK46	折縁菊皿	2.0	(11.4)		(7.2)	灰釉	灰釉	大窯 V	144
226	SK46	筒向付	—	—		(4.1)	灰釉	灰釉	大窯 V	152
227	SK46	水注	—	—		(4.5)	鉄釉	鉄釉	大窯 V	153
228	SK46	鉄絵角向付	6.3	(11.4)		(10.0)	長石釉	長石釉	大窯 V	150
229	SK46	鉄絵角向付	(6.5)	(12.4)		(8.4)	長石釉	長石釉	大窯 V	151
230	SK46	天目茶碗	6.2	13.0		6.2	鉄釉	鉄釉	登窯 II	133
231	SK46	丸碗	—	—		4.4	鉄釉	鉄釉	登窯 II	138
232	SK46	碗	—	—		5.0	灰釉	灰釉	唐津窯	140
233	SK46	大皿	—	(20.2)		—	無釉	無釉	大窯 III	157
234	SK46	大皿	—	(25.6)		—	無釉	無釉	大窯 III	158
235	SK46	大皿	—	(24.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯	156
102-236	SK46	德利	—	—	13.1	—	鉄釉	鉄釉	大窯 III まで	154
237	SK46	德利	—	—		(8.6)	鉄釉	鉄釉	大窯	155
238	SK46	甕	—	(13.0)	14.6	—			備前窯 16C 後半	159
239	SK46	播鉢	—	—		(12.6)			備前窯 16C 後半	160
240	SK46	播鉢	—	(32.2)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 I	161
241	SK46	播鉢	—	(28.6)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	162
242	SK46	播鉢	—	(36.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	163
103-243	SD200	天目茶碗	—	(11.6)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	841
244	SD200	天目茶碗	—	(11.6)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	842
245	SD200	天目茶碗	—	(11.6)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	847
246	SD200	天目茶碗	—	—		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	843
247	SD200	小型天目茶碗	4.4	(7.5)		3.2	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	871
248	SD200	小型天目茶碗	3.7	(8.1)		(3.4)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	872
249	SD200	小碗	—	(5.5)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 III	873
250	SD200	小碗	—	—		2.5	鉄釉	鉄釉	大窯 II	869
251	SD200	小碗	2.4	(6.0)		(2.7)	鉄釉	鉄釉	大窯 II	870
252	SD200	天目茶碗	—	(11.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 III	846
253	SD200	天目茶碗	—	(12.4)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 V	850
254	SD200	丸碗	—	(8.4)		—	長石釉	長石釉	大窯 V	874
255	SD200	筒形碗	—	—		(5.9)	灰釉	灰釉	文禄元年 (1593) 銘	853
256	SD200	天目茶碗	—	—		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II	852
257	SD200	天目茶碗	—	(11.0)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 I	849
258	SD200	天目茶碗	—	(11.4)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 I	844
259	SD200	天目茶碗	7.4	11.3		5.0	鉄釉	鉄釉	登窯 II	851
260	SD200	天目茶碗	—	(11.6)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 III	848
261	SD200	天目茶碗	—	(12.0)		—	鉄釉	鉄釉	登窯 IV	845
104-262	SD200	丸皿	2.2	(10.4)		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	862
263	SD200	丸皿	2.3	(10.8)		(6.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	863
264	SD200	稜皿	—	(10.2)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	864
265	SD200	稜皿	2.5	(10.4)		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 II b	865
266	SD200	丸皿	2.1	(9.6)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯 II b	854
267	SD200	丸皿	—	(11.0)		—	灰釉	灰釉	大窯 II b	855
268	SD200	内禿皿	—	(10.2)		—	灰釉	灰釉	大窯 II b	859
269	SD200	皿	—	—		(6.8)	灰釉	灰釉	大窯 I・II	857
270	SD200	小皿	—	(9.4)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 III (下地鉄釉)	861
271	SD200	稜皿	—	—		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 III	866
272	SD200	ひだ皿	—	(10.6)		—	鉄釉	鉄釉	大窯 III	867
273	SD200	折縁皿	—	(11.4)		—	灰釉	灰釉	大窯 V	860
274	SD200	小皿	1.3	(7.6)		(4.5)	灰釉	灰釉	大窯 V	856
275	SD200	鉄絵丸皿	2.6	11.4		6.7	長石釉	長石釉	登窯 I	877
276	SD200	端反皿	2.2	11.8		6.7	長石釉	長石釉	大窯 V	878
277	SD200	端反皿	2.7	(11.8)		(6.1)	長石釉	長石釉	大窯 V	879
278	SD200	丸皿	3.0	(12.6)		(6.6)	長石釉	長石釉	大窯 V	880
279	SD200	菊皿	2.3	(12.0)		(6.6)	長石釉	長石釉	大窯 V	884
280	SD200	菊皿	2.3	(12.0)		(6.8)	長石釉	長石釉	大窯 V	882
281	SD200	菊皿	2.1	(11.8)		(7.2)	長石釉	長石釉	大窯 V	883
282	SD200	德利	—	(5.4)	—	—	鉄釉	鉄釉	大窯 III	891

図版番号	遺構	器種	量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
283	SD200	德利	-	-	10.4	-		鉄釉	大窯Ⅲ	E-892
284	SD200	德利	-	-	10.4	-		鉄釉	大窯Ⅲ	893
285	SD200	瓦質香炉	5.6	10.6		10.4				890
286	SD200	香炉	7.5	(11.6)		(10.6)	灰釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	889
105-287	SD200	茶入れ	-	(6.4)	9.2	-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	894
288	SD200	茶入れ	-	(6.2)	9.4	-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	895
289	SD200	水注	-	(4.8)	-	-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ以降	896
290	SD200	水注	-	-	-	4.8	鉄釉	鉄釉	大窯?	897
291	SD200	水注	-	-	9.2	(5.6)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲまで	898
292	SD200	蓋	-	4.0			鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ?	899
293	SD200	鉄絵鉢	-	(14.8)		-	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	885
294	SD200	鉢	6.4	(21.8)		(14.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	888
295	SD200	鉢	4.9	(25.0)		(21.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	886
296	SD200	広口甕	-	(26.8)		-	鉄釉	鉄釉	15C後半	900
297	SD200	羽釜	-	(11.8)		(6.8)	鉄釉	鉄釉	15C末	901
298	SD200	小杯	-	(5.4)		-	鉄釉	鉄釉	窖窯15C前半	868
106-299	SD200	播鉢	-	(22.6)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	903
300	SD200	播鉢	-	(26.6)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	905
301	SD200	播鉢	-	(27.2)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	902
302	SD200	播鉢	-	(30.0)		-	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	904
303	SD200	播鉢	-	-		(10.4)	鉄釉	鉄釉	卸目14本単位 大窯	907
304	SD200	播鉢	-	-		(11.4)	鉄釉	鉄釉	卸目16本単位 大窯	906
305	SD200	円板天目片					鉄釉	鉄釉		911
306	SD200	円板播鉢片					鉄釉	鉄釉		912
307	SD200	円板播鉢片					鉄釉	鉄釉		913
107-308	SD177	椀	-	(12.6)		-	灰釉	灰釉	?	487
309	SD177	平椀	-	-	-	(4.7)	灰釉	灰釉	?	488
310	SD177	天目茶椀	-	(12.0)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ a	477
311	SD177	天目茶椀	-	(12.0)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ a	478
312	SD177	天目茶椀	-	(11.8)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	479
313	SD177	天目茶椀	-	(12.0)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	480
314	SD177	丸椀	-	(10.0)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	533
315	SD177	小型天目茶椀	3.5	(6.7)		(3.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	484
316	SD177	小型天目茶椀	-	-		(3.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰ	485
317	SD177	天目茶椀	-	-		(4.4)	鉄釉	鉄釉	?	481
318	SD177	天目茶椀	6.4	12.2		4.8	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	
319	SD177	丸椀	-	(10.8)		-	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	531
320	SD177	丸椀	-	(11.2)		-	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	530
321	SD177	丸椀	-	(8.6)		-	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	532
322	SD177	ひだ皿	-	-		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	486
323	SD177	筒茶椀	-	-		(5.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	552
324	SD177	鉄絵向付	-	-		(4.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	550
325	SD177	天目茶椀	7.0	(13.0)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	476
326	SD177	鉄絵角向付	8.3	8.8		(5.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	
108-327	SD177	丸皿	-	(10.6)		-	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	514
328	SD177	稜皿	-	-		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	509
329	SD177	稜皿	-	-		(5.6)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	510
330	SD177	稜皿	-	-		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	511
331	SD177	皿	-	-		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	512
332	SD177	皿	-	-		(5.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	513
333	SD177	丸皿	2.6	(10.0)		6.6	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ b	514
334	SD177	丸皿	2.2	(10.8)		(6.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	497
335	SD177	丸皿	-	(8.9)		-	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	498
336	SD177	丸皿	-	(9.2)		-	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	499
337	SD177	丸皿	2.4	(10.2)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	500
338	SD177	端反皿	1.9	(11.2)		(6.4)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	494
339	SD177	端反皿	2.0	(10.6)		(4.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	495
340	SD177	端反皿	2.0	(10.8)		(6.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	496
341	SD177	折縁菊皿	2.4	(12.0)		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	508
342	SD177	内糸折縁皿	2.0	(11.6)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	501

図版番号	遺 構	器 種	法 量 (cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
343	SD177	内禿折縁皿	2.2	11.4		6.0	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	E-502
344	SD177	折縁皿	2.0	(11.0)		(6.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	503
345	SD177	折縁皿	—	(10.8)		—	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	504
346	SD177	折縁皿	—	(9.6)		—	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	505
347	SD177	折縁皿	—	(10.6)		—	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	507
348	SD177	端反皿	2.5	12.4		6.0	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	516
349	SD177	端反皿	3.1	12.7		6.4	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	517
350	SD177	端反皿	2.8	(12.2)		(6.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	518
351	SD177	端反皿	2.7	(11.8)		(6.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	519
352	SD177	丸皿	2.2	(13.0)		(8.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	520
353	SD177	端反皿	2.5	(13.2)		(7.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	521
354	SD177	端反皿	2.8	(13.0)		(7.1)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	522
355	SD177	丸皿	—	(10.4)		—	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	523
356	SD177	丸皿	2.9	(10.4)		(5.2)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	524
357	SD177	鉄絵皿	2.4	(10.2)		(5.4)	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	525
358	SD177	重圈皿	2.3	11.0		4.4	鉄釉	鉄釉	大窯	526
359	SD177	重圈皿	2.0	(10.4)		(5.0)	無釉	無釉	大窯	527
360	SD177	重圈皿	2.2	(10.6)		(5.4)	無釉	無釉	大窯	528
361	SD177	重圈皿	1.5	(10.4)		(5.0)	無釉	無釉	大窯	529
109-362	SD177	茶入れ	—	—		(3.1)	鉄釉	鉄釉	大窯	489
363	SD177	香炉	—	(6.4)		—	鉄釉	鉄釉	大窯	490
364	SD177	筒向付	—	—		(3.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	554
365	SD177	筒向付	—	—		(3.6)	灰釉	灰釉	大窯	553
366	SD177	水滴	3.4	(2.8)	5.9	(3.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	493
367	SD177	水注	—	—	8.3	(4.8)	鉄釉	鉄釉	大窯	491
368	SD177	蓋	—	10.2	(10.4)			鉄釉		492
369	SD177	壺	—	(9.4)	—	—	鉄釉	鉄釉	大窯の古い方	538
370	SD177	徳利	—	—	—	(8.0)	鉄釉	鉄釉		543
371	SD177	徳利	—	—	—	(7.1)	鉄釉	鉄釉		544
372	SD177	水指	—	(14.3)		—	鉄釉	鉄釉		546
373	SD177	鉢	—	(15.3)		—	鉄釉	鉄釉		547
374	SD177	水指?	—	(17.2)		—	鉄釉	鉄釉		545
375	SD177	茶壺	—	—	—	12.4			底部に「懷」	・
376	SD177	大皿	6.3	(29.6)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	537
377	SD177	大皿	4.5	(23.6)		(13.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	534
110-378	SD177	大皿	6.4	(28.4)		(16.3)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	535
379	SD177	大皿	6.3	(29.6)		(14.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	536
380	SD177	播鉢	11.7	(31.4)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	卸目10本単位	539
381	SD177	播鉢	12.0	(30.4)		(10.8)	鉄釉	鉄釉	卸目13本単位	540
382	SD177	播鉢	—	(29.4)		—	鉄釉	鉄釉	卸目10本単位	548
383	SD177	播鉢	—	(32.0)		—	鉄釉	鉄釉		542
111-384	SD177	青花皿	—	(10.2)		—				558
385	SD177	青花椀	—	(9.0)		—				559
386	SD177	青花皿	—	(10.0)		—				561
387	SD177	青花皿	—	—		(5.6)				560
388	SD177	青花皿	—	—		(5.2)				562
389	SD177	土師器犬	—							557
390	SD177	土師器犬	—							556
391	SD177	土師器犬	—							564
392	SD177	土師器犬	—							565
393	SD177	土鈴	3.9		4.9	(4.0)				566
394	SD177	陶製内耳鍋	7.9	(8.3)			無釉	無釉	煤が付着せず未使用か	584
395	SD177	内耳鍋	—	(21.8)						574
112-396	SD177	内耳鍋	10.8	(22.2)						575
397	SD177	内耳鍋	14.5	(24.4)						576
398	SD177	内耳鍋	11.2	(20.0)						577
399	SD177	内耳鍋	13.7	(24.6)						587
400	SD177	内耳鍋	11.6	(22.2)						582
113-401	SD177	羽釜	—	—						568
402	SD177	茶釜型羽釜	—	(12.1)						580

図版番号	遺 構	器 種	法 量 (cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
403	SD177	茶釜型羽釜	15.7	(13.4)					E-589	
114-404	SD177	直口双耳鍋	16.6	(13.8)	21.2				571	
405	SD177	直口双耳鍋	-	(12.0)	20.8				579	
406	SD177	直口双耳鍋	17.3	(14.0)	21.0				567	
407	SD177	直口双耳鍋	16.2	(13.2)	20.7				573	
408	SD177	直口双耳鍋	-	(13.8)	-				581	
115-409	SD177	直口双耳鍋	16.6	(10.1)					586	
410	SD177	直口双耳鍋	15.5	(14.0)					578	
411	SD177	直口双耳鍋	-	(14.2)					583	
412	SD177	直口双耳鍋	16.1	(14.2)	21.0				569	
413	SD177	直口双耳鍋	17.0	(14.5)	24.0				570	
116-414	SD177	土師器耳皿	2.0	8.2				底部糸切り痕	809	
415	SD177	土師器耳皿	2.4	(8.4)				底部糸切り痕	810	
416	SD177	土師器耳皿	2.0	-				底部糸切り痕	811	
417	SD177	土師器耳皿	2.2	-				底部糸切り痕	812	
418	SD177	土師器耳皿	2.2	-				底部糸切り痕	813	
419	SD177	土師器底部穿孔皿	1.2	5.2				3ヶ所の穿孔 手捏ね	814	
420	SD177	土師器底部穿孔皿	1.6	5.4				1ヶ所の穿孔 手捏ね	815	
421	SD177	土師器底部穿孔皿	2.2	(5.3)				1ヶ所の穿孔 手捏ね	816	
422	SD177	土師器底部穿孔皿	1.4	4.6				1ヶ所の穿孔 手捏ね	817	
423	SD177	土師器底部穿孔皿	1.4	(5.5)				1ヶ所の穿孔 手捏ね	818	
117-424	SD177	土師器皿	1.1	5.5				手捏ね	705	
425	SD177	土師器皿	1.0	5.0				手捏ね	706	
426	SD177	土師器皿	1.1	5.5				手捏ね	707	
427	SD177	土師器皿	0.9	5.1				手捏ね	800	
428	SD177	土師器皿	0.7	4.8				手捏ね	732	
429	SD177	土師器皿	1.3	5.4				手捏ね	712	
430	SD177	土師器皿	1.2	4.9				手捏ね	734	
431	SD177	土師器皿	1.5	5.3				手捏ね	772	
432	SD177	土師器皿	0.9	4.7				手捏ね	777	
433	SD177	土師器皿	1.0	4.3				手捏ね	730	
434	SD177	土師器皿	1.8	4.5				手捏ね	770	
435	SD177	土師器皿	0.9	4.6				手捏ね	774	
118-436	SD177	土師器皿	0.9	4.8				手捏ね	709	
437	SD177	土師器皿	0.7	4.5				手捏ね	758	
438	SD177	土師器皿	0.9	4.8				手捏ね	749	
439	SD177	土師器皿	0.7	4.7				手捏ね	798	
440	SD177	土師器皿	0.5	4.3				手捏ね	787	
441	SD177	土師器皿	0.7	4.0				手捏ね	757	
442	SD177	土師器皿	0.6	4.7				手捏ね	797	
443	SD177	土師器皿	1.1	6.3				手捏ね	731	
444	SD177	土師器皿	2.1	6.1				手捏ね	752	
445	SD177	土師器皿	0.6	6.0				手捏ね	722	
446	SD177	土師器皿	0.8	5.7				手捏ね	753	
119-447	SD177	土師器皿	0.8	(5.7)		(3.5)		底部糸切り痕	687	
448	SD177	土師器皿	0.9	(5.6)		(4.7)		底部糸切り痕	689	
449	SD177	土師器皿	1.0	(6.4)		(4.5)		底部糸切り痕	690	
450	SD177	土師器皿	0.8	(5.8)		(4.5)		底部糸切り痕	691	
451	SD177	土師器皿	0.9	(5.8)		(4.1)		底部糸切り痕	692	
452	SD177	土師器皿	0.8	(5.6)		(4.0)		底部糸切り痕	693	
453	SD177	土師器皿	0.7	(5.9)		(4.0)		底部糸切り痕	694	
454	SD177	土師器皿	1.0	(5.3)		(4.2)		底部糸切り痕	695	
455	SD177	土師器皿	0.8	(10.7)		(4.5)		底部糸切り痕	686	
456	SD177	土師器皿	1.0	(5.8)		(5.5)		底部糸切り痕	688	
457	SD177	土師器皿	1.0	(6.0)		(4.2)		底部糸切り痕	702	
458	SD177	土師器皿	0.8	(5.3)		(4.1)		底部糸切り痕	756	
459	SD177	土師器皿	0.7	(5.0)		(4.2)		底部糸切り痕	728	
460	SD177	土師器皿	0.8	(5.2)		(4.4)		底部糸切り痕	729	
461	SD177	土師器皿	0.9	(5.6)		(4.6)		底部糸切り痕	700	
462	SD177	土師器皿	1.9	(8.3)		(4.7)		底部糸切り痕	637	

図版番号	遺 構	器 種	法 量 (cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
463	SD177	土師器皿	1.8	(8.9)		(4.6)			底部糸切り痕	E-636
464	SD177	土師器皿	1.8	(8.6)		(5.0)			底部糸切り痕	638
465	SD177	土師器皿	1.7	(9.4)		(6.2)			底部糸切り痕	659
466	SD177	土師器皿	1.3	(10.0)		(2.3)			底部糸切り痕	682
467	SD177	土師器皿	2.0	(10.2)		(4.8)			底部糸切り痕	660
120-468	SD177	土師器皿	2.4	(11.4)		(6.5)			底部糸切り痕	601
469	SD177	土師器皿	2.3	(11.2)		(6.1)			底部糸切り痕	603
470	SD177	土師器皿	2.3	(11.0)		(6.4)			底部糸切り痕	605
471	SD177	土師器皿	2.3	(10.8)		(6.0)			底部糸切り痕	606
472	SD177	土師器皿	2.5	(11.0)		(6.4)			底部糸切り痕	678
473	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(7.5)			底部糸切り痕	599
474	SD177	土師器皿	2.5	(11.0)		(5.8)			底部糸切り痕	597
475	SD177	土師器皿	2.2	(10.8)		(6.6)			底部糸切り痕	595
476	SD177	土師器皿	2.4	(10.5)		(5.3)			底部糸切り痕	598
477	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(6.5)			底部糸切り痕	600
478	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(6.4)			底部糸切り痕	634
479	SD177	土師器皿	1.9	(11.2)		(6.0)			底部糸切り痕	610
480	SD177	土師器皿	1.8	(11.0)		(6.4)			底部糸切り痕	683
481	SD177	土師器皿	2.0	(11.8)		(6.8)			底部糸切り痕	635
482	SD177	土師器皿	2.2	(6.1)		(4.4)			底部糸切り痕	626
483	SD177	土師器皿	2.0	(11.4)		(7.4)			底部糸切り痕	604
484	SD177	土師器皿	2.2	(10.9)		(6.2)			底部糸切り痕	591
485	SD177	土師器皿	2.0	(11.2)		(6.5)			底部糸切り痕	592
486	SD177	土師器皿	2.2	(12.2)		(6.6)			底部糸切り痕	593
487	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(7.0)			底部糸切り痕	607
488	SD177	土師器皿	2.3	(11.2)		(6.4)			底部糸切り痕	627
489	SD177	土師器皿	2.4	(11.2)		(6.3)			底部糸切り痕	594
490	SD177	土師器皿	2.0	(11.6)		(7.0)			底部糸切り痕	596
491	SD177	土師器皿	2.1	(11.4)		(6.2)			底部糸切り痕	602
492	SD177	土師器皿	1.9	(11.2)		(5.6)			底部糸切り痕	677
493	SD177	土師器皿	2.3	(11.2)		(6.0)			底部糸切り痕	675
494	SD177	土師器皿	2.0	(11.2)		(7.0)			底部糸切り痕	676
495	SD177	土師器皿	2.2	(11.2)		(6.4)			底部糸切り痕	685
496	SD177	土師器皿	2.5	(11.4)		(6.4)			底部糸切り痕	684
497	SD177	土師器皿	2.4	(11.2)		(5.0)			底部糸切り痕	622
498	SD177	土師器皿	2.2	(11.6)		(6.4)			底部糸切り痕	613
499	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(5.8)			底部糸切り痕	623
500	SD177	土師器皿	2.3	(12.8)		(7.4)			底部糸切り痕	612
501	SD177	土師器皿	2.5	(13.2)		(8.2)			底部糸切り痕	618
502	SD177	土師器皿	2.7	(13.4)		(3.7)			底部糸切り痕	674
503	SD177	土師器皿	1.9	(13.8)		(7.4)			底部糸切り痕	609
121-504	検出	天目茶碗	-	(12.8)		-	鉄釉	鉄釉	大窯 I b	6
505	SD214	丸碗	6.2	(11.8)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯 I b	9
506	検出	天目茶碗	-	(10.8)		-	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	433
507	SD170	台付碗	4.2	9.6		4.4	鉄釉	鉄釉	大窯 I a	1089
508	SK164	天目茶碗	6.3	(10.6)		(4.6)	鉄釉	鉄釉	登窯 I	5
509	検出	丸碗	6.9	12.4		5.6	長石釉	長石釉	大窯 V	11
510	SD170	天目茶碗	7.0	10.6		4.2	黄瀬戸釉	鉄釉	大窯 V	1086
511	検出	天目茶碗	7.2	(11.8)		(4.6)	鉄釉	鉄釉	登窯 II	432
512	SK571	小型天目茶碗	3.5	6.3		2.4	鉄釉	鉄釉	登窯 I	8
513	検出	小杯	2.8	5.7		2.5	灰釉	灰釉	登窯 III	10
514	SD70	片口小鉢	5.5	(9.8)		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯 I b 見込 円の欄目	46
515	検出	片口小鉢	6.1	10.8		7.0	鉄釉	鉄釉	大窯 I b 見込 円の欄目	47
516	SD214	鉢	8.2	12.6		10.5	鉄釉	鉄釉	大窯	49
517	検出	片口鉢	10.6	(15.6)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯 I	48
518	検出	稜皿	2.9	10.4		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	25
519	検出	ひだ皿	2.8	(10.6)		(5.7)	鉄釉	鉄釉	大窯 II a	26
520	SK286	輪花皿	2.7	11.2		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯 II a 灰釉散らし	27
521	SD ⁷⁰ _{SX3}	丸皿	2.1	8.6		5.0	灰釉	灰釉	大窯 II a	18
522	SD214	丸皿	2.5	10.3		5.4	灰釉	灰釉	大窯 II a	21

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
523	検出	丸皿	2.6	10.3		5.2	鉄釉	鉄釉		E-436
524	検出	折縁皿	2.2	10.6		6.0	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ 印花有	443
525	検出	折縁菊皿	2.3	(11.2)		(5.4)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ 内禿	442
122-526	SK392	仏花瓶	-	-	6.6	6.1		鉄釉	大窯Ⅰ	52
527	検出	仏花瓶	-	-	9.0	5.8		鉄釉	大窯Ⅰb	51
528	検出	燭台	10.2	(7.8)	(13.8)	(5.2)	鉄釉	鉄釉	不明	50
529	検出	小杯	4.0	5.0		3.6	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	13
530	検出	鉢	4.6	(15.6)		(9.0)	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	1280
531	検出	大皿	5.4	(21.2)		(10.2)	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	45
532	SK133	大皿	5.5	(27.8)		(14.0)	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	1302
533	検出	大皿	4.8	(27.4)		(12.4)	無釉	無釉	大窯Ⅴ	43
123-534	検出	筒茶碗	7.8	9.4	10.6	5.0			黒楽	
535	検出	筒茶碗	-	-		(4.6)			赤楽	
536	検出	筒向付	-	(12.4)		-	灰釉	灰釉	灰志野 大窯Ⅳ	1217
537	SK065	沓茶碗	9.5	13.6	14.5	4.6	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ 織部黒	
538	検出	沓茶碗	-	(13.8)		-	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ 織部黒	1219
539	検出	平碗	4.7	(14.6)		(4.2)	無釉	無釉	大窯Ⅲ 焼締	1216
540	検出	筒型碗	7.0	(9.8)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1218
541	SE35	天目茶碗	6.8	12.2		4.2	銅緑釉	銅緑釉		
542	SD198	皿	-	-		(8.0)	銅緑釉	銅緑釉	大窯Ⅱb	1363
543	検出	磁器碗	6.7	11.2		4.5	青磁	肥前窯 見込に染付文有		1831
124-544	SK124	鳥形水注	13.4	13.8	15.4		鉄釉	鉄釉	大窯	475
545	SE97	水注	3.0	2.0	5.1	3.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	474
546	SP1	水滴	2.4	2.2	5.1	4.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	58
547	SD049	水滴	2.4	2.6	5.2	3.4	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	56
548	SD214	水滴	2.5	2.6	5.6	3.4	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	57
549	検出	蓋	-	6.6				長石釉	大窯Ⅴ	42
550	検出	鳥形水滴	-	-				鉄釉	大窯Ⅴ	1247
551	検出	魚形水滴	-	-				灰釉	登窯Ⅰ	1252
552	検出	大黒形水滴	-	-				灰釉	登窯Ⅰ	1249
553	検出	魚形水滴	-	-				灰釉	登窯Ⅰ	1248
554	SK396	猿形水滴	4.5					鉄釉	大窯Ⅴ	55
125-555	SK274	土師質犬	-	-						455
556	検出	土師質犬	-	-						448
557	SK250	土師質犬	3.5							457
558	検出	土師質犬	-	-						1257
559	検出	土師質犬	-	-						1258
560	検出	備前壺	-	-	6.1	(4.2)			備前窯、16C後半	1365
561	検出	備前壺	-	-	7.1	(4.8)			備前窯、16C後半	1366
562	検出	備前壺	-	-	6.6	(5.0)			備前窯、16C後半	1367
563	SK008	搦鉢	-	29.6		-			備前窯	1370
564	検出	搦鉢	-	-		-			備前窯	1369
565	SD161	鉢	6.0	(14.2)	(18.6)	(11.8)			備前窯	1371
566	検出	鶯口壺	-	5.4	11.2	-			丹波窯	53
126-567	検出	白磁玉縁碗	-	(13.0)		-				1380
568	検出	白磁玉縁碗	-	(13.6)		-				1382
569	検出	白磁玉縁碗	-	(16.6)		-				1383
570	検出	白磁玉縁碗	-	(17.8)		-				1385
571	検出	白磁玉縁碗	-	(16.8)		-				1384
572	検出	白磁	-	(16.8)		-				1387
573	検出	白磁	-	-		(5.4)				1388
574	SD164	白磁	-	-		(5.4)				1390
575	検出	白磁口ハゲ碗	-	(16.0)		-				1550
576	SD164	白磁口ハゲ碗	-	(14.6)		-				1412
577	SD108	白磁口ハゲ碗	-	(14.6)		-				1417
578	検出	白磁口ハゲ碗	-	(11.8)		-				1416
579	検出	白磁口ハゲ碗	-	(11.0)		-				1433
580	SD133	白磁口ハゲ碗	-	(10.4)		-				1414
581	検出	白磁端反皿	2.8	(9.2)		(4.2)				1418
582	SD200	白磁端反皿	2.2	(11.4)		(6.4)				1423

図版番号	遺 構	器 種	法 量(cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
583	検出	白磁端反皿	2.7	(12.2)		(7.2)			E-1422	
584	検出	白磁端反皿	—	(13.0)		—			1426	
585	検出	白磁端反皿	—	(13.4)		—			1424	
586	検出	白磁端反皿	3.7	(13.2)		(7.6)			1421	
127-587	検出	白磁口ハゲ皿	2.8	(9.6)		(6.0)			1552	
588	検出	白磁	2.5	(9.0)		(2.6)			1547	
589	SD09	白磁皿	2.6	(11.0)		(3.2)			1546	
590	検出	白磁	—	—		4.0			1549	
591	検出	白磁	—	—		4.2			1400	
592	検出	白磁	—	—		3.6			1401	
593	SD133	青白磁劃花文椀	—	—		(3.0)			1431	
594	SE40	白磁	—	(10.4)		—			1410	
595	SE40	白磁	—	11.0		—			1411	
596	SD09	青白磁	—	(13.2)		—			1435	
597	検出	青白磁菊花皿	—	(12.6)		—			1428	
598	検出	青白磁菊花皿	—	—		4.4			1429	
599	検出	青白磁合子身	1.4	(6.8)		(6.3)			1441	
600	検出	青白磁合子身	—	(3.6)		—			1440	
601	検出	白磁	1.7	(4.0)		(3.2)			1408	
602	検出	青白磁合子蓋	—	(5.9)		—			1436	
603	検出	白磁合子蓋	—	(6.2)		—			1409	
604	検出	青白磁合子蓋	—	(7.3)		—			1437	
605	検出	白磁端反皿	—	—		2.9			1448	
606	SD09	青白磁	—	—		(6.1)			1447	
607	検出	青白磁劃花雲気文瓶	—	—		—			1444	
608	検出	青白磁合子蓋	—	(9.0)		—			1439	
609	検出	青白磁合子蓋	—	(8.8)		—			1438	
610	SK169	白磁	—	(9.0)		—			1402	
611	SD09	青白磁鉢	—	(23.2)		—			1432	
612	SD164	青磁皿	2.7	(10.3)		(3.8)			1571	
613	SD133	青磁	2.4	(12.1)		(6.5)			1404	
614	検出	青磁	—	(10.6)		—			1392	
615	SD133	青磁	—	—		(5.2)			1405	
616	SD09	青磁	—	(12.8)		—			1393	
617	検出	青磁	—	—		(7.2)			1403	
618	SD09	青磁	—	—		(4.0)			1394	
128-619	SD133	青磁蓮弁文	—	(14.8)		—			1453	
620	SE44	青磁蓮弁文	—	(14.8)		—			1454	
621	SD133	青磁蓮弁文	—	(13.6)		—			1452	
622	SD161	青磁	—	(13.0)		—			1461	
623	検出	青磁蓮弁文椀	—	—		(4.4)			1462	
624	SD133	青磁蓮弁文椀	—	(16.6)		—			1450	
625	SD76	青磁蓮弁文	—	(16.2)		—			1455	
626	検出	青磁蓮弁文	—	(14.6)		—			1456	
627	SD133	青磁蓮弁文椀	—	(12.6)		—			1449	
628	SD133	青磁	—	—		(5.4)			1451	
629	SD133	青磁	—	(14.4)		—			1457	
630	SD133	青磁劃花文椀	—	(15.8)		—			1458	
631	検出	青磁蓮弁文椀	—	(16.4)		—			1557	
632	検出	青磁	—	(13.2)		—			1459	
633	検出	青磁蓮弁文椀	—	(14.2)		—			1460	
634	検出	青磁	—	—		(6.0)			1465	
635	検出	青磁	—	—		(5.1)			1464	
129-636	SD108	青磁劃花文椀	7.0	(16.0)		(4.8)			1466	
637	SD108	白磁	—	(14.6)		—			1399	
638	SK360	青磁劃花文椀	—	—		(5.2)			1467	
639	SD133	青磁劃花文椀	—	—		(6.0)			1468	
640	SD133	青磁椀	—	(17.4)		—			1469	
641	SD97	青磁椀	—	(16.8)		—			1471	
642	SE45	青磁椀	—	(16.6)		—			1472	

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
643	SD205	青磁劃花文椀	—	(15.6)	—	—			E-1561	
644	検出	青磁椀	8.2	16.2	—	5.4			1476	
645	検出	青磁椀	—	(13.6)	—	—			1475	
646	検出	青磁杯	3.1	(8.8)	—	(3.6)			1490	
130-647	SD28	青磁蓮弁文椀	7.0	(12.2)	—	(4.6)			1477	
648	SK39	青磁稜花皿	3.2	(11.2)	—	(5.4)			1481	
649	SD161	青磁稜花皿	—	(11.6)	—	—			1482	
650	検出	青磁稜花皿	3.5	(11.8)	—	(5.4)			1480	
651	検出	青磁皿	1.9	(9.4)	—	(5.0)			1479	
652	検出	青磁	—	(12.0)	—	—			1483	
653	SD133	青磁	—	—	—	(3.6)			1485	
654	SK139	青磁	—	—	—	—			1484	
655	検出	青磁盤	—	(18.9)	—	—			1488	
656	検出	青磁盤	—	(19.0)	—	—			1486	
657	検出	青磁盤	—	(26.0)	—	—			1487	
131-658	検出	青磁盤	5.2	(21.9)	—	(10.2)			1489	
659	検出	黄釉盤	—	20.6	—	—		中国	1493	
660	SD133	緑釉盤	—	(22.0)	—	—		中国	1495	
661	検出	雑釉皿	—	(11.4)	—	(4.4)		朝鮮	1492	
662	検出	雑釉茶椀	—	—	—	(5.5)		朝鮮	1491	
663	SK530	雑釉德利	—	—	(15.1)	(12.0)		朝鮮	1494	
664	SK530	雑釉德利	—	—	(17.5)	—		朝鮮	1496	
132-665	SD27	青花皿	2.4	(10.2)	—	(2.6)			1501	
666	SK96	青花皿	—	—	—	(3.4)			1531	
667	SD200	青花皿	2.5	(10.8)	—	(3.0)			1506	
668	SD27	青花	—	—	—	(3.4)			1532	
669	SD162	青花	2.5	(10.0)	—	(3.0)			1502	
670	SK461	青花	—	—	—	(3.2)			1533	
671	検出	青花皿	1.9	(9.2)	—	(6.0)			1535	
672	検出	青花皿	2.4	(9.2)	—	(4.0)			1511	
673	検出	青花皿	—	(10.6)	—	—			1534	
674	検出	青花皿	3.5	(11.8)	—	(6.8)			1543	
675	検出	青花皿	—	(12.0)	—	—			1538	
676	SD43	青花皿	2.7	(14.2)	—	(8.8)			1539	
677	検出	青花皿	2.8	(11.4)	—	(6.2)			1536	
678	SD214	青花皿	2.4	(12.4)	—	(6.8)			1497	
679	検出	青花皿	2.6	(12.0)	—	(5.8)			1537	
680	検出	青花皿	2.7	(14.8)	—	(8.8)			1540	
681	検出	青花皿	—	—	—	(8.8)			1541	
682	検出	青花皿	—	—	—	(6.8)			1542	
683	検出	青花皿	—	—	—	(7.8)			1544	
133-684	SK200	青花皿	—	—	—	(6.2)			1503	
685	検出	青花	—	—	—	(8.8)			1509	
686	SD49	青花皿	—	—	—	(8.8)			1504	
687	検出	青花皿	—	—	—	(8.2)			1514	
688	SD24	青花皿	—	—	—	—			1505	
689	検出	青花皿	—	—	—	(9.8)			1545	
690	SK139	青花	—	—	—	(10.0)			1508	
691	SD27	青花椀	—	(16.2)	—	—			1498	
692	SD170	青花椀	—	(13.4)	—	—			1499	
693	SE44	青花椀	—	(11.4)	—	—			1525	
694	検出	青花椀	—	(12.0)	—	—			1526	
695	検出	青花椀	—	(10.2)	—	—			1529	
696	検出	青花杯	4.7	(8.4)	—	(3.6)			1528	
697	SD76	青花椀	—	(10.0)	—	—			1500	
698	SE82	青花椀	—	—	—	(5.4)			1515	
699	検出	青花椀	—	—	—	(5.4)			1529	
700	検出	青花	—	—	—	(4.4)			1516	
701	検出	青花皿	—	—	—	(4.6)			1517	
702	検出	青花	—	—	—	(4.0)			1513	

図版番号	遺 構	器 種	法 量 (cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
703	SD200	青花	—	(7.0)		—				E-1518
704	SD200	青花杯	—	—		(2.6)				1519
705	検出	青花小杯	—	—		(2.4)				1530
134-706	SE17	青花鉢	—	(27.6)		—				1522
707	検出	青花大皿	—	(30.4)		—				1523
708	SK26	青花鉢	—	(29.6)		—				1520
709	検出	青花鉢	—	—		(12.0)				1521
710	SK139	青花	—	—		—				1524
135-711	SK375	錆塗茶碗	6.9	(10.2)		(3.6)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	1135
712	SK375	錆塗茶碗	6.9	(10.6)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	1136
713	SK375	腰錆茶碗	5.6	(10.8)		(5.2)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅶ	1134
714	SK375	碗	6.0	(9.2)		(4.6)	灰釉	灰釉	登窯Ⅶ	1138
715	SK375	碗	6.0	(8.6)		(4.6)	灰釉	灰釉		1139
716	SK375	碗	—	—		(4.8)	灰釉	灰釉		1137
717	SK375	御深井輪禿皿	2.1	(12.4)		(7.2)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ、煤が内外面に付着	1142
718	SK375	御深井輪禿皿	2.8	(11.6)		(6.2)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ、煤が内外面に付着	1143
719	SK375	御深井輪禿皿	—	—		(6.2)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ、煤が内外面に付着	1144
720	SK375	御深井輪禿皿	—	—		(6.8)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ、煤が内外面に付着	1145
721	SK375	御深井輪禿皿	—	—		(6.8)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ、煤が内外面に付着	1146
722	SK375	皿	2.4	(13.0)		(6.8)	灰釉	灰釉	登窯Ⅲ	1140
723	SK375	笠原鉢	—	(35.0)		—	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ	1147
724	SK375	播鉢	—	(34.0)		—	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	1148
725	SK375	播鉢	—	(32.4)		—	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅵ	1149
726	SK375	火鉢	5.9	(21.0)		(15.0)			常滑窯 江戸	1151
727	SK375	火鉢	6.6	(25.0)		(15.6)			常滑窯 江戸	1150
728	SK375	土師器皿	1.4	3.4						1152
729	SK375	土師器皿	1.1	3.4						1153
730	SK375	土師器皿	1.1	3.2						1154
731	SK375	土師器皿	1.1	3.8		2.9				1155
732	SK375	磁器碗	—	(6.2)		—			肥前窯	1158
733	SK375	磁器碗	—	(7.0)		—			肥前窯	1157
734	SK375	磁器碗	5.6	(10.6)		(4.4)			肥前窯	1156
136-735	SD49	天目茶碗	—	—		(4.4)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ a	999
736	SD49	天目茶碗	—	—		(4.2)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	1001
737	SD49	内禿皿	2.3	(10.0)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱ b	1002
738	SD49	徳利	—	—	12.4	(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1017
739	SD49	端反皿	—	(10.6)		—	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1005
740	SD49	丸皿	—	(8.6)		—	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1011
741	SD49	重圈皿	1.4	(10.0)		(4.2)	無釉	無釉	大窯	1019
742	SD49	水注	—	—	8.4	(6.6)	鉄釉	鉄釉	大窯	1013
743	SD49	片口鉢	—	(12.0)	11.9	—	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1023
744	SD49	天目茶碗	—	(11.8)		—	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	1000
745	SD49	丸皿	2.7	(12.4)		(7.1)	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	1006
746	SD49	鉄絵丸皿	—	(11.4)		—	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	1008
747	SD49	鉄絵丸皿	—	(12.2)		—	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	1007
748	SD49	鉄絵折縁皿	2.5	(12.2)		(7.0)	灰釉	灰釉	登窯Ⅰ	1010
749	SD49	壺	—	—		(10.0)	鉄釉	鉄釉	登窯	1018
750	SD49	鉢	7.7	(30.8)		(17.2)	灰釉	灰釉	登窯	956
751	SD49	鉢	7.3	(16.3)		(9.2)	灰釉	灰釉	登窯	958
137-752	SD49	丸碗	—	(14.4)		—	灰釉	灰釉	呉須絵有	928
753	SD49	丸碗	—	(11.6)		—	灰釉	灰釉		931
754	SD49	丸碗	—	(10.8)		—	灰釉	灰釉		927
755	SD49	丸碗	—	—		(4.3)	灰釉	灰釉		926
756	SD49	御室茶碗	—	—		(5.6)	灰釉	灰釉		925
757	SD49	腰錆碗	6.8	(9.8)		(5.0)	灰釉	鉄釉		919
758	SD49	腰錆碗	5.8	(10.0)		(4.8)	灰釉	鉄釉		921
759	SD49	御室茶碗	6.7	(10.6)		(5.8)	灰釉	灰釉		930
760	SD49	御室茶碗	6.5	(9.8)		(4.6)	灰釉	灰釉		929
761	SD49	碗	6.7	(10.2)		(5.2)	灰釉	灰釉		923
762	SD49	碗	5.7	(10.2)		(3.8)	灰釉	鉄釉		922

図版番号	遺 構	器 種	法 量(cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
763	SD49	椀	—	(11.0)		—	灰釉	灰釉		E-932
764	SD49	腰鎗椀	—	(10.0)		—	灰釉	灰釉		920
765	SD49	椀	—	(10.2)		—	灰釉	灰釉		915
766	SD49	尾呂茶椀	—	(11.2)		—	鉄釉	鉄釉		935
767	SD49	尾呂茶椀	8.2	(10.8)		5.2	鉄釉	鉄釉		936
768	SD49	尾呂茶椀	—	—		5.3	鉄釉	鉄釉		934
769	SD49	天目茶椀	—	(10.2)		—	鉄釉	鉄釉		933
770	SD49	よろい茶椀	—	—		3.9				918
771	SD49	小椀	4.0	(7.6)		(3.6)	灰釉	灰釉		914
772	SD49	小椀	4.5	(8.2)		(3.4)	灰釉	灰釉		916
138-773	SD49	丸皿	2.6	(12.0)		(6.4)	灰釉	灰釉		944
774	SD49	輪禿皿	2.9	12.7		6.1	灰釉	灰釉		945
775	SD49	丸皿	3.0	(11.8)		(6.3)	灰釉	灰釉		946
776	SD49	丸皿	2.8	12.5		6.1	灰釉	灰釉		947
777	SD49	丸皿	3.2	(13.6)		(6.7)	灰釉	灰釉		948
778	SD49	摺絵皿	2.8	(13.0)		(7.2)	灰釉	灰釉		949
779	SD49	摺絵皿	3.0	(13.2)		(7.6)	灰釉	灰釉		952
780	SD49	摺絵皿	2.6	(13.4)		(7.6)	灰釉	灰釉		953
781	SD49	摺絵皿	2.7	(13.0)		(7.0)	灰釉	灰釉		951
782	SD49	摺絵皿	2.9	(12.4)		(7.2)	灰釉	灰釉		950
783	SD49	摺絵皿	—	—		(6.8)	灰釉	灰釉		954
784	SD49	摺絵皿	—	(11.1)		—	灰釉	灰釉		943
785	SD49	丸皿	—	(12.6)		—	灰釉	灰釉		955
786	SD49	灯明皿	1.6	7.8		4.7	灰釉	灰釉		942
787	SD49	灯明皿	1.6	7.4		4.4	灰釉	灰釉		937
788	SD49	灯明皿	2.1	(8.6)		(5.3)	灰釉	灰釉		938
789	SD49	灯明皿	1.9	9.0		4.4	灰釉	灰釉		940
790	SD49	灯明皿	1.8	9.3		4.2	灰釉	灰釉		941
791	SD49	乗燭	1.7	(11.0)		(5.4)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅷ	975
792	SD49	乗燭	4.6	5.3	6.6	4.6	鉄釉	鉄釉		973
793	SD49	乗燭	2.4	(9.0)		(4.6)	灰釉	灰釉		974
139-794	SD49	鉢	4.1	(19.8)		(9.0)	灰釉	灰釉		957
795	SD49	笠原鉢	4.3	(21.8)		(10.6)	灰釉	灰釉		960
796	SD49	鉢	—	(22.0)		—	鉄釉	鉄釉		963
797	SD49	火鉢	—	—		10.8	鉄釉	鉄釉		965
798	SD49	半胴甕	—	(18.8)		(12.6)	鉄釉	鉄釉		972
799	SD49	香炉	—	(10.6)		—	灰釉	灰釉		969
800	SD49	香炉	—	—		(5.6)	灰釉	灰釉		968
801	SD49	火入れ	—	(10.1)		—	鉄釉	鉄釉		970
802	SD49	茶入れ	—	—	7.9	—	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅲ	1012
803	SD49	釜	2.0	7.8	9.9			鉄釉		971
804	SD49	煙硝播	—	—	—	7.4	鉄釉	鉄釉		966
805	SD49	甕	—	—	—	(7.7)	鉄釉	鉄釉		967
140-806	SD49	播鉢	—	(33.0)		—	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	979
807	SD49	播鉢	—	(33.2)		—	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅵ	978
808	SD49	焙烙	—	(29.0)						997
809	SD49	焙烙	—	(30.6)						998
810	SD49	土師器皿	1.6	(9.0)		(5.8)			底部切糸痕有	981
811	SD49	土師器皿	1.7	(9.0)		(5.4)			底部切糸痕有	982
812	SD49	土師器皿	1.9	(9.8)		(6.0)			底部切糸痕有	983
813	SD49	土師器皿	1.6	(9.8)		(5.8)			底部切糸痕有	984
814	SD49	土師器皿	1.8	(8.2)		(4.6)			底部切糸痕有	985
815	SD49	土師器皿	1.7	(9.0)		(5.0)			底部切糸痕有	986
816	SD49	土師器皿	1.8	(8.8)		(4.6)			底部切糸痕有	987
817	SD49	磁器椀	4.5	(8.9)		(3.5)			肥前窯	995
818	SD49	磁器椀	—	(9.0)		—			肥前窯	988
819	SD49	磁器椀	—	—		3.7			肥前窯	989
820	SD49	磁器小椀	—	(6.8)		—			肥前窯	992
821	SD49	磁器椀	—	(8.8)		—			肥前窯	990
822	SD49	磁器椀	—	(9.2)		—			肥前窯	991

図版番号	遺 構	器 種	法 量 (cm)				釉 葉・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
823	SD49	磁器仏飯具	6.5	(8.0)		4.1			肥前窯	E-994
824	SD49	磁器皿	2.9	(13.3)		(8.3)			肥前窯	993
141-825	SD11	御室茶碗	-	(11.8)		-	灰釉	灰釉	登窯V, 18C前半	1160
826	SD11	御室茶碗	6.2	(9.5)		(4.4)	灰釉	灰釉	登窯V, 18C前半	1161
827	SD11	尾呂茶碗	-	-		5.2	鉄釉	鉄釉	登窯IV, 18C初	1159
828	SD11	小杯	-	(6.7)		-	灰釉	灰釉	登窯V, 18C前半	1162
829	SD11	小杯	-	(6.6)		-	灰釉	灰釉	登窯V, 18C前半	1163
830	SD11	鉄絵皿	2.5	(11.6)		6.0	長石釉	長石釉	登窯I	1165
831	SD11	菊皿	4.0	(13.6)		6.6	灰釉 銅緑釉	灰釉 銅緑釉	登窯III	1167
832	SD11	丸皿	-	(11.7)		-	灰釉	灰釉	登窯II・III	1164
833	SD11	折縁鉢	-	(19.4)		-	灰釉	灰釉		1166
834	SD11	足付鉢	3.3	(18.6)		(14.0)	灰釉	灰釉	登窯II	1173
835	SD11	磁器皿	3.2	13.2		8.2			18C後半 肥前窯	1175
836	SD11	水注	-	(5.0)		-		鉄釉	登窯III	1168
837	SD11	香炉	9.0	(13.6)		(8.4)	灰釉	灰釉	登窯III	1169
838	SD11	笠原鉢	-	(34.8)		-	灰釉	灰釉	登窯II	1170
839	SD11	播鉢	-	(33.8)		-	鉄釉	鉄釉	登窯V	1171
840	SD11	内耳鍋	-	(34.8)						1174
841	SD11	土錘								1176
142-842	SK305	丸皿	-	-		(12.6)	灰釉	灰釉	登窯II・III	336
843	SK305	皿	-	-		(5.4)	灰釉	灰釉	登窯III	337
844	SK305	輪禿皿	-	-		(5.8)	灰釉	灰釉	登窯II	338
845	SK305	折縁鉢	-	(28.6)		-	灰釉	灰釉	登窯II	339
846	SK305	鉢	-	-		(17.0)	灰釉	灰釉	登窯II	340
847	SK305	丸碗	-	13.6		-	鉄釉	鉄釉	登窯IV 18C初	319
848	SK305	丸碗	-	-		(6.0)	灰釉	灰釉	17C末~18C初	325
849	SK305	碗	-	-		(5.6)	灰釉	灰釉	17C末~18C初	358
850	SK305	碗	-	-		(4.8)	鉄釉	鉄釉	17C末~18C初	359
851	SK305	丸碗	-	-		(4.4)	灰釉	灰釉	登窯VII, 18C末	324
852	SK305	碗	-	-		4.1	灰釉	灰釉	18C代?	369
853	SK305	丸碗	-	(11.0)		-	灰釉	灰釉	登窯VI, 18C中	326
854	SK305	丸碗	-	11.1		-	灰釉	灰釉	登窯VII, 18C末	320
855	SK305	碗	-	-		(4.6)	灰釉	灰釉	18C末	361
856	SK305	碗	-	-		(3.5)	灰釉	灰釉	18C末	362
857	SK305	碗	-	-		(4.8)	灰釉	灰釉	18C末	360
858	SK305	丸碗	-	10.4		-	灰釉	灰釉	18C末	321
859	SK305	筒形碗	-	9.8	-	-	灰釉	灰釉	18C末	323
860	SK305	筒形碗	-	(10.0)		-	灰釉	灰釉	18C末	329
861	SK305	丸皿	-	(13.0)		-	灰釉	灰釉	18C末	334
862	SK305	丸皿	-	(17.0)		-	灰釉	灰釉	18C末	335
143-863	SK305	丸碗	-	(12.0)		-	灰釉	灰釉	18C末 呉須の笹文	363
864	SK305	丸碗	-	(11.0)		-	灰釉	灰釉	18C末 上絵付	365
865	SK305	筒形碗	-	(9.4)		-	灰釉	灰釉	18C末 上絵付	328
866	SK305	筒形碗	-	(9.4)		-	灰釉	灰釉	18C末 上絵付	366
867	SK305	柳茶碗	6.0	12.4		4.6	灰釉	灰釉	19Cはいる	322
868	SK305	丸碗	-	(11.2)		-	灰釉	灰釉	19C	364
869	SK305	丸碗	(5.5)	(9.4)		(4.4)	灰釉	灰釉	19C	327
870	SK305	筒形よろい茶碗	-	(7.4)		-	鉄釉	鉄釉	18C末	368
871	SK305	壺	-	-		(5.4)		灰釉	18C代	349
872	SK305	捏鉢	-	(13.8)		-	灰釉	灰釉	18C後半	351
873	SK305	鉢	-	(17.4)		-	鉄釉	鉄釉	18C後半	347
874	SK305	半胴甕	-	(10.0)		-	鉄釉	鉄釉	18C後半	348
875	SK305	土瓶	-	-		-	鉄釉	鉄釉	登窯II	356
876	SK305	爛德利	15.7	7.2		8.4	鉄釉 炭釉	鉄釉 炭釉	18C前半	379
144-877	SK305	播鉢	-	(27.0)		-	鉄釉	鉄釉	18C第4四半期	380
878	SK305	播鉢	-	(30.6)		-	鉄釉	鉄釉	18C第4四半期	381
879	SK305	碗	-	(10.2)		-	鉄釉	鉄釉	19C	367
880	SK305	火入れ	7.5	9.6		7.8		鉄釉	19C 上絵付	355
881	SK305	小壺	-	(9.8)		-	灰釉	灰釉		373
882	SK305	香炉	3.6	(6.6)		2.5		長石釉		372

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
883	SK305	落し蓋	1.8	7.4		3.7	無釉	無釉		E-370
884	SK305	茶入れ	—	—	5.1	(2.4)		鉄釉	登窯 江戸	341
885	SK305	仏飯具	—	—	—	(4.4)	灰釉	灰釉	19C	342
886	SK305	香合	4.0	6.4		4.7	灰釉	灰釉	19C	346
887	SK305	把手付餌鉢	3.3	(5.3)		(4.5)	灰釉	灰釉	江戸	345
888	SK305	乗燭	2.6	5.8		3.1	灰釉	灰釉	19C	344
889	SK305	十能					鉄釉	鉄釉	19C	357
890	SK305	円板					鉄釉	鉄釉		404
891	SK305	円板					鉄釉	鉄釉		405
892	SK305	円板					鉄釉	鉄釉		406
145-893	SK305	德利	16.2	(2.4)		(5.8)		鉄釉	19C	378
894	SK305	德利	—	—		—		鉄釉	19C	376
895	SK305	德利	—	—		(6.0)		鉄釉	19C	377
896	SK305	德利	—	—	10.8	(6.0)		鉄釉	19C	375
897	SK305	德利	—	—	8.8	5.4	灰釉	灰釉	19C	374
898	SK305	火鉢	—	(27.0)		—		鉄釉	19C	354
899	SK305	捏鉢	—	—		(12.8)	灰釉	灰釉	19C	353
900	SK305	捏鉢	—	—		(12.2)	灰釉	灰釉	19C	352
146-901	SK305	丸椀	—	(9.0)		—	染付	染付	19C初	383
902	SK305	丸椀	—	(9.8)		—	染付	染付	19C初	384
903	SK305	白磁端反皿	3.0	11.8		5.6			明末	388
904	SK305	輪禿丸皿	2.8	14.6		8.2	染付	染付	19C初	385
905	SK305	輪禿丸皿	3.5	14.0		7.4	染付	染付	18C後半	386
906	SK305	土師器皿	1.5	(9.0)		(5.0)				403
907	SK305	人形	—							401
908	SK305	人形	—							402
909	SK305	火鉢	—	(16.2)	20.6	—				390
910	SK305	火鉢	—	(32.2)	23.9	—				391
911	SK305	甕	—	(19.4)		—			18C後半	392
147-912	SK305	火鉢	12.1	(33.2)		(20.2)				389
913	SK305	内耳鍋	—	18.8						398
914	SK305	内耳鍋	—	30.2						400
915	SK305	鍋	19.0	(31.8)		(14.4)				396
916	SK305	甕	—	(38.6)		—				393
148-917	SK139	丸椀	—	9.4		—			18C末 上絵付	274
918	SK139	丸椀	—	9.2		—			18C末 上絵付	275
919	SK139	筒形小椀	—	—		4.4		染付	18C末	276
920	SK139	丸皿	3.8	(13.8)		(6.6)	染付	染付	18C末	270
921	SK139	丸皿	3.7	(13.8)		(6.6)	染付	染付	18C末	271
922	SK139	丸皿	3.9	13.2		6.4	染付	染付	18C末	272
923	SK139	丸椀	—	(10.5)		—		藍釉		257
924	SK139	丸椀	5.0	(9.8)		(3.8)		藍釉	19C (50年代)	255
149-925	SK139	広東茶椀	6.5	(11.2)		(6.0)	染付	染付	見込 五弁花? 19C初	249
926	SK139	広東茶椀	6.5	(11.4)		(6.0)	染付	染付	軸ハゲあり 見込舟 19C初	247
927	SK139	広東茶椀	6.9	(11.6)		(6.0)	染付	染付	見込 舟 19C初	248
928	SK139	広東茶椀	6.5	(11.6)		(6.2)	染付	染付	翻深井? 見込 花 19C初	250
929	SK139	広東茶椀	6.2	(11.4)		(6.0)	染付	染付	見込 五弁花	251
930	SK139	広東茶椀	5.8	(10.8)		(5.4)	染付	染付	見込 五弁花 19C初	252
931	SK139	広東茶椀	5.6	(9.8)		(5.0)	染付	染付	見込 五弁花 19C	254
932	SK139	広東茶椀	5.8	(10.2)		(5.2)	染付	染付	見込 五弁花 19C後半	253
933	SK139	鉄絵輪禿皿	—	—		6.2	染付	染付	18C終	273
150-934	SK139	筒形椀	—	(7.4)		—	染付	染付	19C	258
935	SK139	筒形椀	5.6	(7.0)		(3.0)	染付	染付	19C	259
936	SK139	筒形椀	5.8	(6.8)		(3.0)	染付	染付	19C	260
937	SK139	丸椀	6.0	10.5		4.3	染付	染付	19C末	261
938	SK139	端反小椀	5.3	9.6		4.1	染付	染付	19C末	262
939	SK139	端反小椀	4.6	9.8		3.8	染付	染付		267
940	SK139	端反小椀	5.1	9.5		3.7	染付	染付	19C末	264
941	SK139	小椀	5.1	9.2		3.8	染付	染付		266
942	SK139	端反小椀	4.8	9.0		4.0	染付	染付	19C末	265

図版番号	遺 構	器 種	法 量 (cm)				釉薬・調整等		備 考	登録 番号
			器 高	口 径	胴 径	底 径	内 面	外 面		
943	SK139	小椀	5.4	(9.8)		(4.1)	染付	染付		E-263
944	SK139	小丸椀	4.7	8.6		4.2	染付	染付		268
945	SK139	小丸椀	3.3	(9.2)		(5.0)	染付	染付	幕末	269
151-946	SK139	德利	-	-	9.4	6.8		鉄釉	19C	282
947	SK139	德利	16.5	(1.8)		5.8		灰釉	19C	283
948	SK139	壺	-	-		(11.8)		鉄釉		287
949	SK139	鉢	-	(14.6)		-	灰釉	灰釉	19C	279
950	SK139	片口捏鉢	8.0	(16.4)		(6.0)	灰釉	灰釉	19C	280
951	SK139	捏鉢	-	(25.6)		(13.8)	灰釉	灰釉	19C	281
952	SK139	鍋	-	(22.0)		-	鉄釉	鉄釉	幕末	292
953	SK139	折縁鉢	-	(19.6)		-	灰釉	灰釉	19C	278
954	SK139	馬目皿	-	25.4		-			19C	277
955	SK139	土瓶	-	(7.6)		-				286
152-956	SK139	甕	-	(19.2)	-	-	鉄釉	鉄釉	幕末	290
957	SK139	甕	-	-	-	(26.0)	鉄釉	鉄釉	幕末	291
958	SK139	瓶掛け	-	-		-	ルス釉	ルス釉	19C	284
959	SK139	甕	-	-	-	(21.0)	鉄釉	鉄釉	幕末 墨書有	289
960	SK139	把手付餌入れ	2.4	5.1		4.8	灰釉	灰釉	墨書有	298
961	SK139	乗燭	2.2	(4.6)		(2.4)	灰釉	灰釉	幕末	301
962	SK139	蓋物の身	-	4.0		-		灰釉		296
963	SK139	甕	-	-		9.4	灰釉	灰釉	幕末	288
964	SK139	德利	-	(3.8)	-	-	鉄釉	鉄釉	19C	285
965	SK139	仏飯具	-	-		4.0	灰釉	灰釉	幕末	293
966	SK139	小壺	-	-	4.1	2.9		灰釉		297
967	SK139	蓋	-	-	10.2			鉄釉	幕末	294
968	SK139	蓋	1.1	(8.2)				灰釉	幕末	295
153-969	SK139	磁器水滴	2.7							299
970	SK139	磁器水滴	-							300
971	SK139	磁器紅皿	0.9	(2.3)		(0.6)			19C	304
972	SK139	磁器紅皿	1.2	(4.6)		(1.6)			19C	303
973	SK139	磁器紅皿	2.4	(4.8)		(2.2)			19C	302
974	SK139	円板					灰釉	灰釉	椀片	306
975	SK139	磁器円板							壺片	307
976	SK139	円板					鉄釉	鉄釉	すりばち片	308
977	SK139	円板					鉄釉	鉄釉	甕片	309
978	SK139	円板					鉄釉	鉄釉	甕片	310
979	SK139	人形	3.0						恵比須	311
980	SK139	内耳鍋	-	32.6						313
981	SK139	内耳鍋	-	43.8						312
982	SK139	蚊いぶし	20.7			15.9				314
154-983	SK139	七輪	-	(20.6)		(17.2)				315
984	SK139	蚊いぶし	30.0	(21.0)		(16.0)				316
155-985	検出	瓦質風呂	-	(27.6)	-	-				1374
986	SD133	瓦質風呂	-	(25.4)	-	-				1373
987	SD108	瓦質風呂	-	(31.8)	-	-				1814
988	SD108	瓦質風呂	-	-	(43.2)	-				1815
156-989	SD133	瓦質鉢	9.6	(40.4)		(37.0)				1372
990	SD108	瓦質鉢	11.8	35.2		27.6				1801
991	検出	瓦質風呂	(24.0)	30.2	34.8	18.0				
992	SD108	瓦質風呂	-	-		-				1378
993	SD108	瓦質風呂	-	-		-				1377

図版番号	登録番号	器種	法 量			備 考		遺構番号
157-1	59D-W-1	椀A類	口径14.0cm	底径7.2cm	器高8.6cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
2	59D-W-2	椀A類	口径14.4cm	底径8.0cm	器高9.4cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
3	59D-W-3	椀A類	口径13.2cm	底径6.6cm	器高8.6cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
4	59D-W-4	椀A類	口径15.6cm	底径7.4cm	器高7.4cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
5	59D-W-5	椀A類	口径11.8cm	底径4.8cm	器高6.4cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
6	59D-W-6	椀A類	口径12.4cm	底径6.0cm	器高6.2cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
7	59D-W-7	椀B類	口径12.2cm	底径6.4cm	器高5.0cm	外面、内面黒色漆	横木取	SD177
8	59D-W-8	椀B類	口径13.2cm	底径4.6cm	器高7.0cm	外面、内面黒色漆	横木取	SD177
9	59D-W-9	椀B類	口径12.8cm	底径6.0cm	器高6.0cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
10	59D-W-10	椀B類	口径12.4cm	底径6.0cm	器高4.2cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
11	59D-W-11	椀B類	口径12.6cm	底径6.4cm	器高4.0cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
12	59D-W-12	椀B類	口径13.0cm	底径6.2cm	器高5.1cm	外面黒色漆、内面赤色漆	横木取	SD177
13	59D-W-13	椀B類	口径12.8cm	底径5.4cm	器高4.0cm	外面、内面赤色漆、外面底部黒色漆	横木取	SD177
14	59D-W-14	椀B類	口径10.2cm	底径5.8cm	器高1.8cm	外面、内面赤色漆、外面底部黒色漆	横木取	SD177
15	59D-W-15	香合身	口径6.4cm	底径6.4cm	器高2.3cm	外面、内面黒色漆	——	SD177
16	59D-W-16	香合蓋	直径5.8cm	厚さ0.7cm		外面、内面黒色漆	——	SD177
17	59D-W-17	曲物桶(柄杓)	口径13.4cm	底径13.4cm	器高6.0cm	底板に桜皮が3ヶ所あり	柁目板	SD177
18	59D-W-18	曲物桶	口径13.8cm	底径13.8cm	器高8.0cm	底板側面に穴が7ヶ所あり	柁目板	SD177
158-19	59D-W-19	曲物桶(柄杓)	口径11.8cm	器高9.3cm	長さ14.6cm	底板に桜皮が3ヶ所あり	柁目板	SD177
20	59D-W-20	曲物桶	口径13.4cm	底径13.4cm	器高6.5cm	底板に桜皮が4ヶ所あり	柁目板	SD177
21	59D-W-21	曲物桶	口径23.1cm	底径23.1cm	器高7.0cm	底板に孔が5ヶ所あり	柁目板	SD177
22	59D-W-22	曲物桶側板	口径19.8cm	器高5.3cm			柁目板	SD177
23	59D-W-23	曲物桶	口径13.1cm	底径14.0cm	器高7.5cm	底板に穴が8ヶ所あり	柁目板	SD177
24	59D-W-24	曲物桶底板	直径11.4cm	厚さ0.8cm			柁目板	SD177
25	59D-W-25	曲物桶底板	直径11.0cm	厚さ0.6cm		穴が12ヶ所あり	柁目板	SD177
26	59D-W-26	曲物桶底板	長さ11.7cm	幅5.0cm	厚さ0.6cm	桜皮が1ヶ所あり	柁目板	SD177
27	59D-W-27	柄杓柄部	長さ42.0cm	幅1.4cm	厚さ0.9cm	孔が1ヶ所あり	板目材	SD177
159-28	59D-W-28	曲物桶	口径7.4cm	底径7.4cm	器高4.5cm	底板に穴が2ヶ所あり	柁目板	SD177
29	59D-W-29	曲物桶底板	直径5.2cm	厚さ0.3cm		表面に傷が「コ」の字状にあり	柁目板	SD177
30	59D-W-30	曲物桶底板	直径5.2cm	厚さ0.6cm		表面に黒色漆が残存する	柁目板	SD177
31	59D-W-31	曲物桶底板	直径5.3cm	厚さ0.6cm			柁目板	SD177
32	59D-W-32	曲物桶底板	直径6.0cm	厚さ0.4cm			柁目板	SD177
33	59D-W-33	曲物桶底板	直径7.4cm	厚さ0.6cm			柁目板	SD177
34	59D-W-34	曲物桶受け台	長さ23.0cm	幅2.6cm	厚さ0.7cm	孔が全部で4ヶ所あり	板目板	SD177
35	59D-W-35	結桶側板	長さ24.4cm	幅5.8cm	厚さ0.9cm	内面に底板の、外面にタガの圧痕あり	板目板	SD177
36	59D-W-36	結桶側板	長さ22.1cm	幅4.4cm	厚さ1.4cm	内面に底板の、外面にタガの圧痕あり	板目板	SD177
37	59D-W-37	結桶底板	長さ23.9cm	幅4.6cm	厚さ1.2cm		板目板	SD177
38	59D-W-38	結桶底板	長さ29.3cm	幅6.5cm	厚さ1.2cm	接合面に竹釘が3ヶ所残り	柁目板	SD177
39	59D-W-39	結桶底板	長さ30.2cm	幅3.1cm	厚さ1.2cm	孔が多数あり	柁目板	SD177
40	59D-W-40	くさび	長さ11.8cm	幅2.7cm	厚さ1.7cm		板目板	SD177
41	59D-W-41	くさび	長さ12.4cm	幅2.9cm	厚さ1.6cm		板目板	SD177
160-42	59D-W-42	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅15.9cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶ所に2ヶづつあり	柁目板	SD177
43	59D-W-43	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅8.0cm	厚さ0.4cm	孔が2ヶ所あり	柁目板	SD177
44	59D-W-44	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅2.0cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶ所あり	柁目板	SD177
45	59D-W-45	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅4.0cm	厚さ0.2cm		柁目板	SD177
46	59D-W-46	折敷底板C類	長さ17.0cm	幅4.0cm	厚さ0.2cm		柁目板	SD177
47	59D-W-47	折敷底板C類	長さ16.4cm	幅14.8cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶ所あり	柁目板	SD177
48	59D-W-48	折敷底板C類	長さ16.4cm	幅12.1cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶ所あり	柁目板	SD177
49	59D-W-49	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅7.4cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶ所あり	柁目板	SD177
50	59D-W-50	折敷底板C類	長さ17.5cm	幅6.9cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶ所あり	柁目板	SD177
51	59D-W-51	折敷底板B類	長さ24.6cm	幅11.8cm	厚さ0.4cm	表面に微細な傷が多数あり	柁目板	SD177
52	59D-W-52	折敷底板B類	長さ23.2cm	幅2.7cm	厚さ0.5cm		柁目板	SD177
53	59D-W-53	折敷底板B類	長さ23.0cm	幅4.2cm	厚さ0.4cm		柁目板	SD177
54	59D-W-54	折敷底板B類	長さ20.4cm	幅4.0cm	厚さ0.3cm	孔が2ヶ所あり、表面に微細な傷あり	柁目板	SD177
55	59D-W-55	折敷底板C類	長さ17.8cm	幅4.3cm	厚さ0.4cm	孔が1ヶ所あり	板目板	SD177
56	59D-W-56	折敷底板B類	長さ10.2cm	幅7.2cm	厚さ0.4cm	孔が3ヶ所あり、側板の圧痕あり	柁目板	SD177
57	59D-W-57	折敷底板D類	長さ9.9cm	幅3.5cm	厚さ0.6cm	孔が1ヶ所あり	柁目板	SD177
58	59D-W-58	折敷底板D類	長さ1.8cm	幅6.4cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶ所あり	柁目板	SD177
59	59D-W-59	折敷底板A類	長さ23.4cm	幅23.0cm	厚さ1.0cm	孔が合計8ヶ所あり、側板あり	柁目板	SD177
161-60	59D-W-60	折敷底板B類	長さ32.0cm	幅6.5cm	厚さ0.6cm	桜皮が1ヶ所にあり	板目板	SD177
61	59D-W-61	折敷底板A類	長さ28.5cm	幅4.8cm	厚さ0.5cm	桜皮が合計4ヶ所にあり	板目板	SD177
62	59D-W-62	箱物	長さ8.0cm	幅24.0cm	厚さ0.8cm	孔が1ヶ所あり、穴が合計6ヶ所あり	柁目板	SD177
63	59D-W-63	箱物	長さ9.8cm	幅14.2cm	厚さ0.6cm	巨大な孔が1ヶ所あり	柁目板	SD177
64	59D-W-64	不明	長さ7.5cm	幅4.7cm	厚さ0.4cm		柁目板	SD177
65	59D-W-65	不明	長さ5.6cm	幅3.8cm	厚さ0.3cm		柁目板	SD177
66	59D-W-66	不明	長さ4.2cm	幅7.4cm	厚さ0.7cm	孔が1ヶ所あり	柁目板	SD177
67	59D-W-67	不明	長さ25.0cm	幅6.1cm	厚さ0.5cm	孔が全部で6ヶ所あり	柁目板	SD177
68	59D-W-68	不明	長さ21.8cm	幅5.1cm	厚さ0.6cm	孔が全部で4ヶ所あり	板目板	SD177
69	59D-W-69	建具類?	長さ14.6cm	幅1.6cm	厚さ0.6cm	孔が1ヶ所?穴が1ヶ所あり	板目板	SD177
70	59D-W-70	建具類?	長さ9.0cm	幅1.2cm	厚さ0.8cm	孔が多数あり	板目板	SD177

図版番号	登録番号	器種	法量			備考	遺構番号	
71	59D-W-71	建具類?	長さ33.5cm	幅1.8cm		孔が1ヶあり	—	SD177
72	59D-W-72	建具類?	長さ42.8cm	幅1.4cm	厚さ1.4cm	孔が5ヶあり	—	SD177
73	59D-W-73	建築部材	長さ20.7cm	幅7.0cm	厚さ2.6cm	方形の孔があり	—	SD177
74	59D-W-74	建築部材	長さ26.4cm	幅5.5cm	厚さ0.7cm		板目板	SD177
75	59D-W-75	建築部材	長さ12.3cm	幅8.8cm	厚さ0.7cm		板目板	SD177
162-76	59D-W-76	差歯下駄	長さ22.5cm	幅10.2cm	厚さ3.8cm		板目板	SD177
77	59D-W-77	連歯下駄	長さ21.2cm	幅3.4cm	厚さ9.4cm		板目板	SD177
78	59D-W-78	連歯下駄	長さ11.8cm	幅9.7cm	厚さ3.9cm		板目板	SD177
79	59D-W-79	連歯下駄	長さ11.3cm	幅7.2cm	厚さ2.9cm		板目板	SD177
80	59D-W-80	連歯下駄	長さ11.2cm	幅10.3cm	厚さ6.5cm		板目板	SD177
81	59D-W-81	連歯下駄	長さ14.8cm	幅6.2cm	厚さ2.5cm		板目板	SD177
82	59D-W-82	糸杵	長さ16.6cm	幅3.9cm	厚さ1.0cm	中央に巨大な孔と小孔が2ヶあり	板目板	SD177
83	59D-W-83	灯明皿受け	長さ9.0cm	幅3.8cm	厚さ1.0cm	穴が1ヶあり	榫目板	SD177
84	59D-W-84	櫛	長さ7.5cm	幅4.7cm	厚さ1.2cm	歯数25本	—	SD177
85	59D-W-85	不明(火付木?)	長さ6.6cm	幅0.8cm	厚さ0.8cm		—	SD177
86	59D-W-86	栓	長さ4.3cm	太さ1.9cm			—	SD177
87	59D-W-87	栓	長さ12.4cm	幅3.9cm			板目板	SD177
88	59D-W-88	独楽	直径3.0cm	高さ4.0cm			—	SD177
89	59D-W-89	独楽	直径3.1cm	高さ4.4cm			—	SD177
90	59D-W-90	独楽	直径2.7cm	高さ4.3cm			—	SD177
91	59D-W-91	箸	長さ25.3cm	幅0.9cm	厚さ0.6cm		—	SD177
92	59D-W-92	箸	長さ23.6cm	幅1.0cm	厚さ0.5cm		—	SD177
93	59D-W-93	箸	長さ25.6cm	幅0.7cm	厚さ0.5cm		—	SD177
94	59D-W-94	箸	長さ25.6cm	幅0.8cm	厚さ0.8cm		—	SD177
163-95	59D-W-95	杓子	長さ29.2cm	幅12.3cm	厚さ2.2cm		榫目板	SD177
96	59D-W-96	杓子	長さ34.3cm	幅9.0cm	厚さ2.1cm		榫目板	SD177
97	59D-W-97	杓子	長さ36.9cm	幅6.7cm	厚さ2.0cm		榫目板	SD177
98	59D-W-98	匙	長さ21.7cm	幅7.5cm	厚さ0.6cm		榫目板	SD177
99	59D-W-99	切匙	長さ18.9cm	幅2.3cm	厚さ0.3cm		榫目板	SD177
100	59D-W-100	不明	長さ10.5cm	幅1.8cm	厚さ0.2cm		板目板	SD177
101	59D-W-101	播粉木	長さ38.1cm	幅4.0cm			—	SD177
164-102	59D-W-102	不明	長さ13.8cm	幅3.3cm	厚さ0.2cm	孔が2ヶあり	榫目板	SD177
103	59D-W-103	不明	長さ14.1cm	幅2.7cm	厚さ0.7cm		板目板	SD177
104	59D-W-104	不明	長さ15.6cm	幅1.8cm	厚さ1.1cm	孔が1ヶあり	榫目板	SD177
105	59D-W-105	不明	長さ16.2cm	幅2.5cm	厚さ1.6cm		榫目板	SD177
106	59D-W-106	不明	長さ17.6cm	幅2.0cm	厚さ0.7cm	孔が1ヶあり	板目板	SD177
107	59D-W-107	不明	長さ20.0cm	幅1.2cm	厚さ0.6cm		—	SD177
108	59D-W-108	不明	長さ9.2cm	幅1.2cm	厚さ0.2cm		板目板	SD177
109	59D-W-109	不明	長さ5.4cm	幅2.0cm	厚さ0.3cm		榫目板	SD177
110	59D-W-110	不明	長さ4.6cm	幅2.6cm	厚さ0.4cm		榫目板	SD177
111	59D-W-111	不明	長さ3.4cm	幅3.6cm	厚さ1.6cm		板目板	SD177
112	59D-W-112	不明	長さ5.1cm	幅2.8cm	厚さ1.9cm	孔が1ヶあり	板目板	SD177
113	59D-W-113	不明	長さ5.0cm	幅2.2cm	厚さ0.6cm	孔が1ヶあり	榫目板	SD177
114	59D-W-114	杭材	長さ33.6cm	太さ2.3cm			—	SD177
115	59D-W-115	竹編物	長さ47.4cm	幅29.5cm		網代編	—	SD177
116	59D-W-116	曲物桶受け台	長さ21.0cm	幅21.0cm	厚さ1.1cm	孔が合計7ヶあり	板目板	SD177
165-117	59D-W-117	木簡(位牌)	長さ19.5cm	幅2.9cm	厚さ0.2cm		榫目板	SD177
118	59D-W-118	木簡(位牌)	長さ19.5cm	幅2.7cm	厚さ0.2cm		榫目板	SD177
119	59D-W-119	木簡(位牌)	長さ21.0cm	幅3.0cm	厚さ0.15cm		榫目板	SD177
120	59D-W-120	木簡(位牌)	長さ20.0cm	幅2.9cm	厚さ0.25cm		榫目板	SD177
121	59D-W-121	木簡(位牌)	長さ20.5cm	幅2.8cm	厚さ0.2cm		榫目板	SD177
122	59D-W-122	木簡(位牌)	長さ18.7cm	幅2.7cm	厚さ0.2cm		榫目板	SD177
123	59D-W-123	木簡(位牌)	長さ19.1cm	幅2.7cm	厚さ0.2cm		榫目板	SD177
124	59D-W-124	木簡(位牌)	長さ19.6cm	幅2.6cm	厚さ0.2cm		榫目板	SD177
125	59D-W-125	木簡(位牌)	長さ24.0cm	幅3.0cm	厚さ0.1cm		榫目板	SD177
126	59D-W-126	木簡(位牌)	長さ20.3cm	幅2.7cm	厚さ0.2cm		榫目板	SD177
127	59D-W-127	木簡(笹塔婆?)	長さ17.8cm	幅3.1cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
128	59D-W-128	木簡(位牌)	長さ24.0cm	幅2.6cm	厚さ0.15cm		榫目板	SD177
129	59D-W-129	木簡(板塔婆)	長さ22.7cm	幅6.5cm	厚さ0.3cm		板目板	SD177
130	59D-W-130	木簡(板塔婆)	長さ27.7cm	幅4.5cm			榫目板	SD177
131	59D-W-131	木簡(柿経)	長さ15.6cm	幅2.9cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
132	59D-W-132	木簡(柿経)	長さ10.6cm	幅2.9cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
133	59D-W-133	木簡(柿経)	長さ12.5cm	幅1.7cm			榫目板	SD177
134	59D-W-134	木簡(柿経)	長さ5.6cm	幅2.3cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
135	59D-W-135	木簡(柿経)	長さ6.0cm	幅2.9cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
136	59D-W-136	木簡(柿経)	長さ8.3cm	幅1.5cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
137	59D-W-137	木簡(柿経)	長さ10.9cm	幅2.9cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
138	59D-W-138	木簡(柿経)	長さ9.3cm	幅2.9cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
139	59D-W-139	木簡(柿経)	長さ9.0cm	幅3.0cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177
140	59D-W-140	木簡(柿経)	長さ10.4cm	幅4.0cm	厚さ0.1cm以下		榫目板	SD177

図版番号	登録番号	器種	法量			備考	遺構番号
141	59D-W-141	木筒(柿経)	長さ10.9cm	幅3.0cm	厚さ0.1cm以下		柱目板 S D177
142	59D-W-142	木筒(柿経)	長さ11.3cm	幅1.3cm	厚さ0.1cm以下		板目板 S D177
143	59D-W-143	木筒(礼類)	長さ12.3cm	幅4.2cm	厚さ0.8cm		柱目板 S D177
144	59D-W-144	木筒	長さ5.5cm	幅2.2cm			柱目板 S D177
145	59D-W-145	木筒	長さ1.5cm	幅7.2cm	厚さ0.2cm		柱目板 S D177
146	59D-W-146	木筒	長さ(4.6+3.4)cm	幅16.9cm	厚さ0.2cm		柱目板 S D177
166-147	59A-W-13	木筒(卒塔婆)	長さ(47.0+6.2)cm	幅8.5cm	厚さ0.25cm		柱目板 S D200
148	59A-W-14	木筒(卒塔婆)	長さ(34.4+33.3)cm	幅8.5cm	厚さ0.15cm		柱目板 S D200
149	59A-W-15	木筒(卒塔婆)	長さ68.5cm	幅8.5cm	厚さ0.19cm		柱目板 S D200
150	59A-W-16	木筒(卒塔婆)	長さ49.6cm	幅8.5cm	厚さ0.2cm		柱目板 S D200
167-151	59A-W-17	木筒(卒塔婆)	長さ68.2cm	幅8.6cm	厚さ0.16cm		柱目板 S D200
152	59A-W-18	木筒(卒塔婆)	長さ68cm	幅8.8cm	厚さ0.18cm		柱目板 S D200
153	59A-W-19	木筒(卒塔婆)	長さ66.8cm	幅8.6cm	厚さ0.12cm		柱目板 S D200
154	59A-W-10	木筒(卒塔婆)	長さ72.8cm	幅9.6cm	厚さ0.5cm		柱目板 S D200
168-155	59A-W-12	木筒(卒塔婆)	長さ63.4cm	幅10.2cm	厚さ0.2cm		柱目板 S D200
156	59A-W-5	木筒(卒塔婆)	長さ53.6cm	幅9.8cm	厚さ0.2cm		柱目板 S D200
157	59A-W-11	木筒(卒塔婆)	長さ62.8cm	幅11.4cm	厚さ0.18cm		柱目板 S D200
169-158	59A-W-2	木筒(卒塔婆)	長さ49.6cm	幅12.5cm	厚さ0.2cm		柱目板 S D200
159	59A-W-8	木筒(卒塔婆)	長さ46.2cm	幅4.0cm	厚さ---		柱目板 S D200
160	59A-W-7	木筒(卒塔婆)	長さ54.5cm	幅4.9cm	厚さ---		柱目板 S D200
161	59A-W-9	木筒(卒塔婆)	長さ57.8cm	幅4.6cm	厚さ---		柱目板 S D200
162	60E-W-1	木筒(卒塔婆)	長さ(15.0cm)	幅3.9cm	厚さ0.3cm		柱目板 S D200
163	60E-W-2	木筒(差礼)	長さ29.1cm	幅4.0cm	厚さ0.2cm		柱目板 S D200
164	59A-W-31	椀B類	口径12.3cm	底径6.0cm	器高5.5cm		横木取 S D200
165	59A-W-32	皿	口径12.0cm	底径4.7cm	器高2.3cm		横木取 S D200
166	59A-W-33	曲物桶底板	長さ7.4cm	幅3.5cm	厚さ0.4cm	表面に微細な傷あり	柱目板 S D200
167	59A-W-34	曲物桶底板	長さ12.0cm	幅4.9cm	厚さ0.6cm		柱目板 S D200
168	59B-W-1	連歯下駄	長さ15.0cm	幅6.8cm	厚さ1.2cm		板目板 S D200
170-169	59B-W-2	釣瓶	長さ22.6cm	幅20.4cm	高さ19.8cm	取手あり、鉄釘で13ヶ所とめる	板目板+柱目板 S E83
170	59B-W-3	釣瓶底板	長さ16.6cm	幅14.4cm	厚さ1.5cm	孔が2ヶあり	柱目板 S E83
171	59B-W-4	くさび	長さ14.4cm	幅3.3cm	厚さ0.7cm		柱目板 S E83
172	59B-W-5	くさび	長さ17.2cm	幅3.4cm	厚さ0.5cm		柱目板 S E83
173	59B-W-6	くさび	長さ19.2cm	幅5.0cm	厚さ0.7cm		柱目板 S E83
174	59B-W-7	くさび	長さ18.2cm	幅3.4cm	厚さ1.0cm		板目板 S E83
175	59B-W-8	くさび	長さ10.6cm	幅4.1cm	厚さ1.1cm		板目板 S E83
176	59B-W-9	くさび	長さ9.8cm	幅4.8cm	厚さ0.8cm		板目板 S E83
177	59B-W-10	くさび	長さ7.4cm	幅4.1cm	厚さ0.6cm		板目板 S E83
178	59B-W-11	くさび	長さ8.1cm	幅3.0cm	厚さ0.8cm		柱目板 S E83
179	59B-W-12	くさび	長さ5.4cm	幅4.0cm	厚さ1.0cm		柱目板 S E83
180	59B-W-13	くさび	長さ7.3cm	幅2.2cm	厚さ0.8cm		柱目板 S E83
181	59B-W-14	くさび	長さ5.6cm	幅4.1cm	厚さ0.8cm		板目板 S E83
171-182	59B-W-15	井戸桶	口径64.0cm	底径67.0cm	高さ70.5cm		板目板 S E83
183	59E-W-1	井戸桶	口径61.5cm	底径66.0cm	高さ62.3cm		板目板 S E35
184	59A-W-35	結桶底板	長さ20.0cm	幅4.4cm	厚さ0.9cm		柱目板 S E75
185	60E-W-1	建築部材	長さ21.9cm	幅12.6cm	厚さ11.2cm		角材 S D211
186	59F-W-1	曲物桶側板	口径5.1cm	高さ2.7cm			柱目板 S E15
187	59F-W-2	曲物桶底板	直径10.9cm	厚さ0.6cm			柱目板 S E15
188	59B-W-16	曲物桶側板	口径18.5cm	高さ8.6cm			柱目板 S D189
172-189	59B-W-17	結桶側板	長さ17.6cm	幅5.8cm	厚さ0.9cm		板目板 S D198
190	59B-W-18	くさび	長さ15.3cm	幅3.0cm	厚さ2.2cm		板目板 S D198
191	59B-W-19	不明	長さ14.6cm	幅1.2cm	厚さ0.3cm		柱目板 S D198
192	59B-W-20	不明	長さ13.9cm	幅0.9cm	厚さ0.7cm		角材 S D198
193	59B-W-21	へら?	長さ8.3cm	幅3.3cm	厚さ0.3cm		柱目板 S D198
194	59B-W-22	建具類	長さ8.2cm	幅1.1cm	厚さ0.6cm		板目板 S D198
195	60A-W-1	漆器皿	口径14.5cm	底径7.8cm	器高3.4cm		横木取 S K503
196	59C-W-1	結桶側板	長さ28.4cm	幅7.6cm	厚さ1.3cm		板目板 S E58
197	59C-W-2	曲物桶底板	直径3.1cm	厚さ0.5cm			柱目板 S E58
198	59B-W-23	曲物桶底板	直径11.0cm	厚さ1.0cm			柱目板 S E85
199	59B-W-24	木筒	長さ10.3cm	幅2.4cm	厚さ0.7cm		板目板 S E82
200	60E-W-2	ものさし	長さ15.5cm	幅2.3cm	厚さ0.5cm		柱目板 S D215
201	59C-W-3	漆器香合蓋	底径7.3cm	器高3.7cm			横木取 S E62
202	59C-W-4	ざる	長さ31.6cm	幅27.9cm			— S E62
203	60E-W-3	曲物桶側板	直径9.0cm	高さ4.3cm			柱目板 S D222
204	60E-W-4	人形	長さ3.7cm				— S D222
205	60E-W-5	独楽	直径2.3cm	高さ4.1cm			— S D222
206	60E-W-6	曲物桶側板	直径10.4cm	高さ10.0cm			柱目板 S D222
207	60E-W-7	木筒	長さ31.7cm	幅2.8cm	厚さ0.3cm		柱目板 S D222

図版番号	遺構番号	口径(cm)	底径 (cm)	高さ(cm)	岩石名	備 考	登録番号
173-1	SK447	23.0	12.4	8.4	ロウ石	外面スス付着	S-1
2	SK388	推定23.0	-	-	ロウ石		61
3	検出	推定24.0	-	-	ロウ石	外面つばより下スス付着	5
4	検出	推定22.0	-	-	ロウ石	外面スス付着	4
5	検出	推定21.0	-	-	ロウ石		6
6	SK504	推定20.0	-	-	ロウ石	外面スス付着	7
7	検出	-	推定20.0	-	ロウ石	"	3
8	SD133	-	推定21.6	-	ロウ石	"	2
9	SD211	推定12	-	-	ロウ石	"	8
10	SD108	-	-	-	ロウ石		9
11	SD108	-	-	-	ロウ石		10
12	SD164	-	-	-	-		62
174-13	SD164	8.8	3.5	1.4	凝灰質泥岩		23
14	検出	6.6	5.0	0.8	凝灰質泥岩		25
15	SD170	3.5	5.1	1.2	泥岩		24
16	SE82	6.8	現存3.2	1.0	頁岩		28
17	SD200	7.0	現存3.6	2.2	泥岩		27
18	検出	6.4	現存3.4	1.0	-		64
19	SE15	6.1	現存1.8	1.0	頁岩		30
20	SD198	4.0	現存1.3	0.8	泥岩		29
21	検出	2.2	現存1.9	1.1	泥岩		26
22	SD164	6.2	6.6	1.1	-		63
23	SD164	3.2	9.4	1.6	頁岩		32
24	検出	11.2	9.2	1.7	泥岩		31
25	検出	12.0	9.0	1.3	-		65
26	SD55	9.8	6.7	0.7	頁岩		43
27	SK305	10.0	6.2	1.6	頁岩		44
28	SK139	11.9	6.2	0.6	頁岩		42
29	検出	5.8	3.8	1.3	凝灰岩		47
175-30	SD49	8.2	5.6	1.8	ホルンフェルス		40
31	SK135	9.8	4.6	2.5	砂岩		39
32	検出	7.6	3.8	2.2	凝灰岩		38
33	検出	7.4	2.9	1.4	砂岩		41
34	検出	7.8	3.0	1.6	頁岩		45
35	検出	8.4	3.2	1.0	頁岩		46
36	SD205	6.1	2.8	2.4	凝灰岩		49
37	SD207	11.4	2.6	2.3	泥岩		48
38	検出	6.2	2.4	0.6	凝灰質頁岩		50
39	検出	4.6	2.3	1.6	凝灰岩		51
40	SK141	2.5	2.3	1.2	凝灰岩		52
41	SK48	4.6	1.6	0.7	凝灰岩		53
42	SK48	2.0	1.0	0.2	凝灰岩		54
43	SK48	2.0	0.6	0.4	凝灰岩		55
44	検出	11.8	7.2	7.1	砂岩		34
45	検出	7.8	3.8	3.2	凝灰岩		35
176-46	SE44	7.2	5.0	3.4	凝灰岩		36
47	SD200	8.8	5.4	3.2	流紋岩		37
48	検出	31.4	9.6	6.9	砂岩		33
49	SD55	6.8	4.0	3.2	花崗岩		20
50	検出	7.3	5.8	3.2	凝灰岩		11
51	SD49	(径) 2.6		(厚) 0.4	砂岩		14
52	SK143	(径) 1.8		(厚) 0.6	泥岩		13
53	SK284	(径) 2.2		(厚) 0.2	-		66
54	SD198	(径) 2.2		(厚) 0.4	頁岩		16
55	SD222	(径) 2.2		(厚) 0.6	泥岩		18
56	SD198	(径) 2.0		(厚) 0.6	頁岩		15
57	SD200	5.8	3.4	4.2	軽石		12
177-58	検出	(径) 35.2		(厚) 6.9	-		67
59	検出	(推定径) 17.2		(厚) 5.4	花崗岩		59
178-60	SD200	12.4	(最大径) 8.8		花崗岩		56
61	SD200	12.8	(最大径) 8.8		花崗岩		57
62	SK530	20.0	(最大径) 11.0		緑色岩		58
63	検出	15.4		(厚) 1.8	結晶片岩		22
64	SK263	5.2		(厚) 0.6	頁岩		21

図版番号	遺構番号	種類	法 量 (cm)			備 考	登録番号
179-1	SE07	鉄族	長さ8.2	幅2.8	厚さ1.0		M-1
2	SD133	鉄族	長さ12.5	幅1.3	厚さ0.8		2
3	SD63	鉄製刀子	長さ16.9	幅1.3	厚さ0.4		3
4	検出	鉄製刀子	長さ15.0	幅1.1	厚さ0.4		4
5	検出	銅製柄	長さ8.7	幅1.6	厚さ0.6		5
6	SD79	銅製柄	長さ6.6	幅1.0	厚さ0.6		6
7	SD182	銅製切羽	高さ3.4	幅2.0	厚さ0.6		7
8	検出	銅製煙管	長さ5.9	最大径1.0			8
9	検出	銅製煙管	長さ7.8	最大径1.1			9
10	SD170	銅製煙管	長さ4.9	最大径1.4		羅字が一部残存	10
11	SK223	銅製煙管	長さ5.3	最大径1.1			11
12	検出	銅鏡	長さ11.6	面径8.3	厚さ0.4	藤棚紋	12
13	検出	銅椀	口径5.8	器高2.0			13
14	SD164	銅製品	——				14
180-15	SD133	鉄製火打ち鎌	幅6.6	高さ2.5	厚さ0.4		15
16	SK521	鉄製包丁	長さ23.8	幅5.2	厚さ0.2		16
17	SE86	鉄製錐	長さ26.4	最大径1.5		木製柄部あり	17
18	SK72	銅製火箸	長さ16.5	最大径0.4			18
19	検出	銅製火箸	長さ8.9	最大径0.4			19
20	SK72	銅製火箸	長さ7.5	最大径0.3			20
21	SD133	銅製品	長さ5.8	幅2.2	厚さ0.5		21
22	検出	銅製品	径6.3	最大径0.3			22
23	SK143	鉄製品	長さ16.6	幅2.3	厚さ0.8		23
24	検出	鉄釘	長さ5.0	最大径1.0			24
25	検出	鉄釘	長さ4.6	最大径1.3			25
26	SD63	鉄釘	長さ5.7	最大径0.8			26
27	検出	鉄釘	長さ10.0	最大径0.5			27
28	SD27	鉄釘	長さ9.5	最大径0.5			28
29	SD07	鉄釘	長さ7.6	最大径1.0			29

圖 版







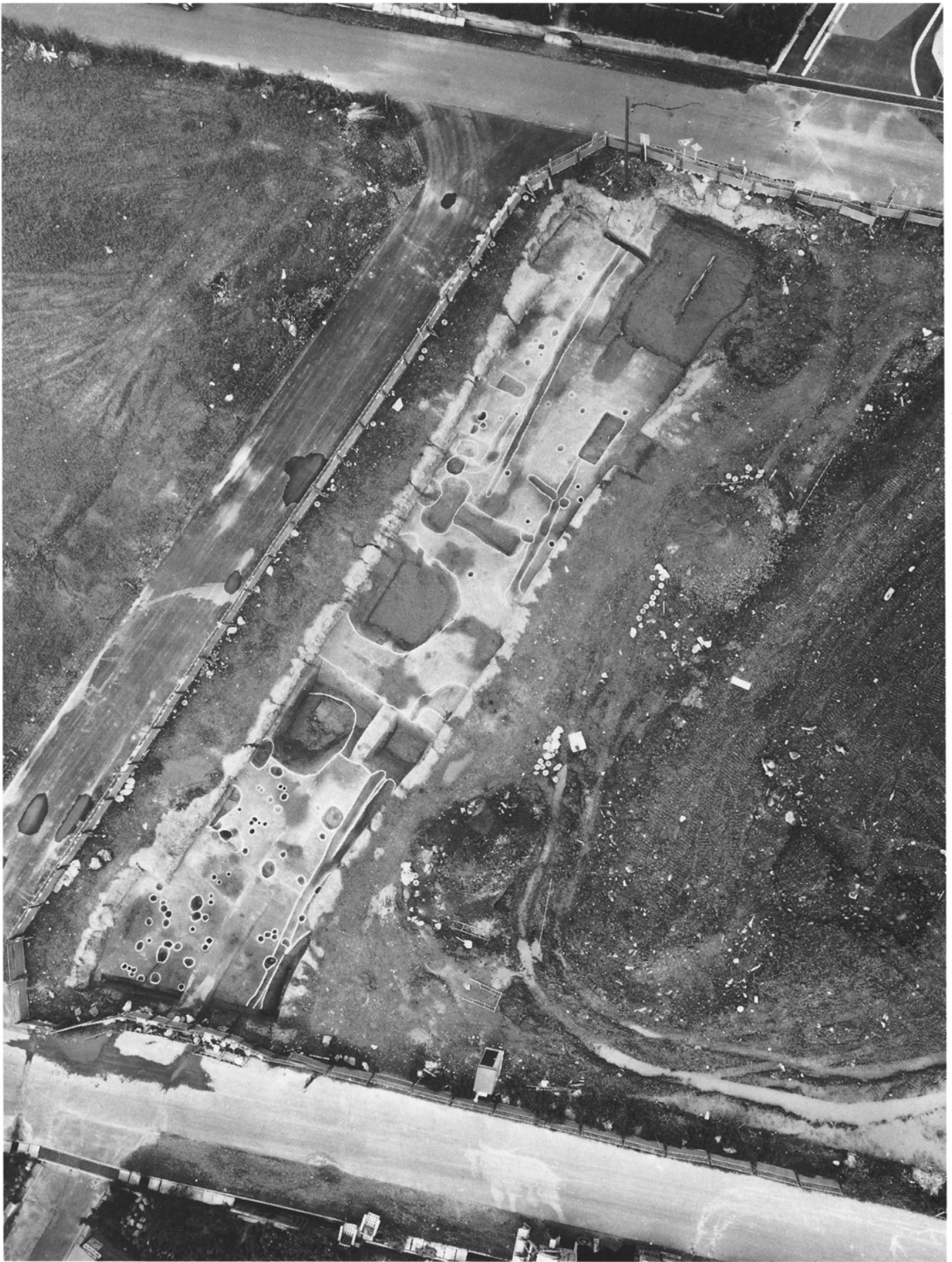
図版 4 59 E区全景



南から



南から





東から

図版 8 59 F・G区全景



北から



図版 10 60 E・D 区外堀 (SD 222)



北から



発掘前

(東から)

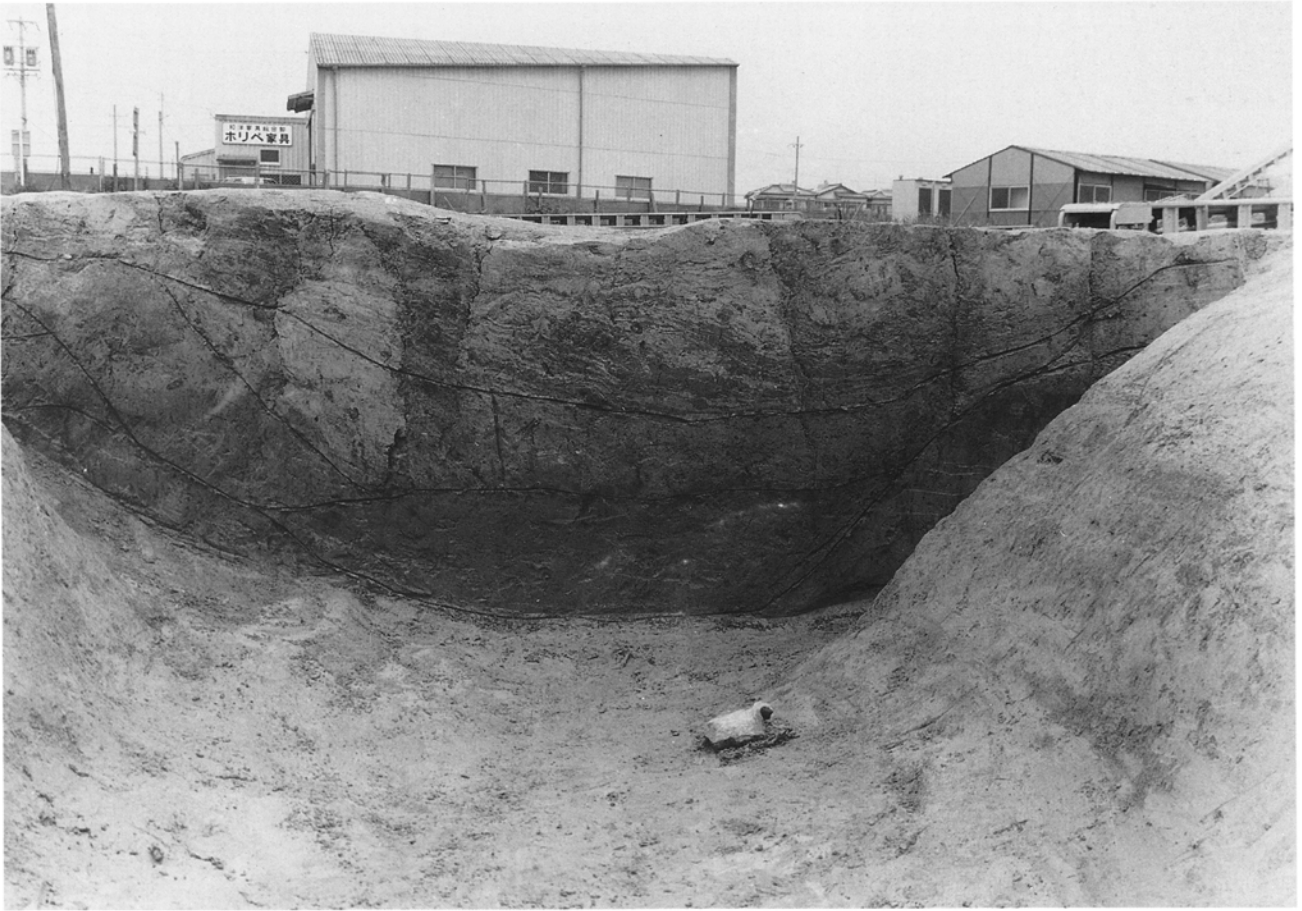


水没したC区

(南から)

图版 12 SD 133 土层





SD 200



SD 215

图版 14 SD 177 全景(1)



图版 15 SD 177 全景(2)



図版 16 SD 177 獣骨出土状況(1)



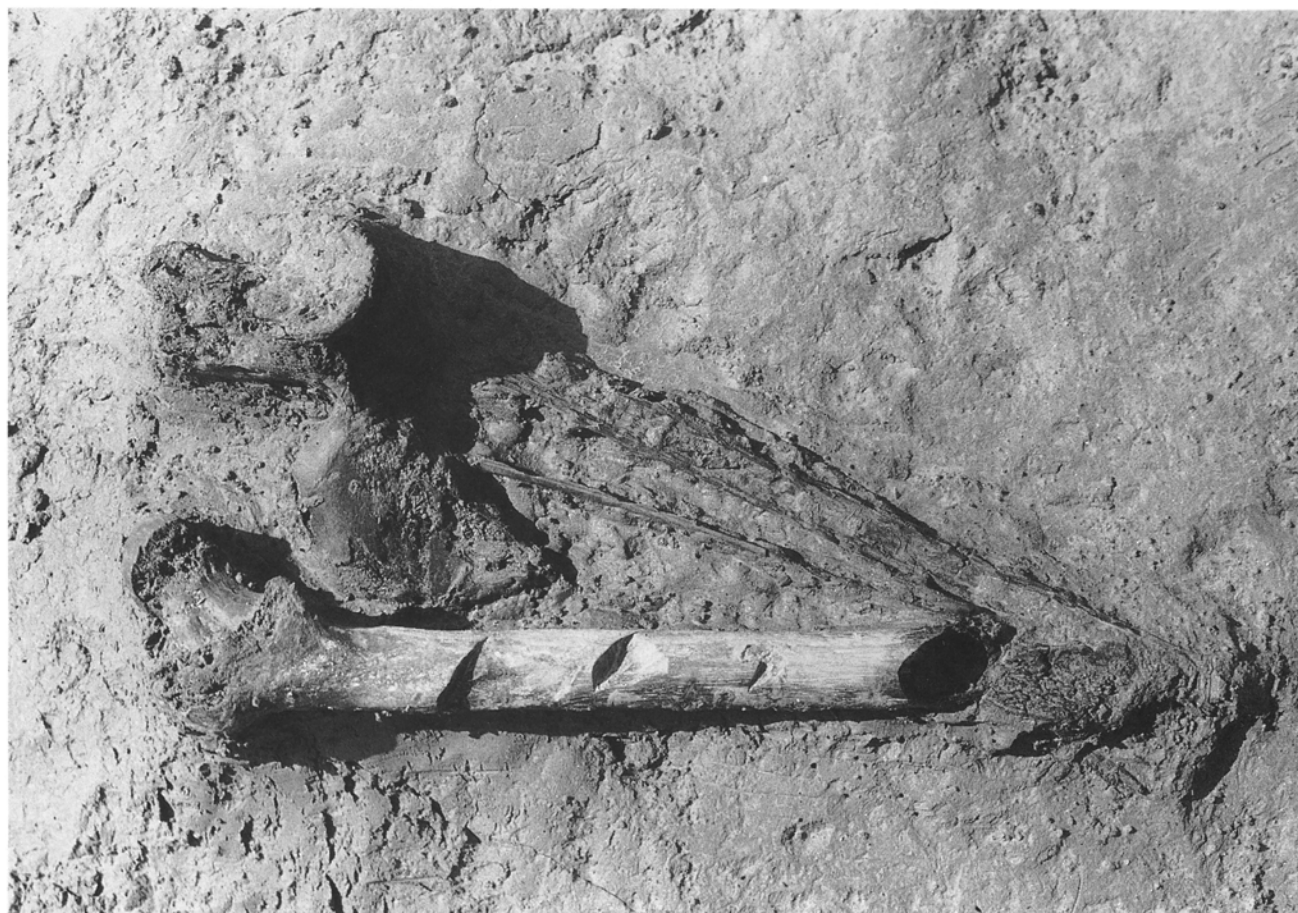
図版 17 SD 177 獣骨出土状況(2)



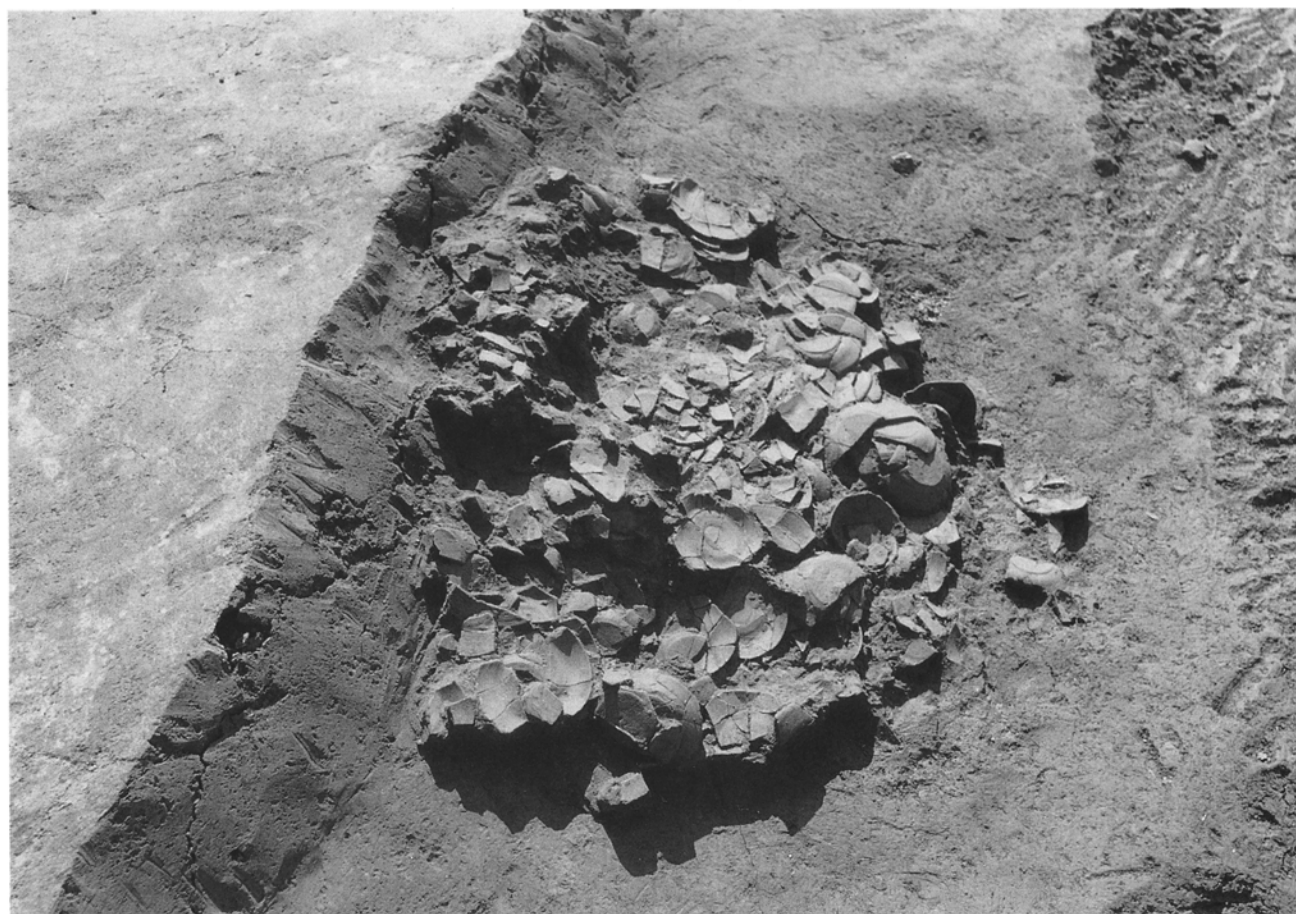
図版 18 SD 177 獣骨出土状況(3)



图版 19 SD 177 人骨出土状况



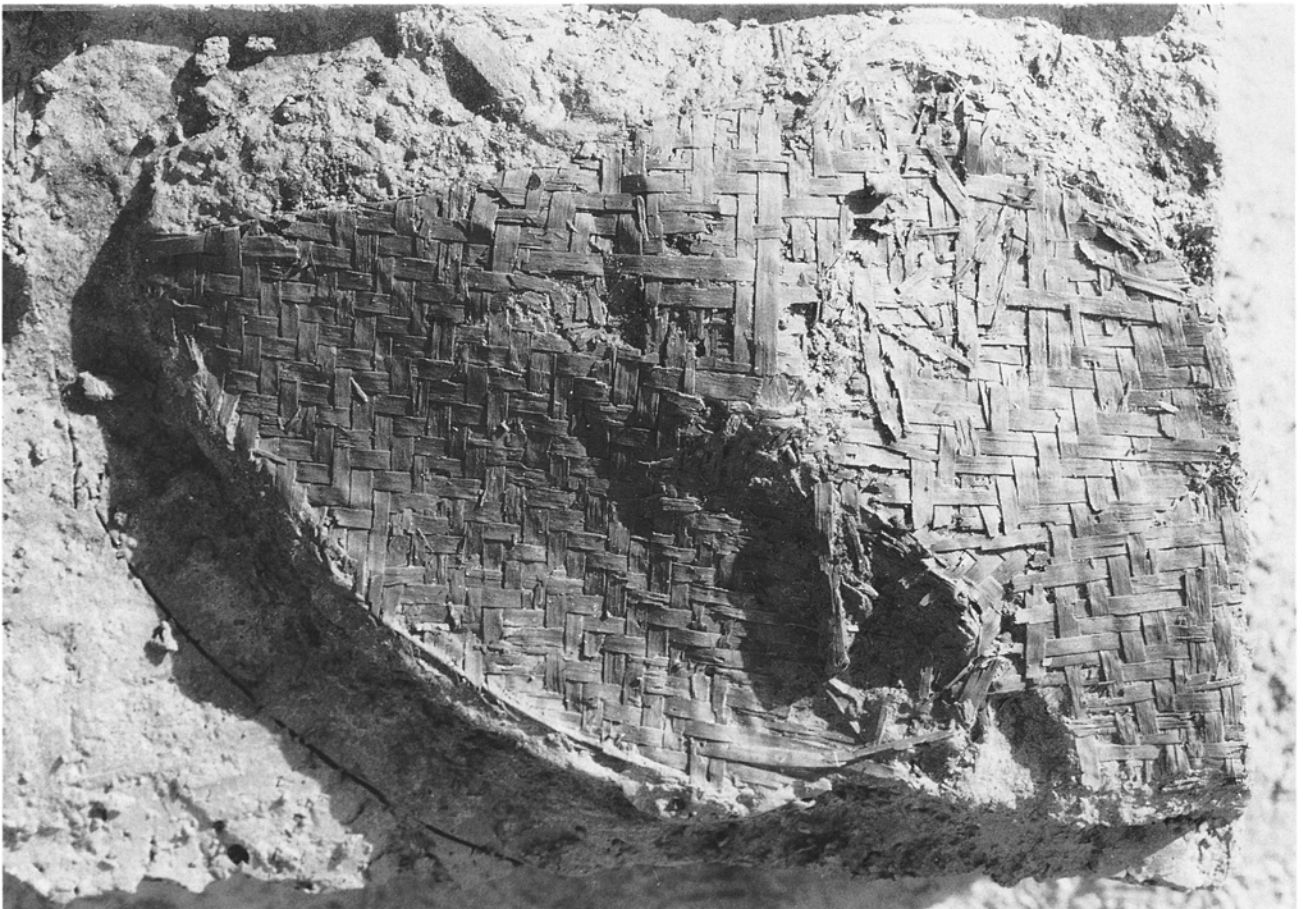
図版 20 SD 177 土師質皿出土状況



図版 21 SD 177 遺物出土状況(1)

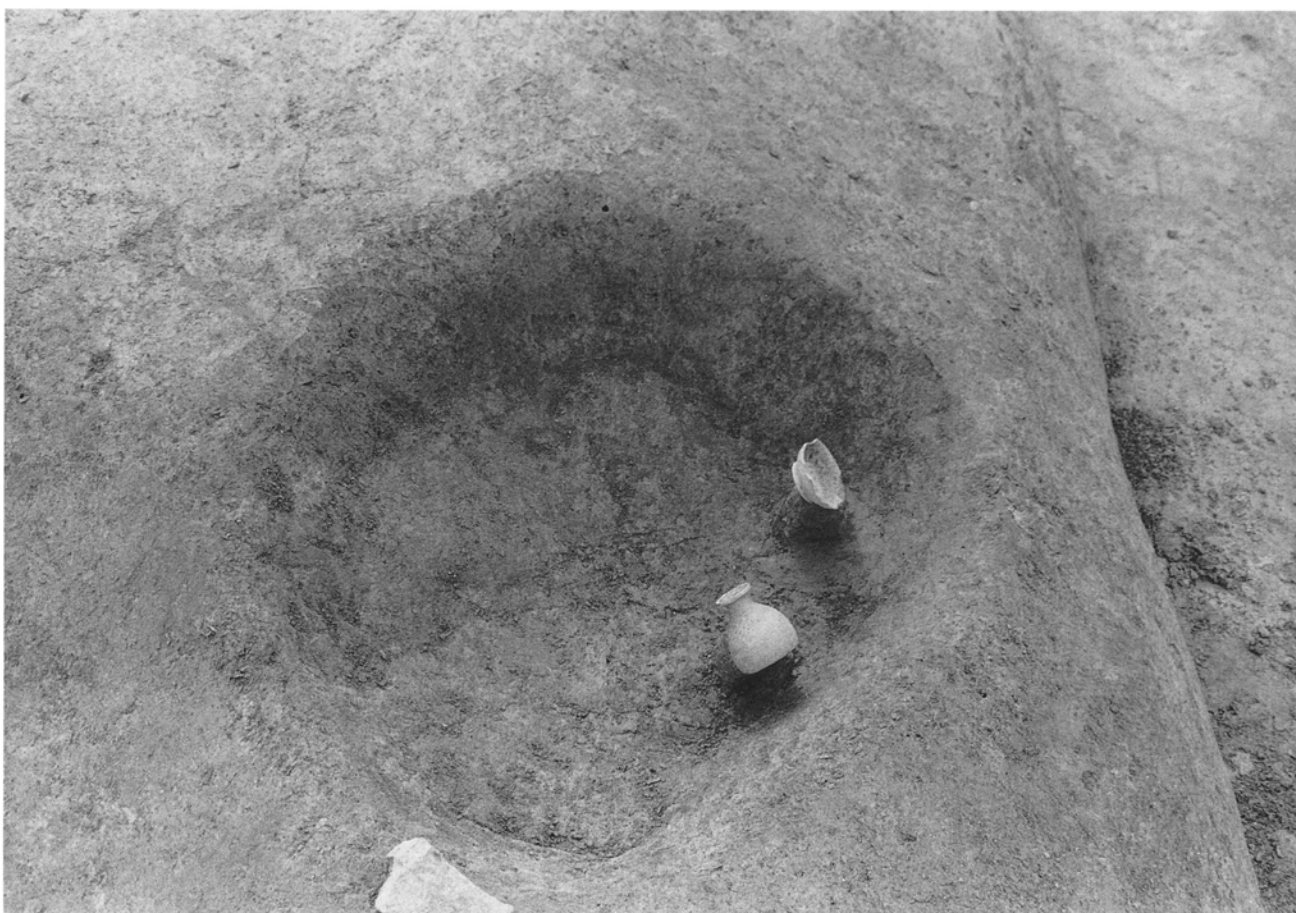


図版 22 SD 177 遺物出土状況(2)





SE 90



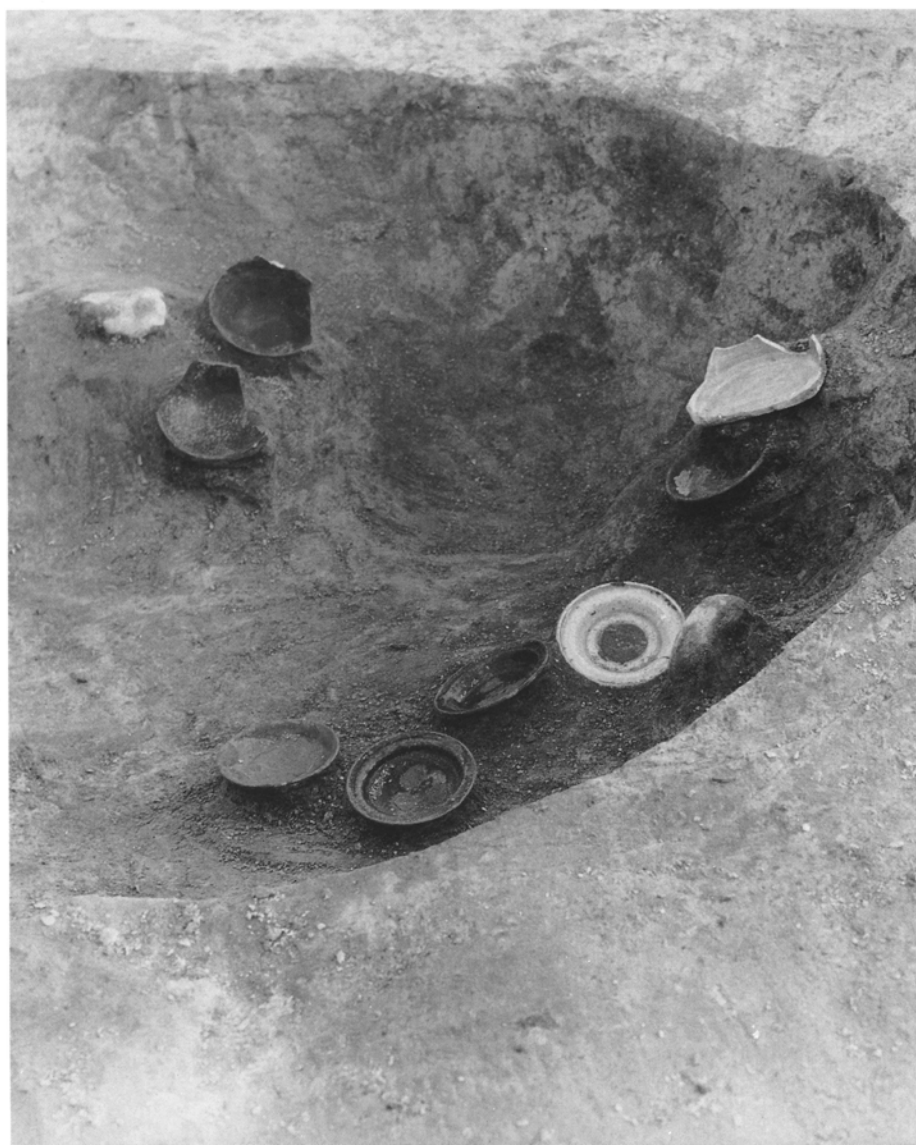
SK 491



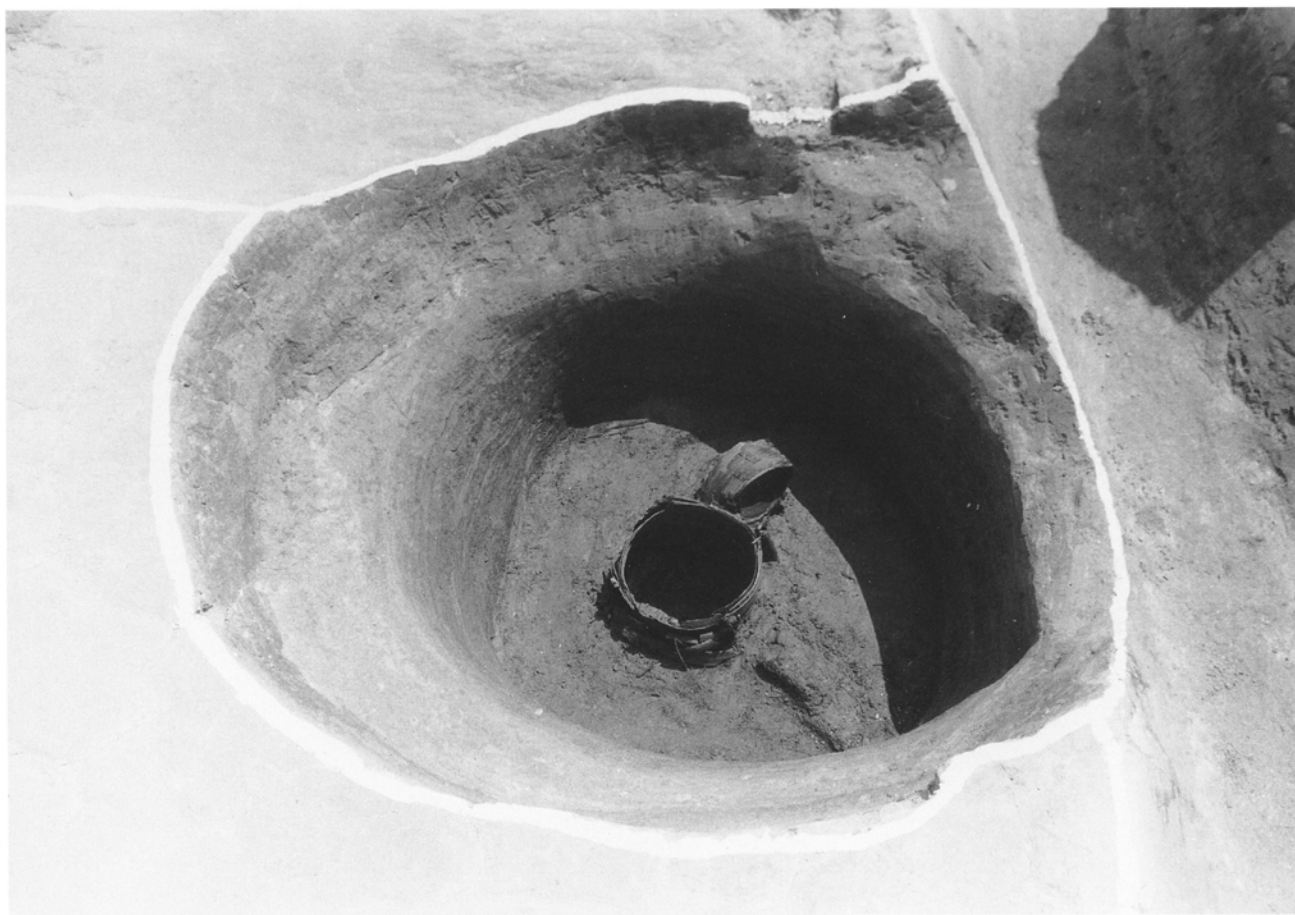
SD 76



▲ SD 109



▶ SK 242



SE 90



SE 90



SE 83

図版 28 井戸(3)



◀ SE 91 近景

▼ SE 91 全景

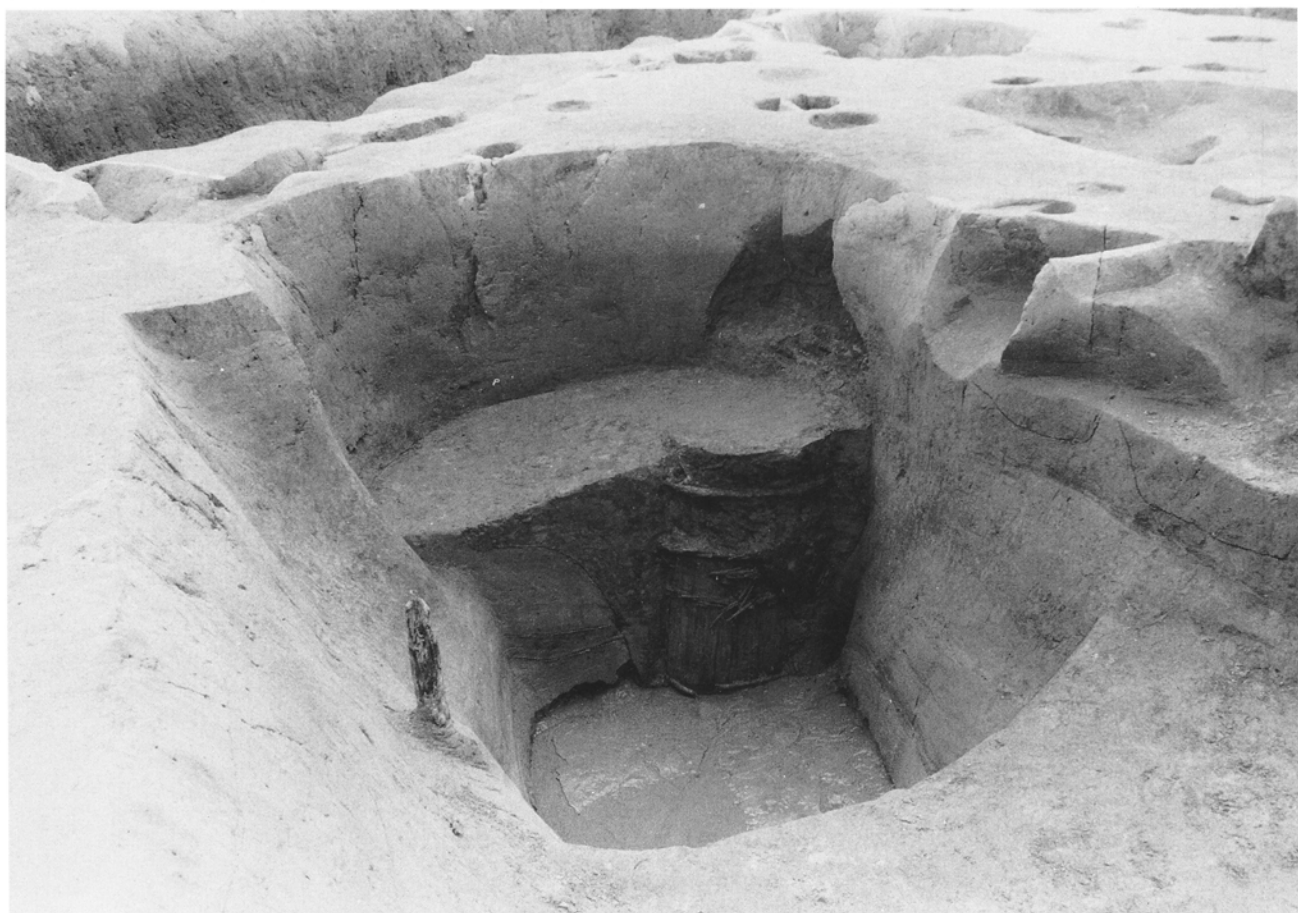




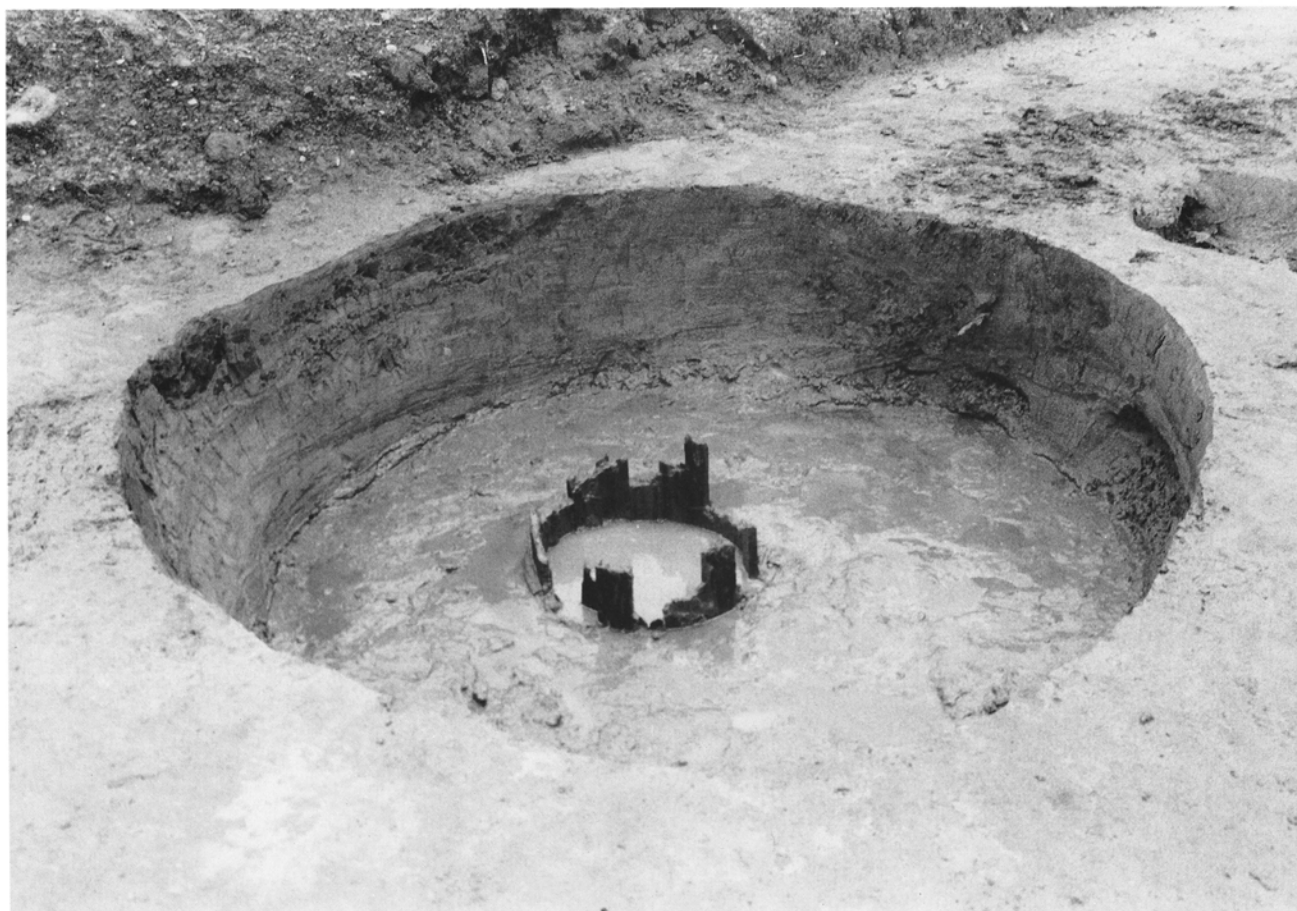
SE 52 全景



SE 52 近景



SE 39



SE 70



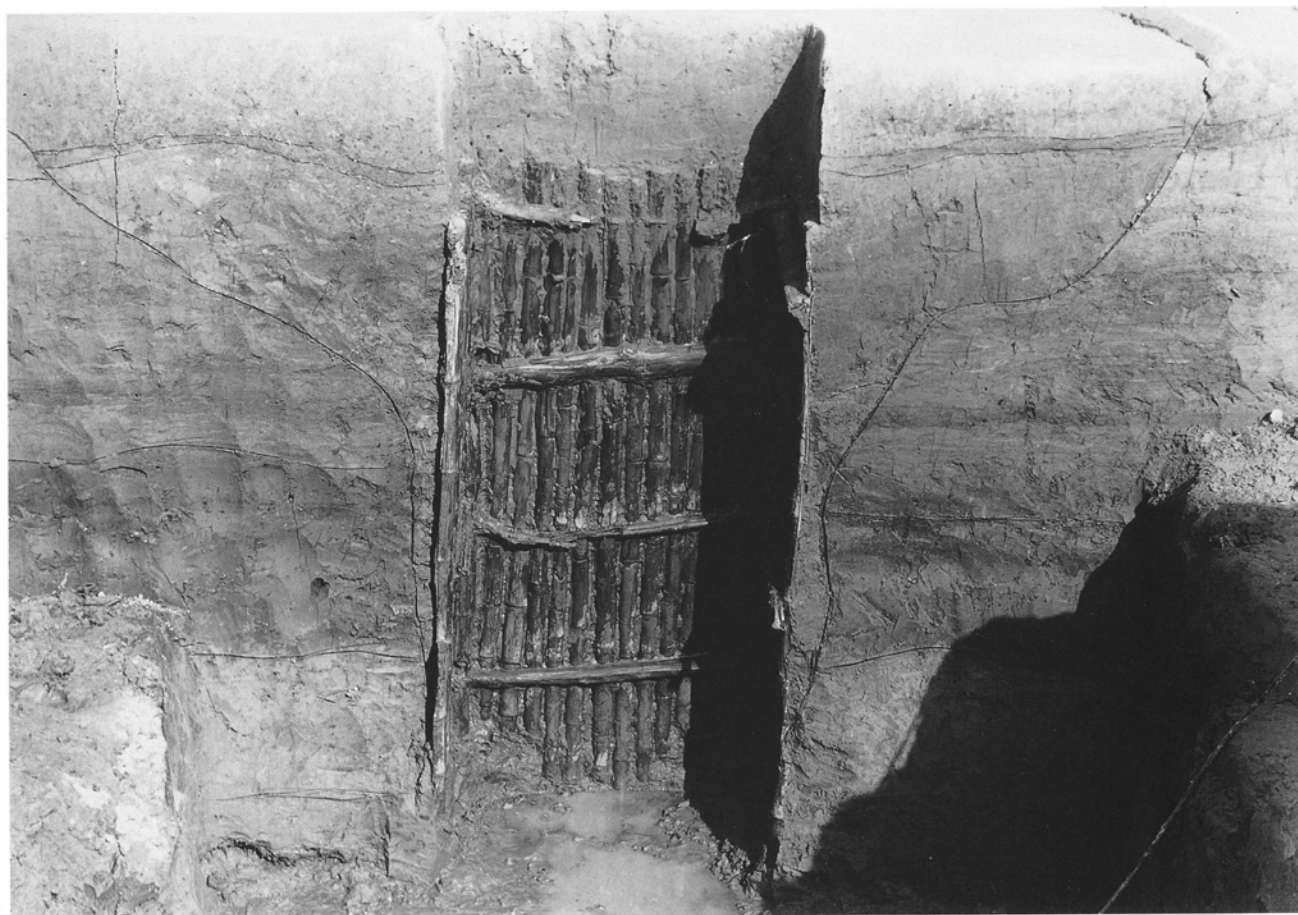
▲ SE 47 上半部



◀ SE 47 下半部



SB 86 全景



SE 86 断面



SE 71 全景



SE 71 底部

図版 34
出土遺物
陶磁器(1)

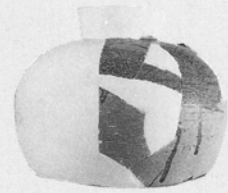


図版 35
出土遺物
陶磁器(2)

SE 52



37



48

SD 55



60



61



64



69



70

SK 271



72



74



75



76

緑釉陶器



77



78



79

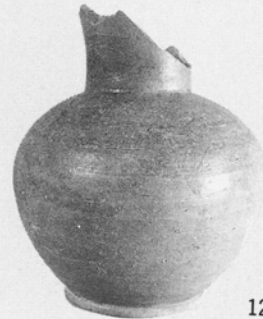


80

灰釉陶器



124



129



130

SK 492



137

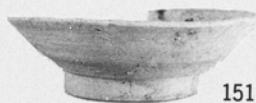


143



146

SK 491



151



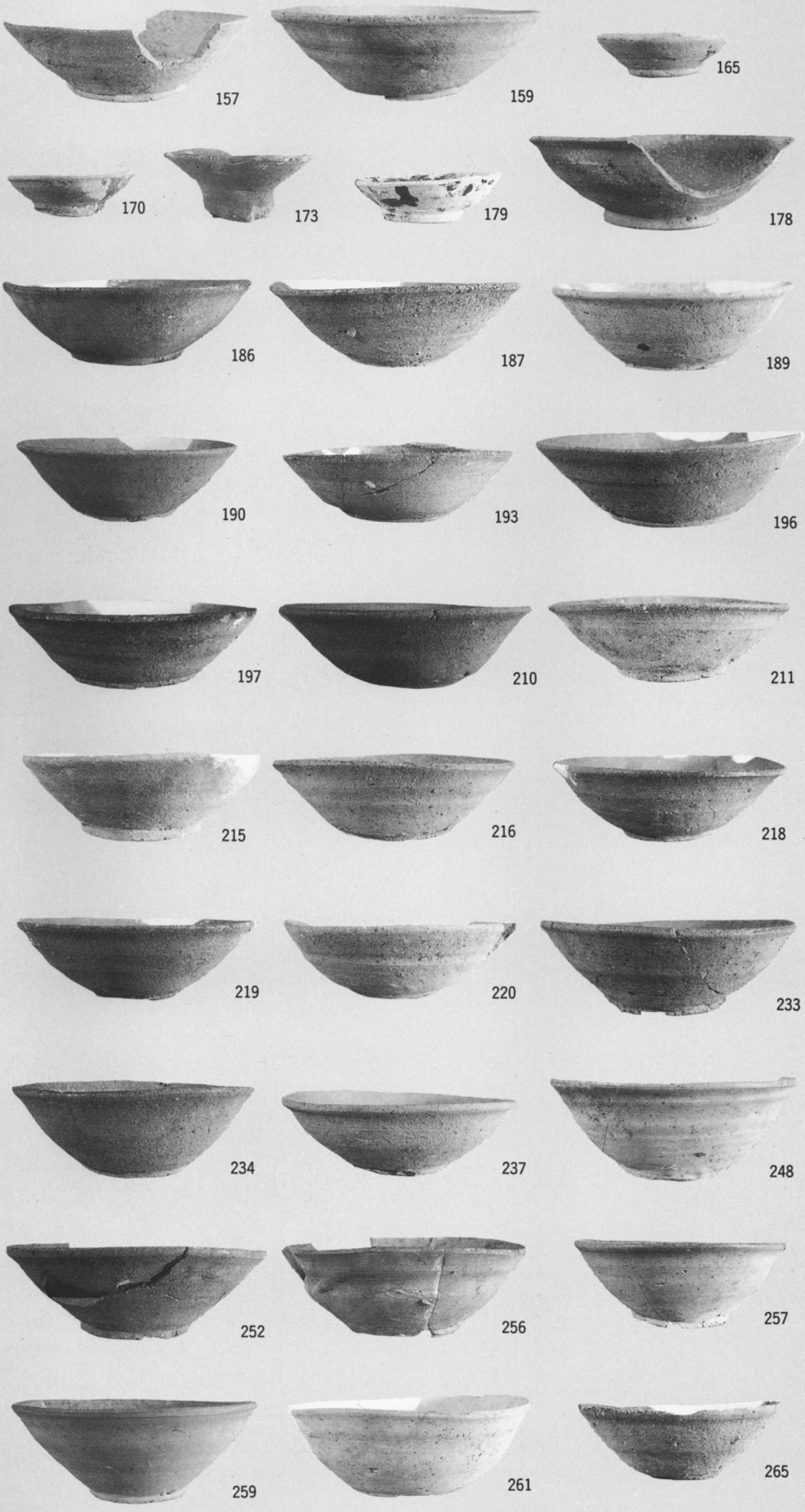
153



154

図版 36
出土遺物
陶磁器(3)

SK 460



SD 09

图版 37
出土遺物
陶磁器(4)



272



275



276



277



278



279



282



283



284



287



289



290



292



293



294



295



296



301



302



303



305



306



308



309



311



316



319



320



321



322



323



324



325



330



336



337



338



339



340



345



346



347



357



359



360



361



364



369

图版 38
出土遺物
陶磁器(5)



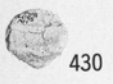
376



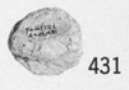
379



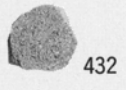
381



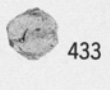
430



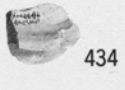
431



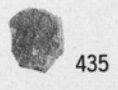
432



433



434



435



436



437



438



440



441



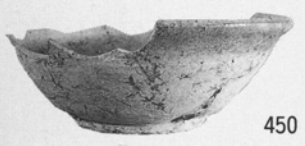
447



448



449



450



452



453



454



455



456



457



459



460



461



462



463



465



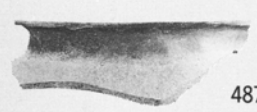
466



469



470



487



488



490

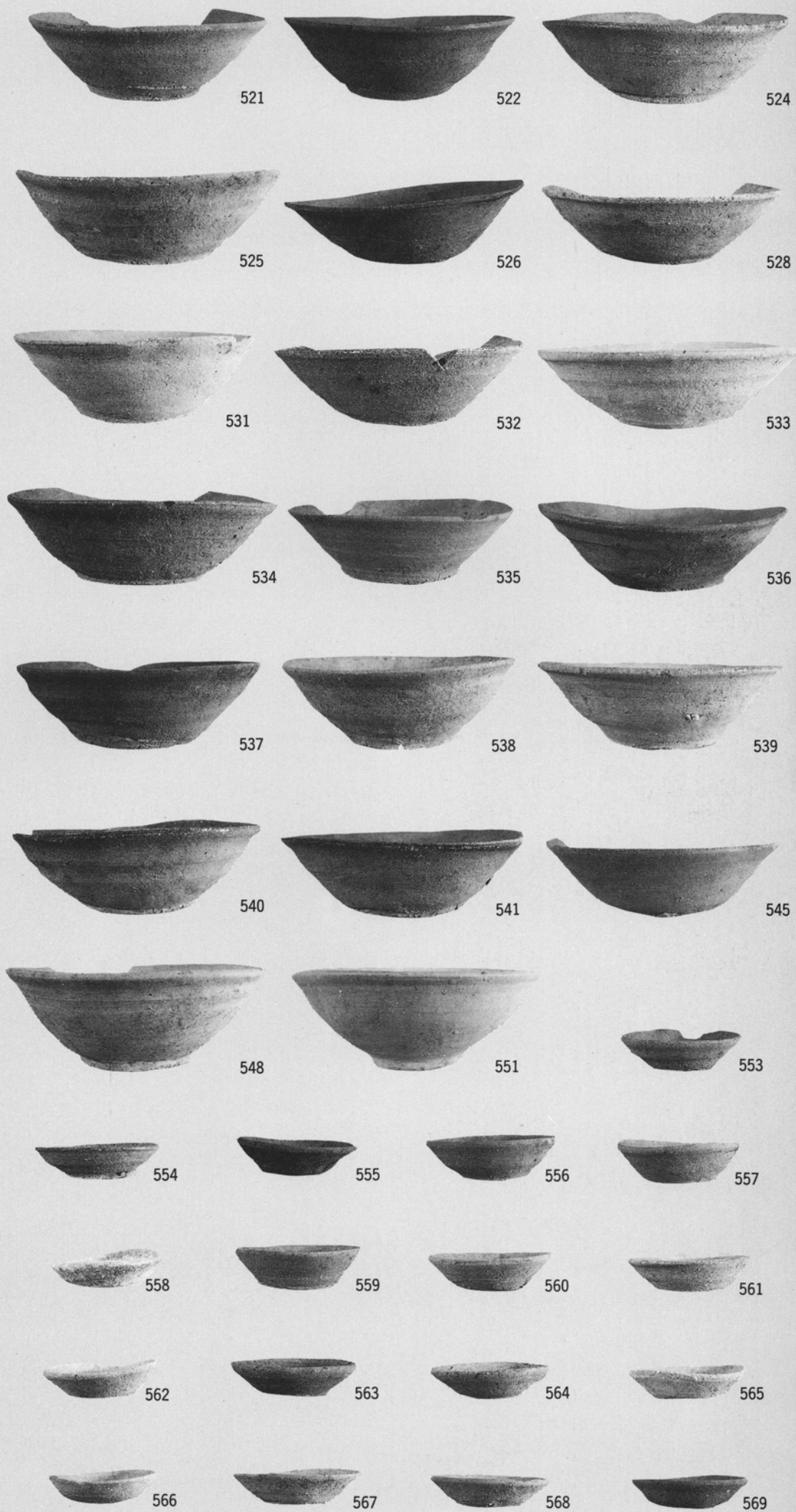


494



498

图版 39
出土遺物
陶磁器(6)



图版 40
出土遺物
陶磁器(7)



570



572



573



574



575



576



577



579



580



581



582



583



584



585



587



588



591



600



612



613



614



622



623



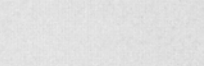
624



625



628



629



630



632



634



644



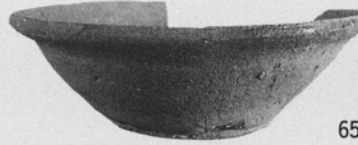
645



646



650



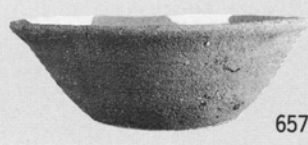
651



655



656



657



658

SD 76

SD 133

图版 41
出土遺物
陶磁器(8)



665



667



669



670



671



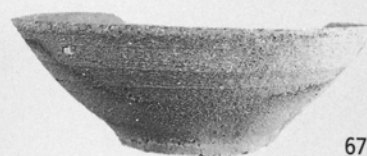
672



675



677



678



680



682



688



692



693



694



696



698



700



704



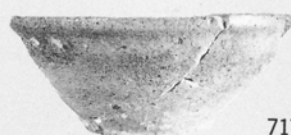
708



709



716



717



718



721



722



723



725



727



728

图版 42
出土遺物
陶磁器(9)



736



739



740



741



743



745



746



747



748



749



754



755



756



757



758



759



761



762



763



764



765



767



768



773



774



775



776



777



778



781



782



783



784



785



786



788



790



791



793



795



799



800



802



803



804



806



807



808



813



816



817



818



819



820



821



822



826



827

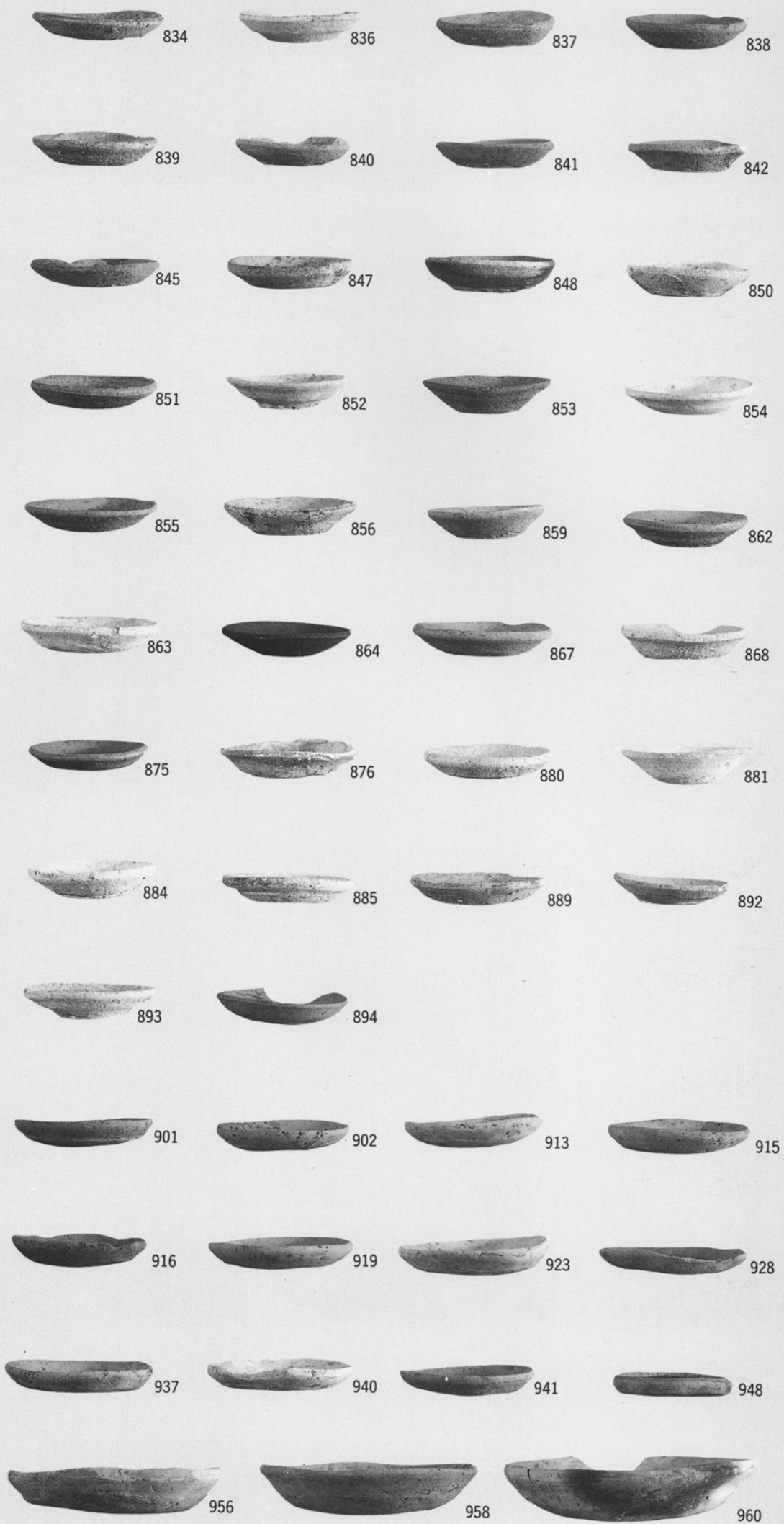


829

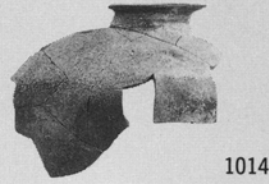
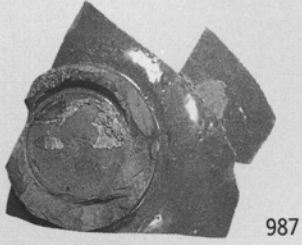
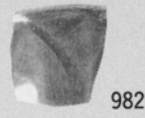
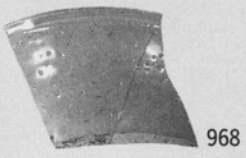


832

图版 43
出土遺物
陶磁器(10)



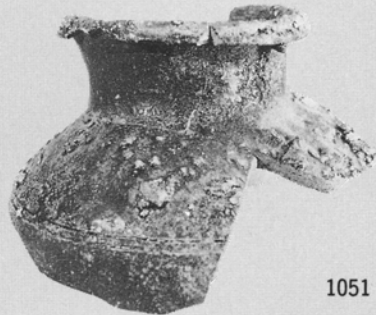
図版 44
出土遺物
陶磁器(11)



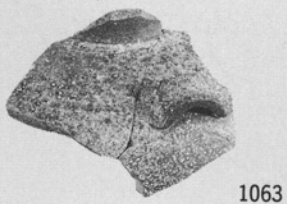
SD 133



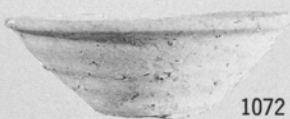
SK 316



1051

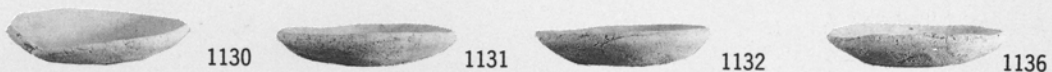
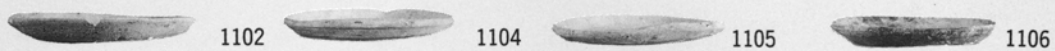


検出

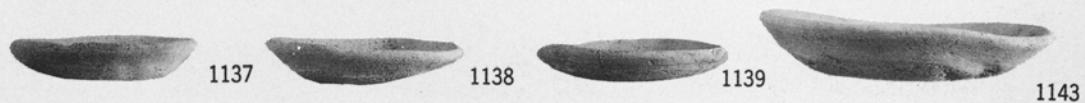


SD 55

图版 45
出土遺物
陶磁器(12)



SD 55



SK 400



SK 388



SE 91



図版 46
出土遺物
陶磁器(13)



5



6



18



21



17

SK 137



38



39

SK 541



54



55

SE 83



57



58



59



60



61

SK 242



69



SK 96



92



87



89

SD 63

图版 47
出土遺物
陶磁器(14)

SK 282



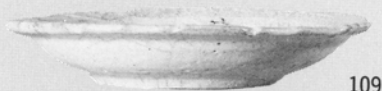
99



101



103



109

SK 293



121



126



131



130



158



161



162



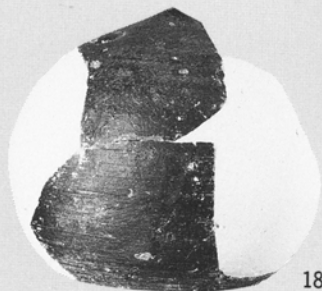
163



166



167

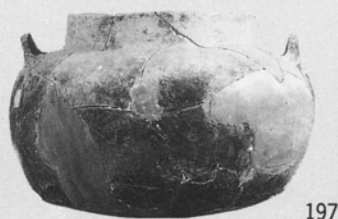


181



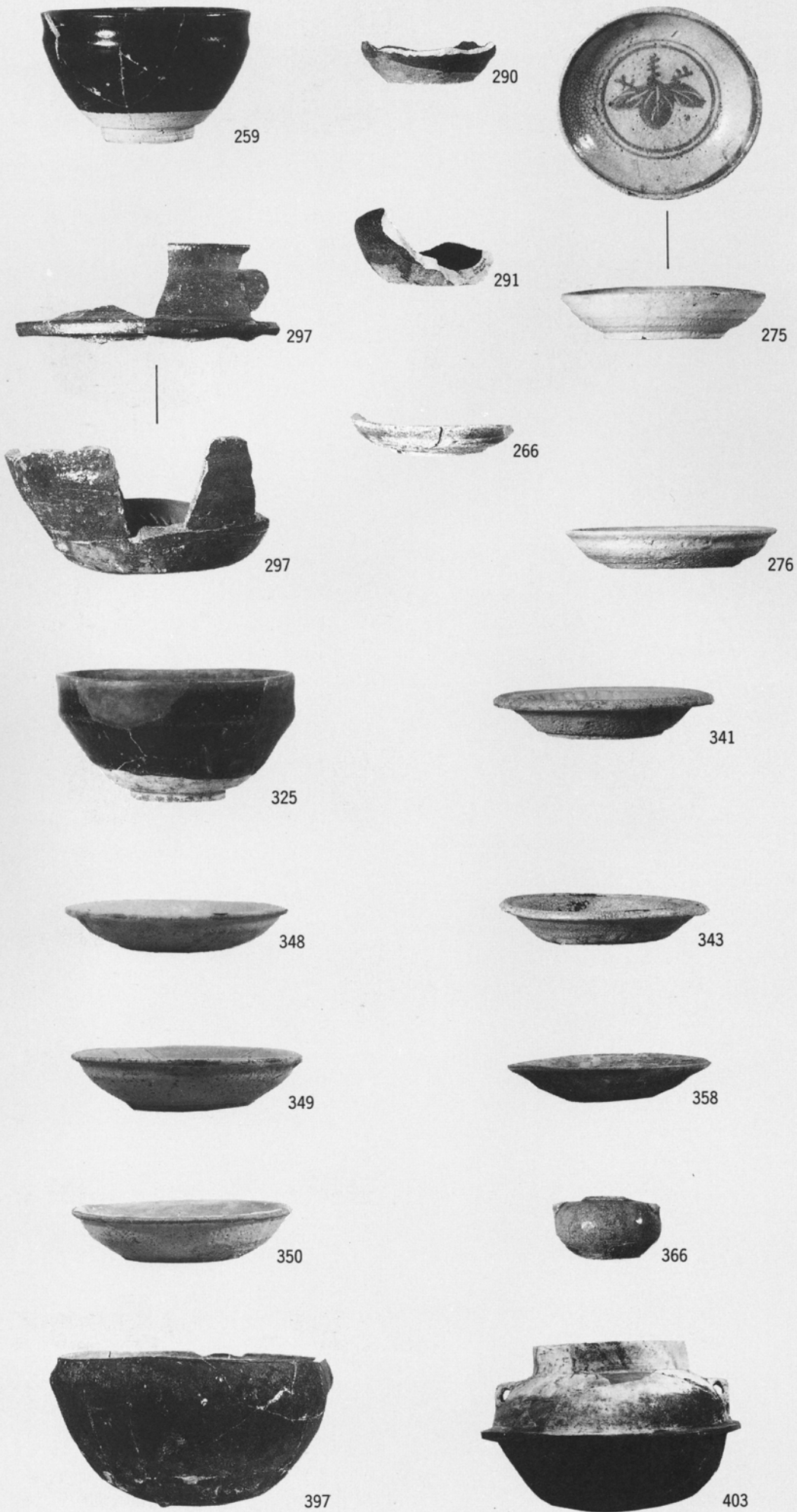
189

SD 27



197

図版 48
出土遺物
陶磁器(15)



SD 200

SD 177

图版 49
出土遺物
陶磁器(16)



405



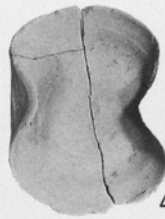
409



410



411



414



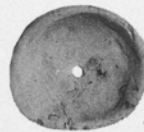
415



416



419



420



423



421



422



462



463



468



471



485



473



477



489



475



478



491

図版 50
出土遺物
陶磁器(17)



508



518



521



509



519



520



523



522



513



514



|



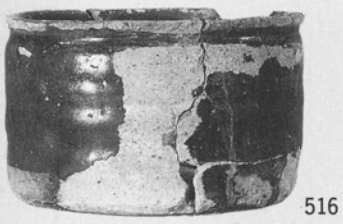
524



529



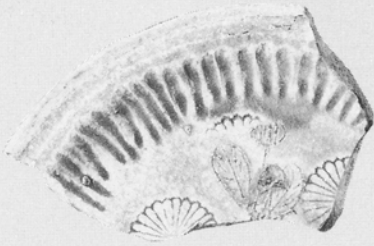
554



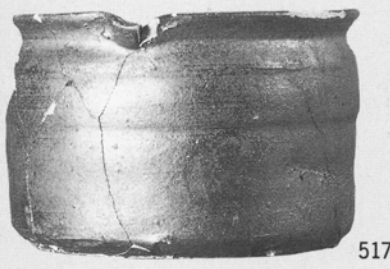
516



547



548



517



531



546



526



527



528

城下町期
(その他)

图版 51
出土遺物
陶磁器(18)



758



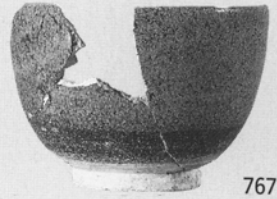
759



770



761



767



771



776



790



772



787



791



823



792

SE 49



867



876



884



886



905



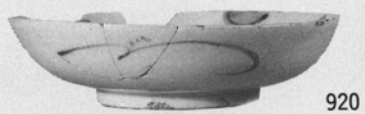
888



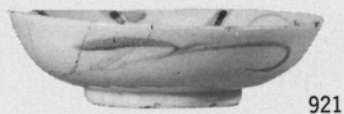
895

SK 305

图版 52
出土遺物
陶磁器(19)



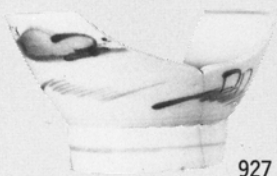
920



921



924



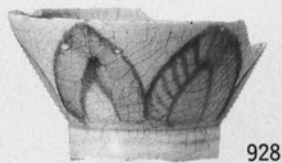
927



930



925



928



931



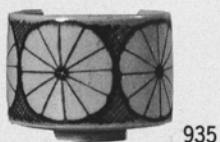
926



929



932



935



938



937



939

图版 53
出土遺物
陶磁器(20)



940



941



945



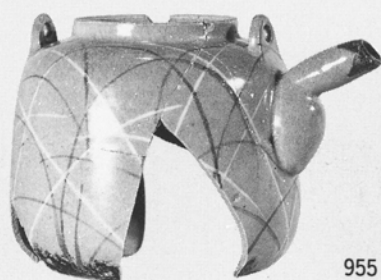
946



947



950



955



960



970



982

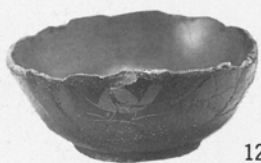
図版 54
出土遺物
木製品(1)



195



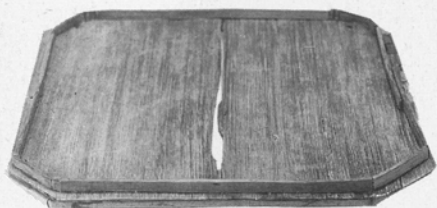
2



12



9



59



18



19



図版 55
出土遺物
木製品(2)

SD 177



89



93



94



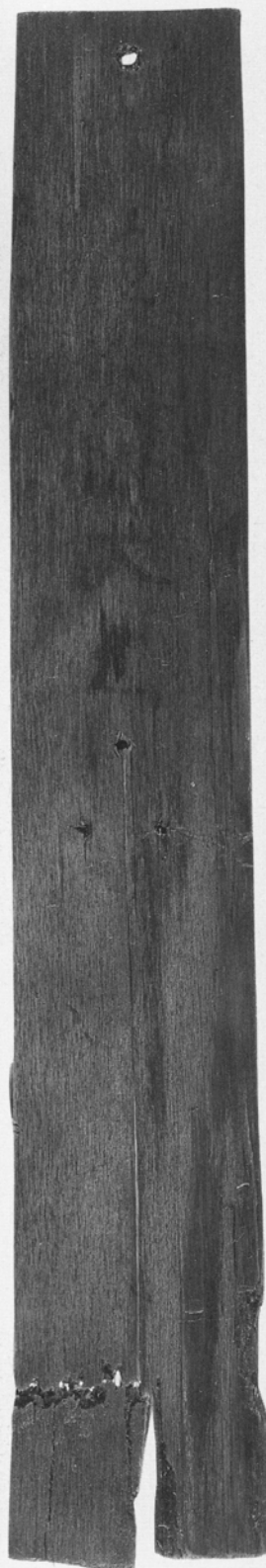
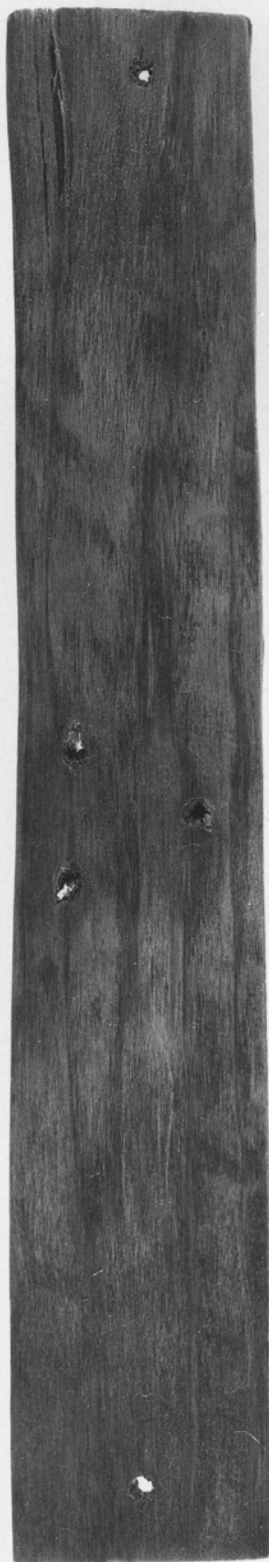
90



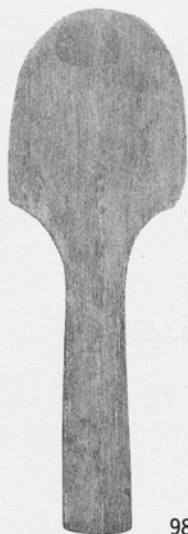
88



95

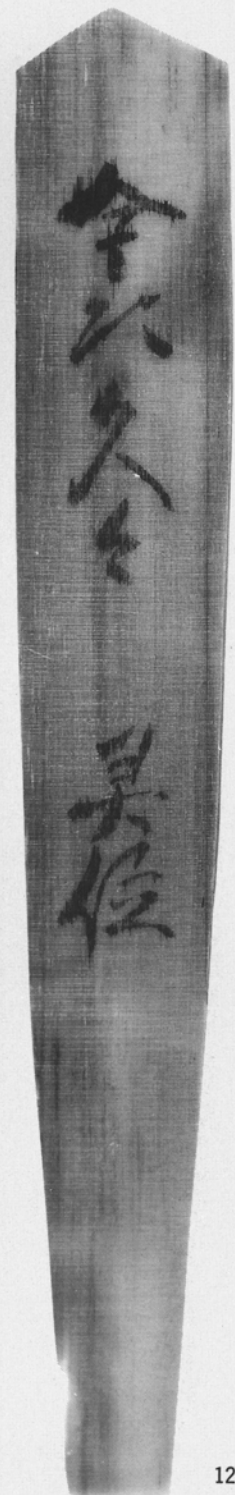


116



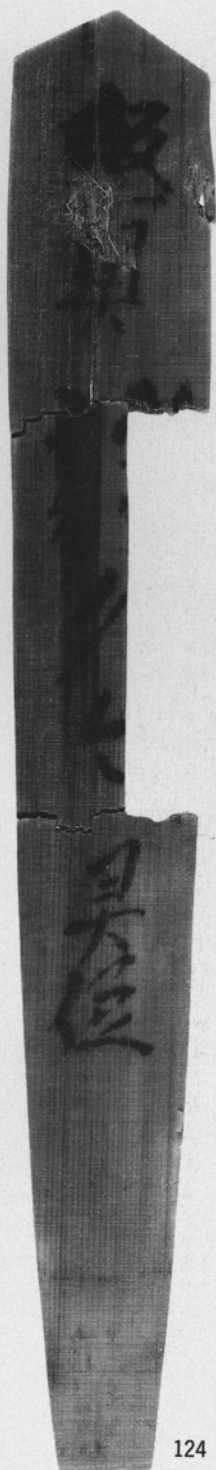
98

SD 177



图版 57
出土遺物
木製品(4)

SD 177



図版 59
出土遺物
木製品(6)

SD 177



139



138



132



141



127



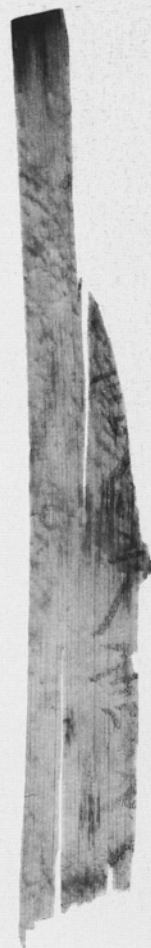
131



135



136



133



146

SD 177



206

SD 222

SD 200



148



150



147

図版 63
出土遺物
木製品(10)

SD 200



154



155

図版 64
出土遺物
石製品



1



3



4



5



9



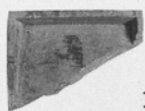
11



8



13



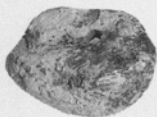
15



24



48



57



60



61



63



64

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第28集

朝 日 西 遺 跡

1992年 3月31日

編 集 財団法人
発 行 愛知県埋蔵文化財センター

印 刷 株式会社 クイックス

